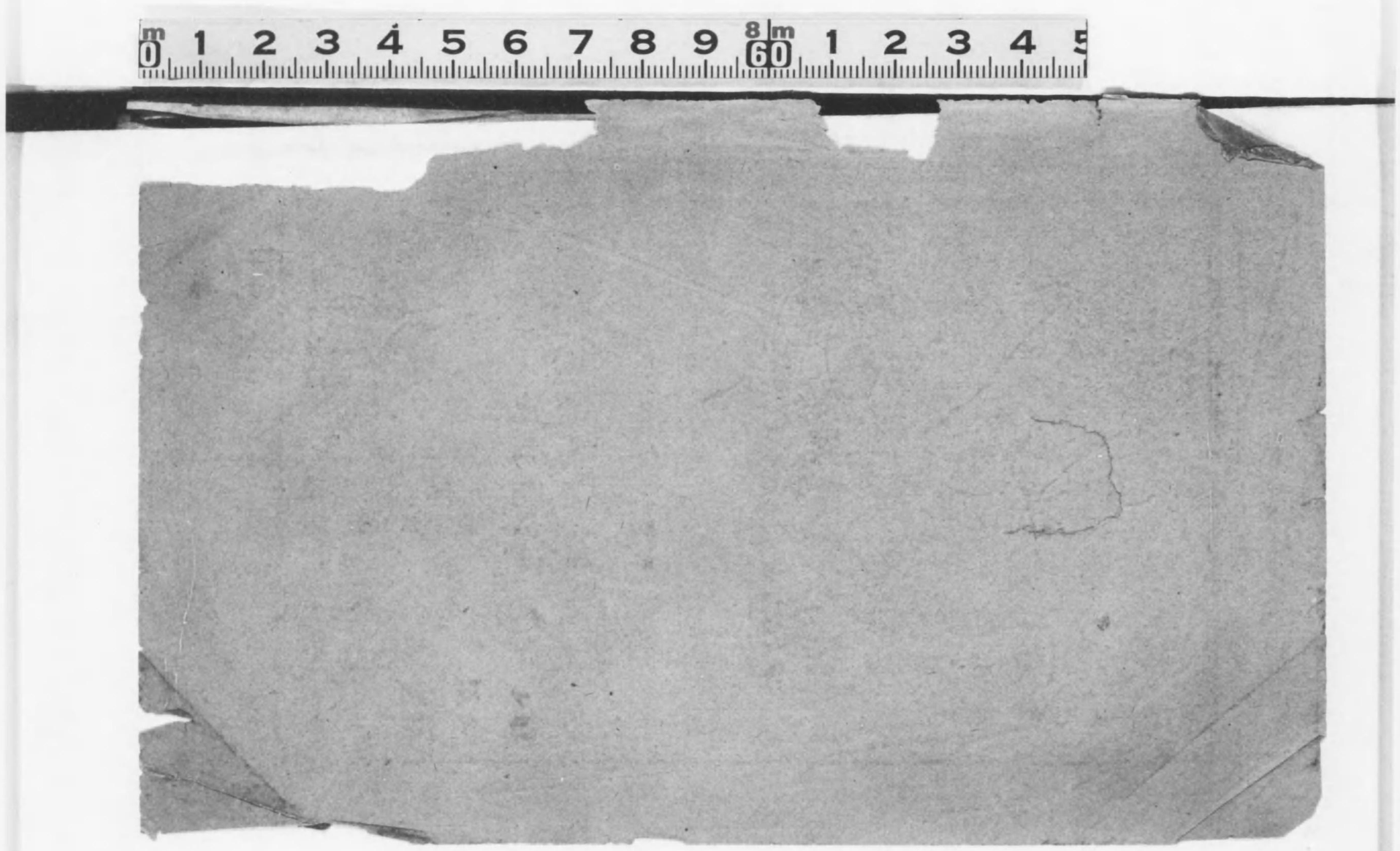
北
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4

露光量違いの為重複撮影

特273
840

理學沿革史

特273
840

大正十九年二月

上冊

文部省編輯局

露光量違いの為重複撮影

特273
840

大正十九年十月八日文部省交付 1065

特273
840

理學沿革史

大正十九年十二月 上冊

文部省編輯局

理學沿革史翻譯凡例

一本書ハ法國理學ノ教官アルフレッド、ラ、フィロゾフィー」(Histoire de la Philosophie, par A. Fouillee.)ト題シ泰西紀元一千八百七十九年ノ刷行ニ係ル作者ノ旨趣ハ載セテ叙論中ニ詳ナリ蓋シ法國理學自ラ二種アリ一ハ學官立ツル所ノ者ニシテ虚靈説ノ一派ニ屬シ意欲ノ自由ヲ倡ヘ且ツ神ノ斯世ニ在リテ萬物ノ上ニ儼臨スルヲ説キ科目ヲ定メテ之ヲ講授スル是ヲ以テ苟モ名ヲ學官ニ列スル者ハ旨意一定ニシテ議論ノ次序モ亦全ク相同シ一ハ民間倡説スル所ニシテ何ノ派ニ屬スルヲ問ハズ各々自ラ肆ニシテ論著スル有リ大抵學官ノ理學家ハ異説ノ中ニ就テ特ニ實質説ヲ主トス但作者ノ意ハ異説ヲ排撃スルヲ主トス但作者ノ意ハ異説ヲ叙論シ然ル後盡ク罔羅シテ自己倡フル所ノ説中ノ一部ト爲サント欲ス是レ其用意ノ處ニシテ尋常異説ヲ駁スル者ト方法自ラ別ナリ叙論ヲ

觀テ知ル可シ

一泰西理學其何ノ派ニ係リ何ノ說ニ屬スルヲ問ハズ言論極テ縝密ニシテ有形並ニ無形ノ事ニ就テ分析ノ工夫ヲ着ケ其得ル所ニ因リテ一々名稱ヲ立テ、遺スコト無シ是ヲ以テ譯者此等名稱ニ係リ惡ク譯語ヲ塡シテ而シテ雅馴ナラント欲スルトキハ極テ手ヲ下シ難シ然レモ譯語ヲ塡セスシテ直チニ原語ヲ擧ルトキハ已ニ翻譯ノ旨意ニ非ス又妄ニ意ヲ創シテ譯塡スルトキハ亦文章ノ觀ニ害スル有リ顧フニ漢土經說及ヒ佛典用フル所ノ文字中必ス切當スル者多カル可シ獨奈何セン譯者本ト記覽ニ乏ク且ツ意ヲ專ニシテ原書ニ從事スルヲ以テ博ク涉獵スル所有ルニ暇アラス是ヲ以テ譯語往々蕪陋ヲ免レス又譯者算數ノ學ニ於テ未タ曾テ之ヲ學ハス然ルニ書中或ハ算數ノ語ヲ用フル有リ已ムコトヲ得ス直チニ原語ヲ擧ケテ之ヲ塡ス凡ソ此等譯者ノ未タ到ラサル所ハ皆大方博雅ノ是正ヲ乞フ

一譯者性、理學ヲ嗜好シ諸家ノ說ニ於テ嘗テ窺フ所有リ但才識本ト庸陋ニシテ且歲月頗ル促迫セルヲ以テ務テ意ヲ致セシモ恐クハ錯誤無キコト能ハス亦大方ノ是正ヲ乞フ

一泰西ノ文洸暢富贍ノ極重沓冗漫ナルカ如クニシテ而シテ實ハ每句觀ヲ異ニシ每章容ヲ殊ニシテ委曲婉美眞ニ喜フ可シ而シテ直チニ之ヲ譯シテ削ル所無キトキハ冗漫厭フ可キヲ覺ユ然レモ削ルトキハ翻譯ノ本意ニ非ス故ニ一々擧ケテ遺スコト無シ讀者冗漫ヲ以テ咎ト爲スコト勿レ

明治十八年十一月

譯者　識

理學沿革史上冊目次

敘論　理學ノ沿革ヲ敘スルニ於テ用フベキ法式及諸家ノ說ノ異同ヲ合スル法式　敘一

緒論　敘一

本論　敘一

第一編　古昔ノ理學　敘七

第一章　理學ニ係ル古昔國民ノ諸說　一一

緒論　一一

本論　一一

第一、印度ノ理學　一二

一、印度人庶物原理ノ學「波羅門教ニ係ル多神ノ說及神物一體ノ說○二、波羅門教ニ係ル道學○三、波羅門教外ノ理學」佛陀ノ理學　一二

第二、百兒矢亞ノ理學○ゾロアストル　四七

ゾロアストルノ庶物原理ノ學○ゾロアストルノ道學　五二

第三、古昔ゴールノ理學　七〇

第四、支那ノ理學○孔夫子及孟子

第五、エジプトノ理學　七六
第六、猶太ノ理學　七七
一、猶太ノ庶物原理ノ學○二、猶太ノ道學○三、猶太ノ政術○四、猶太ノ善行ノ進歩　八九
第二編　希臘ノ理學　八九
第一章　イヨニーノ理學○エラクリット、アナギザゴール　八九
緒論　八九
本論　八九
第一、イヨニー初年ノ理學○タールレス　九六
第二、エラクリット　一〇一
第三、アナキザゴール　一二一
第四、アブテールノ理學○デモクリット（イデアリスト）　一三一
第二章　意答利及エレーノ虚靈ノ説○ピタゴール○パルメコード○アンペドクル　一三五
緒論　一三五
本論　一三九
第一、ピタゴール虚靈ノ説ノ理學　一四〇

第二、エレーノ虚靈派ノ理學○クゼノファンヌ○ゼノン○パルメコード　一五九
第三、アンペドクル（ソフイスム）　一八一
第三章　詭邪ノ説○プロダゴラース○ゴルジヤース　一八九
緒論　一八九
本論　詭邪派ノ理學　一九二
第一、詭邪派ノ教師　二〇三
第二、アブデールノプロタゴラース　二〇三
第三、レオンチヨムノゴルジヤース　二一一
第四、詭邪派ノ概説　二一一
第四章　ソクラット　二一六
緒論　二二五
本論　二三三
第一、ソクラット初年ノ學問
第二、ソクラットノ論説ノ法
第三、行爲ノ論
第四、ソクラットノ宗教ノ説

第五、ソクラットノ獄○釋言○死刑 二三七
第五章 プラトンノ理學 二七〇
緒論 二七〇
本論 二八二
第一、智慧ノ說○物ノ意思ノ說 二八二
第二、情ノ說○善ヲ愛スルノ理 二八三
第三、行爲ノ說○道德及政治 二九九
第四、プラトンノ神說 三一五
第六章 アリストットル 三二七
緒論 三二七
本論 三七〇
第一、有ノ性質、本原及形狀 三八一
一、有ノ性質○二、有ノ本原○三、有ノ形狀 三八一
第二、世界ノ運轉者及其目的 三九五
一、神ノ存在○二、神ノ狀態○三、神ト世界トノ交涉 三九五
第三、アリストットルノ道學及政術 四一二
一、各人自ラ守ル道德○二、人ト交ハルノ道學○三、アリストットルノ政術 四一二

第七章 ピロンノ學派○エピキュールノ學派○ゼノンノ學派○アルセジラースノ學派○羅甸ノ理學 四五八
緒論 四五八
本論 四六四
第一、ピロンノ學派 四六五
第二、エピキュールノ學派 四六六
第三、ゼノンノ學派 四七三
第四、アルセジラースノ學派○疑學 五〇五
第五、羅甸ノ理學○リュクレース○シセロン 五〇九
第八章 アレキザンドリーノ學派○プロタン及其後繼者○セネーク 五一三
緒論 五一三
本論 五一八
第一、プロタンノ說 五一八
第二、神ノ生產ノ義○三神體 五二七
第三、神ノ世界庶物ヲ作ル事及庶物ノ神ニ復歸スル事 五四四
第四、プロタンノ後繼者○アテーンヌノ理學○ブロクリュス 五七二
第九章 基督宗ノ理學 五七六

緒論
本論
第一、基督宗ノ理學士ノ庶物原因ノ說 五七六
一、神ハ最上無比ノ至善ナリ○二、神ハ無上ノ道理ナリ○三、神ハ無比無上ノ意思ナリ 五七八
第二、基督宗ノ理學士ノ道學 五七九
一、仁慈ノ說○二、自由ノ說○三、邦國ノ說 六〇五
第三編　中古ノ理學○學藝（ルテーサンス）ノ中興
第一章　中古ノ理學 六四一
緒論 六四一
本論 六五一
第一、中古理學ノ初期 六五八
第二、中古理學ノ第二期 六八二
第三、中古理學ノ第三期 七〇三
第二章　中興ノ時ノ理學 七一二
緒論 七一二
本論 七一六

第一、古昔ノ典籍ヲ研究セシヨリ生ジタル諸學派
第二、宗教改革ノ効果
第三、懐疑ノ說ヲ唱フルノ徒○議論ノ自由ヲ唱フルノ徒○兩家和合說ヲ唱フルノ徒
第四、技術ノ方法及發明
目次終

理學沿革史上冊

法蘭西　アルフレット、フーイエー著
日本　中江篤介譯

○叙論　理學ノ沿革ヲ叙スルニ於テ用フ可キ法式及ビ諸家ノ說ノ異同ヲ合スルノ法式

○緒論

○第一　理學ノ沿革ヲ叙スルカ爲メニシテ獲ル所ノ理學ニ係ル利益

理學ノ沿革史ハ直チニ認メテ理學ノ一科ト爲スヿヲ要ス其目的トスル所現ニ理學ノ目的トスル所ト一體ヲ爲スガ故ナリ目的トハ何ヅヤ人智ヲ以テ人智ノ何物タルト其當ニ何ヲ務ム可キトヲ講スルヿ是ナリ而シテ此事ヤ理學ヲ講ズル者ト理學ノ沿革ヲ叙スル者ト並ニ此ヲ以テ本旨

ト爲ス者ナリ

理學沿革史ノ益タル或ハ謬見ヲ改正シ或ハ謬見ヲ豫防シテ以テ眞理ヲ固定シ及ヒ其未ダ足ラザル所ヲ補ス是ナリ

凡ソ此レ皆理學沿革史ノ大ニ理學ニ功有ル所以ナリ

○第二　理學沿革史ノ尋常歷史ニ係ル利益

尋常歷史ノ物タル人事ヲ記シテ因リテ其所以ヲ求メ以テ之ヲ世ニ示スヿヲ主トス而シテ人事ノ變ハ或ハ道德ノ旨義ニ因ル有リ或ハ宗教若クハ學術ニ因ル有リテ道德ヤ宗教ヤ學術ヤ其最高層ノ理ハ必ズ理學ノ中ニ在リテ存スル者ナリ

且ツヤ學士ノ理義ヲ考察スルノ道進闡スルヿハ凡ソ人事ニ係ル一切ノ條項並ニ俱ニ進闡スルハ勢ノ然ラシムル所ナリ是ヲ以テ理學ノ說ノ極テ高遠ニシテ極テ人事ノ實迹ト相反スルガ如キ者ト雖モ細ニ之ヲ察スルヿヲ要スルニ理學ノ歷史ハ正ニ人類有スル所ノ眞智ニ係ル考察ノ歷史ナリ豈之ヲ忽諸ニス可ケンヤ

○第三　理學ノ沿革史ニ係リ用フル所ノ諸家ノ衆說ヲ合スルノ法式

理學ノ沿革ヲ論ズル者ハ當ニ二長ヲ合ス可シ一ハ諸家ノ說ニ就テ明ニ本旨ノ在ル所ヲ知ルナリ一ハ諸說ヲ評騭シテ當ヲ失ハザルナリ是故ニ諸家ノ說ヲ講求セント欲スルヿハ當ニ身ヲ其人ノ地ニ置キ以テ之ヲ察ス可シ自家一己ノ見ヲ執リテ之ヲ察ス可ラズ諸家ノ說ニ於テ務テ其深蘊ノ底ニ進入シ力ノ及ブ所論者ヲシテ遺憾無カラシム可シ更ニ一層ヲ進メテ之ヲ言ヘハ論者ノ本旨ノ在ル所苟モ明瞭ナルヿハ其未ダ言ヒ及ハザル所ト雖モ己レ當ニ察シテ之ヲ補フ可シ是レ之ヲ論者ノ意中ニ潛入スト謂フ

理學ノ沿革ヲ論ズル者ハ獨リ論者ノ文章字句ニ於テ意ヲ致スノミナラズ當ニ務メテ其意嚮ノ在ル所ト其思念ノ到ル所トヲ窮究ス可シ又其說

中自ラ兩部有リテ一ハ高遠ノ旨義ヲ論ジ一ハ卑近ノ旨義ヲ論ズルヰハ尤モ當ニ意ヲ高遠ノ部ニ着ク可シ又所見ノ眞ナル者ト謬レル者ト相錯ルヰハ務テ其眞ナル者ヲ叙シテ其謬ナル者ヲ發訐スルニ專ナルヿ勿レ何ソヤ眞ノ鑒評ハ作物ノ長所ヲ擧ルニ在リ其短處ヲ摘スルニ在ラザルナリ

諸家ノ說ヲ評騭スル者ハ宜ク務テ其謬見ヲ改正ス可シ又其中理ニ合スルノ見二個或ハ相容レザルヿ有ルヰハ宜ク務テ其レヲシテ相調諧シテ一體ヲ爲サシム可シ

凡ソ理學ニ係ル謬見ハ或ハ論者ノ本旨ニ於テ之ヲ見ル有リ或ハ本旨實ニ理ニ合スルモ其議論ノ收結ニ至リテ相繆ルヿ有リ

苟モ謬見現ニ本旨ノ中ニ存スルヰハ我レ復タ之ヲ奈何トモスルヿ無シ唯指摘シテ之ヲ改ムル有ルノミ其特ニ言論中ニ存スル者ハ當ニ務テ論者ノ本旨ヲ提出シ此レヲ以テ規條ト爲シ以テ其議論ノ理ニ合セザル所ヲ正ス可シ是ノ如クスルヰハ或ハ論者ノ說ノ未ダ足ラザル所ヲ補ヒ或ハ其未ダ精ナラザル所ヲ精ニスルヿヲ得メ

著シ既ニ是ノ如クニシテ論者ノ說ヲ補ヒ若クハ之ヲ精ニスルノ後其說中猶ホ遺漏有リテ事物ノ實迹ニ於テ脫落スル所有ルヰハ此レ論者ノ本旨現ニ足ラザル所有ルナリ凡ソ此ノ如キ者ハ其病タル多クハ論者ノ眞理ノ一部ヲ認メテ全體ト爲スニ由リテ起ル是レ之ヲ本旨ノ謬誤ト謂フ」凡ソ論者ノ本旨中足ラザル所アルヰハ當ニ他ノ論者ノ說ノ詳備ナル者ヲ採リ來リテ之ヲ補フ可シ蓋シ甲ノ一說足ラザル所有ルヰハ其旨趣ノ意氣自ラ乙ノ一說ノ具足セル者ニ嚮往シテ之ガ充補ヲ乞フニ似タル有リ是レ事理自然ノ勢ナリ

唯夫レ此事理有リ是ヲ以テ衆說ノ紛々タル者モ其理ニ合スル所ヨリシテ言フヿヰハ漸次ニ益〻相調適和諧スルヲ見ル他無シ規模ノ狹小ナル者モ

苟モ其中理ニ合スル所有ルトキハ他ノ規模ノ大ナル者ノ中ニ入リ消融シテ一體ヲ爲スコトヲ得レバナリ然リト雖モ余カ茲ニ云フ所ハ世ノ所謂折衷派ノ理學ト自ラ別ナリ世ノ所謂折衷派ノ理學ト自ラ別ナリ世ノ所謂折衷派ナル者ハ自ラ一成說ヲ夾持シ然後諸家ノ說ヲ涉獵シテ苟モ其己レニ便ナル者ハ採摭シテ之ヲ集メ以テ一家ノ言ヲ完成スル是ノミ是ヲ以テ其間動モスレバ恣肆ノ病無キコト能ハズ是レ余ノ取ラザル所ナリ

余ノ云フ所ハ又世ニ所謂ヘッケル派ナル者ト亦自ラ別ナリ所謂ヘッケル派ナル者ハ喜テ旨趣ノ相反スル者ヲ合シテ一ト爲スヲ以テ其末ヤ終ニ謬見ヲ認メテ眞理ノ本然ノ一部ト爲スニ至ル是モ亦余ノ取ラザル所ナリ」

理學ノ沿革ヲ論スル者ノ用フ可キ法式ハ當ニ務テ正義ト友愛トヲ旨トシ古來眞理ヲ愛好シテ之ヲ搜索セシ所ノ諸家ニ於テ之ヲ待ツニ義ト愛トヲ以テシテ以テ道ニ戻ラザルコトヲ求ム可シ是レ余ノ此書ニ於テ心ヲ用フル所ナリ

○本論

昔ハデカルト其絶特ノ才ヲ負ヒ中古理學士ニ踵デ嶄起シ中古理學士ノ專ラ前人ノ說ヲ蹈襲シテ絶エテ自ラ杼軸ヲ出サヾルヲ見テ深ク之ヲ鄙トシテ別ニ自ラ一家ノ言ヲ立テント欲ス是ニ於テ專ラ自ラ其心ヲ師トシテ理學ノ歷史ニ於テ絶エテ意ヲ留ムルコト無ク乃チ曰ク吾レ固ヨリ我ヨリ前果シテ人有リシカヲ知ルコトヲ欲セザルナリト然ル所以ノ者ハ他無シデカルトノ本旨專ラ新奇ノ見ヲ發シテ絶エテ前人ニ依傍セザルニ在リシ故ナリ

レイブニットハ則チ然ラズ其理學ニ於ケル意ヲ自ラ發見スル所有ルコトヲ貴フト雖モ然レドモ深ク理學歷史ノ益アルコトヲ知リテ乃チ曰ク眞理ノ既ニ世ニ發セシ者ハ吾人ノ之ヲ想フ所ニ比スレバ更ニ多シ吾人未ダ之ヲ省セザルノミ又曰ク眞理ノ既ニ發見セシ者頗ル多シ但或ハ渣滓ノ未ダ除

カザル有リテ其力猶ホ微ナル有リ或ハ分裂シテ衆謬見ノ爲メニ阻隔セラルヽ有リ學士タル者當ニ之ヲ拾摭シ集メテ一體ト爲ス可シ

レイブニッツ又曰ク古人ノ說中包有スル所ノ眞理ヲ拾采スルハ是レ猶ホ精金ヲ泥中ヨリ採リ金鋼石ヲ頑石ノ中ヨリ掘リ取リ光明ノ輝ヲ暗黑ノ中ヨリ抜キ來ルガ如シト善イ哉之ヲ言フヤ蓋シ理學ノ業ハ他ニ非ズ獨リ自己ノ心中ニ進入スルノミナラズ亦深ク他人ノ思念中ニ入リテ確乎不易ノ大理ノ中自ラ諸說ノ異ノ相共ニ消融混和スルヲ見ルニ在リ然レバ則チ理學ノ歷史豈世ニ欠ク可ケンヤ

人若シ能ク是ニ得ルアルヲ有ルハ理學ノ歷史ハ理學ニ在リテ益有ルノミナラズ寔常歷史ニ在リテ亦極テ益有リ請フ先ツ其理學ニ益有ル所以ヲ論ゼン」

大凡ソ一學科ニ係ル歷史ハ必ズシモ是學科ト一體ヲ爲スニ非ズ之ヲ例ヘハ物理學ノ歷史ノ如キハ始ヨリ物理學ト一體ヲ相爲シテ離ル可ラザルニ非ス其他學術大抵皆然リ獨リ理學ハ然ラズ此學ニ在リテハ必ズ其歷史ヲ

幷セテ之ヲ懷抱セザル可ラズ然ラザレバ文運ノ進ムニ從フテ益〻自ラ其足ラザル所ヲ補ハント欲スルモ得可ラザルナリ

且ツヤ理學ト理學ノ歷史トハ其目的トスル所全ク相同シ何ゾヤ人心ノ性質及ビ其本根其歸著ヲ見得スルヿ是レ理學並ニ其歷史ノ目的ナリ

一學士アリ其講求ノ力ニ賴リ自己必性ノ中ニ於テ發見スル所有ル乎理學ノ歷史輯ヲ之ヲ記シ之ヲ傳ヘテ吾人ヲシテ之ニ與聞スルヿヲ得セシムヿ是ノ如クニシテ古來相踵イテ興リシ所ノ衆說ヲシテ皆無窮ニ延ルヿヲ得セシムヿ是ニ知ル理學ノ歷史ハ正ニ諸說ヲ考試スルノ眞方ナルヿヲ何ソヤ學士ノ倡道スル所果シテ理ニ合スルヿハ歷史家輯ヲ之ヲ確定シ足ラザル所有ルヿハ輯ヲ之ヲ添補シ謬誤有ルヿハ輯ヲ之ヲ是正シ以テ後人ヲシテ過チ貳ヒセザラシムヿ此レ其理學ニ益有ルヿ豈至大ナラズ乎

獨リ此レノミナラズ理學ノ歷史ヲ誦讀スルヿハ吾人直ヲニ古來ノ大家ト手ヲ挈リテ一堂ノ上ニ晤語スルガ如キヿヲ得是ニ於テ彼ノ大家豪傑ノ情

性ヨリ智慧ヨリ並ニ其貫習ニ至ルマデ吾人自然ニ之ニ習フテ知ラズ識ラス其涵化スル所ト爲リ自ラ奮フテ豪傑ノ士ニ倣フテ亦眞理ヲ愛好シ且ツ之ヲ搜索スルヿヲ嗜ムニ至ル

夫レ古人ノ理學ニ於テ發見セシ所アリシハ他無シ其深ク眞理ノ愛ス可キヲ知リテ之ヲ慕ヒタルガ爲ナリ今吾人モ亦眞理ヲ愛スルヿヲ知ルヿハ亦必ズ古人ノ之ヲ愛セシ者ヲ愛スルニ至ルハ自然ノ情ナリ而テ理學ノ歷史ハ正ニ吾人ヲシテ前世眞理ヲ愛シテ之ヲ發セシ者ニ於テ其才學ヲ感稱シ且ツ其後世ニ寶フヿ有リシヲ德トスルヿヲ知ラシム

古來豪傑ノ士ノ諸說ヲ倡フルヤ其旨趣己レト異ナル者ハ相共ニ爭辯シ甚キハ或ハ相嫉ミテ仇讎ノ如キニ至レリ然リ而テ吾人今ニ於テ歷史ニ就テ前世豪傑ノ士ノ諸說ヲ閱スルヤハ復タ其相敵視セシヿヲ省セズシテ專ラ其相俱ニ眞理ヲ搜索シテ極テ相愛セシガ如キヲ想ハシム是レ又理學ノ歷史ノ長處ナリ是ニ於テ乎理學ノ一說ニ係リ其之ニ左袒スル者ト其之ヲ攻

擊スル者ト並ニ皆其說中包有スル所ノ眞理ノ部分ヲ認視スルヿヲ得他無シ史ニ據リテ講求スル者ハ氣ヲ虛クシ心ヲ平ニスルヿヲ得レハナリ

然リト雖モ學士タル者專ラ一己ノ見ヲ持シ絕エテ前人ノ衆說ヲ講求シテ自ラ益スルヿヲ求メザレハ誠ニ得計ニ非サルニ論ナキモ單ニ前人ニ依傍シ自ラ發明スル所有ルヿヲ思ハザルモ亦宜ク深ク戒ム可キ所ニ在リ是ヲ以テ余極テ理學歷史ノ世ニ益アルヿヲ知ルモ專ラ歷史ヲ研究シテ理學ヲ疎外スルカ如キハ亦余ノ深ク取ラザル所ナリ前人往々此弊ニ陷リテ自ラ覺ラザリシ者アリ是ニ於テ發明ニ易フルニ纂輯ヲ以テシテ一モ自ラ奇見ヲ出スヿ無キニ至レリ是ハ則チ理學ノ歷史ヲ誤認シテ直チニ理學ト爲ス者ナリ故ニ凡ソ理學ノ史ヲ修ムル者ハ當ニ理學ノ爲メニシテ之ヲ修ム可シ理學ノ史ノ爲ニシテ之ヲ修ム可ラザルナリ

是故ニ理學ノ史ヲ叙スル者ハ務テ古今大家ノ皆意ヲ創シテ大ニ發明スル所有リシヿヲ示シテ以テ人ヲシテ之ニ倣フテ以テ自ラ振拔スルヿヲ思ハ

シム可シパスカル是ニ於テ言フ有リ曰ク古今豪傑ノ士ハ前人ノ發明セシ所ニ於テ卑々トシテ之ヲ守ルヲ屑シトセズシテ專ラ此ヲ以テ自家ノ發見ノ器具ト爲セリ而テ此果敢勇往ノ氣ニ賴リテ往々前人ノ未ダ發セザリシ所ヲ發スルヲ得タリ然レバ則チ吾儕學ニ志有ル者ハ亦此爲ニ倣ヒ古昔豪傑ノ士ノ業ヲ講ズルヲ以テ直チニ己レノ目的ト爲サズシテ當ニ此ヲ以テ手段ト爲シテ以テ發明スル所アルヲ求ム可シ古人ノ行爲ニ倣フテ以テ之ニ踰ユル有ルヲ求ム是正ニ學者ノ當ニ務ム可キ所ナリト善イ哉言ヤ

以上叙スル所ハ正ニ理學歷史ノ理學ニ功アル所ノ處ナリ而テ理學歷史ハ亦尋常歷史ヲ講スルニ於テ極テ益有リ然ル所以ノ者ハ何ヲヤ蓋シ凡ソ史ノ記スル所ノ事迹ノ原因ハ必ズ當時行ハレシ所ノ理學ノ旨趣ノ中ニ存セルヲ以テナリ更ニ之ヲ言ヘバ此等旨趣正ニ人事ノ運ヲ催趣シテ之ガ先引ヲ爲セルヲ以テナリ所謂旨趣ハ或ハ道德ニ係ル有リ或ハ宗敎ニ係ル有リ或ハ技術ニ係ル有リ而テ之ヲ綜ブル者ハ理學ナリ

某世代ニ在リテ各人及ビ社會ノ如何ナル責任ノ旨義ヲ解シ如何ナル權理ノ旨義ヲ解シ如何ナル道德ヲ解セシ乎如何ナル人類及ビ世界萬彙ノ本原ヲ解セシ乎世界萬彙ノ皆循フ所ノ定理ト其中若干數ノ循フ所ノ定理トニ於テ如何カ之ヲ解セシ乎凡ソ史中一切ノ事迹ハ皆此等重要ノ問題ニ關係セザル莫シ而テ理學歷史ハ正ニ此等ノ問題ニ係リテ當時ノ論說ヲ評定スルヲ主トスル者ナリ

是故ニ古今理學ノ大家ハ皆當代ヲ統率シテ以テ將來ヲ奬勵セシ者ナリ故ニ理學ノ史ヲ編スル者ハ皆務テ此等大家ノ諸說及ビ其人ト爲リヲ識リテ之ヲ筆スルヲ求メザル莫シ理學史ノ世事ヲ識ルニ益有ルヲ豈甚明ナラズ乎

ベッケル言フ有リ曰ク凡ソ一代ノ事迹ノ由リテ興リシ所ノ者ハ正ニ此代ノ本心ト謂フ可キナリ而テ此本心ハ必ズ當代ノ理學士ニ於テ之ヲ綜フト

旨有ル哉其之ヲ言フヤ是ヲ以テ基督ノ前第五紀及ビ第四紀ノ希臘ハ全ク
ソクラッド、プラトン、アリストットノ中ニ存スト謂フモ可ナリ何ソヤ理學大家
ノ人ト爲リヤ其獨立不倚ノ精神ヨリシテ言フトキハ個々圓成シテ他人ト交
渉無キモ其見識ヲ宏博ニシテ盡ク當代ノ旨趣ヲ摸寫シテ遺ス所無キヨリ
シテ言フトキハ其懷抱廓然トシテ受容セザル所ナシ故ニ凡ソ一代ノ事ハ皆
當代ノ理學士ニ於テ之ヲ見ルト
大凡ソ豪傑ノ士ハ其自ラ視ルニ於テ亦極
テ明ナリ是ニ於テ當代ノ事ヲ舉ケテ盡ク之ヲ自己懷抱ノ中ニ收メテ此ヲ
以テ後來ヲ奬引スルヿヲ求ム是レ固ヨリ其取リテ以テ己レノ任ト爲ス所
ナリ是故ニプラトンノ道學ハ第四紀希臘ノ道學ヲ包該シテ更ニ之ニ超過
スル者ニシテ人若シプラトンノ道學ニ得ルアルトキハ當時希臘過去ノ史ト
將來ノ史トニ於テ並ニ大ニ獲ル有ラン
是故ニセノン家ノ法律學ハ從前ノ法學ト將來ノ法學ヲ幷セテ皆之ヲ該ネ

リ是ハ則チゼノン家ノ學士タル者其既ニ過クル所ノ社會ト其將ニ來ラント
スル所ノ社會ヲ寫照セシト謂フモ可ナリ人若シ今日ニ在リテ第十八紀我
カ法朗西ノ理學ノ意嚮ニ得ル有ラザルトキハ何ニ由リ以テ千七百八十九年
ノ大革命ト及ヒ之ヲ董統セシ所ノ旨趣トヲ知ルヿヲ得ンヤ
夫レ理學ノ物タル獨リ道學法律及ビ政術ノ本根ヲ具有スルノミナラズ卽
チ宗教ト雖モ亦之ヲ包有シテ凡ソ庸衆人ニ在リテ昏々芒々ノ中ニ崇信ス
ル所ハ理學士皆爲メニ其所以ヲ論ジテ之ヲ垂示スルニ要スルニ宗教ハ自
ラ省セザル理學ニシテ理學ハ自ラ識ル宗教ナルノミ
凡ソ理學ノ大家プラトン、アリストット、プロクン、デカルト、レイプニット、カント
ノ如キハ皆其智見ノ內ニ於テ其著書ノ中ニ於テ凡ソ人類ノ宗教ニ係ル本
心ト並ニ此本心ノ進步ノ類ヲ舉ケテ盡ク之ヲ闡括シテ而テ又此等本心ノ
進步シテ當ニ到ル可キ所ノ田地ニ係リテ豫メ之カ樣式ヲ示メセリ此レ其
貴フ可シト爲ス所以ナリ

又物理化學等一切ノ技科ノ如キモ深ク其意趣ノ嚮フ所ヲ知ラント欲セハ亦必ス理學大家ノ著作ニ就テ講セサル可ラス他無シ凡ソ講求ノ法式ヲ按出シ及ヒ世界萬物ノ全ヲ論シテ之ヲ構架スルニハ獨リ理學大家ノ能クスル所ナレハナリ是故ニ我カ中古ノ時及ヒ學藝中興ノ時ノ學士ヲシテ庶物ノ理ヲ講求スルヿヲ知ラシメタルハ之ヲアリストットノ功ト謂ハサルヲ得ス是故ニ算數ノ學ヲ以テ諸技科ノ本根ト爲サシメ及ヒ世界萬有ノ相消長スル所以ヲ以テ一種機關經緯ノ理ニ本ケタルハデカルトノ功ト謂ハサルヲ得ス是故ニ凡ソ物ノ數量ヲ計ルニ於テ無限ノ算數譯者數學ニ於テ未タ原文ヲ直寫スルノミニ當用シ此理學ノ旨義ヲ創見セシニ由リ算數ノ學ニ附スルニ能ハス姑ク從前未タ有ラサリシ所ノ勢力ヲ以テセシハレイプニットノ功ト謂ハサルヲ得ス

蓋シ人類愈〻他ノ有生ノ類ト交渉有ル所以ヲ理會シ愈〻庶物ノ列ニ於テ己ノ位置ノ如何ヲ認識スルヿハ學士モ亦世界ヲ了知スルニ於テ其眼孔愈〻博大

ヲ成スヿ之ヲ史籍ニ徵シテ知ル可シ乃チ古昔ニ在リテハ學士輩皆以爲ラク世界ハ一圓球ニシテ天衢ハ玲瓏タル玻璃ヲ以テ成ルト若夫レ今代ニ至リテハ世界ハ宇宙ノ中ニ畫セラルヽ無ク永劫ノ間ニ限ラルヽヿ無ク廣大無疆ノ一圓體ニシテ到ル處皆中央ニシテ緣邊有ルヿ無シ是世界ヲ視ルノ眼豈更ニ大ナルニ非ス乎

是ニ由リテ言ヘハ理學ノ旨趣ノ進歩ヲ計ルニハ以テ人事ノ進歩ノ度ヲ權ルヿヲ得可シ是レ不易ノ理ナリ而テ是理ヤ獨リ近時日耳曼學士ノ之ヲ倡說セシニ非スシテ法朗西ニ在リ並ニ英吉利ニ在リ一種實際派ノ說ヲ執ル者ト雖モ亦之ヲ倡說セリ卽チオーギユスト、コントノ言ニ從ヘハ理學ニ係ル考察推測ノ進歩ハ正ニ社會ノ運ヲ皷舞スル一大勢力ナリト是言誠ニ當レリ

スチュアール、ミル曰ク理學ニ係ル考察ノ力ハ能ク社會ノ大體ヲシテ進歩ノ路ニ入ラシム云々

是故ニ人若シ某世代ニ就テ一タヒ當時學術ニ係ル考察ノ狀態ニ得ル有ルキハ以テ工業其他技科ノ到ル處ヲ窮極シテ其高下ヲ判スルヿヲ得可シ人若シ某世代ニ就テ一タヒ當時道德及ヒ宗教ニ係ル考察ノ狀態ニ得ル有ルキハ以テ制度風俗ニ論無ク並ニ治亂盛衰ノ勢ヲ揣摩シテ之ヲ微中スルヿヲ得可シ

獨リ道德政術宗教ノミナラス卽チ物理ノ如キモ其大體ニ就テ言フキハ亦理學高遠ノ旨趣ノ皷盪スル所ト爲ル他無シ理學ト云ヒ物理ノ學ト云ヒ之ヲ均ク人智ノ運動ニ外ナラスシテ特ニ高下ノ別有ルノミ苟モ高下ノ別有ルキハ其運動ノ高級ニ居ル者必ス其下級ニ居ル者ヲ皷盪シテ之ヲ奬引スルハ固ヨリ自然ノ理ナリ

理學高遠ノ考察ハ其效タル必ス新ニ發見スル所有リテ以テ邦國ノ生面ヲ開クニ至ル是ニ於テ乎諸種實際ノ學科之ニ隨フテ進歩シ以テ益〻其境界ヲ張大ニスルヿヲ得是ヲ以テ理學第一乘ノ旨義ノ如キハ人事ノ實際ニ於テ

極テ交涉無キニ似タリト雖モ細ニ之ヲ察スルキハ必ス常ニ其相牽聯スル有ルヲ見ル之ヲ要スルニ宗教道德政治ニ係ル理學ノ歷史ハ直ヲニ之ヲ人心ノ歷史ト稱ス可キノミ

是故ニ史家若シ單ニ人事ノ實迹ヲ叙述シ而テ少モ當時理學ノ狀態ニ及ハサルキハ其棄ク所特ニ皮表ニ止マリテ事實ノ由リテ起ル所ハ之ヲ知ルヿヲ得ルニ由末シ他無シ凡ソ人事ノ變ハ皆之ヲ催起スル所ノ原因有ルヲ以テナリ

大凡ソ理學家倡說スル所ノ旨趣ヲ講求スルキハ其狀宛カモ吾人ヲ導テ迴カニ人事ノ實境ヲ出テ、一種空靈ノ別天地ニ入ラシムルカ如キモ其實ハ然ラスシテ眞ノ人事ノ活潑有爲ノ處ヲ洞見セント欲セハ理學ヲ講求スルニ如クハ莫シ何トナレハ人事ノ活潑有爲ノ迹ハ正ニ人心ノ中ヨリ發シテ而テ人心ナル者ハ知ラス識ラス萬事ニ係リテ最高層ノ極致ニ達スルヿヲ以テ目的ト爲スカ故ナリ更ニ之ヲ言ハンニ曰ク行爲ノ歷史ハ必ス旨趣ノ

歷史ニ賴ルニ非サレハ其所以ヲ知ル可ラス

抑古今理學ノ說ク紛々擾々其幾何種ナルヲ知ラサルヿ之ヲ歷史ニ徵シテ明ナリ而テ其是ノ如クナリシハ已ムヿヲ得サルノ理ニシテ理學ノ大體ニ於テ亦極テ益有リ何ソヤ學士タル者其眞理ヲ望視スルニ於テ其立脚ノ地各異ナルヲ以テ其見ル所モ亦各々異ナルハ自然ノ勢ナリ是ニ於テ甲ノ觀ル所ハ乙或ハ之ヲ觀ルヿ能ハス乙ノ觀ル所ハ甲或ハ亦之ヲ觀ルヿ能ハス是ノ如クニシテ底止ス可ラサルニ至ル然レ𪜈諸說ノ相異ナルハ適ニ學士ヲシテ自ラ其見ル所ノ未タ眞理ノ全體ト爲ス可ラサルヿヲ悟リテ益〻舊ヲ棄テ新ヲ圖ルノ念ヲ生シ其益有ル所以ナリ

古今理學ノ諸說是ノ如ク其蕃シト雖モ其全ク人心ヲ服シテ遺憾無キニ足ル者ハ未タ嘗テ之ヲ見ス是ヲ以テ諸家ノ相競フテ前人ノ未タ發セサル所ヲ發スルヿヲ求ムルハ極テ欠ク可ラサルノ事ナリ然レ𪜈諸說ノ中隱然相同キ者亦之ソ無シト爲サス又其相反スルカ如キ者ニシテ實ニ然ラサ

ル者亦之レ有リ顧フニ凡ソ此ノ如キ者ハ漸次ニ相合シテ一ヲ爲サシムルヿ亦學士ノ尤モ當ニ務ム可キ所ナリ

大凡ソ旨趣ノ規模狹隘ナル者ハ其中理ニ合スル者有ルモ多クハ其規模ノ闊博ナル者ノ中ニ於テ相同キ者有ルヲ見ルヿ是ニ知ル理學ノ進歩ハ他ニ非スシテ正ニ諸說中相同キ者ハ漸次ニ調諧均齊シテ一體ヲ相爲シ大ナル者ハ小ナル者ヲ容受シ高キ者ハ卑キ者ヲ引扳シ是ノ如クニシテ常ニ必ス他ニ超越スル所ノ一說ヲ相爲スニ在リ而テ凡ソ此ノ如キ者ハ理學ノ諸部ニ於テ皆肝要ナリト雖モ其高層ノ部卽チ推測ノ方法ニ據ルノ部ニ係リテハ更ニ肝要ナリ卽チ理學ノ歷史ヲ叙スル者ハ正ニ此調諧均齊ノ功ヲ務メテ以テ理學ノ進歩ヲ叙シ條目ニ粲然タラシムルニ在リ

理學ノ歷史ヲ叙セント欲スル者ハ必ス二長ヲ合セサル可ラス曰ク諸家ノ說ニ就テ其深旨ノ在ル所ヲ知ルナリ曰ク諸家ノ說ヲ評隲スルニ於テ輕重ヲ失ハサルナリ

諸家ノ說ニ就テ其深旨ノ在ル所ヲ知ラント欲セハ史家當ニ務テ身ヲ其人ノ地ニ置ク可シ自家一己ノ見ヲ執リテ之ヲ守ルコトヲ得ス若シ然ラサルトキハ其失ヤ猶ホ星官家ニシテ其望遠ノ鏡ヲ執リ巴理ノ象臺ニ在リテ望視シテ以テ紐約克ノ象臺ヨリ望ム所ノ天象ヲ得ント欲スルカ如シ古今理學ノ史ヲ論スル者往々此謬ニ陷イルヲ免レス蓋シ自ラ成說ヲ持シテ以爲ラク唯是ノ如クニシテ以テ眞理ノ全體ヲ得可シト猶ホ彼ノ星學家ノ己ノ倚ル所ノ象臺ヲ以テ世界ノ正中ト爲スカ如シ其得ル所豈爽ハサルヲ獲ンヤ

此輩ノ史ヲ論スルヤ苟モ其所見己ト同シカラサルカ或ハ己ノ執ル所ノ旨趣ヲ以テ純然ノ至理ト爲サヽル者ハ口ヲ極メテ之ヲ攻擊シテ以爲ラク盲瞽ニシテ理ヲ見ルコト能ハスト夫レ此輩ノ據ル所ノ方法ノ如キハ凡ソ史家タル者故サラニ他人ノ說ヲ放過シテ之ヲ窮究スルノ勞ヲ避クルニ於テ極テ便ナリト謂フ可シ是ノ如キ者ハ余ノ尤モ取ラサル所ナリ

眞ノ史家タル者ハ正ニ當ニ此輩ノ爲ス所ニ反シテ務テ氣ヲ虛クシ心ヲ平ニスルコトヲ求ム可シ夫レ然ル後評鑒始メテ公正ナルコトヲ得ン

諸家ノ說ヲ講求スルニ方リ務テ我カ見ヲ去リ宛モ己レナル者無キ者ノ如クシ甲某ノ旨趣ヲ講スルトキハ一時之ト一體ヲ爲シ乙某ノ旨趣ヲ講スルモ亦此ノ如クシ己レ常ニ其講求スル所ノ論者ト與倶ニ其思フ所ヲ思ヒ又其之ヲ講求スルニ於テ己レノ心力ヲ竭スコト猶ホ當時論者ノ方ニ其思ヲ構セシ時ノ如ク力ノ及フ所務メテ論者ノ本旨ノ在ル所ヲ搜抉シテ其蘊ヲ極ムルコトヲ却テ論者ノ未タ及ハサリシ所ニ達スルコトヲ求ム可シ

史家若シ意ヲ用フルコト茲ニ云フ所ノ如クセント欲スルトキハ當ニ務メテ論者ノ說ノ大旨ヲ搜抉シテ之ヲ叙スル可シ專ラ意ヲ其文章字句ノ間ニ局スルコトヲ得ス又其說自ラ兩部有リテ其一ハ第一乘ノ義ヲ主トシテ其一ハ第二乘以下ノ義ヲ主トスルトキハ當ニ意ヲ其高キ者ニ留ム可シ若夫レ其卑キ者ハ或ハ之ヲ忽諸ニスルモ可ナリ何トナレハ其高キ者ハ論者ノ最モ思ヲ致

ス所ノ處ニシテ其說ノ全體ノ旨ト及ヒ歸著スル所ノ目的トハ必ス此ニ在リテ彼レニ在ラサレハナリ

アリストット言ヘル有リ曰ク凡ソ有生物ノ眞ノ性質ヲ知ラント欲セハ決テ其初生ノ時、血氣未タ全ク發舒セサルノ時ニ於テス可ラス唯當ニ其體力全ク遂長シテ乃チ其美觀ヲ極ムルノ候ニ於テス可シ何ソヤ生物ノ眞ノ性質ハ其畢生ノ中ノ甲時若クハ乙時ニ發達スルニ非スシテ其血氣方ニ盛ナルノ時ニ發達スレハナリ

又曰ク人類ノ人類タル所以モ亦此ノ如シ其初生ニ在リテハ蠢爾トシテ他ノ動物ト殆ト異ナルコ無シ故ニ人ノ人タル所以ヲ研究セント欲セハ既ニ初生蠢爾ノ候ニ於テス可ラス亦其擁腫佝僂ノ眞形ヲ成サヽル者ニ於テス可ラス ト願フニ人ノ智識ノ發達ノ如キモ自ラ其盛衰ノ候有リ卽チ學士ノ其說ヲ倡道スルニ於テモ必ス其思念ノ力最モ高層ニ達シテ其議論最モ意ヲ得ルノ時有リ是時ヤ正ニ是レ其人ノ眞ノ本色ノ發暢スルノ候ナリ故ニ

史家ノ理學士ニ於ケル當ニ其學士ノ此候ニ於テ倡說セシ所ヲ擧ケテ之ヲ評ス可シ其初年ノ說若クハ癈老ノ候ニ在リテ倡道セシ所ハ必ス之ヲ問ハスシテ可ナリ若夫レ年齒益〻進ミテ氣力益〻盛ヲ成シ自ラ其壯年ノ說ヲ改メテ之ヲ正セシ者ノ如キハ又此限ニ非サルノミ

顧フニ學士ニ在リテ是ノ如クシテ其神氣最モ其高層ノ度ニ達シテ其旨趣ヲ發揮スルニ於テ光明ニシテ些ノ蔽翳ヲ留メサルノ候ハ其思慮未タ暢達セサルノ時ニ比スレハ更ニ大ニ短シト爲ス是ヲ以テ其著書極テ浩瀚ナルモ其說ノ眞ノ美處ハ或ハ數段若クハ數節ノ中ニ在リテ餘ハ皆然ラサルコ往々之レ有リ此レ又理學ノ史ヲ論スル者ノ知ラサル可ラサル所ナリ

大凡ソ人ノ智見一タヒ其最高層ニ達スルニ及ヒ已レ久ク之ヲ持シテ失ハサラント欲スルモ或ハ得可ラス是ヲ以テ古今奇傑ノ士一時卓偉ノ見ヲ發シテ之ヲ論次シ旣ニシテ志氣頓ニ昏ヲ成シ復タ前日ノ比ニ非サルコ幾何人ナルヲ知ラス是故ニ史家若シ一大家ノ說ヲ講求セント欲スル者ハ當ニ

務メテ其人ノ智識最モ發暢セシ時ヲ撰擇シテ之ヲ論次スヘシ他無シ理學ノ說ヲ講スル者ハ其長處ニ就テ之ヲ尋究スルヤウニ比スレハ作者ノ心ヲ得ルコト更ニ明ナレハナリ理學ノ史家能ク此一著ニ得ル有ルヤウニハ論者ノ眞ノ相貌ヲ摸寫シテ而テ其相貌益〻美麗雄偉ナルヲ得ルヿ猶ホ畫家ノ豪傑ノ顏面ヲ描寫スルカ如シ夫レ畫家豪傑ノ顏面ヲ描寫スル者其鼻目ノ眞ヲ寫スヿヲ求ムルハ固ヨリナリ然レトモ其目的トスル所ハ幷セテ其意趣氣象ノ高亮ナル處ヲ形容スルニ在リ果シテ然ルヤウニハ其人ノ無爲無念ニシテ庸俗ト異ナルヿ無キノ候ヲ形容セン乎夫レ豪傑ノ士モ亦人ナリ其畢生ノ間心ヲ設クルヿ庸俗ト異ナラサル時候モ亦固ヨリ無シト爲サス是ハ則チ其卓偉ノ志氣姑ク中ニ潛ミテ知ラス識ラス外物ノ爲メニ束縛セラレテ眞ニ其自由活潑ノ性ヲ發揮スルコト能ハサルノ時ナリ然ルヲ畫家タル者此時候ヲ撰擇シテ其顏面ヲ形容シテ曰ク吾レ能ク誰某ノ貌ヲ描テ眞ニ逼レリト殊ニ知ラス是ノ如キ者ハ豪傑ノ本色ヲ寫

スヿ非スシテ正ニ適ニ其外物ノ爲メニ制抑セラルヽノ時ヲ寫スニ過キスシテ獨リ其描ク所實ニ近ヅカサルノミナラス亦雄麗卓偉ノ觀ニ欠クルヿヲ」是故ニ畫家豪傑ノ貌ヲ圖スル者ハ其畢生ノ事業ニ就テ其最モ自己ノ本色ヲ發揮シ活潑敢爲ノ氣象ヲ奮ヒ美麗ノ觀ハ氣象ノ活潑ナルニ存シテ而シテ氣象ノ活潑ナルハ自己固有ノ姿質ヲ暢宣スルニ在レハナリ

理學史家ノ業ニ於テ大家ノ說ヲ叙寫スルモ亦當ニ此ノ如クス可キナリ凡ソ其著ハス所ノ書ヲ通習シ其最モ其人天性絶特ノ徽ヲ取ルニ足ル可キ所ヲ擇取シテ之ヲ舉クルニハ餘ハ從フテ推ス可キナリ蓋シ凡ソ賞鑒家タル者ハ其理學ニ於ケルト文藝ノ作物ニ於ケルト其目的大ニ相類スル所有リ何ソヤ其長處ヲ詳ニシテ其短處ヲ略シ其美麗ノ處ヲ擧ケテ其麁醜ノ處ヲ舍クヿ是ノミ

史家既ニ此ノ如クニシテ論者ノ本旨ノ在ル所ヲ叙寫スルヿヲ主トスルニ

ハ評隲ノ方法ハ自然ニ其中ヨリ出テン何ソヤ我レ既ニ一理學家ノ說ニ就テ詳ニ之ヲ解釋シテ遺蘊無キヲハ是レ其評鷺ニ於ケル既已ニ半ヲ得レハナリ是ニ於テ古今若干數理學士ノ列ニ在リテ是人ノ果シテ其上流ニ居ル可キト否ラサルトハ復タ心ヲ勞セスシテ知ル可キナリ

人往々云ヘリ理學士ノ諸說中一モ悖理ノ言無キ者無シト因リテ此レヲ以テ之ヲ貶毀セント欲ス余ハ則チ言フ然ラス其謂テ悖理ト爲ス所ハ多クハ謬見タルニ過キス而テ所謂謬見ハ多クハ物ヲ觀ルノ情庸衆ト同シカラサルニ由リテ生シテ細ニ之ヲ察スルヲハ理義ノ未タ完全ナラサル者ナルノミ夫レ理義ノ完全ナラサル者ハ苟モ之ヲ其列ヲ保ツ可ラサル無シ彼レ完全ナラスト雖モ亦畢竟理義ノ屬ナレハナリ故ニ此種ノ謬見ハ決テ謂テ悖理ト爲スヲ得サルナリ

凡ソ理學ノ諸說ヲ評定スルノ法式ハ兩部ヲ以テ成ル一ハ誤謬ヲ改正スルナリ一ハ眞理ノ相反スルカ如キ者ヲ合シテ相適セシムルナリ以下之ヲ論

セン

所謂誤謬ハ亦兩種有リ一ハ本旨ヲ收結スルノ間ニ生スル者ニシテ亦之ヲ當用ノ謬ト曰フ一ハ本旨ノ中含包スル所ノ謬ナリ

爰ニ一例ヲ擧ケンニオップノ說ニ以爲ラク社會ノ利益ハ務テ强力ヲ用ヒテ之ヲ護持シテ相離レサラシム可シト因リテ其論ヲ收結シテ乃チ言フ故ニ社會ノ利益ハ專制ノ最モ純ナル者ヲ主トスルニ在リト顧フニ此說ヤ縱令利益ヲ以テ社會ノ本旨ト爲スモ其所謂專制ノ政ヲ用フルカ如キハ謬ト爲サヽルヲ得ス何ソヤ專制ノ政ハ決テ社會ノ利益ヲ護持スルニ足ラスシテ唯自由ノ制度以テ之ヲ護持ス可ケレハナリ

凡ソ此ノ如キ者ハ所謂議論ノ謬ニシテ其本旨ヲ實際ニ當擬スルノ間知ラス識ラス發スル者ナリ此種ノ謬ヲ正サント欲スルトキハ必ス論者ノ本旨ノ外ニ出テヽ乃チ他ノ理學士ノ說ヲ假リテ之ヲ攻擊スルニヲ要スル平然ラサルナリ凡ソ議論ノ謬ノ類ヲ改正スル者ハ正ニ論者ノ本旨ヲ提出シテ之

チ攻撃スルニ如カサルナリ卽チオツプノ本旨ヲ取リ此ヲ以テ兵器ト爲シテ乃チ曰フ可シ吾子言フ社會ハ當ニ最大利益ヲ以テ目的ト爲ス可シト是レ吾子ノ本旨ナリ然ルニ此本旨ヲ達スルニ於テ決シテ吾子ノ云フ所ノ專制ノ政ヲ用フ可ラスシテ正ニ自由ノ制度ヲ用フ可キナリト是ノ如クニシテ改正ヲ加フルヲ必ス此處ニ係リテ改正ヲ加フ可キナリト是ノ如クニシテ改正ヲ加フルヲハ以テ論者ノ說ヲ壞裂スルニ至ラスシテ其レヲシテ益〻完備ノ地ニ趣カシムルヲ得可シ

凡ソ此ノ如クニシテ論者ノ收結ノ意趣ニ就テ改正ヲ加フルハ猶ホ算數家ニ在リテ加減乘除ノ誤ヲ正シテ以テ其數ヲ完クスルカ如シ且ツヤ凡ソ當用ノ謬ハ其本旨ニ於テ初ヨリ害スル所有ルニ非スシテ吾人之ヲ攻擊スルモ決シテ其本旨ヲ壞ルト爲スコヲ得ス卽チ算數家ノ加減乘除ノ謬ノ如キモ其加法ヲ用ヒ若クハ減法ヲ用フルノ意本ト謬有ルニ非スシテ唯實地手ヲ下スノ際誤テ添減スル所有ルニ坐スルノミ

然リ而テ古來理學ノ史ヲ叙スル者往々是意ニ得スシテ他人ノ說ニ係リ其當用ノ謬誤ヲ攻擊シテ自ラ以爲ラク吾レ能ク某說ヲ論破シテ其レヲシテ地ニ墜チシメタリト謂フ可シ卽チオツプノ說ノ如キモ人往々其專制ノ說ヲ攻擊シテ以テ辨護ヲ衒燿シテ自ラ得計ト爲ス者有リ殊ニ知ラス本旨ノ當用ヲ攻擊スルモ決テ此レヲ以テ本旨　攻擊セシト爲ス可ラサルヿヲ

夫レ理學ノ史家古人ノ說ニ就テ其議論ノ謬ヲ攻擊シテ以爲ラク我レ能ク之ヲ摧破セリト而テ後來繼テ起ル者同一ノ旨趣ヲ守リ獨リ其議論ノ謬ヲ除キ前後極テ整齊ナラシメテ其說ノ堅牢ナルヿ大ニ前ニ勝サルヿ古今往々之レ有リ卽チベンザム、スチュアール、ミルノ如キ是ナリ此兩人皆オツプノ專制ヲ主張セシニ傚ハスシテ頗ル自由ノ制ヲ論スルヤ復タオツプノ利益ノ旨趣ヲ祖述シテ而テ其制度ヲ論スルヤ復タオツプノ專制ヲ主張セシニ傚ハスシテ頗ル自由ノ制ノ益有ルヿヲ明ニセリ

是故ニ凡ソ理學ノ一說ニ就テ其本旨ニ係ラサル所ノ謬見ヲ攻擊スルモ決

シテ此レヲ以テ其全説ヲ擺破セシト爲スヿ可ラス シテ反リテ其説ヲ更ニ精粹ナルヿヲ得セシムル且ツ凡ソ理學ノ説ヲ批評スル者ハ其意初ヨリ之ヲ攻撃スルニ在ラスシテ正ニ其本旨ヲ提出シテ之カ謬誤ヲ改正スルニ在ルノミ是ノ如クニシテ前人ノ説ヲ改ムル者ハ其旨趣タル畢竟摧破ニ在ラスシテ祇補ニ在リテ他人ノ説ヲ講求シテ爲メニ之ヲ整理シテ其人ノ未タ及ハサリシ所ニ透徹シテ後已ム是レ批評家ノ最良法ナリ

夫レ既ニ是ノ如クニシテ謬誤ヲ改正シテ其説前後整齊ナルヲ得ルトキハ當ニ進ミテ其本旨ニ就テ細ニ點檢ヲ加フヿ可シ是時ニ在リテハ言辭及ヒ章句ノ旨趣ニ係ル謬迷及ヒ一切枝葉ニ渉ル錯誤ノ類ハ之ヲ指摘スルモ益無クシテ苟モ其説ノ本根ニ於テ攻撃シ得テ遺憾無キニ非サレハ未タ得タリトハ爲スニ足ラサルナリ

然レハ則チ理學ノ一説ニ就テ其本旨ヲ點檢セント欲スル者ハ當ニ何ノ法式トス可キ所有ル乎曰ク凡ソ理學ノ説ノ本旨ヲ爲ス所ノ者ハ必ス一事實

若クハ一旨義ノ若干個直チニ有シテ乃チ眞理ノ若干部ヲ有スル者ナリ他無シ純然悖理ノ事ハ論者初ヨリ之ヲ本旨トスルノ理無ケレハナリ他無シ純然悖理ノ事ヲ以テ本旨トスル理學ハ其存シテ今ニ至ルノ理無ケレハナリ是故ニ一切本旨ノ謬誤ハ純然ノ謬誤ニ非スシテ若干ノ眞理ヲ以テ眞理ノ全體ト爲ルニ坐スル者ナリ

凡ソ此ノ如キ者ハ皆事物ノ一部ヲ觀察シテ獲ル所ニシテ論者ニ於テ認メテ以テ全體ヲ得タリト爲スニ因ル之ヲ例ヘハローシフコールノ利己ノ説ノ如シ又物ニ就キ獨リ一旨義ヲ得且ツ此旨義ヲ把リテ妄リニ之ヲ張大ニシ然後此ヲ以テ眞理ト爲スニ因ル即チ面積ヲ以テ有形物ノ本質ト爲シ思念ヲ以テ精神ノ本質ト爲スカ如キハ皆所謂本旨ニ係ル謬誤ナリ

然レハ則チ此種ノ謬誤ヲ攻撃セント欲セハ如何シテ可ナラン曰ク當ニ明ニ其論者ノ認メテ眞理ト爲ス所ノ者ハ眞理ノ若干部ニシテ其全體ニ非サルヿヲ示メシ可シ然ルニ凡ソ一眞理ノ果シテ全體ニ非サルヿヲ示サント

欲スル者ハ必ス他ノ眞理ヲ把リ來リ之ト合シテ一ノ完全ナル者ヲ得テ方サニ可ナリ若シ然ラサル片ハ我ノ議論如何ニ縝密ナルカ如キモ事實ヲ講明スルニ於テ些ノ益無キヲ致サン

以上論スル所ノ旨趣ヲ推シ理學ノ本旨トスル所ヲ論難スルニ於テ吾儕茲ニ原則ノ一句アリテ而シテ此學ニ深カラサル者ハ或ハ遽ニ其奇怪ナルニ驚ク有ラン所謂原則ノ一句トハ何ソヤ曰ク凡ソ理學ノ諸說ヲ攻擊シテ能ク肯綮ニ中リ以テ此學ニ功有ラントスル片ハ其說中理ニ合スル所ノ者ヲ提出シテ用テ之ヲ攻擊ス可シ請フ細ニ之ヲ論セン

抑〻余カ茲ニ所謂攻擊トハ作者ノ說ヲ摧破シテ地ニ墮チシムルノ謂ニ非ス シテ正ニ其レヲシテ益〻精粹ニ赴カシムルノ謂ナリ故ニ之ヲ攻擊ト謂フヨリハ之ヲ補助ト謂フノ愈レリト爲スニ如カサルナリ

夫レ學士一理ヲ得ル有リテ以爲ラク是レ理ノ全體ナリト是ニ於テ吾儕ハ則チ將ニ曰ハントス公ノ云フ所ハ理ハ則チ理ナリ然レ𪜈此レヲ以テ能ク

凡ソ智慧ノ識ル所ヲ盡クシテ能ク凡ソ事實ノ呈スル所ヲ該スルト爲スハ非ナリト卽チ夫ノ面積及ヒ面積ノ比較ノ變ノ說ノ如キ理ニ合セサルニ非スト雖モ抑〻未タ此ヲ以テ凡ソ智慧ノ識ル所ト凡ソ事物ノ呈スル所トヲ究盡スト爲ス可ラサルナリ故ニ此說ハ終ニ算數ニ係ル所ノ分子ノ理ニ於テ足ラサル所有ルヲ免レス

是故ニ理學ノ說ヲ攻擊スル者ハ初ヨリ之ヲ摧破スルニ非スシテ正ニ爲メニ之ヲ改正シ及ヒ之ヲ他ノ一說ノ更ニ闊大ニシテ更ニ人智ヲ服スルニ足ル者ノ中ニ延納シテ之ヲ混化スルニ在リ此レ理學史家ノ最良法ナリ

試ニ古來人事ノ變ニ就テ考察セヨ凡ソ一族類ノ民ノ他ノ族類ノ民ト戰フテ勝ツ者ハ之ヲ降シ之ヲ納レ以テ之ヲ我カ族類ノ中ニ混融シテ同一邦民ト爲シテ後方サニ眞ノ勝ト爲スコトヲ得初ヨリ之ヲ殲スコトヲ主トスルニ非サルナリ理學ノ說ヲ攻擊スルモ亦猶ホ此ノ如シ之ヲ壓粉スルヲ以テ勝利ヲ獲ルト爲スニ非スシテ唯之ヲ調整完補シテ方ニ始テ勝利ト爲スノミ凡

ソ此ノ如クニシテ衆説ヲ會萃シテ之ヲ調諧セント欲スル者ハ當ニ先ツ衆異説ノ中ニ於テ相通シテ容受スルヿヲ得可キ所ノ者ヲ搜索シテ遺ス所無カル可シ夫レ然ル後其容受セルヿヲ得可ラサル者モ徐々ニ之ヲ容受セシムルヿヲ得ルニ至ラン

是故ニ爰ニ兩説有ランニ我レ務メテ其相同キ所ノ處ヲ看破シ因リテ二説ヲシテ相近接スルヿヲ得セシメ又其終ニ相同シカラシムルヿヲ得可ラサル所ノ處ヲ認識スルトキハ當ニ自ラ深思シテ曰フ可シ今此二説ヲシテ各〻益〻其旨趣トスルヿヲ進メテ其到ル處ヲ極メシムルトキハ其循フ所ノ塗轍相殊ナルモ或ハ漸次ニ相近ツキテ其末ヤ或ハ一處ニ歸著スルニ至ルヿ無キヲ得ン乎ト此レハ是レ最後ノ一方ナリ

今物我因應ノ説ヲ主トスル道德ト意欲ノ自由ヲ主トスル道德トノ如キハ其旨趣正ニ相反スルカ如キモ若シ各々其循フ所ノ路ニ向フテ益〻進往シ中塗ニシテ邪逕ニ迷フヿ無キトキハ或ハ其歸ヲ同クスルヿヲ得ルモ未タ知ル可

ラサルナリ

又此等ノ説ヲシテ速ニ其歸ヲ一ニセシメント欲スルトキハ當ニ務メテ兩説ノ各〻執ル所ノ旨義ノ間ニ於テ一種其衷ヲ折スル旨義ヲ見得スルヿヲ求ム可シ庶幾ハクハ其相合スルヿ更ニ速ナルヿヲ得ン

今物我因應ノ説ヲ執ル者ハ心性ノ自由ヲ棄ル者ナリ意欲ノ説ヲ執ル者ハ正ニ心性ノ自由ヲ主トスル者ナリ或ハ此因應ノ旨義ト意欲ノ旨義トノ間更ニ一旨義ノ此二者ノ衷ヲ折スル者有リテ此兩家並ニ之ヲ採用スルヿヲ得ルヿ無キ乎則チ意欲ノ自由ノ旨義ノ如キハ我儕常々此旨義ヲ提撕シテ之ヲ思念シ是ノ如クニシテ久キヲ經テ一種ノ貫習ヲ爲スニ至ルトキハ此旨義ノ能ク我カ情欲ヲ制スルヿ猶ホ現ニ意欲ノ自由有ルカ如クナラン顧フニ此一事ヤ意欲ノ自由ヲ倡フル者ト因應ヲ倡フル者ト並ニ之ヲ然リトス此レ正ニ余カ所謂中間ノ一旨義ナリ

又因應ノ説ヲ執ル者ト意欲ノ説ヲ執ル者トニ論無ク我カ心ノ果ヲ自由ニ

シテ能ク情欲ヲ制スルヿヲ願欲スルヿハ則チ一ナリ故ニ自由ノ願欲モ亦所謂中間ノ一旨義ナリ然レハ則チ此兩個ノ旨義ノ如キハ因應派ト自由派トヲシテ相近ツカシムルニ於テ最良法ト謂フ可キナリ

此ノ如クニシテ吾人務メテ多ク此種ノ旨義ヲ得テ之ヲ兩說ノ中ニ延納スルヿハ漸次ニ兩說相隔タル所ノ距離ヲ減却シテ其末ヤ或ハ全ク之ヲ一ニスルヿヲ得ン

此法ニ據リテ衆異說ヲ論評スルヿハ此レ等異說ヲ重疊シ之ヲ構架シテ以テ一大厦屋ヲ建立スルカ如クナルヿヲ得テ各說皆其居ル可キ所ノ處ニ居テ凡ソ各說相通シテ有ス可キ所ノ旨義ハ皆之ヲ有スルヿヲ得ン

理學ノ史家一ク ヒ此方法ニ由リテ諸說ヲ整理スルヿハ各〻其有スル所ノ眞理ノ高下ノ度ニ隨ヒテ其說ノ高下ヲ定ムルヿヲ得ン此ハ是レ直チニ事實ニ就テ智慧ノ進歩ヲ表發スル者ナリ

是ノ如クニシテ衆說ノ高下ヲ定メント欲セハ先ツ一說ニ就テ其傾嚮スル所ノ尤モ深奥ノ旨趣ヲ求メテ之ヲ得ルヿヲ要ス卽チ純然實質派ノ說ノ如キハ其旨トスル所ノ最モ高層ト爲ス可キハ果シテ何ノ處ニ在ル乎是レ尤モ當ニ首ニ之ヲ求ム可キナリ

學者既ニ實質派理學ノ全體ニ係リ其最高層ノ旨趣ヲ得ルヿハ當ニ之ニ繼テ尋究ス可キ一事有リ乃チ當ニ自ラ問フテ曰フ可シ此派ニ係ル最高層ノ旨趣ハ或ハ現ニ他ノ一派ノ說卽チ虛靈派ノ說中ニ存スルニ非サル乎ト若シ果シテ然ルヿハ是レ實質派ノ理學ハ虛靈派ノ理學ニ比シテ其度級卑下ナルヲ以テ必ス虛靈派ノ理學ノ中ニ入リテ後方サニ完全ナルヿヲ得ル者ナリ今ノ所謂實質派ノ理學ハ現ニ余カ茲ニ云フ所ノ如キ者有リ此レ正ニ事理已ムヿヲ得サルノ勢ナリ請フ之ヲ言ハン

夫レ今ノ所謂純然實質ノ說ヲ倡フル者ハ皆物理學ヲ以テ本根ト爲ス者ナリ而シテ之ヲ窮究スルヿハ物理ノ學ハ機關ノ學ニ歸結シ機關ノ學ハ算數ノ學ニ歸結シ算數ノ學ハ論理ノ學ニ歸結ス是ナリ然ルニ所謂論理ノ學ハ

必ス無形ノ旨義ニ係ル衆理有リテ之ヲ統フル者ナリ
是ニ由リテ之ヲ觀レハ實質派ノ理學ハ其益〻進暢シテ其高層ノ處ニ達スルニ及ヒテハ必ス他ノ一說ノ更ニ高遠ナル者ノ中ニ歸入シテ後已ム者ナリ他無シ此ノ如クナラサルヿハ由リテ自ラ完成ス可キ無ケレハナリ他ノ一說ノ更ニ高遠ナル者トハ何ソヤ曰ク虛靈派ノ理學卽チ是ノミ
又虛靈派ノ理學モ其備フ所ノ軌塗ニ向フテ益〻進ムヿハ其勢必ス世界萬物ニ係ル最後ノ一問題ニ歸結セザレハ自ラ已ムヿ能ハス然リ而テ一切ノ玄妙空靈ニシテ事實ト涉ラサル旨義ハ以テ世界萬物ヲ經緯スルニ足ラスシテ終ニ凡ソ旨義ノ類ヲ思念シ及ヒ之ヲ了解スル所ノ智慧ノ中ニ於テ始メテ活潑有爲ノ旨義ノ存スルヿヲ見ル而シテ所謂智慧ハ又意欲ヲ外ニシテ之ヲ解ス可ラサル者ナリ是ニ知ル凡ソ旨義ノ類ヲ序列シテ以テ事物ヲ解釋スルハ空幻ニシテ實迹ト背馳スルヿ免レスシテ意欲ノ活潑ナル處ニ由リテ之ヲ解シテ始メテ實ヲ得可シ是ハ則チ虛靈派ノ理學ハ又意欲ノ自

由ヲ主トスル說中ニ入リテ方ニ自ラ完成スト謂フ可シ
夫レ此ノ如クニシテ一說ヨリ上リテ他ノ一說ニ入リ益〻進ミテ已ムヿ無キヿ是レ所謂理學ノ進歩ナリ而シテ歷史ニ徵スルヿハ諸說ニ係ル理論ノ進歩ト諸說ノ事迹ニ係ル進歩トノ現ニ相合スルヿヲ見ル何ノ謂ソヤ曰ク實質派ノ理學ノ如キハ現ニ變遷シテ虛靈ノ一派ニ歸入スルヿ學者ノ遍ク知ル所ナリ然レハ則チ理學諸說ノ實迹ニ徵スルモ亦衆說ノ高下チ定ムルノ一手段ナリト謂フ可シ
以上論スル所ハ衆說ノ旨趣ノ高下ニ隨フテ之ヲ評定スルノ法ナリ而シテ又規模ノ廣狹ニ隨フテ之ヲ評定スルノ法有リ請フ之ヲ論セン
抑〻理學諸說ノ中區域極メテ狹小ニシテ容納スル所極メテ寡少ナル者有リ又其規模頗ル宏博ニシテ萬物ヲ擧ケテ殆ト之ヲ容レサル莫キ者有リ然ルニ規模ノ愈〻大ナル者ハ愈〻眞理ノ全ニ近キヲ知ル何トナレハ理學ノ極致ハ務メテ其見識ヲ洞開シテ凡ソ古今有ル所ノ諸說ヲ容受シテ一モ之ヲ漏サ

ザルニ在リ眞理ノ衆說ノ中ニ散在スル有ルカ爲メナリ

顧フニ吾人一日理學ノ此極致ニ透達シテ眞ニ萬物ノ全ヲ擧ケテ之ヲ遺サザルヿハ或ハ終ニ望ム可ラス然レ𪜈之ヲ要スルニ此極致ハ吾人ノ固ヨリ理會スル所ナルヲ以テ苟モ理學ヲ修ムル者ハ皆意ヲ是ニ留ム可キナリ

縱令吾人未タ遽ニ此極致ニ達スル能ハサルモ漸次ニ進ミテ之ニ近接スルヿヲ求ムルヿハ必スシモ爲スヿヲ得可ラサルニ非サルナリ果シテ然ルキハ凡ソ理學ノ說ヲ評騭スルニ於テ其法則ヲ取ル可キハ規模ノ狹隘ナル者ニ在ラスシテ其宏博ナル者ニ在ルヿハ固ヨリ言ヲ待タス

是故ニ理學ノ說其境域愈〻博大ニシテ而シテ其論スル所愈〻事實ニ適切ナルキハ愈〻其無限ノ眞理ニ隣近ナルヿヲ徵ス可シ吾儕是ヲ以テ一說ヲ論スル毎ニ當ニ曰フ可シ此ハ是レ眞理ノ全ニ非ス然レ𪜈是中亦吾儕ノ光明ヲ爲ス所ノ彩輝ト吾儕ノ愛情ヲ發スル所ノ理義ト在ル有リト

吾儕當ニ某說ハ理ナリ某說ハ謬ナリト曰フテ直チニ之ヲ決ス可ラスシテ當ニ曰フ可シ某說ハ取ル所更ニ大ニ捨ル所更ニ少ナルヲ以テ其更ニ理ニ近キヲ知ル某說ハ之ニ反ス故ニ其理ヲ合スル者更ニ少キヲ見ルト

レイプニッツ言ヘル有リ曰ク凡ソ理學ノ諸說其容受スル所ニ就テ言フキハ皆理ニ合シテ而シテ其排斥スル所ニ就テ言フキハ皆合セストノ說有ル哉其之ヲ言フヤ

夫レ吾人ノ心力ヲ竭シテ夫ノ宏博至大ノ理學ヲ求索スルヲ以テ吾人人類ノ光譽ト爲ス可シ而テ此至大ノ理學ハ決シテ一旨趣ニ限ル所ノ者ニ就テ之ヲ求ム可ラスシテ當ニ諸說ノ全ヲ合セテ然ル後方サニ之ヲ得可キノミ若シ吾人深ク此意ヲ體セサルキハ其弊ヤ必ス一種狹隘ノ壘ニ據守シ四面皆敵ニシテ一モ容納スル無ク身死スルノ後其說モ亦他ノ狹隘ノ說ト俱ニ亡ヒテ殆ト述ヲ留メサルニ至ラン

若シ然ラスシテ吾儕果シテプラトン及ヒレイプニッツノ言ヲ信スルキハ吾

儕當ニ務テ愼戒ス可キ所ノ弊事蓋シ二有リ曰ク懷疑家ノ爲ニ倣フテ萬事ニ就テ藐焉トシテ意ヲ留メサルヿ一弊ナリ曰ク論定家ノ爲ニ倣フテ他人ノ說ヲ駁スルヿ太甚ナルヿ二弊ナリプラトンレイプニット皆言フ眞理ナル者ハ本ト吾人ノ精神中ニ儼存スル者ナリ然レモ其物タル廣大ニシテ常ニ吾人現時ノ識ニ踰ユルヿ萬々ニシテ遽ニ之ヲ窮ム可キニ非スト理學士タル者此言ニ味フキハ當ニ務テ三ノ規條ヲ守ル可シ一ニ曰ク無限ノ眞理ヲ愛スルナリ二ニ曰ク此眞理ノ現ニ世ニ存スルヿヲ信スルナリ三ニ曰ク常々此眞理ニ近接スルヿヲ冀望スルナリ顧フニ此三規條ハ之ヲ理學士ノ三德ト謂フモ可ナリ

理學ノ史ヲ講スル者ハ茲ニ云フ所ノ三德ノ外更ニ又二德ヲ具ヘサル可ラス何ノ謂ソヤ曰ク古來諸種ノ說ヲ評定スルニ於テ務テ公正ノ見ヲ守リテ妄リニ軒輊スル所無ク又諸大家ヲ愛親シテ視テ兄弟ノ如クス可キナリ更ニ之ヲ言ヘハ公正ト友愛トノ德卽チ是ノミ

凡ソ諸家ノ中纔ニ眞理ノ一部ヲ把握シテ而シテ眞理ノ全ヲ得タルト稱シテ高ク自ラ標榜スル者有ルキハ史家當ニ其僭踰ノ罪ヲ正シ明カニ其說中缺クル所ノ者ヲ指摘シテ之ヲ證スルニ他ノ諸家ノ言フ所ヲ以テス可シ然レモ此種ノ駁正ハ史家ノ業ニ在リテ其功益極テ少キヿ以テ萬已ムヿヲ得サルノ時ニ非サレハ之ヲ行フ可ラス他無シ史家ノ業ハ唯論者ノ說ノ中眞ニ排斥ス可キ者ヲ視テ之ヲ排斥スルノミニシテ其本旨トスル所ハ務メテ諸家ノ說ヲシテ並ヒ行ハレテ悖ラサラシムルニ在リ此レ其業ノ最モ功益有ル所以ナリ

大凡ソ諸說ノ最モ相反スル者ト雖モ益〻其旨趣ヲ擴充シ各々ヲシテ其到ル所ヲ窮メシムルキハ其末ヤ往々相合シテ諧調スルヲ見ル之ヲ要スルニ人ノ所見ナル者ハ苟モ誠意ヨリ出ルキハ決シテ鄙トス可キニ非スシテ乃チプラトンノ言ノ如ク天下ノ最鄙ナル物モ皆所謂極致ノ影象ヲ反射セサル莫シ是故ニ史家タル者ハ極テ其胸腔ヲ豁開スルヿヲ要ス他無シ多ク容受セ

サレハ以テ多ク擇取ス可キ無キナリ

然リト雖モ所謂友愛ハ必ス分別スル所有ルコトヲ要ス然ラスシテ史家妄意ニ汎愛ノ情ニ狥ヒ諸家ノ說ヲ旁羅シテ一モ皃白スル所無キニ於テハ亦一種懷疑派ノ無情無心ニ肖似スルヲ致サン吾レ世俗ノ號シテ交際ニ巧ナリト稱スル者ヲ觀ルニ其衆賓ニ接スルヤ言辭狀貌宛然情實ヲ吐露スル所有ルニ非ス史家ノ衆理學士ニ於ケル豈宜ク此ノ如クナル可ケンヤ乎

是故ニ理學ノ史家ニ在リテ眞ノ汎愛ト稱ス可キハ其大本正ニ理義ヲ愛好シテ自ラ已ムコト能ハサル所ノ處ニ存シテ乃チ道學ノ旨趣ノ最モ高華ニシテ且ツ最モ溫和ナル者是レ卽チ理學士ノ當ニ法ヲ取ル可キ所ナリ所謂道學ノ旨趣トハ何ソヤ曰ク天下人々當ニ心ニ相愛ス可シト然ル所以ノ者ハ他無シ道學ノ諸法ハ夫ノ論理及ヒ物理ノ諸法ニ於テ隱然之カ根基ヲ爲シテ相離ル可ラサレハナリ

以上論スル所ハ卽チ余カ所謂調諧ノ法式ニシテ諸家ノ說ノ紛々タルモ此法式ニ由リテ之ヲ講究スルトキハ以テ各說ヲシテ可ク並ニ各說ヲシテ衆本旨ノ本旨トスル所ニ歸著セシム可シ

此ノ如クニシテ已レ先ツ立脚ノ地ヲ占メ然ル後諸家ノ說ヲ望視スルトキハ其旨趣各〻相殊ニシテ未タ遽カニ合ス可ラサルモ其狀態早ク已ニ蝸線ノ象ヲ呈シテ每線皆漸次ニ博大ヲ成シテ以テ世界萬彙ヲ包括セントスルカ如キヲ見ル蓋シ諸說中規模極テ狹小ニシテ理ヲ含ムコト極テ寡少ナル者有リ純然實質派ノ說ノ萬事ヲ舉ケテ之ヲ五官ノ感觸ニ歸スル者卽チ是ナリ其規模稍〻博大ナルモ猶ホ吾人精神ノ作用ノ中ニ就テ專ラ承受ノ性有ル者ヲ取リテ未タ進取ノ作用ニ透徹セサル者有リ虛靈派ノ說中單ニ論理ノ次序トノミ智慧ノ認識トヲ主張スル者卽チ是ナリ其規模最宏大ニシテ受容セサル所無ク且ツ一切限畫ノ類ヲ許サヽル者有リ虛靈派ノ說中意欲ノ自由ヲ主トスル者卽チ是ナリ

夫レ此說ヤ極テ高尙ニシテ一切他ノ諸說ヲ統屬シテ初ヨリ之ヲ摧破スルヿ無クシテ其レヲシテ更ニ其本旨ヨリ高キ所ノ本旨ニ從ハシム更ニ高キ本旨トハ何ソヤ自由ニシテ且ツ一切爲メニスル所無クシテ善ヲ行フノ意欲是ナリ蓋シ此本旨ハ凡ソ人類ノ躋登スルヿヲ得可キ所ノ最高層ノ巓ナリ是故ニ此一派ノ理學ハ之ヲ名ケテ意欲及ヒ自由ヲ以テ極致ト爲スノ理學ト曰フ

虛靈智慧ノ理學ハ實體五官ノ理學ニ比スレハ大ニ相勝サル者ナリ而テ虛靈自由ノ理學ハ虛靈智慧ノ理學ニ比スレハ又大ニ相勝サル者ナリ

然リト雖モ余カ所謂調諧ノ法式ハ之ヲ世ノ所謂折衷派ノ理學ト混同スルヿヲ得ス余ノ此派ノ理學ニ於ケルヤ其取ル可キ所ハ固ヨリ之ヲ採ルモ其大本迥カニ相異ナレリ請フ之ヲ言ハン

昔ハ「アレキザンドリー」派ノ學士輩モ亦從前ノ諸說ニ就テ其長ヲ取リ短ヲ捨テ因リテ其法式ヲ名ケテ折衷ト曰ヒキ後來レイプニットノ如キハ別ニ此

語ヲ口ニセスト雖モ亦其實ヲ履ミテ乃チ曰ク諸家ノ說中其善キ者ハ余固ヨリ之ヲ採摭セント欲ス云々然レ𪜈レイプニットハ是ノ如クニシテ專ラ前人ノ既ニ叙述セシ所ノ眞理ヲ裁緝シテ以テ一家ノ言ヲ成スヿヲ屑シトセス故ニ又曰ク理學士タル者ハ前人ノ說ニ於テ其善キ者ハ固ヨリ之ヲ取ルモ其務ムル所ハ前人ニ超過スルニ在リ云々レイプニットノ言當レリ

レイプニット明カニ一法式ノ能ク衆說ヲ會萃シテ之ヲ調諧シテ且ツ別ニ一機軸ヲ出スニ足ル可キ者ヲ發見スルノ極メテ緊要ナルヿヲ知レリ但惜ムラクハ未タ現ニ此法式ヲ發見スルニ及ハスシテ乃チ其所見ヲ叙スルニ係リテモ言論ノ式往々定規無キヲ免レサリキ然ル所以ノ者ハ他無シレイプニット氣宇極テ宏大ニシテ其學ヲ爲スヤ闃ハサル所無キヲ欲シ是ニ於テ遍ク諸家ノ說ヲ閱シテ甲ヨリ乙ニ涉リ丙ヨリ丁ヲ經宛然旅客ノ站驛ニ於ケルカ如クニシテ其間又往々自家獨得ノ見ヲ以テ之ニ雜ヘテ以テ一體ト爲スヿヲ求メリ此レ其言論ノ次序無キ所以ナリ之ヲ要スルニレイプニットノ理

學ハ衆說ト自己ノ說トヲ重疊セシニ過キスシテ理學諸部ノ緊ク相因ル所以ノ故ハ未タ之ヲ指摘スルニ及ハサリキ

近代ニ至リウィクトル、クーザン其日耳曼ヨリ還ルニ及ヒシェルリング、ヘッケル二家ノ旨趣ニ浸淫シテ又折衷ノ一派ヲ倡道シテ以爲ラク凡ソ理學ノ法式ハ諸家ノ說ヲ採摭スルニ存スト是ニ於テ其本旨トスル所ノ語有リ曰ク古今理學ニ係ル事項ハ諸家既已ニ論道シテ遺ス所無シ故ニ衆說ヲ點閱スルヲ須ヒスト是ニ於テ理學ノ全體ヲ擧ケテ之ヲ理學史ノ中ニ消融シテ意ヲ創シテ發見スルヿハ初ヨリ之ヲ意ニ嬰クルヿ無キニ至レリ

且ツヤウィクトル、クーザン其所謂折衷ノ語ヲ解シテ撰擇ノ義ト爲シテ而テ其撰擇ノ法式ノ如何タルヿハ曾テ之ヲ言說セスシテ乃チ其自ラ撰擇スル所ヲ觀ルニハ一モ規條有ルヿ無クシテ預メ其意ノ嚮フ所ノ一派ノ說ヲ擇取シ然後諸說中獨リ其擇フ所ノ說ニ適ス可キ者ヲ取リテ以テ一體ト爲セリ是ヲ以テ世人ウィクトル、クーザンノ理學ヲ稱シテ半虛靈說ノ半蘇古蘭派半日耳曼派ノ理學ト爲セリ

啻ニ此ノミナラスウィクトル、クーザンノ諸家ノ說ヲ點檢スルヤ其中包該スル所ノ眞理ヲ搜抉シテ之ヲ揚擢スルヿヲ務メスシテ專ラ其中夾帶スル所ノ謬見ト及ヒ其自ラ視テ謬見ト爲セシ所トヲ趨發シテ自ラ以テ得意ト爲セリ是ヲ以テ名ハ撰擇ト曰フト雖モ實ハ殆ト捐棄セサル所無キヲ致セリ」

ウィクトル、クーザンノ衆說ヲ攻擊スルヤ其旨大率皆淺薄ニシテ又其文ヲ屬スル往々雄辯ヲ馳セテ以テ自ラ夸ルノ態有リ蓋シ其論據トスル所ハ曰ク尋常明白ノ理ナリ是ニ於テ諸家ノ說中奇雋ニシテ其所謂尋常明白ノ理ニ合セサル者ハ皆一抹シテ之ヲ去レリ余故ニ曰ク是ノ如キ者ハ眞ニ尋常明白ノ理ニ據ルニ非スシテ直チニ專恣ノ權ニ據ル者ト謂フ可キノミ

ウィクトル、クーザン既ニ是ノ如クニシテ諸家ノ說ヲ斬伐シテ之ヲ戕殘シ然ル後其中僅々其意ニ適スル者ヲ採リ來リ意ニ任セテ之ヲ重疊シテ以爲ヘ

ラン此レ一完全ノ理學ナリト而シテ其實ハ極テ統緒無キ一編ノ議論タルニ過キス就テ其一部ヲ裂取シテ其他ノ部分ヲ採ラサル所以ノ故ハ絶エテ之ヲ論叙スルヿ無ク又乙説ニ就テ亦此ノ如クシ丙ニ渉リ丁ニ入リ右顧シテ一花ヲ抽キ左眄シテ一葉ヲ摘ミ他人ノ庭苑ヲ蹂藉シ之カ花卉ヲ雜取シテ己レノ握ニ盈タシメテ初メヨリ繩束スル所無シ是ヲ以テ一タヒ手ヲ放ツヤハ皆翩然地ニ墜チテ散亂スルヲ免レサルナリ

ウィクトル、クーザンノ理學蓋シ此ノ如シ彼レ其初メ一種有ラサル所無キノ理學ヲ搆架シテ以テ一世人ニ悦ハル、ヿヲ冀幸シテ而シテ其末ヤ一人モ之ヲ善シトスル者無キニ至レリ此レ其理學タル世ニ稱スル所ノ調停ノ政策ニ類スル有リ夫レ所謂調停ノ政策ハ諸々己レト説ヲ異ニスル黨派ヲ待ツニ於テ或ハ妄リニ許容スル所有リ或ハ濫リニ拒斥スル所有リ一定ノ旨趣無クシテ專ラ模稜糊塗ヲ以テ計ト爲ス者ナリ眞ノ理學史ノ法式ハ豈宜ク此ノ如クナル可ケン哉

眞ノ理學史ノ法式ハ初ヨリ撰擇採摭ヲ以テ旨ト爲スニ非スシテ唯諸家ノ説中凡ソ其綱領ニ在リテ實迹ニ合スル者ト凡ソ其結局ニ在リテ論理ニ合スル者ハ皆採リテ之ヲ取ル是ノ如キノミ

プラトン言ヘリ吾レ幼兒ノ前ニ於テ兩果ヲ置キ其中ヲ擇取セシムル者ヲ觀ルニ兒必ス兩果ヲ併取シテ去ル余ノ理學ノ説ニ於ケル正ニ之ニ倣ハント欲スルノミ

且ツウィクトル、クーザンノ言ニ凡ソ理學ノ事項ハ古今學士既已ニ論シテ之ヲ盡セリト是レ尤非ナリ余ヲ以テ之ヲ觀レハ古來學士其倡フル所ノ説ニ於テ能ク一二綱領ノ旨義ヲ發スルモ其論次スルノ際往々盡ク之カ効果ヲ收ムルヿ能ハスシテ遺ス所極テ多シ此ニ由リテ之ヲ觀レハ古今理學ノ説皆之ヲ一未完ノ議論ト謂フ可クシテ未タ之ヲ既成ノ一學ト謂フ可ラス卽チ利益ヲ主トスル道學ト責任ヲ主トスル道學トニ論無ク其旁推曲通シテ効果ヲ收ムルニ及ヒテハ未タ其首ニ置ク所ノ綱領ノ旨趣ニ於テ盡ク相當リテ遺漏無キニ至ラス之ヲ要スルニ凡ソ諸説皆欠失ノ處有リテ或ハ其説

中發出ス可キ所ノ旨趣ヲ索メ或ハ他ノ說中具フル所ノ旨趣ヲ假リテ之ヲ塡補セサル可ラス此レ余ノ法式ノ諸說ヲ網羅シテ遺スコト無キ所以ナリ

ウィクトル、グーザン倡フル所ノ折衷派即チ採摭派ノ法式ノ外又理學並ニ理學史ニ係リ一種極テ奇怪ナル法式ノ在ルアリ日耳曼人ヘッケルノ創スル所ナリ此法式ハ一切謬見ヲ以テ皆眞理ノ一部ト爲シ一切害惡ヲ以テ皆善眞ノ一部ト爲シ一混シテ遺スコト無ク以テ之ヲ其法式ノ中ニ消融セント欲スルヤ一ニ因果牽聯ノ理ニ由リテ之カ解ヲ示メセリ是ニ於テ其理學ノ沿革ヲ論スルニ及ヒテモ亦此理ニ據リテ之ヲ斷ス奇怪ト謂フ可キ哉

ヘッケル曰ク凡ソ世界現ニ有ル所ノ事ハ皆眞理學ニ合スト而シテ其歷史ノ事蹟ヲ論スルトニ於テ一切眞、謬、善、惡ヲ別ツコト無シ乃チ言フ凡ソ尋常相容レザル事理モ一タヒ物ノ大本原ノ中ニ入ルヤ融化シテ一ト爲ラサル莫シト

ヘッケルノ此法式ヤ怪ハ則チ怪ナリト雖モ其中亦理ニ合スル者無シト爲サスシテ吾儕固ヨリ其間ニ採ル所有リ然レ之ヲ要スルニ吾儕ノ主トスル所ハ眞理ト眞理トヲ調諧スルニ在リテ初ヨリ眞理ト謬見トヲ調諧シテ以テヘッケルニ倣フニヲ求メサルナリ

夫レ眞理ト謬見トヲ調諧スル者ハ其意以爲ラク此ノ如クスルヤハ獲ル所極テ多クシテ捐棄スル所無キヲ以テナリト此レ大ニ然ラス代數學家ノ言ニ曰ク無ヲ以テ有ニ加フルヤハ眞ノ加法ニ非スシテ實ハ減法ナリト是故ニ眞ノ法式ニ循フ者ハ苟モ一說ノ中ニ於テ前後議論ノ次序相合セサル有ルヲ見ルヤハ必ス其推理ノ方法ノ宜キヲ得サルヲ認識シテ爲メニ之ヲ是正ス可シ又兩旨趣有リテ純然相容レサルヤハ撰擇シテ其一ヲ取リテ其他ヲ棄ツルヲ要ス蓋シ余カ所謂調諧ハ旨趣ノ高下ノ相異ナル者ヲ調諧シ及ヒ同一理ニシテ之ヲ觀ル者ノ立脚ノ地ノ同シカラサルカ爲メニ相異ナル者ヲ調諧スルニ在ルノミ

理學沿革史第一册

法蘭西　アルフレット、フーイエー著

日本　中江篤介　譯

○第一編　古昔ノ理學（フィロゾフィー）

○第一章　理學ニ係ル古昔國民ノ諸說

○緒論

○第一　印度ノ理學

○第一　印度人庶物原理（メタフィジック）ノ學○波羅門敎ニ係ル多神ノ說（ポリテイスム）及ヒ神物一體ノ說（パンテイスム）印度初年ノ理學ハ皆多神ノ說ヲ以テ旨趣ト爲セリ其意以爲ラク風雨雷霆水火草木皆人類ト同ク智慧ヲ具シ意欲ヲ有セリト其多神ノ說ヲ持スルニ知ル可シ卽チ「ウェダー」ノ頌歌ノ如キハ正ニ此意ヲ歌謠セシ者ナリ其後ニ及ヒ多神ノ說衰ヘテ神物一體ノ說興ルヤ是レ卽チ波羅門敎ノ基ヲ寄スル所以ナリ波羅門敎ノ大意以爲ラク神固

ヨリ衆多ナリ然レ𪜈畢竟此レ皆三大神ノ威德ノ外ニ表發スル所タルニ過キス而シテ所謂三大神モ亦世界一大智慧（エスプリー、ユニウェルセール）ノ表發シテ三大作用ヲ現スルニ外ナラス所謂世界一大智慧トハ卽チ造化主宰ナリ是ニ知ル世界萬彙ハ直チニ造化主宰ノ支節タルヿヲ又以爲ラク主宰ノ世界ヲ造出スルヤ本ト之ヲ戀愛スルニ由リテ然リ故ニ若シ一旦之ヲ戀愛セス之ヲ欲望セサルニ及ヒテハ主宰ノ力之ヲ破壞スルヿ易々タルノミ是ニ於テ乎三大神ノ說起ル曰ク同一主宰ナリ其世界萬物ヲ造出スルヨリシテ言フ所ハ是レ「ブラマー」神ナリ其之ヲ破壞スルヨリシテ言フ所ハ是レ「シワー」神ナリ其之ヲ護持スルヨリシテ言フ所ハ是レ「ウィクヌー」神ナリ是レ卽チ印度人ノ三神一體ノ說トリニテー

印度人既ニ世界萬物ヲ以テ造物ノ支節ト爲シ更ニ又衆生輪廻（トランスミグラシヨン）ノヿヲ主張セリ蓋シ凡ソ懷生ノ物生シテハ死シ死シテハ生シ或ハ人類ト爲リ或ハ禽獸ト爲リ故ニ其或ハ人類ト爲リ或ハ禽獸ト爲ルハ其自ラ爲ス所ニシテ決シテ我心外ニ於テ別ニ司命（デスタン）ナル者ノ存スル有ルニ非ス我ノ行ノ能ク道ニ合スル乎生シテ人類ト爲ルヿヲ得我ノ行ノ道ニ合スルヿ能ハサル乎生シテ禽獸ト爲ルヿヲ免レス皆我ノ自ラ作ル所ノ業タルノミ此說ヤ新奇ニシテ且廣大ナリト謂フ可シ

○第二　波羅門敎ニ係ル道學

神ヲ崇敬シ自ラ鼻クシテ驕盈ノ念ヲ萌スヿ無ク萬事恭敬ヲ主トシ他人我ニ加フルニ橫逆ヲ以テスルモ我能ク之ヲ忍ヒ之ヲ愛シ之ヲ敬シ婦女ヲ待ツニ恩ヲ以テシテ之ヲ侮ルヿ無ク務メテ恩ヲ禽獸ニ及ホス凡ソ是ノ如キ者皆波羅門道學ノ敎戒ヲ垂ルヽ所ナリ顧フニ此道學タル廣大ナルニ論無シト雖モ然レ𪜈亦一ノ大缺失ノ處有リ人必自由ノ理ヲ以テ善惡行爲ノ本原ト爲スヿヲ知ラサル是レナリ其政術ニ涉ル部分ニ至リテハ其失更ニ大ナル

爲リ或ハ禽獸ト爲リ轉環已ムヿ無シ所謂輪廻ノ理ナリ旣ニ是ノ大理有リ故ニ其或ハ人類ト爲リ或ハ禽獸ト爲ルハ其自ラ爲ス所ニシテ決シテ我心外ニ於テ別ニ司命（デスタン）ナル者ノ存スル有ルニ非ス我ノ行ノ能ク道ニ合スル乎生シテ人類ト爲ルヿヲ得我ノ行ノ道ニ合スルヿ能ハサル乎生シテ禽獸ト爲ルヿヲ免レス皆我ノ自ラ作ル所ノ業タルノミ此說ヤ新奇ニシテ且廣大ナリト謂フ可シ

○第二　波羅門敎ニ係ル道學

神ヲ崇敬シ自ラ鼻クシテ驕盈ノ念ヲ萌スヿ無ク萬事恭敬ヲ主トシ他人我ニ加フルニ橫逆ヲ以テスルモ我能ク之ヲ忍ヒ之ヲ愛シ之ヲ敬シ婦女ヲ待ツニ恩ヲ以テシテ之ヲ侮ルヿ無ク務メテ恩ヲ禽獸ニ及ホス凡ソ是ノ如キ者皆波羅門道學ノ敎戒ヲ垂ルヽ所ナリ顧フニ此道學タル廣大ナルニ論無シト雖モ然レ𪜈亦一ノ大缺失ノ處有リ人必自由ノ理ヲ以テ善惡行爲ノ本原ト爲スヿヲ知ラサル是レナリ其政術ニ涉ル部分ニ至リテハ其失更ニ大ナル

者有リ族類貴賤ノ別極メテ甚シク貴人賤者ヲ凌蔑シ賤者貴人ニ屈下シ其末ヤ僧門ノ威權過多ニシテ庶民ヲ苦虐シテ顧ルヿ無キニ至ル

○第三　波羅門教外ノ理學　印度モ亦教門ニ係ラサル理學ノ說有リ其最モ著稱セラルヽ者ハ曰クカピラーナリ五官ノ感覺ヲ主張スル說ヲ以テ家ニ名ケリ曰クゴタマーナリ論理ノ法ヲ創シテ名ヲ世ニ顯セリ曰クパタンジヤリーナリ頓悟妙諦ヲ以テ旨趣ト爲セリ顧フニ「パガワード、ジタ」（原注觀察深念ヲ先ニシテ實地ノ行爲ヲ後ニスルヿノ書ニ於テ論道スル所ノ諸說ハ皆パタンジヤリーニ原本スルニ似タリ曰ク佛陀（ブダ）ナリ此人ヤ印度從前ノ諸說ヲ一掃シテ別ニ一機軸ヲ出セリ是レ世ノ知ル所ナリ

○第四　佛陀（ブダ）ノ理學　釋迦ノ倡ヘシ所ノ庶物原理ノ學ト道學トハ之ヲ四大眞諦ノ中ニ攬括セリ卽チ一ニ曰ク軀體ノ生ハ假ニシテ眞ニ非ス二ニ曰ク凡ソ軀體ヨリ胚胎スル願欲ノ類ハ皆身ヲ剋スルノ機械タルニ過キス三ニ曰ク軀體ヨリ發スル妄想ト苦患トハ獨「ニルワナ」之ヲ斷滅スルヿヲ得「ニルワナ」トハ六根ノ生ヲ解脫シテ不生不滅ノ域ニ進入スルヲ謂フ四ニ曰ク情慾ヲ斷滅シ我見ヲ捐棄スルヿハ以テ不生不滅ノ域ニ入ルヿヲ得

以上擧クル所ノ四大眞諦ヲ推繹シテ斯ニ以テ道德ノ諸說及ヒ諸德行ヲ得可シ曰ク一切衆生皆平等ニシテ貴賤高下有ルヿ無シ曰ク人々道德ニ係リ獨立獨行スルヿヲ得テ少シモ僧門ト交涉有ルヿ無シ是レ所謂諸說ナリ曰ク四海ノ人ヲ視ルヿ兄弟ト異ナルヿ勿レ曰ク人ヲ待ツニ仁慈ヲ以テシ過擧有ルモ宥恕シテ之ヲ咎ムルヿ勿レ是レ所謂諸行ナリ釋氏ノ道學タル實ニ粹然ニシテ無疵ナリト謂フ可シ獨惜ムラクハ其說太ダ高妙ニ且ツ默攝ヲ以テ旨ト爲シテ絕エテ活潑敢爲ノ氣象無キヿヲ又其仁ヲ論スルヿ洵ニ餘蘊無キモ義ニ至リテハ竟焉トシテ聞クヿ無シ蓋シ東方諸國ノ理學大率高妙幽微ノ旨ニ驚セテ國家ヲ經理スルノ道ニ至リテハ初ヨリ之ヲ度外ニ置ク者ノ如シ

○第二　百兒矢亞ノ理學○ゾロアストル紀元前六百六十年

○第一　ゾロアストルノ庶物原理ノ學ヲ閲スルニ其主トスル所復タ神物一體ノ理ヲ發スルニ非スシテ專ラ二理對敵ノ說（ギュアリスム）ヲ示スニ在リ其意以爲ラク世界ハ二理ノ相混シテ成ル所ナリ曰ク眞善ナリ眞實ナリ光明ナリ是レ一理ナリ曰ク不善ナリ謬迷ナリ暗黑ナリ是レ一理ナリ是ノ二ノ理常ニ交鬪シテ相和スルヿ無シ

○第二　ゾロアストルノ道學ハ其庶物原理ノ說ト吻合シテ極メテ整齊ナリ蓋シ以爲ラク善トハ實ノ謂ナリ實トハ眞ノ謂ナリ故ニ人ト信ニシ「オルミュスド」ノ如クニシテ善ノ根原ナリ此「オルミュスド」不朽ノ言語卽「オルミュスド」ハ軀體ノ義ニシテ不善ノ根、暗黑ノ本ナリ

此二ノ理常ニ相鬪フテ已マス然レドモ善常ニ惡ニ勝チ明常ニ暗ニ克チ此ノ如クニシテ終ニ全捷チ占ムルニ至ラン

○第三　セルト人及ヒゴール人ノ理學

ゴールノ學士卽チ其方言所謂「ドルイード」ハ早ク已ニ能ク我カ西洋諸國一種高尙ノ說ヲ垂示スルヿヲ知レリ其目蓋シ三有リ曰ク自己ノ身チ尊ブナリ曰ク自由ノ權チ尙ブナリ曰ク死チ輕ンスルナリ是ニ於テ乎生チ棄テヽ義チ取ルヲ以テ衆善ノ長ト爲ス其意以爲ラク此行爲能ク茲ニ擧クル所ノ三目チ括スルヿチ得ルト

ゴール人ノ庶物原理ノ學チ閲スルニ正ニ其道學ノ原本スル所タルチ見ル以爲ラク人心自由ニシテ得テ束縛ス可ラスト又以爲ラク精神ハ不朽ニシテ軀體ト俱ニ滅スルヿ無シト顧フニゴール人ノ信チ來世ニ置クノ

テ欺クヿ無ク事チ處シテ廉潔ナルヿ正ニ所謂善行ナリ

ゾロアストルノ說是ノ如シ故ニ百兒矢亞人信實ト光明トチ尙ブヿ極メテ至レリ是ニ於テ乎是ノ二ノ者チ尊ヒテ神ト爲シ因リテ火チ祠リテ之チ拜ス其意以爲ラク火ノ物タル正ニ是ノ二神ノ物ニ形ハル、者ナリト」

○第三　セルト人及ヒゴール人ノ理學

ゴールノ學士卽チ其方言所謂「ドルイード」ハ早ク已ニ能ク我カ西洋諸國一種高尙ノ說ヲ垂示スルヿヲ知レリ其目蓋シ三有リ曰ク自己ノ身チ尊ブナリ曰ク自由ノ權チ尙ブナリ曰ク死チ輕ンスルナリ是ニ於テ乎生チ棄テヽ義チ取ルヲ以テ衆善ノ長ト爲ス其意以爲ラク此行爲能ク茲ニ擧クル所ノ三目チ括スルヿチ得ルト

ゴール人ノ庶物原理ノ學チ閲スルニ正ニ其道學ノ原本スル所タルチ見ル以爲ラク人心自由ニシテ得テ束縛ス可ラスト又以爲ラク精神ハ不朽ニシテ軀體ト俱ニ滅スルヿ無シト顧フニゴール人ノ信チ來世ニ置クノ

甚シキ其推縯スル所極メテ奇怪ナル者有ルニ至ル以爲ラク凡ソ斯世ニ居テ相親愛スル者ハ其來世ニ在リテモ亦相親愛シテ渝ルコト無キコトヲ得ルト以爲ラク他人ノ爲メニ軀ヲ捐ルトキハ再ヒ斯世ニ生ルヽコトヲ得ルト其他肉身ヲ以テ輪轉シテ已ムコト無シト爲シ無限ノ苦患ヲ以テ有ルコト無シト爲シ及ヒ凡ソ懷生ノ者ヲ以テ皆益〻進ミテ眞善ノ域ニ入ルト爲スカ如キハ皆夫ノ精神自由ノ理ト其不朽ノ理トニ由リテ發スル所ノ効ナリ」

○第四　支那ノ理學（コンヒユシユース）○孔夫子及ヒ孟子（メンシユース）

支那ノ學士ハ大抵庶物原理ノ學ニ係リテ論道スルコト罕ニシテ經國ノ術ヲ講スルコト多キニ居ル故ニ其學士輩ノ道德ヲ勸說スルヤ專ラ之ヲ事理ニ徵シテ初ヨリ宗教ノ意ヲ雜フルコト無シ孔夫子ハ紀元前六百年ヲ以テ生レタリ其說ニ以爲ラク凡ソ吾人ノ職分ノ當ニ爲ス可キ所ハ正ニ視テ世界普行ノ法律ト爲ス可シ其力タル萬古不易ニシテ而シテ我ノ之ニ徇フヤ自ラ爲メニスル有ルニ非スシテ唯須ク是法律ノ重キカ爲メニス可シト孔夫子ノ言ニ曰ク粹然至純（ペルフエクシヨン）譯者按スルニ是レ中庸ノ語ニシテ誠ノ字ヲ譯セル者ニ似タリ今唯原語ニ就テ直寫スル故ニナルヘシ天ノ道ナリ粹然至純ナルコトヲ求ムルハ地ノ道ナリト又曰ク道德ハ高ク庶物ノ表ニ出ツ而シテ其廣大ナルヤ世界モ之ヲ容ルルコト能ハスト又曰ク至誠ハ萬物ノ本原ナリト

凡ソ此等ノ理ヲ推シテ二大德行ヲ打出スルコトヲ得タリ一ハ義ナリ一ハ仁ナリ義ハ報酬ノ意ニシテ仁ハ愛憐ノ意ナリ我ノ他人ニ於ケルヤ須ク之ヲ愛シテ到ラサル所無カル可シ而シテ己ノ欲スル所ハ務メテ之ヲ人ニ施シテ吝ムコト勿レ孔子ノ道學蓋シ此ノ如シ

○第二　孟子ハ孔子ニ後ルヽコト二百年ニシテ生レタリ孔子ノ道學ヲ祖述シテ益〻精微ヲ極メリ蓋シ孟子、孔子ノ道學ニ附加スルニ政術ヲ以テシテ而シテ其改タル頗ル自由ノ權ヲ主張セリ其言ニ曰ク民ヲ重シト爲シ君ヲ輕シト爲ス云々ト其意蓋シ田地ノ制ヲ更革シ貧富懸殊スルノ弊ヲ矯メ租賦ノ法ヲ釐正シ多寡相均シカラシメント欲セリ

○第五　エジプトノ理學

エジプト國ハ未タ曾テ眞ニ稱シテ理學ト爲ス可キ者有ラス但其宗教ノ中往々庶物原理ノ學ノ旨趣有ルヲ見ル而シテ此旨趣ノ中ニ就テ精神ヲ以テ不滅ノ物ト爲スヿ尤モ其較著ナル者ナリ

○第六　猶太ノ理學

○第一　猶太人ノ庶物原理ノ學ニ於ケルヤ其意初ヨリ萬物相通シテ有スル所ノ本質（シュブスタンス）ヲ講求スルニ在ラスシテ專ラ物ノ由リテ生セシ所ノ原因ヲ尋究スルニ在リ其說ニ以爲ラク造化ハ大自在ノ威德ヲ有スルヤ正ニ其大自在ノ德ニ由リテ爾ルヿ者ナリ故ニ其天地庶物ヲ造出スルニ其善ヲ爲シ惡ヲ爲ス皆其自在ノ德ニ由リテ爾ルヿヲ得タリ人モ亦自在ノ德有リ故ニ其善ヲ爲シ惡ヲ爲ス皆其自在ノ德ニ由リテ爾ルヿ者ニシテ令ヲ承クル所有ルニ非ス

○第二　猶太ノ道學ニ以爲ラク凡ソ人ノ當ニ爲ス可キ所ハ皆神明有スル所ノ諸德ニ原本スト而シテ所謂神明ハ即チ造化主宰ニシテ天地庶物ノ

由リテ生セシ所ノ本根ナルヲ以テ凡ソ人タル者尤モ當ニ之ヲ愛敬ス可キナリ但エジプト人ニ在リテ人ノ德行ハ專ラ惡テ爲サヽルニ存シテ必スシモ勸ムルニ善ヲ以テスルニ非ス又其或ハ惡ヲ爲スニ於テ罰ヲ受クルモ來世ニ於テスルニ非スシテ獨斯ノ世ニ於テス是レ其他ノ宗教ト異ナル所ナリ

○第三　猶太ノ政術ハ專ラ僧門ノ權ヲ强クスルニ在リ故ニ苟モ王家ノ政行ハルヽヿハ必ス視テ以テ衰頽ノ候ト爲ス

○第四　猶太諸學校ノ盛ナルニ方リ仁慈ノ說一時熾ニ行ハレテ駸々乎進ミテ已マサルカ如キヿヲ致セリイルレルハ紀元前一百年ヲ以テ生レタリ專ラ人ニ勸ムルニ温和慈愛ヲ以テセリ其言ニ曰ク己ノ欲セサル所ハ人ニ施スヿ勿レト亦善ヲ爲スニ非スシテ惡ヲ爲サヽルノ意ヲ見ル又「エッセニヤン」僧徒ノ派及ヒ「テラペウト」同上派ノ僧ノ如キハ其學深觀默察ヲ以テ旨趣ト爲シ身ヲ苦メ戒ヲ持スルヿ極メテ至レリ

○本論

○第一　印度ノ理學

第一　印度及ヒ百兒矢亞ハ我歐洲種族ノ由リテ起リシ所ノ宗國ナリ今其理學ヲ講求スルニ往々世界ノ起原及ヒ人類ノ終極ニ係リ極メテ高尚ノ議論有ルヲ見ル但其立論ノ體裁ノ如キハ或ハ自然ニ叙述シテ絶エテ安排ヲ加ヘサル有リ或ハ深思シテ後ニ發シ序ヲ逐ヒ次ニ順フテ前後極メテ整齊ナル有リ

印度初年ノ理學ノ說ハ多神（ポリテイスム）ノ旨趣ニ浸淫スルヲ見ル卽チ「ウェダー」ノ頌歌ノ如キハ終始此旨趣ヲ發揚スルニ外ナラス

「ウェダー」ノ頌歌中稱讃スル所ノ群神ハ畢竟日月水火ノ外ニ出デズシテ其最モ崇敬ヲ致セシハ朝ニ東方ニ上リ夕ニ西方ニ沒シ蒼穹ヲ環行シテ瞬時モ止マサル所ノ大火光卽チ日輪ニ跡ユル莫シ蓋シ其愛敬ヲ致スハ專ラ日輪ノ物ヲ照ラスニ在リ卽チ「デワー」ノ語ハ光輝有リテ能ク庶物ヲ照燭スルノ

意ナリ玆ニ「ウェダー」ノ頌歌ノ文ヲ譯スル

鳴呼旭曦、汝ハ常ニ少年ノ貌有リ生々已ムヿ無ク以テ庶生ヲシテ活潑ニシテ生氣有ラシム

鳴呼旭曦ノ女神、汝ノ體タル洵ニ輕ク汝ノ容タル洵ニ婉ニシテ美少女ノ趨蹌スルカ如ク薦祭スルヿ有レハ飛歩シ來リテ之ヲ享ク

汝ノ趾ヲ進ムル其貌既ニ能ク剛毅ニシテ又能ク婉美ナリ其歩スルヤ最モ前ニ在リテ後ルヽヿ無ク能ク胸襟ヲ豁開シ物ヲ容レテ遺スヿ無シ之ヲ譬ヘハ少女ノ其母ノ沐浴ヲ受ケタル者其身體粲美ニシテ觀ル者ヲシテ目眩セシムルカ如シ

鳴呼旭曦、汝ノ多福ニシテ能ク光輝有ルヿ至レリ唯念フニ凡ソ異代ノ旭曦ハ一モ汝ニ及フヿ有ルヿ無シ

又印度ノ歌者往々竈側ニ環坐シテ火ノ德ヲ頌揚シ之ヲ尊ヒテ神ト爲ス茲ニ其文ヲ擧ク

猗與「アクニー」譯者按スルニ印度語、火ノ義我ナシテ勇剛ナル朋友ナ得、衣食足リ家人相和シ且巨富ノ財ナ得セシメヨ

印度人ノ意以爲ヘリ凡ソ雲物日星皆情念有リ意望有ルヿ少シモ人類ト異ナルヿ無シト蓋シ當時物理ノ學未タ開ケスシテ人々唯己レノ能ク思念シ能ク斷行スルノ性有ルヿナ知ル是ニ於テ凡ソ日月水火ノ屬ナ以テ皆己レト相類スト爲シ懷生ノ者ト生氣無キ者ト絶エテ之ナ別ツヿ無ク人ト物ト絶エテ之ナ別ツヿ無ク以爲ラク皆知ル有リエテ之ナ別ツヿ無ク以爲ラク皆欲スル有リト

「ウェダー」ノ頌贊スル所ノ多神ノ說衰フルニ及ヒ波羅門敎神物同體ノ說（パンテイスム）興ル是レ其變遷ナリ其初以爲ラク無數ノ神物空間ニ遊揚シテ箇々圓生スト次ニ以爲ラク此等無數ノ群神ハ畢竟三大神ノ外ニ發越スル所ノ威德タルニ過キスト又次ニ以爲ラク此三大神ノ間自ラ一箇純一無雜ノ精靈有リテ卽チ所謂三大神ハ亦此精靈ノ使フ所タルニ過キス蓋シ萬物ノ能ク生氣有ルハ皆此大精靈ノ然ラシムル所ナリト是ニ於テ大陽ナ以テ此精靈ノ

由リテ表發スル所ノ器具ト爲セリ最後ニ又以爲ラク此大陽ト其光輝トノ奧ニ於テ自ラ粹然至純ノ神物有リテ生ス此レ天地萬彙ノ本質ナリ其名ナ「ブラマー」ト曰フ禱拜ノ意有リ茲ニ又「リグウェダー」ノ頌歌

第二十一章ナ擧示ス

猗與「ブラマー」凡ソ衆生ノ能ク生ナ保ナ力ナ有スルハ皆唯汝「ブラマー」ノ威德ニ是レ依ル卽ナ尊嚴ナル群神ト雖モ亦皆汝「ブラマー」ノ翼蔽ナ請フテ以テ力ト爲サヽルヿ莫シ寂滅ト長生トノ如キハ畢竟汝「ブラマー」ノ影象タルニ過キス此ノ如キ大威德有ル聖神ナ除キ吾儕他猶ホ何ノ神ニ薦祭セン哉

高山ノ巓、積雪ナ蒙フリ挺然トシテ雲表ニ秀デ巨海ノ水滔々トシテ天ナ浸ス是レ皆以テ彼「ブラマー」ノ威德ナ表揚スルニ外ナラス「ブラマー」ノ廣大無邊ナル雙手ノ間諸天ノ博キナ懷抱ス此ノ如キ大威德有ル聖神ナ除キ吾儕他猶ホ何ノ神ニ薦祭セン哉

「ブラマー」ト云ヒ眼ヲ張ル片ハ其威令直チニ彼ノ能ク大物ヲ載セテ重シトセス庶生ヲ養フテ德トセサル所ノ水ニ被及ス「ブラマー」ノ尊キヿ高ク群神ノ上ニ位ス此ノ如キ大威德有ル聖神ヲ除キ吾儕他猶ホ何ノ神ニ薦祭セン哉

茲ニ又マッキス、ミュルレル著ハス所ノ古昔「サンスクリット」梵語ノ義文ノ史ト題スル書ノ數節ヲ摘テ之ヲ擧示ス

メートルジー夫人其夫甲ニ謂テ曰ク聖神大威德有リト雖モ未タ余ヲシテ死セサラシムルヿ能ハス聖ナリト雖モ未タ余ニ告クルニ不死ノ狀ヲ何物タルヲ以テスルヿ能ハス余何ソ聖神ヲ以テセン哉其夫甲答ヘテ曰ク吾レ卿ヲ愛スルヿ至レリ甚タ善シ卿ノ問フヿ吾レ請フ卿ニ告ケン凡ソ人ノ妻タル者皆其夫ヲ愛スル固ヨリ宜シ然レ𪜈是レ實ハ其夫ヲ愛スルニ非スシテ其夫ノ身中實ニ聖神ノ智慧ノ寓スル有ルカ爲メナリ然ラスンハ是レモ亦一血肉ノミ何ノ愛ス可キヿカ之レ有ランヤ凡ソ人ノ夫タル

者皆其妻ヲ愛スル固ヨリ宜シ然レ𪜈是レ實ハ其妻ヲ愛スルニ非スシテ其妻ノ身中實ニ聖神ノ智慧ノ寓スル有ルカ爲メナリ然ラズンハ是レモ亦一血肉ノミ何ノ愛ス可キヿカ之レ有ランヤ嗚呼我最愛ノ妻ヨ聖神ノ智慧ヲ除キ他一モ吾儕ノ視ル可ク聽ク可ク思フ可ク得可キ者有ルヿ無シ我儕ノ求ム可キハ其レ唯聖神ノ智慧乎我儕若シ之ヲ視ル有リ之ヲ聽ク有リ之ヲ思フ有リ之ヲ得ル有ルトキハ是レ我儕天地萬物ヲ擧ケテ皆之ヲ了知スルヿヲ得ルナリ云々

又曰ク我儕耳ニ聞ク所ノ音ヲ捉ラント欲スルモ得可ラス我儕耳ヲ握ルトキハ是レ我儕能ク音ヲ捉ルナリ我儕ノ聖神ノ智慧ニ於ケルモ亦猶ホ此ノ如シ云々又曰ク我儕ノ聖神ノ智慧ニ透徹スルヿヲ得ルハ猶ホ食鹽ノ一撮ヲ以テ之ヲ海ニ投スルカ如シ食鹽ハ本ト海水ノ出ダス所ナリ而シテ其味ノ鹹ナルハ少シモ相異ナルヿ無シ云々又曰ク海水能ク鹽ヲ出ダシ鹽又海ニ入リテ水ト成ル我儕ノ生スルハ是レ鹽ノ海水ヨリ出ルナリ

我儕ノ死スルハ是レ鹽ノ還リテ海水ニ入ルナリ我儕一タビ始ニ復ルトキハ復タ何ノ名ツク可キ者有ルヿ無シ

メートルジー夫人是言ヲ聞クヤ曰ク君ノ言我ヲ欺クナリ我儕始ニ復ルトキハ復タ何ノ名ツク可キ無シト豈是ノ理有ラン哉其夫甲答ヘテ曰ク否然ラス我レ決シテ卿ヲ欺カス我カ言フ所ハ最高尚ノ眞理ナリ設シ斯世界ヲシテ兩物相對スル有リテ卽チ所謂神ト所謂人ト有リテ存セシムルトキハ是ノ二ノ者交〻視聽シ交〻思索シ交〻了知スルヿヲ得ン今然ラスシテ人類ハ神ノ支節ニシテ神ハ獨存獨立シテ對無キ者ナリ夫レ獨立對無キ者他猶ホ何ヲ視聽シ何ヲ思索シ何ヲ了知セン哉我儕一タビ始ニ復スルトキハ是レ支節ヨリ本體ニ入ルナリ復タ何ノ名ツク可キ者カ之有ラン哉

是ニ由リ之ヲ觀レハ印度ノ理學タル庶物圓生（ナチユラリスム）庶物皆神ニシテ個々圓生スルノ說ノ說ニ始リテ神物同體（庶物皆一神ノ支節タルノ說）ノ說ニ終リタルヿ知ル可シ神物同體ノ說ハ畢竟神德發現（エマナシヨン）ノ說ニ外ナラス以爲ラク庶物ノ發生スルヤ是レ神ノ身ノ

外ニ著ハルヽニ過キス神ハ庶物ノ本體ナリ故ニ神ト庶物トノ間別ヲ置クヲ得スト

然リト雖モ印度人ノ意ニ神ノ庶物ヲ釀生セシヿハ偶然無意ノ業ニ出テタルニ非ス印度ノ碩學皆以爲ラク神固ヨリ愛心有リテ之ヲ造レリ而シテ其愛心ノ中自ラ願欲ノ意ヲ含メリト

印度ノ碩學皆以爲ラク神初メ深ク自ラ其獨存獨立ノ生ノ中ニ藏匿シ或ハ吸噓シ或ハ絕エテ吸噓スルヿ無ク無意淡泊以テ存セリ既ニシテ忽チ其金玉ノ聲ヲ發シテ曰ク若シ我レ一日千億ノ身ト爲ルトキハ其樂何如ソヤト因リテ其活潑自在ノ智慧ヲ發揚シテ斯ニ以テ斯世界庶物ヲ產出セリ又以爲ラク神ノ斯世界ヲ造ルヤ愛ノ一情最モ多キニ居ル他無シ愛ハ是レ活潑生氣ノ自リテ發スル所ナレバナリ

印度ノ碩學深ク其心裏ニ觀察シテ以爲ラク凡ソ無ト有トノ二物ヲ聯ヌルハ唯愛戀ノ絲繩ニ是レ賴ルト茲ニ又マツキス、ミュルレルノ史ヲ摘擧ス

神ノ未タ其威德ヲ外ニ現セサルヤ世界一物有ルヿ無シ有モ無ク非有モ無ク空氣モ無ク天街モ無シ是時ニ當リ斯宇宙卽チ今日庶物ヲ蔽容スル所ノ大袋ハ果シテ何ノ狀ヲ爲セシ耶海水ノ浸々タルハ果シテ何ノ處ニ蓄ヘシ耶空氣ノ蒼々タルハ何ノ處ニ藏メシ耶既ニ生有ルヿ無ク亦死有ルヿ無ク斯ノ晝ヲ照ラシ夜ヲ燭ラス所ノ光輝有ルヿ無シ獨リ神斯ノ冲漠無朕ノ中ニ在リ吸噓スルヿ無クシテ深ク自ラ廣大ノ智慧ノ中ニ潛藏シ己レヲ除ク外一モ視聽スル所無シ暗上ニ暗ヲ積ミ水モ亦其光澤ヲ見ハスヿ無シ然レ𪜈神ノ生氣ハ此大空虛ノ中ニ充チテ獨存セリ既ニシテ其活潑ノ智慧ヲ奮フテ斯ニ以テ此世界庶物ヲ釀出セリ然レ𪜈誰カ詳ニ之ヲ知ル者ソ之ヲ知ルト雖モ誰カ明ニ之ヲ告クルヿヲ得ル者ソ凡ソ此萬類何レノ處ヨリ來レル乎群神ノ齊聖ナルモ彼ノ廣大無邊ノ一神ノ造ル所ナリ神唯之ヲ造ルヿヲ欲ス故ニ遂ニ之ヲ造レリ然レ𪜈斯ノ廣大無邊ノ一神ハ果シテ何レノ處ヨリ來レル乎斯ノ森羅萬象ハ何レノ處ヨリ出

テタル誰カ之ヲ知ル乎斯ノ萬類ハ果シテ獨力ヲ以テ存スル乎天ノ高キニ居テ眼ヲ其造ル所ノ世界ニ放チ嗒然トシテ獨存スル者獨リ其然ルカ然ラサルカヲ知ル神ニ非スンハ孰レカ能ク是ニ與ラン

印度初年ノ理學ハ極テ高尙ナリト雖モ之ヲ要スルニ未タ晻昧ノ病ヲ免レス其後ニ及ヒ議論益〻精微ニ赴キ隨フテ頗ル明瞭ナルヲ致セリマヌーノ造化論コスモゴニーノ如キ卽チ見ル可シマヌーノ意以爲ラク「ブラマー」ハ世界獨立ノ神ニシテ其威力或ハ世界ヲ造作シ或ハ之ヲ破壞ストロアスレール、デロンシヤン飜譯セシ所ノマヌーノ書ニ曰ク「ブラマー」ノ神タル或ハ眠リ或ハ覺メ覺メテハ又眠リ眠リテハ又覺メ是ノ如クニシテ永劫已ムヿ無シ而シテ其萬類ヲ作ルヤ其能ク動轉スル者ト動轉スルヿ能ハサル者トニ論無ク皆盡ク活潑ノ生氣ヲ得セシメ然ル後又之ヲ破滅シテ無有ニ還ラシメテ己レハ則チ寂然トシテ曾テ動クヿ無シ是ノ如クニシテ「ブラマー」ノ或ハ世界ヲ造リ或ハ之ヲ滅センヿ計數ス可ラスシテ以テ自ラ娛樂ト爲ス者ノ如シ

ト顯フニ是言ヤ畢竟事物循環ノ理ヲ形容セシ者ニシテ近時世界浸化（エウォリュシヨン、ユニウェルセール）ノ說ノ如キハ正ニ此レト類スル有ルヲ見ル

其後ニ至リ學士輩又以爲ラク造作ト維持ト破壞トハ其効正ニ相反ス同一神ノ威德ニ出ルト雖モ然レドモ宜シク其力ヲ別チテ三神ト爲ス可シト是ニ於テ「ブラマー」ヲ以テ造作ノ神ト爲シ「シワー」ヲ以テ破壞ノ神ト爲シテ卽チ草木ノ枯落スル人類ノ老死スル河流ノ滔々返ラサル歲月ノ苒々トシテ經過スルカ如キハ皆「シワー」破壞神ノ爲ス所ナリ故ニ若シ「シワー」神ヲシテ獨リ威力ヲ逞クセシムルトキハ世界萬物遂ニ燼滅スルニ至ラン是ニ於テ又萬物ヲ護持スルノ神有ラサル可ラス是神ヤ名ヲ「ウィクヌー」ト曰フ故ニ「ブラマー」「シワー」「ウィクヌー」是レ卽チ印度ノ三大神ナリ

然リト雖モ所謂三大神ハ本質ノ相異ナルニ非スシテ畢竟同一神ノ威德ノ外ニ著ハレテ三大作用ヲ發スルニ過キス故ニ此說ヲ名ケテ三神一體ノ說ト曰フ「バガワター、ツーラナー」（譯者按スルニ梵經ノ名ナラン未タ之ヲ詳ニセス）ニ曰ク吾儕三神ハ

同一體ニシテ別有ルコト無シ其別有ルカ如キハ畢竟假相タルニ過キス或ハ世界萬類ヲ造作シ或ハ之ヲ護持シ或ハ之ヲ破壞スルノ力ヲ有スト雖モ其質ハ同一神ナリ故ニ三神ノ一ヲ禱拜スルトキハ是レ一軆シテ三神ヲ幷セ拜スルト異ナルコト無シ

三神一體ノ說起リテヨリ神靈附着（アンカルナシヨン）ノ說又起ル蓋シ斯世界若干年歲ヲ經ルトキハ將ニ一時ニ破壞セラレテ復タ生スルコト無カラントス是ニ於テ乎夫ノ「ウィクヌー」護持神出現シテ躬ラ萬物ニ附着シテ一體ト成リテ以テ之ヲ護持ス是レ所謂神靈附着ノ說ナリ「ウィクヌー」神又代ヲ逐フテ出現シ其威德ヲ奮フテ善人ハ之ヲ守リ惡人ハ之ヲ亡ホシ正義ノ道ヲシテ地ニ墜チサラシムル故ニ「ウィクヌー」神ハ慈悲戀愛ノ德ヲ以テ立ツ者ニシテ古今賢哲ノ士ノ斯世ニ生レテ人類ノ益ヲ爲ス者ハ正ニ此神ノ靈此等賢哲ノ人ニ附着シテ然ルニ外ナラス

以上論スル所ノ幽妙ノ說ニ於テ自ラ又一說ノ附加スル有ルヲ致ス所謂精

神輪廻（トランスミグラシヨン）ノ說是レナリ蓋シ以爲ラク精神ハ生類ノ由リテ活スル所ニシテ其質タル滅サント欲スルモ得可ラスシテ獨リ其憑ル所ノ軀殼ノ常々輪轉變化スルノミ

生物軀殼ノ輪轉變化スル所以ノ者ハ其理一定シテ復タ動カス可ラス蓋シ我ノ精神能ク自ラ勉メテ善ヲ爲シ不善ヲ避クルトキハ我カ軀殼死シテ復タ他ノ軀殼中ニ入リテ再生スルニ及ヒ必ス安富尊榮ナルヿヲ得若シ然ラスシテ我精神敢テ不善ヲ行フテ顧ミサルトキハ異日再生スルノ時必ス卑賤困辱ノ境ニ陷イルヲ免レス是ニ知ル身ノ吉凶禍福ハ畢竟精神ノ聲價ノ高下ニ由リテ生スルヿヲ

是故ニ凡ソ吾人斯世ニ居テ身ニ種々ノ痛苦ヲ受クルハ皆前世ニ在リテ不善ヲ爲セシ應報タルニ外ナラス顧フニ軀殼ナル者ハ肉體ニシテ卽チ有形ノ物ナリ精神ハ虛靈ニシテ卽チ無形ノ物ナリ然ルニ斯世ニ處スルノ間凡ソ有形ノ軀殼ノ苦樂ヲ以テ皆夫ノ無形ノ精神ノ効果ト爲スカ如キハ其說

タル實ニ奇ニシテ且深微ナリト謂フ可シ

近時論者云ヘル有リ波羅門ノ理學ニ從ヘハ凡ソ人類ノ吉凶榮辱ノ差異ヲ發起スルハ別ニ運命ヲ司ル所ノ神有リテ然ルニ非スシテ人々自ラ其行爲ニ因リテ之レカ果ヲ得ル者ナリ是ニ知ル人事ノ變動ハ天地庶物ノ理ノ催發スル所ニ非スシテ人間道德ノ理ノ生出スル所ナルヿヲト此言當レリ

是ニ由リテ之ヲ觀レハ安樂ノ善行ニ於ケルト苦痛ノ惡行ニ於ケルトハ其相應シテ錯マラサルヿ猶ホ影ノ形ニ於ケルカ如シ蓋シ行爲ハ因ナリ境界ハ果ナリ

凡ソ吾人一事ヲ爲シテ道ニ合スルトキハ輙チ我身ニ於テ其證徵ヲ印シテ滅スルヿ無シ其道ニ合セサルモ亦然リ此ノ如クニシテ善ノ證徵愈〻多キトキハ其來世ニ於テ愈〻安富ノ樂ヲ享クルヿヲ得惡ノ證徵愈〻多キトキハ其來世ニ於テ愈〻困辱ノ苦ヲ免ルヽ能ハス

——譯者按スルニ波羅門ノ學士「ラマヤナー」ノ詩中ニ云ヘリ父母及ヒ子シターナラン未タ之ヲ詳ニセス

ノ親ト雖モ斯世ニ在リテ並ニ來世ニ在リテ唯自己作リタル所ノ業ヲ受ルノミ子善人ナルモ父之カ爲メニ賞ヲ得ルヿ無ク子惡人ナルモ父之カ爲メニ罰ヲ獲ルヿ無シ父ノ子ニ於ケルモ亦然リ其吉凶禍福ハ皆其自ラ取ル所ニシテ他人之ヲ奈何トモスルヿ無シ

又曰ク意念、言語並ニ行作必ス一々善果若クハ惡果ノ因ト爲ラサル莫シ故ニ吾人若シ實ヲ徹ムルノ念ヲ持セスシテ誠心以テ善行ヲ爲スヿハ不朽不死ノ域ニ登ルヿヲ得

顧フニ波羅門ノ此理學ニ從ヘハ人類ヲ左右スル所ノ理ハ天地庶物ノ理ニ非スシテ道德ノ理ナリ道德ノ理ヲ除キ別ニ一モ吾人ノ命運ヲ司ル者有ルヿ無シ古今宗教家高尙ノ道理ヲ發明セシヿ一ニシテ足ラス卽チ波羅門ノ此說ノ如キモ亦極メテ高遠廣大ナリト謂フ可シ然ルニ一事ノ議ス可キ有リ凡ソ善ノ賞ス可ク惡ノ罰ス可キハ其本原實ニ人心自由ノ理ニ存ス我レ實ニ惡ヲ爲スヿヲ得テ而シテ爲サス勉メテ善ヲ爲ス是ヲ以テ嘉尙スヘシ

我レ實ニ善ヲ爲スヿヲ得テ而シテ爲サス敢テ惡ヲ爲ス是ヲ以テ疾惡ス可シ故ニ曰ク善惡ノ本原ハ人心自由ノ理ニ原本スト然ルニ印度ノ理學ニ在リテハ自由ノ理ヲ舍テヽ論セス是ヲ以テ其所謂善行惡行ハ本人ノ意欲ヨリ出ツルニ非スシテ自然ニ發出シテ已ムヿヲ得サルカ如キヲ免レス此ノ如キ者ハ何ソヤ他無シ人身ト世界卽チ神トノ二ノ者ヲ混同シテ之ヲ別ツヿ無キヲ以テナリ

以上叙スル所ハ波羅門敎ニ係ル庶物原理ノ學ナリ以下請フ其道學ニ係ル者ヲ述ヘン

第二　波羅門敎ノ道學ハ其庶物原理ノ說ト正ニ適合シテ相離レス蓋シ其道學ニ於テ命スル所ノ德行ハ皆己レノ身ヲ擧ケテ之ヲ神ニ奉シテ少シモ私智ヲ用ヒサルヿヲ主トス曰ク禱拜ナリ曰ク靜觀默察ナリ其意以爲ラク神固ヨリ人ニ命スルニ身ヲ降シ志ヲ卑クシテ以テ己レニ聽クヿヲ以テス故ニ曰ク汝若シ諸ノ苦業ヲ修ムルモ此ヲ以テ自ラ夸ルヿ

勿レ汝若シ人ノ窮ヲ救フモ此ヲ以テ衆人ニ告ケテ其稱譽ヲ徼ムルヿ勿レト

神物同體ノ說及ヒ生死輪轉ノ說ヨリシテ道學ニ於テ自ラ其効果ヲ發スルハ固ヨリ自然ノ理ナリ是ニ於テ波羅門ノ道學ニ以爲ラク人タル者ハ凡ソ生ヲ懷ク者ヲ待ツニ皆慈悲ヲ以テシテ敢テ或ハ苛虐スルヿ無カル可シ吾人誠ニ能ク獸畜ヲ哀憐シテ之ヲ宰殺スルヿ無キトキハ其來世ニ於テ必ス福利ヲ享クルヿヲ得他無シ兄弟ノ情ハ本ト相通シテ廣ク生物ニ及ヒテ遺スヿ無キヲ以テナリ

夫レ人タル者害ヲ禽獸ニ加フルヿヲ得ス然ルヲ況ヤ其同類ニ於テヲヤ故ニ他人或ハ我ニ加フルニ不義ヲ以テスルモ我猶ホ不義ヲ以テ之ニ報ユルヲ得スマヌーノ書中云ヘル有リ曰ク若シ困辱ノ地ニ在ル者汝ニ加フルニ不敬ヲ以テスル有ランニ汝若シ恤ミテ之ヲ恕スルトキハ汝必ス賞ヲ天ニ獲ン苟モ恨ヲ他人ニ懷ク者ハ死シテ地獄ニ墮落セン云々ト

凡ソ微弱ノ人ハ尤モ當ニ之ヲ哀憐ス可シマヌーノ書ニ又云ヘリ幼子老人貧者病者ノ如キハ汝當ニ之ヲ視ルヿ王公貴人ニ均シカル可シト婦女モ亦尫弱ナルヲ以テ尤モ之ヲ愍恤ス可シ故ニマヌーノ書又云ヘリ凡ソ苟モ婦女ヲ鄭重ニシテ之ヲ侮ラサルトキハ諸神（譯者按スルニ前ノ三神ヲ指スナラン）必ス深ク之ヲ悅ハン若シ然ラスシテ或ハ婦女ヲ輕侮スルトキハ其他善行有リト雖モ絕エテ好果ヲ得ルヿ無シト同書又云ヘリ凡ソ婦女ハ皆丈夫ノ制ヲ受ケテ自ラ守ルヿ能ハサルヲ以テ其地位タル危殆ヲ免レス若シ能ク自ラ守リテ他人ノ力ヲ仰カサルヲ得ルトキハ其地位更ニ鞏固ナルヿヲ得可シ是固ヨリ諸神ノ悅懌スル所ナリ云々

又「ヂジェスト」書中云ヘリ若シ婦人ヲ鞭ツニ花枝ヲ以テスルモ神猶ホ之ヲ悅ハスト又云ヘリ少年男女相共ニ戀愛シテ婚ヲ結フ者ハ之ヲ天上ノ音樂ノ合奏ニ譬フ其視聽ヲ悅ハスヿ之ニ過クル莫シト又云ヘリ父ノ愛敬ス可キハ敎師百人ニ比シテ猶ホ勝ル有リ母ノ愛敬ス可キハ又父千人ニ比シテ猶

ホ勝ル有リ父母ヲ愛敬セサル者ハ其神ニ事フルヿ如何ニ虔恭ナルモ功德有ルヿ無シ父母ニ孝スルヿ是レ人ノ職分ノ最重要ナル者ニシテ他ノ諸善行ハ皆之ニ亞クノミ云々

波羅門ノ道學誠ニ高尙ナルニ論無シト雖モ亦一大缺失ノ處ノ在ル有リ族類ヲ區別スルヿ過甚ナルノ一事是ナリ僧徒ノ言ニ曰ク「ブラマー」神ハ我儕僧侶ヲ造ルニ其口ヲ以テシ軍人ヲ造ルニ其手ヲ以テシ工人ヲ造ルニ其脚ヲ以テシテ奴隷ヲ造ルニ其趾ヲ以テスト是ノ如クコシテ族類貴賤ノ別ヲ以テ神意ニ出テタリト爲シテ豪然衆民ノ上ニ託シテ顧忌スル所無ク其弊ヤ終ニ專恣言フ可ラサルヲ致スニ至レリ顧フニ印度族類ノ別ハ本ト戰ノ勝敗ヨリ生シ來リシニ疑ヒ無シ蓋シ勝ヲ獲タル者其主將政權ヲ占メテ即チ僧官ノ族ト爲リ校尉ノ屬之ニ次キ軍人ノ族ト爲リテ其降虜ノ屬最モ下ニ居テ即チ奴役スル所ト爲リタルノミ

波羅門ノ政術其不正ナルヿ此ノ如シ卽チ釋氏ノ徒ノ如キハ憤ヲ是ニ懷テ興起セシ者ナリ顧フニ仁慈友愛ノ旨義ハ波羅門ノ敎ヘ固ヨリ已ニ之ヲ唱ヘシモ實際ノ處ニ至リ大ニ其旨趣ニ反スルヲ致セリ釋氏ノ徒興ルニ及ヒ仁慈友愛ノ旨義益〻盛ニシテ其効實ニ人ヲシテ嘆服セシムルニ至リテ族類貴賤ノ別ト僧徒政治ノ權トハ全ク地ニ墮ルヲ致セリ

第三　印度ノ理學ハ皆盡ク宗敎ニ係リシノミニ非ス其全ク世俗ノ間ニ生シテ僧徒ト少シモ交涉無キ者モ亦之レ有リ卽チ釋迦氏ノ說ノ起リシハ此種ノ理學實ニ之レカ淵源タリ

印度初年ノ理學ハ唯夫ノ「ウェダー」ノ頌歌ヲ解釋シテ以テ說ヲ爲スニ過キサリキ其後碩學ノ士輩出シ靜觀深察ノ工夫ヲ用ヒ自ラ一說ヲ創スルヿヲ求メ稍〻波羅門敎ノ範圍ヲ出ツヲ是ニ於テ諸種ノ說競ヒ起リ其相異ナル者ハ氷炭相容レサルニ至ル卽チ肉體ノ感覺ヲ主トスルノ說（サンシュアリスム）ヨリ一切ノ事ニ就キ皆疑ヲ置クノ說（セプチシスム）及ヒ神人感合ノ說（ミスチシスム）ニ至ルマテ相對シテ力ヲ逞クセリ

此等學士ノ中尤モ著稱セラレシ者ハ曰クカピラー曰クゴタマー曰クパタンジヤリーナリカピラーハ五官ノ感觸ヲ主トシテ說ヲ爲シ其極終ニ神ナル者有ルヿ無シト爲スニ至レリゴタマーハ專ラ論理（ロジック）ノ學ヲ講求スルヿヲ主トセリパタンジヤリーハ神人感合ノ說ヲ倡フル者ノ領袖ニシテ夫ノ「バガワット、ジター」ノ中ニ載スル所ノ理學ノ諸說ハ皆パタンジヤリーニ淵源スル者ノ如シ

「バガワット、ジター」ハマーバラーノ事蹟ヲ歌頌セル詩ナリ此詩中アルジューナーナル者少年公子ニシテ戰ニ臨ムノ前神ト晤話セシ事ヲ載セリ其話頭ハ皆庶物原理ノ學ニ涉ル蓋シ此時明神降下シテ軍人ノ服ヲ着ケ因リテ公子ヲ敎誨セシト云フ是レ正ニ神人感合ノ說ト謂フ可シ

「バガワット、ジター」ノ詩中云フ有リ曰ク五官（サンス）ノ力固ヨリ盛ナリトス然レ𪜈精神アーハム）ハ五官ニ比シテ更ニ盛ナリトス智慧（アンテリジヤンス）ハ又精神ニ比シテ更ニ又盛ナリ而シテ智慧ノ上ニ居ル者ハ神ナリ云々

其說又以爲ラク德行トハ精神ノ粹然至純ニシテ一切五官ノ感觸スル所ノ者ヲ雜ヘサルノ謂ナリ而シテ又此等善行ノ上ニ位スル者ハ靜觀默察ノ行ヒ更ニ貴フ可シト爲ス故ニ曰ク行爲ニ於テ善ヲ施スヿハ精神ニ於テ神ヲ愛慕スルノ大ニ愈レリト爲スニ如カス故ニ苟モ誠心以テ神ヲ愛慕スル者ハ斯世ニ在リテ惡行ニ論無ク卽チ善行ト雖モ之ヲ爲スヲ屑シトセス唯恭默深念スルノミト

又曰ク凡ソ道ヲ知リテ深ク之ヲ信スル者ハ慈善ノ行無シト雖モ猶ホ安心ノ地（トランキリテー、シュプレーム）ニ至ルヿヲ得又曰ク神ヲ愛慕スルノ念盛ニシテ一切事業ヲ拋擲シ大信心有リテ絲毫モ疑ヲ懷カサル者ハ一事ヲ爲ス無キモ神ノ悅テ之ヲ許ス所ナリ又曰ク烈火能ク薪木ヲ焚イテ灰燼ト成ラシム信心ノ火ノ一切事業ヲ焚滅スルモ亦猶ホ此ノ如シ又曰ク眞ノ火上根器ト稱ス可キ者ハ一切世諦ヲ擺脫シ九竅アル肉身ヲ以テ都會ノ中ニ在ルモ自ラ施爲スル所無ク亦人ニ勸メテ施爲セシムルヿ無ク安然以テ世ヲ送ル者是レナ

リ又曰ク眞ノ信者ハ自ラ其身ヲ捐棄シテ以テ神ノ處所ニ達スルヿヲ得又曰ク汝須ク世界ニ於テ獨余一人神譯者按スルニ卽チ神ノ自ラ言フ辭チ信ス可シ汝當サニ善ク汝ノ心ヲ護持シ一切行事ノ益ヲ捐棄ス可シ又曰ク事業ハ學問ニ如カス學問ハ默察ニ如カス故ニ我臣僕中若シ一人有リ其心一切庶生ト友愛有リ既ニ他人ヲ畏ルヽヿ無ク又他人ノ畏ルヽ所ト爲ラサル者ハ余最モ之ヲ愛シテ大ニ他ニ勝サル有ラン又曰ク一切斯世ニ期望スル所無クシテ人生ノ企圖ニ於テ一切放念シタル者ハ余モ亦必ス之ヲ愛セン又曰ク順境ニ居テ喜ハス逆境ニ居テ憂ヘス願欲スル所無ク百事ニ就テ自得シ唯余カ臣僕タルノ名ニ安ンシテ禍福吉凶ヲ以テ意ニ嬰ケサル者有ルトキハ余尤モ當サニ之ヲ愛ス可シ又其仇讎ヲ待ツニ朋友ヲ待ツカ如ク榮辱心ヲ動カスヿ無ク熱ニ遇フモ熱トセス寒ニ遭フモ寒トセサル者ハ余モ亦之ヲ愛ス可シ又樂ニ居テ樂マス困ニ處シテ苦マス一切順逆ノ遇ニ於テ心ヲ動カサス人之ヲ譽ルモ喜ヲ加ヘス之ヲ毀ルモ憂ヲ加ヘス淵默シテ語ルヿ無ク何事ニ遇フモ自得シテ驚カス家產ヲ事トスルヿ無ク唯余一人是レ慕フ者ハ余モ亦當サニ之ヲ愛ス可シ云々

釋迦牟尼ノ說ノ如キハ正サニ是神人感合ノ說ニ胚胎シ來レル者ナリ釋迦牟尼ハ別號ヲ「ブダ」ト曰フ大聖ノ義ナリ

第四　シッタルクター又名ケテ釋迦牟尼ト曰フ釋迦家ノ隱遁人ノ義ナリ又「ブダ」ト曰フ釋迦ノ敎ヲ傳フルヤ自ラ號シテ理學士ト稱シテ絕エテ神ノ名號ヲ假リテ唱說スルヿヲ爲サス其道德ノ戒ヲ垂レ及ヒ理學高遠ノ義ヲ敎ヘテ以テ從前波羅門ノ敎ヲ一掃セシモ一モ奇怪ノ言ヲ爲セシヿ無シ今釋敎ノ中或ハ妖妄ノ言有ル者ハ蓋シ後世僧徒其名ヲ假リテ之ヲ添入シタルヿ疑ヒ無シ

釋迦牟尼ハ紀元前六百年ヲ以テ生ル中印度ノ王ノ太子ナリ年二十九ニシテ其父ノ邦ヲ出テ深山ノ中ニ入リ諸種ノ苦業ヲ修メ四大眞理ヲ發明シテ之ヲ講說セリ

所謂四大眞理ハ皆當時世ニ傳ハリシ所ノ生死輪轉ノ說卽チ軀殼變化ノ說ニ於テ大ニ關係ヲ有セリ乃チ第一眞理ハ曰ク此ノ如クニシテ生死輪轉スルモノハ其勢苦惱ヲ免ルヽコト能ハス釋迦是ニ於テ其創ムル所ノ十二因緣ノ相牽聯スルノ理ニ由リテ此第一眞理ヲ證明セリ所謂十二因緣トハ曰ク生ハ死ト病トノ因緣ナリ不定ノ生存（ユキシズタンス、モビール）ハ生ノ因緣ナリ事物ニ愛着スルコトハ不定ノ生存ノ因緣ナリ嗜好願欲ハ事物ニ愛着スルノ因緣ナリ肉身ノ感覺ハ嗜好願欲ノ因緣ナリ事物ニ觸ルヽコトハ肉身ノ感覺ノ因緣ナリ五官ノ能ハ事物ニ觸ルヽノ因緣ナリ物ノ區別ヲ爲ス所ノ外形ハ五官ノ能ノ因緣ナリ物ヲ智覺スルノ能ハ物ノ區別ヲ爲ス所ノ外形ノ因緣ナリ想像ノ力ニ賴リテ外物ヲ判斷スルノ能ハ物ヲ智覺スルノ因緣ナリ觀察ノ不明ナルニ由リテ外物ヲ誤認シ外物ヲ以テ皆實ニ有リト爲スノ妄念ハ外物ヲ判斷スルノ因緣ナリ是ニ由リテ之ヲ觀レハ吾人ノ自ラ以テ生ヲ斯世ニ託スト爲スハ本ト一個ノ妄想タルニ過キス夫レ吾人斯世ニ居テ視聽スル

所思考スル所判斷スル所皆妄想タルヤハ是妄想ハ實ニ廣大無邊ニ非ス乎

此レハ是レ第一大眞理ナリ

第二大眞理ハ曰ク願欲ハ苦惱ノ本ナリ蓋シ願欲ノ物タル常ニ恐懼ノ念及ヒ自ラ足レリトセサルノ念ト相離レス此レ豈苦惱ノ原因ニ非ス乎願欲ノ憚ル可キハ利劍ノ刃ヨリモ憚ル可ク其畏ル可キハ毒草ノ葉ヨリモ畏ル可シ之ヲ譬ヘハ夢幻ノ如シ泡影ノ如シ舞蹈ノ翩躚タルカ如シ意義ヲ有セサル言辭ノ如シ蜃氣海市ノ如シ茫々昏々トシテ唯吾人ノ視聽ヲ惑ハスニ過キサルノミ其空虛ナルヤ猶ホ水上ノ洑紋ノ如シ云々又曰ク凡ソ諸物ノ相合シテ成ル者ハ或ハ因ト爲リ或ハ果ト爲リ循環シテ已ムコト無キ者ナリ又曰ク凡ソ生ヲ斯世ニ託スル者皆力ヲ他物ニ假リテ僅ニ以テ存スルコトヲ得故ニ永久存スルカ如シト雖モ實ハ假相ニシテ實相ニ非ス賢者ハ其然ルヲ知

ル是ヲ以テ皮表ノ爲メニ謬マラレスシテ深ク觀察ノ功ヲ下シテ斯ニ以爲ラク凡ソ衆物相合シテ生ヲ爲ス者ハ皆空幻泡影ニシテ眞ニ其物有ルニ非ス凡ソ我カ六根ニ感觸スル者ハ其外ヨリ言フモ其中ヨリ言フモ終ニ空虛タルニ過キスト

第三大眞理ハ其旨趣タル大ニ人心ヲ慰スルニ足ル蓋シ以上二大眞理ニ據レハ吾人ノ生ヲ斯世ニ託スルヤ畢竟一大忘想ノ謬ル所ニシテ無根ノ願欲ノ爲メニ常ニ苦惱ヲ脫スルヿ能ハス然ルニ第三大眞理ハ正サニ吾人ヲシテ此妄想ヲ破リ此苦惱ヲ脫スルヿヲ得セシム故ニ曰ク大ニ人心ヲ慰スル手段ニ賴リテ空幻ノ肉身ヲ解脫スル是ナリ「コルワナー」(譯者按スルニ卽チノ涅槃ノ義ナラン)氣息ヲ滅除スルノ義ナリ故ニ人一タヒ此境界ニ至ルヿハ復タ生死輪轉ノ業ヲ受クルヿ無ク斯世ノ諸罪業懺悔及ヒ諸苦惱ヲ覺ユルヿ無クシテ寂滅無爲ノ眞樂地ニ透徹スルヿヲ得

然リト雖モ所謂涅槃寂滅ノ道トハ全ク心身ノ消滅シテ少モ遺ル所無キヲ謂フ乎將タ然ラスシテ特ニ肉身ノ生、滅シテ精神不朽ノ域ニ入ルヲ謂フ乎是ノ一事ニ係リ釋迦少シモ說破セサルヲ以テ後世其言ヲ解釋スル者ハ或ハ此前說ヲ執リ或ハ此後說ヲ持シテ一ニ歸スル無シ余ヲ以テ之ヲ考フルニ此後說更ニ勝サル所有リテ且ツ最モ釋迦ノ他ノ論說ニ適合スルヲ覺ユ何トナレハ釋迦ノ意以爲ラク六根ノ生ハ本空幻ナリ然ルニ夫ノ寂滅ノ道ハ正サニ此空幻ヲ滅除スルニ在ルヲ以テ其効タル空ヲ變シテ實ト爲ス者ナリ他無シ假相去リテ實相來レハナリ故ニ曰ク寂滅トハ心身全ク消滅シテ遺ル所無キヲ謂フニ非スシテ特ニ肉身ノ生ヲ脫シテ精神不朽ノ域ニ上ルヲ謂フト

第四大眞理ハ曰ク涅槃寂滅ノ道ヲ求ムルハ一切嗜好願欲ノ類ヲ舉ケテ之ヲ消除スルニ在リ是レ佛敎ノ本旨ナリ六塵ノ身ヲ擺脫シ情慾ヲ消除スルヿ是レノミ

佛既ニ此四大眞理ヲ發見シ是ニ於テ廣ク衆生ヲ濟度セント欲シ一切人類ヲシテ皆寂滅ノ道ニ達スルヲヲ求メシメテ絕エテ族類貴賤ノ別ヲ爲スヿ無シ蓋シ其大慈悲ノ心凡ソ社會ノ種族ヲ一視シテ皆之ヲ均クセリ故ニ其言ニ曰ク余カ說ク所ノ法ハ一切衆生ノ罪過ヲ亡ホスノ救令ナリ一切衆生ノ救令トハ何ソヤ此令ニ循フヲハ食ヲ乞フノ貧兒モ變シテ我敎下ノ僧トヿ爲ルヿヲ得

佛又曰ク王公貴人ノ身トノ間ニ於テ一切差別ヲ視サル者ニシテ方サニ始テ賢者ト稱ス可シ云々又曰ク斯世ニ在リテ最モ貴フ可キ者ハ德ナリ而シテ所謂德ハ金衣玉食ノ身ノ中ニ入ルヿヲ得亦襤褸百結ノ軀ノ中ニ入ルヿヲ得故ニ有道ノ人ノ貴フ可キハ身軀ニ在スシテ身ノ中有ル所ノ德ニ在リ

佛ノ意以爲ラク王公及ヒ僧徒モ他ノ人種ニ比シテ少モ相踰ユルヿ有ルヿ無シト卽チ其言ニ曰ク僧徒ト他ノ族類ノ人トノ別ハ決シテ頑石ト黃金トノ實ニ別有ルカ如クナラス決シテ光明ト暗夜トノ實ニ相異ナルカ如クナラス

佛此ノ如クニシテ理學ヲ以テ宗敎ノ外ニ置キ從前僧侶ノ威權ヲ破壞シ道德ノ諸行ヲ貴尙シテ一切宗敎ニ係ル儀典ヲ廓除セリ其言ニ曰ク凡ソ世界ノ人類ノ一歲ノ間ヲ以テ薦羞スル所ノ功德ハ唯一人眞ニ德ヲ好ムカ爲メニ發スル念慮ノ所有リテ享祭スル所ノ功德及ヒ凡ソ人々自ラ爲メニスル四分ノ一ニ當ルヿヲ得スト

佛既ニ宗敎ノ旨趣ヲシテ一切人類ヲ平等視セシメ是ニ於テ仁慈友愛ノ諸德ヲ敎ヘ人ニ勸ムルニ寬恕恭敬ノ行ヲ以テシテ他人ノ橫逆ヲ甘受シテ絕エテ恨ヲ遺スヿ無ラシム其論スル所實ニ人ヲシテ嘆服セシムル曰ク汝若シ過擧有ルトキハ之ヲ暴白シテ少モ匿スヿ勿レ汝若シ善行有ルトキハ掩蔽シテ敢テ自ラ之ヲ播揚スルヿ勿レ凡ソ人類ハ汝皆之ヲ愛セ凡ソ生ヲ懷ク者ハ汝皆之ヲ仁セヨ

古來傳フル所ノ小說ニ云ヘリ佛一日山ニ入リ途上牝虎ノ饑餓シテ其兒ニ乳スルヿ能ハサルヲ見テ之ヲ憐レミ身ヲ挺シテ自ラ虎母ニ餵セリト虛言ニ論無シト雖モ亦以テ佛ノ慈悲心ノ廣大ナルヲ形容スルニ足ルト謂フ可シ

佛又曰ク眞ノ沙門ノ德ヲ成ス者ハ門地ニ非ス又其生母ノ貴キカ爲メニ非ス貧窶ノ人能ク其困乏ニ安ンシテ絕エテ願欲スル所無キヿハ余ハ之ヲ稱シテ眞ノ沙門ト爲サン又曰ク若シ人身ニ德無クシテ人ノ爲ニ無禮ヲ加ヘラレ或ハ毆打セラレ或ハ繫縛セラレテ能ク從容トシテ怒ラス默シテ痛苦ヲ忍フ者ハ余ハ之ヲ稱シテ眞ノ沙門ト爲サン若シ人他人ノ爲メニ害ヲ加ヘラレテ敢テ抗拒スルコト無ク反リテ敵人ヲ待ツニ仁ヲ以テスル者有ル者ハ余ハ之ヲ稱シテ沙門ト爲サン若シ人己レヲ嫉惡スル者ヲ見テ己レハ絕エテ之ヲ嫉惡スル無キ者ハ余ハ之ヲ稱シテ沙門ト爲サン又宗教ノ相異ナルカ爲ニ互ニ妬害ノ心ヲ挾ムカ如キハ佛ノ尤モ戒勅シテ

之ヲ禁スル所ナリ其言ニ曰ク汝等決シテ他人ノ奉スル所ノ宗旨ヲ非議スルヿ勿レ然ラスシテ他人ノ宗旨ヲ非議スルハ是レ此人ニ加フルニ害ヲ以テスルナリ汝等又時有リテ他人ニ向ヒ汝ノ信奉セサル所ノ宗旨ヲ稱讚シテ大ニ人ニ益スルヿ有リ蓋シ此ノ如クスルハ己レハ益ヲ己レノ宗旨ノ信ヲ固クセシムル此レ豈益スル有ルニ非ス乎又曰ク汝等汝ノ奉スル所ノ宗旨ヲ信スルノ餘之ヲ過賞シテ他人ノ宗旨ヲ非毀シテ此ヲ以テ汝ノ宗旨ヲ著明ニセント欲スルハ是レ大謬ナリ此ノ如クスルハ汝ノ宗旨ニ於テ反リテ大ニ害スル所有リ嗚呼何ノ宗旨ヲ奉スル者モ何ノ論說ヲ信スル者モ皆能ク善行ニ富ミ道德ヲ以テ福利ト爲サンヿヲ是レ余ノ願ナリ

古來傳フル所ノ美談ノ中最モ稱譽ス可キ者一有リ蓋シ佛其徒弟（ピュルナノ）一日蠻野ノ種落居ル所ノ國ニ遊ヒテ佛ノ新法ヲ說カント欲スルヲ聞キ之ト語リシヿ有リ以テ佛ノ仁慈ノ高大ナルヲ知ルニ足ル故ニ左ニ之ヲ舉ク」

佛曰フ汝ノ說法センコト欲スル所ノ種族ハ其人皆酷暴ニシテ憤怨シ易ク
且ツ驕慢ニシテ禮ヲ知ラス若シ汝ノ法ヲ說クニ及ヒ汝ヲ罵リ若クハ汝
ヲ憤怨スルヿ有ルトキハ汝將サニ何ノ念ヲ發センコトスル乎(ピュルナ)答ヘテ
曰ク弟子將サニ念ハンコトス是人ヤ我レヲ罵詈シ我ヲ憤怨スルモ猶ホ頗
ル善人ト爲スニ足ル何トナレハ未ク手ヲ戟ニシテ我ヲ毆ヲ或ハ石ヲ擲
チテ我ヲ擊ツニ至ラサレハナリ佛又曰ク若シ彼レ汝ヲ毆打スルトキハ汝
將サニ何ノ念ヲ發センコトスル乎答ヘテ曰ク弟子將サニ念ハンコトス是人
ヤ我ヲ毆打スルモ未タ棒ヲ擧ケテ我レヲ扶ヲ劒ヲ抜イテ我ヲ斫リ以テ
我ヲ傷クルニ至ラサルヲ以テ猶ホ頗ル善人ト爲スニ足ルト佛是ニ於
棒ヲ以テ汝ヲ扶ヲ劒ヲ以テ汝ヲ斫リ傷ヲ蒙ムラスルトキハ汝將サニ何ノ念
ヲ發センコトスル乎答ヘテ曰ク弟子將サニ念ハンコトス是人ヤ我ヲ傷クル
モ未タ我ヲ殺スニ至ラサルヲ以テ猶ホ頗ル善人ト爲スヲ得可シト佛又
曰ク若シ汝ヲ殺ストキハ何如答ヘテ曰ク是人ヤ我ヲ殺スト雖モ若シ殺死

一時ノ痛苦ヲ以テ肉身ニ附麗スル所ノ平常不斷ノ痛苦ニ比スルトキハ其
輕重如何ソヤ弟子若シ一時ノ痛苦ヲ以テ死シテ平常不斷ノ痛苦ヲ脫ス
ルヿヲ得ハ將サニ念ハンコトス是人ヤ頗ル善人ト爲スニ足ルト佛是ニ於
テ欣然トシテ曰ク善哉善哉(ピュルナ)汝是ノ如クナルトキハ以テ彼種落ニ居
住スルニ足ル往ケヤ(ピュルナ)汝既已ニ自ラ苦ヲ脫セリ宜ク以テ人ノ苦ヲ
救ヘ汝既已ニ自ラ慰藉セヨ汝既已ニ自ラ純然涅
槃寂滅ノ域ニ至レリ宜ク以テ人ヲ導イテ此寂滅ノ域ニ至ラシメヨ
佛ノ道學廣大ナルヿハ則チ廣大ナリ獨リ惜ラクハ高遠ニ過キ且ツ觀察ニ
專ラニシテ進取ノ道ニ缺クル有リ其仁慈ノ行ヲ講スルヿ至レリト雖モ義
ノ一德ニ至リテハ蓋シ聞クヿ莫シ他人ノ不正ヲ堪忍シテ怒ラサルカ如キ
ハ洵ニ美德ナリ特ニ其不正ノ行ノ害獨リ己レノ一身ニ止マルトキハ尤モ美
德ト稱スルニ足ル然レトモ己レノ權理ヲ防護シ亦他人ノ爲メニ其權理ヲ防
護スルカ如キモ亦人生ニ缺ク可ラサルニ非ス乎而シテ佛絶エテ之ニ論及

スルヿ無シ且ツ仁慈ノ旨趣ヨリシテ言フモ此ノ如ク容易ニ人ノ不正ヲ宥恕スルトキハ或ハ眞ノ仁慈ト爲ス可ラサルニ至ラン何トナレハ斯世ニ在リ不正ノ行有ルヿ此ノ如ク其夥クシテ正サニ良民ノ患ヲ成ス然ルヲ輙ク宥シテ之ヲ問ハサルトキハ其害滋〻甚キニ至ル可ケレハナリ之ヲ要スルニ國人タルノ德行及ヒ政術ニ係ル善行、愛國ノ志操等ノ如キハ東方諸國ノ學士多クハ之ヲ了解セスシテ專ラ無爲ノ業ヲ敎諭スルヿ是レ其缺失ノ處ナリ

佛ノ理學及ヒ道學ノ功ハ專ラ人心ヲシテ溫和ナラシムルニ在リアベール、レミュザーノ言ニ據ルニ他國ノ暴民亞細亞ニ亂入シ酷暴ヲ極メタルニ方リ佛ノ徒弟之レカ爲メニ說法シテ大ニ其行ヲ改メシメタリ卽チシャモー人ノ如キ凶暴ノ行ヒ殆ント狂病ノ如クナリシモ佛敎ノ効ニ由リ大ニ其性ヲ變シ今日ニ至リテハバンコックノ都會ノ人口四萬人ノ間爭鬪ノ事有ルヿ甚罕ナリ若シ鬪フテ人ヲ殺ス者有ルトキハ全都ノ人驚駭シテ非常ノ異事ト爲ス其風俗ノ溫柔ナルヿ是ノ如シ

○第二　百兒矢亞ノ理學○ゾロアストル

古昔百兒矢亞ノ民ハ印度ト種族ヲ同クシ光明及ヒ溫煖ノ原質ヲ尊ヒテ神ト爲シテ以爲ラク此原質ハ亦智慧及ヒ生活ノ本根ナリト是ニ於テ大陽ヲ拜シテ此神ノ肖像ト爲シ火ヲ以テ此神ノ威德ト爲セリ是ニ於テ百兒矢亞人ノ火ヲ蓄フルヤ極テ淸淨ヲ尙ヒ一切汚穢ノ物ヲシテ之レカ光輝ヲ涴スヿ無カラシム其後ゾロアストル出ルニ及ヒ此理學ニ就イテ益〻精微ヲ極メタリゾロアストルハ基督ヨリ前六百年ヲ以テ生レタリ其理學ノ諸說ハ載セテ「ゼンド、アウェスター」ノ經典中ニ在リ

ゾロアストルノ理學ノ本旨ハ復タ印度神物同體ノ理ニ非スシテ二理對立ノ說ヂュアリスムヲ持スルニ在リ其意以爲ラク斯世界ハ善ト惡ト眞ト僞ト光明ト暗黑ト精神ト物體ト交鬪シテ成ル所ナリト是ニ於テ世界自ラ二個ノ原質有リテ一ハ善ヲ司リ一ハ惡ヲ司リ卽チ「オルミュット」ハ眞實ト光明トノ本原ニシテ「アリマン」ハ詐僞ト暗黑トノ本原ナリ是二神常ニ爭鬪シテ窮已有

ルヿ無シ

「ゼンド、アウェスター」ノ書ニ曰ク開闢元始ノ時ニ在リ「オルミュット」善神獨リ萬物ノ上ニ位シ其廣大ノ智慧ト無比ノ清淨トヲ以テ斯世界ニ照臨セリ卽チ「オルミュット」ノ尊位ヲ號シテ光明清淨ノ位ト稱シ其廣大ノ智慧ヲ號シテ清淨ノ法令ト稱セリ其後ニ至リ「アリマン」神出現シテ「オルミュット」神ヲシテ復タ獨威德ヲ逞クスルヿヲ得サラシムルニ至レリ

「オルミュット」ノ斯世界萬類ヲ作ルヤ直チニ之ヲ造リシニ非スシテ言語卽チ「ウェルブヂワン」神ノ語ノ義ノ具ニ賴リテ之ヲ造レリ「ゼンド、アウェスター」ノ書ニ曰ク賢哲ナルゾロアストル譯者按スルニ此語是レ「オルミュット」神ノ敕語居レ吾レ汝ニ告ケン此清淨ニ且ツ聖哲ニ且ツ迅速ナル言辭譯者云フ卽チ神ノ語ハ天ノ未タ世界ヲ覆ハサル地ノ未タ之ヲ載セサルノ前水ノ未タ流レサルノ前木ノ未タ生セサルノ前獸ノ未タ產セサルノ前火ノ未タ發セサルノ前早ク已ニ現存セリ卽チ火ハ余「オルミュット」ノ兒子ナリ云々

「オルミュット」善神ト「アリマン」惡神トハ其威權相等シ但「オルミュット」ハ其無限ノ慧眼ヲ以テ一切事ノ後ニ發ス可キ者及ヒ其生スル所ノ効果ヲ前知シテ少シモ違フヿ無シ「アリマン」ニ至リテハ然ラス己レノ所爲ト雖モ已ニ成ルノ後ニ於テ纔ニ其効果ヲ見ルノミ是レ他無シ一ハ無形精神ノ本原ニシテ一ハ有形物質ノ本原ナルヲ以テ其智愚ノ相懸殊スルヿ固ヨリ怪ムニ足ラサルナリ故ニゾロアストルノ意以爲ヘラク「オルミュット」神ハ其前知ノ功德有ルカ爲メニ千萬歲ノ星霜ヲ經ルトキハ竟ニ全捷ヲ獲ルニ至ルヿ疑無シ卽チ現ニ世界人類ノ生ヲ察スルニ善ハ漸次ニ進ミテ惡ハ漸次ニ退キ光明稍々ニ增シテ暗黑稍々ニ減スルヲ見ル是ニ由リテ之ヲ考フルトキハ其極ヤ惡ハ終ニ全ク迹ヲ歛メテ善ノ中ニ消滅シテ復タ見ル可カラサルニ至ラン

百兒矢亞人近代ノ理學モ亦此意ヲ奉セシ者ニ似タリ但未タ之ヲ詳ニセサルノミ

第二　ゾロアストルノ理學ハ善惡智愚ノ二者ヲ以テ相仇敵スト爲シ衆ニ

論スヨ善ヲ尙ヒ智ヲ貴ヒテ以テ惡ト愚トヲ擊破スルヿヲ以テスルヨリ其道學タル一種ノ善効ヲ發スルヿヲ得タリ蓋シ百兒矢亞人ノ此敎ヲ奉スル者皆信シテ以爲ラク吾儕坐ラニシテ惡ノ制スル所ト爲ルヨリハ盍ソ進ミテ善ノ力ヲ助ケサルヤト是ヲ以テ百兒矢亞古昔ノ人種ハ印度人ヨヨ比シテ大ニ活潑敢爲ノ氣象有リ他ノ亞細亞學士ノ專ラ意ヲ深微幽晦ノ道理ヨ潛メテ靜觀默坐シテ世ヲ送ルカ如クナラス是レ其長スル所ナリ

ゾロアストルノ理學ハ善ノ本原ヲ以テ智慧ヨ出ルト爲シテ而シテ智慧ナル者ハ光明ヲ以テ體ト爲シ萬物ノ中ニ透入シテ少モ汚濁ヲ受クルヿ無シ故ニ智慧ノ物タル亦至純至潔ノ性ヲ具フル者ナリ故ニ百兒矢亞ノ道學ハ下ノ一語ヲ以テ綱領ト爲ス曰ク汝當サニ身ヲ保チテ淨潔ヲ「オルミュッド」ニ比スルヿヲ求ム可シト而シテ所謂淨潔ハ獨リ之ヲ意念ヨ見ハスノミナラス亦之ヲ言語行爲ニ見ハスヿヲ要ス「ビュルヌーフ」氏譯スル所ノ「ヤスナー」ノ書中云フ有リ嗚呼諸君各〻皆廣大ノ力量ヲ有シテ淸淨ノ身ヲ持ス若シ我レ

意念ヨ於テ若クハ言語行爲ヨ於テ公等ヲ侵スヿ有ルトキハ其有意ヨ出ルト無意ニ出ルトヨ論無ク余ハ益〻公等ノ能ク淸潔ノ身ヲ持スルヿヲ貴尙ス可シ云々ト

意念淨潔ナルトキハ精神益〻光輝ヲ放チテ蔽ハルヽ所無キヲ得而シテ意念苟モ淨潔ナルトキハ亦言語ヲシテ淨潔ナラシムルヿヲ得夫レ虛欺ノ言ハ何物ソヤ此レ正ヨ光明ノ輝ヲ侵蝕スル所ノ陰暗ニ非ス乎此レ正ヨ暗黑ノ本原卽チ善ク人ヲ欺瞞スル所ノ惡神ノ行爲ヲ倣傚スルヨ非ス乎是故ヨ百兒矢亞人ノ意ヨ於テ最モ恥ツ可シト爲ス所ハ虛言ニ踰ユル莫シ此レ「エロドット」ノ傳フル所ナリ虛言ヨ亞イテ恥ツ可キハ惡行ナリ蓋シ凡ソ惡行有ル者ハ必ス之ヲ匿スヿヲ求ム苟モ匿ス所有ルトキハ其勢虛言ヲ爲サヽルヲ得ス故ヨ惡行ノ恥ツ可キハ必スシモ其他人ヨ害スルカ爲メナラスシテ專ラ其虛言ヲ爲スヨ陷ルカ爲メナリ

百兒矢亞ノ道學ノ戒ヨ曰ク凡ソ人ノ能ク神ヨ肖似スル所以ノ者ハ其明白

ニシテ匿スヿ無キノ處ニ在リ蓋シ神ニ在リテハ其體軀ハ直チニ光輝ヲ以テ成リ其精神ハ直チニ眞實ヲ以テ成ル者ナリ

顧フニ百兒矢亞ノ道學ハ緊ク其道學ト適合シテ極メテ整齊ナリ曰ク光明リュミエール ナリ曰ク玲瓏トランスパランス ナリ曰ク眞實ナリ曰ク淨潔ナリ此レ正ニ善ノ本體ニシテ神ノ徵象ナリ其威德早晩必ス勝利ヲ獲テ彼ノ暗黑ト虛欺ノ惡ハ形ヲ斂ムルニ至ラン之ヲ譬ヘハ太陽東方ニ出ルトキハ暗夜ノ雲霧一時ニ消散スルカ如シ

○第三　古昔ゴールノ理學

古昔ゴール人ハ其種族相雜ハリテ一ナラス蓋シ印度歐羅巴及ヒアリマンノ三種ニ出ツ卽チ其理學ヲ閲スルニ正ニ此三種族ノ民ノ才氣性質ヲ幷有スルヲ見ル

希臘ストラボンゴール種族ノ事ヲ叙述シテ極メテ實迹ニ合セリ此レ理學士ポシドニユースノ證スル所ナリ蓋シストラボンノ言ニ據ルニ吾儕ノ祖

先卽チゴール人ヲ謂フ佛人ノ先祖ナルカ故ナリハ性極メテ眞率ニシテ俠氣有リ苟モ人ノ難ニ遇フヿヲ見ルトキハ身ヲ捐テヽ之ヲ救ヒ爲メニ鬪フト雖モ辭セストセザール モ亦傳ヘリゴール人ハ隣近ノ部落ノ寇難ニ遭フヿヲ見ルトキハ直チニ進ミテ之ヲ助ケテ猶豫スルヿ無ク其義ニ激スルヿ極メテ迅疾ナリトセザール又傳ヘリゴール人ハ好ミテ純然ノ正義ト法律ノ令スル所ノ行トヲ區シテ之ヲ別テリ其風俗習尙ヲ察スルニ自家ノ光譽ヲ重ンスルヿト自由ノ權ヲ愛スルヿト最モ其多キニ居ル卽チ婦女ノ柔弱ト雖モ能ク自ラ其身ヲ守リテ丈夫ノ左右スル所ト爲ルヲ聽サス此レ獨リ東方諸國ノ及ハサル所ナルノミナラス希臘羅馬ト雖モ亦遠ク其下ニ出ツ蓋シゴールニ在リ女子嫁ス可キ者有ルトキハ其父客ヲ延イテ之ヲ宴ス其女出テヽ客ニ接シ其好ム所ヲ擇ヒテ之ヲ定ム卽チフォセー種族ノ尊長ノ來リテマルセイユニ在ルニ當リゴールノ一尊長ノ女之ヲ悅ヒ擇ヒテ夫ト爲シ以テ此都府ヲ建基セシカ如キハ正サニ此風俗ヲ證徵スルニ足ル

ハンリー、マルタンノ佛蘭西史ニ曰クマルセイユ府ノ建基ニ係リ傳フル所ノ婚姻ノ儀ノ如キハ實ニ貴尚スルニ足ル女子ノ其好意ヲ以テ夫婿ヲ撰擇シ以テ情好相合スルヲヲ求ムルヤハ正ニ其自由ノ權ニシテ天ノ固ヨリ賦スル所ナリ近世ニ至ルニ及ヒ最モ文明ト稱スル國ト雖モ此俗漸ク廢シ女子ノ自由權殆ンド地ニ墜ルヲ致セリ是レ他無シ父親ノ權ヲ重ンスルヲ過甚ニシテ遂ニ此弊ヲ馴致シテ覺ラサルナリカンマー女ノ事蹟ヲ閱スルニハ又マルセイユ府ノ建基ニ係ル婚姻ノ事ト一副ノ美談ト爲スニ足ル云々

カンマーハゴールノ女僧ニシテ容色極メテ艷麗ナリ一武人其色ヲ悅ヒテ之ヲ妻トセント欲スカンマー亙人有ルヲ以テ峻拒シテ肯ンセス武人怒リテ其夫ヲ殺シカンマーニ逼ルヲ益〻甚シ武人素ヨリ貴豪ニシテ勢威有リカンマーノ父母ヲ恐喝シテ遂ニ之ヲ聘スルヲヲ得タリ婚姻ノ夜ニ及ヒカンマー自ラ酒ヲ觴ニ崇テ先ツ之ヲ其奉スル所ノ神ニ獻シ然後之

ヲ飲ムヿ一口シテ其餘ヲ夫婿ニ奉ス夫婿乃チ飲テ之ヲ嚙ス是ニ於テカンマー大ニ喜ヒ大聲シテ曰ク嗚呼余カ奉スル所ノ貞潔ナル女神ヨ余ノ恥ヲ忍ヒテ往キニ余カ最愛ノピナー譯者按スルニ隨フテ死セサリシ即チ先夫ノ名所以ノ者ハ今日有ルヲ待ツカ爲メナリ女神照臨シテ上ニ在リ余今ニ於テ余カ夫ノ爲メニ讎ヲ報スルヿヲ得タリ余ハ將サニ余カ夫ニ地下ニ從ハントスト次ニ夫婿ニ謂テ曰ク我カ父母將サニ汝カ爲メニ葬ヲ具ヘントス此レ我カ久ク汝カ爲メ准備セシ所ノ婚姻ノ儀ナリト蓋シ豫メ酒中毒ヲ夾ミシト云フ

セザールノ曰クゴールノ俗、女嫁スルニハ父母之ニ授クルニ金若干ヲ以テス夫婿モ亦金ヲ齎ラシテ妻ノ齎ラス所ト相當ル然ル後合シテ之ヲ貯ヘ使用スルヿ有ル毎ニ必ス相共ニ之ヲ諮議シ夫之ヲ肆ニスルヿヲ得スト顧フニ古昔諸國ノ法大抵皆男子ニ聽ルスニ金ヲ出シテ妻ヲ買ヒ之ヲ婢視セシメリ獨リゴールノ如キハ然ラスシテ夫其妻ヲ延イテ之ヲ友トスルニ過キス

妻ノ自由ノ權ハ正ニ其夫ト其財ヲ共ニスルノ處ニ表見スル者ナリ

ゴールノ俗、凡ソ武人ハ其交ル所ノ友朋ト相倚リテ社ヲ爲シ號シテ「フラテルニテー」ト曰フ兄弟ノ交ノ義ナリ少年武士ハ皆一人ノ勇ヲ以テ顯ハルヽ者ニ從フテ之レカ旗下ト爲リ倶ニ生死ヲ偕ニスルヿヲ約シテ違負スルヿ有ル無シ身ヲ捐テヽ義ヲ取ルヿゴール武人ノ最モ重ンスル所ナリ

ゴール人ノ能ク義ヲ重ンスル所ノ者ハ蓋シ二個ノ道學ノ說ノ全種族ニ浸漬セシニ由リテ然リ曰ク自己ノ光譽ヲ重ンスルナリ曰ク死ヲ輕ンスルナリ故ニ古昔諸國ノ民ゴール人ヲ稱シテ曰ヘリ他ノ諸國皆及フヿ莫シトス

トラボン傳ヘリ歷山王ゴール人ヲ召シテ語次之レニ問フテ曰ク公等モ亦畏ルヽヿ有ル乎對ヘテ曰ク有リ天ノ墜チテ壓死スル所ト爲ルヿヲ畏ルヽノミト然レドモゴール人實ハ天ト雖モ之レヲ畏ルヽヿ無カリキ何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク史ニ傳フゴールノ俗迅雷ニ遇フ時ハ天ヲ仰イテ箭ヲ放ツト又海水ノ溢ルヽニ遭フ時ハ劒ヲ提ケ濤ヲ亂リテ進ムト

古昔ノ人相傳ヘテ云フゴール人ノ勇猛ニシテ死ヲ畏レサルヿ此ノ如クナリシハ堅ク人心ノ不朽ニシテ再ヒ世ニ生ルヽヿヲ信セシニ由リテ然リト是レ或ハ然ランゴールノ學士ノ唱說セシ所ノ理學ヲ閱スルニ正ニ精神不滅ノ理ヲ以テ旨ト爲セリゴール人ハ理學士ヲ謂テ「ドルイード」ト爲セリ

「ドルイード」ハエヲブト印度猶太等ノ如ク別ニ一種ノ族ニ於テ之ヲ世襲セシニ非スシテ苟モ學術淵博ニシテ且才德衆ニ出ツルヿハ之ヲ納レテ子ト爲シ以テ家ヲ傳フルヿヲ得又子現ニ才學有ルヿハ亦父ノ業ヲ繼クヿヲ得

唯學問ノ年歲極メテ長クシテ且試驗極メテ艱難ナリト云フ

「ドルイード」ハ星學醫術法律ニ通シ又理學道學二科ニ通スルヿヲ要スストラボン傳ヘリ「ドルイード」ノ職ハ人ニ敎フルニ性法及ヒ諸國ノ憲法及ヒ民律刑律ノ屬ヲ以テシテ以テ職ト爲スト

「ドルイード」ノ族其衆頗ル多ク相倚リテ一黨ヲ爲シ其理學タル略ヽ神人感合ノ意ヲ含ミ又極メテ博通ナリ絕エテ軍馬ノ事ニ預ルヿ無ク又租賦ノ類ヲ

納ムルヿ無ク亦官吏ノ職ニ服スルヿ無シ

ストラボン曰ク「パルド」神ヲ祭ルノ時及ヒ「オワット」神ヲ享祭スノ屬皆以爲ラク精神並ニ世界ハ皆不滅ナリト又以爲ラク水火ノ二者永劫相剋シテ勝敗常ナラスト

セザール曰クゴール人以爲ラク人死スルトキハ其精魂去リテ又他ノ身中ニ入リテ再生シ是ノ如クニシテ循環已ムヿ無シトヂオドール曰クゴール人ノ意、人ノ精魂ハ朽滅スルヿ無シ肉身死スルトキハ更ニ轉シテ他ノ肉身ヲ被ムリテ復タ生スト「リュカーン」詩ヲ作リテ「ドルイード」公等深山ノ中ニ屏居シテ世ト交ラス自ラ以爲ラク神ノ何物タルト天堂ノ何狀ナルトニ於テ已レ獨リ其奥ヲ極メタリト顧フニ公等是ニ ノ者ニ於テ少モ知ル所有ル無シ若シ公等ノ言ノ如クナルトキハ身死スルトキハ更ニ他ノ身ニ託ス果シテ此ノ如クナルトキハ既ニ天堂ノ樂ヲ享ルヿ無ク又地獄ノ苦ヲ患フルヿ無クシテ唯斯世界有ルノミ

「ドルイード」ノ說實ニ「リュカーン」ノ言ノ如シ「ドルイード」精魂ヲ以テ不滅ト爲スト雖モ初メヨリ天堂地獄ノ說ヲ執ルヿ無シ其賞有リ罰有ルハ皆斯世ノ事ニシテ唯此レヲ以テ罪ヲ懺悔シ及ヒ世運ノ進歩ヲ助クルノ具ト爲スニ過キサルノミ

然レハ「ドルイード」又以爲ラク惡ヲ爲ストキハ身死シテ再生スルニ及ヒ或ハ禽獸ニ變スルヿ有リ此レハ則チ地獄ノ罰ナリ又天堂ノ如キ者モ亦之レ無キニ非ス然レハ「ドルイード」ノ所謂天堂ハ一種特異ノ物ニシテ人若シ是ニ到ルヿヲ得ルトキハ其身少シモ變スルヿ無ク且ツ一切情念ヲ存スルヿ少モ生前ト異ナルヿ無シ

セザールノ史ニ曰クゴールノ俗、人死シテ之ヲ葬ルトキハ其故舊知識書札ヲ作リテ之ヲ燒ク以爲ラク此ノ如クスルトキハ死者之ヲ讀ムヿヲ得ルト朋友ノ一人前ニ死シテ其後又一人死スルトキハ葬ニ臨ミ書ヲ作リテ之ヲ燒ク以爲ラク此ノ如クスルトキハ後ニ死セル者其書ヲ前ニ死セル者ニ傳達スルヿ

ヲ得ルト又ゴール人往々金ヲ人ニ貸シ約ヲ定メ再生ノ時之ヲ還サシム

プリンヌノ傳フル所ニ據ルニ「ドルイード」ノ徒一種ノ寄生草ヲ以テ精魂不滅ノ徴ノ外ニ著ハルヽ者ト爲シ且ツ此草ヲ以テ異常ノ効能有リト爲セシト蓋シ「ドルイード」『シェーンヌ』木ノ名譯者未タ之ヲ詳ニセス ヲ以テ神木ト爲ス故ニ以爲ラク「シェーンヌ」木ニ寄生スル草獨リ異効有ルヿヲ得然ル所以ノ者ハ他無シ此木本ト神木ニシテ異常ノ滋液有ルヲ以テ其生ヲ寄スル所ノ草ヲ養フテ常ニ蒼々トシテ枯落セサラシムルカ故ナリ卽チ人類ノ如キ本ト不滅ノ物ニ非サルモ造化神之ヲ養フテ以テ己レカ有スル所ノ不滅ノ德ヲ傳フルヿ猶ホ「シェーンヌ」木ノ其寄生草ニ於ケルカ如シ

プリンヌ又曰ク草木槁落シテ霜雪方サニ降ルノ時ニ及ヒ彼ノ寄生草獨リ「シェーンヌ」木ニ纏繞シ其葉色蒼々トシテ生氣ヲ露呈スルニ及ヒ「ドルイード」刈リ取リテ之ヲ貯フト云フ

「ドルイード」造化神ヲ號シテ「エジュース」ト曰フ近世巴理ニ於テ發見セシ所ノ神案ヲ閲スルニ亦彼ノ寄生草ノ自然ニ其寄ル所ノ木ヨリ垂レ下ルノ象ヲ刻シ以テ神像ト爲スヲ見ル

造化神又號シテ「アンコニュー」不可思議ノ義ト曰フ又「セルクル」環ノ義ト曰フ循環窮リ無キノ意ナリ卽チ「ドルマン」『クロムレック』皆石ヲ疊積シタル物ニシテゴール人ノ遺構ナリ ノ類多クハ環ノ象ヲ爲シテ地上ニ植ウル有ルヲ見ル此レ皆無窮ノ義ヲ著ハセシヿ疑ヒ無シ

「ドルイード」ノ敎獨リ精神ノ不滅ヲ倡ヘ以テ武人ノ勇氣ヲ激勵セシノミナラズ又辯舌ヲ尊ヒテ亦其本原ヲ神ニ託セリ以爲ラク辯論ヲ以テ人ヲ服スルヿハ「ドルイード」ノ職ニ在リテ尤モ意ヲ用フ可キ所ナリト是ニ於テ人ノ面ヲ刻鐫シ其口ヨリ黃金ノ鏁ヲ吐出シテ以テ衆人ヲ束縛セル像有リ是レ卽チ辯論ノ神ノ像ナリ

辯論ナリ學術ナリ眞實ナリ「ドルイード」皆合シテ一ト爲シテ尤モ之ヲ尊崇

ス故ニ人苟モ之レ無キトキハ一モ尙フニ足ル無シ即チ奴隷人ト雖モ學識若シ衆ニ超過シ且ツ試業ニ於テ他人ニ勝サル有ルトキハ「ドルイード」之ヲ擢テテ其黨會ニ納レ若クハ「バルド」ト爲シテ以テ之ヲ貴ベリ

以上「ドルイード」ノ事ヲ述フルニ於テ余專ラ希臘羅馬ノ史家ノ傳フル所ヲ引イテ證ト爲セリ近代ニ至リ考證家往々「ネオー、ドルイヂスム」近世ノ「ドルイード」敎ノ義ノ遺構ヲ得タル有リ以下請フ之ヲ引イテ以テ徵ト爲サン

ブリタンー島ノ「バルド」「ドルイード」ノ中一種神歌ヲ謠フコトヲ掌トル者ノ秘密中ニ傳フル所及ヒ「バルド」ノ三神說ニ傳フル所ニ據ルトキハ「ドルイード」モ亦頗ル理學ノ說ノ大ニ前ニ述ベシ所ヨリ高尙ナル者ヲ論道セシヲ見ル其意以爲ラク神ハ獨リ生活及ヒ眞理ノ本原ナルノミナラス亦自由ノ理ノ本原ナリト余ヲ以テ之ヲ考フルニ「バルド」ノ傳フル所ノ搖撼石ノ如キモ以テ之ヲ徵スルニ足ル搖撼石トハ大石ヲ疊積シ之ヲ推ストキハ動搖シテ遽カニ止マラス亦崩墜スルヿ無カラシムル者ニシテ蓋シ神明ノ大自由自在ナルニ象トリシナリ但一

事ノ疑ヲ容レサル者有リ何ノ謂ソヤ「ドルイード」ノ諸說ヲ閱スルニ一モ因果避ク可ラサルノ理ノ夫ノ變通自在ノ神ノ上ニ位スル者有ルヿ無キハ極メテ明ナリ之ヲ要スルニゴール人ハ天性深ク自由ノ權ニ浸淫シテ動ス可ラサル者ナリ

夫レ搖撼石ノ容易ニ動搖シテ而シテ崩墜セサルヿ是レ人生自由ノ理ノ寓スル所ナリ而シテ又能ク輕重相均齊スルノ意ヲ寓セリ蓋シ「バルド」ノ頌歌ヲ閱スレハ亦人類ニ託スルニ此權衡ノ意ヲ以テセリ其說以爲ラク人ハ常ニ善ト惡トノ中間ニ在ル者ナリ故ニ其意欲タル善ニ循ハサレハ必ス惡ニ陷イル或ハ善ニ循ヒ或ハ惡ニ陷イリ流轉已ムヿ無シ然レトモ亦終ニ陷落シテ復タ登攀スルヿ能ハサルニ至ラス是レ正サニ輕重權衡ノ意ナリ

他ノ三體ノ說又數個ノ論ヲ傳ヘリ而シテ此等ノ論ハ殊ニ東方諸國ノ言フ所ニ肖似シテ少モ基督敎ノ旨趣ト相涉ルヿ無シ其說ニ曰ク凡ソ生物ノ身ヲ託スルヤ三ノ「セルクル」環ノ義蓋シ生死輪轉シテ三個ノ域ヲ巡廻ス有リ卽チ環ノ循環已ム無キカ如クナルヲ謂フ

一ハ非有ノ環ナリ凡ソ此境域ニ入ル者ハ神ヲ除ク外一モ生有ルヿ無ク亦死有ルヿ無ク空蕩トシテ幻影ノ如クナルニ過キス一ハ變相ノ環ナリ凡ソ生ヲ懷ク者ハ一タヒ死スルヤハ皆直チニ此境域ニ入リテ其從前ノ形相ヲ變スル故ニ變相ノ環ト曰フ卽チ人類モ亦死スルヤハ必ス一タヒ此境ヲ經過セサルヲ得ス

一ハ快福ノ環ナリ凡ソ懷生ノ者斯世ニ在リテ善ヲ爲スヤハ登リテ此境域ニ入ルヿヲ得人類ノ如キハ上リテ天ニ在ルノ間此境域ヲ經過スル者ナリ」三體說ニ又以爲ラク凡ソ萬物、神ヲ除ク外一モ始有ラサル者無シ但既ニ生スルノ後ハ一モ朽滅シテ全消ニ歸スルヿ無シ故ニ曰ク神ハ始無ク終無キ者ナリ萬物ハ始有リテ終無キ者ナリ又以爲ラク凡ソ物ハ皆一種ノ體一種ノ性一種ノ職ヲ命セラレテ生スル者ニシテ絕エテ他物ト相混ス可ラサル者有リト是レ正サニ獨立不倚ノ說ナリ又以爲ラク神ノ始テ天地ヲ闢クヤ三ノ者並立シテ相共ニ生ヲ爲セリ曰ク人曰ク自由曰ク光明是レナリ

又以爲ラク人ノ生スルヤ是ニ於テ善ト惡トノ大戰爭ノ起ル有リ故ニ人若シ惡ヲ爲スヤハ死シテ再生スルノ時卑賤人ト成ルヲ免レス甚キハ或ハ穢醜ノ禽獸ニ變スル有リ此ノ如クニスルヿヲ得蓋シ「ドルイード」ノ意地獄ナル者有ルヿ無シ故ニ大惡人ト雖モ無限ノ苦ヲ受クルヿ無ク唯彼ノ懺悔ノ域ニ再生シ一タヒ其罪過ヲ洗雪スルヤハ復タ眞民ト爲ルヿヲ得ルナリ

又以爲ラク人能ク善ヲ爲シ且ツ特ニ氣力勇剛ニシテ能ク人ノ爲メニ軀命ヲ捐棄シ若クハ人ニ代ハリ身ヲ殺シテ神ニ供薦スルヤハ直チニ登リテ彼ノ快樂ノ境域ニ入ルヿヲ得快樂ノ境又名ケテ光輝世界ト曰フ蓋シ天ノ衆星ノ間ニ在リト云フゴール人天河ヲ名ケテ「アルチュール」勇武ナル神ノ名車ト曰ヒ凡ソ快樂ノ域ニ在ル者其肉身愈〻快樂ノ高層ニ登リテ已ムヿ無シ但一タヒ此域ニ入ルヤハ其益〻快樂ノ高層ニ登ルヤ生ナカラニシテ然ル者ニシテ決シテ一タヒ死スルヲ要セス

天上快樂ノ境ノ說ニ係リ更ニ一說ノ極メテ奇怪ナル者有リ亦「バルド」ノ頌歌中傳フル所ノ者ナリ其說以爲ラク精魂一タヒ此快樂ノ境ニ入ルモ若シ自ラ更ニ學フヿ有ラント欲スルトキハ好ンテ再ヒ下界ニ下ルヿヲ得卽チ禽獸ノ域ト雖モ亦之レニ降ルヿヲ得蓋シ「ドルイード」ノ意精神ノ自由此ノ如キ者有リ且ツ以爲ラク人ノ當サニ視テ極致ト爲ス可キハ智識ヲ致シテ其極ニ至ルニ在リト此說ノ生スル所以ナリ

是故ニ精魂苟モ益〻智識ヲ磨クヿヲ欲スルトキハ自ラ好ミテ生ヲ諸種ノ境界ニ託スルヿヲ得顧フニ此一事ヤ絕エテ基督敎ト相涉ルヿ無クシテ尤モ「ドルイード」敎固有ノ性質ヲ見ルニ足ル

若夫レゴール民間相信スル所ニ至リテハ更ニ甚シキ者有リ蓋シ「ドルイード」ノ言フ所ヲ推シテ之ヲシテ猶ホ一層ノ甚シキニ至ラシメタル者ナリ其意以爲ラク凡ソ豪傑ノ士ハ一タヒ死シテ快樂ノ境ニ登ルモ苟モ斯世ニ於テ其親戚故舊ノ難ニ遭フヲ見ルカ若クハ其父母ノ邦ノ寇賊ニ困シムヲ見

ルトキハ再ヒ生ヲ下界ニ託シテ爲メニ之ヲ救助スルヿヲ得ルト是ヲ以テ國步艱難ノ時ニ在リテハゴール人或ハ彼ノ「ドルマン」ノ積疊石ノ下ニ至リ或ハ豪傑ノ墳墓ニ趨リテ耳ヲ傾ケテ默聽スルヿ往々之レ有リ其意以爲ラク今ヤ我邦寇難ニ窘メラルヽヿ此ノ如シ豪傑ノ士在天ノ靈或ハ再生シ微妙ノ音ヲ發シ若クハ鎧冑ノ響ヲ鳴ラシテ來リ救フヿ有ラント今ニ於テ彼ノ「バルド」ノ傳フル所ノ民間ノ事跡ヲ閱スルニ此種ノ事極メテ夥シ卽チゴールノ民ノ往々「アルチュール」神及ヒ「メルラン」神ノ再生スルヿヲ信シテ疑ハサルカ如キハ正ニ此意ナリ

ゴールノ俗其生ヲ棄テ義ヲ取ルヿヲ貴フヿ此ノ如シ是ニ於テ民間又相共ニ信スル所ノ一說有リテ往々之ヲ實事ニ踐行セリ以爲ラク人ノ壽ハ豫メ定マル所ニシテ彼ノ變相ノ域ヲ司ル所ノ神之ヲ守ル故ニ一日死期ニ至ルトキハ復タ動カス可ラス但他ノ一人代リテ爲メニ終リヲ取ルトキハ以テ命ヲ贖フヿヲ得ルト是ニ於テ若シ一人有リ其父母妻子ノ爲メ若クハ其身ノ職

分ノ爲メニ猶ホ生ヲ保ツコトヲ要スル者一旦危篤ノ疾ニ罹ルトキハ其友人代ハリテ爲メニ死シテ身ヲ顧ミス若シ人能ク此ノ如クニシテ他人ノ爲メニ身ヲ棄ルトキハ唯是一事ニ賴リテ死シテ自ラ好テ身ヲ神ニ供薦スルカ故ナリ

凡ソ人ニ代ハリテ死スル者ハ本人必ス之レニ贈クルニ貨財ヲ以テス是ニ於テ分チテ之ヲ其父母妻子ノ屬ニ與ヘ然後欣然トシテ神殿ニ至リ石案ノ上ニ仰臥シテ從容トシテ終ヲ取リ以テ常ト爲ス其死ヲ畏レサルコト此ノ如シユーテルノ歌ハ正ニ此一事ヲ頌述セル者ナリ其中ニ曰ク我カ舌人ニ代リテ死スル者ノ自ラ將サニ我カ挽歌ヲ謠ハントス我レ方サニ此世ヲ周クル所ノ歌ファ詩ナリ

疊石ノ環中ニ在リ略蝮蛇來リテ我カ供薦ノ罌上ニ至リ更ニ黃金ノ角上ニ上リテ一手ニ之ヲ執リ又一手ニ劒ヲ執リ將ニ劒ヲ我頭ニ加ヘントス云々」

プリンヌノ說ニゴール人ノ人ヲ以テ神ヲ祭ルニ方リ蝮蛇ヲ用フル所以ノ者ハ故有リ蝮蛇ノ物タル年々其故皮ヲ脫シテ更ニ新皮ヲ得此ノ如クニシテ能ク長生スルコトヲ得故ニ取リテ以テ精神不朽ノ徽象ト爲スナリ

抑ゴール人ノ能ク此ノ如クニシテ死ヲ畏レス人ノ爲メニ軀ヲ棄ルノ遺風ハ猶ホ我佛蘭西中古ノ時ニ存シテ卽チ彼ノ武人義俠黨（シワレーナル）者ヲ造出スルニ至レリ古昔ゴール人ノ輕ク人ノ爲メニ身ヲ棄ルノ習ハ義俠黨ト倶ニ跡ヲ斂メリ

以上敘スル所ノ諸傳ニ依リテ考フルトキハゴール人ノ碩學輩ノ理學タル精神不滅ノ理、人心自由ノ理、人心獨立不倚ノ理及ヒ義俠ニシテ死ヲ畏レサルノ性トヲ具ヘシコト復タ疑ヒヲ容レス顧フニ我カゴール祖先ノ人種ヲシテ一種廣大ニシテ且ツ好奇ノ態有ラシメタルハ正ニ此理學ノ然ラシムル所ナリ若夫レ古昔ゴール人ト近代我カ佛蘭西人トノ性質ノ相類スルコトハ余カ著ハス所ノ日耳曼、英吉利、佛蘭西ノ法律論ノ第三卷ヲ觀テ知ル可シ

中古ノ時セルト卽チゴール種族ノ別名ブルトン、イルランドノ學士特ニペラージ、スコッ

トエリジェーンヌ、ドンスコッ トノ徒盛ニ人生自由ノ權ヲ主張シ並ニ死後ノ冥福サリューフィナール ニ係ル前定ノ運及ヒ神ノ自由自在ノ德有ルヿヲ論道セシカ如キハ猶ホ「ドルイード」教ノ遺意有リト謂フ可シ

○第四　支那ノ理學○孔夫子及ヒ孟子

第一　支那ノ人民ノ印度歐羅巴ノ人民ト相異ナル所以ノ者ハ其理學ニ徹スルモ之ヲ知ルヲ得蓋シ支那ノ理學ハ專ラ人生日用倫理ノ道ヲ講スルニ在リテ天地神人死生ノ事ハ甚タ之ヲ言ハス之ヲ要スルニ其論道スル所多クハ零碎ニシテ萬事ヲ包含スル所ノ諸原理ノ類ハ舍テ之ヲ問ハス蓋シ其用フル所ハ多クハ剖分（アナリーズ）ノ法ニシテ總合（サンテッグ）ノ法ノ如キハ希レニ之ヲ用フルノミ

支那人ノ意以爲ラク道學及ヒ政術ノ二ノ者ハ宗教ト少モ交涉有ルヿ無シト是ニ於テ學士輩是二ノ者ヲ唱說スル專ラ人世當然ノ道理ニ由リテ之ヲ證明シテ絕エテ宗教詭秘ノ態ヲ假ルヿ無シ蓋シ神物奇怪ノ說ハ支那理學

家ノ尤モ取ラサル所ナリ

支那ノ理學士ノ最モ著名ナルハ孔夫子（コンヒュシュース）ニシテ踰ユル莫シ孔夫子ハ基督ノ前六百年ヲ以テ生レタリ支那ノ載籍皆孔夫子ヲ號シテ最大ノ學士ト稱セリ其「ロンユー」（譯者按スルニ蓋シノ書ニ曰ク其知ル所ヲ知ルト爲シ其知ラサル所ヲ知ラズト爲ス是レ智識ナリ譯者曰ク論語ノ文ト少ク異ナリ今唯「ツーンユーン」譯者按スルニ中ニ曰ク人ノ尤モ當サニ知ルヘキハ其職分ヨリ急ナル莫シ又曰ク嗚呼人ノ當サニ爲ス所ノ職分ハ天下豈此ヨリ廣大ナル者有ラン哉此レ猶ホ大海ノ津涯無キカ如シ又曰ク道ハ萬物ヲ生シ又萬物ヲ保ツ道ハ其高キヿ天ニ至ル嗚呼廣ク且ツ大ナリト謂フ可シト所謂道ト「ツーンユーン」ノ書又曰ク道ハ吾人ヲシテ常ニ行ヲ制シテ天地ノ理ト適合セシムル所ノ本原ナリ又曰ク道ハ必ス由ラサル可ラス亦確乎トシテ易フ可ラス又曰ク吾人ノ行ヲ制スルヤ必ス是道ニ循ハサル可ラス而シテ道ノ

物タル吾人須臾モ離ル可ラス其當サニ務ム可キ「此ノ如キ者有リ若シ人果シテ道ニ負ク「ナ得ルトキハ是レ其所謂道ハ眞ノ道ニ非サルナリ譯者曰ク凡ソ此等漢土經書ヲ引ク處語氣少ク相異ナリ今唯原文ヲ直譯スルノミ又曰ク人ノ職分ノ尊ヲ可キハ唯其人ノ職分タルカ爲メナリト顧フニ是言ニ據レハ所謂人ノ道ハ其利益有ルカ爲メニ尊フ可キニ非スシテ唯其粹然至純ナルカ爲メニ尊フ可キナリ支那ノ道學タル少モ利己ノ査滓ヲ雜ヘスト謂フ可シ

又支那ノ道學ノ旨趣タル益〻自ラ勉メテ聖哲ノ極處ニ透徹スルヿヲ求ムルニ在リ但自然ニ粹然至純ナルヿ是レ尤モ貴フ可クシテ天ノ道獨リ然リトス爲ス若夫レ人類ノ如キハ勉強シテ粹然至純ノ地ニ至ルヿヲ求ムルノミ又曰ク天ノ道ハ一切他ノ道ノ本根ナリ

孔夫子既ニ此ノ如ク論シ更ニ一層ヲ進メテ極メテ高大ノ理ヲ論道セリ曰ク道ナル者ハ其尊キヿ天地庶物ニ勝サル是レ世界萬物ノ本根ナリ天地尚ニ廣大ナリ然レトモ人猶ホ其至ラサル所有ルヲ見ル若夫レ道ハ至レリ盡セリ故ニ聖賢ノ人道ノ廣大ナルヿヲ見テ以爲ラク世界モ之ヲ容ルヽヿ能ハスト或人孔子ニ問フテ曰ク庶物ハ何ニ由リテ生セシ乎孔子對ヘテ曰ク粹然至純ノ一理是レノミ天地ノ能ク物ヲ養フ是レ正ニ粹然至純ノ理ニ賴ルノミ然レトモ生物ノ由リテ生セシ所以ハ本ト吾人ノ知ルヲ得ル所ニ非ス又曰ク粹然至純ノ理是レ正ニ庶生ノ元始ニシテ亦其終末ナリ此理無キトキハ物由リテ生スル無キナリ

以上叙述スル所ハ孔子ノ道學ノ大旨ナリ若夫レ吾人日常循フ可キ所ノ德行ノ細目ヲ擧クルトキハ曰ク剛毅ナリ曰ク恭儉ナリ曰ク義ナリ曰ク仁ナリ而シテ最モ重ンスル所ハ仁ノ一德ニ如クハ莫シ

孟子（メンシュース）曰ク我孔夫子ノ道ハ心ノ正直（ドロアチュール、ヂュケール）ヲ守リ人ヲ愛スルヿ己レノ如クスル是レノミ夫レ己レノ欲スル所ヲ以テ之ヲ衆人ニ施ス是レ卽チ仁ノ術ナリ

「タイヨー」譯者未タ何ノ書ニ「タイヨー」ヲ指スヤヲ知ラス此ノ書ニ曰ク人ノ斯世ヲ涉ルノ道利害相與ニ偕ニ

スルニ在ルノミ經典又曰ク（ファンチー）遲ノ唐音ナラン孔子ニ問フテ曰ク仁ト𠮟何ソヤ孔子曰ク人ヲ愛スル是レナリト孔子又嘗テ曰ク凡ソ人ヲ愛スル當サニ其愛情ノ全力ト全量トヲ以テ之ヲ愛ス可シ故ニ聖賢ノ人ハ其衆人ヲ待ツヤ均ク之ヲ愛シテ差等有ルヿ無シ又曰ク老者ハ我レ之ヲ安ンスルヿヲ願フ朋友ハ我レ之ヲ待ツニ信ヲ以テスルヿヲ願フ婦女及ヒ童幼ハ我レ之ヲ養フヿ其母ノ如クナルヿヲ願フ孔子ノ門人或人憂ヘテ孔子ニ語リテ曰ク人皆兄弟有リ吾レ獨リ之レ無シ孔子曰ク然ラス賢哲ノ士（オンムシュペリュール）ハ凡ソ四方ノ海ノ内ニ居ル所ノ人類ヲ以テ皆己レノ兄弟ト爲ス何ソ兄弟無キヲ憂ヘン（譯者按スルニ是語ハ論語子夏ノ語ナルニ似タリ今原文ニ依リテ直譯ス）

第二　孔子ヨリ後二百年ニシテ孟子出テ、孔子ノ道ヲ祖述シテ益ゝ之ヲ精粹（ペルフェクシヨン）ノ地ニ致セリ孟子ノ說ノ新奇ナル處ハ尤モ其政術ヲ論スルノ一事ニシテ其意蓋シ自由ノ權ヲ亢張スルニ在リ（「ジューキン、タイ、シー」譯者未タ何ノ書ヲ謂フヲ知ラス）ニ云ヘリ暴虐ノ君ハ行路ノ盜賊ニ同シ故ニ其之レヲ罰スルヿ當サニ盜賊ト科ヲ同クス可シト又曰ク人ノ貨物ヲ竊ム者之ヲ賊ト謂フ義ヲ害スル者之ヲ暴君ト謂フ又曰ク民ハ斯世界ニ在リ最モ尊キ者タリ（譯者按スルニ孟子ノ書ニ之ニ次ク君ハ最モ輕キ者タリ精靈（ラムデール）謂フ所ノ社稷ナルヘシ）孟子ノ意又以爲ラク族類ヲ別ツヿ及ヒ奴隸ヲ蓄フヿ尤モ非ナリ人ノ種族蓋シ唯二有ルノミ而シテ二ナカラ相互ニ肝要ニシテ且ツ相互ニ尊敬スルヿヲ要ス卽チ其一ハ其智慧ヲ使用スル者ニシテ其一ハ其體力ヲ使用スル者ナリ智慧ヲ使用スル者ハ人ヲ治メ體力ヲ使用スル者ハ人ノ爲メニ治メラル是レ世界ノ通法（ロアー、コンウェナリ、ルソール）ナリト孟子又王公ノ其民ヲ治ムルニ仁政ヲ用ヒス民ヲ苦シメテ其極ニ至ラシメ其困迫ノ極、惡ヲ爲スニ及ヒ隨フテ之ヲ刑ニ致スヲ見テ嘆シテ云ヘリ是レ罟ヲ設シテ民ヲ掩フナリト孟子以爲ラク今ノ政ノ弊ヲ廓除セント欲セハ財產ヲ分別シテ不平等ノ病無カラシメ且ツ專ラ農民ニ科スル所ノ租賦ヲ罷メテ其窮ヲ救フヿヲ要ス

ト譯者按スルニ孟子ノ書稅斂ヲ謝クスルノ語
有リ罷ムルノ語無シ原文ニ依リテ直譯ス
以上論スル所ニ由リテ考フレハ支那ノ理學タル高遠深微ノ庶物原理ノ學
ヨリシテ言フキハ他邦ノ學ニ比シテ卑下ナルヲ免レス若シ其日用彝倫ノ
道及ヒ政術ヨリシテ言フキハ他ノ諸國相及ハサル者蓋シ寡カラス其靜觀
深察ノ工夫ヲ凝ラシテ以テ天地人類ノ本原ヲ發見スルニ於テハ未タ印度
其他諸邦ニ及ハスト雖モ然レトモ其人心德行ノ事ヲ言フニ至リテハ其說已
ニ頗ル高尙ノ地ニ達セシヲ見ル

○第四　エジプトノ理學譯者按スルニ第四
エジプト國ハ眞ニ稱シテ理學ト爲ス可キ者無シ蓋シ僧侶自ラ一種ノ論說
有リシモ秘シテ之ヲ世ニ傳ヘス是ヲ以テ其今日ニ傳ハリテ蒐討ス可キ者
甚タ希レナリ唯推察シテ之ヲ考フルキハ其宗旨ニ於テ旨趣ト爲セシ所ハ
亦來世ノ眞ニ有ルヲ主張スルニ在リタルニ似タリ
我カ歐洲ノ考證家近代ニ至リエジプトノ書ノ題シテ光明ニ於ケル精魂ノ

發見ト曰ヘル者ニ就イテ講求ノ功ヲ加ヘ其宗教ニ於テ本旨トスル所ノ者
ヲ尋出スルヲヲ得タリ其目一ニシテ足ラス曰ク精魂ノ長存スルヲナリ曰
ク人死スルキハ精魂更ニ他ノ肉身中ニ入リ此ノ如クニシテ輪轉シテ以テ
斯世界ヲ經過スルヲナリ曰ク死スルノ後閻王ノ裁判ヲ受ケ及ヒ諸ノ試驗
ヲ蒙ムルヲナリ曰ク人ノ命運ニ係リ天ノ諸尊者（エートル）セレストノ直ヲ之ヲ指
揮シ及ヒ之ヲ保護スルヲナリ曰ク死後惡人ノ懲罰ヲ被ムルヲナリ曰ク神
ノ下界ニ降ルニ由リ人類ヲ救助シテ其淨身（サンクチフィカシヨン）ヲ堅固ニシ及ヒ其
慧眼（イリュミナシヨン）ヲ明ニスルヲ及ヒ善人ヲ延イテ之ヲ神ノ列ニ入ルヽヲナリエ
ジプトニ在リ死葬ノ儀式ノ此ノ如ク高尙ニシテ且ツ古昔ノ遺構ノ極メテ
奇偉瑰特ナル者ノ存スル有ルハ此レ等ノ宗教ノ旨義ノ然ラシムル所ナリ
又其尖塔ノ類ノ如キ極メテ宏壯ヲ致セシハ他無シ此ヲ以テ精靈不滅ノ至
理ヲシテ人心ニ昭然タラシムルカ爲メナリ

○第五　猶太ノ理學譯者按スルニ第
五ハ第六ノ誤

猶太國モ亦專ラ力ヲ宗教ニ用ヒシヲ以テ眞ニ稱シテ理學ト爲ス可キ者有ルヿ無シ但其宗教ノ書ヨリシテ諸說ノ理學ニ涉ル者ヲ取リテ之ヲ講求スルヿヲ得ルノミ顧フニ此等ノ諸說ハ正ニ基督教ニ係ル理學及ヒ其他我カ近世ノ理學ニ浸入シテ其財料ト爲リシ者蓋シ少カラス

第一「アリヤン」教ノ徒ニ在リテハ其理學ノ旨趣トスル所ハ專ラ天地庶物ノ本質（シュブスタンス）ヲ發見スルニ在リ而シテ所謂本質ト其影象（モード）トヲ混同シテ一體ト爲シテ之ヲ分別スルヿ無シ是ニ於テ以爲ラク神ハ世界萬類ノ本質ニシテ世界萬類ハ神ノ影象ナリト是レ其理學ノ流レテ彼ノ神物同體ノ說ニ入ル所以ナリ

若夫レセミット種族卽チ猶太人ヲ謂フヿニ至リテハ然ラス其理學ノ旨趣トスル所ハ復タ萬物ノ本質ヲ求ムルニ在ラスシテ其由リテ生セシ所ノ原因ヲ求ムルヿ在リ是ニ於テ神ヲ以テ萬物ノ原因ト爲シ萬物ヲ以テ其作ル所ノ結果ト爲ス是レ猶ホ工人ト工人ノ作リシ所ノ器ト判然別物ニシテ混同ス可ラサル

カ如シ

神物同體ノ說ニ在リテハ神ヲ號シテ造化主宰ト稱スルモ實ハ其當ヲ得ス萬物皆神ト同體ニシテ別ツ可ラサルカ故ナリ猶太人ノ如キハ神ヲ以テ工人ニ比シ萬物ヲ以テ其作ル所ノ器物ニ比スルカ故ニ方ニ神ヲ稱シテ造化主宰ト爲ス可キナリ是ニ於テ其說、神ヲ以テ獨立獨存ノ一體ヲ具フル者ト爲シ或ハ之ヲ稱シテ大威德アル王ト爲シ大威德アル君ト爲シ大威德アル主ト爲シテ名謂極メテ相當ルヿヲ得タリ

セミット種族ノ最强盛ニシテ且ツ最モ古ニ溯ル者ハ皆神ヲ稱シテ「マール」ト爲ス威及ヒ力ノ義ナリ卽チ猶太人カルデー人ノ往々神ヲ稱シテ「マラー」ト稱シ「エロマー」ト稱シ及ヒ複數ニ於テ「エロイーム」ト稱スルカ如キハ皆「マール」ノ語ヨリ轉訛シ來リタルニ過キス但「エロイーム」ト稱スルトキハ複數ナルヲ以テ一神ヲ指サヽスシテ衆神ヲ指スト雖モ然レ𪜈文ヲ爲スニ及ヒテハ猶ホ必ス之レニ配スルニ單數ノ活字ヲ以テシテ複數ノ活字ヲ用フルヿ無

シ是レ他無シ「ヱロイーム」ノ語洵ニ複數ニシテ衆神ヲ指スト雖モ所謂衆神ハ實ハ一神ノ衆功德ヲ擧クルニ過キスシテ神ノ本體ハ終ニ一ニ純ラナルヲ以テナリ

セミット種族ノ壞頽セシ者卽チバビロンノ如キアシリーノ如キフェニシーノ如キハ復タ猶太ノ宗旨ニ從ハスシテ或ハ冥頑ノ物（フォルス、ブリュタール）ヲ拜シテ神ト爲シ或ハ物ヲ滋育スル（フォルス、フェコンダント）諸物ヲ拜シテ神ト爲シテ終ニ神體ヲ以テ純一ニ非スシテ卽チ衆多ナリト爲スニ至レリ所謂「ポリテイスム」多神ノ義是レナリ

猶太人常ニ力ヲ極メテ此多神ノ邪說ヲ駁擊シ因テ與ニ戰フテ屢〻敗衂ヲ取ルモ曾テ屈撓スルヿ無ク愈〻益〻振フテ神ノ純一ナルノ理ヲ亢張シテ已マサリキ

猶太人堅ク一神ノ說ヲ執ルト雖モ猶ホ夫ノ「ヱロイーム」複數ノ語ヲ用ヒシヲ以テ稍〻神體ヲ以テ衆多ト爲スノ嫌有ルヲ免レス是ニ於テ更ニ「ジェオワー」

ノ語ヲ用フルニ至レリ「ジェオワー」ノ語ハ其本義タル呼吸（レスピラション）生命（ウイー）有ヱートル等ノ意有ルヲ以テ「ヱロイーム」ノ語ニ比スルトキハ一神ノ意ヲ含ムヿ更ニ著明ナル者有リ「ジェオワー」ノ語、有ノ義有ル者ハ他無シ神ノ物タル永劫常ニ有リテ曾テ無ニ歸スルヿ無ク年代ト俱ニ經過セスシテ常ニ現在スルヲ以テナリ

玆ニ擧クル所ノ說ヨリシテ造物ノ說（クレアシヨン）由リテ興ルアリヤンノ說ニ在リテハ萬物自然ニ神體ヨリ迸出シテ斯ニ以テ世界ヲ成スニ至ル是ノ如クナルトキハ神、萬物ヲ造ルト云フト雖モ實ハ已ムヿヲ得サルニ出テヽ且ツ萬物ハ畢竟神ノ支節タルニ過キサルノミ猶太人ノ意ハ然ラス神ト庶物トノ間一大濠溝ノ存スル有リテ初ヨリ混同ス可ラス以爲ラク神本ト大威德有リテ絕エテ萬物ニ用有ルニ非ス故ニ其萬物ヲ造レルハ其好意ニ出ツル者ニシテ已ムヿヲ得サルニ由ルニ非ス斯ニ知ル神ノ萬物ヲ造レル尤モ其大自由ノ德有ルヲ徵スルニ足ルヿヲ

神既ニ自由ノ德有リ故ニ其造レル所ノ人類モ亦自由ノ德有リ以爲ラク人ノ神ニ事フルニ於テ能ク其命ニ順フ有ル乎是レ其人ノ自ラ好マスシテ然ルナリ已ムコトヲ得サルニ由ルニ非ス其神ニ事フルニ於テ或ハ其命ニ負ク有ル乎是レ其人ノ自ラ好マスシテ然ルナリ已ムコトヲ得サルニ由ルニ非サルナリ

第二　猶太宗ニ在リテ人ニ命シテ神ニ事ヘシムルノ際人ノ必ス守ラサル可ラサル諸行ハ皆神ノ諸德ヨリ自然ニ流出シ來ル者ナリ即チ神ノ德タル本ト純一ナリ故ニ人タル者ハ一切他ノ神ヲ拜スルコトヲ得ス神ノ德タル本ト無形ナリ故ニ人タル者偶像ヲ以テ神ニ象トルコトヲ得ス神ノ德タル最モ尊嚴ナル者ナリ故ニ人タル者猥リニ神ノ名ヲ唱ヘテ之ヲ褻瀆スル有ルヲ得ス神ノ德タル本ト世界萬物ヲ造レリ故ニ人タル者神ニ倣ヒ每七日ニ於テ一日間作業ヲ罷メテ休息スルコトヲ要スト以上皆神ニ事フル所ノ諸行

其他ノ諸行即チ他人ヲ接待スルノ諸行モ亦皆無爲ニ係リテ有爲ニ涉ラス曰ク人ヲ殺スコト勿レ曰ク人ノ物ヲ竊ムコト勿レ曰ク姦淫ヲ行フコト勿レト皆禁スル所ニシテ令スル所ニ非ス若夫レ有爲ノ善行ノ如キハ神ニ事フルノ際唯一有ルノミ曰ク汝ノ神ヲ愛スルヤ須ラク汝ノ全力ヲ以テ之ヲ愛ス可シト是レノミ以テ汝ノ全心ヲ以テ之ヲ愛スルヤ須ラク汝ノ全情ヲ猶太人ノ法律ハ極メテ嚴峻ナリ其大旨ヲ擧レハ曰ク人ノ目ヲ傷クル者ハ亦其目ヲ傷ケテ以テ之ヲ罰セヨ人ノ齒ヲ傷クル者ハ亦其齒ヲ傷ケテ以テ之ヲ罰セヨ但イスラエル即チ猶太ノ別名ノ同胞ニ係リテハ其間頗ル慈惠ニ出ル者有リ即チ貧人ヲ愛憐シテ之ヲ賙濟セシムルナリ七年每ニ逋負ヲ免サシムルナリ金ヲ貸シテ息ヲ收ムルコト勿ラシムルナリ又奴隸ノ如キモ七年每ニ必ス之ヲ釋放セサル可ラス

又凡ソ賞罰ノ如キハ全ク軀體ヲ怡ハシ及ヒ之ヲ苦シムルニ在リテ道德ノ責ハ少モ其間ニ存スルコト無シ即チ善ヲ爲ス者ハ貨財ヲ與ヘテ以テ之ヲ褒

寵スル有ルノミ若夫レ惡ヲ爲ス者ハ或ハ之ヲ殺シ甚シキハ或ハ三世四世ニ至ルマテ皆之ヲ殺シ若クハ之ヲ懲罰シテ赦スコト無シ之ヲ要スルニ人ノ善有ルカ爲メニ賞ヲ獲惡有ルカ爲メニ罰ヲ受クルハ直ニ此ニ斯世ニ於テシテ來世ニ待ツコト無シ

第三　猶太ノ政體ハ盡ク威權ヲ合シテ僧門ノ握ニ在リ若夫レ王制ノ如キハ視テ大害有リト爲シ亦或ハ時運衰頽ノ徵ト爲ス故ニ猶太ノ民嘗テサミュエル王ニ諗ケテ言ヘル有リ曰ク陸下願ハクハ吾等ヲシテ吾等皆無智ニシテ種々ノ罪障有リラスンハ吾等將ニ殞越シテ死セントス今又陸下ヲ奉シテ王ト爲シテ自ラ一大罪障ヲ作レリ陸下願ハクハ吾等カ爲メニ神ニ謝セヨト猶太人王ヲ立ツルコトヲ以テ直ニ此ニ罪惡ト爲セリ又神ノ勅語ニ言ヘリ汝等ヲ統御スル所ノ王トハ果シテ何タル者ソ彼レ果シテ何カ汝ニ功德有ル彼レ將サニ汝ノ兒子ヲ奪フテ己レカ車ヲ挽カシメンソトス否ラスンハ將ニ汝ノ兒子ヲシテ騎シテ己レノ車前ニ驅セシメンソト

ス汝ノ女兒ハ彼レ將ニ香油ノ屬ヲ作ラシメンソトス否ラスンハ將ニ膳羞ノ役ニ從ハシメンソトス否ラスンハ亦將ニ麵包ヲ作ルノ役ニ從ハシメンソトス凡ソ汝ノ田疇ニ生スル善美ノ物ハ彼レ皆將ニ之ヲ奪ハンソトス汝ノ婢ヤ僕ヤ彼レ皆奪フテ己レノ役ニ服セシメ汝ノ畜產ノ十一ヲ取リテ己レノ用ニ供セシメン是時ニ於テ汝遽カニ憤怨シテ汝ノ立テシ所ノ王ヲ啐罵スルモ將タ又何ソ及ハン余決シテ汝ヲ宥赦セサルナリ

「ジュージ」譯者之ヲ未ノ書中擧クル所ノ譬喩ノ如キモ亦此意ナリ其言ニ曰ク諸種ノ樹木一日相會シテ王ヲ選立セント爲ス因リテ「オリウィエー」譯者曰ク「レーフル」油ヲ作ル實ヲ生スル木ニ請フテ王ト爲サントス「オリウィエー」曰ク我カ生スル所ノ果實ハ以テ油ヲ製シテ之ヲ神ニ薦ム可ク之ヲ人ニ食セシム可シ我レ終ニ王ト爲リテ我果實ヲ作ルノ業ヲ廢セサルナリト因テ又無花果樹ニ請フ無花果樹曰ク我レ我カ果實ヲ作ルコトヲ好ム王タルノ務ニ服スルコトヲ願ハスト因テ又葡萄樹ニ請フ葡萄樹モ亦肯ンセスシテ其他ノ眞木一モ王ト爲ルコトヲ願

フ者莫シ最後ニ「シャルドン」譯者之ヲ詳ニセス乃チ選セラレテ位チ踐メリ「シャルドン」樹ハ一モ益スル所ナクシテ其芒刺能ク人チ刺スチ以テ之チ野ニ置クトキハ或ハ害チ爲スチ以テナリ

第四　猶太宗既ニ興リ數百世チ經ルニ及ヒ仁慈友愛ノ旨義大ニ進ミテ從前ノ面目チ一變スルニ至レリ是時ニ當リ猶太ノ道學家ノ中最モ著稱セラレシ者其名チイルレル、ランシャント曰フノファルジー國ノ學士ニ從フテ業チ受ケ基督ヨリ前一百年チ以テ生レタリイルレルノ言ニ曰ク己レカ欲セサル所ハ人ニ施スコト勿レト又曰ク汝等當サニ平和チ好ミ務メテ平和チ求メ能ク廣ク人チ愛シテ以テ「アーロン」神ノ義ノ徒弟タルニ孤負スルコト勿レ又曰ク神ノ廣大無量ナルハ其仁慈ナルニ由リテ然リ故ニ神ノ義ハ常ニ仁チ以テ本トス爲ス又曰ク己レノ智識チ長スルコチ務メサルハ是レ智識チ滅スルコチ求ムルナリ學フコチ厭フコハ是レ生活スルノ義ニ違フナリ

イルレル又曰ク汝等動モスレハ云フ餘閑有ルトキハ學チ務メント是ノ如ク

スルトキハ餘閑ハ恐ラクハ終ニ來ラサラン無識ノ人ハ神戒ニ違フコチ畏レス無智ノ人豈ニ能ク眞ノ信心ノ道チ知ラン哉トレネル氏イルレルノ傳チ作レリ參考ス可シ

イルレルノ時又エセニー派及ヒテラペウト派ノ道學興ル其旨趣タル深念靜察チ以テ道チ得ルコ在リ戒律極メテ嚴ニシテ皆人ニ勸ムルニ仁慈寬恕チ以テセリ又此二派ノ理學ヨリシテ後代「カバール」ト號スル所ノ一種神人感合ノ理チ主トスル說起レリ「カバール」トハ神ノ口ツカラ勅意チ授クルノ義ナリ此レ殆ント基督教ノ瞞矢ナリ

○第二篇　希臘ノ理學

○第一章　イヨニーノ理學○エラクリット○アナキザゴール

○緒論

○第一　イヨニー初年ノ理學○ターレス

イヨニーノ理學ハ庶物ノ中ニ於テ物ノ本原ヲ求ムルヿヲ主トス卽チターレスノ如キハ水ヲ以テ萬物ノ本質ト爲セリアナキジメーンヌ及ヒヂオジェーンヌ、ダポロニーノ如キハ空氣ヲ以テ萬物ノ本質ト爲セリ又アナキジヌンドルニ至リテハ以爲ラク物ノ本質ハ水若クハ空氣ノ如キ一定ノ物ニ非スシテ無限永久ナルヿ是レ物ノ本質ナリト

○第二　エラクリット

第一　エラクリットノ理學ハ運動ヲ以テ世界ノ本質ト爲セリ其說以爲ラク物ノ本質ノ一定シテ動カサル者ヲ求ムルモ決シテ得可ラス凡ソ現ニ在ル者ハ皆變シテ他物ト爲ラサル莫シ此レ猶ホ流水ノ混々トシテ逝イ

テ曾テ一處ニ駐マラサルナ如シ此レ猶ホ烈火ノ焚燒シテ燼滅シ又焚燒シテ又燼滅シ窮已無キカ如シ又以爲ラク世界ノ本質ハ火ナリ但此ノ本質ノ火ハ尋常ノ火ノ目ニ視ル可キカ如キニ非ス其物タル活潑ニシテ生氣有リ智慧有リ不滅ノ性有リ是レ卽チ神ナリ

エラクリット又曰ク凡ソ斯世界ノ物皆變轉シテ定マラス然レ𪜈是變轉中自ラ一定ノ理有リテ存ス決シテ偶爾突如ノ間ニ發スルニ非ス一言以テ之ヲ括スレハ曰ク衆異物ノ相合シテ一大同體ヲ爲ス是レナリ故ニ凡ソ物一方ヨリ之ヲ視ルヿハ皆有ラサル莫シ一方ヨリ之ヲ視ルヿハ皆無カラサルハ無シ有ト無ト是レ兩異物ニシテ相合シテ方サニ一物ヲ成スナリ凡ソ世界ノ物相合シテ以テ整齊ノ狀ヲ呈ス然レ𪜈此等ノ物皆相剋爭セサル無シ唯其善ク相剋爭スル是レ正ニ能ク其整齊ヲ成ス所以ナリ之ヲ音樂ニ例フ淸音有リ濁音有リ相合シテ以テ和調スルヿヲ得之ヲ時日ニ例フ晝有リ夜有リ之ヲ歲ニ例フ夏有リ冬有リ是ニ知ル剋爭ハ萬物ノ母

ナルヿヲ

エラクリット又以爲ラク物ノ相剋爭スルハ物ノ理ニシテ已ムヿヲ得サルニ發スル者ナリ獨リ此レノミナラス此ノ如キ者正ニ然ラサルヲ得サル理ニシテ卽チ世界ノ大義ナリ卽チ運動變轉ノ本質ニシテ所謂神ナリ」

第二　エラクリット又物理學ニ於テモ亦運動變轉ヲ以テ大旨ト爲ス以爲ラク其空氣ト爲リ水ト爲リ土ト爲ルハ皆彼ノ智慧有リ思念有リテ物ノ本質ト爲ル所ノ神火ニ外ナラス是火ヤ或ハ滅シ或ハ燃エ循環シテ已ムヿ無シ是火變シテ庶物ト成リ庶物又變シテ火ト成ル顧フニ此說ヤ正ニ近日ノ物理學ニ於テ號シテ諸物ノ變相トランスフォルマシヨン稱スル所ニシテエラクリット早ク是ニ見ル有リシハ豈亦貴フニ足ラス乎

エラクリット變動ナル以テ萬物ノ本情ト爲スト雖モ其深意以爲ラク天下ノ物其力並ニ其運動常ニ一定ノ量有リテ增減有ルヿ無シ此レ不滅ノ理ノ寓スル所ナリ曰ク彼ノ神火ノ動イテ物ヲ化スルヤ世界到處皆然ラサル

無シ然レ𪜈其量ハ常ニ相同シ之ヲ譬ヘハ金錢ノ如シ金錢ノ効タル天下ノ貨物皆買フ可ラサル無シ即チ天下ノ貨物モ亦皆以テ金錢ヲ得可ラサル無シ

然リト雖モ所謂世界變動ノ理ハ自ラ一定ノ節奏度數ニ循フテ相擾ルコト無シ故ニ其化成スルヤ或ハ升リ或ハ降ルアルモ皆一定ノ世紀有リ而シテ其化成ノ功ハ窮已有ルコト無シ他無シ斯世界ハ本ト無始無終ナレハナリ

第三 エラクリットノ道學ハ以爲ラク吾人ノ精魂ハ彼ノ智慧有リ思慮有ル所ノ神火ノ一點ナルニ過キス故ニ吾人ノ思考シテ眞理ニ諧當スルヲ得ルハ唯彼ノ大神火ノ思考即チ世界ノ大道ニ合スルノ時ニ在リ其他ハ皆謬戻タルヲ免レス故ニ人ノ道ハ常ニ事理ノ已ムヲ得サル所ニ順從シ敢テ或ハ逆ハサルニ在リ而シテ事理ニ逆ハサルノ道一有リ曰ク我カ精神ノ火光チ淨潔ニシテ一切穢物ノ之ヲ蔽翳シ若クハ之ヲ吹滅ス可キ者ヲ排除スル是レナリ又曰ク吾人ノ精神ハ其軀體ニ局セラルヽヨリシテ言フ所ハ固ヨリ生死ヲ免レス其大神火ト交渉セルヨリシテ言フ所ハ亦不滅ノ性チ有ス故ニ人タル者ハ務メテ其由ル所ノ規則チシテ萬物自然ノ規則ニ從ハシメサル可ラス之ヲ要スルニエラクリットノ理學ハ純然有形物ノ理學ニシテ其物質ノ理ヲ論スル處ハ誠ニ易フ可ラサル者有リ其後プラトン出ルニ及ヒ是有形變動ノ世界ノ上ニ於テ更ニ無形一定ノ世界チ置クニ至レリ

○第三 アナキザゴールノ説ハエラクリットト正ニ相反ス以爲ラク庶物ノ運動變化シテ定マラサルハ物ノ原因ニ非スシテ特ニ其結果タルニ過キス是レ唯過去ノ物現在ノ物ト相接シ現在ノ物ト將來ノ物ト相合スルニ由リテ爾リ故ニ天下ノ物實ハ一モ生スルニ非ス一モ滅スルニ非ス唯其構造ノ相變スルノミ

アナキザゴール又以爲ラク天下ノ物如何ニ微ナルモ皆無窮ニシテ皆一世界ナリ其中各〻萬物ヲ包有セサル莫シ唯其包有スル所ノ量ノ多寡各〻相異ナルノミ故ニ曰ク「ツー、デー、ダン、ツー」ト萬物皆萬物ノ中ニ存スルノ義ナリ又曰ク天下ノ物皆之ヲ分テハ無數ノ細部分ト爲リテ窮極有ルコト無シ而シテ其部分皆相同シ之ヲ例ヘハ血ノ一滴ノ如キ之ヲ分テハ又無數ノ肉塊ト爲ル之ヲ例ヘハ肉ノ一塊ノ如キ之ヲ分テハ又無數ノ肉塊ト爲ル而シテ其摘ナリ塊ナリ皆相同ジカラサル莫シ

又曰ク凡ソ物未タ剖分セサルノ前皆一混相合シテ剖分ス可ラサルカ如シ此レ特ニ混沌タル一暗黑物ノミ卽チ世ノ元始ニ當リ世界正ニ相合シテ一大暗黑ヲ爲セリ而シテ此暗黑物ヲ剖分シテ差別有ラシメタルハ他ニ非スシテ夫ノ運動ノ力乃チ然ラシメタリ曰ク此運動ノ力ハ何ノ處ヨリ發セシ乎是レ斯世界ヲ綱紀スル所ノ神智ヨリ發セシナリ猶ホ精神ノ能ク其體軀ヲ左轉右動シテ用ニ應セシムルカ如シ故ニ曰ク萬物皆相混

合セリ神智一タヒ來リ動カスニ及ヒ物皆各〻其序次ニ就クコトヲ得タリ」

アナキザゴール又曰ク神智ハ世界ヲ操縱變動スルノ力有リ而シテ其物タル純粹ニシテ查滓ヲ雜ヘス獨立不倚ニシテ又其慧眼能ク過去現在未來ヲ洞察スト之ヲ要スルニ「コーノ理學タル其初ハ專ラ有形庶物ノ中ニ就イテ世界ノ本質ヲ求メシモ後ニ至リ終ニ之ヲ無形智慧ノ中ニ求ムルニ至レリ但エラクリット、アナキザゴールノ說ノ相異ナル處ハ曰クエラクリットノ說ニ據レハ所謂無形ノ智慧ハ萬物皆之ヲ包有シテ斯ニ以テ自ラ變化スルヿヲ得アナキザゴールノ說ニ據レハ所謂智慧ハ夐カニ萬物ノ上ニ位シテ隱然外ヨリ之ヲ變化動轉シテ已ムヿ無カラシム又其後ニ至リ理學士輩更ニ一層ヲ進メテ夫ノ無形ノ智慧ヲ以テ並ニ萬物ノ中ニ在リ亦萬物ノ外ニ在リ內外網縕シテ以テ之ヲ浸化スト爲スニ至ル是レ其沿革ナリ

○第四　アブデールノ理學

アブデールノデモクリットモ亦天地萬彙ヲ以テ一種相抱合構架シテ以テ成ル所ト爲ス然レモ其意初ヨリアナキザゴールノ如ク無上ノ神智有リテ世界ヲ動轉化成スト爲スニ在ラス以爲ラク物ノ變化動轉スルハ物ノ情ニシテ其自ラ作ス所ナリ外ヨリ然ラシムルニ非ス故ニ曰ク實ト空ト有ト無ト是レ萬彙ノ元質ナリ凡ソ實體有リテ卽チ有ナル者ハ皆無量ノ細分子ノ相聚マリテ成ル所ナリ故ニ細分子ノ調劑スルヿ是レ正ニ物ノ生スル所以ナリ

デモクリットノ意以爲ラク人ノ精魂ノ如キモ亦無量ノ細分子ヲ以テ成ル但其分子タル他ノ物體ノ分子ニ比スレハ更ニ大ニ精微ナルノミトアブデールノ學派ノ終ニ純然實質ノ說（マテリヤリスム）ニ流レシハ亦怪ムニ足ラス」

○本論

○第一（イヨニー）初年ノ理學○（ターレス）

凡ソ理學ノ學術ニ根柢シテ少モ宗教ト相蒙ムラサル者ハ希臘ヲ以テ濫觴

ト爲サヽルヲ得ス蓋シ是邦ニ在リテヤ理學ノ進歩極メテ早クシテ今日ニ於テ是國初年ノ諸說ヲ閱スルモ既ニ以テ吾儕ヲシテ其所見ノ深遂ナルニ嘆服セシムルニ足ル

希臘ニ在リテ理學ノ考察ノ由リテ發セシ所ノ源頭ハ亦有形庶物ニ在リ故ニアリストットノ言ニ曰ク（イヨニー）ノ理學士ハ皆物理學士ナリ蓋シ此輩ノ所謂理學ハ諸物理ノ學ヲ合併シテ一ト爲セシ者是ナリト

然リト雖モ凡ソ人智ノ物理ヲ觀察スルヤ粗ヨリ精ニ入リ外ヨリ內ニ進ム ハ自然ノ勢ナリ故ニ希臘ノ理學ノ如キモ其初年ニ在リテハ專ラ形而下ノ處ニ局束セラレシモ年ヲ積ミ世ヲ累ヌルニ及ヒ徐々ニ夫ノ有形ノ粗ヲ舍イテ無形ノ精ニ進ムニ至レリ

（ターレス）ハミレー人ニシテ紀元前六百許年ニ方リ希臘ニ在リテ大ニ理學ノ說ヲ主張セリ其本旨萬物ヲ以テ一ニ歸シテ之レカ本原ヲ尋求スルニ在リ其言ニ曰ク動物ハ草木ニ資リ以テ生ヲ保ヲ而シテ草木ハ地ニ資リ以

テ滋長スル之ヲ要スルニ凡ソ生物ノ資リテ以テ自ラ養フニハ滋潤ノ液ニ在リ斯ニ知ル滋潤ハ萬物ヲ養フ所ノ本ナルコヲ然リ而シテ水ナル者ハ滋潤ノ本ナリ斯ニ知ル水ハ萬物ノ本原ナルコヲ

ターレスノ又曰ク今夫ノ水ヲ觀ルニ或ハ變シテ氷ト爲リ或ハ變シテ蒸氣ト爲ル妄ソ知ラン其亦變シテ土ト爲リ石ト爲リ草木ト爲リ動物ト爲ラサルコヲ且ツ夫ノ水ハ定形無キ者ニシテ能ク方圓ノ器ニ順フテ其形ヲ變ス且水ノ物タル常ニ變動シテ定ラス顧フニ凡ソ物ノ生氣有ル者ハ皆變動セサル莫シ而シテ水能ク變動スルコ此ノ如クナル件ハ是レ水ハ世界萬物ノ本原ニシテ卽チ其精魂ナリトタターレスノ意ヲ擴充スル件ハ將サニ水ヲ以テ神ト爲シテ是レ能ク庶物ヲ滋潤シ世界ニ瀰漫シテ之ヲ浸化スト曰ハント欲スル者更ニタターレスノ言フ所ノ上ニ出テント欲スルモ固ヨリ得可キニ非ス未タ粗淺ヲ以テ識ト爲スコヲ得サルナリ且ツタターレスノ說タル猶ホ今日ノ學術ニ於テ遺意ヲ存スル者有リ但今日ニ在リテハ物理ノ學大ニ進闡セシヲ以テ其言フ所更ニ精微ナルノミ蓋シ方今ノ理學家皆以爲ラク地球ハ本ト液體ニシテ今ノ堅固ナルカ如クナラス故ニ世界元始ノ時ニ當リ凡ソ懷生ノ者皆大洋中ヨリ出テタ草木群生ヲ以テ皆水ノ養成スル所ト爲スモ未タ必スシモ粗淺ト爲スヲ得サルナリ

タターレスノ又當時ニ在リテ大ニ物理ノ學ニ於テ發明スル所有リ蓋シ幾何學ニ係リテハタターレスノ一個ノ道理ヲ發見シテ曰ク凡ソ半圓ノ中ニ畫スル所ノ三角形ハ皆直ナリト星學ニ係リテハタターレスノ以爲ラク地球ノ形圓ナリ衆星ハ皆土塊ノ焚燒セル者ナリ大陰ハ本ト暗體ニシテ光輝ヲ大陽ニ假リ者ナリ日月ノ蝕ハ地球ト大陽トノ間ニ於テ大陰ノ進來スルニ由ル者ナリト獨リ此ノミナラスタターレスノ早ク已ニ日月ノ蝕ヲ豫計スルコヲ知レリ其

他小熊星及ヒ北極星ヲ發見シ一歳ノ時間ヲ算計シ大陽ノ晷ニ由リ晝夜平分時及ヒ冬夏至ヲ料リ並ニ大陽大陰及ヒ地球ノ大サヲ測度シテ略ホ之ヲ知ルコヲ得タリ學術鴻荒ノ世ニ當リ能ク其獨力ヲ以テ發明スル所ノ多キコ此ノ如クナリシハ豈ニ俊傑ノ士ト謂ハサル可ケン哉

タールレス既ニ水ヲ以テ世界萬物ノ本原ト爲シテ以爲ラク能ク理ニ謬ルコト無シト然レヒ理學士繼イテ起ル者往々謂フ是レ太粗淺ナリト是ニ於テアナキジメーンヌ及ヒヂオジェーンヌ、ダポロニーノ徒ノ如キハ水ニ易フルニ空氣ヲ以テシテ以爲ラク此物水ニ比スレハ更ニ細微ニシテ更ニ生氣有リ又能ク無量廣博ニシテ窮極ス可ラス且ツ其或ハ翕シ或ハ張リ其一翕一張ノ力能ク庶物ヲ化成ス是レ卽チ物ノ本原ナリト是レ羅馬シセロンノ傳フル所ナリ

アナキジマンドルハ亦ミレーノ人ニシテ紀元前五百九十年ニ在リテ理學ノ說ヲ唱ヘリ以爲ラク水ナリ空氣ナリ凡ソ一定有形ノ物ハ未タ以テ庶物

ノ眞ノ本原ト爲スニ足ラス空氣ノ如キハ水ニ比スレハ洵ニ精微ナリ然レヒ猶ホ有形ノ物タルヲ免レスシテ必ス亦他ノ一種虛靈ノ物ヨリ生シ來ルコト疑無シ唯人類ノ智ヲ以テ庶物ノ本原ニ就イテ言フ可キ一事ハ曰ク是レ必ス無量無邊ニシテ窮極無キ者ナリ是ニ知ル斯世界ニ在リテ萬物ノ種々相異ニシテ甚シキハ相反スル者相聚リテ一大構架ヲ成ス所以ノ者ハ必ス一本原ノ之ヲ統フル有ル可シ而シテ所謂本原ナル者ハ其物タル必ス形無ク質無ク既ニ彼レニ非ス又此レニ非スシテ能ク彼レト爲リ此レト爲ル者ニシテ始メテ可ナリ

○第二　エラクリット

タールレスヨリアナキジマンドルニ至ルマデイヨニーノ學士常ニ地、水、空氣若クハ無量ノ一物等都ヘテ不滅ノ處ニ就イテ見ヲ起シテ以テ庶物ノ本質ヲ求メリ其旨意蓋シ變動居ラサル者ノ中ニ於テ一種變動スルコト無キ者ヲ尋究スルニ在リエラクリットニ至リ從前ノ諸說ヲ一掃シテ別ニ見ル所有リエ

ラクリットハ紀元前八百年譯者按スルニ數字ノ誤ナランニ當レリ其說タル古來庶物原理ノ學中最モ著名ナル說ノ一ニシテ其後學士輩之ヲ祖述シテ說ヲ爲ス者寡カラス卽チ近時ヘッケル及ヒ英國ノ學士輩ノ如キモエラクリットノ理學ニ於テ頗ル採摭スル所有リエラクリット嘗テ自ラ言ヘリ余ハ譬ヘハ猶ホ「シビール」希臘人信セシ所ノ女巫ニシテ能ク未來ノ事ヲ言フ者ノ如シ其言フ所皆自ラ思考シテ得ル所ニ非スシテ神智ノ我レニ憑依シテ言ハシムル所ナリ「シビール」ノ性タル曾テ哂笑スルヿ無ク亦激發スルヿ無ク亦粉飾スルヿ無ク從容トシテ言說シテ而シテ其言フ所ハ皆神ノ眞理ニシテ數百歲ヲ經テ亡滅スルヿ無シト顧フニ今日ニ在リ碩學ノ士猶ホ往々エラクリットノ說ヲ祖述スルトキハ所謂「シビール」ノ譬ノ如キ洵ニ夸詡ニ非サルナリ

第一　エラクリット自ラ曰クターレス以下ノ學士常ニ有ノ中ニ於テ物ノ本原ヲ尋求セリ顧フニ此レ殆ント無益ノ勞ニ非サル無キヲ得ン乎世界果シテ何物カ眞ニ現存シテ卽チ有ト稱ス可キ者有ル乎皆否ラサルナリ凡ソ天

下ノ物皆或ハ彼ト爲リ或ハ此ト爲リテ定マラス是ノ如キ者豈ニ稱シテ眞ニ有リト爲ス可ケン哉然レハ則チ萬物皆有ニシテ皆無ナリ皆實ニシテ皆空ナリトエラクリット又嘗テ一日愀然トシテ曰ヘリ萬物皆經過シ皆逝往シテ一モ留マル者有ル莫シト

エラクリット既ニ理學ニ邃ニシテ又詩ヲ善クシ極メテ物ヲ形容スルニ妙ナリ是ニ於テ其深念ノ際一譬ヲ設ケテ嘆シテ曰ヘリ吾人一タヒ足ヲ河流ニ入ルヽトキハ更ニ再ヒ足ヲ此河流ニ入レント欲スルモ得可ラス何ソヤ初メ足ヲ入レシ時ノ水ハ已テニ逝イテ反ヘラスシテ後ノ水ハ復タ前ノ水ニ非サレハナリ夫レ水滔々トシテ流レテ留マラス前ノ者逝キ後ノ者來リ是ノ如クニシテ窮已有ルヿ無シ獨リ水ノミニ非ス卽チ我カ身ノ如キモ亦常ニ變轉シテ不朽ノ物ニ非ス之ヲ要スルニ我レナル者ハ或ハ有ル乎或ハ無キ乎是レ未タ知ル可ラス大哀ト謂ハサル可ケン哉

エラクリットノ意凡ソ物一方ヨリシテ云フトキハ有ニシテ一方ヨリシテ云フ

キハ無ナリ故ニ終ニ眞ノ有ニ非スシテ實ハ特ニ動ト云フニ過キサルノミ
今ハ是ノ物ナルモ一瞬ヲ經ルヤハ變シテ彼ノ物ト爲リ是ノ如クニシテ窮
極有ルヿ無シ是ニ知ル變轉起滅スルヿ是レ正ニ世界ノ極則ナルヿヲ
エラクリット ノ意以爲ラク水洵ニ流轉シテ留ラス然レヒ斯世界萬物ヲシテ
變轉セシムル所ノ運動ハ更ニ甚シクシテ流水ノ如キハ未タ以テ之ニ比スル
ニ足ラスシテ獨リ火ノ焚燒スルノ迅疾ナルヿ以テ之ニ當ルニ足ル故ニ曰
ク世界ノ運動ハ水ノ流轉ニ非スシテ火ノ焚燒ナリ萬物皆燃燒(ブリュール)シ萬物
皆燼滅(コンジュースト)ト
若夫レ物ノ容ヲ觀テ一定シテ動カズト爲スカ如キハ徒ニ聲ニ隨ヒ風ヲ逐
ヒ假相ヲ認メテ實相ト爲スニ過キス看ヨ燈火ノ如キ夕ヨリ燃エテ曉ニ達
シ其間變動無キカ如キモ實ハ無數細分子ノ迭次ニ燃エ迭次ニ燼スルニ外
ナラス然レハ則チ燈火ノ如キモ一方ヨリシテ云ヘハ常ニ燃ユルト曰フ可
ク一方ヨリシテ云ヘハ常ニ燼スト曰フ可キノミ

凡ソ世界萬物ノ中ニ就イテ一切他物ノ實相ヲ標示ス可キ者ハ火ニ如クハ
莫シ宵ニ此レノミナラス火ハ萬物ノ資リテ以テ化成スル所ナレハ火ヲ以
テ直チニ萬物ノ實相ト爲スモ猶ホ可ナリ夫レ光明ノ智ト温煖ノ氣トハ凡
ソ生物ノ由リテ以テ活スル所ニ非ス乎且ツ火ナル者ハ能ク生物ヲ化成シ
又能ク之ヲ燼滅ス是レ尤モ能ク物ノ變動ヲ標示スルニ非ス乎是ニ由リテ
之ヲ觀レハ人若シエラクリット ニ問フテ何物カ尤モ能ク世界萬物ノ次ヲ逐
フテ變轉スルノ狀態ヲ表發シテ一目ニ瞭然タラシムル乎ト曰フ ハエラ
クリット ハ直チニ答ヘテ是レ火ニ如クハ莫シト曰ハンノミ決シテターレス
ノ如ク水ヲ引證スルヿ無ク亦ギオジェーンヌ ノ如ク空氣ヲ引證スルヿ無カ
ラン
然リト雖モエラクリット ノ意ニ眞ニ世界萬物ノ本質ヲ成ス所ノ火ハ吾人尋
常目ニ視ル所ノ火ニ非スシテ其物タル虛靈微妙ニシテ五官ノ得テ觸ル可
キ者ニ非ス此モ亦一方ヨリ云フ ヒハ實體ニシテ一方ヨリ云フ ヒハ虛體ナ

リ他無シ實虛相兼ネ有無並立スルヿハ萬物皆然ラサル無キヲ以テ其本質ヲ成ス所ノ神火ハ尤モ當ニ此二性ヲ具フ可キカ故ナリ

エラクリットノ所謂萬物ノ本質ヲ成ス所ノ神火ハ智慧有リテ能ク感識ス是火ヤ自ラ滅スルヿ無クシテ能ク萬物ヲ焚燒スル是ナリ

以上論スル所ニ由リテ之ヲ推スニハエラクリットノ理學ヲ以テ世界萬物ヲ一視シテ枯死シタル一塊物ト做スト爲スカ如キハ大謬ナリエラクリットノ意正ニ之ニ反シテ世界萬物ヲ以テ夫ノ神火ノ逐次ニ焚燒シ逐次ニ熄滅シテ常ニ之レヲシテ變動活潑ナラシメ一時モ淹滯留駐セシメサルト爲スヲ以テ其實ハ世界萬物ヲ以テ尤モ生氣有ル者ト爲ス者ナリ

世界萬物ノ本原ヲ爲ス所ノ性質ハ活潑變化是ナリ而シテ此性質ノ現ニ人目ニ呈スルノ象ハ物ノ運動是ナリ而シテエラクリットノ意ニ此運動ヲ催起スル所以ノ者ハ曰ク生スルヿノ永久不斷ノ願欲デジトール生スルヿノ永久不斷ノ嫌惡デグト是ナリ又曰ク所謂願欲ハ常ニ得テ常ニ得ス此願欲ノ方ニ

得タルノ時是レ生ノ候ナリ此願欲ノ方ニ消シテ嫌惡ト爲ルノ時是レ死ノ候ナリ

是ニ由リテ之ヲ觀レハエラクリットノ理學ノ本旨知ル可キノミ曰ク世界萬物皆變動シテ定マラサルヿナリ曰ク此變動ノ中自ラ一定ノ理有ルヿナリ一言以テ之ヲ括スルヲハ曰ク一定無キノ中ノ一定ナリ

所謂變動トハ物ノ常ニ此ト成リ彼ト爲リ常ニ生シ常ニ滅スルコト是レナリ所謂一定トハ物ノ此ノ如クニシテ變轉スルヿ古今一ノ如シ是卽チ一定ナリ

然レハ則チ萬物ヲシテ古今是ノ如ク變動シテ定ルコト無カラシムル所以ノ者ハ何ソヤ曰ク反對ノ理ノ相合スルコト是ナリ物皆有リテ皆無シ是正ニ反對ノ理ナリ物皆合シテ物皆離ル是正ニ反對ノ理ナリ故ニアリストットヲシテ熟察スルニ至シ以爲ラク物皆相牽キ物皆相排キ意氣相調シ意氣相乖キ

萬物皆一ト爲リ一又萬物ト爲ル此ノ如キノミト
反對ノ物ノ相合シテ常ニ相牽キ相排ク¬是レ變動ノ由リテ生スル所ナリ
既ニ有ニシテ又無ナリ然レ𪜈有モ亦眞ノ有ニ非ス無モ亦眞ノ無ニ非ス他
無シ物皆彼ト爲リ皆此ト爲ルヲ以テ有ト無ト畢竟二ニシテ一ナリ一ニシテ
テ二ナリ故ニ曰ク世界萬物皆反對ノ物ノ相牽キ相排ク者ナリト
夫レ衆異物ノ相合スル是ヲ調和アルモニー ト謂フ猶ホ衆音ノ合奏ノ如キナリ
エラクリッツ又音樂ノ說ヲ擧ケテ以テ其理學幽微ノ意ヲ叙ヘリ曰ク凡ソ調
和ノ生スルハ物ノ相反スルニ由リテ然リ物皆相反スル故ニ能ク合スル是レ猶
ホ胡弓ト其撥子トノ如シ此二物相反激シテ音斯ニ發ス
萬物相反セサル𪜈ハ以テ調和ス可ラス故ニ相剋シ相爭フ¬ハ萬物ノ由リ
テ生スル所ナリエラクリッツ嘗テオメールヲ譏リテ曰ク是人ヤ群神及ヒ諸
侯ノ戰爭ヲ弭メテ好ヲ脩メ和ヲ結フ¬ヲ願ヘリ何ソ見ルヿノ淺キヤ物相
剋鬪スル¬無キ𪜈ハ皆死滅シテ盡ルニ終ラン音ノ濁ナル者ト清ナル者ト

是正ニ節奏ノ調スル所以ナリ男ト女トハ此ノ如ク相異ナル者ナリ若シ是
二ノ者ノ相剋スル¬無キ𪜈ハ亦相合スル¬無クシテ人ノ類熄滅センノミ
是ニ由リテ言ヘハ斯世界ハ衆異物ノ相剋鬪スルヨリ生スル者ニシテ其種
々ノ形態ノ或ハ生シ或ハ滅スルハ猶ホ童子ノ沙土ヲ以テ戲ニ物ヲ作リ隨
テ作リ隨テ毀チ窮已無キカ如シ
エラクリット既ニ剋爭ノ理ヲ以テ萬物ヲ解釋シ然ル後亦是理ヲ以テ人心ヲ
解釋セントス是ニ於テ其說極メテ奇僻ニシテ尋常普通ノ道理ト殆ント
相容レサルヲ致セリ曰ク凡ソ生物皆幼ニシテ皆老ナリ皆睡リテ皆覺ム皆
生シテ皆死スト是レプリュクルクノ傳フル所ナリ又曰ク我レノ生スルハ
人ノ死スル所以ナリ我レノ死スルハ他人ノ生スル所以ナリ更ニ言辭ヲシ
テ簡勁ナラシムルヿハ曰ク我レ他人ノ死ヲ以テ生シ我レノ死ヲ以テ他人
ヲ生スト
人或ハ曰ハントス異物ノ相合シ相離レテ以テ世界ヲ構成スル是理ヤ自然ニ

已ムヿヲ得サルニ發シテ然ル者ニシテ初メヨリ善惡ノ道理ニ渉ルヿ無シトヱラクリットハ將ニ答ヘテ曰ハントス是理ヤ洵ニ自然ニ發シテ已ム可ラス然レ𪜈是レ極メテ義ニ適セリ故ニ萬物ノ運轉スルヿ其間自ラ定規ノ存スル有リ之ヲ例ヘハ大陽ノ如キ若シ一旦義ニ負イテ其旋躔ノ定規ニ反スル𪜈ハ世界皆暗黑ノ長夜ヲ成シテ百鬼横行シテ忌ムヿ無キヲ致サン今乃チ然ラスシテ大陽ノ常ニ其躔度ヲ爽ヘサルハ豈ニ義ニ合スルニ非ス乎人或ハ曰ハン然リト雖モ既ニ已ムヿヲ得サルニ發スル𪜈ハ何ノ義カ之レ有ラントヱラクリットハ將ニ答ヘテ曰ハントス此已ムヿヲ得サルノ理ハ世界萬物ノ由リテ以テ變轉スル所ニシテ唯此理ヤ萬物ノ中ニ居テ之ヲ左右ス是レ神ナリ何ノ義ナラサルヿカ之レ有ラント

此ニ由レハ是レ己ムヲ得サルノ理是ノ萬物ヲ變轉スルノ義ハ正ニ夫ノ神火ナリ是卽チ神ナリ而シテ所謂神ハ實ハ萬物相離合スルノ間ニ居ルニ非スシテ萬物ノ相離合スル所ノ處正ニ神ナリ神ト物ト初メヨリ別有ルニ非ス

ヱラクリット是ニ於テ極メテ奇僻ノ言ヲ爲シテ曰ク神ナル者ハ晝ニシテ夜ナリ夏ニシテ冬ナリ戰鬪ニシテ平和ナリ常ニ飽イテ常ニ饑ウ人之ヲ稱シテ「ジュピテール」希臘人造化主宰ヲ稱シテ云々ト謂フト謂フヿヲ得亦之ヲ稱シテ「ジュピテール」ト謂ハサルヿヲ得ト其意蓋シ亦活潑變動ノ意ナリ

第二　ヱラクリットノ理學ハ大ニ物理學ニ肖似セリ或ハ直チニ之ヲ物理學ト曰フモ可ナリヱラクリットノ言ニ從ヘハ衆異物畢竟相合シテ一ヲ爲スヲ以テ智ト火トモ亦一ヲ爲ス者ナリ蓋シ智ハ意思有ル火ニシテ火ハ形體有ル智ナリ二ニシテ二ニ非ス卽チ理學ト物理學トノ如キ正ニ相異ニシテ相同キナリ

萬物ノ未タ剖分セサルヤ夫ノ無形ノ神火一時ニ自ラ降下シ自ラ燼滅シテ斯ニ以テ吾人尋常目ニ視ル所ノ火ヲ生セリ是ニ知ル所謂神火ハ一定不變ノ物ニ非サルヿヲ但一定ノ物ニ非スシテ永久常ニ自ラ變シ自ラ定メテ窮已有ルヿ無シ是モ亦生セル者ナリ亦死セル者ナリ是ノ神火ヤ滅スル𪜈ハ水

ト爲リ空氣ト爲リ土ト爲リ萬物ト爲リ萬物又是神火ト爲ル是ノ如クニシテ上ヨリ下ニ降リ下ヨリ上ニ登リ窮極有ルコト無シ

是ニ由リテ之ヲ觀レハ世界ノ間唯一ノ變セサル者有リテ本質ノ謂ニ非ス亦形態ノ謂ニ非ス卽チ物ノ數量ノ謂ナリ物常ニ變スト雖モ其量ハ曾テ增減スルコト無シ是レ卽チ所謂變セサル者ナリ神火變シテ一物ト爲リ是物變シテ又他ノ物ト爲リ終ニ又變シテ神火ト爲ル凡ソ此變化ノ際其量ハ常ニ一定ニシテ絲毫モ增減有ルコト無シ之ヲ譬ヘハ金錢ノ如シ其一タヒ囊ヲ出ルニ及ヒテハ變シテ百般ノ貨物ト爲ルモ百般ノ貨物又變シテ金錢ト爲リテ復タ囊中ニ入ルキハ其數初メト異ナルコト無シ此世界生滅ノ理ナリ

萬物ヲ變化スル所ノ運動ハ永久已ムコト無シ故ニ其變化スル所ノ萬物モ亦永久已ムコト無キナリ形態獨リ逝イテ留マラサルモ亦反リテ本ニ復スル而シテ其復スルヤ又逝イテ留マラス此レ世界ノ大節奏ノ由リテ生スル所ナリ」

エラクリットト曰ク世界萬物ハ神ノ造リシ所ニ非ス世界萬物卽チ神ナレハナリ世界萬物固ヨリ嘗テ之レ有リ今モ亦之有リ後モ亦當サニ之有ル可シ是固ヨリ無始無終ニシテ旣ニ生セシコト無ク又滅スルコト無シ何ソヤ所謂神火ハ徐々ニ燃エ徐々ニ燼シ又徐々ニ燃エ徐々ニ燼シテ循環窮リ無ケレハナリト是言ヤクレマン、ダザンドリーノ之ヲ傳ヘリ

エラクリットト又曰ク然リト雖モ千萬歲ノ後斯世界庶物一時ニ燼滅スルコト或ハ之有ラン然レトモ終ニ一燼ニ歸シテ已ムニ非スシテ復タ燃出シテ一世界ヲ釀出セン是ニ知ル一世界ノ燼滅スルコハ方ニ復タ他ノ一世界ノ迸出スル所以ナルコヲ夫ノ變轉運動ノ理ハ無窮ニ延フ可キヲ以テナリ

第三　エラクリットノ意以爲ラク吾人ノ精魂ハ夫ノ神火ノ一點ニシテ其能ク智慧有リテ事物ヲ辨識スルハ正ニ神火ノ然ラシムル所ナリ故ニ其言ニ曰ク五官ノ感觸ハ動モスレハ人ヲシテ謬ニ陷イラシム蓋シ神火洵ニ聰明ナリト雖モ一タヒ吾人ノ肉身中ニ入ルキハ復タ完粹ナルヲ得ス是ヲ以テ

目ノ采色ヲ視、耳ノ音ヲ聽クヤ皆物ノ精處ヲ擧クルヿ能ハス多クハ其粗處ヲ擧クルヿ免レス他無シ五官ノ感スル所ハ一時偶然ノ物ニシテ初ヨリ定態無キヿヲ以テナリ

プラトン嘗テエラクリットノ此意ヲ解釋シテ云ヘリ曰ク汝等采色ヲ看スヤ汝ノ稱シテ白色ト爲ス所ノ者ハ本ト汝ノ目ヲ外ニシテ別ニ之有ルニ非ス亦汝ノ目中ニ在ルニ非ス設シ異日汝ノ目、今ノ目ニ非スシテ變シテ他ノ目ト爲ルヿアラハ汝ノ今日視テ白色ト爲ル所モ或ハ變シテ他ノ色ト爲ラン果シテ然ルヿアラハ是汝ノ目ノ感スル所ノ采色ハ初メヨリ一定ノ物ニ非サルナリ其他、物ノ諸性即チ輕重ナリ大小ナリ廣狹ナリ長短ナリ方圓ナリ堅脆ナリ若クハ聲音ナリ臭味ナリ皆采色ト異ナル無シ故ニ五官ニ由リテ得ル所ノ識ハ眞ノ識ニ非サルナリ眞ノ識ト稱ス可キ者ハ決シテ軀體ノ事ニ涉ルヿ無クシテ必ス世界古今普行ノ道理ト相合ズル者ニシテ後可ナリト

精魂ノ斯世ニ存スルヤ吾人ノ軀殼ノ中ニ居テ軀殼ト俱ニ表發ス故ニ其手

ヲ舉ケ足ヲ投スル皆之ヲ目ニ徵ス可キナリ此レ猶ホ電光ノ雲裡ニ在リテ時ニ閃輝スルカ如シ其大神火ノ中ニ歸入スルニ及ヒテハ復タ耳目ノ得テ徵スル所ニ非ス

然レハ即チ所謂精魂ハ軀殼ニ隨フテ亡フル乎將タ軀殼亡フルノ後尙ホ猶ホ存スルヲ得ル乎エラクリットノ意以爲ラク吾人ノ精魂ハ軀殼一タヒ死スルヿハ復タ獨立シテ生ヲ保ツヿ能ハスシテ必ス神火ノ全體ニ歸ヘルヿハ既ニ神火ノ全體ニ歸ヘルヿハ其不滅ナルヿ固ヨリ言ヲ待タス故ニ曰ク人ノ精魂ハ個々ノ不滅（インモルタリラー、ペルソネール）ニ非スシテ全體ノ不滅（インモルタリテー、アンペルソネール）ナリト

エラクリット以爲ラク吾人ノ生ヲ爲スヤ是レ個々ノ生ナリ其死スルヤ是レ全體ノ生ニ歸スルナリ吾人ノ生シテ物ヲ知覺スルヤ是レ神火ノ一點之ヲ知覺スルナリ其死シテ知覺スルヿ無キヤ是レ一點ノ光、神火ノ全體ニ復ルナリ是ニ知ル吾人ノ生スルヤ是レ大生ノ一部死スルナリ吾人ノ死スルヤ

是レ大生ノ一部生スルナリ出入往復是レ人類生死ノ辨ナリ是ノ如キノミエラクリットノ道學ハ其庶物原理ノ說ト緊ク相應シテ極メテ整齊ナリ以爲ラク吾人ノ當サニ務ムヘキノ職分ハ一箇ノ私智ニ局セスシテ專ラ天地ノ大道ニ合スルヲ求ムルニ在リ已ムヲ得可ラサルノ勢是レ所謂命ヲ俟シテーナリ所謂理ロヂーナリ所謂道ナリ吾人當ニ之ニ安ンス可キナリ且ツ夫レ其居ル所ノ地位ニ安ンセスシテ變スルヲ求ムルハ愚ノ至ナリ何トナレハ一タヒ變シテ他ノ地位ニ居ルヲ得ルモ其久ク之ヲ保ツヲ能ハサルハ燦メ之ヲ知ル可ケレハナリ之ヲ例ヘハ餧エテ食ヲ求ムルカ如キ一飽スレハ復タ食ヲ願ミルヲ無シ是ノ如クニシテ吾人ノ願欲ハ隨フテ得隨フテ厭ヒ變轉已ムヲ無シ何ソ其地位ニ安ンシテ其變ヲ待ツニ如カンヤ故ニ曰ク之ヲ憂フルヲ勿レ之ヲ怒ルヲ勿レ唯之ヲ知リ之ニ安ンスルコトヲ求メヨ又曰ク福ハ禍ノ亡フルナリ禍ハ福ノ去ルナリ禍無キ是福無キナリ福無キ是禍無キナリ

又曰ク神ノ之ヲ視ルヤハ皆美ヲラサル莫シ皆正ナラサル莫シ他無シ天下ノ事皆已ムヲヲ得可ラサルニ發スレハナリ

又曰ク神ノ庶物ヲ發スルヤ其全體ヲシテ相調和均齊シテ其次序ヲ失フヲ無ラシムルヲ是ニ於テ乎美ナリ醜ナリ善ナリ惡ナリ有ナリ衆異物相待ヲ相合シテ以テ其調齊ヲ得ルナリ吾人其間ニ處スル何ノ安ンス可ラサルヲカ之レ有ラン

道德ヲ貴フ者ノ尤モ當ニ務ムヘキハ曰ク己レ有スル所ノ一點ノ神火ヲシテ能ク其汚穢ヲ去リ能ク其光輝ヲ發シ五官ノ感觸ト諸般ノ情慾トノ制スル所ト爲ラサラシムルニ在リ此ノ如クスルヤハ我カ神火ノ智常ニ表發シテ猶ホ燈火ノ炯然タルカ如シ

之ヲ要スルニエラクリットノ其初メ一定ノ至理ヲ求ムルヲ久クシテ終ニ得スシテ自ラ其一定無キ所ノ處ニ於テ脚ヲ立テ以テ其理學ヲ打出セリ所謂一定無キ所ノ處トハ何ソヤ曰ク エラクリットノ言ニ從ヘハ凡ソ有ル所ノ

者ハ皆眞ニ有ルニ非スシテ將ニ有ラントスル者タルニ過キス今ノ是レハ後ノ彼レニシテ定マルヿ有ルヿ無シ是ニ知ルエラクリットノ所謂有トハ變轉運動スルノ一事ニ止マルヿヲ顧フニ世界庶物洵ニ變轉シテ已ムヿ無ク或ハ合シ或ハ離レ或ハ起リ或ハ滅シ瞬時モ定マルヿ無シ獨リ是一方ニ就イテ言フトキハ古今學士一モエラクリットノ之ヲ論スルヨリ詳ナルハ莫シ

夫レ庶物ノ變轉運動スルヿハ特ニ其一方ノ觀タルニ過キス是ヲ以テエラクリットノ理學ハ固ヨリ未タ完粹缺クル無キ者ト爲ス可ラス然レトモエラクリットノ是變動ノ理ニ於テ見ル所ハ洵ニ間然ス可キ無シ之ヲ要スルニエラクリットノ說タル已ニ見得タル處有リ未タ見得サル處有リ而シテ其已ニ見得タル處ハ今日ニ至ルモ學士輩猶ホ之ヲ祖述シテ敢テ之ヲ廢棄セス今日ノ學術家曰ク凡ソ庶物ノ現象ハ皆其運動ヨリ生スト正ニエラクリットノ所見ニ非ス乎曰ク物ノ本質ヲ爲ス所ノ者ハ終古增減有ルヿ無シト正ニエラクリットノ所見ニ非ス乎曰ク物ノ變化ハ特ニ其外貌ニ止マリテ其精神ニ至

テハ絕エテ變化有ルヿ無シト正ニエラクリットノ所見ニ非ス乎

今日ノ學術家曰ク物ノ運動ハ音樂ノ節奏ト度曲ノ段落ニ異ナルコト無シ故ニ所謂運動ハ常ニ物ヲシテ化成セシムト正ニエラクリットノ所見ニ非ス乎又曰ク物ノ運動ニ係ル所ノ最モ溥博ニシテ且ツ最モ直截ノ原因ハ溫質プランシプ、カロリック ノ中ニ在リト是ニ於テ凡ソ地球上ノ生物ヲ以テ皆其生氣ヲ大陽ノ火ニ假レル者ト爲ス是レ正ニエラクリットノ神火ノ說ナリ

獨リ物理學家ノミニ非ス即チ庶物原理ノ學ヲ爲ス者ト雖モ亦往々エラクリットノ說ヲ採摭スル有リ卽チ其衆異物ノ相離合牽排シテ一種不可思議ノ均一ヲ致スノ說ノ如キ及ヒ物常ニ皆眞ノ有ニ非スシテ常ニ將ニ有ト爲ラントスルノ說ノ如キ近世理學家往々之ヲ採リ更ニ敷衍シテ以テ一家ノ說ヲ成ス者有リ

然リト雖モ所謂變轉運動シテ定マラサル所ノ世界ノ外別ニ一種一定不易ノ世界ナル者ノ存スル無キ乎顧フニエラクリットハ之ヲ求メテ得ス是ニ於

テ已ムコヲ得ス シテ特ニ其見得タル所ノ處ニ就イテ己レカ說ヲ成セシニ非サル無キヲ得ル乎エラクリツトノ理學ハ未タ以テ眞ノ理學ト稱ス可ラス シテ特ニ眞ノ理學ニ進ムノ第一步タルニ過キサル無キヲ得ル乎

エラクリツトノ說タルイヨニー派ノ理學ヲ擴充シテ其極致ニ達セシメ是ニ於テ專ラ吾人ノ智慧ニ呈スル所ノ外物ヲ見テ其皮表ヲ觀察スルニ過キス之ヲ要スルニエラクリツトハ能ク吾人ノ智慧ノ見ル所ノ者ヲ見テ未タ吾人ノ智慧ヲ見ルコト能ハス能ク物ヲ見テ未タ我レヲ見ルコト能ハス卽チエラクリツトモ亦自ラ其說ノ缺失ノ處有ルヲ感覺セリ故ニ其言ニ曰ク我レ嘗テ力ヲ極メテ我レノ何物タルヲ講求セリト然レトモエラクリツト終ニ其我レヲ見得ルニ及ハサリキ是ヲ以テ平居動モスレハ憂悶シテ自ラ措ク所ヲ知ラス彼ノ萬物ヲシテ沿々トシテ逝イテ反ラザラシムル所ノ斯世界ノ大波流ヲ觀テ愀然トシテ其身ノ無常ナルヲ嘆息スルニ至レリ

エラクリツト其活潑ノ意氣ヲ以テ終身夫ノ一種萬古不變ノ物ヲ求得シテ以

テ其安身立命ノ地ヲ爲サント欲シテ得ス已ムコヲ得ス姑ク夫ノ物ノ變轉生滅スル所ノ處ニ於テ其身ヲ置キ之カ形狀ヲ觀察シ以テ僅ニ自ラ慰メリ故ニ其言ニ曰ク嗚呼物皆逝イテ反ラス其後プラトンハ將ニ之レニ答ヘヲ曰ハントス物皆逝イテ反ラス然レトモ二ノ逝カサル者有リ我カ精魂ト我カ精魂ノ見得タル所ノ物ト是ナリト

○第三　アナキザゴール

アナキザゴールハ紀元前五百許年ニ方リテ其理學ヲ倡道セリ希臘ノ群神ヲ褻瀆セシヲ以テ罪ヲ獲テ獄ニ下リ逃レテランサックニ至リ紀元前四百二十八年ヲ以テ終レリ

エラクリツトノ言ニ從ヘハ物ノ變轉スルハ正ニ原因ニシテ其餘ハ皆結果ナリアナキザゴールハ之ニ異ナリ以爲ラク物ノ變化スルハ正ニ結果ニシテ原因ニ非ス變化ナル者ハ他ニ非ス前ニ有ル所ノ物ノ新ニ他ノ形態ヲ蒙ムルヲ是ナリ故ニ物ノ生シ及ヒ滅スルハ物ノ本情ニ非ス物ノ本情ハ生スルヿ無

ク亦滅スルヿ無シ卽チ其言ニ曰ク物ノ變化生滅スルハ畢竟物チ成ス所ノ諸質ノ相合シ相離ルヽニ過キスシテ諸質ノ相合スル是正ニ生ナリ其相離ルヽ是正ニ滅ナリ其實ハ眞ニ生滅有ルニ非スト

アナキザゴールノ理學タルヤ猶ホ之チ諸力構合ギナミスムノ說ト謂フ可シ未タ之チ諸體構合メカニスムノ說ト謂フ可ラス諸體構合ノ說ト謂フ可シ何トナレハ諸質相離合シテ始メテ變化チ爲スチ以テナリ諸力構合ノ說ト謂フ可ラス何トナレハ諸質中有スル所ノ力能ク此離合チ爲スニ非サレハナリ

アナキザゴール既ニ前ノ言チ爲シ因テ又次キノ言チ爲ス曰ク萬物皆之チ分チテ無窮ニ至ラシム可シ而シテ其之チ分ツノ法二有リ曰ク其異質相合スル者チ剖分スルナリ曰ク其同質相合スル者チ剖分スルナリ其言ニ曰ク彼ノ血チ看ス乎是レ無數ノ滴チ以テ成ル者ナリ而シテ所謂無數ノ滴ノ各々ノ中又無數ノ滴有リ此ノ如クニシテ剖分スルヿハ極メテ細微ニ至ルモ窮極有ルヿ無シ彼ノ火チ看ス乎亦無數ノ細質チ以テ成ル者ナリ彼ノ水チ看

ス乎亦無數ノ細質チ以テ成ル者ナリ而シテ之チ剖分スルニ及ヒテ窮極無キハ彼ノ血ト異ナルヿ無シ但是ノ如クニシテ剖分シテ至微ノ細質ニ至ルモ各々相同クシテ均ク是レ血ニ非サル無ク火ニ非サル無ク水ニ非サル無シ是レ所謂同質ノ相合スル者ナリ

又曰ク凡ソ天下ノ物如何ニ細微ナルモ其中皆天地間有ル所ノ諸質チ含有セサル莫シ而シテ其含有スル所ノ諸質ノ量相異ナルカ如シト雖モ實ハ全ク相均クシテ多寡有ルヿ無シ故ニ曰ク萬物皆萬物ノ中ニ存スト是言ヤサンプリシュースノ之チ傳ヘリ

若シ是言ノ爽ハサルチ徹センヿ欲セハ試ニ看ヨ凡ソ物ノ相異ナル者ハ皆其相異ナル物質中ヨリ生スル蓋シ萬物皆萬物中ヨリ生スル是ナリ之チ例ヘハ麵包ナリ水ナリ酒ナリ吾人之チ食ヒ或ハ之チ飲ムヿハ其物吾人ノ體中ニ入リテ各〻滋養スル所有リテ或ハ血ト爲リ或ハ骨ト爲リ或ハ肉ト爲リ筋ト爲リ神經ト爲リ脈管トナリ毛ト爲リ髮ト爲ルヿ是ナリ果シテ此ノ如クナ

ル件ハ是レ此等ノ食飲ノ中本ト自ラ血、骨、肉等ヲ含有スルヿ明ナリ是ヲ以テ動物ノ之ヲ食飲スル件ハ其消化ノ機能ニ由リテ體ノ諸部自ラ其同質ノ物ヲ引イテ以テ自ラ滋養スルヿヲ得卽ヲ血ハ此等食飲ノ中含有スル所ノ血ヲ取リ肉ハ此等食飲中含有スル所ノ肉ヲ取ルノ類是ナリ是所謂異質ノ相合スル者ナリ

凡ソ天下ノ物皆諸質ヲ含有スルヿ少モ相異ナルヿ無キ件ハ何ニ由リテ物ノ形貌各〻相異ニシテ乃ヲ諸種ノ名稱有ル乎曰ク此レ知リ難キニ非ス蓋シ庶物皆宇宙ノ中ニ散布シ永劫タソノ間ヲ經過スルヲ以テ吾人ノ之ヲ觀ルヿ各〻方ヲ異ニセサルヲ得ス是ニ於テ其庶物ヲ吾人ノ目ニ呈スル者其形貌皆相異ナルヲ致スハ自然ノ勢ナリ同一物ナリ之ヲ上ヨリ看ルト下ヨリ看ルト今日之ヲ看ルト明日之ヲ看ルト其間自ラ相異ナル處無キヿ能ハス是レ彼ノ宇宙ト永劫ノ然ラシムル所ナリ

萬物皆諸質ヲ含有スト雖モ然レ𪜈其含有スル所ノ諸質ノ中或ハ多ク吾人

ノ目ニ呈スル有リ或ハ少ク吾人ノ目ニ呈スル有リ是ニ於テ吾人ノ庶物ニ於ケル特ニ其多ク吾人ノ目ニ呈スル一質ヲ取リテ以テ其物ニ名ツク此レ乃チ土、水、火等ノ名稱有ル所以ナリ然レ𪜈其實ハ土ナリ水ナリ火ナリ其中各〻皆無數異質ノ分子ト無數同質ノ分子トヲ含有スルヿ少モ相異ナルヿ無シ故ニ其形貌ノ相異ナルカ如キハ特ニ宇宙ノ地位ノ異ナルト永劫ノ時間ノ殊ナルトノ然ラシムル所タルニ過キス

アナキザゴールヲ以爲ラク庶物ノ未タ剖分セサルニ方リ物ノ形貌采色全ク相同クシテ卽チ混然トシテ一大塊物ヲ成セシト其言ニ曰ク世界庶物其計數無量ニシテ其大小無限ナリ然レ𪜈其相混成セシニ方リテヤ之ヲ視ルモ別ヲ見ス然レ𪜈庶物ハ則チ隱然已ニ現存セシニ疑無シト是乃チアナキザゴールノ號シテ元始ノ混合ト稱スル所ニシテ宗教家言フ所ノ混沌ノ說ト相類スル者ナリ

アナキザゴールヲ以爲ラク此一大混合物ヲ剖判シテ各〻別有ラシメタルハ

運動ノ力乃チ然ラシメクリ蓋シ運動ノ効一タヒ發スルニ及ヒ庶物皆分レテ各〻其位ヲ占ム是ニ於テ乎其宇宙ニ散布シ永劫ヲ經過スルノ間ニ於テ各〻其形貌采色ノ異ヲ呈スルニ至リテ往キニ混然一大塊物ヲ成セシ者斯ニ始メテ萬種ノ物ト爲レリ

然レハ則チ此運動ノ力ハ果シテ何ノ處ヨリ來レル乎アナキザゴールノ言ニ曰ク世界ノ物タル廣大無邊ニシテ本ト寂然不動ナリ何トナレハ是レ固ヨリ純一ニシテ其他一モ之ニ接スル者無キヲ以テナリト然レハ則チ彼運動ノ力チ生シテ斯世界ヲ剖判シ以テ今日目ニ視ル所ノ采色及ヒ次序有ラシメタルハ果シテ何物ナル乎プリュタルクノ言ニ據レハアナキザゴールノ意以爲ラク是レ決シテ偶然ノ事ニ非ス然レトモ人類淺智ノ能ク明ニ知ルヲ得ル所ニ非ス其言ニ曰ク世界ノ運動ノ發起セシハ決シテ偶然（デスタン）ノ因ニ非ス偶然ノ因ナル者ハ詞客ノ口語ニシテ其實ハ意義無キ者ナリ予チ以テ之チ考フルニ世界チ動カセシ者ハ一種不可思議ノ物ニシテ略ホ吾人ノ

軀體チ動カス所ノ精神ニ類スルニアナキザゴールノ蓋シ曰ク吾人ノ身チ動カス者ハ智慧ナリ世界チ動カス者モ亦智慧ナリ故ニ開闢元始ノ時ニ當リ混然一大塊チ爲セシ所ノ斯世界庶物チ剖判スルノ運動力チ發セシハ一種ノ神智ノ然ラシムル所ニシテ庶物ノ采色有リ次序有ルハ此神智ノ所爲ニ是由ルナリ

神智ノ發越セシニ賴リ運動ノ力一タヒ世界ノ中ニ入リシヨリ生氣勃然トシテ興生シ諸質相鼓シ相盪シ網織釀醸シテ各〻其力ヲ逞ウシ世界ノ一處ヨリ始リ延イテ其全處ニ及ヒ再々トシテ已ムコト無ク今日ニ至ルマテ猶ホ其業チ止ムルコト無シ卽チ天ノ運轉スルカ如キ是ナリ顧フニ是運動一タヒ發シテヨリ永劫決シテ止ムコト無カル可シ云々

アナキザゴールノ以爲ラク我カ地球ハ圓錐狀ニシテ世界ノ中央ニ位スル而シテ他ノ諸星ノ如キハ皆地球ヨリ迸出セシ所ノ固形物ナリ蓋シ運動ノ力一

タヒ世界ノ中ニ入リシヨリ我カ地球モ亦運動シテ其勢極メテ激烈ナリキ是ニ於テ其部位ノ中彼ノ燃焼セル天ノ空氣エーテル、ニ觸レシ者其爐スル所ト爲リ斯ニ以テ迸飛シテ夫ノ衆星ヲ成セシト

又以爲ラク大陽ハ烈火ノ一大塊ニシテ大陰ハ其中山嶽ノ類ヲ含有シテ暗體ナルヲ以テ其光輝有ルハ之ヲ大陽ニ假リテ然ルニ過キスト顧フニ是說ヤ正ニ之ヲ近代ピユッフォン、ラプラースノ說ノ前兆ト謂フモ不可ナル無キナリ

アリストッ|トノ言ニ據ルニアナキサゴール云ヘリ夫ノ神智ナル者ハ廣大無邊ニシテ與ニ比ス可キ無ク又獨立不倚ニシテ交涉スル所有ル|無シ何ソヤ是レ本ト他物ノ一影象ニ非スシテ正ニ世界萬物ノ本原ナレハナリ豈ニ復タ何ノ倚ル所有ラン哉

又曰ク夫ノ神智ハ既ニ交涉スル所ノ物無キヲ以テ其存スルヤ其獨ヲ守リ亦其獨ニ由リテ存ス然ラズシテ其中少モ雜フル所ノ異物有ルキハ是終ニ

理イ八

雜ヘサル所無キナリ何ソヤ萬物皆萬物ヲ含ムカ故ナリ故ニ曰ク神智ハ冲然獨存シテ且ツ粹然雜フル所無シト又曰ク神智設シ其中ニ於テ他ノ諸質ヲ雜フルキハ復タ諸質ヲ左右スルノ力ヲ存スル|能ハス他無シ其無量ノ力ハ正ニ其完粹無疵ノ處ヨリ發スレハナリ

又曰ク神智ハ天下之ヨリ精微ナルハ莫ク之ヨリ純潔ナルハ莫シ其慧眼全世界ヲ旁羅シテ餘有リ一至微物ト雖モ其情ヲ逃ル、所無シ物雜フル所有ル乎夫ノ神智輒チ之ヲ知ル物別ツ所有ル乎夫ノ神智便チ之ヲ覺ル物ノ動クヤ是神智之ヲ盪カスナリ物ノ次序有ルヤ是神智之ヲ整調スルナリ嗚呼夫ノ神智ハ本ト必ス之有ルコトヲ要セリ本ト固トヨリ之有リキ今現ニ之有リ是後亦當ニ之有ル可シ此レ蓋シ無始無終ノ神靈ナリ

アナキザゴール|ノ理學ハ之ヲ要スルニ從前ノ說ニ於テ左ノ三個ノ義ヲ附加シテ之ヲ補ヘリ一ハ萬物ヲ以テ無窮不滅ノ性有リト爲スコトナリ即チ後來パスカル、レイプニッ|トノ徒ノ言ニ萬物皆各〻一世界ヲ爲スト曰ヒシハ正ニ

此意ヲ祖述セシナリ

二ハ神智ノ一タヒ發セシヨリ夫ノ運動ノ力ヲシテ世界萬物ノ中ニ進入シ其レヲシテ各〻次序ニ就カシムルノ說ナリ蓋シ此說ニ在リテハ所謂神智ハ自ラ好ミテ之ヲ爲セシニ非スシテ自然ニ已ムヿヲ得スシテ之ヲ爲セシナリ」

三ハ夫ノ神智ヲ以テ完粹純一ニシテ萬物皆其支節タルニ過ギスト爲スヿナリ但所謂神智ハ別ニ本質有ルニ非スシテ世界萬物正ニ此神智ノ寓スル所ナリ

凡ソ此三個ノ旨義ハ卽チアナキザゴールノ擴張ニ係ル而シテ其所謂神智ハ卽チ造化主宰ニシテ正ニ稱シテ神ト爲スヿ可シ

然リト雖モアナキザゴールノ所謂神ハ一種斯世界ヲ運轉スル力有ル者ニシテ而シテ其之ヲ運轉スルヤ世界自然ノ構造ニ由リテ然ルニ過キスシテ初メヨリ自ラ意欲有リ且ツ目的トスル所有リテ然ルニ非ス故ニアナキザゴールノ神ハ之ヲ謂テ物ヲ動カスノ力有ル精靈ト爲スヿ可シ物ヲ動カスノ力有ル意欲ト爲スヿ可ラス

且ツヤアナキザゴールノ言ヲシテ信ナラシムル乎余ハ將ニ曰ハントス世界ノ未タ剖判セスシテ混然一大塊物ヲ成セシ時ニ在リテモ夫ノ神智ナル者ハ固ヨリ旣ニ其間ニ存セシヿト爲サヽル可ラス然ラスンハ所謂神智ナル者ハ終ニ果シテ何ノ處ヨリ來レルカヲ知ル可ラス又神智ノ未タ發動セサルノ前ニ在リテ庶物相混淆セシ時ニ在リテモ其混淆中自ラ一種整齊セル構造ヲ成ス可キ原因ヲ包有セシヿト爲サヽル可ラス然ラスンハ縱令運動ノ力ノ入リ來ル有ルモ俄カニ其面目一變シテ今日吾人ノ目ニ見ル所ノ粲然タル次序ハ決シテ得可ラス之ヲ要スルニアナキザゴールノ夫ノ神ノ業ヲ以テ一種偶然已ムヲ得サルニ出テ、初メヨリ一定ノ目的ト一定ノ意欲有リタルニ非スト爲スカ如キハ缺尖ト爲サヽルヲ得ス他無シ一時偶然ノ業ノ能ク此極メテ整齊ナル世界ヲ造出スルノ理無レハナリ

○第四　アブデールノ理學○デモクリット

アナキザゴール一タヒ世界萬物ヲ以テ數個機關ノ相聚リテ成レル者ト爲シテヨリアブデール派ノ學士繼テ起リ其說ヲ祖述シテ益〻精微ニ赴カシメリアブデール派ノ理學ハ號シテ細分子相抱合スルノ說ト曰フアナキザゴールハ夫ノ神智ナル者ノ現存セルヲ言ヒ世界萬物ヲ以テ一種靈慧ナル神ノ力ニ賴リテ成レル者ト爲セリアブデール派ノ學士ニ至リテハ之ニ異ナリ蓋シ其格物ノ理ヲ擴張スルノ極竟ニ世界萬物ヲ以テ純然機關ノ構造ニ成ルト爲シテ少シモ虛靈ナル智慧ニ依賴スルヿ無シ故ニ其言ニ從ヘハ世界萬物ノ能ク變轉遷移シテ少シモ次序ヲ擾ラサルハ獨リ萬物ノ機關ノ力ノ自ラ之ヲ爲ス所ナリアブデール派ノ學士中最モ著稱セラレシ者ハデモクリットニ踰ユル莫シ其說以爲ラク物ノ本原蓋シ二有リ實ト空トナリ有ト無トナリ所謂實トハ何ソヤ物ノ細分子即チ是ナリ而シテ細分子ハ其數無量ニシテ窮極ス可ラス其大小形容各〻相異ナリト雖モ其質ハ則チ皆相同クシテ少シモ相異ナル莫

シ又此細分子ハ一種常ニ自ラ運動シテ已マサルノ性有リ是ニ於テ此等ノ細分子常ニ空間ニ廻飛スルヿ猶ホ飄風ノ塵ヲ捲イテ地上ニ飄ヘルカ如クニシテ其漸ク相合スルニ及ヒ斯世界庶物斯ニ以テ結成セリデモクリットノ意以爲ラク斯世界萬類ノ此ノ如クニシテ結成セシハ意思有リテ然ルニ非ス亦目的有リテ然ルニ非ス然レヒモ所謂細分子ノ運動スルヿハ偶然ノ事ニ非ス夫レ偶然ト云フ者ハ意義無キノ語ニシテ特ニ吾人ノ原因ヲ識得セサル時ニ於テ之ヲ言フノミデモクリットト自ラ言ヘリ凡ソ世界ノ庶物一モ原因無キハ無シ決シテ一時偶然ノ間ニ發セシニ非ス所謂原因トハ何ソヤ已ムヿヲ得可ラサルノ理是ナリト但デモクリットノ所謂理トハ世界庶物ト判然異ナル所ノ造化主宰ノ類ヲ言フニ非スシテ卽チ彼ノ細分子中包有スル所ノ離合ノ理是レノミ吾人ノ精神モ亦細分子ノ相聚結シテ成ル所ニシテ其質タル極メテ精微ニシテ復タ他ノ庶物ノ比ニ非ス而シテ凡ソ吾人ノ得ル所ノ智識ハ皆五官ノ

感受ノ能ニ頼リテ獲ル所ナリ然ル所以ノ者ハ他無シ吾人苟モ物ヲ視聽スルトキハ其物ヨリ迸發スル所ノ精微ノ分子自ラ來リテ我カ體軀ノ中ニ潜進シ深ク入リテ我カ腦髓ニ着イテ其物ノ形容ヲ印ス是レ乃チ吾人ノ能ク外物ニ於テ采色形態若クハ聲音ノ別ヲ識得スル所以ナリ

是故ニデモクリットノ說ニ從ヘハ獨リ庶物ノミナラス人心無形ノ旨義ト雖モ皆盡ク一種機關ノ構造ノ然ラシム所ニシテ一モ無形虛靈ノ精魂ノ類有ルヿ無シ此蓋シイヨニー派諸物構合ノ說ノ上リテ最高層ニ至リシ者ナリ

一言以テ之ヲ括スルトキハ曰クイヨニー派ノ理學タル專ラ吾人五官ノ感受ノ性ヲ以テ其說ノ源頭ト爲シテ斯ニ以テ所謂運動ノ力ナル者ヲ發見シテ其一家ノ說ヲ構成セリ其言ニ從ヘハ斯世界ハ一大機關ノ常ニ自ラ變轉運動シテ成ル者タルニ過キス顧フニ近時學術家ノ格物及ヒ人身窮理星學等ノ諸道理ヲ以テ機關ノ構造ト爲スカ如キハ正ニデモクリット家ノ說ト符合スト謂フ可シ

○第二章　意答利及ヒエレーノ虛靈ノ說（イデアリスト）○ピタゴール○バルタコード○アンペドクル

○緒論

○第一　意答利ノ理學

第一　アリストットノ言ニ曰クピタゴール家ノ學士ハ皆數學ニ浸淫シテ其理學ニ於ケルモ亦以爲ラク凡ソ萬物ノ本質ハ數（ノンブル）ノ中ニ在リテ存ス蓋シ數ナル者ハ萬物未タ生セサルノ前ニ存シテ獨立不倚ノ物ナリ故ニ萬物一モ數理ニ賴ラサル莫シ斯ニ知ル世界萬彙ハ皆是數理ノ統御スル所ナルヿヲ

ピタゴール家ノ學ヲ治ムル者皆以爲ラク世界萬物苟モ數ヲ除クトキハ餘ハ皆假相ナリ物ノ實相ト爲ス可キハ唯獨リ數ノ有ルノミト其極ヤ凡ソ精神ノ思念スル所ノ旨義ノ類モ皆數ヲ以テ之ヲ解スルニ至ル

第二　ピタゴール家ノ理學士ハ數學及ヒ格物學ニ係リ往々發明スル所

有リ其數學ニ於ケルハ曰ク九章ノ法ナリ曰ク數字ノ法ナリ此法世俗傳ヘテ亞剌比人ノ創意ニ係ルト爲ス者ハ蓋シ謬ナリ曰ク四方角ノ問題ニ係リ尋常算法ヲ以テ幾何ノ法ニ當用スルヿナリ其格物學及ヒ星學ニ於ケルハ曰ク地球ノ自轉ノ說及ヒ其大陽ノ周圍ヲ環ルノ說ナリ曰ク日月ノ蝕及ヒ月ノ上中下浣ノ解釋ナリ其他數學ニ係ル諸臆度ノ說有リテ大ニ學術ヲシテ其步ヲ進メシムルヿ致セリ

第三　ピタゴール派ノ性理及ヒ道學ハ曰ク吾人ノ精神モ亦一ノ數ナリ而シテ其數タルヤ能ク自ラ運動スルノ力有リ又曰ク德ナル者ハ諸數ノ相均調スルノ謂ナリ義ナル者ハ彼レト是レト相互ニ報酬シテ多寡無キノ謂ナリ友愛ナル者ハ相共ニ愛シテ平等ナルノ謂ナリ

第四　ピタゴール派ノ說ニ據レハ凡ソ數ハ皆一ヲ以テ本根ト爲ス而シテ一ナル者ハ其包ヌル所無邊ニシテ窮無シ是正ニ神ナリ

○第二　エレー ノ理學

クセノファンヌハエレー派ノ理學士ニシテ其大旨以爲ラク物ノ衆多ナルハ物ノ假相ナリ若シ夫レ物ノ實相ハ則チ純一ナリ即チクセノファンヌノ言ニ曰ク神ハ純乎一ナル者ナリ而シテ斯世界ト一體ヲ爲シテ別ツ可ラス何トナレハ神既ニ純一ニシテ而シテ廣大無邊ナリ然ルヲ神ノ外別ニ所謂世界ナル者有リト爲スハ是神ト世界ト二物有ルナリ此ノ如キ者豈ニ稱シテ純一ニシテ且ツ廣大無邊ナリト爲ス可ケン哉

第二　パルメニードモ亦以爲ラク神ハ純一ニシテ廣大無邊ナリ又永久不滅ニシテ窮極有ルヿ無シ故ニ神ヲ外ニシテ一物モ能ク存スルヿ無シト乃チ曰ク人ノ精爽ハ神ト同一物ナリ

第三　ゼノンハ專ラエラクリットト及ヒ其學ヲ治ムル者ノ說ヲ駁シテ以爲ラク物ノ變轉シテ定マラサルカ如キハ吾人ノ妄想タルニ過キス其實ハ寂然不動ニシテ些ノ變化有ルヿ無シ是ニ於テ一說ヲ創シテ運動ナル者ノ現ニ有ルヿ無キ所以ノ故ヲ證明スルヿヲ求メリ

エレー派ノ理學ハ其大旨ヲ要スルニ專ラ虛靈純一ノ本質有ルヿヲ主張シテ以爲ラク此本質ヲ除非シ餘ハ皆空華泡影タルニ過ギズ是蓋シ神物同體ノ說ノ一種ナリ

○第三　アンペドクル

第一　アンペドクルハピタゴール派ノ說トイヨニー派ノ說トヲ一混シテ以爲ラク凡ソ物皆二個ノ本根ヨリ發出シ來レリ卽チ愛ノ理ト憎ノ理トヲ是ナリ蓋シ天地開闢ノ始メニ當リテハ萬物皆盡ク一愛理ノ抱懷スル所ト爲リ相合シテ一體ヲ成セリ愛ノ理ハ卽チ所謂神ナリ旣ニシテ憎ノ理出テ來リ其相合スル者ヲ剖チテ分離セシメリ是其稱シテ相牽引スルノ時代ト相排斥スルノ時代ト號スル所ナリ是ニ於テ夫ノ神起チテ世界ヲ動盪シ四大原質ヲ區別セリ曰ク火ナリ曰ク土ナリ曰ク水ナリ曰ク氣ナリ」

第二　萬物一タヒ彼ノ憎ノ理ノ分離スル所ト爲リシモ其間猶ホ自ラ彼ノ愛ノ理ノ統御スル有ルモ漸次ニ相牽引シテ其極ヤ將ニ復タ世界一愛

ノ理ノ中ニ歸入シテ已マントス是世界自然ノ運ナリ而シテ萬類ノ中ニ就イテ人ハ其智識有リ情念有リ又能ク斷行スル有リテ善ク庶物相調和整齊スルノ理ヲ以テ最モ彼ノ一愛ノ理卽チ神ニ肖似スルヿヲ得故ニ其務ハ正ニ其情念及ヒ行爲ヲシテ此庶物自然ノ次序ト相適合セシムルヿヲ求ムルトニ在リ

又以爲ラク凡ソ人タル者ハ唯其同類ヲ愛スルノミナラス亦廣ク恩ヲ凡ソ懷生ノ物ニ及ホス可シ此ノ如クスルヿハ彼ノ庶物相牽引スルノ力一日全捷ヲ獲テ再ヒ世界一愛ノ理中ニ歸入スルヲ得可シ

○本論

前ニ叙述セシ所ノイヨニー派ノ理學ハ專ラ機關構合ノ理ヲ以テ萬物ノ由リテ立ツ所ト爲セリ顧フニ此說ヤ苟モ其到ル所ヲ窮ムルヿハ亦ピタゴール家ノ說ト同ク數理ニ歸底スルニ非サル無キヲ得ル乎顧フニ所謂運動ナル者ハ其本ヲ推スヿハ果シテ何物ナル乎余ヲ以テ之ヲ考フルニ運動トハ物

ノ彼ノ宇宙ノ間ニ居テ其處所ヲ改ムルヲ謂フナリ幾何學上ノ面積ヲ變スルノ謂ヒナリ而シテ幾何學上ノ面積ハ畢竟數ノ理ニ外ナラス故ニ曰クイヨニー派ノ理學家ノ所謂運動ハ亦ピタゴール家ノ數理ニ歸着スト

且ツイヨニー派ノ理學士ノ言ニ從ヘハ萬物、運動ヲ以テ其本情ト爲スト顧フニ運動ナル者ハ一タヒ其運動スル所ノ物體ヲ除イテ別ニ之ヲ考フルヲハ數理ヲ以テ之ヲ釋スルノ外復タ得テ知ル可ラス然レハ則チ萬物皆運動ナリト曰フハ正ニ萬物皆數ナリト曰フニ異ナラス

是ニ由リテ之ヲ觀レハ世界萬物ヲ以テ一大機關ノ構合ト爲スノ說ヨリシテ世界萬物ヲ以テ一大數理ノ構合ト爲スノ說ニ移リシハ畢竟同一旨義ノ益〻其歩ヲ進メタルニ外ナラス而シテ此進歩ノ業ハピタゴール家ノ說與ルニ及ヒテ始メテ之ヲ卒フルヲ得タリ

○第一　ピタゴール　虛靈ノ說ノ理學

第一　ピタゴールハ紀元前五百八十四年ヲ以テサモースニ生レタリ理學

ノ說ヲ倡道シクロトンヌニ於テ一ノ理學士會ヲ建立セリ是ニ於テピタゴールノ說ヲ奉スル學士大ニ威權ヲクロトンヌ及ヒ希臘ノ屬地ノ意答利ニ在ル者ニ張レリ其後大ニ政ヲ爲ス者ノ忌惡スル所ト爲リ紀元前五百四年ピタゴールメタポンニ戮死シ其徒皆散シテ四方ニ往ケリピタゴールノ門人ノ最高足ト稱スル者ハフィロラユース及ヒアルシタースノ二人ナリ

ピタゴール以爲ラク數ナル者ハ萬物ニ先チテ存シ且ツ大ニ萬物ニ超越スト何ヲ以テ其然ルヲ知ルヲ曰ク凡ソ數學ノ理ハ物有ルト物無キトニ管セス確乎トシテ易フ可ラス且ツ一タヒ物ノ數ヲ算スルヰハ其物亡ブルモ其數ハ依然トシテ存シテ其物ト俱ニ亡フヿ無シ故ニ曰ク數學ノ理ハ萬物ニ先チテ存スト

數學ノ理ハ萬物ヲ統御スル者ナリ凡ソ天地ノ物皆輕重有ラサル莫シ皆大小有ラサル莫シ苟モ輕重有リ大小有ルヰハ皆算計セサル可ラサル莫シ卽チ天ノ廣大ナルモ亦一個ノ數タルニ外ナラス故ニ曰ク數學ノ理ハ萬物ニ

超越ス ト

人將ニ問フテ曰ハントス抑數ナル者ハ吾人ノ意念ヨリ發スル所ナリ歟フ
ニ是物ヤ特ニ物ノ外形ノ循フ所ノ規則タルニ過キサル乎將タ是物正ニ物
ノ本質ヲ成ス乎トピタゴールハ乃チ答ヘテ曰ハン數ナル者正ニ物ノ本質
ナリ特ニ外形ノ規則ノミニ非スト(ヘッケル嘗テピタゴールヲ稱讃シテ云ヘ
リ是人ヤ一言ニ斯有形ノ世界ヲ喝破シテ之ニ易フルニ無形ノ數理ヲ以テ
セリ何ソ其勇斷ナルヤト)

ピタゴールハ以爲ラク凡ソ物一タヒ之ヲ數ニ歸スルニ非サレハ吾人ノ必初
メヨリ之ヲ識得スルヿ能ハス是レ他無シ物ハ不完全ニシテ數ハ完全ナル
ヲ以テナリ蓋シ物ノ最モ能ク整頓セル者ハ最モ眞理ニ諧當スルモノナリ
然ルニ吾人若シ事物ヲ整頓セント欲スル件ハ數ニ賴ルニ非サレハ能ハス」
是ニ由リテ之ヲ觀レハピターゴール派ノ理學ニ在リテハ數ナル者物ノ本
原ニシテ亦物ノ歸着ナリ然レ𪜈其說ニ以爲ラク數ハ本ト神ノ意有リテ之

ヲ作リシ所ニ非スシテ自然ニ發出シテ萬物ノ中ニ入リシ者ナリ

又以爲ラク吾人棲息スル所ノ地球ハ斯世界ノ中央ニ位スルニ非ス何トナ
レハ地球ハ無數不完全ノ物ノ寓スル所ニシテ且ツ其質タル暗黑ニシテ自
ラ照ラスヿ能ハサレハナリ世界ノ中央ニ位スル者ハ必ス一大光輝有ルヿ
ヲ要ス他無シ光輝ハ衆善ノ係ル所ナレハナリ又必ス寂然不動ナルヿヲ要
ス他無シ靜ハ大ニ動ニ勝サリテ且ツ亦衆善ノ係ル所ナレハナリト又曰ク
衆星ハ必ス世界ノ中央ニ位スル天火ノ周圍ニ在リテ圓形ノ運動ヲ爲スヿ
ヲ要ス何トナレハ圓形ノ運動ハ必ス其始メテ發スル所ノ處ニ復ルヲ以テ
諸運動ノ中ニ就イテ最完全ナルヲ以テナリ

衆星ノ相排列スルヿハ本ト自ラ音樂ノ理ニ適合スル而シテ其各〻旋廻スル
間節奏ノ至美ナル者ヲ發スル而シテ吾人ノ耳ニ此音樂ノ節奏ヲ聞クヿ能ハ
サル所以ノ者ハ他無シ其音ノ常々不斷ナルヲ以テナリ否ラサレハ其音ノ
太タ沈實ニシテ浮越セサルヲ以テナリ云々ピタゴールノ是言ハアリストッ

ト之ヲ傳ヘリ

ピタゴール又曰ク凡ソ數ノ中ニ就イテ十數最モ完全ナリトス故ニ衆星ノ數必ス十ナル應シ今吾人ノ目ニ視ル所ノ者ハ九ニ踰エス顧フニ其一ハ或ハ斯地球ノ地位ノ故ニ由リテ之ヲ視ルコヲ得サルナラン之ヲ要スルニ十數ハ到ル處其跡ヲ發スルニ終ランコト疑無シ

凡ソピタゴール派ノ此等ノ論ハ多クハ皆臆測ノ說ニ過キス然レトモ其學術ニ於テ偉功有リシコト實ニ爭ヒ難キ者有リ凡ソ學術ノ其歩ヲ進ムル所以ノ者蓋シ二道有リ一ニ曰ク實驗ナリ臆測ナル者ハ理ヲ推シ義ヲ考ヘテ事物ノ應ニ云々ナル可キヲ測度スルノ謂ニシテ若シ吾人ノ學術ニ於ケル少モ推測スル所無ク唯尤々トシテ實驗ニ是賴ルヿハ其速ニ進闡スルヲ望ムモ得可ラス故ニ曰ク推測ハ智ヲ以テ物ニ先ツ者ナリト實驗ナル者ハ已ニ推測スル所ノ理ニ就イテ更ニ實際ノ證ヲ尋究スルノ謂ナリ若シ吾人專ラ推測ヲ事トシテ絶エテ之ヲ實際ニ徵セサルヿハ其學術タ

ル終ニ架空ノ物タルヲ免レス故ニ曰ク實驗ハ推測ノ功ヲ固ムル者ナリ

顧フニピタゴール派ノ學士ノ推測ニ於ケル之ヲ實際ニ徵シテ或ハ合スル有リ或ハ合セサル有リ然レトモ其學術ニ大益有リシコトハ終ニ沒ス可ラス彼輩ノ天體ノ說ニ於ケル其衆星ヲ以テ必ス十數有リトス爲スカ如キ及ヒ其世界中央ノ天火ノ論ヲ爲シ以テ強テ其說ヲ全クセント欲セシカ如キハ今日ニ在リテ固ヨリ取ルニ足ラス然レトモ其地球ヲ以テ動體ノ物ト爲セシカ如キハ實ニ卓見ナリト謂フ可シ夫レ吾人ノ地球上ニ在ル其現ニ目ニ感スル處ヨリシテ言フトキハ實ニ不動ナルニ似タリ然ルヲ此ヲ以テ動體ナリト爲スカ如キハ推測ノ法ニ賴ルニ非スンハ奚ヲ以テ之ヲ得ン哉

ピタゴール派ノ學士ハ大抵耳目尋常ノ聞見スル所ヲ以テ皆皮相ナリト爲シテ之ヲ言フニヲ屑シトセス必ス深ク理ヲ推シ義ヲ考ヘテ物ノ實相ヲ講求シテ後已マント欲セリ是其尤モ學術ノ進闡ニ功有リシ所以ナリ

ピタゴールノ其理學ヲ唱說セシヨリ一時學士靡然トシテ之ニ嚮往シ是ニ

於テ其効大ニ世ノ數學星學視學等ニ發見シテ之ヲ大ニ其歩ヲ進マシムルヲ致セリ蓋シピタゴールノ數學ニ於ケルヤ其功ノ最モ著キ者ハ一ニ曰ク「カレー、ギュイポラユーズ」譯者算學ニ於テ未タ通セス諸算學ノ語ハ之ヲ解スル能ハス故ニ直チニ原語ヲ擧ケテ以テ大方ノ是ノ法ヲ發見セシコトナリ蓋シ此法ハ獨リ數ト比較ニ關係有ルノミナラス亦幾何學上ノ比較ニ於テ關係有リピタゴールノ意以爲ラク凡ソ天下ノ物皆數理ヲ以テ之ヲ觀察スルコトヲ得可シ果シテ然ルトキハ一學術ノ以テ天下萬物ノ相均齊調和スル所以ノ理ヲ窮ムル者之有ル應シ是其所謂數學ナリ

二ニ曰ク尋常算術ヲ以テ之ヲ幾何學ニ當用スルコトナリ此即チ代數ノ學ヲ以テ幾何學ニ適用スルノ漸ニシテ後來デカルトノ大ニ其名ヲ發スルコトヲ得タルハピタゴールの之カ先導ヲ爲セシト謂フモ可ナリ猶ホ言フ可キ有リ曰ク希臘羅馬及ヒ其他古昔學者ノ物ヲ數フルノ法大率皆五數ヲ以テ基址ト爲シ以テ常法ト爲セリピタゴールニ至リ始メテ五數ニ易フルニ十數ヲ以テシテ以爲ラク此數更ニ完全ノ性ヲ有スト此レ其大ニ「システーム、デシマール」十數ノ法ノ義然レヒ譯者未タ其何ノ謂ナルヲ知ラス功有リシ所以ナリ

今日吾人ノ用フル所ノ數字ハ即チピタゴール家ノ學士ノ創意ニ出テタリ世俗此ヲ以テ亞剌比人ノ制作ニ出テタリト爲スハ蓋シ謬ナリ顧フニ此數字一タヒピタゴール派ノ創造ヲ經シヨリ中古ノ時並ニ今日ニ至ルマテ天下ノ人皆襲用シテ之ヲ或ハ改ムルコト無シ其算術ニ便ナルコト此ノ如シピタゴール家ノ學士又數學ニ於テ一個ノ表ヲ創設セリ其法若干數ノ畧ヲ引キ畧毎ニ一定ノ位ヲ占ムル所ノ數ヲ盡ス即チ十位百位千位等ノ如シ故ニ此表ヲ一見スルトキハ均ク一二三等ノ數ニ就テ其或ハ十位タリ或ハ百位タリ或ハ千位タルヲ問ハスシテ知ル可キナリ是即チ今日稱シテピタゴールノ表ト爲ス所ノ者ナリ今人或ハ此表ト尋常九章ノ表トヲ混シテ一ト爲スカ如キハ謬ナリ尋常九章ノ表ハ必スシモ益有ルニ非ス若シ夫レピタゴールノ表ハ正ニ彼ノ十數ノ法ノ濫觴ナリ

ピタゴール家ノ學士ノ中ニ就テフィロラユースハ最モ星學ニ功有リシト爲ス其唱說セシ所實ニ人チシテ嘆服セシムルニ足ル其說ニ曰ク我地球ハ二種ノ運轉チ爲ス者ナリ一ハ其自ラ旋轉スル者ニシテ一ハ世界ノ中央ニ位スル天火ノ周圍チ旋轉スル者ナリ此前ノ旋轉ハ卽チ晝夜ノ別有ル所以ニシテ此後ノ旋轉ハ卽チ一歲チ成ス所以ナリ其後アリスタルクノ天體說チ唱フルニ及ヒ所謂世界中央ノ天火ニ易フルニ大陽チ以テスルニ過キスシテ方ニ完全ノ一說チ成スヿチ得タリシセロン其「アカデミック」ノ書ニ於テピタゴール家ノ學士ノ此等ノ推測チ評シテ云ヘリ此種ノ說ハ之チ實際ニ徵セント欲スルモ終ニ得可ラス且ツ地球ノ眞ニ圓體ナルヿチ徵セント欲スル時ハ地球チ一串シテ一方ヨリ他方ニ達セシムルノ後ニ非サレハ不可ナリ然レヒモ此豈ニ爲ス可キノ事ナラン哉ト嗚呼シセロンノ云フ所ハ世俗ノ稱シテ明白ノ道理ト爲ス所ニシテ卽チ知ラサル所チ知ラスト爲スニ過キス若シ人盡ク此ノ如クスルキハ學術ノ進步ニ於テ何ノ功有ルヿチ得ン顧フ

ニ古今豪傑ノ士衆人ニ先チテ推測論議スル所有リテ往々眞理ニ諧當スルヿチ得ルモ庸人深ク察セスシテ輒チ尋常ノ見チ以テ之チ駁スルヿ往々此ニ類スル者有リ嘆ス可キ哉

ピタゴール派ノ學士又能ク地球ノ隔障チ以テ月蝕ノ象チ解釋シ大陽ノ光輝ノ反射チ以テ月ノ上中下浣ノ象チ解スルヿチ知レリ其他衆星ノ「スタジョン」及ヒ「レトロガラダジョン」「スタジョン」トハ駐留ノ義ナリ「レトロガラダジョン」トハ退步ノ義ナリ譯者未タ星學ニ通セス故ニ直チニ原語チ擧ケ以テ大方ノ指敎チ乞フ

ピタゴール派ノ學士又物ノ音聲ニ係ルヿチ得タリ又音樂ニ係ル音ノ度曲ト樂器ノ弦ノ長サトノ比較チ定メテ此比較ハ皆單純ノ數チ以テ之チ著ハスヿチ得可キヿチ發見セリ譯者音樂ニ於テ少モ通スルモ其意ヲ解スル能ハス顧フニ音樂ノ如キハ細ニ其理チ推シテ之チ考フルキハ畢竟之チ耳ニ聽ク可キ所ノ數學ト謂フモ可ナリピタゴール家ノ學士ハ是道理ニ感發スルノ餘リ大ニ之チ擴充シテ衆星相隔タル所ノ距離

ニ於テモ亦音樂ニ係ル音ノ度曲ノ理ヲ當用スルニ至レリ

希臘人ハ諸藝ノ中ニ於テ音樂舞蹈及ヒ彫刻ノ三者ヲ尚フヿ極メテ至レリ而シテ此三ノ者ヲ以テ皆各〻一學術ニ原本スト爲セリ卽チ云フ彫刻ハ幾何學ニ原本シ音樂ハ數學ニ原本シ舞蹈ハ星學ニ原本ス他無シ舞蹈ハ獨リ形容ニ涉ルノミナラス亦音聲ニ涉ル而シテ星學モ亦此二者ニ涉レルヲ以テナリト

ピタゴール派ノ學士ノ言ニ從ヘハ衆星ノ相共ニ排列スルハ正ニ天上ニ於テ一種至美ノ舞蹈ヲ爲スニ外ナラス因テ又其意ヲ擴充シテ曰ク全世界ハ正ニ一大舞蹈ノ會ニシテ其蹁躚ノ容卽チ運動ト其節奏ノ曲卽チ聲音トハ皆數ノ理ヲ以テ之カ規律ヲ定ムルヿヲ得ルト

第二 ピタゴールノ說ニ以爲ラク吾人ノ精神ハ世界ノ大精神ヨリ自然ニ迸出セル者ニシテ亦一個ノ數タルニ外ナラスシテ之ヲ軀體ノ節奏ト謂フ可シ然レモ此節奏ハ本ト軀體ノ構造ヨリ生スルニ非スシテ彼ノ世界ノ大

精神ヨリ來ル是ヲ以テ吾人ノ精神ハ吾人ノ體軀ト俱ニ滅セスシテ身死スルヤハ更ニ又他ノ身中ニ入リ此ノ如クニシテ窮極有ルヿ無シ

又以爲ラク精神ノ體軀中ニ在ルヤ猶ホ囹圄ノ中ニ在ルカ如シ蓋シ體軀常ニ外物ノ誘フ所ト爲リテ動モスレハ精神ヲシテ不善ヲ爲サシメント欲スヿ是ニ於テ精神ハ常ニ此不善ノ旨義ト爭鬪セサルヲ得ス而シテ其戰極メテ苦ナル時ト雖モ逃逸スルノ權有ルヿ無シ精神ノ逃逸トハ自殺シテ彼ノ世界ノ大精神ニ歸スルヿナリ

又以爲ラク道德ノ行ハ正ニ我カ精神ノ戰爭ノ爲メニ生スル者ナリト卽チ曰ク凡ソ善ハ其源、本ト合同ト整齊トノ中ニ在リ凡ソ惡ハ其源、本ト分離トノ中ニ在リ凡ソ君子ハ能ク其行ヲ制シテ道理自然ノ次序ヲ亂雜トノ中ニ在リ又曰ク有德ノ音樂ノ節奏ニ順ハシメ且ツ務メテ神ニ肖似スルヿヲ求ムル者ナリ又曰ク音樂ノ節奏ハ淸聲濁聲ノ相調和スルヨリ生スル者ナリ德モ亦此ノ如シ精神ノ諸部分ヲ調和シテ之ヲ道理自然ノ次序ニ統フル是ナリ故ニ德モ亦一種ノ節奏ナ

リ

又曰ク義トハ人ト己レト權理ニ於テ全ク平等ナラシムルヲ謂フ其影象ノ見ル可キハ四方形即チ是ナリ友愛トハ仁ヲ行フト及ヒ身ヲ委テテ人ノ爲メニスルトニ於テ人ト己レト相共ニ同ク スルヲ謂フ

ピタゴールノ政術ハ其道學及ヒ理學ト同ク亦合同整齊ヲ以テ其大旨ト爲スニ過キス

第三 ピタゴールノ理學專ラ數ヲ以テ事物ノ本ト爲スヿ此ノ如シ然ルニ所謂數ハ一ニ非スシテ極メテ多クシテ窮極ス可ラス若シ數ナル者事物ノ本ナルトキハ其數ノ多キヿ此ノ如クナルハ何ソヤ是正ニ余ノピタゴールノ

フィロラユース曰ク天地庶物相同シキ有リ相同シカラサル有リ故ニ其循フ所ノ理モ亦相同シカラス然レ𪜈世界一種ノ大節奏ナル者有リテ此等衆多ノ理ヲ以テ庶物ヲ繩束シ其異同ヲ一混シテ以テ斯秩然タル世界ヲ構成ス

ト而シテ所謂節奏ハ數ヨリ出ル者ニシテ數ノ本ハ卽チ神ナリ

神ハ純一ナリ世界庶物ノ本體ナリ故ニ若シ神ノ像ヲ人目ニ著ハサント欲スルトキハ或ハ「ラン」一數ヲ以テ象トリ或ハ「デカード」十數ノ義ヲ以テシ或ハ「トリヤード」三數ノ義ヲ以テス此等ノ數ハ最完全ニシテ神ノ德ヲ象トルニ宜シケレハナリ又曰ク一數ハ萬物ノ本ナリ而シテ神ハ常ニ一ニ常ニ獨ニ常ニ同ク常ニ靜ニシテ能ク萬物ヲ使令スル者ナリ

神ハ有ノ本ナリ故ニ凡ソ有ル者ハ皆數中ニ在ラサルハ莫シ神ハ智慧ノ本ナリ故ニ凡ソ眞理ハ皆數中ニ在リ若シ數無キトキハ何ノ智識ヲ得ンヿト欲スルモ得可ラサルナリ

又曰ク凡ソ物ノ相反シテ相容レサル者皆神ニ賴リテ相調和スルヿヲ得卽チ善ト惡トノ如キモ神ノ中ニ有リテハ相混シテ一ヲ成ス故ニ其相反スル狀態ノ見ハルヽハ特ニ世界ノ表面ニ於テスルノミ然レ𪜈神ハ萬物ノ本質ナルヲ以テ之ヲ善ト謂フ可シ之ヲ惡ト謂フヿヲ得ス且ツ惡ハ虛體ニシテ

善ハ實體ナリ何トナレハ善ハ必ス爲ス所有リ惡ハ多クハ善無キノ謂ナレハナリ

第四　ピタゴール派ノ理學ハ其謬戻ノ處ヲ剛リテ之ヲ考フルニハ蓋シ世界庶物ノ最モ大ナル相表ノ一ヲ叙述シテ其致ヲ盡セル者ナリ而シテ所謂謬戻モ亦實ハ其說ノ本原中ニ存スルニ非サルヲ以テ未タ深ク咎ムルニ足ラサルナリ世界庶物ノ最モ大ナル相表ノ一トハ何ソヤ曰ク數是ナリ數無キ是物無キナリ故ニ曰ク是世界庶物ノ相表ノ最モ大ナル者ノ一ナリト夫レ度曲ナリ節奏ナリ皆數理ニ賴ラサル莫シ而シテ凡ソ苟モ我カ五官ニ感觸スル所ノ物ハ亦皆數理ニ賴ラザル莫シ著者自註ニ曰ク獨リ人心ノ自理ニ賴ル而シテ萬物ノ運動ヲシテ能ク度曲ニ循ハシムル者ハ數理ニシテ由ナル者ハ數量無キヲ以テ數無シ萬物ノ運動ヲシテ能ク節奏ニ合セシムル者ハ度曲ナリ然レハ則チ世界萬物ノ運動皆數理ニ循フト謂フモ洵ニ不可ナル無キナリ且ツヤ近時學術益〻進ムニ及ヒ益〻庶物ノ運動ニ於テ一定ノ度曲有ルヲ見ル

ピタゴール派ノ學士ノ言固ヨリ我レヲ欺カサルナリ蓋シ物ノ運動ナル者ハ皆一定ノ度曲有リテ或ハ進ミ或ハ退キ其一進一退ノ間常ニ節制ノ見ルヘキ者有ルハ猶ホ時儀ノ墜子ノ如ク猶ホ海洋ノ波瀾ノ如シ是洵ニ世界ノ一大節奏ト謂フモ何ノ不可ナル有ラン

但ピタゴール派ノ理學ニ於テ缺失ノ處一有リ曰ク數理ヲ當用スル處是ナリ蓋シ世界庶物其錯雜セルヿ此ノ如ク其レ甚シクシテ物ノ現象ハ數理ノ最モ錯雜セル者ノ發スル所ナリ然ルヲ或ハ一數ヲ以テ之ヲ著ハシ或ハ三數ヲ以テシ或ハ十數ヲ以テス而シテ此等ノ數ハ皆數ノ最モ單純ニシテ見易キ者ナリ然リト雖モ此謬誤ハ畢竟數理ヲ當用スルノ間ニ存スル者ニシテ未タ深ク咎ムルニ足ラサルナリ

ピタゴール派ノ理學ノ眞ノ謬戻ト稱ス可キ者ハ蓋シ一有リ何ノ謂ソヤ曰ク凡ソ天下ノ物ヲ舉ケテ皆數理ヲ以テ之ヲ解セント欲スルヿ是ナリ夫レ

數ノ物タル如何ニ重要ナルモ我カ智慧ヲ以テ之ヲ了解シ我カ意欲ヲ以テ當用スルニ非サレハ初メヨリ効ヲ發スルヿ無シ是ニ知ル數ナル者モ亦我カ精神ノ力ヲ得テ始メテ世ニ存立スルヿヲ故ニピタゴール派ノ理學ノ謬戻ハ數ヲ先キニシテ精神ヲ後ニセシ事ニ在リ

ヘラケル曰クピタゴール派ノ理學ノ失其最大ナル者蓋シ一有リ物ノ運動人ノ性命及ヒ諸形質有ル者ニ係リ詳細ニ解釋ヲ附セスシテ輕々ニ看過セシヿ是ナリ夫レ天體ノ構造ナリ人性ノ德行ナリ庶物ノ布置ナリ其相同シカラサルヿ此ノ如シ然ルヲ彼輩一混ニ之ヲ視テ同一ノ數ヲ以テ之ヲ解シテ其質ノ何タルヿハ曾テ之ヲ言ハス此レ猶ホ本草ノ學ヲ治ムル者ニシテ一卉花ヲ看テ此花ヤ是五數ナリ故ニ五蘂有リト曰フカ如シ此豈ニ眞ノ本卉家ト稱ス可ケン哉之ヲ要スルニピタゴール派ノ理學ハ無形ノ數理ニ沈溺シテ庶物ノ實際ヲ度外ニ置ク者ナリ云々

夫レ人ノ意欲ナリ其心ノ自由ナリ及ヒ德行ノ善ナリ皆數ヲ以テ之ヲ計ル

可キ者ニ非ス蓋シ數理ハ道德ニ於テ固ヨリ益無シト爲サス然レ𪜈此ヲ以テ直チニ道德ト爲スヿハ謬戻タルヲ免レス是故ニピタゴール家ノ所謂神ハ未タ之ヲ道德ノ極致ト謂フ可ラスレイブニッツ嘗テ云ヘリ神ハ亦之ヲ無窮不滅ノ數學家ト謂フ可シ彼レ常ニ算計シ常ニ造作シテ永劫已ムヿ無シレイブニッツノ是言ノ如キハ神ヲ以テ靈妙ノ意欲有ル者ト爲セリ若シ夫レピタゴール家ノ神ハ未タ之ヲ常ニ算シ常ニ造リテ一箇ノ意欲有ル者ト謂フヿヲ得ス

ピタゴール家ノ所謂神ハ體質（ペルソーンス）有ルニ非ス又意欲有ルニ非スシテ特ニ一大純一ノ數ニシテ衆異物ヲ容受スル者タルニ過キスシテ畢竟之ヲ一種子ノ常ニ自然ニ芽ヲ發シ葉ヲ生スル者ト謂フ可シ卽チ世界庶物ハ此種子ヨリ發生シタル芽葉ニシテ其化成ノ力ノ如キハ固ヨリ數理ヲ以テ之ヲ推ス可キノミ之ヲ要スルニピタゴール派ノ所謂神ハ猶ホ希臘初年ノ神物一體ノ說ノ遺習ヲ擺脫スルヿ能ハス

然リト雖モピタゴール家ノ理學モ亦大ニ進闡セシ所ノ處有リ蓋シ彼ノイヨニー派ノ理學士ノ如キハ專ラ物ノ外貌ニ就テ講求セシメ以テ其所謂理學ハ殆ンド物理學（フィジツク）ト異ナラサルヲ致セリピタゴール派ニ至リテハ稍ク物ノ外貌ヲ去リテ其質ヲ尋求シテ即チ所謂數ナル者ヲ唱說スルニ至レリ蓋シ數學ハ物理學ニ比スルトキハ大ニ論理學ニ近似スル者ナリ故ニ數學ハ之チ數量ニ係ル論理學ト稱スル可シ何トナレハ論理學ハ外物ニ就テ我カ智慧ノ當用ヲシテ次序有ラシムル者ニシテ即チ數學モ亦此ト類スル所有レハナリ

此ニ由リテ之ヲ言ヘハピタゴール派ノ理學ハイヨニー派ノ理學ニ比スレハ大ニ外物ヲ去リテ我カ精神ニ近ツク者ト謂フ可シ但其精神ノ當用ヲ謂テ數ト爲サスシテ精神ヲ謂テ直チニ數ト爲ス是其謬戻ノ處ナリ而シテ此謬戻ハエレー派ノ理學與ルニ及ヒテ將ニ稍〻之ヲ補フ有ラントス

○第二　エレーノ虛靈派ノ理學　○クゼノファンヌ　○ゼノン　○パルメニード

第一　クゼノファンヌハエレー派ノ理學家ノ領袖ニシテパルメニードノ師ナリ紀元前五百五十年ヲ以テ小亞細亞國（イヨニー）ノコロフォン府ニ生レタリ其後故有リテ鄕ヲ去リシリーノ諸村ニ往來シテ定居有ルヿ無シ齡八十ニシテエレーニ至リテ家スフォセー人ノ屬地ナリクゼノファンヌ自ラ詩ヲ作リ以テ天地庶物ノ道理ヲ叙論シ之ヲ持シテ行〻歌謠シテ以テ其說ヲ播揚スルヿヲ求メリ

アリストットノ言ニ曰ククゼノファンヌ眼ヲ凝ラシテ天街ノ廣大ナルヲ望觀シテ始テ純一ノ理卽チ是レ神ナルノ理ヲ悟レリト

クゼノファンヌ實ニ神ヲ以テ純乎一ナル者ト爲セリ其意以爲ラク凡ソ群神ノ屬ハ皆眞ニ我カ所謂神ニ非ス斯世界ノ如キモ我カ所謂神ニ非スシテ畢竟力ヲ神ニ假リテ斯ニ以テ生存スル者ナリ故ニ其神ニ於ケル固ヨリ尊ヲ

比スルヿヲ得ス

世ノ所謂群神ハ眞ニ之レ有ルニ非スクゼノファヌ嘗テ諷刺ノ體ヲ用ヒテ詩ヲ作リ以テ多神ノ說ポリテイスムヲ駁セリ其詩今ニ傳フル者僅ニ數節ニ過キズ然レヒモ其詞句ノ勁健ニシテ意義雋永ナルヲ以テ昔人往々之ヲ猶太ノ豫言者ニ比セリ茲ニ之ヲ摘舉ス

吾レ彼ノ多神說ノ宗教ヲ察スルニ是レ群神能ク人類ヲ造リシニ非スシテ人類能ク群神ヲ造リタル者ノ如シ是ヲ以テ其所謂群神ハ皆狀貌聲音人類ト相同ク其情性モ亦相同シ是レ他無シ人類是數ノ者ヲ以テ之ヲ群神ニ與ヘタルナリ

假リニ牛若クハ獅ヲシテ能ク手有リテ描寫シ若クハ彫鐫スルヿ我儕人類ト異ナルヿ無ラシメハ其群神ノ像ヲ造リテ之ヲ拜スルヿ亦我儕人類ト異ナルヿ無ラン是ニ於テ牛ハ必ス其神ヲ以テ牛ノ形ト牛ノ性有ルト爲シ獅ハ必ス其神ヲ以テ獅ノ形ト獅ノ性有ルト爲サン

オメールエジヨードノ群神ノ事ヲ歌謠スルヤ獨リ神ニ蒙ムラスニ人ノ形ヲ以テスルノミナラス亦人類中有ル所ノ諸罪惡諸羞愧ノ行ヲ舉ケテ之ヲ神ニ託セリ是ニ於テ其所謂群神ハ種々ノ惡行有リ或ハ盜賊ノ行ヲ爲シ或ハ詐僞或ハ淫奔到ラサル所ナシ譯者曰フ是レ希臘神代記ノ群神ヲ指スナラン神豈此ノ如キノ行有ル可ケンヤ

神ハ純乎一ナル者ナリ凡ソ諸神若クハ人類一モ廣大ヲ此純一ノ神ニ比スル無シ神ノ體ヤ神ノ心ヤ少シモ人類ト相肖ルヿ無シ神ノ視ルヤ見サル所無ク其聽クヤ聞カサル所無シ其世界萬物ヲ驅使スルヤ一念ノ發ニ在リテ曾テ以テ勞ト爲スヿ無シ

神ハ常ニ靜ニ常ニ默シテ曾テ一所ヨリ轉シテ他所ニ往クヿヲ須フル無シ

クゼノファヌノ意以爲ラク神ハ完粹ニシテ無疵ナリ又有ノ極ニシテ實ノ至ナリ是ノ如キ者對敵有ルノ理無シト卽チ其言ニ曰ク神ハ必ス一ナリ設

シ數神有ラシムルカ若クハ此數神ノ中貴賤高下有ラシムルヰハ此等ノ群神ハ神ニ非サルナリ何トナレハ神ノ神タル所以ノ者ハ本ト尊クシテ上無キニ在レハナリ衆神貴賤高下相等キ乎亦神ノ神タル所以ヲ喪フ何トナレハ此神ト彼神ト美ニ於テ惡ニ於テ相等キヰハ其威力タル亦相等クシテ廣大無邊ノ德ハ復タ有ルヿ無ラン故ニ苟モ神有リト爲スヰハ必ス純一ナリト爲サヽルヲ得ス云々其詩句ニ又言フ有リ曰ク汝クゼノファンヌ汝ノ執ル所ノ說ハ誠ニ善シ此レ決シテ天ノ妖魔ノ自ラ以テ道ト爲シテ以テ汝人類ヲ迷ハス所ノ說ニ非ス亦汝人類ノ古來循フ所ノ腐套ノ說ニ非ス汝其レ之ヲ護持シテ失フヿ勿レ

クゼノファンヌ既ニ是ノ如クニシテ一神ノ說モノテイスムヲ唱ヘ更ニ其旨趣ヲ擴充シテ遂ニ神物同體ノ說ニ進入セリ曰ク神既ニ純一ナリ故ニ凡ソ萬物皆容受スル所ト爲ル神ノ大威德ト雖モ別ニ一物ヲ生スルヿ能ハス然ラスンハ既ニ神有リテ斯世界ニ充滿スルヲ以テ別ニ生スル所有ルヰハ當ニ之ヲ何ノ地ニ置ク可ケンヤト是ニ知ル世界庶物ハ皆所謂神ノ純一ノ德ノ發シテ外ニ表見スル所タルニ過キサルヿヲ是レ正ニ神物同體ノ旨趣ナリ

第二　エレー派ノ理學一タビクゼノファンヌノ唱道ヲ經テ其旨趣極テ截然タルヲ致セリパルメニードノ繼テ起ルニ及ヒ其旨趣更ニ益〻明白ナルヿヲ得タリ

後來プラトンノ其理學ヲ唱フルニ及ヒパルメニードノ說ニ得ル所ノ者頗多シ故ニプラトン常ニパルメニードヲ稱讃シテ口ニ容レサル者ノ如シ其言ニ曰クパルメニードノ理學ニ於ケル實ニ雄深ヲ極メタリ余假リニオメールノ語ヲ用ヒテ之ヲ評スルヰハ將ニ曰ハントス是人ヤ實ニ敬重ス可ク且實ニ畏憚ス可キヲヤ覺ユ云々又曰ク吾レパルメニードノ文ヲ誦スルニ其立意ノ深遠ナルヿ殆ント測定ス可ラス吾レ其言フ所ニ於テ恐クハ盡ク解スルヿ能ハス而ルテ況ンヤ能ク盡ク其深意ノ在ル所ヲ知得スト謂ハンヤ」

パルメニードハ紀元前五百年ヲ以テエレーニ生レタリパルメニード獨リ

理學ニ遙ナリシニ非ス亦政術ニ練達セリエレー人ノ託ヲ受ケテ爲メニ法
令ヲ制作シテ大ニ人心ニ適合セリ爾來エレー人毎歳首ニ於テ相共ニ誓フ
テ敢テ更革スル所無テンコトヲ約シテ以テ例ト爲スト云フ
パルメコード「エポペー」ヲ頌述スルノ詩ヲ謂フ豪傑若クハ賢哲ノ事蹟ノ詩ヲ作リ以テ世界萬物ノ
理ヲ論叙シテ其主意ノ深遠ナルト措辭ノ偉麗ナルト實ニ人ヲシテ嘆服ニ
堪ヘサラシム其大旨蓋シ曰ク大陽ノ女神暗黒ヲ厭ヒ光明ヲ愛シ其頭面ヲ
蔽フ所ノ巾ヲ脫シ詞人譯者曰ク卽チ作者パルメコードヲ導テ精靈ロアヨノ王國ヴレーテ
ルニ遊ヒ直チニ日輪ノ門闕ヲ叩キテ諸神秘ノ在ル所ニ詣レリ是ニ於テ天
命ヲ典トル所ノ正義ノ女神、詞人ノ此不常ノ寵靈ヲ得タルヲ祝シテ爲メニ
盡ク純然眞理ノ事件ト人類迷想ノ事件ヲ演述シテ悉ク之ヲ垂示セリ是レ
此詩ノ旨意ナリ故ニ此詩別チテ兩部トス爲ス其一部ハ專ラ物ノ實相ヲ論ス
ルニ在リテ其事タル吾人ノ眞智ニ關係有ル者ナリ他ノ一部ハ專ラ物ノ假
相ヲ論スルニ在リテ其事タル皆吾人ノ五官ニ關係有ル者ナリ是詩ヤ庶物

原理ノ學ニシテ亦物理ノ學ヲ兼ヌルト謂フ可シ其句中云フ有リ

鳴呼此レハ是レ「テミース」神義ノ女神ナリ汝當ニ凡ソ人ノ心ヲ服スルニ足ル
可キ眞理ノ肺腸ト眞ノ心服ヲ催起スルニ足ラサル所ノ人類ノ迷妄トヲ
舉ケテ悉ク之ヲ識得ス可シ云々

パルメコードモ亦其師クゼノファンヌノ意ヲ祖述シテ庶物ヲ以テ皆一神ノ
影象ト爲シ是ニ於テ純然ノ有ヲ唱說シテ諸ノ變化生滅ノ屬ハ一切掃蕩シテ
之ヲ納レス蓋シ物無ケレハ則チ已ム苟モ有レハ斯ニ常ニ有リテ生滅スル
コト無シ故ニ其詩中云フ有リ

夫レ物果シテ以テ有ト爲ス乎以テ非有ト爲ス乎若シ有ニ非サレハ則チ
無ナリ凡ソ有限ノ生ト有限ノ滅トハ既ニ有ニ非ス又無ニ非スシテ半有
半非有ナリ是理有ルコト無シ

是故ニ余ノ旨趣トスル所ハ唯二言ノ中ニ存ス曰ク有乎曰ク非有乎然ル
ニ非有ナル者ハ物、是理有ルコト無シ是レ直チニ意義無キノ口語ノミ然レ

ハ則チ吾儕唯一ヲ執ランノミ曰ク有ノ說ヲ取リテ非有ノ說ヲ棄ルナリ」
夫レ既ニ世界ヲ以テ有ト爲スヤハ諸種ノ徵證相競フテ生レテ余ヲシテ
洞然トシテ悟リテ曰ハシム有ナル者ハ本ト固ヨリ有リ既ニ生無ク又滅
無シ是レ世界唯一箇ノ物ニシテ對有ルヿ無シト
夫レ是有ヤ既ニ寂然不動ニシテ又廣大無邊限極有ルヿ無シ是物ヤ過去
有ルヿ無ク未來有ルヿ無ク常ニ現在ニシテ斷續スルヿ無シ
嗚呼汝是有ニ於テ何ノ本原ヲ尋求セント欲スル乎既ニ過去無ク未來無
ク常ニ現在スル所ノ者ニ於テ別ニ本始ヲ求ムルヿ是レ口ニ言フヿヲ得
可ラス亦心ニ想フヿヲ得可ラス
迷者或ハ曰フ是有ヤ無ヨリシテ生スト嗟呼非有ノ言タル亦口、言フ可ラ
ス心、解ス可ラス何ノ有カ是レ生セン
又曰フ已ムヲ得可ラサルノ天命乃チ是有ヲ生セント嗟呼所謂天命ハ是
有ヨリシテ生スル所ナリ然ルヲ未タ是有ラサルノ前ニ於テ所謂天命ヲ

ル者有リテ是有ヲ引テ無中ヨリ生セシト曰フカ如キハ豈是理有ラン哉」
余故ニ曰ク有ニ非サレハ則チ非有ナリ有ヨリシテ無ニ復ヘリ無ヨリシ
テ有ニ往クカ如キハ是レ決シテ無キノ事ナリ故ニ理ニ由リテ考フルヲ
ハ唯一ノ言ヲ可キ有リ曰ク有ノ中ヨリ出ル者ハ有ノ外別ニ物有ルヿ無
シト
夫レ然リ故ニ夫ノ司命譯者按スルコパルメコード意既ニ神ヲ以テ純一
實然ラサルヲ得サルノ道理ヲ指シテ言ヘルノ神堅ク其轡ヲ攬リテ動カ
ス夫ノ有ヲシテ既ニ生スルヿ無ク亦滅スルヿ無クシテ不斷ニ現在セシ
ムルハ此レカ爲メナリ
夫レ是有ヤ粹然至純ニシテ小疵有ルヿ無シ此レ猶ホ圓形ノ混然トシテ
一處ノ凸無ク亦一處ノ凹無キカ如シ蓋シ至レリ盡セリ而シテ是有ノ圓
形タルヤ其中央ヨリ周邊ニ至ルマテ到ル處相同シカラサル莫シ何ソヤ
是至粹ノ有ニ在リテハ其一部ノ力他ノ一部ノ力ヨリ強キヿ有ルノ理無

ケレハナリ

是有ヤ既ニ始無シ亦終無シ又廣大無邊ニシテ限極有ルヿ無シ何ソヤ彼レ本ト一物ノ足ラサルヿ有ルヿ無ケレハナリ設シ一物ノ足ラサルヿ有ルトキハ是レ即チ完粹ノ有ニ非サルナリ云々

世界ノ本質チ以テ一圓相ニ比セシヿハ古昔理學士殆ント皆然ラサル莫シ

後世パスカルノ名言ハ正ニ是ニ胚胎セリパスカルノ言ニ曰ク世界ナル者ハ廣大無邊ノ一圓形ナリ而シテ此圓形ヤ到ル處中央ナラサル莫クシテ一處ノ線邊有ルヿ無シト是ニ由リテ之チ觀レハパスカルノ此世界ノ說チ以テ繆巧ノ一新說ト爲スヿチ得ス世界チ以テ寂然不動ニシテ且廣大無邊永劫不滅ト爲スカ如キハ古昔ヨリシテ既ニ爾リ

後人往々又パルメニードチ譏リテ以爲ラクパルメニードノ所謂純一トハ一種獨立獨存ノ物ニシテ宵ニ無形ノ智慧ニ勝サルノミナラス所謂有ノ者ニ勝サル者ナリト是レ大ニ然ラス前ニ擧クル所ノ詩句ニ由リテ考フルニ

パルメニードハ決シテピタゴールノ如ク數ノ純一チ以テ根據ト爲シテ以テ神チ挍出シタルニ非ス正ニ神卽チ有チ以テ根據ト爲シテ斯ニ以テ純一ノ旨義ニ及ヘリ故ニ其言ニ曰ク有乎非有乎若シ有ナルトキハ必ス純一ナラサルヿチ得スト因リテ世界チ以テ有ト爲シテ斯ニ乃チ純一ノ說チ爲セリ後人ノ之チ譏ルハ未タ其竅竇ニ中ラサルナリ

パルメニードノ言ニ曰ク有ハ有リ非有ハ有ラス有ハ理ニ合セリ非有ハ否ラス汝當ニ此意チ護持シテ失フヿ勿レト而シテパルメニードノ所謂有ト ハ世界萬物ノ實相ニシテ五官ノ得テ知ル所ニ非ス卽チ後來スピノザーノ神物同體ノ說ノ如キハ正ニ是意ナリ

パルメニードノ所謂有ハ決シテ空幻ノ物ニ非ス亦耳目覩聞スル所ノ有形ノ相ニ非ス是レ世界萬物ノ本質ニシテパルメニード蓋シ其慧眼チ以テ之チ摸索シ之チ把住シ假リニ身チ其中ニ置テ以テ說チ爲セリ故ニ人若シパルメニードニ問フテ先生ノ所謂有ハ卽チ神ノ外或ハ物ノ之レト交涉無キ者

有ル乎ト曰フ時ハパルメコードニ答ヘテ曰ハン非ナリ今現ニ有ル所ノ世界
庶物即チ神ナリ是一個ノ有既ニ充滿シテ一ノ空處有ルヿ無シ別ニ一物チ
容ルヽヿチ得ス
又パルメコードノ意ニ神チ以テ無形智慧ノ上ニ位セスト爲ス所以ノ者ハ
亦怪ムヿ無シ蓋シ無形ノ智慧ハ卽チ有ニシテ卽チ實相ナリ卽チ神ナリ
ト有ト智慧ト正ニ一物ナリ正ニ世界庶物ノ實相ナリ豈復タ同一物ニシテ
尊卑上下ノ別有ルノ理アランヤ
パルメコードノ詩句又云ヘル有リ
智ト物ト正ニ一ナリ何ソヤ有ナル者ハ實ニ之レ有リ非有ナル者ハ實ニ
之レ有ルヿ非ス故ニ苟モ實ニ有ル者ハ此レ有ナリ此レ物ナリ此レ智ナ
リ物ニ有ルノ理無シ
智ト知ル所ノ物ト同一有ニシテ別有ルヿ無シ何トナレハ若シ智ノ知ル
所ノ物實ニ之レ無キトキハ夫ノ智ヤ何ニ由リテ之チ知ルヿチ得ン苟モ實

ニ之レ有ルトキハ是レ智ト同一ナラサルヿチ得ス
若シ知ル所ノ智ト知ラルヽ所ノ物ト是レ二個ナリト曰フトキハ是レ所謂ニ
理對立ノ說(ギュアリチスム)チ成ス二理對立ノ說ハパルメコードノ尤モ取ラサル所
ニシテ其旨趣ハ力チ極メテ智ト物トチ合シテ一ト爲スニ在リ
然リト雖モ若シ彼ノ有ナル者チ以テ眞ニ純一ニシテ對無シト爲ストキハ世
界庶物ノ各〻相異ニシテ此ノ如ク擾々タルハ是レ何ノ故ソ乎パルメコード
ハ答ヘテ曰フ世界庶物ノ此ノ如ク擾々タルハ此レ耳目ノ覩聞スル所ノ空
幻タルヿ過キス凡ソ差別ノ見ハ皆假相(アパランス)ニシテ實相(シュブスタンス)ニ非ス故
ニパルメコードハ吾人ノ五官ノ妄念チ以テ夜ニ比シ慧眼ノ眞識チ以テ晝
ニ比シテ以爲ラク暗ハ人チシテ迷ハシメ明ハ人チシテ悟ラシムト
以上論スル所ハパルメコードノ詩ノ上節ノ旨趣ナリ若夫レ其下節ハ其旨
趣復タ庶物原理ノ學チ唱フルニ在ラスシテ單ニ物理ノ學チ倡フルニ在リ
卽チ下節ニ於テハパルメコード世人ノ耳目ノ覩聞ニ迷溺シ物ノ假相チ嗜

好スルノ甚シクシテ終ニ喩スニ最上乘ノ理ヲ以テス可ラサルヲ見テ已ム
ヿヲ得ス俯シテ之ニ就テ姑ク方便ノ說ヲ爲スノミ後來アリストットハパル
メニードノ此方便ノ說ヲ譏リテ直チニ此ヲ以テ前後矛盾ノ說ト爲セリ其
言ニ曰クパルメニードノ神物同體ノ旨意ハ此ニ至リテ窮蹙シ終ニ二理對
立ノ旨趣ニ入リ來リシヲ免レス又曰クパルメニード初ハ徒ニ其所謂眞智
ノ力ニ賴リテ純一ノ理ヲ倡道セシニ後ニハ世上ノ實迹ト相背クヿ能ハス
終ニ五官ノ覩聞味觸ノ力ニ率カレテ物ノ理ヲ以テ複重ト爲スニ至レリ卽
チ以爲ラク世界庶物ハ二ノ原質ノ中ニ存セリ溫ト寒トナリ故ニ有ハ溫質
ノ中ニ存シテ無ハ寒質ノ中ニ存ス云々ト云ヘリ
パルメニードノ理學ハ其旨歸ヲ要スルニ終ニ吾人眞智ノ識得スル所ノ萬
物ノ本原ヲ論スルニ於テ未タ眞ニ定得シタル所有ラス是ニ於テ動モスレ
ハ無用ノ語ヲ用ヒテ以テ漠然之ヲ論道セリ無用ノ語トハ何ソヤ曰ク有ハ
眞ニ有リ曰ク有ハ一ノ一ナリ云々此等ノ語ハ必スシモ大意義有ルニ非ス

之ヲ要スルニエラクリットハ有ヲ棄テ、動ヲ取レリパルメニードハ正ニ之
レト反シ有ヲ取リテ動ヲ棄テリ故ニ世界庶物ノ本相ハエラクリットノ意ニ
以爲ラク是レ常ニ變化スル大火海ナリトパルメニードハ以爲ラク是レ絕
エテ變セサル大氷洋ナリト

第三　ゼノンハエレーニ生レパルメニードニ師事シテ其說ヲ受ケリゼノ
ン人ト爲リ剛毅ニシテ尤モ其鄕國ヲ愛慕シ其暴君ヲ誅戮シテ以テ鄕國ノ
難ヲ救ハントス欲シテ密ニ同志ノ士ト謀リ事發覺シテ誅死セリヂオジェーン
メノ傳フル所ニ據ルニゼノンハ既ニ縛ニ就キ極テ慘酷ノ刑ニ遇ヒシモ泰然
トシテ動カズ以テ死ニ至レリ吏ノゼノンヲ鞫訊シテ其黨與ヲ竟ハメント
欲スルニ及ビゼノン反リテ先ツ暴君ノ黨人ノ名ヲ擧ケ之レニ答ヘ次キニ
直チニ暴君ノ名ヲ擧ゲテ之レニ答ヘテ終ニ其同謀ノ士ヲ告ケサリシト云
フゼノンノ獄ニ坐スルヤ暴君命シテ手足ヲ縛シテ動クヿヲ得サラシムゼ
ノン口ヲ極テ暴君ノ群臣ヲ罵リテ其身ヲ屈シテ之ニ事フルヿヲ詬罵シテ

遂ニ殺サレタリ

ゼノンノ理學ニ於ケル別ニ機軸ヲ出セシニ非スシテパルメニードノ唱ヘシ所ノ諸旨義ヲ推演シテ之ヲ擴張セシニ過キス蓋シ是時ニ於テイヨニー派ノ理學家往々變轉運動ノ說ヲ唱ヘテ以テパルメニードノ說ヲ駁セリゼノンノ乃チ書ヲ著ハシアテーンヌノ都ニ於テ之ヲ講シ以テパルメニードノ論ヲ主張スプラトン著ハス所ノ「パルメニード」ト題スル書中ニゼノンノ言ヲ載スルヲ見ルニ曰ク余卽チゼノン自ラ言フノ是書ハ專ラ彼ノ世界庶物ノ本質ヲ以テ衆多ナリト爲スノ說ヲ駁スルカ爲メニ作レリ卽チ余ノ論柄ト爲ス所ハ正ニ彼輩ノ執ル所ノ論柄ニシテ予ハ正ニ敵ノ武器ヲ以テ敵ヲ擊タント欲スルニ之ヲ要スルニ余ノ所見ヲ以テスレハ世界庶物ノ本質ヲ以テ衆多ナリトスルハ理ニ合セサル處多クシテ終ニ執持ス可カラサルヲ覺ユ何ソヤ設令庶物ノ本質ヲシテ衆多ナラシムルハ必ス此等ノ本質ヲ以テ互ニ相異ニシテ又相同シト爲サヽルヲ得ス夫レ

物相異ニシテ又相同キヿ豈此レ理ナラン哉云々

ゼノンノ說ニ於テ最モ著稱セラルヽ者ハ其物ノ運動ト物ノ形容トヲ論シテ其實ニ之レ有ルニ非サルヿヲ論スルニ在リ其說極テ糾纏ニシテ其中極テ深邃ナル處有リ

夫レ物ノ長短大小等諸〻形容ノ相異ナルヿハ衆人ノ堅ク信シテ以テ眞ニ之レ有リト爲ス所ナリ是ニ於テゼノン分析ノ法ヲ用ヒ一々之ヲ說破シテ其空幻ニシテ實相ニ非サルヿヲ示シ凡ソ宇宙及ヒ宇宙間ニ散布スル所ノ庶物ノ運動及ヒ永劫ト永劫ノ間ヲ經過スル所ノ庶物ノ變化ヲ以テ皆前後矛盾ノ事ニシテ理ニ於テ之レ有ル容ラストス爲セリ

其說ニ曰ク若シ宇宙間有ル所ノ物ヲ把リテ之ヲ分析シテ無窮ニ至ルヽハ其分子ハ果シテ竟ニ少モ長、廣、厚ノ性無クシテ乃チ非有ト爲ルト爲ス乎顧フニ非有ニシテ卽チ長、廣、厚ノ性無キ者ヲ集メテ以テ一物ノ現ニ此性有ル者ヲ作ルカ如キハ是レ決シテ無キノ理ナリ若シ又之ヲ分析シテ若干數ト爲

スヘキハ復タ分析ス可ラス而シテ其分子ハ固ヨリ長、廣、厚ノ性ヲ有スト曰ハン乎果シテ長、厚、廣ノ性有ルヘキハ其分子タルヤ當ニ猶ホ之ヲ分析スルヲヲ得可キノミ復タ分析ス可ラストヲ得ス是ノ如クナルヘキハ前ノ如ク分析ノ極遂ニ無ニ至ルト曰フヲヲ得ス然レハ無ト無ト相聚リテ以テ有ヲ成スヲハ之ヲ要スルニ理ニ合セス余故ニ曰ク宇宙ノ旨義ニ係ル所ノ庶物ノ異同ハ假相ニシテ實相ニ非ス物ノ本質ハ虛靈純一ニシテ分析ス可ラス其庶物ノ衆多ナルカ如キハ特ニ影象ニ過キサルノミ

又曰ク永劫ノ旨義モ亦然リ是レ無數ノ瞬時ヲ聯續シテ成ル所ナリ然ルニ所謂瞬時ハ之ヲ分析スルヘキハ亦無窮ニ至リテ終ニ絶エテ時間ナル者無キニ至ラン顧フニ時間無キ時間ヲ聯續シテ以テ永劫ト稱スル所ノ大時間ヲ成スカ如キハ是レ猶ホ長、廣、厚ノ性ヲ有セル非有ヲ聚メテ一有ヲ爲スノ說ノ如シ是理有ルヲ無シ

又物ノ變化モ亦決シテ之レ有ルノ理無シ蓋シ變化ナル者ハ必ス若干ノ時

間ヲ要スル者ナリ然ルニ物實ニ變スト爲スヘキハ其物タルヤ復タ瞬時間過去ノ物ニ非ス亦瞬時間未來ノ物ニ非スシテ必ス現在ノ物ナリ然ルニ時間ナル者若シ常ニ經過シテ少シモ留マラスト爲スヘキハ所謂現在ナル者ハ之レ有ルヲ無シ夫レ現在無キヘキハ是レ過去無キナリ亦未來無キナリ過去無ク現在無ク未來無キヘキハ是レ變化無キナリ余故ニ曰ク物、變化有ルヲ無シト」

ゼノン又以爲ラク宇宙間ニ於ケル庶物ノ運動モ亦實ニ之レ有ルニ非スト蓋シゼノンモ亦運動ヲ以テ全ク之レ無シト爲スニ非スシテ但此レヲ以テ空幻ノ假相ト爲スノミヂオジエーンヌ嘗テ自ラ一步シテ以テ運動ナル者ノ異ニ之レ有ルヲヲ證シテ以テゼノンノ說ヲ駁セリ然レハ此ノ如キ者ハゼノンノ意ニ非スゼノンノ意蓋シ云フノミ變化ナリ運動ナリ吾人ノ耳目ニ於テハ固ヨリ之レ有リ但此レ空幻ニシテ眞相ニ非スト

變化ノ空幻ナルヲハゼノン既ニ之ヲ論セリ若シ夫レ運動ノ空幻ナルヲヲ論スルニ至リテハゼノン蓋シ三個ノ證徵有リテ以爲ラク以テエラクリット

ノ說ヲ駁スルニ足ルト

第一ノ證徴ハ曰ク物此處ヨリ彼ノ處ニ行カント欲スルトキハ若干ノ時卽チ永劫ノ部分ト若干ノ廣卽チ宇宙ノ部分トヲ經過セサル可ラス然ルニ此若干ノ時ト此若干ノ廣トヲ經過スルノ前先ツ其時其廣ノ半ヲ經過セサル可ラス而シテ此半ヲ經過スルノ前又此半ノ半ヲ經過セサル可ラス此ノ如クニシテ窮極有ルヿ無シ是ノ如キハ是レ若干廣ノ一定セル者ヲ經過スルノ前無數無窮ノ地位ノ定リ無キ者ヲ經過セサル可ラス夫レ定リ無キ地位ヲ經過シテ以テ定リ有ル地位ニ到ルヿ是レ豈理ナラン哉是ニ由リテ之ヲ觀レハ物ノ一處ヨリ他處ニ運行スルヤ其距離如何ニ短キモ其間ニ含ム所ノ小距離ハ無窮ニシテ底止スル所無シ故ニ曰ク物ノ運動ハ決シテ眞ニ之レ有ルニ非ス

第二ノ證徴ハ世人之ヲ號シテアシール（希臘ノ豪傑ニシテ善ク走リシ人ナリ）ノ證ト稱ス其言ニ曰クアシールノ步極テ疾キモ眞理ニ據リテ言フトキハ終ニ動物中最モ遲鈍ナル所ノ鼈ニ及フヿ無シ何トナレハアシールノ疾步ナルモ鼈ノ處ニ到ラント欲スルトキハ必ス定リタル一距離ヲ踰エサル可ラス然ルニアシールノ此距離ノ中若干ヲ踰ユルノ間鼈モ亦若干ノ距離ニ進ムヿヲ得是ノ如クナルトキハ其間窮極有ルヿ無シ蓋シ一步毎ニ鼈ノ踰ユル所ノ距離ハ漸々短縮スルニ論無シト雖モ苟モ距離ナル者有リトスルトキハ其距離タルヤ如何ニ短縮スルモ終ニ盡ルヿ無シ若シ距離ナル者有ルト無シトスルトキハ是レアシールト鼈ト皆步スルヿ無キナリ故ニ曰ク運動ナル者ハ眞ニ之レ有ルニ非ス

第三ノ證徴ニ曰ク箭ノ飛行スル者モ實ハ少モ動クヿナシ蓋シ箭ノ動クヤ其居ル處ニ於テ動クニ非ス何トナレハ既ニ居ル處ニ於テ動クヿ無ケレハナリ然レモ其將ニ到ラント欲スル處ニ於テ動クニ非ス何トナレハ未タ到ラサル處ニ於テ動クノ理無ケレハナリ然レハ則チ何ノ處ニ於テ動ク乎曰ク動ク可キノ處有ルヿ無シ何トナレハ甲ノ處ニ居ルノ時ハ甲ノ處ニ止マリ

乙ノ處ニ居ルノ時ハ乙ノ處ニ止マルト是ニ知ル箭ノ動テ一處ヨリ他處ニ到ルハ實ハ無數小止ノ繼續タルニ過キスシテ終ニ動クニ非サルヲ故ニ曰ク運動ナル者ハ畢竟吾人ノ妄想ナリト

余ヲ以テ之ヲ考フルニゼノンノ說如何ニ奇怪ナルカ如キモ苟モ運動ノ理ヲ解キ得テ絲毫ノ遺憾無キニ至ラサルヨリハゼノンノ說ハ終ニ論破スルヲ得可ラス何トナレハ彼レ本ト物ノ分析ノ無窮ナルノ理ヲ以テ根據ト爲シテ而シテ此理ハ終ニ窮詰ス可ラサレハナリ

ゼノンノ議論タルヤ有形ノ物ニ局促シテ以テ極致ト爲セシ者ノ說ヲ摧破シテ餘力ヲ遺サス蓋シ此輩ノ意以爲ラク物ノ變化運動スルヲ是レ物ノ本原ナリト而シテゼノンハ云フ變化ハ必ス若干時間ヲ經テ後發ス運動ハ必ス若干距離ヲ涉リテ後生ス然ルニ時間ナリ距離ナリ皆理會ス可ラスシテ畢竟吾人五官ノ認識スル所ノ假相タルニ過キス故ニ所謂變化ト運動トハ未タ以テ物ノ本原ト爲ス可ラス蓋シ物ノ眞ノ本原ハ必ス夫ノ宇宙永劫ノ

二旨義ヲ外ニシテ別ニ吾人ノ眞智ヲ用ヒテ深ク事理ヲ推究シテ後得可シ之ヲ要スルニ眞理ニ據リテ言フトキハ變化運動ハ本ト之レ有ルニ非ス

○第三　アンペドクル

アンペドクルノ理學ハピタゴール派ノ諸說及ヒイヨニー、エレー二派ノ諸說ニ採摭スル所有リテ而シテ別ニ一機軸ヲ出セリ但其論スル所極テ直截明白ニシテ復タ從前諸家ノ高遠深微ニ驚セシカ如クナラス相傳フアンペドクル人ト爲リ極テ慷慨ニシテ尤モ人ヲ愛シ且甚タ學術ヲ嗜ミシト云フ

アンペドクルハ紀元前四百四十四年ヲ以テアグリジャントニ生レタリヒタゴール派ノ諸說及ヒエレー、イヨニー二派ノ諸說ニ於テ皆業ヲ受クルニヨリテ得タリアンペドクル醫ヲ善クシ兼テ宗教ノ學ニ通シ能ク詩ヲ作レリアルジャントノ民アンペドクルヲ請フテ王ト爲サントス欲ス辭シテ肯ヘテ當ラス後退イテペロポネーズニ隱ル或ハ傳フアンペドクルノペロポネーズニ往キシハ退隱ニ非スシテ竄謫ナリト未タ孰レカ是ナルヲ知ラス其終焉ニ係

リテモ亦往々異說有リテ分明ナラス或ハ云フ火山ノ噴裂スルニ遇フテ壓死セシト或ハ云フ自ラ深谷ニ投シテ死セシト之ヲ要スルニ希臘ノ地未タ嘗テアンペドクルノ墳墓有ルヲ聞カスアンペドクル著ハス所ノ書今獨リ其天地庶物ノ事ヲ頌詠セル一詩編有ルノミ羅馬ノ詞人リュクレースス之ヲ激賞セリ

アンペドクル其詩中ニ於テ云ヘル有リ曰ク世界庶物ノ中蓋シ二個ノ本原有リテ或ハ重複ヨリ純一ニ昇ラシメ或ハ純一ヨリ重複ニ降ラシム二個ノ本原トハ何ソヤ曰ク愛ナリ憎ナリ愛能ク物ヲシテ相共ニ牽引セシム憎能ク物ヲシテ相排斥セシム是レナリ

世界庶物ノ未タ分析ニ就カサリシニ方リテハ一愛ノ理ノ中ニ受容セラレテ混沌トシテ區別有ルコト無シ諸種ノ體質皆相抱合シ衆異物皆相調和セリ是時ニ在リテヤ世界唯純一ノ圓形有ルノミ廣大ニシテ外無ク寂靜ニシテ動カス故ニ之ヲ名ケテ一大圓神ト曰フ而シテ此神ヤ正ニ彼ノ愛ト同一體ヲ成ス者ナリ蓋シ愛ナル者ハ慶福ノ本ニシテ純潔ノ原ナリ既ニシテ時運避ク可ラサルノ命ニ由リ憎ノ本質遂ニ其威ヲ行フニ至レリ是ニ於テ此憎ノ本質徐々ニ夫ノ一大圓神ノ中ニ浸入シテ到ラサル所無ク逐次ニ神ノ支節ヲ剖判シ萬物ノ中ニ於テ殊異ヲ生シ重複ヲ生シテ復タ太初ノ混然圓生セシカ如クナルコトヲ得サラシム是ヲ名ケテ排斥ノ時代ト謂フ故ニアンペドクルノ言ニ曰ク若シ憎ノ理ヲシテ庶物ノ中ニ入ラサラシメハ世界唯一物ニシテ今ノ複雜ナルカ如クナラスト

アンペドクル又曰ク庶物皆憎ノ一理ヨリシテ分析シ來レリ獨神ノミ此理ニ頼ルコト無シ神ハ正ニ愛ノ理ナレハナリト又曰ク愛トハ物ヲ合スル所ノ者ニシテ卽チ仁ナリ又曰ク愛ハ能ク人ヲシテ心服セシム又曰ク命運ナル者ハ天下ノ最モ慘刻ナル者ナリ故ニ愛ノ最モ惡ム所ハ命運ニ踰ユル莫シトアンペドクル愛ノ理ヲ稱讃シテ命運ヲ嫉惡ス是レ其智見早ク已ニ愛ノ理

ノ本原ニ透徹セシヿ疑無シ何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク愛ノ貴フ可キハ自由ノ理ノ然ラシムル所ナリ而シテ自由ノ理ハ正ニ彼ノ避ク可ラサル命運ト仇敵ヲ爲ス者ナリ余故ニ曰クアンペドクルノ此命運ヲ惡ムヿ此ノ如クナルヿハ其自由ノ理ヲ好ムヿ問ハスシテ知ル可シ余故ニ又曰クアンペドクル早ク已ニ愛ノ理ノ本原ニ透徹スルヿヲ得タリト

アンペドクルモ亦アナキサゴールト同ク世界萬物ヲ以テ一種虛靈ニシテ能ク思念スル所ノ神ノ統御スル所ト爲ス但此神ノ之ヲ統御スルヤ外ヨリスルニ非スシテ直チニ萬物ノ中ニ在リテ到ル處彼ノ愛ノ理ヲ發シテ以テ之ヲ滋長スト卽チ其詩句ニ云フ有リ

嗚呼盛ナル哉愛ヤ吾人ノ目得テ之ヲ視ル可ラス吾人ノ手得テ之ニ觸ル可ラス人心ヲ感動シテ之ヲ服スルヿ愛ヨリ至レルハ莫シ

愛ノ支體タル完粹精美ニシテ物與ニ比スル莫シ吾人ノ頭面未タ以テ之ヲ並フルニ足ラス蓋シ愛ノ物タル吾人ノ手有ルカ如クナラス脚有ルカ

如クナラス趾有ルカ如クナラス此レ蓋シ虛靈純一ノ神ニシテ口舌ノ能ク摸寫スル所ニ非ス其智慧極テ迅速ニシテ能ク全世界ヲ飛過シテ遺ス所無シ其存スルヤ永劫不滅ニシテ終極有ルヿ無シ云々

アンペドクル以爲ラク吾人ノ身ニ就テ言フトキハ互智能ク此愛ノ理ト適合スル故ニ能ク異物ヲ合シテ之ヲ一ニスルヿヲ得吾人ノ五官能ク憎ノ理ト適合スル故ニ能ク同キ物ヲシテ異ナラシムルヿヲ得ト

又以爲ラク吾人ノ智識ハ終ニ完粹無疵ナルヿ能ハス其中自ラ五官ノ感觸スル所ノ者ノ雜ハル有ルヲ以テナリ又以爲ラク吾人ノ智終ニ愛ノ全體ヲ知ルヿヲ得可ラス然ルニ眞理ノ完粹ナル者ハ愛ノ全體ヲ知ルニ非サレハ得可ラスト又曰ク物ノ眞ノ純一ノ性ハ吾人ノ能ク之ヲ視ル所ニ非ス是レ獨リ神ノ自ラ視ル所ナリ又曰ク古今一人モ未タ能ク世界庶物ノ中ニ於テ此愛ノ理ヲ見得テ分明ナル者有ラス

アンペドクルノ言ニ從ヘハ世運ノ進歩ハ太初純然ノ一愛ノ理ニ復歸スル

ニ在リ蓋シ人智益〻闡ケ踐行益〻正キニ赴ク是レ正ニ愛ノ一理ニ復歸スルノ漸ナリアンペドクル以爲ラク世界庶物彼ノ太初一愛ノ理ニ復歸スルノ前ニ在リテハ其勢常ニ變化セサルヿ能ハス此狀態ヲ去リテ彼狀態ヲ取リ此生計ヲ出テ、彼生計ニ入リ瞬時モ定マルヿ無シ願フニ此ノ如クニシテ變化轉倒セサルヿヲ得サルハ誠ニ悼ム可キニ非ス乎然レハ庶物ノ本ト分析セラレクルハ彼憎疾分離ノ理ノ然ラシムルヲ以テ太初ノ混同ニ歸ヘラント欲スルニハ一タヒ變化ノ境ヲ經ルニ非サレハ能ハサルナリ故ニ其詩句又云ヘリ

生スル者ハ滅スル者ニ由リテ繼ニ生スルヿヲ得蓋シ生滅トハ衆異質ノ變化スルニ過キス嗚呼人類汝ノ生タル天下之ヨリ悲慘ナルハ莫シ剋爭ノ暴虐ナル哀泣ノ苦痛ナル是レ正ニ汝人類ノ由リテ生セシ所ナリ汝人類遽カニ斯世界ノ苦患ヲ脫セント欲スルモ得可ラス嗚呼斯世界ハ汝人類ノ生ニ適スル地ニ非ス我レ汝人類ノ生ヲ視テ泣下リシヿ幾度ナルヿヲ知ラス云々

アンペドクルノ意ニ吾人若シ此竄謫ノ苦ヲ去リテ安心ノ地ニ入ラントト欲スルニハ其道唯一有ルノミ曰ク心ヲ澄シ性ヲ養ヒ務テ疾惡ノ念ヲ懲窒シテ彼ノ活潑トシテ生氣アル愛情ニ專ラナルヿヲ是レナリ故ニ以爲ラク人タル者決シテ生物ノ血ヲ濺ク可ラス凡ソ生物ハ本ト皆彼ノ愛ノ受容セシ所ナルヲ以テナリ故ニ人タル者決シテ禽獸ヲ宰殺シテ食ト爲スヿヲ得ス又曰ク凡ソ生物ハ皆吾人ノ今庶物ヲ視テ我カ姻親兄弟ト爲スヿ能ハサル所以ノ者ハ他無シ吾人既ニ彼ノ分離乖隔ノ理ノ戕賊スル所ト爲リシヲ以テ其智見復タ靈慧ナラサレハナリ又曰ク吾人唯務テ德ヲ養フヿハ以テ神ノ一愛ノ理中ニ歸入スルヿヲ得可シ蓋シ世界進歩ノ極運ニ到ルヿハ庶物皆太初混然ノ中ニ歸ヘリテ遺ル所無キニ至ラン

以上敘スル所ノアンペドクルノ說ハ大ニモイーズ、ゾロアストル、釋迦佛等

ノ講述セシ所ト相類スル有リ而シテ近代ノ物理學及ヒ庶物原理ノ學ニ於テモ亦頗ル之ヲ祖述スル有リ即チ物理家云フ所ノ物ノ引力ト排力トノ如キ今日ニ在リテハ實地ノ試驗ニ徵シ之ヲ稱シテ求心力遠心力ト曰フモ實ハ同一理ナリ又近代ノ庶物原理ノ學往々神ヲ以テ愛ノ極致ト爲シ又世界庶物ヲ以テ愛憎及ヒ自由不自由及ヒ公平私慾戰爭平和ノ混雜シテ成ル所ト爲スカ如キハ正ニアンペドクルノ意ヲ祖述セシナリ

アンペドクルノ說ハ理學ヲシテ大ニ新途ニ進ムコヲ得セシメタリ蓋シ其功タル人ヲシテ空華ノ力及ヒ智慧ノ上ニ於テ活潑生氣有ル一情卽チ愛ヲ置クノ一事ニ在リ愛ノ力ノ一タヒ發スルヤ彼ノ避ク可ラサルノ命運復タ大ニ其力ヲ逞クスルコヲ得ス

○第三章　詭邪ノ說ソフィスム　○プロダゴラース　○ゴルジヤース

○緒論

第五世紀ノ末ニ方リ詭邪ノ說ト稱スル一派ノ理學ヲ倡フル者相競フテ起リ其衆極テ夥シ皆物理ノ學ヲ修メ且雄辯ヲ奮フテ理非ヲ混合スルヲ以テ旨趣ト爲セリ當時此輩必スシモ別ニ一黨ヲ爲スニ非ス但其據ル所ノ旨及ヒ其立論ノ法略ホ相同シキノミ是ヨリ先キ理學家諸種ノ說ヲ爲ス者互ニ長ヲ競ヒ短ヲ譏リ爭論シテ一ニ統フルヿ無クシテアテーン尤モ甚シト爲スハ是ニ於テ詭邪ノ說ヲ爲ス者相繼イテ興リ其說ニ以爲ラク天下所謂眞ノ道理ト稱ス可キ者有ルヿ無クシテ如何ナル旨趣ト雖モ論者巧ニ之ヲ主張スルヿハ皆以テ幾分ノ道理ヲ博スルニ足ルト是ヲ以テ此輩皆辨博ヲ以テ勝ヲ取ラントスルノ人ニシテイヨニー派ノ理學ノ專ラ有リ

第一　プロタゴラースハアブデールノ人ニシテ

五官ノ感觸ヲ主トスル說ヲ推演シテ盡ク之レカ効果ヲ收メント欲ス乃チ曰ク人ハ萬物ヲ權度スル衡尺ナリ而シテ其能ク之ヲ權度スルハ五官ノ感觸有ルカ故ナリ又曰ク物ノ以テ眞ニ之有リト爲ス可キハ其形ノ外ニ著見スル有ルカ爲メナリ而シテ其形ノ外ニ表見スル者ハ吾人ノ五官ノ力獨之ヲ知ル故ニ凡ソ五官ノ感觸ハ人々皆同シ若夫レ所謂良智ニ由リテ推測スル所ノ諸〻無形ノ旨義ニ至リテハ言人々殊ナリ他無シ本ト據ル所ノ定規無キカ故ナリ

第二　ゴルジヤースハシシール島レオンショームノ人ナリ其理學ノ大旨ハエレー派ノ虛靈ノ說ニ依據シテ之ヲ推演シ終ニ天下萬事ヲ以テ皆疑フ可クシテ一モ以テ眞ト爲ス可ラスト爲ス所謂懷疑ノ說是レナリ以爲ヘラク世界一モ眞ニ有ル者無シ或ハ眞ニ之有ルモ吾人得テ之ヲ知ル可ラス或ハ眞ニ有リテ又吾人之ヲ知ルヿヲ得ルモ吾人得テ之ヲ言說ス可ラス是レ所謂ゴルジヤースノ三大旨義ナリ

第三　詭邪ノ說ヲ爲ス者既ニ庶物原理ノ學ニ係リ凡ソ世人ノ眞ニ以テ信ス可シト爲ス所ヲ以テ皆疑フテ或ハ信ス可ク或ハ信ス可ラスト爲シ凡ソ世人ノ眞ニ以テ完粹ニシテ無疵ナリト爲ス所ヲ以テ皆詘ケテ云々ノ缺失有リト爲ス之ヲ要スルニ此輩ノ言ニ從ヘハ世界庶物ノ道理本ト一モ信ス可キ無シト既ニシテ又道學ニ係リ亦以爲ラク古來稱シテ至善ト爲ス者ハ眞ニ之レ有ルニ非ス唯一時ノ快樂若クハ利益有ルノミ故ニ是二者僅ニ稱シテ善ト爲ス可シ然レ𪜈亦タ稱シテ至善ト爲スヿヲ得スト

此輩ノ政術ニ於ケルヤ以爲ラク純然ノ正理ナル者ハ世眞ニ此物有ルヿ無シ唯力ニ賴リテ撿制スルノ一術有ルノミ

顧フニ希臘ノ理學專ラ物ノ完粹無疵ノ極致ヲ求ムルヿヲ以テ旨趣ト爲セシヨリ是ニ於テ諸宗一說ヲ成ス者或ハ甲ヲ以テ此極致ト爲シ或ハ乙ヲ以テ此極致ト爲シテ歸着スル所無シ故ニ詭邪說興ルニ及ヒ一切極致

ノ類毀壞シテ以爲ラク天下ノ事如何ニ完粹ナルカ如キモ實ハ皆瑕疵有ルヿヲ免レスト此說ヤ當時ノ弊ヲ矯ムルニ於テ亦功益無シト爲サス且ツ從前理學士專ラ世界庶物ニ就テ講求ノ工夫ヲ凝シテ自家ノ精神ノ何物タルヿハ殆ンド之ヲ度外ニ置ク者ノ如シプロタゴラースノ輩起ルニ及ヒ庶物ノ講求ニ易フルニ我精神ノ研究ヲ以テシテ卽チ言フ人心ハ萬物ノ權衡ナリト是レ其理學ノ進歩ニ於テ功有リシ所以ナリ但其精神ノ研究タルヤ專ラ五官ノ機能ヲ主張シテ彼ノ理ヲ推シ義ヲ考ヘテ比較測度スルノ能力卽チ眞智ノ如キハ之ヲ取ラス又其道學ニ於ケルヤ目前ノ快樂利益ヲ規圖スルヿヲ主トシテ義ニ仗リ仁ニ由リテ斷行スルノ意欲ハ舍イテ論セス是レ詭邪ノ目ヲ免レサル所以ナリ

○本論　詭邪派ノ理學

詭邪派ノ說ヲ爲ス者ハ皆富家ノ少年子弟ヲ得テ之ニ敎授スルヿヲ求メリ而シテ此等少年子弟モ亦喜テ其ノ說ヲ受ケリ他無シ師ト弟子ト其專ラ目

トスル所ハ唯速ニ成スヿヲ求ムルノ一事ナリシカ故ナリ

著者曰ク「ソフィスト」玆ニ詭邪ノ說ヲ爲ノ語ハ本ト學識有リテ之ヲ人ニ傳フルヿヲ業トスル者ヲ指シテ言ヘリ故ニ所謂「ソフィスト」ハ博物ノ君子ノ義ニシテ少シモ以テ人ヲ詞辱スル可キ意義有リシニ非ス凡ソ音律ノ師詩學ノ師及ヒ論辯ノ學星學地理學物理學等ヲ敎授スル者ハ皆呼テ「ソフィスト」ト稱セリ其後ニ至リ此等學術ヲ敎授スル者往々奇僻ノ言ヲ爲シテ庸衆ト背馳スルヲ致スニ及ヒアテーンスノ民稍ク此輩ノ學術ヲ妬害シ其浮華ニシテ實無キヲ猜疑シ遂ニ「ソフィスト」ノ語ニ附スルニ詭邪曲學ヲ爲ス者ノ義ヲ以テシテ之ヲ詞辱スルニ至レリ

又此輩ノ世人ノ詞辱ヲ免レサル所以ノ者更ニ一有リ蓋シ希臘ノ俗學術ヲ以テ粮糈ノ資ト爲ス者ハ痛ク之ヲ賤メルヿ猶ホ羅馬人ニ在リテ訟師ノ人ノ爲メニ訴訟シテ金ヲ求ムル者ヲ鄙トシテ之ヲ辱メシカ如シ然ルニ彼「ソフィスト」ノ徒ハ業ヲ授ケテ金ヲ求メ以テ職ト爲セリ是レ其詭邪ノ

稱ヲ獲タル所以ナリアリストッ
シテ此ヲ以テ生計ト爲ス是レ誠ニ鄙トス可キナリ又曰ク彼輩ノ其學ヲ
主張スルヤ其據ル所ノ法ハ我儕ト異ナルヿ無シ法トハ何ソヤ辯論ノ謂
ナリ但其目的トスル所大ニ異ナル者有リ云々
詭邪派ノ說ヲ爲ス者其目的トスル所ハ專ラ衆人ノ稱譽ヲ獲ルト金錢ヲ利
スルトニ在リ卽チ其門弟タル者モ亦其目的トスル所ハ業成ルノ後博學
ノ譽ヲ得テ此ニ賴リ位ヲ獲若クハ富ヲ致スニ在リ一言以テ之ヲ括スレハ
曰ク涉世ノ道ニ於テ利スル所有ルヿ是レ此輩師弟ノ大目的ナリ
大凡ソ利益ノ爲メニシテ眞理ヲ講スル者ハ其勢必ス眞理ヲ以テ必スシモ
求ム可キニ非スシテ眞理ニ似タル者ヲ得テ以テ自ラ足レリト爲スニ至ル
獨リ此ノミナラス其意或ハ眞理ヲ唱フルヲ以テ却テ自家ニ害有リト爲シ
テ好テ虛僞ノ言ヲ爲シテ以テ一時ノ利益ヲ求ムルニ至ルモ亦自然ノ勢ナ
リ他無シ人事ノ實際ニ在リテハ眞理必スシモ人ノ悅フ所ト爲ラスシテ虛

僞或ハ利益ヲ博スルヿ有レハナリ是故ニ詭邪派ノ理學タル其目的專ラ眞
理ニ肖似スル者若クハ浮華ニシテ一時人心ヲ悅ハス者ヲ得テ之ヲ論辯擴
張スル是レノミ
詭邪派ノ學士ノ目的トスル所ノ事ノ外更ニ其生セシ所ノ地ト其遇ヒシ所
ノ時トニ就テ論スル所有ラン曰ク希臘理學ノ諸派各〻其說ヲ倡道シテ其末
ヤ所謂眞理ナル者諸家相異ニシテ相容レサルニ至レリ而シテ詭邪派ノ學
士ハ正ニ是時ニ遭遇シテ以テ其說ヲ衒ルヿヲ得タリ
是時ニ當リ理學ノ諸派ノ尤モ衆多ナリシハ希臘國中アテーンス最モ甚シ
ト爲ス其弊ヤ人々疑フテ一切完然至粹ノ旨義ヲ以テ有ルヿ無シト爲スニ
至レリ是ニ於テ乎彼詭邪派ノ學士其間ニ起リテ人心ノ此疑團ヲ懷ケルニ
乘シテ乃チ以爲ラク凡ソ議論ハ苟モ之ヲ主張スル者辯ヲ善クシテ人ヲ壓
服スルヿハ皆以テ眞理ト爲ス可シト又以爲ラク所謂眞理ナル者ハ有ルヿ
無シト是レ蓋シ希臘大運中衰ノ時ナリ

是時ニ當リ獨リ道德宗教ニ於テ人々疑ヲ置キシニ非スシテ卽チ政術ニ於テモ亦皆往々依據トスル所ヲ喪ヘリ茲ニ於テ詭辯ヲ主トスル者理非ヲ混同シ正邪ヲ雜亂シ紛紜顚倒庸俗ヲ迷亂シテ以テ自家一時ノ利是レ圖リテ顧忌スル所無シ是ニ於テ乎善ト惡ト利ト害ト眞ト僞ト復タ得テ別ツ可ラスシテ凡ソ一定不易ノ旨義ハ其政術道學理學ニ論無ク皆之ヲ排斥シ唯詭辭曲辯ノ力ニ賴リテ姑ク自ラ利スル所有ルヲ求ム是レ詭邪派ノ學士ノ務ムル所ニシテ亦時運ノ然ラシムル所ナリ

プラトン曰ク詭邪派ノ學士タル其害蓋シ論辯ノ術ヲシテ其眞ノ目的ヲ去リテ唯利ヲ圖ルノ具ト爲ラシメタルニ在リ論辯ノ眞ノ目的トハ何ソヤ曰ク善ト眞トナリ然ルニ詭邪派ノ學士ハ此ヲ以テ威權ヲ博シ貨財ヲ攫ムノ具ト爲セリ誠ニ憎ム可キニ非スヤ乎

第二　プロタゴラース派ノ說ニ就テ講求シテ其中含有スル所ノ諸旨義ヲ取リ更ニ之ヲ擴充シテ其太甚ノ地位ニ至ラシメリプロタ

ゴラース著書有リ題シテ眞理論ト曰フ其喜テ論柄ト爲セシ所ノ「人ハ萬物ノ權衡ナリ」ノ語ハ蓋シ載セテ此書ニ在リシナラン

プラトン著ハス所ノ「ゼヤロージグ」問答ノ義ノ書ニ據ルニプロタゴラースハ云ヘリ賢哲ノ士ハ人ノ精神ノ病ヲ療スル醫師ナリ但其治術タルヤ人ヲシテ能ク眞理ヲ看得セシムルニ在ルニ非ス他無シ人ノ自ラ以テ眞理ト爲ス所ハ皆眞理ナレハナリ故ニ其治術タルヤ人ヲシテ其迷夢ヲ醒マシテ快樂ト利益トヲ看得セシムルニ在リ是ニ知ル賢哲ノ士ノ正ニ務ム可キハ其壽常人ヲ接スルト其政府ヲ奉スルト並ニ常ニ快樂ト利益トノ二者ヲ分明ニスルヲ是レナリ蓋シ言論ノ貴フ可キハ唯此一事有ルノミ天下固ヨリ完粹至美ノ眞理ナル者有ルヿ無シ云々

是故ニプロタゴラースノ意以爲ラク古今誰人ノ言句モ之ヲ天下ニ通シテ理ニ謬マラスト爲ス可キ者ハ一モ有ルヿ無シ何事ヲ論セス如何ナル奇僻ノ旨趣ト雖モ之ヲ言說シテ巧ナル者ハ之ヲ主張ス可ラサル莫シト卽チ其

言ニ曰ク眞ノ雄辯ノ士ハ最モ謬妄ナル旨趣ヲ主張シテ人ヲシテ認テ以テ道理ト爲サシムル者ナリ何ソヤ所謂眞ノ道理ナル者ハ本ト之無キヲ以テ苟モ人ヲシテ認テ道理ト爲サシムルヰハ是レ卽チ道理ナレハナリ云々

第三　プロタゴラースノ彼ノイヨニー派ノ理學ニ依據シテ其五官ノ感觸ヲ主トスル諸說ヲ倡道スルニ方リゴルジヤースハ更ニ意答利派ノ虛靈說ニ根柢シテ其一家ノ論ヲ成シテプロタゴラースト同種ノ旨趣ヲ主張セリ其言ニ曰ク世界實ニ道理有ルヿ無クシテ皆空幻ナリ縱令實ニ道理有ルモ人智ヲ以テ之ヲ知ル可キニ非ス縱令人智ヲ以テ之ヲ知ルヲ得ルモ他人ニ傳ヘテ知ラシムルヿヲ得可ラストノ

余ヲ以テ之ヲ觀ルニゴルジヤースノ說ハ正ニゼノンノ旨趣ノ反對ト謂フ可シゼノンハ凡ソ五人ノ覩聞スル所ノ事物ヲ以テ皆空幻ニシテ獨リ眞智ノ識得スル所ノ道理ヲ以テ眞ニ之レ有リト爲セリ今ゴルジヤースハ正ニ之ニ反シテ凡ソ眞智ノ識得スル所ヲ以テ皆謬妄ト爲シテ獨リ五官ノ覩聞スル所ノ事理ヲ以テ稍〻痕迹有ル者ト爲セリ是レニ由リテ言ヘハゴルジヤースノエレー派ノ理學ニ根柢スルヤ其武器ヲ奪フテ之ヲ破壞スルヿヲ求メシニ外ナラス

ゴルジヤースノ理學タル畢竟悉ク從前ノ諸說ヲ破壞シテ何事ヲ問ハス何物ヲ論セス皆謂テ空華浮虛ト爲シ天下ノ人ヲシテ相率ヰテ疑惑ノ地ニ陷イラシムルヿ是レ其旨意ナリプロタゴラースハ曰ヘリ凡ソ人ノ念フ所ハ皆理ナリトゴルジヤースハ曰ク凡ソ人ノ念フ所一モ理ナルハ莫シト其言相反スルカ如シト雖モ理ヲ推シテ之ヲ考フルヰハ全ク相同シ何トナレハ若シ人ノ念フ所皆理ナルヰハ謬妄ノ旨義モ亦理ニシテ苟モ謬妄ノ旨義ヲ以テ皆理ナリト爲スヰハ是レ眞ノ理有ルヿ無キナリ故ニ曰ク此兩人ノ說全ク相同シト

プロタゴラースハイヨニー派ノ五官ノ感觸ノ說ヲ以テ依據ト爲シゴルジヤースハエレー派ノ虛靈說ヲ以テ根柢ト爲シテ此二人ノ者ノ原本トスル所

正ニ相反セリ然リ而シテ其天下萬事ヲ以テ皆空幻ニシテ一モ完然至粹ノ道理無シト爲スニハ則チ一ナリ是レ其同ク稱シテ詭邪派ノ學士ト號スル所以ナリ

凡ソ旨義一モ純然ナル者無キ件ハ是レ善ト惡トノ如キモ本ト必スシモ相反スルニ非ス蓋シ此兩人ノ意以爲ラク吾人ノ彼ノ善ト惡トノ別ヲ爲スハ本ト實ニ善ナル者有ルカ爲メナラス亦惡ナル者有ルカ爲メナラス唯法律ト習慣トノ二者有ルカ爲メニ此事ハ善ナリ此事ハ惡ナリト曰フニ過キサルノミ

詭邪派ノ理學家ノ旨趣ヲ講求シ之ヲ論理ノ法ニ援リテ以テ其政術ヲ尋究スル件ハ將ニ曰ハントス是レ專ラ力制ヲ以テ本旨ト爲ス所ナリト何トナレハ法律ノ令スル所皆善ニシテ其禁スル所皆惡ナレハナリ故ニプラトン「ゴルンヤース」ト題スル書及ヒ「レピュブリック」ト題スル書ヲ著ハシカリクレース、トラシマッソノ二人トリクラットトノ問答ヲ設爲シテ以テ詭邪派ノ學士ノ

政術ヲ駁撃セリ顧フニ詭邪派ノ學士ノ果シテ公然プラトンノ駁セシ所ノ政術ヲ主張セシト否ヤトハ未タ知ル可ラス雖モ論理ニ據リテ之ヲ言フトキハ終ニ然ラサル能ハス故ニプラトンノ「ゴルジヤース」ノ書ニ於テソクラットノカリクレースヲ詰リタル語ヲ設ケテ曰ク汝ノ言フ所ノ政術ハ實ハ在位ノ徒往々心ニ竊ニ之ヲ行ハント欲スル者有リ但彼輩未タ敢テ之ヲ公言セスシテ汝ハ能ク之ヲ公言シテ顧ミサル是レノミト詭邪派ノ理學ハ極テ道德ニ違負スル處多キニ論無シト雖モ然レ𪜈理學全體ノ進歩ニ係リテハ蓋シ亦頗功有リト爲ス蓋シ從前理學家專ラ庶物ノ本原ヲ尋求スルヲ務メテ反リテ吾人精神ノ何物タルヲヲ疎外セリ詭邪派ノ學士ニ至リテハ然ラス其講求スル所復タ外物ニ在ラスシテ專ラ吾人ノ精神ノ諸能力ニ在リ故ニ曰ク吾人ノ精神ハ萬物ノ權衡ナリト但其大謬戻ノ處ハ此權衡ヲ以テ吾人ノ五官ノ感觸中ニ在リト爲ス是レノミソクラット出ルニ及ヒ其說モ亦精神ヲ以テ萬物ノ權衡ト爲ス但ソクラットハ以爲ラク

吾人五官ノ感觸ハ變轉定マラス之ヲ以テ未タ以テ庶物ノ眞相ヲ識得スルニ足ラス唯眞智ノ力以テ之ヲ識得スルニ足ルノミト此レ又一大沿革ナリ

○第四章　ソクラット

○緒論

第一　ソクラット其少時專ラ格物學及ヒ星學ヲ講求セリアナキザゴールノ書ヲ得テ之ヲ讀ムニ及ヒ始テ大ニ悟ル所有リテ以爲ラク世界庶物ノ眞ノ本原ト稱ス可キ者ハ有形ノ物ニ非スシテ無形ノ理ナリト既ニシテアナキザゴールノ說ニ就テ更ニ一層ヲ進メテ以爲ラク凡ソ吾人眞智ノ事物ヲ撰擇シテ或ハ之ヲ取リ或ハ之ヲ捨ツル所以ノ者ハ他無シ唯善ニ就テ惡ヲ去ルカ爲メナリ是ニ知ル善ナル者ハ物ノ眞ノ本原ナルコヲ故ニソクラットノ理學ハ專ラ知行合一ノ旨趣ヲ主張スルニ在リ

第二　ソクラットノ其說ヲ主張スルノ道蓋シ二有リ其一ハ曰ク駁擊ナリ其二ハ曰ク啓發ナリ時人往々眞理ノ在ル所ヲ知ラス謬說ヲ執持シテ自ラ以テ得タリト爲ス是ニ於テ爲メニ謬戾ノ處ヲ指摘シテ之ヲ暴白スル此レ所謂駁擊ノ手段ナリ眞理ナル者ハ人々精神中自ラ之ヲ識得スルノ機

能ヲ具ス故ニ理學士タル者ハ學者ニ遇フ片ハ當ニ一二疑問ヲ擧ケテ之ヲ示メシ學者ヲシテ自ラ思フテ之ヲ得セシム可シ此レ所謂啓發ノ手段ナリソクラット此第二ノ法ヲ名ケテ智慧ノ分娩ト曰フ學者ヲシテ自ラ其智慧ヲ奮フテ眞理ヲ發出セシムルノ謂ナリ

ソクラット又智慧ヲ暢進スルニ於テモ亦二法ヲ設ケリ一ハ旁推ノ法（アンザック）ナリ一ハ約括ノ法（デザクシヨン）ナリ博ク事物ニ就テ其理ヲ尋究シ層累シテ上ホリ以テ物ノ本原ニ達スルヲ之ヲ旁推ノ法ト謂フ先ツ物ノ本原ヲ擧示シテ以テ萬物皆此本原ニ統屬スル所以ノ故ヲ明ニスルヲ之ヲ約括ノ法ト謂フ故ニ旁推ノ法ハ有形ヨリ上ホリテ無形ニ進ム者ニシテ約括ノ法ハ無形ヨリ下リテ有形ニ入ル者ナリ之ヲ要スルニソクラットノ理學ハ無形虛靈ノ道理ヲ以テ物ノ本原ト爲ス者ニシテ宜ク列シテ之ヲ虛靈說中ニ置ク可シ

第三　ソクラットノ道學ハ名ケテ斷行ノ理論（テオリー、ドラ、ウォロンテー）ト曰フ人々ヲシテ其意思ヲ指導シテ善事ヲ斷行セシムルノ學ノ義ナリ故ニ又行爲ノ理論（ギヤシクチック、デ、ザクシヨン）ト曰フソクラットノ意蓋シ以爲ラク之ヲ知ルト之ヲ行フトハ當ニ合シテ一ト爲ス可シ蓋シ智識ナル者ハ事物ヲ整頓シテ各々ヲシテ其當ニ居ル可キ所ノ處ニ序列セシムルヲ是レナリ既ニ此ノ如クニシテ事物ヲ序列スルトキハ其間必ス善惡美醜ノ差別ノ發見スル有リ善惡美醜ノ別既ニ發見スルニ及ヒ其行爲ノ際猶ホ善ヲ棄テ、惡ニ就キ美ヲ捨テヽ醜ヲ取ルカ如キハ是レ自ラ矛盾スル者ニシテ知ト行ト合一ナラサルナリ是レ決シテ有ル可ラサルノ事ナリ故ニ人苟モ眞ニ善ノ善タルヲ知ルトキハ其行爲必ス善ニ合セサル無シ所謂知行合一ノ說ナリ

智識ト行爲ト全ク同一ナリ故ニ若シ吾人眞智ノ明一旦吾人ニ示スニ善ノ在ル所ヲ以テスルトキハ吾人ノ意欲必ス進ミテ善ヲ行フテ敢ヘテ或ハ負辜スルヿ無シ故ニソクラットノ意ニ從ヘハ人心中自由ノ權有リテ我心ノ善トスル所モ或ハ之ヲ棄テ我心ノ惡トスル所モ或ハ之ヲ取リテ自ラ

肆ニスルヿヲ得ルカ如キハ決シテ無キノ事ナリ何トナレハ我眞智既ニ明ニ善ノ善タルヿヲ知ルヿハ之ヲ避ケント欲スルモ得可ラス既ニ明ニ惡ノ惡タルヿヲ知ルヿハ之レニ就カント欲スルモ得可ラサレハナリ故ニ凡ソ天下ノ惡人ハ皆不明ニシテ眞ニ惡ノ惡タルヿヲ知ラサルニ坐スル者ナリ

ソクラット既ニ行爲ト智識トヲ以テ同一ト爲ス是ヲ以テ其理學タル專ラ道學ヲ主トスト雖モ然レトモ其勢專ラ學術ヲ講求スルヿヲ主トスルニ至ル他無シ人苟モ善ノ善タルヿヲ知ルヿハ其行必ス道ニ合スルヿヲ以テ智識ヲ磨クヿ是レ道學ノ尤モ緊要トスル所ナレハナリ

是故ニソクラットノ言ニ曰ク汝當ニ之ヲ知ル可シ然ルヿハ必ス之ヲ行ハントス又曰ク汝若シ人ヲシテ善ヲ爲サシメント欲スルヿハ當ニ其レヲシテ明ニ善ヲ知ラシムル可シト又曰ク吾人ノ眞ノ利益ハ必ス他人ノ利益ト並行シテ悖ラサル者ナリ必ス世界人類ノ利益ト並行シテ悖ラサル者ナリ人苟モ是ノ如クニシテ衆人ノ利ノ相合シ悖ラサルノ理ヲ明知スルヿハ其己レヲ處シ行ヲ出ス際必ス世界最大ノ利ヲ以テ目的ト爲サザルヿ無シ世界最大ノ利トハ何ソヤ善即チ是レナリ故ニ是人ヤ既ニ有識人ニシテ亦有德人ナリ云々

又以爲ラク所謂德ハ其形狀千差萬別ナルモ其實ハ純乎一ナル者ナリ德ノ本原ハ卽チ智ナリ智能ク人ヲシテ勇ナラシメ能ク人ヲシテ儉ヲ守ラシム勇以テ進守シ儉以テ自ラ守ルヿ是レ人々自ラ處スルノ道ナリ智又能ク人ヲシテ義ヲ行ハシム義ハ人ノ邦國ノ中ニ居テ他人ト交接スルノ道ナリ智又能ク人ヲシテ信ニ篤カラシム信ニ篤キヿハ神明ニ事フルノ道ナリ是故ニ智ハ衆善ノ長ナリ

ソクラットノ所謂義ハ無字ノ法律ロアー、ノンエクリット ニ適合スル者ニシテ無字ノ法律ノ物タル其貴フ可キヿ有字ノ法律ロアー、エクリット ノ比ニ非ス蓋シ無字ノ法律ハ天地ノ道理ヨリ發シ神明ノ詔勅ニ本ツク者ニシテ凡ソ人ノ造作

スル所ノ有字ノ法律ハ皆力ヲ是レニ假ル者ナリ先キニハ詭邪派ノ學士輩往々法律ト事理トヲ以テ相容レスト爲セシカソクラットニ至リ始テ是二者ヲ以テ並ヒ行ハレテ悖ラスト爲セリ他無シ事理トハ卽チ天理然ラサルヲ得サルノ道ニシテ法律ノ則チ取ル所ナレハナリ

ソクラットノ意仁慈ノ德モ亦包テ義ノ中ニ在リ其言ニ曰ク他人或ハ我ヲ害スルヿ有ルモ我ハ之ヲ害スルヿ有ル可ラス萬事ニ係リ萬人ニ對シ並ニ常ニ善ヲ行フ可シ是レ卽チ義ナリ又曰ク吾儕當ニ天下ノ人ヲ視ルヿ皆己レノ朋友ノ如クス可シ云々

ソクラットノ家屬ヲ論スルヤ曰ク男ト女トハ其職トスル所固ヨリ同シカラス若夫レ權理ハ則チ相等シ尊卑ノ別有ルヿ無シ婦人若シ男子ヨリ賢ナルヿハ當ニ婦人ヲ以テ男子ノ上ニ居ク可シ

古昔ノ人往々工業ヲ以テ奴隸人ノ職ト爲シテ之ヲ卑メリソクラットハ獨リ然ラスシテ以爲ラク人能ク自ラ其力ニ食スルヿハ亦貴尙スルニ足ル

ト是說ヤ早ク已ニ後世奴隸ノ制ヲ廢スルノ漸ヲ爲セシト謂フ可シ

ソクラット又以爲ラク政術ハ正義ト公益トノ二者ヲ廣充スルノ道ナリ故ニ政權ハ必ス最モ是道ニ通曉セシ者ノ掌握ニ在ル可シ若夫レ威ニ藉リテ令ヲ發シ或ハ衆議ヲ以テ事ヲ決シ或ハ時運ニ任セテ絕エテ思考ヲ加ヘサルカ如キハ皆政ニ於テ尤モ忌ム可キ所ナリ

ソクラットノ政術ヲ推究スルヿハ其意終ニ貴族政治アリストクラシーヲ以テ最良ト爲スニ外ナラス然レ𪜈其言ニ曰ク政ヲ爲ス者決シテ威ニ憑リ力ニ藉リテ施爲スルヿ有ルヲ得ス唯當ニ務テ衆人ヲ心服ス可シト是言ヲ推スヿハ其意モ亦人民票選ノ法ニ取ル有ルニ似タリ之ヲ要スルニソクラットノ政術ハ貴族政治ト共和政治トノ二者ニ就テ其衷ヲ取ル者ト謂フ可シ

第四　ソクラットノ宗敎ニ於ケル力ヲ極テ神ノ現在スルヿト神德ノ昭明ニシテ誣ユ可ラサルヿヲ證スルヿヲ求メリ其證蓋シ二有リ一ニ以爲ラ

ク吾人ノ靈慧ノ智有ルヤ必ス稟クル所有リ苟モ稟クル所有ルトキハ其物タル正ニ吾人ノ由リテ生ヲ得ル所ノ本原ナリ其二ニ以爲ラク凡ソ天地萬物ノ由リテ立ツ所ト人類ノ由リテ活スル所トヲ靜察スルニ目的ト手段ト盡ク恰好ナラサル莫シ是レ固ヨリ偶然ノ事ニ非ス必ス之レカ機關ヲ操持スル者有ル可シ是ニ於テ以爲ラク神ハ當ニ純一ニシテ對無カル可シ又當ニ廣大ニシテ外無ク悠久ニシテ極無ク其威德萬物ニ光被シテ遺ス所無カル可シ又以爲ラク神能ク一二材德衆ニ出ル者ヲ選ヒ隱然其衷ヲ誘フテ之ニ敎救スル有ルヿヲ得而シテ是人ヤ神智ノ憑依スルニ因リテ能ク前知スル所有リト是說ヤ世人號シテ之ヲソクラッツノ神憑ト曰フ

第五　ソクラッツ其道德ノ學ヲ主張スルカ爲メニ力ヲ極テ彼詭邪派ノ學士ト論辯シ喜テ此派ノ學士ノ論柄トスル所ヲ使用シテ以テ其謬妄ノ在ル所ヲ示メセリ是ニ於テ當時ノ人或ハソクラッツヲ以テ亦詭辯ヲ好ム者ト爲シ卽チアリストファンヌノ如キハソクラッツヲ指シテ詭邪派ノ學士ト爲シテ區別スルヿ無カリキ加之當時アテーンヌノ政純ラ共和ノ制ニ循ヒテ而テソクラッツノ說タル頗貴族政治ニ傾嚮セシヲ以テ事ヲ用フル者多ク怒ヲソクラッツニ蓄ヘリ是ニ於テメリチュース、アニチュースノ二人ソクラッツヲ訴ヘテ以爲ラク國人奉スル所ノ群神ヲ信セス且ツ邪說ヲ執リテ少年子弟ヲ熒惑ストソクラッツ執ヘラレテ獄ニ繫カル然レトモ法ニ循フテ自ラ辯疏スルヿヲ屑シトセス遂ニ死ニ處セラル

○本論

○第一　ソクラッツ初年ノ學問

プラトン著ハス所ノ「フェドン」ノ書ニ據ルニソクラッツ自ラ言ヘリ曰ク余ノ少ナルヤ格物學ヲ講求シ之ヲ嗜ムヿ甚シクシテ物ノ比ス可キ無ク以爲ラク格物學ノ物タル能ク庶物ノ原因ヲ知ラシメ物ノ由リテ生スル所及ヒ由リテ存シ由リテ亡フル所ヲ識ラシムト是レ誠ニ貴フニ足ルト然レトモ其後ニ及

ヒ余自ラ是學ヲ治メタルニ於テ少シモ余カ心術ニ益スル所無カリシヲ悟リテ大ニ之ヲ悔タリ云々

ソクラットハ紀元前四百七十年ヲ以テアテーンヌニ生ル父ヲソフロニスクト曰ヒ母ヲフェナレートト曰フ父ハ彫刻ヲ業トシ母ハ穩婆ヲ業トセリソクラット少時父ト倶ニ彫刻ニ從事セリ既ニシテアテーンヌノ富人クリトンノ助ニ賴リ專ラ身ヲ委ヲテ理學ヲ講求スルヿヲ得タリ其後アテーンヌ兵事有ルニ會シアルシビヤードニ從フテポチデーニ赴キクゼノフォンニ從テデリヨームニ赴キ戰極テ力メタリ之ヨリ頃アリテ選マレテ上院ニ入リ議員多數不正ノ審判ヲ主張スルニ及ヒソクラット獨リ之ヲ駁シテ屈セス晩年ニ至リ寃ヲ以テ獄ニ下リテ殺サル事ハ後節ニ詳ナリ

其後アナキザゴールノ著ト稱スル所ノ書ヲ得テ之ヲ讀ミ大ニ發明スル所有リキ卽チ其言ニ曰ク余後ニ人ノアナキザゴールノ著ト稱スル所ノ書ヲ讀ムヲ聽キシニ其中ニ言フ有リ智慧ハ萬物ノ本原ニシテ亦其極則ナリト余是ニ於テ感嘆

シテ以爲ラク智慧ヲ以テ萬物ノ本原ト爲スヿ亦善カラス乎果シテ然ルヤハ天地庶物ノ森列スルヤ是レ世界自ラ一大智慧有リ庶物ヲ整頓シテ至善ノ地ニ達セシムルカ爲メタルヿ疑無シト

ソクラットハ是ノ如クニシテアナキザゴールノ意ヲ祖述シテ物ノ眞ノ本原ヲ以テ有形ノ物ニ非スシテ無形ノ智ナリト爲シ更ニ一層ヲ進メテアナキザゴールノ未タ發見セサリシ所ヲ發見セリ蓋シアナキザゴールハ特ニ無形ノ智ヲ以テ物ノ本原ト爲スニ過キスソクラットハ以爲ラク夫ノ無形ノ智ノ庶物ヲ整頓スル所以ノ者ハ必ス其道理有リ而シテ此道理ハ善ノ一理ニ外ナラストハ是レハ則チ善ヲ以テ更ニ智ノ上ニ置クト謂フ可シ

アナキザゴールノ說ハ無形ノ智ヲ以テ天地庶物ヲ動盪スル者ト爲スニ止マルソクラットハ然ラスシテ以爲ラク無形ノ智ノ庶物ヲ動盪スルヤ徒ニ之ヲ動盪スルニ非スシテ其レヲシテ能ク整齊シテ善ニ就カシムト故ニソクラットノ意ヲ推スヿハ庶物ノ本原ハ智ニ非スシテ卽チ善ナリ故ニ其言ニ曰

ク人若シ物ノ本ヲ知リ物ノ何故ニ生シ及ヒ何故ニ存シ何ノ故ニ滅スルヲ知ラント欲セハ唯當ニ一事ヲ尋究ス可キノミ曰ク物如何ナルヘキハ果シテ最モ善キ乎ト是一事ヲ識得スルヘキハ斯ニ物ノ本ヲ得ンノミト、

ソクラット既ニ是言ヲ爲シテ更ニ又曰ク人タル者ハ凡ソ天下ノ事物ニ就テ唯當ニ其最善艮ニシテ且最完粹ナル者ヲ求メテ其他ヲ知ラサル可シ而シテ善艮ヲ求ムルノ學ハ卽チ道學是レノミト前ニハイヨニー派ノ學士輩ハ專ラ物理ヲ講求シピクゴール家ノ學士專ラ數學ヲ講求シエレー派ノ學士ハ專ラ論理ヲ講求セシカソクラットニ至リ始テ專ラ道學ヲ講求シテ以テ理學ノ面目ヲ一變スルヲ致セリ

ソクラットノ意以爲ラク天下ノ學術ニ就テ獨リ善ノ學シヤンス、卽チ道學ノミ眞ノ學問ト爲ス可シト是ニ於テ是學ニ託スルニ至大ノ力ヲ以テシテ乃チ曰ク人一タヒ道德ノ學ニ得ルヿ有ルヘキハ不善ヲ爲サント欲スルモ復タ得可ラス凡ソ人ノ不善ヲ爲ス者ハ皆眞ニ善ノ善タル所以ヲ知ラサルニ由リテ然リ一タヒ之ヲ知ルヘキハ豈復タ不善ヲ爲スノ理有ラン哉

人ノ自ラ立ツ所以、國ノ由リテ安キ所以ハ並ニ善ヲ知ルノ一事ニ在リ之ヲ知ルヘキハ必ス之ヲ行フ故ニソクラット又曰ク汝當ニ之ヲ敎誨セヨ之ヲ敎誨スルヘキハ必ス善ニ進マント故ニソクラット身ヲ委テテ衆ニ論スニ道學ヲ修ムルコノ緊要ナルコヲ以テシテ身ヲ終フルマテ怠ラサリキ

ソクラット從前ノ學問ヲ一變シテ專ラ道學ヲ主張シテ而シテ其實ハ從前天體ノ說及ヒ數理ノ說ニ比スルヘキハ更ニ益〻庶物原理ノ學ヲ須要トスルニ至レリ何トナレハ人ニ勸ムルニ善ヲ以テスルヿ洵ニ道學ノ主トスル所ナリト雖モ善ノ善タル所以ノ故ヲ推究スルヿハ庶物原理ノ學ノ事ニシテ復タ道學ノ事ニ非サレハナリ蓋シ庶物原理ノ學タル夫ノ完粹無疵ノ理ト一定不易ノ道トヲ垂示スルニ在ルヿ至善トハ畢竟造化主宰ニ外ナラサレハナリ

ソクラット從前學士ノ專ラ天ヲ談スルノ弊ヲ矯メテ更ニ人生彝倫ノ道ヲ講

說セシヨリ羅馬シセロン嘗テ評シテ曰クソクラットハ理學ヲ牽テ天ヨリ地ニ降ラシメタリト余ヲ以テ之ヲ考フルニ從前ノ學士ハ專ラ吾人ノ目ニ視ル所ノ天ヲ談セシモソクラットニ至リ始テ目ニ視ル可ラサル所ノ天ヲ談セリ目ニ視ル可ラサル所ノ天トハ何ソヤ曰ク無形虛靈ノ智慧是レノミ

○第二　ソクラットノ論說ノ法一名考察ノ法

ソクラットノ意以爲ラク人能ク道理ヲ考察シテ深ク之ヲ知ルトキハ必ス善ヲ行フヲ敢テ或ハ違フ〻無シト是ニ於テ其旨趣ヲ主張スルノ法ニ於テ手段トスル所自ラ二有リ一ハ謬迷ノ說ヲ駁擊スル〻ニシテ所謂「イロニー」是ナリ一ハ眞理ヲ啓發スル〻ニシテ所謂「マイユーチック」是ナリ

第一「イロニー」ノ手段ハ專ラ夫ノ詭邪派ノ說ヲ駁擊スル〻ヲ主トシテ乃チ其說ト眞ノ道學ノ理トヲ比照シテ謬妄ノ處ヲシテ自然ニ外ニ發露セシムソクラット既ニ深ク道學ノ理ヲ推究シテ其智見固ヨリ高ク詭邪家ノ上ニ出テ、與ニ比ス可キニ非ス然レトモソクラット深ク自ラ韜晦シテ故サラニ知

ラサルヲ爲シ詭邪派ノ徒ヲ誘フテ與ニ議論シ其レヲシテ盡ク其說ノ秘蘊ヲ呈出セシメ然後徐々ニ其謬妄ノ在ル所ヲ指摘シテ復タ掩フ可ラサラシムルハ是其慣手ナリ故ニ其言ニ曰ク吾レ固ヨリ知ル〻無シ但吾レノ知ル〻無キノ一事ヲ知ルノミ詭邪派ノ人モ亦知ル〻無シ然レトモ彼輩ハ自ラ以爲ラク知ラサル所無シト是其吾レト異ナル所以ナリ

ソクラットノ此嘲笑タルヤ其議論全ク勝ヲ占ムルノ後ニ及ヒ方ニ始テ其笑フ可キヲ見ル而シテ凡ソ天下ノ學術皆道學ニ比スルトキハ人ノ必術ニ於テ少モ益無キヲ明ニス然レトモソクラットハ初ニ於テ自ラ機鋒ヲ韜ミテ發セサルヲ以テ詭邪派ノ往々自ラ其醜ヲ露呈シテ終リニ至リ始テ其說ノ謬迷タルヲ知ルモ已ニ之ヲ蔽フノ道無キナリ

第二　眞理ヲ啓發スルノ手段トハ問答是ナリソクラット常ニ自ラ言ヘリ余ハ道學ニ於テ固ヨリ未タ敢テ深ク達スル〻ヲ得タリト謂ハス且ツ又道德ノ說ヲ談シテ之ヲ弟子ノ胸中ニ灌注スル〻能ハス顧フニ人苟モ道ニ志有ル

キハ自ラ餘師有リテ他人ノ講說ヲ須フルヲ無シ但師タル者唯一二疑問ヲ設ケテ其智慧ヲ啓發スルニハ彼レ自ラ洞然トシテ深ク契スル所有リ又曰ク學問ノ道他無シ唯其自ラ其己ヲ知リ或ハ其己ノ中ニ存スル者ヲ知ルノミ又曰ク知ルトハ何ソヤ己ヲ知リ或ハ己ニ存スル者ヲ知ル是ノミ又曰ク知ルトハ眞理ヲ分娩スル是ノミ

ソクラット又曰ク人ニ敎フルトハ外ヨリ眞理ヲ其人ノ心中ニ注入スルノ謂ニ非ス卽チ其人ヲ輔ケテ眞理ヲ產出セシムルノ謂ナリ嘗テ其門人テーテートニ謂テ曰ク汝定テ眞理ヲ產出スルニ於テ艱苦ヲ覺ユ可シ汝ノ精神方ニ眞理ヲ懷孕シテ膨大ヲ成セリ余カ先妣ハ名ヲフェナレートト曰ヒ產婆ノ業ヲ巧ニシテ著名ナリキ汝モ亦嘗テ之ヲ聞キシ乎テーテート對ヘテ曰ク弟子モ亦嘗テ之ヲ聞ケリソクラットト曰ク余モ亦人ヲ輔ケテ眞理ヲ產出セシムルヲ務ム豈先妣ト業ヲ同クスルニ非ス乎

ソクラットノ所謂人ヲ輔ケテ眞理ヲ分娩セシムルトハ實ハ其常ニ口ニセシ

所ノ深遠ノ一語ヲ實踐スルニ外ナラス一語トハ何ソヤ曰ク

ソクラットノ常ニ云ヘリ汝當ニ自ラ知ル可シト顧フニ此言ヤ直チニ人ノ精神ヲ導テ其レヲシテ外物ヲ去リテ自己ノ中ニ反歸セシムト謂フ可シ

所謂人ヲ輔ケテ眞理ヲ分娩セシムルノ法ハ他ニ非ス巧ニ問答シテ人ヲシテ啓發スル所有ラシムルヲ是ノミ蓋シ師タル者時ニ相機ニ伺ヒ一二疑問ヲ爲スニハ弟子ヲシテ自ラ思考シテ之カ答ヲ爲ス是ノ如クニシテ一二疑問ヲ爲シテ弟子又之カ答ヲ爲ス師又就テ一二疑問ヲ爲シテ自然ニ眞理ニ逢著シテ復タ疑ヲ容レス是蓋シ問答ヲ以テ議論ニ易フル者ナリ故ニソクラット常ニ云ヘリ或ハ問ヒ或ハ答ヘテ以テ道理ヲ求ムル者是正ニ學者ノ業ニ非ス乎夫レ道理ナル者ハ衆意思相觸ルヽノ間ニ爆發スルヲ以テ衢路ニ立チ人ノ來ル者有ル時ハ皆手ヲ執リテ之ト語リ其貴賤貧富ヲ別ツヿ無シ或ハ一工徒ト語リ或ハ高官ノ人ト語レリ相傳フ一日メノンノ奴隸人ト問答シ又一日アルシビヤードト問答セシト其後アガ

トン設ケシ所ノ宴席ニ往テ衆客ト問答シ又フェードルト相伴フテイリシュースノ水次ニ趨キ與ニ問答セリ其意以爲ラク何レノ地何レノ人ヲ論セス苟モ時機有ルトキハ以テ之ヲ語ル可ク苟モ聽ク者有ルトキハ以テ之ニ告ク可シ其人如何ニ鄙汚ナルモ必ス一二道理ヲ分娩セシムルヿヲ得可シ是ノ如クシテ一人ヲシテ分娩セシムルトキハ其人又更ニ他人ヲシテ分娩セシムルヿヲ得可シ是大益ナリト

凡ソ與ニ語ル所ノ者隨フテ異ナルトキハ問答ノ體モ亦隨フテ異ナラサルヲ得ス是ノ如クニシテ衆人ト問答スルトキハ同一事ニシテ之ヲ考察スルヿ數樣ナルヿヲ得ルヲ以テ道理ニ透徹スルヿ益〻精微ナルヿヲ得是正ニソクラットノ尤モ意ヲ致セシ所ナリ近時學術家ノ一理ヲ發見セント欲スルヤ之ヲ試驗シテ又之ヲ試驗シ反覆試驗シテ必ス其理ヲ發見スルニ非サレハ已マス顧フニ此ノ如キ者ハ之ヲ稱シテ物質ヲ引テ問答ヲ爲スト謂フ可シ今ソクラットハ大ニ此ニ類スル有リ智慧ヲ引テ問答ヲ爲シ之ヲ試驗シテ又之ヲ試驗シテ其人ノ貴賤貧富ヲ論スルヿ無ク其談話ノ雅俗高下ヲ別ツヿ無ク終日ニシテ倦ムヿ無ク以爲ラク何人ヲ論セス何事ヲ問ハス以テ眞理ヲシテ發出セシムルニ足ルト

ソクラットノ人ト問答スルヤ獨其題目種々ナルノミニ非スシテ其用フル所ノ言辭モ亦極テ種々ニシテ一ナラス或ハ極テ卑近ノ言ヲ爲シ或ハ極テ高尙ノ論ヲ爲シテ而シテ其尤モ長スル所ハ諧謔中ニ於テ大慷慨ノ意ヲ寓スルニ在リ是ヲ以テ聽ク者爲メニ感動シテ大ニ省悟スル所有リ

或ハ哄然トシテ笑ヒ或ハ忽チ感慨シテ自ラ膺ヘス其話說タル極テ諧謔ニシテ或ハ奇異ニ涉リ其言語極テ卑近ニシテ或ハ笑フ可キカ如キモ其中含ム所ハ皆高遠深微ノ議論ニシテ多クハ從前人ノ未タ發セサリシ所ナリ論題如何ニ鄙野ナルモ少モ以テ恥ト爲サス其比喩ヲ用フルヤ務テ近クシテ知リ易キ者ヲ取リテ敢テ典雅ナルヿヲ求メス蓋シ彼ノ詭邪派ノ學士輩務テ自ラ夸大ニシテ其人ト語ルヤ常ニ高雅ノ言辭ヲ慣用シテ以テ自ラ得タ

リト爲セリ故ニソクラットハ故サラニ之ニ反シテ鄙俗ノ言ヲ爲シテ而シテ其旨趣ニ至リテハ理學深微ノ極ニシテ固ヨリ彼輩ノ企及スル所ニ非ス曰ク人心中包有スル所ノ眞理ハ純一ニシテ且ツ窮極有ルヿ無シ至テ淺近ナル事項ト雖モ至テ卑下ナル人物ト雖モ其中自ラ幾分眞理ノ潛伏スル有テサル莫シソクラットノ明識ナル早ク是ニ察スル有リ故ニプラトン著ハス所ノ「パンケー」ノ書中アルシビヤードノ言ニ曰ク嗚呼ソクラットハ彼ノ彫刻家ノ工場ニ陳スル所ノ「シレーンヌ」ニ類スル有リ其外貌奇怪ナリト雖モ其中ヲ窺フヿハ莊嚴ナル神像ノ在ル有リ豈尊フ可キノ至リナラス哉

アルシビヤード又曰クソクラットノ諸說タルヤ始テ之ヲ聞クトキハ極テ鄙野ニシテ且怪迂ナルヲ覺ユ蓋シ深意ハ常ニ其俚雜ノ言語ノ中ニ潛伏シテ時時其光輝ヲ發見スルノミ故ニ聽ク者若シ能ク其言辭ヲ捨テ、其意ヲ取ルヿハ皆盡ク高遠ノ旨義ヲ極テ事理ニ切當スル者ニシテ他人ノ夢ニモ見ルヿ能ハサル所ナルヿヲ知ル又曰クソクラットノ議論ヲ聽クトキハ極テ無禮ニシテ喜テ他人ヲ刺譏スル者ニ似タリ其實ハ然ラスシテ言フ所皆人生ノ美徳ヲ形容シ神明ノ光輝有ラシムルニ至ル云々

ソクラットノ能ク人ト論辨シテ道徳ノ說ヲ主張シテ人ヲシテ感動セシムルヿ此ノ如クナル所以ノ者ハ他無シ彼レ其心自ラ德義ヲ愛好スルヿ太甚シテ自ラ禁スルヿ能ハス故ニ其發シテ辭ニ見ハルヽ者能ク人心ヲ動カシテ人ヲシテ亦自ラ禁スルヿ能ハサラシムルナリ彼レ其心深ク以爲ラク凡ソ人心ノ中ニ於テ愛好ス可キ者德義ニ踰ユル莫シト乃チ其言ニ曰ク吾レ唯一卑近ノ學ニ通セリ愛情ノ學ノ謂ナリト彼レ其人ヲ愛スルノ學ヲ謂テ卑近ノ學ト曰フト雖モ其心ハ則チ以爲ラク唯是レ以テ學ト爲ス可キノミ餘ハ皆取ルニ足ラスト

ソクラットノ其旨趣ヲ主張スルノ手段更ニ二有リ一ハ瑣屑ノ事項ニ就テ理義ヲ發見シ層累シテ上リ以テ大理ニ透徹スルヿナリ一ハ事物ヲ判斷シテ其差別ノ在ル所ヲ發シテ各々次序ニ就カシムルヿナリ故ニアリストットト曰

クソクラットノ意ヲ創シテ發見セシ所ノ者蓋シ二事有リ旁推ノ法ナリ解釋ノ法ナリ

ソクラットト以爲ラク學問ノ道他ナシ能ク事物ヲ解釋シテ類別シ各々ヲシテ其當ニ居ル可キ所ノ處ニ列セシメムルヿ是ノミト是ニ於テ先ツ事物ニ就テ若干區ヲ立テ區々相合シテ遂ニ全體ニ達スル即チ小ヨリ大ニ透リ卑ヨリ高ニ達スルノ說ナリ而シテ以爲ラク是ノ如キ者ハ獨リ論說ノ道必ス然ルニ非スシテ卽チ行爲ノ際ニ於テモ亦當ニ必ス然ル可シト

ソクラット嘗テ云ヘリ眞ノ信心有リト稱ス可キ者ハ他ニ非ス明ニ何ノ宗旨カ最モ正理ニ合スルヿヲ知ル者是ナリト而シテ其能ク之ヲ知ル者ハ能ク之ヲ行フト曰ハサル所以ノ者ハ其意以爲ラク是固ヨリ言ヲ待タスシテ明ナリ智慧一タヒ之ヲ知ルトキハ行爲ノ際之ニ負カント欲スルモ得可ラスト

ソクラットノ理學タル虛靈說ノ最モ高層ニ達セシ者ナリ故ニ其議論ノ効其行爲ノ際ヲ論スルニ及ヒテ將ニ大ニ發越スル有ランストスソクラットノ人ノ

行爲ヲ論スルヿ極テ新奇ニシテ且ツ最モ勇斷ニシテ實迹ト背馳スルヿヲ顧ミス以下之ヲ敘セン

○第三　行爲ノ論

ソクラットノ意以爲ラク行爲ノ學卽チ道德ノ學ト理學トハ相合シテ一ヲ成ス者ナリ故ニ理學ニ通達シテ明ニ善不善ノ何物タルヲ知ル者ハ其行爲必ス正クシテ卽チ有道ノ人タルヿ疑無シト蓋シ知行合一ノ旨趣ナリ故ニクゼノフォン其師ノ言ヲ擧ケテ曰ク君子ナル者ハ旣ニ言有リテ亦德有リ天下ノ事ニ就テ能ク輕重高下是非善惡ヲ識別シ其言論ノ際ト行爲ノ時トヲ論セス一々事理ニ合シテ違ハス善ナレハ則チ之ヲ言ヒ之ヲ行ヒ不善ナレハ則チ言ハス亦行ハス是ノ如キノミ

學問ノ道タル諸種ノ旨義ニ就テ區ヲ設ケ類ヲ置キ其善ナル者ハ最モ上ニ居ラシメ其不善ナル者ハ最モ下ニ居ラシメ善ノ中ニ就テ又大小輕重ヲ定メテ相擾レサラシム夫レ理論是ノ如ク明白ナルトキハ其行ヲ出スノ際之ニ

逸ハント欲スルモ得可ラスシテ必ス有德ノ人ト爲ルヲ保ス可シ故ニ曰ク學問既ニ熟スルヰハ道德モ亦進長スト又曰ク人若シ其心中ニ於テ小善小不善大善大不善ノ旨義ヲ序列スルヰハ亦其行爲ニ於テ之ヲ序列シテ違フヿ無シ心ノ最モ上ト爲スル所ノ者ハ亦最モ之ヲ上トス是モ必然ノ勢ナリ人能ク眞ニ論ジ得テ恰好ナルヰハ亦能ク行ヒ得テ恰好ナリ故ニ有道者ト爲ラント欲セハ唯當ニ理學者ト爲ル可キノミ

若シ果シテソクラットノ言ノ如クナルヰハ吾人心中具有スル所ノ自由ノ性ハ當ニ之ヲ何ノ地ニ置ク可キ乎試ニ人心ノ實迹ニ就テ之ヲ點檢スルニ人ノ心中自ラ一個ノ德有リテ能ク自ラ左右スルヿヲ得是ニ於テ乎我カ心ニ於テ明ニ之ヲ善トシ之ヲ不善トスルモ一タヒ斷スルヰハ其善トスル所ヲ行ハスシテ其不善トスル所ヲ行フヿヲ得所謂心ノ自由ナリソクラットノ言ニ從ヘハ此自由ノ德ハ果テ何ノ地ニ置ク可キ乎ソクラットノ言ニ從ヘハ心ノ善トスル所ニシテ之ヲ行ハサルヿハ是レ心自ラ矛盾スル者ニシテ決テ無キ事ナリ故ニ其言ニ曰ク凡ソ正義及ヒ一切ノ德行ハ皆智識ナリ夫レ事ノ義ニ合スル者及ヒ一切ノ德行ハ皆善ニシテ皆美ナリ人苟モ其善ニシテ美ナルヿヲ知ルヰハ之ヲ行ハサラント欲スルモ得可ラスト又曰ク自ラ知リテ惡ヲ爲ス者ハ天下之レ有ラスソクラットト嘗テ人ノ論ヲ爲シテ或ハ自ラ知リテ惡ヲ爲ス者有リト言フヲ聞キ之ヲ駁シテ曰ク天下豈此ノ如キ者有ラン哉若シ天下或ハ自ラ知リテ惡ヲ爲ス者有ルヰハ之ヲ自ラ知ラスシテ惡ヲ爲ス者ニ比スレハ其心術猶尙ホ美ナリト謂ハサルヲ得ス何トナレハ彼レ既ニ惡ノ何物タルヲ知ルヰハ亦美ノ何物タルヲ知ルヲ以テ一日善ニ進ムヿヲ得可ケレハナリ然レ𪜈是決テ無キノ事ナリトソクラットノ理學ハ其本旨其效果並ニ人心自由ノ德ヲ容レスシテ早ク已ニ後世旨趣行爲一體ノ說ノ漸ヲ爲セリ

最大ナル者卽チ己ノ眞ノ福利ヲ以テ行爲ノ本旨ト爲スヰハ是ニ於テ一旦行ヲ

出スニ臨ミテハ必ス己ノ益ノ最大ナル者ニ達ス可キ行爲ヲ擇ヒテ之ヲ取ル然ルニ人ノ益ノ最大ナル者ハ正ニ天下ノ大益ナリ故ニ人苟モ天下ノ大益ノ在ル所ヲ知リ又己ノ大益ト天下ノ大益ト同一ナルヲ知ルトキハ必ス之ヲ得ルノ手段ヲ求メテ自ラ有德者ト爲リテ避ル能ハス

是ニ知ル正義及ヒ諸德行ハ唯智慧ニ由ル人若シ惡ヲ爲ストキハ是其心誤リテ惡ヲ以テ善ト爲スカ故ナリ一日其心ノ迷ヒ誤テ除去スルトキハ其惡行自ラ去リテ復タ來ルヿ無シ

是ニ知ル德行ノ類極テ多シト雖モ之ヲ總フルトキハ唯一有ルノミ曰ク智ナリ故ニ智ノ力心ノ斷行ノ能ト合スルトキハ勇ト爲リ肉體ノ願欲ト合スルトキハ寡慾ト爲リ他人ト交際スル道ト合スルトキハ義ト爲リ神ニ事フルノ道ト合スルトキハ信ト爲ル夫レ智、勇、寡慾、義、信是所謂ソクラットノ五德ニシテ其實ハ皆智ニ由リテ生スル者ナリ

夫レ義モ亦智ナリ故ニ人々相交ハルノ道ニ係ル法律ニ循フテ敢テ違ハサ

ルヿ是正ニ義ナリ然ルニソクラットノ果シテ何ヲ以テ眞ノ義ノ法律ト爲スヲ是果シテ有字ノ法律乎曰ク然ラス所謂義ノ法律ハ無字ノ法律ニシテ天理ノ自然ニ發シテ卽チ神ノ命スル所ナリ

義ノ法律ハ天理ニ原本ス何トナレハ此法律ハ正ニ道ニシテ而シテ道ハ天理ノ本體ナレハナリ義ノ法律ハ神ニ出ツ何トナレハ是本ト神ノ定ムル所ナレハナリ故ニクゼノフォンノ書中ソクラットノ言ニ曰ク汝果シテ此法律ヲ以テ誰ノ手ニ出タリト爲ス乎是正ニ神ノ著定シテ吾人ニ命スル所ナリ且ツ義ノ法律ヲ以テ神ノ命ト爲スヿヲ徵ス可キ者更ニ一有リ曰ク是法律タル其中自ラ賞罰ノ柄ノ存スル有リテ外ヨリ之ヲ附スルヿヲ須ヒス神ノ命スル所ニ非サルヨリハ何ヲ以テ是ニ至ラン

又曰ク人ノ定ムル所ノ有字ノ法律ハ之ヲ犯シテ而シテ罰ニ罹ラサル者頗ル衆シ神ノ定ムル所ノ無字ノ法律ニ至リテハ苟モ犯ス有ルトキハ必ス之カ罰ヲ受ク是ノ如キ者何ソヤ神本ト是法律ヲ作ルニ方リ苟モ之ヲ犯ス者ハ自

然ニ罰ヲ獲テ遁ルヽヿ能ハサラシメント欲シテ豫メ之カ計畫ヲ爲セルヲ以テナリ夫レ是法律ハ善ナリ之ヲ犯スヿハ不善ナリ不善ヲ爲ス者ハ必ス害ヲ受ク唯早晩ノ異有ルノミ夫レ法律ヲ著定シ一條毎ニ其中目ラ罰目有リテ遁ルヽヿ能ハサラシムル是ノ如キ者ハ高ク人類ノ上ニ出ル者ニ非スンハ何ヲ以テ能ク是ノ如クナラン哉

從前理學家往々以爲ラク法律ト道理トハ動モスレハ相容レスト卽チ詭邪派ノ學士ノ如キハ是說ヲ持スルヿ尤堅カリキソクラット出ルニ及ヒテ以爲ラク是二ノ者相容レサルノ理ナシ義ニ合スル者卽チ法律ナリ義ニ合スルヿ有字ノ法律ノ則チ取ル所ナリト

ソクラット又以爲ラク仁モ亦義ノ中ニ在リト蓋シソクラット其初年ノ時ニ在リテ以爲ラク我レニ加フルニ益チ以テスル者ハ我モ報スルニ益チ以テスル者ハ我モ亦報スルニ害チ以テス是義ナリト是我ニ加フルニ害チ以テスル者ハ我モ亦報スルニ害チ以テス是義ナリト是說ヤ古昔學士大抵之ヲ持セサル莫シソクラット晩ニ此說ノ非ナルチ悟リテ

乃チ以爲ラク害トハ不善ノ謂ナリ何人ト雖モ我レ決シテ加フルニ不善チ以テスルヿチ得スト其言ニ曰ク舉天下ノ人我レ皆善チ以テ之チ待ツ可シト故ニクゼノフォン其師チ評シテ云ヘリ「フィラントロップ」ナリト「仁人ノ謂ナリ」ソクラット既ニ仁慈チ以テ人ノ當ニ務テ爲ス可キ所ト爲ス是ニ於テ婦女チ以テ男子ト相等クシテ尊卑ノ別無シト爲セリ其他奴隷人チ辱視シ及ヒ諸工業ノ屬チ賤ムヿチ非トシテ之カ說チ爲シテ大ニ古昔ノ陋習チ破レリ是皆其仁慈ノ心ノ發スル所ナリ

政治モ亦一學問ナリ是ニ於テ以爲ラク政權ハ必ス當ニ最モ識力有ル者ノ手ニ委ス可シ其數ノ多寡ハ問フ所ニ非スト

ソクラットノ政術ニ於ケル其本旨此ノ如シ因リテ其意ノ歸スル所チ推スキハ必ス貴族政治チ以テ最モ理ニ合スト爲スニ至ル但ソクラットノ言ニ政治モ亦學識ナリト爲スハ人將ニ曰ハントス其政チ行フノ道果シテ如何貴族政治ノ物タル多クハ威力ニ藉リテ施令スル者ナリソクラットノ意モ亦是

ノ如クナル乎若シ果シテ是ノ如クナルトキハ是其說前後全ク相反スルヲ致サン故ニソクラット意以爲ラク學識ナル者ハ本ト智慧ノ中ニ存シテ而シテ亦人ノ智慧ヲ以テ標的ト爲ス者ナリ若夫レ力ハ有形ノ物ニシテ人ノ軀體ノ上ニ施ス者ナリ是ノ如キ者豈以テ施政ノ法ト爲ス可ケンヤ

是故ニ政ナル者ハ人ノ心ヲ服スルヲ以テ道ト爲ス者ナリ夫レ人ノ心ヲ服スルトハ己ノ識ル所ヲ以テ之ヲ人ニ傳フルノ謂ナリ是固ヨリ政ノ術ナリ是ニ知ル政ハ有識者上ニ莅ミテ無識者下ニ奉シ智慧ト學識トヲ以テ之ヲ衆ニ傳フル是ノ如キノミ是ニ由リ之ヲ觀レハ政ヲ爲ス者ハ必ス衆ノ心服スル所ニ非サレハ不可ナリ衆ノ智慧ノ可トスル所ニ循ヒ衆ノ意欲ノ願フ所ニ率フテ之ヲ令スルニ非サレハ不可ナリ

當時アテーンヌノ政ニ於テソクラットノ最モ不滿ナリシ所以ノ者ハ必スシモ其制度ノ民主旨義ニ基キシカ爲メニ非スシテ其施令ノ間動モスレハ抑壓ノ跡有ルト偶然ノ爲ニ任スノ迹有リシカ爲メナリ故ニソクラット曰ク凡ソ令スル所何人ノ意ニ出ルヲ問ハス苟モ人心ヲ服スルニ足ラスシテ强テ之ヲ命スルトキハ抑壓タルヲ免レスト

又凡ソ政治ニ係リテハ偶然ノ爲ニ任スルヿ有ル可ラス偶然ノ爲トハ何ソヤ籤ヲ抽テ事ヲ決スルノ類是ナリ夫レ抑壓ト偶然ノ爲トハ學識ノ効ニ反スルヿ是ヨリ甚キハ莫シ是ソクラットノ深ク時政ニ滿タサリシ所以ナリ

○第四　ソクラットノ宗教ノ說

クセノフォンノ言ニ據レハソクラットノ子弟ヲ敎誨スルヤ首ニ之ヲシテ神ノ現在スルヿト神德ノ莊嚴ナルヿトヲ知ラシムルヿヲ務メ徹ヲ擧ケテ之ヲ證セリ而シテ所謂徹證ハ二有リ一ハ之ヲ世界庶物ノ効果ニ取レリ

吾人ノ心中自ラ靈妙ナル智慧ノ在ル有リ然ルニ此智慧タル吾人ノ自ラ造リシ所ニ非サルヲ以テ必ス本原スル所有ル可シ顧フニ世界庶物ヲ造出セシ所ノ本原ハ正ニ吾人ノ智慧ノ由リテ出タル所ナラン是ニ知ル世界自ラ

一大智慧ノ在ル有リテ卽チ所謂神ナリ此レ其徹チ庶物ノ原因ニ取ル所以ナリ

世界庶物チ觀察スルニ皆各々森然トシテ次序有ラサル莫シ是決シテ偶然ノ事ニ非スシテ必ス自ラ目的ノ在ル有リ且ツ吾人ノ四體五官ノ如キ各々皆常職有リテ其機關ノ整齊ニシテ巧緻ナルニ實ニ感嘆ニ堪ヘス加之庶物ノ相排列スル一モ無用ノ者有ルニ無クシテ殊ニ吾儕人類ノ益チ爲スカ爲メニシテ設クル者ノ如シ是必ス一大威德チ具スル者有リテ是ニ至リシニ疑ヒ無シ此レ其徹チ庶物ノ效果ニ取ル所以ナリ

夫レ徹チ庶物ノ效果ニ取リ以テ神德チ證スルニ是ソクラツトノ意此チ以テアナキザゴールノ說ノ未タ足ラサル所チ補ハント欲セリ蓋シアナキザゴール云ヘリ物皆智慧卽チ神ノ智慧ノ義ノ生スル所ナリトソクラツト以爲ラク是言未タ以テ造物ノ本原チ盡スニ足ラス當ニ曰フ可シ夫ノ智慧ハ善チ以テ目的ト爲ス其庶物チ造リシ所以ナリト

ソクラツトノ所謂神ハ純乎一ナル者ナリ對敵有ルニ無シ夫レ世界ノ物タル萬物チ統ヘテ一ナリ然レハ則チ其之チ造リシ所ノ神モ亦必ス一ナラサル可ラス且ツ吾人四肢百體有リト雖モ精神ニ至リテハ則チ一ナリ神ハ世界ノ精神ナリ豈二有ル容ケン哉故ニソクラツトノ神チ稱スルヤ常ニ單數ノ語チ用ヒテ乃チ云フ人類動物及ヒ衆星チ作リシ所ノ者ト而シテ是者ノ語ニ配スル必ス單數ノ活字チ以テセリ

當時希臘人皆神チ以テ衆多ナリト爲シ神チ稱スルヤハ常ニ複數ノ語チ用ヒテ乃チ群神ノ義チ著ハセリソクラツトモ亦或ハ時ニ世俗ニ從フテ複數ノ語チ用フルニ有リ是時ニ在リテハ所謂神ノ字ハ特ニ神物若クハ天ノ靈物ノ類チ指スノミ蓋シ天ノ尊者ノ屬之チ人類ニ比スルヤハ固ヨリ勝サル有リト雖モ之チ造化神ノ完粹無疵ナルニ比スルヤハ眞然相及ハス故ニソクラツトノ所謂群神ハ特ニ世俗ニ從フテ此屬チ指スノミ

且ツソクラツトノ神チ以テ純一ト爲セシニハ左ノ言ニ徹シテ益ゝ明ナリ曰ク

凡ソ群神ノ屬誠ニ我儕ニ與フルニ利益ヲ以テスト雖モ實ハ眞ニ我儕ニ益スルノ意有リテ爾ルニ非ス若夫レ世界庶物ヲ造出シ及ヒ之ヲ調齊スル所ノ神ニ至リテハ然ラス其威德廣大無邊ニシテ凡ソ吾人ノ目ニ呈スル所ノ利益ノ類ハ皆是神ノ爲ス所ニシテ燦然トシテ昭明ナリ但其物タル吾人未タ之ヲ見ルヿ能ハサルノミ且ツ大陽ノ如キ其吾人人類ニ益スルヿ是ノ如ク其レ大ナリ然レヒモ其形タル吾人ノ目能ク之ヲ見ル固ヨリ神ノ靈妙不可思議ナルカ如ク ナラス看ス乎彼大陽ハ吾人ノ之ヲ觀察スルヿヲ許サス故ニ吾人若シ大陽ヲ望觀シテ之ヲ久クスルヒハ必ス明ヲ失フニ至ル此レ其德、神ニ及ハサルヿ遠キニ非ス乎

又曰ク凡ソ吾人具有スル所ノ諸物ノ中尤モ神ノ德ニ肖似スル者ハ精神ニ如クハ莫シ夫レ是精神ヤ吾人ノ體中ニ居テ常ニ使令スル有リ然レヒモ吾人之ヲ見ント欲スルモ得可ラス是ニ由リテ之ヲ觀レハ凡ソ目ニ視ル可ラサル者ハ目ニ視ル可キ者ニ比シテ更ニ尊フ可キヿ知ル可シ汝等當ニ諸ヿ目ニ

視ル可ラサル者ヲ賤ムヿ勿レ但其効用ノ目ニ視ル可キ者ヲ見テ以テ夫ノ純一無對ノ神ヲ崇敬ス可キノミニシテ且永久不滅ノ德有リ其言ニ曰ク神ハ同一時ニ萬物ヲ視テ遺スヿ無ク萬事ヲ知リテ漏スヿ無ク到ル處ニ視在シテ隨フ處ニ監察ス云々

ソクラットノ神ノ威德ノ現在スルヿヲ信スルヿ其極ニ至レリ是ニ於テ以爲ラク神ハ或ハ時ニ賢哲ノ人ヲ擇ヒテ隱然之ト交接スト蓋シ是時ヤ神智自然ニ其人ニ憑依シテ其レヲシテ自ラ知ラサラシム而シテ其人ハ神智ノ力ニ賴リテ能ク未來ノ事ヲ言フテ之ヲ中ツルヿヲ得是即チソクラットノ稱シテ神ノ徵及ヒ神ノ敕語ト爲セシ所ニシテ世人ノ稱シテソクラットノ神憑ト爲セシ所ナリソクラット是ニ於テ乎理學者ニシテ巫祝ニ近似セシト謂フ可シ

○第五　ソクラットノ獄○釋言○死刑

ソクラットノ理學タル當時ノ輿論ニ反シ習尙ニ戾リシヿ殊ニ甚シ蓋シ其言

フ所一モ他人ト同キ所無ク其爲ス所一モ他人ト似タル所無シ是ニ於テ其言論其行爲並ニ世人視テ以テ奇怪ニシテ世ヲ惑ハスト爲セリ而シテソクラット略ホ顧忌スルヿ無ク凡ソ其不可トスル所ハ駁擊シテ餘力ヲ遺サス又其言フ所往々世人ヲ嘲謔スルカ如クニシテ世人絶エテ其深意ノ在ル所ヲ喩ルヿ無カリキ

プラトン云ヘリ世人ソクラットヲ目シテ驕慢ニシテ好テ人ヲ調弄スル者ト爲セリト

ソクラット常ニ自ラ韜晦シテ知曉スル所無キ者ノ如シ然レ𪜈世人ハ明ニソクラットノ實ハ自ラ以テ遠ク衆人ニ超ユルト爲セシヿヲ知レリ且ヤソクラットノ説タル其庸衆人ノ意ニ違忤セシ處極テ多カリキ之ヲ例ヘハ曰ク人ノ惡ヲ爲スハ皆自ラ知ラスシテ之ヲ爲スナリ曰ク之ヲ知ル者ハ必ス之ヲ行フナリ曰ク學識衆ニ出ル者ニシテ始テ人ノ上ト爲ルヿヲ得ルナリ曰ク籤ヲ抽テ以テ法官ヲ命スルハ理ニ戻ルノ甚シキナリ曰ク材德有ル者ハ神智或

ハ之ニ憑依スルヿ有ルナリ加之ソクラットノ詭邪派ノ説ヲ駁スルヤ其武器ヲ奪フテ之ヲ擊タント欲シテ故ラニ詭邪家ノ言辭ヲ爲セシヿ屢〻ナリ是ニ於テ世人往々ソクラットヲ目シテ詭邪派ノ學士ト爲シテ區別スルヿ無カリキ

詭邪派ノ學士ノ其詭譎ノ言ヲ爲スヤ其意人心ヲ蠱惑スルニ在リソクラットノ詭邪家ノ言ヲ爲スヤ其意人心ヲ啓牖スルニ在リ而シテ世人ハ其人心ヲ啓牖スルヿヲ認メスシテ其人心ヲ蠱惑スルヿヲ疑ヘリソクラットノ人ト爲リヤ明神ノ淨身ヲ以テ妖魔ノ怪服ヲ被リタルカ如シ而シテ世人ハ其怪服ヲ見テ其淨身ヲ見ス其之ヲ疑忌スルニ至リシヿ蓋シ怪ムニ足ラサルナリ」

アテーンヌ人ノソクラットニ於ケル心竊ニ之ヲ崇敬シテ亦竊ニ之ヲ調笑シ心竊ニ之ニ安ンスル有リ亦竊ニ之ヲ猜フ有リ是其晩年ニ至リテ禍ヲ被ムリシ所以ナリ

ソクラットノ人ノ猜疑ヲ受ケシハ其少壯ノ時ヲ最モ甚シト爲ス蓋シソクラット

ノ壯ナルヤ事ヲ好ムヿ尤モ甚シク進取ノ氣極テ鋭コヲテ好テ他人ノ言爲ス
ル所ヲ觀察シ苟モ心ニ解セサル所有ルトキハ之ヲ問訊シ必ス己カ心ニ厭足
シテ後已ム又凡ソ當時ノ人ノ疑フテ未タ決セサル所ノ論題ニ係リテハソ
クラット皆己カ創スル所ノ旁推ノ法ト序列ノ法ヲ用ヒテ之ヲ論斷シテ忌憚
スル所無シ且當時彼ノ詭邪派ノ學士輩大率皆格物學及ヒ星學ノ類ヲ講求
スルヿヲ業トシテ而シテソクラットモ亦此種ノ學術ニ修メ動モスレハ此種
ノ學術ニ係リテ他人ト說話スルヿ有リ故ニ庸衆人往々ソクラットヲ以テ亦
詭邪派ノ學士ト爲セリ夫レ詭邪派ノ學士常ニ其學術ヲ夸燿シ其辯博ヲ播
揚シテ衆ノ憎ム所ト爲レリ而テソクラットモ亦詭邪派ノ學士ノ修メシ所ノ
學術ヲ修メ且好テ人ト問答シテ顧忌スルヿ無キヿハ庸衆人ノ之ヲ一混シ
テ同一派ノ學士ト爲シテ其心術ノ相反スル所以ヲ覺ラサリシハ深ク怪ム
ニ足ラサルナリソクラットノ壯時ノ行狀ハプラトン著ハス所ノ「フェドン」ノ書
中ニ之ヲ詳載セリ

當時アテーンヌノ民苟モ物理ヲ尋求シ若クハ道學ヲ講求シ若クハ宗教敎
育政治等ノ事ニ係リ新奇ノ說ヲ創スル者ヲ見ルトキハ皆之ヲ目シテ理學士
ト爲セリ而シテ世人ノ意苟モ理學士ナルトキハ皆詭邪派ノ學士ニシテ皆世
ヲ惑ハシ民ヲ誣ユルノ人ナリト卽チ詩人アリストファンヌノ如キハ當時號シ
テ詭邪派ノ學士ト爲ス所ノ者ニ於テ憎疾ノ心ヲ懷ク尤モ甚シクシテ往
々詩ヲ作リテ之ヲ譏刺シ若クハ之ヲ嘲罵シテ餘力ヲ遺サス而シテソクラッ
トヲ以テ之カ巨擘ト爲セリ

アリストファンヌノ意以爲ラクソクラットハアテーンヌ人中ノ最モ世ニ顯ハ
レタル者ニシテ其言辭其行爲最モ奇怪ニシテ忌憚スル所無ク其辯論最モ
雄偉ニシテ人ヲ惑ハスニ足ル蓋シ凡ソ新異ノ說ヲ爲ス者ノ中ニ就テ其俗
ヲ傷ブリ風ヲ害スルヿ最モ甚シトアリストファンヌ善ク戲謔ノ院本ヲ作レ
リ故ニ其ソクラットノ講說ヲ聽クヤ必ス之ヲ評シテ云ヘリ此レ狂戲者ノ巨
擘ニシテ詭邪家ノ領袖ナリト

余ヲ以テ之ヲ考フルニアリストフアンヌノソクラットヲ憎疾スルヿ是ノ如クナリシ所以ノ者ハ或ハソクラット嘗テアリストファンヌノ詞章ニ浸淫スルヲ譏リテ之ヲ調謔セシナラン否ラサレハ或ハソクラットノ街衢ニ立チテ所謂人ヲ輔ケテ眞理ヲ分娩セシムルノ際アリストファンヌモ亦其問訊スル所トナリシナラン夫レアリストファンヌノ詞客ノ故ヲ以テソクラットノ爲メニ調謔ノ辭ノ中實ハ極テ誠實ノ意ヲ含ミシヲ覺ラスシテ深ク以テ怨ト爲セシヿ是ノ如クナルヲ致セリ然ラスンハアリストファンヌ何ソ遽ニソクラットヲ嫉ムヿ是ニ至ラン哉

是ヨリ後二十許年コシテメリチュース、アニチュース、リコンノ三人ソクラットヲ訴ヘテ曰ク是詭邪ノ言ヲ爲シテ世人ヲ蠱惑スト其實ハ是三人者政術ノ故ヲ以テ深ク怨ヲソクラットニ懷キテ是ニ至レリ

是三人ノ中ニ就テメリチュース最モソクラットヲ恨ム有リ是ニ於テ紀元前三百九十九年文書ヲ爲リソクラットヲクラット逆不道ノ罪有リ我邦人信奉スル所ノ群神ヲ拜祠セスシテ別ニ自ラ神ノ說ヲ爲シテ衆人ヲシテ之ヲ信奉セシメント欲シ又詭譎ノ辯ヲ振フテ以テ少年子弟ヲ蠱惑ス宜ク罰スルニ死ヲ以テスス可シト

メリチュースノ此訴書ハ其後藏シテシベールノ寺院ノ書庫ニ在リ紀元二百年猶ホ存セシト云フ

メリチュースノ書ニ就テ考フルヿハソクラットノ少年ヲ敎誨セシヲ以テ國家ニ害有リト爲シテ以爲ラク之カ心志ヲ蠱惑スト而シテ細ニ其意ヲ尋繹スルヿハ蓋シ曰クソクラットノ少年ヲ蠱惑スルヤ三種ノ目有リ即チ學識及ヒ道德ノ上ヨリシテ言フヿハ其貴族政治ニ傾嚮スルノ說之カ害ヲ爲シ其宗敎ノ上ヨリシテ言フヿハ其群神ヲ信奉セサルノ一事之カ害ヲ爲スト メリチュースノ深意蓋シ此ノ如シ然リ而シテ其中政治ノ事ニ論及セサリシ所以ノ者ハ亦其故有リ

蓋シアテーンヌ政府其トラジピュールノ戰勝ノ後誓ヲ爲シテ政治ノ罪過ヲ赦宥スルノ意ヲ令セルヲ以テ是ヲ以テメリチュース故サラニ政治ノ事ヲ言ハス唯曖昧ノ言ヲ爲シテ乃チ云ヘリ少年ノ心志ヲ蠱惑スト然レ𪜈ソクラットノ獄タル實ハ政治ノ罪多キニ居レリ卽チ其宗教ノ說ノ如キモ以爲ラク從前ノ宗旨ニ背戻シ國家ノ典例ニ違悖セルヲ以テ之ヲ放過スルヿハ人心ヲ擾亂シテ再ヒ國ノ禍ヲ釀出セントソクラットノ獄タル政治ニ關係有リシヿ尤モ明白ナリ故ニ其審斷ヲ受クルヤ尋常ノ法衙ニ於テセスシテ特ニ政治ニ關係有ル罪人ヲ審斷スル法衙ニ於テシテ卽チ「エリヤスト」之カ判官タリ「エリヤスト」トハ抽籤ノ法ヲ用テ庶民ノ中ヨリ選ム所ノ法吏ノ謂ナリ夫レ抽籤ノ法ヲ用テ民ニ命シテ法吏トス爲スヿハソクラットノ常ニ嘲笑セシ所ナリ而シテ今其法吏ノ處斷ヲ受ルニ至リシハ豈悼ム可キニ非ス乎

ヂオジエーンヌノ言ニ據レハソクラットノ獄ヲ斷シタル法吏其員數蓋シ五百五十六ナリシト云フ夫レ是五百五十六人ハ庶民ノ中ヨリ選命スル所ニシテ卽チ商賈及ヒ水夫ノ屬ナリ顧フニソクラットノ獄タル其事政治及ヒ學術ニ關係スル者ニシテ古昔諸獄ノ中ニ就テ最モ重大ト稱ス可キ者ナリ而シテ不學無術ノ愚民ヲ以テ法官ト爲シテ之ヲ處斷セシメタルハ何ソ其惑ヘルヤ

夫レソクラットハ理學ノ大家ナリ而シテ賈豎氷卒ノ屬ノ前ニ於テ自ラ辨疏センコトヲ欲ス是其手ヲ下スニ艱難ナリシヿ如何ソヤ設令今日ニ於テ一理學士ヲ引テ重罪裁判所ニ至ラシメ陪審ノ前ニ於テ其レヲシテ理學ノ說ニ係リテ分疏セシメハ果シテ能ク陪審ノ心ヲ服スルヿヲ得可キカソクラットノ獄何ヲ以テ此ニ異ナランソクラットヿ自ラ分疏スルヿヲ願ハス然レ𪜈法律ノ定ムル所有ルカ爲メニ一二辯論スル所無キヿヲ得ス乃チ揚聲シテ曰ク公等今余カ言フ所ヲ以テ余カ自ラ禍ニ免ルヽヿヲ求ムルカ爲メナリト爲スヿ勿レ余ハ實ニ公等ヲ愛

スルカ爲メニ一言セントス抑〻余ノ道學ヲ倡說スルヤ神、實ニ余ヲ以テ公等ニ贅フテ益スル所有ラシメント欲スル然ルヲ公等察セスシテ余ヲ罰スルニハ恐クハ公等罪ナキ神ニ獲ン顧フニ公等モ亦或ハ嘗テ一タヒ罪ヲ獲テ法廷ニ出テ流涕シテ愛ヲ法官ニ乞ヒ曾テ以テ恥ト爲サス法官ノ仁心ヲ感發スルカ爲メニ父母妻子若クハ朋友ノ屬ヲ請フテ法官ノ前ニ至リテ爲メニ分疏嘆願セシメテ自ラ羞チサリシ者有ラン今余ハ是ノ如キ羞恥ノ事ヲ爲スヿヲ好マス公等或ハ余ヲ以テ倔強ナリト爲サン此ヲ以テ罪ヲ增スモ余固ヨリ之ヲ避ケス余自ラ察スルニ余ノ禍タル實ニ將ニ輕カラサラントスル然リ而シテ肯ヘテ首ヲ屈シテ哀ヲ乞ハサル所以ノ者ハ自ラ以爲ラク是ノ如キ者ハ君子ノ道ニ非ス寃ヲ負フテ獄ニ坐スル者ハ唯當サニ務テ法官ノ忍ヲ啓牖シテ覺悟セシムルヿヲ求ム可キノミ而シテ法官タル者モ亦唯當サニ堅ク法ヲ守リテ失ハサル可シ罪人ノ意ニ順適スルカ爲メニ法ヲ枉クルカ如キハ尤モ當ニ愼戒ス可キ所ナリ

若シ然ラスシテ余ニシテ枉ケテ首ヲ俛レ哀ヲ乞フテ唯公等ノ哀念ヲ動カスヿヲ是レ務メテ遂ニ公等ヲシテ職務ノ誓盟ニ負カシムルヿ有ルヿハ是余實ニ公等ヲシテ神明ノ威德ヲ冒瀆セシムルナリ果シテ是ノ如クナルヿハ是余ノ自ラ分疏スルハ適〻以テ自ラ徽ヲ舉ケテ余ノ實ニ群神ヲ尊信セサルヿヲ證スルニ足ランノミ

ソクラットノ純明高亮ナル以爲ラク今ニ於テ我ヲ罪狀スル者並ニ法官ノ屬皆不明ニシテ情實ヲ知ラス故ニ我レ自ラ分疏セント欲スルヿハ唯其心ヲ啓發シテ之ニ曉諭スル有ルノミ然ルニ人心ノ蒙蔽ヲ破除シテ之ヲ正理ニ反ヘスヿハ一時辯論ノ能ク功ヲ奏スル所ニ非ス故ニソクラットト甚タ言フヿ有ルヲ願ハス蓋シソクラットノ其道學ヲ講說スルヤ獨リ辯論ニ由リテ人心ヲ壓服セルニ非スシテ專ラ聽者ト親和シ且ツ自ラ其行狀ヲ示シ徐々ニ其誠實ノ意有ルヲ知リテ豫メ己レニ安ンセシメテ然ル後言ヲ發シ之ヲ敎ヘ導故ニ頗ル功ヲ收ムルヿ有リ故ニ其獄ニ坐スルヤ以爲ラク我レ今行ヲ以

テ之レヲ示メスヿヲ得ス シテ妄リニ議論シテ自ラ辯疏スルモ正ニ詭邪派ノ學士ノ空言ニ類シテ絲毫モ益無キナリト是其自ラ寃ヲ鳴ラスヿヲ願ハサリシ所以ナリ

ソクラットノ意是ノ如シ是ヲ以テ其之ヲ罪狀セシ者ト及ヒ法官ヲ待ツニ於テ一種寬恕ノ狀ト愚弄ノ態ト有リテ略ホ屈撓セサルヲ致セリ

ソクラットノ意以爲ラク彼輩唯愚蒙ニシテ事理ニ通セス固ヨリ憎怨スルニ足ル無シト故ニ其寬恕ノ念タルヤ基督ノ其敵讎ニ於ケルカ如ク大慈悲ノ心ヨリ發セシニ非スシテ其胷中剛明ノ氣象ヨリ發セシナリ基督ノ其讎ニ於ケルハ仁以テ之ヲ判セシト謂フ可クソクラットノ其敵ニ於ケルハ智以テ之ヲ判セシト謂フ可シ故ニソクラットノ其敵人ヲ判斷スルヤ自ラ尊大ニシテ心ニ彼輩ノ昏愚ニシテ非ヲ以テ是ト爲シ窮ニ之ヲ愚弄スルノ態有リキ

ソクラット明ニ自ラ事理ヲ洞見シテ微笑セリ故ニソクラットノ其法官ノ屬ト語ルヤ既ニ之ヲ怒ルノ念無ク亦之ヲ愛スルノ意無シ是ヲ以テ其言フ所獨リ彼輩ノ心ヲ服セサリシノミナラス亦其情ヲ感スルヿ無クシテ屈セサルヲ見テ恐ヲ發セシムルニ至レリ

ソクラット天姿聰慧ニシテ且ツ學識有リ法官ノ屬ノ昏愚ナルヲ見テ以爲ラク是輩ノ智固ヨリ我ヲ判斷スルニ足ラスシテ我レ反リテ以テ是輩ヲ判斷ス可シト是ヲ以テ少モ難ニ免ルヽヿヲ求ムルノ意無クシテ泰然トシテ禍ノ至ルヲ待テリ蓋シソクラットノ意以爲ラク凡ソ人ノ遇フ所ノ境ハ皆神ノ命スル所ナリ故ニ君子タル者ハ其順逆ヲ問ハス皆當ニ視テ以テ善良ノ物ト爲ス可シト其意氣安閑トシテ少モ心ヲ動サヽリシヿ亦宜ナラス乎

ソクラット其言ヲ聞クヤ略ホ驚ク色無シ但其是ニ至リシハ僅々若干ノ多數ノ議ニ出テヽ全員ノ議ニ出テタルニ非サルヿヲ聞キ頗ル之ヲ異トセシト云フ

顧フニ陪審ノ徒ノソクラットヲ以テ有罪ト爲セシハソクラットノ言語動作ノ豪然トシテ屈撓セサルヲ見テ必ニ之ヲ患リテ是ニ至リシナラン設シソクラットヲシテ温言以テ自ラ解疏セシメハ或ハ赦宥ヲ獲タルモ未タ知ル可ラサルナリ

ソクラット既ニ自ラ守リテ屈スル所無ク此ニ由リテ陪審ノ爲メニ議シテ罪有リトセラレ次ニ又刑ノ宣告ヲ受ケタリ而シテ終始豪雋自ラ守ルノ態ヲ失フ[1]無カリキ當時アテーンヌノ制罪人既ニ議シテ罪ヲ獲ルトキハ必ス罪人ヲシテ自ラ考ヘテ其適スト爲ス所ノ刑ヲ擬シテ之ヲ陳述セシメ以テ常例ト爲セリ故ニ法官例ニ循フテソクラットニ問フテ曰ク汝當ニ何ノ刑ヲ受ク可キ乎ソクラット答ヘテ曰ク余カ行爲ノ當ニ受ク可キハ刑ニ非スシテ卽チ賞ナリ若シ公等義ヲ執リテ回ヘラス事理ニ通達スルトキハ諸種ノ賞ノ中ニ就テ當ニ其最モ余ニ適スル所ノ者ヲ撰ヒテ之ヲ賜フ可キノミ最モ余ニ適スル所ノ賞トハ何ソヤ請フ一ク之ヲ公等ノ爲メニ之ヲ言ハン抑モ余ハ誠心以テ國ニ益スルヲ求ムル者ナリ然ルニ家貧ニシテ身ヲ委ヲテ以テ道學ニ從事スルヲ得ス意ヲ肆ニシテ公等ニ開諭スルヲ有ラント欲スレトモ得可ラス余ノ最モ願欲スル所ハ閑暇自適ノ一事ナリ故ニ公等余ヲ賞セント欲スルトキハ當ニ禀食ヲ給シテ余ヲ「プリタネー」[2]譯者曰クアテーンヌ設クル所ノ博士院ナラン未タ之ヲ詳ニセスト雖モ延テ之ヲ養フ可キノミ顧フニ「オランピー」[3]譯者曰クアテーンノ競馬ニヌ大祭ノ名ナリ於テ賞ヲ得ル者ニ比スルトキハ余ノ如キ者ハ國家ノ最モ當ニ之ヲ褒寵ス可キ所ナリ何トナレハ彼輩ノ爲ス所ハ特ニ公等ノ耳目ヲ怡ハシムルニ過キス余ノ如キハ公等ヲ教誨シテ眞ノ樂地ニ躋ラシムルヲ求ムレハナリト」ソクラットノ是言ヤ故ラニ奇ヲ好ミテ且ツ倨傲ナルカ如シ然レトモ眞ニ道理ニ由リテ考フルトキハ誠ニ當ヲ得タル者ニシテ且ツ能ク自尊ノ道ヲ守リテ失ハスト謂フ可シ設令今日ニ在リ一理學士若クハ一政學士ノ國敎ヲ駁擊シ若クハ官政ヲ譏議セシ者有リテ之ヲ召シテ法衙ニ至ラシメ其レヲシテ自ラ律ヲ擬セシメハ此輩果シテ官ニ媚順シテ自ラ繫獄若クハ贖金ノ刑ニ

適スト陳述セン乎決シテ然ラサルナリ獨リ然ラサルノミナラス之ヲ義ニ
擯ルヒハ決テ然ルヲ得サルナリ
夫レ恭遜自ラ卑ウスルヿハ固ヨリ基督敎命スル所ノ德行ナリ然レ𪜈豪強自
ラ守ルヿモ亦道學ノ命スル所ノ節義ニ非ス乎ソクラットノ意以爲ヘラク我
レ自ラ反省スルニ未タ嘗テ人ニ加フルニ不義ヲ以テセシヿ有ラス何ノ故
ニ自ラ己レニ加フルニ不義ノ刑ヲ以テスルノ理有ラン哉我レノ行タル實
ス可クシテ罰ス可ラス何ノ畏懼スル所有リテ自ラ罰ヲ命スルノ理有ラン
哉ト
陪審ノ徒ソクラットノ答辭ヲ聞テ痛ク憤ヲ發シテ以爲ラク是言ヤ不敬ノ甚
キ者ニシテ且ツ官ノ尊嚴ヲ瀆冒シテ逆不道ナリト設令ソクラットヲシテ少
ク自ラ降屈シテ己レ實ニ罪アリ若干ノ償金ノ刑ニ應スト曰ハシメハ法官
ノ多數或ハ然リトシテ之ニ從ヒシナラン但古今官吏ノ陋習タル動モスレ
ハ誤リテ刑ヲ以テ戒ヲ垂ルヽヿヲ欲シテ必スシモ道理ニ合スルヿヲ求メ

スアテーンヌノ法官モ亦此習ノ制スル所ト爲ルヲ免レスシテ遂ニソクラッ
トヲ死ニ抵セリ今其員數ノ詳ハ得テ考フ可ラスト雖モ傳フル所ニ據ルニ
陪審ノ中原告ト意ヲ同クセシ者頗ル衆カリシト云フ
ソクラット是ノ如クニシテ死刑ヲ命セラルヽニ及ヒ少モ聲色ヲ變スルヿ無
ク徐ニ曰ク公等我レヲ死ニ抵セリ吾レ固ヨリ當ニ死ニ就ク可キノミ然レ
ヒモ公等モ亦當ニ汚辱醜穢ノ譏ヲ逭レサル可シ是固ヨリ理ノ免レサル所ニ
シテ所謂命ナリ故ニ余ノ死刑ヲ受ケ及ヒ公等汚穢ノ譏ヲ受ルヿ卽チ命ナ
リ苟モ命ナルヰハ皆善ナリ余復タ何ノ憂フル所有ラン哉
ソクラット常ニ堅ク信シテ以爲ラク凡ソ斯世ノ事皆神ノ命スル所ニシテ皆
善ナリ君子タル者唯當ニ安然トシテ之ヲ順受ス可キノミ而テ其死ニ臨ム
ニ及ヒ亦是說ヲ執持シテ少モ心ヲ動サヽリシヿ此ノ如シ
既ニシテソクラット法吏ノ中ノソクラットヲ以テ罪無シト爲セシ者ニ向フテ
與ニ語リ大ニ其心胸ヲ開テ之ヲ示メセリ蓋シソクラット其少時ヨリ是ニ至

ルマテ苟モ己レヲ處シ物ヲ待ツノ際斷スル所有ラント欲スルキハ其中心ノ眞智常ニ聲ヲ發シテ指導スル有リテ因リテ之ニ從フテ事ヲ行フテ自然ニ道ニ合スルヿヲ得タリ今死ニ臨ムニ及ヒ其中情復タ別ニ聲ヲ出スヿ無ク寂默シテ安ンスルノミ是ニ於テソクラッテーノ意深ク自ラ信シテ以爲ラク余ノ將ニ禍ニ遇ハントスルハ正ニ神意ニシテ卽チ一ノ善事ナリ斯世ニ居テ自ラ稱シテ法吏ト爲スル所ノ者大率皆昏愚ニシテ知ルヿ無シ今我レ此輩ノ手ヲ脫シ死シテ冥府ニ入ルキハ眞成ノ法吏當ニ余カ行爲ヲ判斷ス可シ是固ヨリ余ノ願フ所ナリトソクラッテーノ深ク世界皆善ノ說オブチヲ執リテシスムヲ之ヲ信セシヿ此ノ如シ

ソクラットノ其己レヲ無罪トセシ者ニ向フテ語リシ所ヲ擧ケンニ曰ク公等一日死ニ臨ムキハ深ク自ラ心ニ安ンジテ畏怖ノ心ヲ懷クヿ勿レ凡ソ善人タル者ハ其生存ノ間ト其死亡ノ後トニ論無ク決テ眞ノ禍害ニ遭フヿ無クシテ群神常ニ之ヲ護シテ放棄スルヿ無シ此レ天下ノ至道ナリ卽チ今余ノ

中略

難ニ遭フカ如キモ決シテ偶然ニ不幸ニ罹リシニ非スシテ卽チ天命ナリ是故ニ余ハ余ヲ罪狀セシ者及ヒ余カ刑ヲ斷セシ者ニ就テ絲毫モ怨ヲ懷クヿ無シ願フニ是輩ハ余カ爲メニ一モ益スル所有ルヿヲ求メスシテ唯余ニ害スルヿヲ是求メシヲ以テ余固ヨリ之ヲ怨ムヿヲ得然レトモ余ハ肯テ之ヲ怨ミサルナリト蓋シソクラットノ天命ノ說ニ從フキハ萬事皆善良ナルヲ以テ初ヨリ人ヲ怨ムノ理無クシテソクラット固ヨリ自フ之ヲ知レリソクラット次テ曰ク余彼輩ニ於テ唯一ノ懇請スル所有リ余カ兒子成長スルノ後余カ行ニ倣ハスシテ或ハ德義ヲ嗜マス財賄若クハ其他ノ物ヲ嗜ムキハ余ハ彼輩ノ余カ兒子ヲ咎責スルヿ猶ホ余ノ彼輩ニ於ケルカ如クナランヿヲ冀フナリ若シ余カ兒子絕エテ道理ニ通スルヿ無クシテ而テ自ラ以テ之ニ通セシト爲スキハ公等願ハクハ余カ兒子ヲ戒責シテ之ヲシテ自ラ愧ルヿヲ知ラシメヨ是ノ如キ者ハ正ニ余カ公等ヲ待ヲシ所以ナリ若シ公等誠ニ能ク此ノ如クナルキハ余及ヒ余カ兒子皆唯公等ノ義ヲ守ルヿニ敬服スル有ルノミ

ト因リテ別ヲ告ケテ曰ク我レ將ニ死ニ就カントス公等願ハクハ百歳ノ壽ヲ保テ願フニ我レト公等ト孰レカ得テ孰レカ失スル是獨リ神之ヲ知ルノミ人ノ能ク知ル所ニ非サルナリ

クリトンナル者ソクラッテニ勸メテ逃走セシメント欲スルニ及ヒソクラッテ堅ク拒テ從ハサリキソクラッテ常ニ法律ヲ重ンシ死ヲ輕ンスルヲ以テ人ニ勸說セリ若シ今ニ於テ逃走スルヤハ是自ラ矛盾スルナリソクラッテ豈肯テ之ヲ爲サン哉ソクラッテ常ニ以爲ラク之ヲ知ル者ハ必ス之ヲ行フト豈肯テ其行ヲ以テ其言ニ負カン哉故ニプラトン著ハス所ノ「クリトン」ノ書中ソクラッテノ言ヲ載スル有リ曰ク凡ソ余ノ平生言說セシ所ハ如何ナル患害ニ遭フモ余ハ肯テ之ヲ棄テスシテ余ノ之ヲ信スルヿ曩時ト異ナルヿ無シ凡ソ余ノ言說セシ所ハ皆無形眞理ノ域中ノ事ニシテ其光輝常ニ赫燿トシテ變渝有ルヿ無ク其崇重ス可キヿ何ソ前日ニ滅センヤ境ノ順逆ヲ問ハス余ノ之ヲ視ルヿ常ニ同シ夫レ眞智ヲ以テ眞理ヲ視ル何ノ變スルヿカ之有ラ

ン汝若シ我レニ說クニ我カ道理トスル所ニ勝サル者ヲ以テセサル片ハ汝終ニ余ヲシテ圖ヲ改メシムルヿ能ハス彼ノ庸衆ノ徒我ヲ懼トスニ童孺ヲ恐嚇スルノ道ヲ以テセンヿ欲スルモ余豈之ヲ懼レン哉余ノ自ラ誓フテ獨リ余カ中心ノ眞智ノ聲ニ聽從シテ他ノ聲ニ聽從セサルヿ一日ニ非ス今日豈遽ニ之ニ負クヿヲ得ンヤ哉

ソクラッテノ所謂道理トハ他ニ非ス己レヲ處スルニ不正ヲ以テセサルノ務是ナリ而シテ是務タルヤ極テ嚴重ニシテ絲毫モ減縮スルヿ有ルヲ得ス獨リ善人ヲ待ツニ不義ヲ以テス可ラサルノミナラス即チ不善人ト雖モ亦皆之ヲ待ツニ不義ヲ以テス可ラス況ヤ國家ノ法制ノ如キハ或ハ理ニ違フヿ有ルモ之ヲ逃避スルヿ有ルヲ得ス故ニ「クリトン」ノ書中又ソクラッテノ言ヲ載セテ曰ク不正ニ報ユルニ不正ヲ以テスルヿハ自ラ尊フノ道ヲ知ラサル者ナリ是ノ如キ者ハ事理ノ次序ヲ得サル者ニシテ道學家ノ名ニ負クト謂

フ可シ我レ豈之ヲ爲サン哉夫レ言ヲ立ツル者他人ノ謬妄ヲ駁スルニ於テ當ニ眞理ヲ以テス可シ一ノ謬妄ヲ駁スルニ他ノ謬妄ヲ以テスルノ理有ラン哉行ヲ制スル者モ亦然リ當ニ惡ニ報ユルニ善ヲ以テス可シ惡ニ報ユルニ惡ヲ以テス可ラス我レ若シ逃走スルトキハ官家及ヒ法律將ニ我ヲ以テ不正ト爲サントス我レ豈之ヲ忍ヒン哉

クリトン復タ言フ「勿レ我レ將ニ安ンシテ神ノ我ヲ導テ往ク所ノ處ニ往カントス顧フニソクラットノ是言タル其學識ノ深邃ナルヨリシテ出ツル所ニシテ必スシモ中情慷慨激發スルノ致ス所ニ非サルナリ

プラトン著ハス所ノ「フェドン」ノ書中ソクラットノ言ヲ擧ケテ其來世天道ニ係ル所ノ說ヲ示メセリ顧フニ此ハプラトンノ說ニシテ其師ノ名ニ託シテ之ヲ書ニ筆セシ者ニシテ恐クハソクラットノ死ニ臨ミ其門弟子ト語リテ精神不滅ノ理ヲ垂示セシヿハ必ス之有リシナラン何トナレハ此等ノ事ハ死ニ臨ミ之ヲ論スルトキハ極テ切實ナルヲ以テ事情ニ

由リテ考フルニソクラットノ之ニ言ヒ及ヒシヿ疑ヒ無ケレハナリ

「フェドン」ノ書中更ニ一事ノ極テ信ヲ置ク可キ者有リソクラットノ死ニ臨ミタル時ノ狀態ヲ摸寫セシヿ是ナリ蓋シ「フェドン」ノ書ニ據ルニソクラット死ニ臨ミ勇豪ニシテ且温和ニ、其讎敵ヲ待ツ寬恕ニシテ之ヲ罪スルヿ無ク唯之ヲ判セシノミ顧フニクゼノフォン著ハス所ノ「メモラーブル」ノ書第四卷ニソクラットノ其讎敵ヲ論シテ之ヲ序次シ以テ其釋義ノ法ヲ示セリ其旨趣ニ從フ片ハソクラットノ怨ヲ其讎敵ニ懷カスシテ自ラ安ンセシヿヲ知ル可シソクラットノ死ヲ視ルヿ極テ從容トシテ少モ畏懼ノ狀有ルヿ無シ彼レ其死ヲ以テ道理ノ正ニ得タリト爲シテ以爲ラク是レ其執ル所ノ言說ニ係リテモ亦一頁好ノ事ナリ一頁好ノ事ニシテ其身ニ係リテ茲ニ逃フル所ノ從容自若ノ態ノ中亦頗ル人心ヲ感動シテ悲哀ノ念ヲ生セシムルニ足ル者有リ以下之ヲ叙セン

ソクラット死ニ就クノ前其身ヲ澡浴セリ其意以爲ラク我レ死スルノ後婦孺

チシテ屍チ浴セシムルヤハ更ニ其悲哀チ增サント次ニ其三子チ呼テ至ラシム其一ハ既ニ長シテ其一ハ嬰孩ナリ又クゼノチップ及ヒ姻親數人チ呼ヒ與俱ニ語ルコト若干時ニシテ皆退カシメタリ須臾ニシテ法衙ノ小吏來リ謂テ曰クソクラット余豫メ知ル汝ノ余ニ於ケル決シテ尋常死刑ニ處セラルヽ者ノ如ク余チシテ不滿ナラシムルコト無キコトチ余嘗テ法官ノ命ニ由リテ毒チ齎ラシテ罪人ニ與フルコト屢ナリ而テ皆怒チ發シテ余チ罵詈セサル莫シ汝ノ此ニ來ルヨリ余深ク汝ノ人ト爲リチ知ルコトチ得タリ顧フニ汝ハ凡ソ此獄ニ來リタル者ノ中ニ就テ余最モ汝ノ勇剛ニシテ且溫和ナルニ敬服セリ余極テ知ル汝ノ余チ怒ラスシテ特ニ汝チ禍ニ致セシ者チ怒ルニ過キサルコチ汝固ヨリ已ニ余ノ來リテ汝ニ命スル所ノ事チ知ラン事是ニ至ル避ケント欲スルモ得可ラス汝當ニ安ンシテ之ニ從フ可シト言畢リ身チ反シテ啼哭シ卽チ退クソクラット其門弟子チ顧ミテ曰ク看ヨ是人ヤ何ソ心チ設クルノ正直ナルヤ余ノ此ニ來ルヤ彼レ屢來リテ我チ訪問シ屢我レト晤

話セリ人ト爲リ極テ眞好ナリ看ヨ其我チ哀レミテ啼泣スルコト是ノ如ク其誠實ナルコチ

ソクラット次ニクリトンニ謂テ曰ク時方ニ至レリ我レ當ニ吏ノ言ニ從フ可シト吏毒酒ノ杯チ與フルニ及ヒソクラット從容トシテ之チ取リ顏色陽々トシテ平時ト異ナルコト無ク吏ノ面チ視テ曰ク我レ少ク此酒チ灑テ以テ神ニ酬イント欲ス如何吏曰クソクラット此酒自ラ定量有リ少ク減スルコト有ルコチ得スソクラット曰ク善シ我レ神チ禱拜セント欲ス汝少ク之チ待テ我レ甚タ神ノ我チ護リテ我カ冥府ノ行旅チシテ安全ナラシムルコチ願フ冀ハクハ神ノ我カ請禱チ允許セン哉之チ頃アリテソクラット杯チ舉ケテ飲ミテ之チ酹セリ

ソクラットノ杯チ酹スチ見テ衆皆聲チ發シテ哭ス獨リソクラット泰然トシテ平常ノ如ク衆ニ謂テ曰ク卿等何ソ泣クコトチ爲スヤ我レノ往キニ婦孺ノ輩チ屏ケシハ正ニ其泣聲チ聞クコト無カラントト欲スルカ爲メナリ吾レ之チ聞

ク君子ハ死スルモ不祥ノ言ヲ爲サス卿等自ラ勉メテ之ヲ安ンセヨトプラトンノ傳フル所ニ據ルニソクラット死ニ臨ミクリトンニ謂テ曰ク我レ嘗テエスキュラップニ從フテ一雞ヲ借レリ汝必ス之ヲ還ヘスヿヲ忘ルヽヿ勿レト顧フニ是言ヤ寓意極テ深シ蓋シ死ヲ以テ一種肉體ノ生ノ治癒ト爲スノ喩ナリ

以上敘スル所ニ由リテ之ヲ考フレハソクラット堅ク其說ヲ持シテ失ハス其之ヲ信スルノ甚クシテ遂ニ其同國人ヲシテ之ヲ疑忌セシムルニ至リ而シテ其死ニ臨ミテ能ク從容トシテ平時ト異ナラサリシモ亦其自ラ信スルノ然ラシムル所ナリキ何ノ謂ソヤ彼レ其神ノ威德ト眞理ノ嚴正ナルトヲ信シ始終之ヲ護持シテ失ハサリシナリ

ソクラット既ニ死スルノ後アテーンヌ人果シテ其循フ所ノ制度ト其奉スル所ノ宗敎ノ爲メニ其最モ崇敬ス可キ理學士ヲ濫殺セシヿヲ悔イテ之ヲ恨ミタル乎學士輩アテーンヌ人ノ悔恨セシヿヲ傳フル者頗衆シ卽チギオドールノ言ニ從ヘハ人民怒ヲ發シソクラットヲ罪狀セシ者ヲ收ヘテ獄ヲ具スルヿ無ク皆之ヲ戮セシト云フヂオジェーンヌハ則チ云フソクラット死スルニ及ヒアテーンヌノ民リジップニ命シソクラットノ爲メニ銅ヲ以テ其像ヲ作リテ之ヲ立テメリチュースヲ死ニ處シ其他ハ皆遠謫ニ處セシト云フヂオジェーンヌ又曰クエラクレーノ居民ハ大ニ怒ヲ發シアニチュースノ歸ヘリテエラクレーニ到ルニ及ヒ卽日逐フテ之ヲ境外ニ出セリ又プリュタルクノ傳フル所ニ據ルニ凡ソソクラットヲ罪狀セシ者皆衆ノ怒ニ勝ヘス失望ノ極縊死セシト云フ

然レハクゼノフォンノ「メモラール」ノ書中傳フル所ニ據レハクゼノフォンノ是書ヲ筆スルノ時ニ當リアテーンヌノ民猶ホ頗ソクラットヲ怨ミテ之ヲ毀リシト云フ其說尤モ信ヲ置ク可キ者ニ似タリ又プラトンハソクラットノ死スルノ後直ヲニアテーンヌヲ去リ數年鄕ニ還ラサリキ凡ソ其著ハス所ノ問答ノ書ハ皆務メテソクラットノ爲メニ冤ヲ洗フヿヲ以テ旨ト爲セリ

ソクラット死スルノ後五十年詞人エシンヌ猶ホソクラットヲ毀リテ詭邪派ノ學士ト爲シ其死ニ處セラレタルヲ以テ極テ當ヲ得タリト爲セリ此ニ由リテ之ヲ觀レハ近時考證家往々當時アテーンヌノ民ノソクラットヲ歎惜セシコトヲ信セスシテクゼノフォンノ言ヲ以テ實迹ト爲スニハ頗ル當ヲ得タルニ似タリ

ソクラット既ニ沒シテ後アテーンヌ人以爲ラク其民主ノ制度ト其宗教ト並ニ復タ妨害ニ遇フノ患無シト因リテ大ニ其心ヲ安ンセリ之ヲ要スルニ僅々ソクラットヲ尊信セシ者ハ之ヲ嘆惜セシニ論無キモ公衆ノ輿論ニ至リテハ皆ソクラットヲ罪狀セシ者ヲ謂テ道ニ得タリト爲セシニ殆ンド疑ヲ容レス」是ニ由リテ之ヲ觀レハメリチュース、アニチュースノ徒果テ直ナリシ乎曰ク當時アテーンヌ人ノ目ト及ヒ一切遠識無キ者ノ目ニ在リテハ固ヨリ是二人ノ者ヲ以テ直ト爲セリ若夫レソクラットノ倡說セシ所ノ大義ニ由リテ之ヲ論スルヤハ是二人ノ者ハ實ニ頑陋惡ム可キノ賊タルニ過キサルノミ夫レ

ソクラット天下ノ事物ヲ序次シ旁推演繹シテ以テ夫ノ萬古不易ノ大義ヲ打出シ凡ソ其己ヲ處シ物ヲ待ツ皆此大義ニ合スルニヲ求メリ此ノ如キ人豈謂テ曲ト爲スニヲ得ン哉嗚呼善ト眞トハ一時庸俗ノ爲メニ厄ニ遭フニ有ルモ早晩必ス勝ヲ天下ニ占ムルニ是固ヨリ自然ノ勢ナリソクラットノ倡說セシ所ノ諸旨義ハ獨リ今日ニ傳フルノミナラス之ヲ永世ニ傳ヘテ不朽ナルヲ得可シソクラット早ク是ニ察スル有リ是其笑ヲ含ミテ終ヲ取リシ所以ナリ

○第六　ソクラットノ說ヨリ變訛セシ諸學派

○アリスチップ○アンチステーンヌ、ユークリード一名シレナイック派ノ學士○「シニック」派ノ學士○メガール派ノ學士

アリスチップハシレーンヌノ人ニシテ初メソクラットノ說ヲ信奉シ後ニ至リ叛テ一家ノ言ヲ爲セリアリスチップ奢豪ニシテ淫逸ナリ又其學ヲ傳ヘテ以テ財ヲ徹セシヲ以テ世人是ヲ以テ之ヲ議リシト云フ

ソクラットノ意ニ從ヘバ人ノ斯世ニ處スル所以ノ旨趣ハ理義ヲ守リテ以テ福祉ヲ得ルニ在リアリスチップハ以爲ラク人壽固ヨリ豫メ期ス可ラス且人生種々百端ノ災厄有リテ往々意料ノ外ニ出ツルヲ以テ極テ理義ヲ守ル者ト雖モ多クハ彼ノ福慶ノ地ニ達スルヿ能ハス故ニ是ノ如キ旨趣ハ之ヲ求ムルモ必ス得ルヿヲ保ツ可ラス且ツ其旨趣タル現時ニ在ラスシテ將來ニ在ルヲ以テ之ヲ求メント欲スルキハ常ニ未タ來ラサル時機ノ奴隷ト爲ルヲ免レスシテ快ヲ目前ニ取ルヿ能ハス此其欠失ノ處ナリト又以爲ラク凡ソ人常々未來ノ望ヲ抱テ現時ニ安ンスルヿ能ハサルキハ其勢常ニ未タ有ラサル所ノ福利ヲ願欲スルヲ免レス夫レ願欲ノ類ハ皆人ヲシテ奴隷タラシムル是ノ如クナルキハ自由ヲ得ント欲スルモ得可ラス故ニ君子タル者ハ當ニ唯意ヲ現時ニ止メ過去ヲ追惜スルヿ無ク未來ヲ願欲スルヿ無ク當下有スル所ノ快樂ヲ咀嚼シテ未タ來ラサル所ノ福利ハ少モ心ニ嬰クルヿ無カル可シ

アリスチップ又以爲ラク凡ソ福祉トハ他ニ非スシテ快樂ノ相聚リテ成ル所ナリ快樂ヲ外ニシテ別ニ所謂福祉ナル者有ルニ非ス然ルニ快樂ノ快樂タル所以ハ現ニ我レノ心目ヲ怡ハシムルニ在リ是ニ知ル福祉トハ未來ヲ願欲スルヿ無クシテ快樂ヲ目前ニ取ルニ在ルヿヲ

是故ニアリスチップノ意ニ從ヘバ人ノ明哲ト稱ス可キ者ハ智慧ニ由リ判斷シテ以テ現時ヲ利スル者是ナリ勇剛ト稱ス可キ者ハ願欲ノ念ト追惜ノ念トヲ擺脫シテ其束縛スル所ト爲ラサル者是ナリ寡慾ト稱ス可キ者ハ現時ノ快樂ニ於テ情念ノ過激ノ發動ヲ裁節スル者是ナリ何ソヤ快樂ハ之ヲ譬ヘハ猶ホ天晴レ風靜カナルノ日ニ方リ海水溶々トシテ細漪ヲ漲ラスカ如シ若夫レ波瀾洶湧シテ磯礁ヲ動盪スルカ如キハ正ニ心情ノ激動スルニ譬フ何ノ快樂カ之有ラン

アンテスチヌモ亦アテーンヌノ人ニシテ亦ソクラットノ門人ナリ其說シレーンヌ派ノ惰逸ノ弊ヲ救フニ在リテ專ラ勇剛ノ氣ヲ鼓シテ以爲ラク勤

勞ハ卽チ患害ナリトアンチステーンヌニ至リテハ然ラス凡ソ勤勞ノ類ハ皆人生ノ障碍チ破除スルニ在ルチ以テ正ニ利ナリ正ニ德ナリ故ニ人タル者ノ當ニ法チ取ル可キ者ハ「エルキュル」神是ナリト

アンチステーンヌ及ヒ其徒弟相聚リシ處チシノサルジト曰フ「エルキュル」神ニ奉セシ地ナリ顧フニ世人ノ此學派チ號シテ「シニック」ト稱スル所以ノ者ハ之チシノザルジノ名ニ取リシナラン其徒皆唯一外套チ被リタルノミ絕エテ他ノ製チ着ルコト無シ又常ニ其右肩チ露シテ之チ藏ハス是蓋シ「エルキュル」神ノ山ニ在リテ狻猊チ殺シ其皮チ取リテ之チ肩ニ掛ケタルニ擬シタルナリ其「エルキュル」神ノ勤勞チ崇尊スルヿ是ニ至ル

アンチステーンヌ又以爲ラク自然ノ道ニ從フテ敢テ安排チ加ヘサルヿ是卽チ德ナリ何トナレハ自然ノ道ハ卽チ至善ニシテ卽チ眞ノ神明ナリト是ニ於テ其徒平常己レチ處スルニ一切禮度チ遺棄シ形骸チ土木ニシテ其極ヤ醜穢汚濁ノ態世人チシテ之チ厭忌セシメ「シニック」ノ語チ以テ轉シテ無禮褻瀆ノ義ト爲サシムルニ至レリ蓋シ古昔ニ在リテ宗教ノ外ニ於テ別ニ一理學チ倡說スル者ハ多クハ造化自然ノ迹チ以テ神ト爲シテ而シテ其說ノ弊タル正ニ「シニック」派ノ汚穢ニ墮落スルチ致セリ

メガール派ノ理學ハ專ラ事物ノ旨義チ序次スルヿチ務メテ乃チソクラット ノ旨趣トエレー派ノ旨趣トチ混同スルニ在リ此派ノ理學ハユークリードノ之カ開山タリユークリードハメガール ノ人ナリ

メガール派ノ理學タル言チ立ツルヿ極テ繆巧ニシテ其弊ヤ殆ント詭邪派ノ學士ノ是非眞僞チ擾亂セシニ同シソクラット家ノ理學派ノ正宗ト稱ス可キハプラトントプラトンノ門人アリストットノ二人有リ下章請フ之チ論セン

○第五章　プラトンノ理學

○緒論

プラトンハ希臘（オランピック）祭四年毎ニ行フ所ノ希臘ノ大祭故ニ亦世代ノ數ニ用フ第八十七ノ年ヲ以テアテーンヌニ生レタリ或ハ傳フエジンヌニ於テ生レタリト當時ペリクレース既ニ沒シテペロポネーズノ戰爭方ニ始レリプラトンノ少時ニ係リテハ諸說紛々トシテ信據ス可キ者甚少シ但其始メ詩學ニ從事シテ頗ル作ル所有リシコトハ疑ヲ容レサル者有リ或ハ傳フプラトン嘗テ院劇ノ詩ヲ作リ官ニ獻シテ褒賞ヲ競求セシコト有リ其後ソクラットノ道學ヲ講說スルヲ聽キ大ニ發憤シ盡ク少年ノ時ノ業ヲ燒棄シテソクラットニ從フテ理學ヲ學ヒタリト

プラトンノソクラットニ從フテ學フヤ獨其說ヲ受ケテ之ヲ習フノミナラス自ラ書ヲ著ハシテ其說ヲ推擴セリ卽チ「フェードル」及ヒ「リシー」ノ二書ノ如キハソクラットノ猶ホ存スル時ニ於テ之ヲ作リシト云フ相傳フソクラッ

ト一日是二書ヲ誦シテ嘆稱シテ曰ク是子年少ナリト雖モ能ク予ノ未タ曾テ慮及セサリシ所ヲ發見シテ余ノ名ニ託シテ之ヲ倡ヘリト蓋シプラトンノ諸書皆ソクラットノ他人ト問答セシ所ヲ記シテ以テ體裁ト爲セリ然レ𪜈實ハ己レノ意ヲ以テソクラットノ說ヲ推擴シ或ハ意ヲ創シテ言ヲ立テシ者多キニ居ル但ソクラットノ眞ニ是言有リシト否ラサルトハ得テ考フ可ラス

ソクラットノメリチュースノ爲メニ罪狀セラルヽニ方リプラトン身ヲ挺シテ爲メニ辯疏セントシソクラットヲ救フ可キ者ハ皆爲サヽルヲ莫ク最後ニ官吏ノ終ニ開論ス可ラサルヲ知リ人民ノ前ニ於テ演述スルコトヲ試ムルニ至レリ其後プラトンアテーンヌ人民ノ昏愚ニシテ理ニ通セザルヲ憤リテ深ク之ヲ疾ミシト云フ

プラトンノ既ニ稿ヲ屬シテ痛クソクラットノ冤罪ヲ論シ之レヲ持シテ演臺ニ上リ言ヲ發スルニ及ヒ官吏プラトンヲ引テ下ラシメテ其演述ヲ禁セ

リソクラット死スルニ及ヒプラトン鄉ナ去リテメガールニ游ヒユークリードノ所ニ居リ又去リテシレーンヌニ游ヒ其嘗テアテーンヌニ於テ相識リシ所ノ幾何學士テオドトルノ所ニ往テ居リ其後歷游シテエジプトニ到リ又シシールニ游ヒデニーランジヤンノ所ニ居リ幾モ無ク其直言シテ諱マサルカ爲メニデコーノ怒ナ激シ去リテ他ニ適キ前後數歲ニシテ再ヒアテーンヌニ歸ヘリ「アカデミュース」ノ園中ニ就テ精舍ナ築キ徒ナ聚メテ敎授シ是ヨリ身ナ委ネテ理學ナ講求シ或ハ之ナ敎ヘ或ハ書ナ著ハシ凡ソ其著ハス所ノ諸書ハ大抵皆精舍ナ起ス以後ニ係レリ

プラトン年八十一ニシテ希臘「オランピック」ノ祭第百有八ノ歲ナ以テ沒セリシセロンノ言ニ據レハ其沒スルノ年猶ホ書ナ著ハシテ止マラサリシト云フ

○第一　智慧ノ說○意思ノ說

プラトン以爲ラク凡ソ耳目五官ノ觸知スル所ハ物ノ假相ニシテ本有ノ理イ十七

質ニ非ス是レ特ニ空華ノ影象タルニ過キサルノミ是ニ於テ乎地窖ノ說有リ本論ニ詳ナリ

學問ノ旨趣ハ智慧ノ力ニ賴リ一時空華ノ假相ナ出テ、永久本有ノ實相ノ中ニ入ルニ在リ蓋シ有形庶物ノ外自ラ之ナ統括スル所ノ至理有リ此レ萬古不易ノ物ニシテ庶物ノ實相ナリ而シテ獨リ智慧ノ靜察ノ力能ク之ナ理會スル有ルノミ

有形ノ各物ハ常ニ逝テ留ラス而テ之ナ統フル所ノ區種ハ常ニ現存シテ中常ニ其統フル所ノ各物ノ典型ナ留メテ失滅スルコト無シ而テ此區種ノ中常ニ其統フル所ノ各物ノ典型ナ留メテ失フコト無シ之ナ例ヘハ草木ナリ禽獸ナリ人類ナリ各皆一區種ノ統名ナリ此統名中有ル所ノ一卉一木ノ如キハ常ニ生シ常ニ滅スルモ卉木ト稱スル所ノ區種ハ常ニ存シテ滅スルコト無シ禽獸ナリ人類ナリ皆然ラサル莫シ一區中ノ各物是卽チ假相ナリ區ト云フノ意思是實相ナリ假相ハ變滅有リ實相ハ變滅有ルコト無シ故ニ草木ト云フノ意思禽獸ト云フノ意思人

類ト云フノ意思ノ如キ一切各物ヲ類別スル所ノ區種ノ意思ハ所謂不易ノ實相ナリ

凡ソ此等庶物ノ實相ハ皆最上層ノ大理即チ神ヨリ發出スル故ニ曰ク至理ハ物ノ本原ナリト

是故ニ意思ハ實物ノ本質ナリ草木禽獸人類皆實物ニシテ常ニ生滅ニ從フ若夫レ之ヲ統フル所ノ草木禽獸人類ト云フノ意思ハ獨リ不滅ナルノミナラス亦且極テ完粹ニシテ欠クル所無シ蓋シ草木ナリ禽獸ナリ人類ナリ如何ニ善美ナルモ其中必ス欠クル所有リテ終ニ完粹ナルヿ能ハス獨此等實物ノ意思能ク完粹ニシテ且永久ナルヲ得ルノミ

プラトン又以爲ラク是意思ノ是實物ニ於ケル正ニ其生存ノ本ナリ是意思有リ故ニ是實物有リ之ヲ例ヘハ各人ノ如キモ其由リテ生スル所ノ本ハ人類ノ意思中ニ在リ譬ヘハ猶ホ寫本ノ由リテ生スル所以ハ原本ニ在ルカ如シ

意思ハ智識ノ本ナリ故ニ凡ソ識ルトハ意思ノ中ニ於テ實物ヲ識ルノ謂ナリ又諸種ノ意思ノ中ニ於テ意思ノ本原即チ神ヲ識ルノ謂ナリ蓋シ神ハ諸意思ヲ包括スル者ニシテ既ニ純一ノ極ニシテ又完粹ノ極ナリ故ニ曰ク神ノ無形物ニ於ケルハ猶ホ大陽ノ有形物ニ於ケルカ如シ凡ソ智慧ト及ヒ智慧ノ識ル所ノ諸區種ノ意思ハ皆神ノ之ヲ發スル所ナリ

○第二　情ノ說○善ヲ愛スルノ說

愛ノ中自ラ二級有リ一ハ五官ノ感スル所ノ實物ノ形ヲ愛スルヿナリ一ハ智慧ノ識ル所ノ虛靈ノ理ヲ愛スルヿナリ更ニ之ヲ言ハンニ一ハ下界ノ美人ヲ愛スルヿナリ一ハ天街ノ美人ヲ愛スルヿナリ

凡ソ愛ハ亦識ト同ク其原因其目的並ニ善ノ中ニ在リ何ヲ以テ之ヲ謂フ曰ク凡ソ吾人ノ物ヲ愛スルヤ直チニ其物ヲ愛スルニ非スシテ其物具有スル所ノ諸質ヲ愛スル而シテ所謂質ハ皆其物ノ意思ヨリ生スル者ナリ更ニ一層ヲ進メテ之ヲ言ハンニ曰ク吾人ノ物ヲ愛スルハ卽チ其物ノ意思

ヲ愛スルナリ故ニ神ヲ愛スルヿ是愛ノ本原ナリ猶ホ神ヲ識ルヿ是識ノ本原ナルカ如シ

愛モ亦識ト同ク其進歩ノ級ヲ言フヿハ實物ノ形ヨリ更ニ上リテ虛靈ノ理ニ入ル故ニ其初ヤ面貌ノ美ヲ愛シテ其後ヤ精神ノ美ヲ愛ス曰ク情ノ美ナリ思ノ美ナリ行ノ美ナリ凡ソ是皆虛靈ノ理ナリ是ニ知ル愛ナル者ハ美ヨリ美ニ進ミ層累シテ上リ遂ニ萬古不滅ノ純美譯者按スルニ卽チ神ノ完粹ノ美ヲ靜觀深察シテ後已ム ニ至ル

○第三　行爲ノ說○道德及ヒ政治

凡ソ人ノ行ヲ出スヿハ必ス其視テ以テ善ト爲ス所ヲ以テ目的ト爲ス是ヲ以テ其由ル所ノ手段モ亦必ス其視テ以テ善ト爲ス所ノ者ニ透徹スル可キ者ヲ求メテ之ヲ用フ是人タル者ノ必ス免ル、能ハサル所ナリ見ル可シプラトンモ亦ソクラッ ト同ク人心自由ノ德有リテ善不善並ニ自ラ擇テ之ヲ取ルノ說ハ斥ケテ之ヲ用ヒサルヿヲ

プラトン以爲ラク德トハ我カ精神ノ彼ノ無形虛靈ノ意思ト適合スルノ謂ナリ更ニ之ヲ言ハンニ德トハ我カ精神ノ彼ノ有形ヲ舍テ、不滅ノ實相卽チ神ノ完粹純美ノ德ニ肖似スルヿヲ求ムルヲ謂フ

又以爲ラク智ナリ勇ナリ及ヒ寡慾以テ己レヲ守ルナリ此皆我カ精神ヲシテ整齊ナラシメ完粹ナラシムル者ニシテ之ヲ統フルヲ曰ク是心內ノ義ナリ

又心外ノ義ナル者有リ卽チ我カ精神ヲシテ社會ノ事ニ係リテ前ト同ク整齊ト完粹トノ二者ヲ求メシムルヲ謂フ是ナリ蓋シ人若シ能ク己レヲ處スルニ於テ正ニ合スルヿヲ得ルヲ卽ハ其他人ヲ待ツニ於テモ亦必ス正義ノ一德又仁惠ノ行ヲ發ス蓋シ人タル者ハ其己ヲ處スルト物ヲ待ツト必ス相同シカル可シ其他人ニ惠有ルヤ皆同クシテ區別スル所無シ他人或ハ我ヲ害スルヿ有ルモ我レ之ヲ害スルヿ有ル可ラス何ソヤ害ハ不義ナ

リ故ニ不義ヲ以テ不義ニ報スルノ理無クシテ仁恵ノ行其間ニ發スル故ニ曰ク義ノ一徳ハ仁恵ノ行ヲ發スト

プラトンノ政ヲ論スルヤ以爲ラク政ハ畢竟道徳ト異ナルヿ無シ唯其境界ノ大小ノ異有ルノミ何ソヤ政ナル者ハ衆庶ヲシテ皆徳義ニ嚮往シテ慶福ノ利ヲ享ケシムルヿヲ求ムル者ナリ是ニ於テ乎官ニ附スルニ異常ノ權勢ヲ以テスルニ至ル

プラトンノ意ニ從ヘハ舉國唯官有ルノミ各人ナル者ハ有リテ無キカ如シ家族及ヒ所有ノ權ノ如キモ當ニ之ヲ廢シテ以テ官ノ益ヲ圖ル可シ財產共有ノ說是ニ於テ乎成ル

法律トハ眞智ノ識ト道理ノ正トニ原本シテ成ル者ナリ故ニ苟モ法律ヲ創設スルニハ必ス明カニ其之ヲ要スル所以ノ故ヲ示ス可シ漫然之ヲ設クルヲ得ス若夫レ刑律ニ至リテハプラトンノ以爲ラク是罪人ヲシテ自ラ其罪障ヲ滅セシムルカ爲メニシテ設クト是ニ於テ其弊終ニ各人一己ノ

過失若クハ宗教ニ係ル過失ヲ舉ケテ之ヲ刑法ノ中ニ入ルヽニ至ル

○第四　プラトンノ神ノ說

プラトンノ以爲ラク神ハ儼然存在シテ必ス之ヲ徵ヲ舉ケテ之ヲ證スルヿヲ須ヒス凡ソ人ノ學問ハ其智ニ由リテ言フモ其情ニ由リテ言フモ終ニ神ニ歸結セサルヲ得ス他無シ神ハ萬物ノ資リテ立ツ所ナレハナリ

プラトンノ既ニ神ノ德ヲ以テ徵證ヲ須ヒスト爲ス然レトモ亦前賢ノ擧ケシ所ノ徵證ニ就テ更ニ省察ノ功ヲ加ヘテ以テ之ヲ示メセリ一ニ曰ク運動ノ本原ヲ考フルニハ神ノ存スルヿ徵ス可シ蓋シ天地間庶物皆能ク運動スルモ實ハ能ク自ラ動クニ非スシテ必ス別ニ之ヲ動カス者有ル可シ吾人ノ精神能ク身體ヲシテ運動セシム即チ神ノ能ク庶物ヲシテ運動セシムルハ猶ホ精神ノ能ク身體ヲシテ運動セシムルカ如シ故ニ神ハ世界ノ大精神ナリ

其二ニ曰ク世界ノ目的ヲ觀察スルニハ神ノ存スルヿ徵ス可シ蓋シ世界

庶物ノ運轉ノ迹ニ就テ之ヲ察スルニ一々目的ノ在ル有リ其次第粲然トシテ掇ル可ラス目的トハ何ソヤ善是ナリ凡ソ世界ノ事皆善ニ嚮ハサル無シ是必ス一大智慧ノ然ラシムル所ナリ

人若シプラトンニ問フテ神ハ何ノ故ニ世界庶物ヲ造作セシ乎ト曰フ片ハプラトン輒チ答ヘテ曰フ神ハ仁ナリ既ニ仁徳有ル片ハ少モ中ニ吝ム所無キヲ以テ凡ソ其具有スル所ノ善ヲ揮霍シテ悋ム所無シ是神ノ世界庶物ヲ造作セシ所以ナリ

プラトン又以爲ラク凡ソ世界ノ事皆善良ナラサル莫シ吾人所謂惡ハ皆有形マチエールノ粗迹ヨリ源頭シ來レル者ナリ否ラサレハ其理然ルヲ得サルノ處ヨリ生スル者ナリ且ツヤ惡トハ有爲ノ物ニ非スシテ特ニ善ヲ限ル所ノ區畫ト云フニ過キサルノミ

プラトン又以爲ラク吾人ノ精神ハ永久不滅ノ物ナリ蓋シ精神ハ智慧ノ由リテ出ル所ニシテ智慧ハ無形ノ靈物ナリ精神モ亦無形ノ靈物ナリ理ニ由リテ考フルニ無形ノ靈物ニシテ形ト俱ニ滅スルヿ有ル可ラス且ツヤ智慧ノ識ル所ハ物ノ意思ニシテ純一無雜完粹不滅ノ物ナリ識ル者ト識ル所トハ當ニ必ス相同シカル可シ故ニ智慧即チ精神モ亦純一ニシテ不滅ナリ

精神ハ運動ノ原ニシテ生活ノ本ナリ運動生活ノ本原タル者ハ當ニ常ニ動テ常ニ生ス可キヿ明ナリ且ツヤ世界庶物ノ運動ハ始無ク終無キ者ナリ他無シ是正ニ彼ノ世界ノ大精神即チ神ノ然ラシムル所ナレハナリ然リ而テ吾人ノ精神ハ彼ノ世界ノ大精神ヨリ發シ來ル者ナレハ宜ク之ト性チ同クス可シ世界ノ大精神固ヨリ永久不滅ナルヿチ知ル可シ

精神ハ德義ノ本原ナリ德義ナル者ハ其人心チ感動スルヿ萬古變無キ者ナリ德義既ニ變スルヿ無キ片ハ其本原ハ固ヨリ當ニ變スルヿ無カル可シ且ツヤ德有ル者ハ必ス福チ享ク可シ德ニ負ク者ハ當ニ罰チ獲可シ故

ニ精神ハ不滅ニシテ或ハ賞チ獲或ハ罰チ受ケテ以テ其行ノ善惡ト均稱ス可シ

プラトンノ理學ノ歸趣チ要スルニ曰ク善ハ物ニ由リテ生スル所ナリ故ニ若シ果シテ神有リト爲スヰハ是レ神タル者ハ宜ク善ノ極致ナル可キナリ若シ世界眞ニ有リト爲スヰハ是世界モ亦善ナル可シ他無シ是神ノ造ル所ナルチ以テ宜ク亦善ナル可ケレバナリ

プラトンノ理學ノ欠失タルヤ曰ク其說智慧ノ識ル所ノ者ノ本質チ論スルニ詳カニシテ智慧ノ本質チ論スルニ詳ナラス愛セラル、所ノ者チ言フニ明ニシテ愛スル者チ言フニ明ナラス且ツプラトンノ吾人精神自由ノ理ニ於テ未タ通曉スル有ラス故ニ個々獨存ノ大義ニ於テ頗ル欠ル處有ルチ免レス特ニ其道學ト政術ノ如キハ全ク各人チ舉ケテ之チ政府ニ奉スル者ナリ而シテ可ナラン乎

○本論

○第一　智慧ノ說○物ノ意思ノ說

前ニ「イヨニー」派ノ理學チ講求スルニ於テ吾儕既ニ一事チ明白ニスルチ得タリ何ソヤ曰ク吾人五官ノ感觸ハ特ニ物ノ粗迹チ知ルニ過キスシテ物ノ本質ハ終ニ之チ知ル可ラス故ニ凡ソ吾人五官ノ感觸スル所ハ畢竟世界ノ幻相ニ外ナラスプラトンノ是ニ於テ一譬チ設ケテ曰ク爰ニ地窖有リ罪人若干數皆繫縛セラレテ其中ニ在リ相聚マリ火チ燎テ纔ニ明チ取リ外間ノ日光ニ背テ火ニ向フテ圍坐スヰ是ニ於テ外間有ル所ノ物罅隙ヨリ射入シ火ノ光チ得テ黯澹ノ中微ク幻影チ四隅ニ現ス罪人等之チ視テ徐々ニ少ク其物形ノ大小異同チ分別スルニチ得然レモ此レ畢竟幻影ニシテ眞ノ物形ニ非ス而シテ罪人見ル者皆認テ以爲ラク物ノ實相眞ニ此ノ如シト他無シ其間自ラ幾分次序ノ在ル有リテ擾ル可ラサルチ以テナリ此ハ是吾人斯世ニ在リテ物チ觀ルノ景狀ナリ所謂地窖トハ卽チ世界ナリ幻影トハ卽チ庶物ナリ火光トハ卽チ大陽ナリ彼輩ノ幻影チ認メテ以テ物ノ實相眞ニ此ノ如シ

ト爲ス者ハ卽チ吾人六根ノ得ル所ノ學識ナリ

世上庸俗ノ物ノ假相ヲ視テ以テ本有ノ質ト爲スコハ猶ホ地窖中ノ罪人ノ桎梏ニ在リテ外間ノ事ヲ知ラサルカ如シ理學士タル者ハ其理ヲ推シ義ヲ考フルノ功ニ賴リ人ノ智見ヲ啓發シテ其レヲシテ物ノ假相ヲ舍テヽ其實相ヲ了セシムルニ在リ此レ猶ホ罪人ノ桎梏ヲ解テ直ヲ外間ノ實物ヲ見ルコヲ得セシムルカ如シ

然リト雖モ彼ノ地窖ニ在ル者ヲ引テ外間ノ實物ヲ視察セシメント欲スルトキハ一朝一夕ノ事ニ非スシテ其間自ラ序ヲ逐ヒ等ニ從フテ漸次ニ進マサル可ラスシテ所謂序ヲ逐ヒ等ニ從ッテ漸次ニ進ムコト是レ正ニ學問論說ノ術ノ在ル所ナリ

試ニ彼ノ罪人ノ一ニ就テ其束縛ヲ釋キ命シテ起立セシメ身ヲ反シテ外ニ向ハシメンント欲スルトキハ其難キコト如何ソヤ彼レ久ク囹圄ノ中ニ在リ必氣萎縮シ四體羸憊シテ遽ニ回轉スルコト能ハス加之彼レ其黯澹ノ火光ニ習フ

ヲ以テ忽ニシテ外間ノ光輝ヲ受ルトキハ其目眩亂シテ遽ニ視ルコト能ハス前ニ視察セシ所ノ幻影ノ本質卽チ外間ノ實物ヲ窺視セシムルモ略ホ辨別スルコト有ル能ハス是ニ於テ之ニ告ケテ曰ハン汝カ今窺視スル所ノ物ハ實物ナリ曩キニハ汝特ニ空影ヲ認メシニ過キサルノミト彼レ將ニ曰ハントス否吾カ曩ニ視シ所ハ頗ル大小異同ノ差有リ今ハ唯朦朧トシテ分別ス可ラスト彼レ初ヨリ己レカ目ノ眩亂セシヲ省セサルナリ

凡ソ斯世ニ在リテ未タ理學ノ業ニ習ハスシテ獨リ耳目視聞スル所ノ庶物ヲ以テ實相ト爲シテ智慧ノ考察ノ力ニ乏キ者ハ正ニ玆ニ擧ル所ノ罪人ノ所見ナルノミ

若又彼ノ罪人ヲ引テ全ク窖外ニ出テシメント欲スルトキハ其難キコト又如何ソヤ一線ノ隧道ニ循フテ蹲攀シ手ヲ挈リテ先導シ呼息奄々トシテ纔ニ以テ出ルコヲ得可シ此レ正ニ智慧ノ徐進シテ六根空華ノ境ヲ去リ虛靈本有ノ域ニ入ルノ譬ナリ彼レ其初メ隧道ノ險ヲ行クヤ其艱苦ノ極或ハ我ヲ憤

リテ紿イテ邪路ニ納ルヽト爲サン而シテ其戸外ニ出テヽ直チニ大陽ノ明ニ接スルニ及ヒテハ共目ノ眩亂スルヿ復タ前ニ罅隙ヨリ窺視セシ時ノ比ニ非スシテ若干時間全ク視ル有ルヿ能ハス此レ又必ス避ク可ラサルノ次序ナリ

既ニシテ微ク頭ヲ昂ケ地上若クハ水上在ル所ノ人物ノ影ヲ視之ヲ頃アリテ始テ眞ノ人物ヲ視テ復タ眩亂スルヿ無シ是ニ於テ又夜間目若クハ星ノ光ニ賴リテ頭ヲ仰テ天ヲ望觀スルニ至ル何トナレハ彼レ今能ク人物ヲ視ルモ未タ遽ニ晝間直チニ大陽ヲ視ルヿヲ得ルニ至ラサレハナリ

是ノ如キ者數日ニシテ始テ眸ヲ凝ラシテ直チニ大陽爛然ノ光輝ヲ望ムニ至ル此正ニ庶物個々ノ相ヲ去リテ彼ノ世界ノ大精神ナル神ヲ想像スルノ譬ナリ是ニ於テ始テ洞然トシテ悟リテ乃チ曰ハン嗚呼四時ノ變化ヲ成ス所ノ者ハ卽チ是大陽ノ力ナリ歲時ノ運行ヲ成ス所ノ者ハ卽チ是大陽ノ力ナリ庶物ノ燦然トシテ目ニ視ル可キハ卽チ是大陽ノ然ラシムル所ナリト

是ニ於テ乎前ニ害中ニ在リテ視シ所ノ物ノ幻影ハ皆是大陽ニ原本セシヲ知ル

凡ソ此ノ如キ者皆必ス循ハサル可ラサルノ次序ニシテ五官ノ空幻ヲ去リテ智慧ノ實相ニ進マント欲スル者共艱難ナルヿ此ノ如キ者有リ

プラトン又以爲ラク物ノ意思卽チ物ノ區種ハ獨リ吾人ノ智慧中ニ存スルニ非スシテ心外實ニ此虛靈ノ物有リ是庶物ノ實相ナリ試ニ一卉花ノ種子ヲ取リテ之ヲ地ニ置カンニ其種子ノ萌芽シ暢茂スルノ後其開發スル所ノ花ハ必ス前ノ花ト異ナルヿ無シ是ニ知ル甲ノ區種ノ花ハ常ニ甲ノ區種ノ花ニシテ決シテ乙ノ區種ノ物ニ變スルヿ無シ見ル可シ所謂區種ハ獨リ吾人ノ智慧中ニ存スルニ非スシテ眞ニ其物ノ現存スルヿヲ吾人ノ智慧ハ無形ノ靈物ナリ庶物ノ意思卽チ物ノモ亦無形ノ靈物ナリ無形ノ靈物ヲ以テ無形ノ靈物ヲ識ル見ル可シ吾人智慧ノ由ル所ノ理ト庶物ノ由ル所ノ理ト相同クシテ一ヲ爲スヿヲ

物ノ實相ハ永久不滅ナリ而シテ此實相ノ中自ラ五官ノ感觸スル所ノ庶物ノ區種ヲ成スヿ可キ至理有リテ存スヿ之ヲ例ヘハ人ノ如キハ卽チ此實相中自ラ人ノ類ヲ生スヿ可キ原因ノ在ル有リ獸ノ如キハ卽チ此實相中自ラ獸ノ類ヲ生スヿ可キ原因ノ在ル有リ凡ソ物然ラサル莫シ而シテ實相中具有スル所ノ人類ノ原因獸類ノ原因及ヒ蟲魚草木ノ類ノ原因ハ皆凡ソ人類獸類蟲魚草木ノ類ノ具フル所ノ諸性ヲ合シテ之ヲ有セサル莫ク シテ遠ク各人各獸各蟲魚各草木ノ有スル所ノ性ニ超過スル有リ是ニ知ル庶物ノ原因卽チ區種ノ意思ハ正ニ庶物ノ極致ニシテ其完粹ナルヿ復タ實物ノ比ニ非サルヿヲ

然ト雖モ所謂極致ハ決シテ虛華ノ空理ニ非スシテプラトンノ意ニ在リテハ正ニ本有ノ實相ナリ是正ニ人獸庶物ノ典型ノ本ツク所ニシテ人獸庶物ノ續々生產シテ窮已無キ所以ノ者ハ他無シ此極致ノ永久不滅ニシテ常ニ之カ種子ヲ發スレハナリ所謂典型ナリ極致ナリ區種ナリ同物ニシテ異名ナリ卽チプラトン所謂物ノ意思ナリ

學問トハ他ニ非ス吾人智慧ノ考察ノ漸次ニ進ミテ各物ヨリ區種ニ入リテ卽チ意思ヲ認識スルヿ是ノミ更ニ之ヲ言ヘハ五官ノ感觸ヲ去リテ慧眼ノ觀察ニ入ル是ノミ

所謂庶物ノ意思ノ性タルヤ曰ク完粹ニシテ純一ナリ蓋シ五官ノ感觸スル所ノ人物ハ旣ニ擾雜ニシテ又變滅シ又其性タル完粹ナルヿ能ハス之ヲ例ヘハフェドン（譯者按スルニ恐ラクハフェピュース）ノ說ナラン ハ洵ニ美好ナリ然レ𪜈少疵無キヿ能ハス若夫レ虛靈ノ意思ニ至リテハ然ラス其美ヨリシテ言フヲ待ハ混然トシテ外無シ是ノ如キ者ハ下界庶物中一モ之有ルヿ無シ是故ニ眞ノ識ト稱ス可キ者ハ識ラサル所無キノ謂ナリ博大ニシテ包該セサル所無キノ謂ナリ若夫レ甲ヲ知リテ乙ヲ知ラス乙ヲ知リテ甲ヲ知ラサルカ如キハ未タ眞ノ識ト稱スルニ足ラス苟モ知ラサル所有ルヲハ此識タル變渝スル所無キヿ能ハス

更ニ之ヲ言ハンニ曰ク眞ノ識ハ唯知ルノ一語是ナリ若シ知ノ語ニ添ヘルニ又他ノ語ヲ以テシテ即チ云々ノ事ヲ知ルト言フトキハ必ス知ラサル所無キヿ能ハス故ニ單ニ「我レ知ル」ノ語是即チ眞ノ智慧ニシテ神ヲ除非シテ之有ルヿ能ハス

吾人人類ノ學問ハ如何ニ進闡シ如何ニ廣博ニ赴クモ畢竟甲ヨリ乙ニ入リ丙ヨリ丁ニ入ルノ類ニ過キスシテ終ニ單ニ「我レ知ル」ト謂テ以テ一時ニ萬類ヲ包括スルヿヲ得可ラス故ニ曰ク下界有形ノ人類ハ純粹無疵ナルヿ能ハス

プラトン所謂物ノ極致即チ意思ハ常ニ存シテ變易スルヿ無シテ而シテ其存スルヤ獨存シテ他物ニ憑依スルヿ無シ故ニ若シ人、物ノ意思即チ極致ヲ以テ實物ノ具有スル所ノ一箇ノ性ト爲スヿハ大謬ナリ故ニプラトンハ彼ノ人類ヲ生スル可キ至理即チ人類ノ極致ヲ謂テ獨存ノ人類ト爲シ又物ノ觀美ヲ生ス可キ至理即チ美ノ極致ヲ謂テ獨存ノ美ト爲ス

又以爲ラク所謂物ノ意ハ不滅ナリ故ニ所謂人ノ極致即チ意思ノ如キハ亦謂テ不滅ノ人ト爲スヿヲ得美ノ意思ノ如キハ亦謂テ不滅ノ美ト爲スヿヲ得

所謂不滅ノ人トハ決シテ一個人ニ非ス故ニ人若シ各個人ノ中或ハ不滅ノ人有リト爲スヿハ不可ナリ所謂不滅ノ人トハ凡ソ各人具有スル所ノ諸德ヲ合シテ之ヲ具シ又完粹ニシテ少疵有ルヿ無ク能ク各人ヲ生出シテ斷絕スルヿ無キ所ノ靈妙不可思議廣大無邊ノ意思即チ是ナリ故ニプラトン所謂不滅ノ人トハ正ニ神ヲ指シテ言フ者ナリ

所謂極致ハ又廣博ニシテ光被セサル所無シ然レトモ若シ人此極致ヲ以テ庶物ノ中ニ散布スト爲スカ若ソハ此極致ヲ以テ庶物相通シテ具有スル所ノ德ト爲スヿハ大謬ナリ極致ノ能ク廣博ニシテ光被セサル所無キハ正ニ其中ニ於テ庶物有スル所ノ個々ノ善美ヲ完備シテ遺スヿ無キノ處ニ存スヿヲ譬ヘハ白色ノ光輝ノ如シ蓋シ諸種ノ光彩ハ皆白色ノ光輝ヲ得テ成ル者

ニシテ其相異ナルハ特ニ其居ル所ノ地ノ異ナルニ由ルノミ

若又所謂意思即チ極致ノ各個物ト交渉スル所ノ處ト及ヒ吾人ノ智慧ト交渉スル所ノ處トニ就テ言フトキハプラトンノ意以爲ラク所謂極致ハ物ノ生存ノ本原ニシテ亦人ノ識ノ本原ナリ請フ更ニ之ヲ論セン

以爲ラク物ノ能ク生存スルハ極致ノ力然ラシムルナリ他無シ極致ノ中自ラ物ヲ生存ス可キ至理ヲ具有スル故ナリ故ニ物若シ極致ト交渉セサルトキハ瞬時モ存スルヿヲ得ルノ理無シ是ヲ以テプラトン極致ト物トノ交渉ヲ名ケテ分貸ト曰フ物皆其極致ノ意思ノ幾分ヲ賞貸シテ始メテ存スル之ヲ例ヘハ人ノ如キモ其能ク美觀有リ仁慈ノ性有リ眞理ヲ識ルノ智慧有ル所以ノ者ハ彼ノ極致ノ分貸スル所タルニ過キス故ニ人ヲ指シテ彼レ幾分ノ美觀有リ幾分ノ仁德有リ幾分ノ智慧有リト曰フトキハ可ナリ彼レ美ナリ仁ナリ智ナリト曰フトキハ不可ナリ何ソヤ人タル者皆欠失有リテ粹然至完ナルヿ能ハスシテ各皆彼ノ極致ニ貸リテ始テ幾分ノ諸德ヲ具有セルカ故ナリ

又人ノ貸ル所人々皆同量ナルニ非ス即チ賢者ハ貸ルノ多キ者ニシテ不肖者ハ貸ルノ少キ者ナリ若シ夫レ諸德ヲ兼具シテ醇然無疵ナル者ハ獨リ彼ノ極致即チ意思然リト爲スノミ

然レハ則チ人物ノ極致ノ諸德ヲ貸リ取ル所以ノ者ハ何ソヤ顧フニ所謂極致ハ其本タル純乎一ナル者ナリ然ルニ其自ラ分ルヽヿ無クシテ能ク人物ノ審庶ナル者ニ假借スルヿヲ得ル者ハ何ソヤプラトン自ラ曰ク是奇妙不可思議ニシテ得テ知ル可ラス何トナレハ吾人人類如何ニ慧眼チ洞開スルモ彼ノ永久不滅ノ意思チ考察スルニ於テ決シテ其蘊チ盡クスヿ能ハサレハナリ人智ヲ以テ神チ料ル豈悉ク合スルヿヲ得ンヤ哉

夫ノ極致ハ獨リ生存ノ本原ナルニ非スシテ亦智識ノ本原ナリ蓋シ識ルトハ衆異物ノ中ニ於テ其單純ナル所ノ處チ知ルノ謂ナリ衆現象チ察シテ之チ一定ノ法則ニ合スルノ謂ナリ廣博ナラサル法則チ察シテ之チ更ニ廣博ナル法則ニ統フルノ謂ナリ最モ廣博ナル法則チ察シテ之チ博大ニシテ外

無ク永久ニシテ窮リ無キ所ノ一大法則按スルニ卽ニ統フルノ謂ナリ何ト
ナレハ諸法則ハ卽チ理ナリ而シテ衆理ハ皆一大至理ノ發シテ外ニ見ハル
ル者タルニ過キサレハナリ
是ニ知ル識ルトハ衆物ニ就テ其純一ナル所ノ處ト其精粹ナル所ノ處ト其
意思ニ貰貸スル所ノ處トヲ知ルナリ是レ所謂極致ト人智トノ交渉ナリ
夫レ不滅ノ眞理ナリ不滅ノ美麗ナリ不滅ノ正義ナリ猶ホ自ラ複雜ノ狀有
ルヲ免レス故ニ亦必ス此等衆不滅ノ物ヲ察シテ之ヲ一ニ歸セサル可ラス
何トナレハ智識ノ性タル必ス衆物ヲ合シテ一ト爲スニ非サレハ終ニ自ラ
安スルヿ能ハサレハナリ是故ニ衆極致ノ中必ス一大極致ノ在ル有リテ衆
極致ヲ統合シ複雜ナル者ヲ抱懷シテ一ト爲ス所ノ者有リ此レ蓋シ衆意思
ノ意思ニシテ衆極致ノ極致ナリ
是故ニ一切庶物ヲ外ニシテ專ラ其本質ニ就テ言フヿハ所謂大極致ハ卽チ
大一數ナリ其性ニ就テ言フヿハ完粹無疵ノ一體卽チ善ナリ夫レ至大至久

至靜ノ善トハ神ニ非スシテ何ソヤ
是故ニ神ナル者ハ人智ノ層累シテ上ル所ノ最高ノ巔ナリ學問ノ極處ノ地
ナリ更ニ之ヲ言ハンニ神ハ生存ノ本原ニシテ亦智識ノ本原ナリ
是故ニ衆極致ハ畢竟庶物ヲシテ能ク生存セシメ人智ヲシテ能ク識ルヿ有
ラシムル所以ノ至理ニシテ終ニ一神ノ諸德ノ表發スル者タルニ外ナラス
故ニプラトン曰ク衆虛靈物ノ大本ハ卽チ至善ノ意思ナリ是物ヤ人智ノ能
ク明ニ之ヲ識ル可キ所ニ非ス然レトモ苟モ之ヲ窺フヿヲ得ルトキハ必ス是物
ヲ以テ凡ソ世界庶物ノ具有スル所ノ美ト善トノ本根ト爲サヽルヿヲ得ス
故ニ神ノ衆虛靈物ニ於ケルハ猶ホ大陽ノ衆有形物ニ於ケルカ如シ
プラトン又曰ク彼ノ神卽チ至善ノ意思ハ衆物ノ由リテ生スル所ニシテ其
有形ノ境ニ在リテハ大陽ヲ懸ケテ以テ萬物ヲ照燭煦育シ其無形ノ境ニ在
リテハ眞理ヲ揭ケ智慧ヲ垂レ以テ吾人ヲシテ考察スルヿ有ルヿヲ得セシ
ム又曰ク吾人ノ目ノ能ク物ヲ視ル所以ノ者ハ大陽ノ光輝ニ資ル有ルニ由

リテ然リ汝其晝間物ヲ視ルノ目ヲ以テ夜間試ニ獨リ星辰ノ光ニ由リテ物ヲ視ヨ其之ヲ細看スルヿ甚難シ或ハ全ク見ルヿ無クシテ殆ト目無キ者ト異ナルヿ無キニ至ラン既ニシテ天曙ケ日升ルニ及ヒテ始メテ一時目力ヲ回復シテ盲病ノ患ヲ脫シタル者ノ如シ我カ精神ノ考察スル所有ルニ於テ其眞理ノ光明ニ資ル有ルヿモ亦猶ホ此ノ如シ苟モ眞理ノ光明ニ資リテ考察スルトキハ統緒粲然トシテ復タ疑ヲ置ク無シ是ニ於テ自ラ己レノ慧眼ヲ具フルヿヲ覺ユ既ニシテ意ヲ轉シテ有形ノ粗迹ヲ考察シ彼變滅生死スル所ノ實物ニ就テ講求スルトキハ慧眼頓ニ盲シテ復明視スルヿ能ハス一二道理ヲ獲ル有ルカ如キモ隨テ變シテ歸底スル所無クシテ自ラ一時ニ智慧ヲ喪失セシ者ノ如シ是ニ於テ汝當ニ悟ル可シ凡ソ吾人ノ考察スル所ノ事ニ於テ眞理ノ光輝ヲ昭揭シ粲然トシテ次序有ラシメ及ヒ我カ精神ヲシテ能ク其智識ヲ生ス可キ慧眼ヲ發セシムル者ハ彼ノ至善ノ意思ノ力タルヿヲ大陽ノ光無キトキハ有形世界一時ニ暗黑ヲ成シ眞理ノ輝無キトキ

ハ虛靈世界一時ニ暗黑ヲ成ス汝當ニ是理ヲ悟ル可シ

プラトン又曰ク汝更ニ一事ヲ知ルヿヲ要ス凡ソ智識ト云ヒ眞理ト云ヒ如何ニ尊クシテ如何ニ美ナルモ汝若シ此ヲ以テ直チニ彼ノ至善ノ意思ト一體ヲ成スト爲ストキハ大謬ナリ至善ノ意思タル貴ニ夫ノ智識眞理ノ上ニ在リテ全ク相同シカラス汝決シテ之ヲ混同スルヿヲ得ス

若シ有形ノ世界ニ於テ光明ト視トヲ以テ大陽ノ與フル所ト爲ストキハ誠ニ善シ若シ光明ト視トヲ以テ直チニ是大陽ナリト爲ストキハ不可ナリ卽チ虛靈ノ世界ニ在リテモ亦猶ホ此ノ如シ智識ト眞理トヲ以テ神ノ賜フ所ト爲ストキハ可ナリ若シ智識眞理是卽チ神ナリト曰フトキハ不可ナリ神ノ尊フ可キヿ豈唯智識ト眞理トノミナラン哉

又曰ク神ノ粹然美麗ナルヿ吾人人類ノ得テ形容スル所ニ非ス此レ卽チ智識眞理ノ本原ニシテ其粹美ナルヿ又是二ノ者ノ及フ所ニ非ス夫レ大陽ノ有形庶物ニ於ケル獨リ其レヲシテ粲然トシテ視ルヿ可ラシムルノミナラス

亦之ヲ生シ之ヲ長シ之ヲ養フテ而シテ少モ己レニ損スルヿ有ルヿ無シ是事ヤ我汝ト皆之ヲ知ルニ非ス乎卽チ至善ノ虛靈物ニ於ケルモ亦猶ホ此ノ如シ至善ノ力獨リ虛靈ノ物卽チ智識眞理ノ類ヲ謂フチシテ識ル可ラシムルノミナラス亦實ニ之ヲ發生シ之ヲ舉揚ス故ニ衆虛靈物ヲ以テ至善ノ意思ニ比スルキハ其威德ノ更ニ大ニ尊フ可キヿ固ヨリ言ヲ待タサルナリ故ニ汝當ニ知ル可シ大陽ト至善トハ皆儼然タル帝王ニシテ有形ノ境ニ在リテハ大陽之ヲ統御シ虛靈ノ境ニ在リテハ至善之ヲ統御スルヿヲ

以上擧クル所ハプラトン著ス所ノ「レピュブリック」ノ書中ノ語ナリプラトンノ說ニ從ヘハ庶物原理ノ學ト道學ト全ク本原ヲ一ニスル者ナリ蓋シ以爲ラク物ノ能ク生存スル所以ノ者ハ他無シ其物具有スル所ノ完粹ノ性ト善ノ德トノ然ラシムル所ナリ而シテ其完粹ノ性ト善ノ德トハ彼ノ至善ノ意思ヨリ來レル者ナリ故ニ吾人若シ物ヲ識ラント欲セハ必ス層累シテ上リ漸次ニ至善ノ意思ニ透徹スルニ非サレハ不可ナリ

プラトンノ以爲ラク至善ノ意思是生存ノ本原ニシテ亦智識ノ本原ナリ是獨リ體軀ニ係ル不朽ノ典型ナルノミナラス亦精神ニ係ル不朽ノ典型ナリ若シ至善ノ意思ニ憑ラサルトキハ獨リ實物ノ理解ス可ラサルノミナラス精神ト雖モ亦知ル所有ルヿ能ハサルナリ

吾人ノ軀體精神並ニ夫ノ至善ノ意思ヨリ發生シ來ル者ナリ此正ニ虛靈ノ大陽ノ光輝ソレイユ、アント謂フ可シ是故ニ智慧ト生存トノ二者ノ到ル處相待テ用ヲ爲ス所以ノ者ハ他無シ精神ト軀體ト均ク皆一本根ヨリ生スル故ナリ一本根トハ何ソヤ衆極致ヲ統フル所ノ純一無雜ノ一大極致是ノミ」

○第二　情ノ說○善ヲ愛スルノ理

吾人精神智慧ノ明有リト雖モ若シ其中更ニ善ヲ愛スルノ情有リテ之カ氣ヲ鼓スルニ非サレハ智慧モ亦倦惰シテ自ラ奮フヿ無カラン智慧誠ニ能ク彼ノ虛靈ノ理ヲ視ルモ愛情無キトキハ自ラ振フテ之ヲ從フヿ無ク シテ智慧無キト以テ異ナルヿ無キナリ請フ人心ノ善ヲ愛スルノ情ト神ヲ愛スルノ

情トニ就テプラトンノ說ヲ講求セン

プラトン蓋シ以爲ラク吾人智識ノ中自ラ上下二級有リ所謂下級ハ卽チ庸衆ノ見ニシテ專ラ五官感觸スル所ノ有形物ヲ識別スル是ナリ上級ノ識ニ至リテハ一切有形ノ粗迹ヲ舍テ、直チニ無形虛靈ノ衆理ニ入ル是ノミ卽チ吾人ノ愛情モ亦二級有リテ存ス其下ナル者ハ有形物ヲ愛スルヿヲ知ルノミ其上ナル者ニ至リテハ虛靈ノ理ヲ愛スルヿヲ知ル一ハ體殼ノ美ヲ愛戀シ一ハ精神ノ美ヲ愛戀ス是ナリ

善美モ亦無窮ナリ小善美有リ大善美有リ更ニ大ナル者有リ又更ニ大ナル者有リ故ニ愛情モ亦無窮ナリ少ク愛スル有リ大ニ愛スル有リ更ニ大ニ愛スル有リ又更ニ大ニ愛スル有リ此ノ如クニシテ層累シテ上ルヿハ必ス至善ニ至リテ後已ム人能ク至善ヲ愛スルヿヲ知ルトキハ其愛タルヤ至レリ盡セリ又以テ尙フル無シ今人ノ醫術ヲ愛スルヤ直チニ醫術ノ愛ス可キニ非スシテ實ハ身ノ强健ナルヲ愛スルナリ身ノ强健ナルヲ愛スルヤ直チニ身ノ强健ナルヲ愛スルニ非スシテ實ハ一切愛スルニ非スシテ實ハ一利スル所有ルカ爲メナリ故ニプラトン曰ク庸人ノ愛スル所有ルヤ一ヨリ他ニ轉シテ窮已有ルヿ無シ他無シ其物至善ニ非スシテ其情至愛ニ非サルヲ以テナリ君子タル者ハ當ニ層累シテ上リ終ニ愛ノ極處ニ透徹シテ以テ安身ノ地ト爲ス可シ然ラスンハ其愛タル ヤ風ヲ追ヒ影ニ隨フテ休期有ルヿ無カラン物ノ眞ニ愛ス可キ者ハ他ニ目的トスル所有ルニ非スシテ唯其物ノ眞ニ愛ス可キナリ

又曰ク吾人ノ愛スル所有ルハ實ハ其物ヲ愛スルニ非スシテ必ス別ニ取ル所有リ唯至善ヲ愛スルニ至リテ後方ニ眞ニ之ヲ愛スト爲ス可シ故ニ學者當ニ務テ一切他ノ物ヲ愛シテ之ヲ認メテ至善ト爲スヿ勿ル可キナリ蓋シ至善ヲ除非スル外皆唯一時吾人ノ心目ヲ怡ハスニ過キサルノミ

又曰ク吾人ノ金錢財貨ヲ愛スルヿ天下之ヨリ謬レルハ莫シ金錢ノ愛ス可キハ他無シ此ヲ以テ吾人ノ利便ヲ爲ス所ノ物件ニ易フ可ケレハナリ嗚呼人タル者唯金錢財貨及ヒ一切一時吾人ノ心目ヲ怡ハス者ヲ愛スルヿヲ知

リテ獨リ眞ニ愛スヘキモノヲ愛スルヿヲ知ラス大哀ト謂ハサル可ケンヤ哉」

プラトン以爲ラク吾人ノ意欲ノ當ニ嚮往スヘキ所ノ善ハ此善若クハ彼善ニ非スシテ卽チ眞ノ善ナリ故ニ唯當ニ單ニ善ト曰フ可シ一切添加スル所ノ語有ル可ラス而シテ吾人ノ之ヲ愛スルヤ當ニ一時ノ間ニ於テス可ラス シテ必ス當ニ之ヲ愛シテ須臾モ間斷無カル可シ是ニ知ル所謂眞ノ善ヲ愛スルトハ正ニ眞ノ利ヲ愛スルニ外ナラスシテ之ヲ推擴スルヘキハ卽チ精神ノ不滅ヲ愛スルヿ是ノミ

是故ニプラトン曰ク世人恆ニ言フ他人ヲ愛スト謂フト余ハ以爲ラク然ラス他人ニ於テ己レノ半ヲ求ムルヿ是之ヲレノ全體ヲ求ムルモ若シ其半若クハ其全體果シテ善ナラサルヘキハ未タ眞ニ之ヲ愛スルト謂フ可ラス苟モ善ナラサルヘキハ己レノ身ト雖モ之ヲ削リ去ルヿヲ願フ況ンヤ他人ニ於テヲヤ之ヲ例ヘハ疾ノ手若クハ足ニ在ルカ爲メニ身ニ害有ルヘキハ吾人能ク醫ニ請フテ手若クハ足ヲ割斷スルヿヲ知ル他無シ手若クハ足ノ不善ナルカ爲メナリ是ニ知ル吾人ノ愛スル有ルハ其己レヲ愛スルニ非ス亦他人ノ己レニ類スル者ヲ愛スルニ非ス苟モ善ナルヘキハ他人ニ在リト雖モ之ヲ愛シ苟モ不善ナルヘキハ己レノ身ニ在リト雖モ之ヲ愛スルヿ無シ他無シ吾人唯善ヲ是レ愛ス豈復內外自他ノ別有ランヤ哉

又曰ク吾人必ス善ノ己レニ在ルヿヲ願フ是固ヨリ可ナリ然レトモ未タ吾人必ス善ノ常ニ己レニ在ルヿヲ願フニ如カス善ノ常ニ己レニ在ルヿヲ願フテ須臾モ已ムヿ能ハス斯ニ之ヲ得タリト爲ス

夫レ不朽不滅ナルヿハ愛ス可キヿ之ヨリ甚キハ莫シ看ス乎凡ソ生ヲ懷ク者皆務テ自ラ不朽ナルヿヲ求メサル莫シ人類動物ノ兒子ヲ生スルヿハ正ニ其不朽ナルヿヲ求ムルナリ夫レ一切無常ノ物ハ神ノ常々ニ同一ニシテ少モ變易無キカ如クナラス然レトモ苟モ己レノ兒子有ルヘキハ是己レ死スルノ後更ニ己レト類スル者有リテ以テ己レノ身ヲ世ニ傳フルナリ故ニ人類

ニ在リテハ其年老テ將ニ終焉ノ期ニ進マントスルニ及ヒ其兒子ノ長スルヲ見テ以テ自ラ慰シテ以爲ラク是我ノ後身ナリト

プラトン 又曰ク愛トハ一ノ生物ニ續クニ他ノ生物ヲ以テシテ其レヲシテ斷絶スルヿ無カラシムル者ナリ故ニ愛ハ務テ無常ノ物ヲシテ有常ノ靈ヲシテ學ハシムルノ情ナリト謂フモ不可ナル無シ唯有常ノ靈ニ在リテハ無始無終ニシテ永劫ノ間ニ限ラルヽヿ無シ若シ夫レ無常ノ物ハ然ラスシテ特ニ永劫ノ間ニ相繼クニ過キサルノミ

プラトン 又一問答ヲ設ケテ曰ク

由リテ直寫スルノミ 譯者曰クソクラットニ告クル者果シテ誰ナルカ知ラス姑ク原文ニ

勿レ凡ソ生物ノ愛著ノ念ニ束縛セラレテ自ラ脫スルヿ能ハサルハ知ラス識ラス其自ラ不滅ナルヿヲ求ムルナリ云々

玆ニ云フ所ハ皆庸俗ノ愛ニシテ所謂下界ノ愛ナリ但下界ノ愛ト曰フト雖モ其中早ク已ニ神意ニ合スル有リ何トナレハ不滅ノ理ノ寓スル有ルヲ以

テナリ夫レ人ノ兒子ヲ生スルヿヲ求ムルヤ其目的トスル所洵ニ軀殼ノ外ニ出テサルニ似タリ然レトモ理學士タル者理ヲ推シテ深ク察スルトキハ實ハ其既ニ軀殼ノ粗處ヲ去リテ理義ノ精處ニ進ムヲ見ル夫レ不滅ノ性ヲ求ムルヿ天下豈之ヨリ精粹ナル者有ラン哉

又曰ク凡ソ天下懷生ノ者皆不滅ナルヿヲ願欲セサルハ莫シ願フニ此一願欲タル實ニ廣大ノ至リナラス乎生物ノ由リテ生スル所ハ此一願欲ノ然ラシムルナリ故ニ人類ノ靈ナルニ論無ク一小蟲ノ最モ蠢爾タル者ト雖モ生產ノ情ヲ擺脫スルヿ能ハス看ス乎禽獸ノ如キ苟クモ愛情ノ驅ル所ト爲ルトキハ其精力俄然トシテ加ハリ其レヲシテ頓ニ利己ノ私心ヲ離レテ直ヲニ其愛スル所ノ者ノ爲メニ自ラ死スルモ辭セサルニ至ル是其愛ノ力タル實ニ神ノ然ラシムル所ニ非ス乎

今人、禽獸ノ其雌ヲ愛戀スルヲ見ルトキハ其意自ラ愧テ以爲ラク吾人萬物ノ靈ナリト曰フト雖モ亦此ノ如キヲ免レスシテ此一事ニ係リテハ禽獸ト異

ナル無シト因リテ自ラ其身心ノ完粹ナルヿ能ハサルヿヲ知ル然レ𪜈是レモ亦未タ然リト爲ス可ラサル者アリ何ソヤ禽獸ナリ人類ナリ其愛スルヿ有ルノ時ニ方リテハ其情念ノ美ナルヿ大ニ平時ニ踰ユル有リ他無シ此情タル本ト天ノ命スル所ナレハナリ故ニ曰ク男女雌雄ノ相愛スルヿハ下界ノ愛ト曰フト雖モ亦自ラ天街虛靈ノ理ノ寓スル有リト

然リト雖モ精神ノ愛ハ軀殼ノ愛ニ比スル𪜈ハ其生產スル所更ニ大ニ美ト ス可キ者有リテ復タ同日ノ論ニ非ス蓋シ精神モ亦產生スル所有リテ以テ不滅ナルヿヲ求ムルヿ軀殼ト異ナルヿ無シ何ノ謂ソヤ曰ク美名ノ千歲ニ傳ヘテ不朽ナルヿヲ求ムルヿ是ナリ故ニ吾人ノ能ク諸ヽ德義ノ行有ルハ正ニ吾カ精神ノ其兒子ヲ生スルニ外ナラスアドメート、アシール、コドリュース ノ能ク偉大ノ業ヲ建テシハ精神ノ愛ノ產生セシ所ニ非スシテ何ソヤ

凡ソ材德衆ニ出ル者ハ皆己レト肖似スル者ヲ打出シテ以テ嗣子ト爲スヿヲ求ムル而シテ一旦之ヲ得ルヿハ其相與ニスルノ情終始變改有ルヿ無シ蓋シ其深愛ノ義尋常ノ家族ニ比スルヿハ大ニ相勝ル者有リ他無シ是ノ如クニシテ得ル所ノ兒子ハ其尋常ノ兒子ニ視ルニ更ニ美ニシテ更ニ不朽ノ性有ルカ故ナリ看スヤリキュルグノ其鄉國スパルトノ爲メニ養成セシ所ノ豪傑ハ皆リキュルグノ兒子ニ非スシテ何ソヤ其他ソロンノ如キオメールノ如キエジヨードノ如キ皆養成スル所有ラサル莫シ此等精神ノ娩生スル所ノ兒子ハ其父沒スルヿハ相共ニ祠ヲ立テ、之ヲ祭リテ怠ルヿ無シ若夫レ軀殼ノ生スル所ノ兒子ニシテ其父ノ爲メニ祠ヲ立ルカ如キハ世豈之有ラン哉

プラトン更ニ其善ノ愛ノ說ニ於テ極テ以テ奇妙不可思議ト爲ス所ノ旨義有リ之ヲ名ケテ最上乘ノ秘ト曰フ蓋シ吾人ノ愛情タルヤ上下ノ度級有リ其初ヤ下界ノ中ニ止マリテ其至レルニ及ヒテハ直チニ天寰ノ上ニ升ル是二級ハ愛ノ說ニ於テ必ス循ハサル可ラサルノ次序ナリ

吾人ノ智識タルヤ必ス一時據ル所有リテ脚ヲ立テ然ル後一眞理ヨリ他ノ

一眞理ニ入リ序ヲ逐ヒ次ニ循フテ終ニ最大眞理ニ透徹シテ後已ム者ナリ
愛モ亦此ト同シ一美ヨリ他ノ一美ニ入リ疊進シテ已マス其末ヤ至純至粹
ノ美ニシテ卽チ衆美ノ由リテ出ル所ノ本原ヲ愛スルニ至ル是愛ノ次序ナ
リ

プラトン以爲ラク凡ソ首ニ吾人ノ精神ヲ感發スル所ノ衆美ハ曰ク形貌ノ
美ナリ采色ノ美ナリ聲音ノ美ナリ皆有形ノ美ニシテ而シテ人體ノ美殊ニ
人心ヲ動カス者有リ乃チ曰ク吾人ノ美貌ヲ見ルヤ精神恍惚トシテ自カラ
禁セス是時ニ於テ自ラ其何ノ故ナルヲ知ラント欲スルモ得可ラス而シテ
其此ノ如クナルハ常ニ突如ノ間ニ發シテ殆ト我カ心ヲ顚倒スルカ如キ者
ナリ又曰ク吾人其愛スル所ノ狀貌ヲ見ルトキハ且驚キ且喜ヒテ其心況宛然
嘗テ識ル所ノ者ニ逢フカ如クニシテ以爲ラク此我ノ久ク索メシ所ナリト
此レ余カ回聽ノ說ナリ蓋シ是時ニ在リテハ久ク別レテ殆ト將ニ忘レント
セシ所ノ者ニ逢フノ狀有リ殆ト將ニ忘レントセシト曰フト雖モ實ハ其之

ニ逢ハサルカ爲ニ平時隱然中情ニ欠クル所有ルカ如シ故ニ今之ト對スル
ニ及ヒテハ舊相識ニ逢フカ如キヲ致スナリ顧フニ此ノ如クニシテ始メテ
見ル所ノ狀貌ニ就テ舊相識ノ情ヲ發スル者ハ蓋シ一時自ラ誤ルカ如シト
雖モ其實ハ甚タ理ニ合セリ何トナレハ美ハ固ヨリ吾人ノ愛スル所ニシテ
其未タ生ヲ斯世ニ託セスシテ天堂虛靈ノ域ニ在ルニ方リ吾人常ニ美ヲ愛
シテ之ト離ルヽヿ無カリキ故ニ其斯世ニ在ルノ時美貌ヲ見ルトキハ隱然舊
相識ノ思ヲ發スル者ハ知ラス識ラス之ヲ回憶スルノ致ス所ナリ

プラトン以爲ラク人ノ前世天堂ニ在ルニ方リ諸〻慶福ニ浴スル所ノ衆精神
ト共ニ「シュピテル」神ノニ追隨シテ天樂ノ宴筵ニ陪シ是ニ於テ乎美觀ノ最モ
美ナル者ヲ瞻仰スルヿヲ得タリ何ノ謂ソヤ曰ク夫ノ衆極致ノ謂ニシテ其
中ニ於テ彼ノ衆美ノ由リテ出ル所ノ最上極致ノ光輝赫燿トシテ其彩色ヲ
放テリプラトン乃チ曰ク吾儕ノ天堂ニ在ル常ニ美麗ノ觀ニ飽ケリ故ニ降
リテ生ヲ斯世ニ託スルニ及ヒ其美麗ノ觀ニ於ケルヤ之ヲ判スルヿ他物ヲ

判スルニ比スレハ更ニ分明ナリ他無シ是我カ五官中ノ最明ナル者ノ觸知スル所ナレハナリ

又曰ク夫レ目ハ凡ソ我カ體ノ器具ニ就テ最細微ノ別ヲ判知スル者ナリ然リ而シテ其德義ノ美ヲ視ルニ能ハサルハ獨リ何ソヤ

又曰ク若シ德義ノ美ヲシテ其人目ニ觸ルヽニ其影象ノ外ニ著ハルヽ者卽チ形容ノ美ノ如クナラシメハ吾人ノ之ヲ愛スルニ如何ソヤ豈復タ形容ノ美ノ比ス可キ所ナラン哉又曰ク美麗ノ觀ハ衆物ノ中ニ就テ最モ明瞭ニシテ且最モ人心ニ感スル者ナリ此レ他物ノ無キ所ナリ

又曰ク吾人ノ美麗ノ顏貌ニ逢フ時精神飛越シテ自ラ禁セス追憶ノ念自然ニ發動シテ隱然昔日ノ感ヲ再起スル者ノ如シ次ニ徐ニ之ヲ望ムニハ愈〻視テ愈〻厭足スル之ヲ尊フニ鬼神ノ如シ是時ニ當リ若シ人ノ我ヲ視テ狂病者ト爲スニヲ恐レサルニハ吾人將ニ之ヲ崇拜スルニ少シモ神ト異ナラサラントス夫レ人ノ美ヲ愛スルニ此ノ如キ者アリ

然ト雖モ吾人ノ顏貌ノ美ヲ愛スルハ實ハ假相ヲ認テ實相ト爲ス者ナリ反影ヲ認メテ火光ト爲ス者ナリ他物ニ假ル所ノ美ヲ認メテ本有ノ美ト爲ス者ナリ何ヲ以テ之ヲ謂フ夫レ身體中表見スル所ノ美ハ一人ニ限ルニ非スシテ之ヲ具フル者頗ル多シ果シテ此ノ如クナルニハ何ソ衆體中散在スル所ノ美ヲ取リテ之ヲ一ニ合シ是ノ如クニシテ衆美相備リテ完粹ナラシメサルヤ慮リテ是ニ及フニハ我カ精神復タ一美貌ニ愛著セスシテ凡ソ美貌ニ逢フニハ皆其長處ヲ取リ我カ心ニ於テ聚メテ一ト爲シテ以テ之ヲ想像スルヲヲ務メテ初メヨリ慾ニ動カサルヽヲ無シ夫レ然ル後將ニ曰ハントス嗚呼狀貌ヲシテ愛ス可ラシムル所以ノ者ハ其實ハ精神ノ力然ラシム何トナレハ我ノ人身ニ愛スル所ハ其活潑ノ生氣有ルト其爽快ノ運動有ルト其富贍ニシテ而シテ整齊ノ次序有ルトニ由ル然ルニ此等ノ性ハ皆精神ヨリ來ル者ナリ是ニ知ル精神ハ運動ト次序ノ本原ナルヲヲ果シテ然ルニハ何ソ其効果ヲ舍テヽ其本原ヲ取ラサル何ソ軀殼ノ愛ヲ去リテ精神ノ

愛ニ就カサル此ハ是愛ノ次序ナリ

又曰ク是ノ如クニシテ體ノ美ヲ舍テヽ心ノ美ヲ取ルヒハ汝將ニ知ル可シ凡ソ精神ノ美ナル者ハ其美トス可キヿ皆相同クシテ得テ上下ス可ラサルヿヲ是ニ於テ乎所謂道德ノ美ノ典型ナル者ヲ得テ其之ヲ愛スルヿ復タ狀貌ノ美ノ比ニ非ス

プラトン又以爲ラク精神ナル者ハ本ト虛靈ニシテ見ル可ラス故ニ唯其活潑有爲ノ處ニ於テ之ヲ視ルヿヲ得ルノミ是ヲ以テ凡ソ他人ノ精神ノ美ヲ愛セント欲スル者ハ先ツ其善行ノ美ニ就テ之ヲ愛ス然レトモ更ニ進ミテ之ヲ考フルヒハ行爲ハ實ハ情念ノ外ニ發セシ者ニシテ其中宜ク之ヲ發スル者有ル可シ之ヲ例ヘハ高明ノ行爲寬大ノ行爲ノ如キハ畢竟其人具フル所ノ高明寬大ノ氣象ノ發スル所ナリ然レハ則チ行爲ノ區域ヲ去リテ更ニ情意ノ區域ニ入リテ之ヲ愛ス可シ此レ精神ノ愛ノ次序ナリ

更ニ又進ミテ言フヒハ曰ク氣象ノ美ナルハ智識ノ美ナルヨリ發スル者ナリ性質如何ニ美ナルモ智慧明ナルラサルヒハ能ク其美ヲ發スルヿ無シ故ニ智慧ハ又氣象ノ本ナリ然レハ則チ何ソ更ニ進ミテ氣象ノ美ヲ去リテ智慧ノ美ニ入ラサルヤ夫レ智慧ノ美ヲ講求スルヿ此正ニ理學ノ事ニシテ此ヲ下ルヒハ皆庸俗ノ愛タルニ過キサルノミ

然リト雖モ智慧ノ美ヲ愛スルヿモ亦未タ以テ愛ノ說ノ極致ト爲スニ足ラス蓋シ論シテ是ニ至ルヒハ美ノ學洵ニ以テ吾人ノ智ヲシテ厭足セシムルニ足ル然レトモ我カ精神ノ物タル其美ヲ愛スルニ於テ徒ニ之ヲ識ルヲ以テ足レリト爲サス自ラ之ヲ得テ須臾モ相離ルヽヿ無ラント欲ス是ニ於テ乎其愛情ノ牽引スル所ト爲リテ夫ノ理學ノ道理ノ中ニ安ンスルヿ能ハスシテ其心猶ホ窮ニ云フ必ス更ニ高キ者有ラン我必ス之ニ達スルヿヲ得ント何トナレハ其求ムル所ハ獨リ美ヲ識ルニ在ラスシテ美ヲ得ルニ在レハナリ此レ又愛ノ說ノ次序ナリ

學者既ニ智慧ノ中ニ於テ美ノ在ル有ルヿヲ知ルヒハ更ニ上リテ其愛スル

所ノ美ト一體ヲ爲サント欲ス是ニ於テ乎衆美ノ上自ラ一大至美ノ在ル有リテ其廣キヿ被ムラサル所無ク寂然トシテ動カス萬古變改有ルヿ無キヲ知ラン夫レ是物ヤ卽チ智識及ヒ情慾ノ最上乘ノ目的ナリ

學者一タヒ此境界ニ上ルヤ其智慧忽チ喀然其情意忽チ恍然トシテ自ラ彼ノ至美ノ極致ト一體ヲ爲スカ如キヲ覺ユ此レ愛ノ說ノ極處ナリ

是故ニプラトン其書中問答ヲ設ケテ曰ク嗚呼ソクラット、人ノ斯世ニ在ルヿヲ貴フ所以ノ者ハ他無シ此不滅ノ美ヲ視ルヿヲ得ルカ爲メナリ中略若シ人學問精熟ノ後此粹然至純ノ美ヲ望觀スルヿヲ得ルヿハ其樂ム可キヿ如何ソヤ夫レ此美ヤ純潔ニシテ少渣滓有ルヿ無ク血肉ノ汚穢ヲ被ムルヿ無ク一切朽滅ヲ免レサル所ノ空幻ノ裝飾ハ一モ之有ルヿ無シ若シ人此神ノ美觀ト相對シテ少間隔無キヿヲハ其之ヲ樂ムヿ如何ソヤ云々

然リト雖モ是ノ如クニシテ神ト一體ヲ相成スヿハ決シテ我カ精神及ヒ我カ愛情ノ寂滅シテ空ニ歸スルノ謂ヲ謂フニ非ス此レ正ニ眞ノ生活ニシテ

眞ノ愛情ナリ夫レ一切他物ノ愛ハ皆無常ニシテ時有リテ亡フル者ナリ今此ノ如クニシテ神ノ美ヲ愛スルヿハ此レ不滅ノ中ニ於テ愛情ヲ附託スル者ナリ何ノ愛情ノ寂滅カ之レ有ラン

夫レ軀殼ノ相合スルヿハ之ヲ一體ヲ爲スト謂フモ其間常ニ得テ別ツ可キ者有リ何ソヤ愛スル者愛セラルヽ者自ラ兩人ニシテ各々其己レタルヿヲ自知スレハナリ但愛ノ物タル二物ヲ合ゾテ一ト爲スヲ以テ軀殼ノ愛ニ在リテモ自ラ二ヲ合シテ一ト爲スノ理有リ夫レ一ニシテ二ナリ二ニシテ一ナリ是レ理ノ解ス可ラサル者ニシテ吾人ノ智慧如何ニ之ヲ考フルモ遂ニ其秘ヲ得可ラス唯精神ノ愛ニ上ルニ及ヒ然ル後此理得テ解ス可シ此レ卽チプラトンノ愛ノ說ナリ

○第三　行爲ノ說○道德及ヒ政治

吾人ノ意欲ハ必ス善ヲ以テ目的ト爲ス若夫レ之ヲ得ルノ手段ニ至リテハプラトンノ意モ亦ソクラットト同ク吾人ノ自由ニ撰擇スルヿヲ得ル所ニ非

スシテ苟モ善ノ在ル所ヲ知ルトキハ必ス求メテ自ラ已ムコト能ハス其或ハ不善ヲ爲ス者有ルハ他無シ其智未タ至ラサル有レハナリ若シ智已ニ至ルトキハ不善ヲ爲スノ理無シ

是故ニプラトンノ道學ハソクラッテスノ道學ト同ク全ク智識ト一體ヲ爲シテ所謂人心ノ自由ナル者ヲ容スコト無シ其所謂行爲ノ說ハ智識ノ說及ヒ愛情ノ說ト表裏ヲ相爲ス者ナリ

プラトン以爲ラク我カ精神ヲシテ夫ノ衆極致卽チ衆意ト適合セシムルコト是レ卽チ德行ナリト故ニ其言ニ曰ク吾人ノ斯世ニ在ル軀殼ノ束縛ニ困ムコトヲ極テ甚シ故ニ速ニ逃脫シテ天堂ニ上ルコトヲ求ムヿ可シ所謂斯世ヲ逃脫スルノ道如何曰ク務メテ我カ精神ヲシテ神ノ醇粹ナルニ肖似セシムルコト是ナリ而シテ吾人ノ神ニ肖似スルハ唯正義、莊嚴、明哲ノ三者ニ由リテ然リト又曰ク君子タル者心ヲ竭シテ彼ノ至大ノ極致ヲ窺視スルトキハ必ス之カ完粹ノ德ニ倣傚スルコトヲ求ムヿ蓋シ德行ハ猶ホ一彫像ノ如キナリ智識ハ猶ホフィヂヤース有名ノ彫刻家ノ如キナリ精神ハ猶ホ彫刻家用フル所ノ石材ノ如キナリ神ハ猶ホ彫刻家ノ摸スル所ノ典型ノ如キナリ

德行モ亦數種有リ其學識ヨリ發スル者ハ名ケテ勇ト曰フ其五官ノ感觸ヨリ發スル者名ケテ寡慾ト曰フプラトン又此等ノ諸德ヲ合シテ之ヲ稱スルトキハ往々之ヲ義ト曰フ故ニ義ハ總稱ナリ蓋シプラトンノ意ニ義トハ獨リ人々ヲシテ其居ル可キ所ニ止マラシムルノミナラス亦天下ノ物ヲシテ各〻其居ル可キ所ニ止マラシムルノ謂ナリ

義モ亦二有リ內ノ義有リ外ノ義有リ內ノ義トハ吾人ヲシテ能ク自ラ其有スル所ノ諸能力ヲ均調シテ彼此輕重無カラシムルノ謂ナリ此猶ホ音樂ノ節奏ノ如キナリ

外ノ義トハ吾人ノ他人ト交ルノ際生スル所ナリ內ノ義既ニ立ツトキハ以テ社會ニ係ル衆義ヲ行フコトヲ得他無シ此二ノ義本ト同一ニシテ唯其目的ト

スルノ異有ルノミ

唯天下正義ノ人獨リ能ク己レヲ處シテ不整齊ノ病無キコトヲ得又其他人ヲ待ツコト於テ獨リ道ニ失スルコト無キコトヲ得己レノ精神ノ諸能力相均齊和調スルニ非サレハ他人ノ精神ト相均齊和調セント欲スルモ得可ラサルナリ故ニ曰ク唯能ク己レヲ處シテ過舉無キ者能ク人ヲ待ツニ道ヲ以テスルコトヲ得蓋シ義內ニ蘊ムニ非サレハ以テ外ニ發ス可ラサルナリ

不正トハ何ソヤ我カ精神ノ諸能力及ヒ諸情念ノ相均齊スルコト能ハスシテ亦他人ノ諸能力及ヒ諸情念ト相均齊スルコト能ハサルノ謂ナリ蓋シ不德ナル者ハ獨リ德ト相反スルノミナラス亦他ノ不德ト相反シテ相容レス若夫レ德ニ至リテハ決シテ他ノ德ノ敵ヲ爲スノ理ナシ之ヲ例ヘハ我ノ智有ルモ決シテ他人ノ智ニ害スルコト無シ我カ智ト他人ノ智ト其視ル所皆同一眞理ナレハナリ我ノ勇有ルモ決シテ他人ノ勇ニ害スルコト無シ我ト他人ト共ニ同一利益ヲ尋求スレハナリ我ノ能ク慾ヲ節スルモ他人ノ慾ヲ節スルニ害スルコト無シ慾ヲ節スルコトハ我ノ利益ト他人ノ利益ト並ニ之ヲ要スレハナリ是ニ知ル唯一ノ義有ルトキハ各人及ヒ國家並ニ相均齊和調シテ患害有ルコト無シ

愛情ニ至リテモ亦然リ故ニプラトンノ意以爲ラク義能ク人々ノ能力情念ヲ調齊シテ相共ニ善ニ向ハシムル愛モ亦此ノ如シ人々能ク其能力情念ヲ調齊スルトキハ亦人々必ス相愛シテ相敵スルノ理無シ人々能ク明ニ善ノ在ル所ヲ知ルトキハ人々相共ニ之ヲ得ルコトヲ求ム可シ此レ自然ノ勢ナリ蓋シプラトンノ理學ノ効果中嘆服ス可キ者頗ル多シ而シテ其一ハ以爲ラク人其己レニ於テ最モ利ナル者ナリ所謂其己レニ於テ最モ利ナル者トハ博ク利ヲ愛シテ遺ス所無キノ謂ナリ人能ク此ノ如クニシテ利ヲ愛スルトキハ亦他人ノ利ヲ愛ス苟モ他人ノ利ヲ愛スルトキハ亦他人ノ身ヲ愛ス苟モ他人ノ身ヲ愛スルトキハ是其人仁慈寬恕ナルコト言ヲ待タスシテ知ル可シ

是故ニ仁ハ義ノ中ニ存ス是二ノ者蓋シ一體ニシテ別ツ可ラサルナリ若シ朋友ヲ待ツニ善ヲ以テシテ仇敵ヲ待ツニ惡ヲ以テス是義ナリト曰フ時ハ大ニ不可ナリ夫レ人苟モ專ラ善ヲ愛シテ獨リ此善彼善ニ止マラスシテ他人ニ加フルニ不善ヲ以テスル時ハ豈前後矛盾スルノ甚シキニ非ス乎是故ニ他人或ハ我ヲ待ツニ橫逆ヲ以テスルモ我之ヲ待ツニ橫逆ヲ以テスルヲヲ得ス

夫レ義ノ一德能ク愛ヲ發シ又能ク剛ヲ發ス他無シ人能ク義ヲ守ル時ハ精神ノ諸能力皆相均齊シテ其目的ノ一ニ歸ス精神ノ勇剛ヲ成スヿ亦宜ナラス乎故ニプラトン曰ク君子ハ能ク己レト一ニシテ相反スルヿ無シ小人ハ則チ然ラス己レ一ニ歸スルヿ無クシテ解弛シテ收拾ス可ラス卽チ國家ヲ治ムルノ術モ亦然リ國家義ヲ守ルヿ愈〻堅キ時ハ其勢力愈〻強シ苟モ不正ノ行ハルヽ時ハ諸種ノ力相軋シ相敵シテ與ニ共ニ外ニ嚮フヿヲ得ス故ニ唯正能ク諸種ノ力ヲ合シテ同一ノ目的ニ出テシムルノミ

是故ニ義ハ人々ノ利益ヲ爲スニ論無ク亦國家ノ利益ヲ爲シテ衆庶ヲシテ共ニ慶福ノ澤ニ浴セシム

衆人ノ智識ト其愛情ト其行爲ト皆彼ノ至大ノ極致卽チ意思ニ嚮往セサル莫シ而シテ衆人相共ニ同一眞理ノ極致正義ノ極致美麗ノ極致ニ於テ分貸スル所有ル時ハ是レ凡ソ人類相合シテ一大家族ヲ爲ス者ナリ道德政術ノ目的蓋シ此ノ如シ

是故ニ道學ハ吾人精神ノ諸能ヲ合シテ一ト爲ラシムル者ナリ政治ハ國ノ諸力ヲ合シテ一ト爲ラシムル者ナリ

道學ノ物タル其初ニ在リテハ人心諸種ノ能力相反シテ均齊ス可ラサルカ如キヲ見ル智識一タヒ發達スルヿ及ヒテハ此等能力皆相均齊シテ以テ一ニ歸嚮セシムルヿヲ得政治モ亦然リ其初ヤ蓋シ衆庶ノ蕃キ有リ各々皆不完不粹ノ血肉ニシテ動モスレハ相仇視シテ綏懷ス可ラス治術宜キヲ得ル時ハ衆庶相合シテ一ヲ爲シ軀殼ノ相仇スルヿ易フルニ精神ノ相結フヲ以テ

ス是ニ於テ乎國ナル者立テ一大全體ヲ爲シテ卽チ衆人ハ此體ノ支節ナルノミ此レプラトンノ政術ナリ

プラトン故ニ曰ク民人ハ萬事ニ係リ皆之ヲ共ニセサル可ラス耳目手足並ニ相共ニ之ヲ用ヒテ獨自ラ之ヲ用フルヲ得スト此レ其「ロアー」ノ書中ノ言ナリ故ニプラトンノ意ニ從ヘハ唯國有ルノミ各人ハ有レ𪜈無キカ如シ

プラトンノ意ヲ推ストキハ政學ハ正ニ道學ノ大ナル者ニシテ其根據トスル所ハ殆ト邦國ノ人心窮理學ト曰ハンカ如キ者ナリ故ニ以爲ラク人心三ノ能力有リ曰ク智慧ナリ情念ナリ五官ノ感觸ナリ智慧能ク明哲ヲ生シ情念能ク勇及ヒ力ヲ生シ五官ノ感觸能ク飮食ノ慾ヲ生ス卽チ邦國モ亦宜ク三族類有リテ以テ人心ノ三能力ノ職ニ倣フ可シ是ニ於テ乎言フ官吏ハ猶ホ頭腦ノ如クニシテ智ノ職ニ服スル者ナリ軍人ハ猶ホ心臟ノ如クニシテ勇ノ職ニ服スル者ナリ工商農夫ハ猶ホ五官ノ慾ノ如クニシテ飮食衣服ヲ供スル者ナリ

邦國ノ職是ノ如ク相同シカラスト雖モ其目的トスル所ハ則チ一ナリ故ニ官吏ト云ヒ軍人ト云ヒ民ト云ヒ皆專ラ國ニ報スルヲ以テ目的ト爲ス者ナリ然ルニ邦國中二事ノ最モ邦國ト各人トヲシテ相合セサラシムル有リ故ニプラトン此二事ヲ廢シテ後已マント欲ス何ノ謂ソヤ曰ク家族ナリ曰ク所有權ナリ

人々私有ノ權ハ是レ彼我ノ別ノ由リテ生スル所ニシテ凡ソ各人ノ各人タル所以ハ皆此ニ本ツク故ニ衆庶ヲ合シテ一ト爲シテ以テ政治ノ極致ニ達スルヿヲ求ムルトキハ所有權ハ必ス廢ス可キ所ニ在リ家族モ亦邦國ノ中ニ於テ別ニ一團聚ヲ爲ス者ニシテ衆家族ノ並立スル此レ正ニ利己ノ念ト忤違ノ情トノ由リテ發スル所ナリ故ニ所有ノ權ト家族ノ制トハ縱令之ヲ全廢スルヿヲ得サルモ軍人ノ族ニ在リテハ當ニ之ヲ廢ス可シ軍人ハ宜ク相通シテ妻有ル可シ獨リ一女ヲ妻トス可ラス是ノ如キ者情慾ヲ恣ニスルヿヲ得ルカ爲メニ非ス正ニ道德並ニ政治ニ係リテ益スル所有ルカ故ナリ軍人

ハ亦私ニ子ヲ養フヿヲ得ス子生ルヽヤハ官取リテ之ヲ養ヒ之ヲ教ヘテ以テ父ノ業ヲ紹カシムル可シ體操及ヒ舞蹈ノ類ハ以テ其筋骨ヲ鍊ルニ取リ音樂ハ以テ其志氣ヲ舒暢スルニ取ル皆軍人ヲ教育スルノ道ナリ

若夫レ詞人ノ業及ヒ繪畫彫刻ノ藝ノ如キハ尤モ當ニ嚴制ヲ設ケテ之ヲ檢點ス可シ然ラスンハ其弊ヤ國人ヲシテ意ヲ無益ノ玩好ニ留ムルニ至ラシメン蓋シプラトンノ意政治ト教育トハ正ニ同一ノ術ナリ

政體ノ最モ道ニ合スル者ハ權威ノ多衆ノ手ニ在ル者ニ非スシテ賢者ノ手ニ在ル者ナリ何ソヤ官吏ハ猶ホ頭腦ノ如クニシテ智ノ職ニ服スル者ナルヲ以テ庸衆人ノ當ル所ニ非スシテ獨リ賢者之ニ當ルニ足レハナリ是ニ知ル貴族政治ハ政體ノ最モ理ニ合スル者タルヿヲ

貴族政治ハ洵ニ道ニ合スルニ似タリ獨リ奈何セン此政體タル永ク世ヲ延フルヿヲ得ス而シテ民主政治ノ如キハ放弛ノ患有リテ其末ヤ往々兇猛ノ姦賊制度ノ弛廢セルニ乘シ意ヲ肆ニシテ顧忌スル所無シ是ノ如クナルヒ

ハ人々モ亦其慾ヲ恣ニセント欲シ媚ヲ納レ諛ヲ呈シテ以テ益〻其姦賊ヲシテ威ヲ擅ニスルヿヲ得セシムルニ至ル故ニプラトンハ以爲ラク邦國ノ眞ニ安寧ニシテ人民ノ永ク慶福ヲ享クルヿヲ欲スルヒハ必ス理學ニ邃ナル者相聚リテ政ヲ爲スニ非サレハ不可ナリ他無シ理學士ハ彼ノ正義ノ學ニ於テ得ル有ルヲ以テナリ

夫レ風俗有リテ然ル後政治立ツ故ニ德行無キヒハ邦國以テ安ヲ得可ラス此レ固ヨリ然リ但プラトンハ是道理ニ於テ深ク考ヘスシテ乃チ以爲ラク道學ハ政治ト全ク一體ヲ爲スト是レ其謬戾ノ最ナル者ナリ

プラトンノ著ス所ノ「レピュブリック」ノ書ハ其所謂完粹ノ邦國天意ノ政府ヲ論セシ者ナリ蓋シ亦プラトンノ語ヲ用ヒテ之ヲ政治ノ極致即チ意思ト稱ス可シ但其言太タ空妙ニシテ實ニ施シ難キノミ

「ロアー」ノ書中論スル所ノ旨趣ハ稍〻實ニ施ス可キカ如シ但其大旨ヲ論スルニ於テ極テ高遠ニシテ制度ノ實際ニ至リテ過嚴ニシテ盡ク行フ可ラス論

理ノ美ト實際ノ酷ト相反スルノ弊ハ二書皆免ルヽヿ能ハス

プラトン曰ク有宇ノ法律ハ畢竟無宇ノ法律ノ辭句ニ著ハレヌル者ナリ而シテ無宇ノ法律ハ彼ノ義ノ意思ニ外ナラス蓋シ凡ソ意思ト云フ者ハ皆吾人ノ智慧ヲ以テ考察ス可キ者ナリ故ニ凡ソ法律ハ必ス之ヲ設ケル所以ノ旨趣ヲ擧ケテ之ヲ民ニ示サヽル可ラス何ソヤ法律ナル者ハ頑冥麁暴ノ腕力ニ非スシテ人心ヲ服スル所ノ條規ナルヲ以テ獨リ人ヲシテ之ニ循ハシムルノミナラス亦喜ンテ之ニ循ハシメサル可ラサレハナリ

更ニ一種ノ法律有リテ理學士タル者尤モ當ニ潛心注意ス可シ何ノ謂ソヤ曰ク刑律是ナリプラトン以爲ラク刑律ノ旨趣ハ人ヲ殺スニ在ラスシテ人ヲ救フニ在リ人ノ身若クハ財ヲ害シテ以テ之ヲ苦シムルニ在ラスシテ正義ノ道ヲ復スルカ爲メ罪人ヲ懲戒スルニ在リ故ニ若シ義ヲ外ニシテ利ヲ主トスルトキハ以テ刑律ノ本旨ヲ失フ顧フニプラトンノ此等ノ論ノ如キハ誠ニ佳ナリ但其歸趣ヲ擧クルニ至リテ大繆戻有ルヲ免レス以爲ラク刑律

ハ罪人ヲシテ其罪ヲ償ハシムルニ在リト猶ホ宗教家懺悔ノ類ノ如キナリ而シテ可ナラン乎

プラトン以爲ラク政府ハ人々ヲシテ善ヲ行ハシムルヿヲ以テ自ラ任スル者ナリ故ニ犯ス者有ルトキハ之ヲ懲罰シテ以テ自ラ其罪ヲ滅サシムト是ニ於テ乎政府ニ附スルニ僧門有スル所ノ神靈ノ權ヲ以テセント欲スル是ノ如クナルトキハ其弊政府ノ權威過大ニシテ人民一切ノ事預ラサル所無ク家居隱微ノ事ト雖モ皆之ヲ司トルニ至ル是レ所謂大謬戻ノ處ナリ

プラトン本ト人心自由ノ理ニ於テ少モ悟ル所有ラス故ニ其道學ノ如キ美ハ則チ美ナリト雖モ夫ノ責任ノ理ニ於テ得ル有ラス蓋シ責任トハ吾人ノ精神其自由ノ德ニ藉リテ自ラ一個ノ務ニ任スルノ謂ナリ又其政治ニ於ケル曾テ人々ノ權理ニ論及スルヿ無シ權理トハ人々ノ自由權ヲ以テ限畫スル所ノ人々ノ自由權ナリ

○第五　プラトンノ神說

プラトン以爲ラク神卽チ至善ハ其物タル廣大無邊ニシテ吾人ノ得テ解釋スル所ニ非ス亦徵チ擧ケテ之チ證スルニチ須ヒス蓋シ神ノ現存スルニ其威德極テ灼ナルチ以テ吾人之チ識ラント欲セハ唯智慧チ放チテ之チ察スル有ルノミ是レ猶ホ大陽ノ有ルニチ徵セント欲セハ唯天チ仰テ之チ望ム有ルカ如シ

又以爲ラク人々衷情隱然皆神有ルニチ知ル然レ𪜈是其生レナガラニシテ有ル所ノ情ニ過キサルチ以テ未タ太タ明瞭ナルニ能ハス故ニ學問ノ道ハ他無シ吾人既ニ有スル所ノ情ニ就テ益〻之チ講求シ以テ明ニ神ノ有ルニチ知ルニ是ノミ

是故ニプラトンノ神說ハ必スシモ徵證チ擧クルニ專ラナラス蓋シ凡ソ其道學政學ハ皆神チ以テ本原ト爲スカ故ニ神ノ存スルニチ論スルニハ必スシモ其神說チ待タスシテ明ナリ是ニ由リテ言ヘハプラトンノ理學ハ之チ神說ナリト謂フモ可ナリ

然リト雖モプラトンモ亦前ニアナキザゴールス及ヒソクラットノ神チ證セシ所ノ諸徵ニ就テ更ニ精徵チ加ヘテ以テ言チ爲セシ者有リ以下之チ擧ケン」

第一　世界ノ運動ハ之チ動カス精神チ徵ス可シ○世界ノ根原プラトン曰ク若シ一物其運動チ他ノ一物ニ傳ヘ他ノ一物ニ傳ヘ是ノ如クニシテ迭次ニ授受スルトキハ如何シテ此等諸物ノ中運動ノ本原有リト曰フニチ得ル乎蓋シ眞ノ運動ノ力有ル者ハ必ス自ラ動テ力チ他ニ假ラサル者ナリ故ニ實物ハ運動ノ力有ルニ無クシテ獨リ虛靈ノ物之有リ吾人精神ノ如キ卽チ是ナリ

又曰ク精神ハ一種自ラ運動スルノ軀殼ニ於ケルハ其運動ノ本原ナリ而シテ凡ソ本原ト云フ者ハ必ス其動カス所ノ實物ニ先テ存スル者ナリ是ノ如クニシテ當サニ知ル可シ神ハ世界ノ大精神ニシテ必ス儼然存在スルニチ

然リト雖モ茲ニ云フ所ハ猶ホ神ニ於ケル最上乘ノ說ニ非ス凡ソ自ラ運フ者ノ上更ニ一種寂然不動ノ大極致ノ在ル可シ是吾人智慧ノ目的トスル所ナリ夫レ智慧苟モ此ヲ以テ其目的ト爲スヰハ世必ス此物ノ現存スル有リ所謂寂然不動ノ大極致是卽チ神ノ徽ナリ

第二　庶物皆善ニ嚮往セサル莫シ此レ以テ至善ノ儼存スルコトヲ徵ス可シ○世界庶物ノ目的　プラトン曰ク若シ人庶物ノ本原ナル者ノ必ス有ルヿヲ知ラント欲セハ試ニ庶物ニ就テ之ヲ察スルニ如クハ莫シ蓋シ庶物ノ生滅變轉スル皆善ニ嚮ハサル莫シ是ノ如キ者豈偶然ノ事ナラン哉此猶ホソクラットノ說ナリプラトン是ニ於テ此說ヲ襲用シテ以テ天地庶物皆至善ヲ以テ目的ト爲スヿヲ證スルヿヲ試ミタリ

夫レ天地庶物ヲ察スルニ各〻目的有ラサル莫クシテ其次序粲然トシテ擾ル可ラス是ノ如キ者ハ必ス一大智慧ノ然ラシムル所ニシテ凡ソ庶物ナシテ皆彼ノ衆極致ニ適合セシムル者ハ正ニ神ノ意ナリ

若シ天ノ日月星辰ノ運轉移動スルヿ自然ニ次序有リテ智慧ノ然ラシムル所タルニ似タリト爲スヰハ當ニ知ル可シ此智慧ハ世界ノ一大精神ノ發スル所ニシテ其德タル至仁ニシテ與ニ比ス可キ者無キヿヲ豈天地庶物各〻自ラ運動シテ而シテ能ク是ノ如キノ次序有ラン哉

プラトン又以爲ラク至善ハ凡ソ精神ノ嚮往スル所ナルヲ以テ當サニ知ル可シ是人類願欲ノ情ノ目的タルヿヲ夫レ吾人ノ至善ノ意思ニ於ケルヤ一タヒ之ヲ察スルヰハ感發シテ自ラ措ク能ハス願フニ吾人ノ感愛ノ情是ノ如ク其切ナルヰハ是世界自ラ至美至麗ノ物有ル可シ而シテ是至美至麗ノ物卽チ神ナリ

第三　天地庶物ノ造作　神ハ獨立獨存シテ倚ル所有ルヿヲ須ヒス然ルヲ何ヲ以テ天地庶物ヲ造作セン乎夫レ神ノ力固ヨリ世界庶物ヲ造ルヿヲ得然レ𪜈始ヨリ必ス造ラサル可ラサルノ理有ルヿ無シ然ルヲ神ハ何ヲ以テ之ヲ造リシ乎是所謂造物ノ論ナリ

プラトン此問ニ答ヘテ曰ク神ハ至仁ナリ凡ソ仁心有ル者ハ悋ム所有ルコト無シ是故ニ神ノ世界ヲ造ルヤ務メテ之ヲシテ善良ニシテ踰ユ可ラサラシメント欲ス是ニ於テ乎世界ヲシテ己レニ肖似セシメテ以テ己レノ影象トナセリ

プラトン以爲ラク神ノ世界庶物ヲ造リシ所以ノ故ヲ講求スルコトハ庶物原理ノ學ニ係ル題目中ノ最高遠ナル者ニシテ學者ノ業之ヨリ難キハ莫シ從前學士多クハ唯神ヲ以テ運動ノ本原ト爲シ因リテ以テ其世界萬類ヲ作リシ所以ノ故ヲ解スルコトヲ求メリ此レ未タ以テ吾人ノ疑ヲ解クニ足ラスアナキザゴールニ至リ更ニ一層ヲ進メテ乃チ言ヘリ神ハ唯萬物ヲ動盪スルノ力有ルノミナラス亦無限靈妙ノ智慧有リ故ニ萬彙ヲ肇造シテ皆一定ノ次序ニ就カシメタリトプラトンハ猶ホ此ヲ以テ未タ足レリト爲サス乃チ言フ神ハ唯廣大ノ智見有ルノミナラス亦至仁ノ德有リ故ニ世界萬物ヲ作リテ亦之ヲ遂長スト蓋シプラトンノ理學ハ夫ノ至善ノ意思ヲ以テ其最上乘ノ秘諦ト爲スヿ而シテ至善ノ意思卽チ神ニシテ世界萬彙ノ由リテ生スル所ナリ

プラトン以爲ラク生殖ナル者ハ完粹豐備ノ由リテ出ル者ナリ凡ソ物愈〻自ラ豐備ナルヿハ愈〻生殖スルコト有ルヲ思フ神ハ豐備ノ至レル者ナリ故ニ斯一大世界ヲ生產スルニ至レリ蓋シ凡ソ懷生ノ者皆自ラ務メテ盡ク其生氣ノ至ル所ヲ極メテ以テ之ヲ張ルコトヲ願ハサル莫シ是ノ如キ者ハ自然ノ性ナリ看ス乎禽獸ノ類年齒壯ニシテ氣血充ツルニ及ヒテハ孳尾シテ以テ生殖スルコト有ルコトヲ求ム是レ他無シ其生氣ノ至ル所ヲ極メテ以テ自ラ充張シテ彼ノ不滅ノ業ヲ成スコトヲ務ムルナリ是ニ知ル生殖ナル者ハ其物ノ自ラ豐備ニシテ餘力有ルヨリ發スル所ニシテ己レ愈〻豐備ナルヿハ生殖スル所愈〻大ナルコトヲ

此ニ由リテ之ヲ觀レハ神ノ未タ庶物ヲ生殖セサルヤ獨立獨存シテ深ク自ラ其寂靜無爲ノ中ニ樂ミテ其仁慈ノ德ハ自己ノ中ニ囿縕シテ發洩スル所

無カリキ既ニシテ其完粹豐備ノ德、其廣大ノ仁ヲ鼓盪シ其レヲシテ大ニ外ニ發セシム此レ其一旦世界庶物ヲ打出シテ之ヲ生產スルニ至リタル所以ナリ

顧フニ是ノ如ク論スルキハ神ノ善タルヤ獨リ自ラ淑クスルニ非スシテ汎ク萬類ニ被ムルヲ見ル蓋シ古昔學士ノ善ノ德ヲ論スルヤ多クハ獨リ自ラ養ヒ自ラ淑クスルニ止マリテ其他人ニ益スルノ理ニ論及セス基督宗起ルニ及ヒ善ノ德ヲ論スルニ於テ始メテ其他人ニ益スル處ヲ以テ本旨ト爲スニ至レリ今プラトンノ神ノ世界ヲ造リシ所以ヲ論スルヤ其善ノ德ノ外ニ被及スルヲ言ヒ以テ解ト爲ス是レハ則チ從前學士未タ發セサル所ヲ發シテ以テ基督宗ノ先引ヲ爲セシト謂フ可シ譯者按スルニ「ソクラット」夙ニ神ノ仁德ノ事ヲ論セリ卽チ「プラトン」ハ此說ヲ擴充セシニ過キサルノミ今記者特ニ功ヲ「プラトン」ニ歸シテ云々スル所以ノ者ハ他無シ「プラトン」ハ「ソクラット」ノ衣鉢ヲ傳ヘタルヲ以テ「プラトン」ニ「プラトン」ノ說ヲ擧ケテ「ソクラット」ニ言ヒ及ハサルナラン看ス乎プラトンノ言ニ神ハ極テ仁ナリ凡ソ仁有ル者ハ惜ム所無シ故ニ世界ヲ肇造スルニ

至レリト夫レ仁ニシテ惜ム所無ク己レノ有スル所ノ善美ヲ分チテ之ヲ衆物ニ被ラスヿ正ニ基督宗所謂廣大ノ惠ニ非ス乎

プラトン前ニ云ヘリ禽獸人類ノ其愛情ノ驅ル所ト爲リテ生產スルヿ有ルヿヲ求ムルハ自然ノ爲ニシテ其尊フ可キヿ實ニ神意ニ出ルカ如キ者有リト今此意ヲ以テ之ヲ神ノ造物ノ業ヲ論スルキハ將ニ曰ハントス世界庶物ノ生スル是レ神ノ愛情ニ由ル夫レ神ハ完粹豐備ナルヿ之ヨリ盛ナルハ莫クシテ下界ハ虛無空洞ノ一物ナルヲ以テ正ニ完粹豐備ノ反對ナリ神ノ愛念ノ一タヒ發スルヤ是ニ於テ其豐備ノ德ヲ以テ下界ノ虛無ト交媾シテ斯ニ以テ森羅萬象ヲ生產スルニ至レリト是プラトン造物ノ說ノ秘諦ナリ

神ハ善美ナル者ナリ完粹ノ極ニシテ豐備ノ至ナリ神又廣大ノ智慧有リ故ニ自ラ其本有ノ生ト其混成ノ福ト並ニ分チテ之ヲ庶物ニ與フルヿヲ得ルヿヲ知ル果シテ此ノ如クナルキハ神ハ何ヲ以テ永ク自ラ深藏シテ生產ス

ル所無キノ理有ラン哉凡ソ仁ヲ以テ性ト爲ス者ハ必ス其性ニ循フテ以テ其行ヲ發ス是レ自然ノ理ナリ神ノ仁ナルヤ仁ノ極ニシテ獨リ內ニ仁ナルニ非スシテ亦外ニ仁ナリ獨リ自ラ蓄ヘテ以テ仁ト爲スニ非スシテ亦自ラ發洩シテ以テ仁ト爲ス者ナリ果シテ此ノ如クナルトキハ神ハ奚ヲ以テ之ヲ生シ之ヲ殖スルヲ以テ一旦愛心ノ發スルニ及ヒテ自ラ且ツ神ノ威德此ノ如ク其レ大ナルヲ無シ若夫レ吾人人類發洩セント欲スルモ或ハ障碍ノ外ニ發スル有リテノ如キハ一旦其愛情ニ透徹セント欲スルトキハ一外物ノ其志ヲ礙ユル有ルヿ無シ其志ヲ伸フルヿ能ハス或ハ氣血稍ミ豐備ニ至ルノ前障碍ヲ蒙ムル有リテ爲メニ發洩ノ力ヲ喪フヿ有リ凡ソ此等障碍ノ類ハ神一モ之有ルヿ無シ神豈自ラ發洩スルヿ無キヲ得ンヤ哉

夫レ完粹豐備ハ卽チ神ノ德ナリ卽チ神ナリ然レハ則チ神ハ常ニ完粹豐備ニシテ吾人人類ノ時有リテ豐備ナルガ如クナラス果シテ然ルトキハ神奚ヲ以テ自ラ發洩セサル有ラン哉神豈慳吝ニシテ其有スル所ノ福ヲ分ツヿヲ惜ミ厚ク自ラ封殖シテ下界ノ虛無空洞ニシテ一モ有ルヿ無キヲ見ルモ少モ心ヲ動カスヿ無ク少モ愛ヲ發スルヿ無キ邪是ノ如クナルトキハ是神ハ人類中ノ鄙吝ニシテ專ラ人ニ分ツヿヲ惡ム者ト異ナルヿ無シ是意ヲ以テ神ヲ料ル此レ豈神德ヲ褻瀆スルノ甚キニ非ス乎

神ハ善ナリ仁ナリ庶物ニ仁スルヿヲ好ム者ナリ以爲ラク我ノ力一旦庶物ヲ生產スルヿヲ得又庶物ヲシテ皆善ニシテ己レニ類セシムルヿヲ得ルト神ノ此念ノ發スルヤ此レ其愛ノ行ハレテ自ラ發洩セシ所以ニシテ而シテ愛ノ一事ノ奇妙ニシテ窺測ス可ラサルヤ不完不備ノ吾人人類ニ在リテモ猶ホ極テ奇妙ナル者有リ而ルヲ況ンヤ神ニ於テヤ

神ハ天下ノ至善ニシテ至美ナル者ナリ是ニ於テ衆虛靈物ヲ作リテ以テ下界善美ノ典型ト爲セリ故ニ凡ソ無形ノ理ハ神ト一體ヲ相爲ス者ニシテ神

ノ善美ノ德ノ寓スル所ナリ

神ノ善美ナル寂靜ニシテ動クヿ無シ其自ラ發洩シテ生スル所有ルニ及ヒ衆動物ノ中ニ於テ善ヲ置キ美ヲ居キ以テ其不動ノ德ノ影象ヲ寓セリ是ニ知ル神ノ世界庶物ヲ造ルヤ愛之カ本ト爲リテ而シテ庶物ノ精處ヲシテ皆不滅ナラシムルヿハ亦愛之カ本タルヿヲ此ニ由リテ之ヲ觀レハ凡ソ生物ノ愛情ノ爲メニ驅ラレ兒子ヲ生殖シ兒子ノ身ニ於テ己レノ種子ノ不滅ナルヿヲ求ムルハ正ニ神ノ深意ナリト謂フ可シ

第四　神ノ威德○世界皆善ノ說オプチミスム「レビュブリック」ノ書中云フ有リ曰ク汝固ヨリ神ノ儼存スルヿヲ知ラン汝ト神ト自ラ相似ル所ノ處有リ汝是ヲ以テ神ノ儼然存在スルヿヲ知リ且之ヲ崇奉スルヿヲ知ル然レ𪜈汝一旦斯世ヲ觀察シテ不正不義ノ徒或ハ私事ニ係リ或ハ公事ニ係リ經營スル所有リ其旨趣其行爲極テ不義ニシテ而シテ能ク成就シテ爲メニ幸福ヲ獲ルヲ見ルトキハ汝將ニ胷中大疑ヲ懷カンソトス汝固ヨリ神ヲ以テ此不義ノ徒ヲ助ケテ其業ヲ就サシムルト爲スニ至ラサルモ或ハ神ヲ以テ漠然トシテ斯世ノ事ニ關係セサルト爲サン此レ謬見ノ最大ナル者ナリ汝縱令汝ト神ト類スル所有ルカ爲メニ神ヲ怨ミテ禍ヲ斯世ニ播スト爲スニ至ラサルモ若シ神ヲ疑フテ下界ノ事ヲ卑トシテ之レニ與ルヿヲ屑トセストキハ神ノ恩德ヲ蔑棄スルヿ之ヨリ甚キハ莫シ云々ト

プラトン

プラトンノ此說ニ從ヘハ神ハ決テ下界ノ事ニ與カラサルニ非ス是ノ如クナルトキハ斯世界中種々ノ害惡有ルハ果シテ何ノ故ソヤ

プラトン

プラトン以爲ラク凡ソ惡ハ錯誤ト類スル有リ蓋シ錯誤ナル者ハ我智慧ノ直チニ之ヲ識ル所ニ非スシテ必ス道理ニ照ラシテ後方ニ之ヲ識ル惡モ亦然リ我ノ惡ヲ知ルヿハ必ス其反對ヲ爲ス所ノ善ニ比シテ後之ヲ知ル是故ニ錯誤ノ本原ハ定態無キ者ニシテ惡ノ本原モ亦定態有ルヿ無シ惡ノ本原タル本ト實ニ之有ルニ非ス故ニ惡ノ物タル善ニ對シテ後方ニ見ル可キ者ナリ蓋シ惡ノ本ハ現ニ有ルニ非スシテ有ルヿヲ得ル者ナリ獨リ

存スルニ非スシテ隨フテ生スル者ナリ是ニ知ル惡ノ由リテ存スル所ト隨フテ生スル所トハ皆善ノ中ニ在ルコトヲ

惡ノ純然タル者ハ是虛無ナリ故ニ是物有ルノ理無シ若夫レ其純然タラサル者卽チ世ノ所謂惡ハ畢竟善ノ極テ小ナル者ト曰フニ過キス

是故ニ若シ斯世界何ノ故ニ惡有ル乎ト曰フトキハ是其問タルヤ何ノ故ニ大善ノ外又小善有ル乎ト曰フニ外ナラス若シ何ノ故ニ大善ノ外又小善有ル乎ト曰フトキハ是其問タルヤ神ハ何故ニ自ラ重嚢セスシテ世界ヲ作リタル乎ト曰フニ外ナラス是ニ於テプラトン|ハ將ニ答ヘテ曰ハントス神ハ善美ナリ凡ソ善美ノ德有ル者ハ亦必ス務テ善美ノ物ヲ作ルコトヲ欲ス是レ神ノ斯世界ヲ造リシ所以ナリ斯世界固ヨリ善美ナリ其善美洵ニ未タ神ノ善美ノ如カスト雖モ之ヲ要スルニ善美ナリ斯世界固ヨリ完粹ナリ然レドモ未タ神ノ完粹ナルカ如クナラス若シ神ノ斯世界ヲ作ルヤ何故ニ全ク己レト同シカラスシテ善美完粹ノ極ヲ得セシメサル乎ト曰フトキハ是レ其意神ハ果シテ威德ニ於テ欠ク所有ル乎若クハ悋ム所ル有ルカト曰フニ同シ是レ決シテ有ル可ラサルノ事ナリ

プラトン|又其「チメー」ノ書中ニ云フ有リ曰ク全體ハ必ス眞ニ全體ナルコトヲ要スト此大旨ヲ推ストキハ左ノ二歸趣ヲ得

第一　斯世界ノ善キコトハ之ヲ殆ト至レリト謂フ可シ

第二　斯世界ノ善キコトハ未タ之ヲ與比スル者無シト謂フ可ラス蓋シ斯世界ハ至善ノ作ル所ナリト雖モ其間固ヨリ小欠失無キコト能ハス此レ必ス避ク可ラサルノ理ナリ

惡ハ今ニ於テ之ヲ滅センコト欲スルモ得可ラスト雖モ然レドモ其徐々ニ滅スルヲ見ル是故ニ設シ汝ヲシテ死セスシテ億萬ノ齡ヲ延フルコトヲ得セシメハ汝一日必ス斯世界ノ極テ完粹ノ地ニ達シテ眞ニ神ノ影象ト爲ス可キニ

至フン云々

プラトン又曰ク神固ヨリ萬物ヲ統御シテ遺スコト無ク其レヲシテ皆自ラ存スルコトヲ得セシム故ニ其全體ヲ舉ケテ言フ片ハ常ニ善ニシテ惡有ルコト無シ

又曰ク支節ノ全體ニ於ケルヤ其當ニ受ク可キ所ヲ受ク可キノミ若シ支節ニシテ受ケサル所無キ片ハ是レ支節ト全體ト別ツ所無キナリ蓋シ神ノ庶物ヲ作ルヤ其レヲシテ各々他物ヲ監督シテ須臾モ怠ルコト無カラシメ極テ微細ノ行ト雖モ皆識察シテ遺サス極テ碎瑣ノ事ト雖モ皆完粹ノ地ニ至ルコトヲ求メシム是レ神ノ意ナリ故ニ汝小子汝ノ身極テ微ナルモ世界ノ大次序ニ於テ別有ラサル無クシテ汝モ亦知ラス識ラス世界ノ大次序ニ於テ益スル所有リ但汝一事ノ當ニ知ル可キ有リ凡ソ庶物ノ能ク生產シテ絕エサル所以ノ者ハ世界ノ全體ノ不朽ニ存シテ且ツ慶福ヲ享クルカ爲メナリ曰フコト勿レ世界汝カ爲メニ存スト當ニ曰フ可シ汝反リテ世界ノ爲メニ存ス

ト看ス乎醫師ノ眞ナル者工人ノ巧ナル者ハ其手ヲ下ス片一部位ノ爲メニスルニ非ス乎シテ全體ノ爲メニスルニ非ス乎神モ亦然リ凡ソ其使令スル所ハ皆世界全體ノ利ヲ圖ルカ爲メニシテ其支節ノ利ヲ圖ルカ爲メニ非ス故ニ汝若シ汝ノ利益ハ獨リ汝ニ係ラスシテ實ニ世界全部ニ係ルコトヲ見サル片ハ汝終ニ大謬戾ニ陷ルヲ免レスト顧フニプラトンノ政術ノ專ラ邦國ヲ主トシテ各人ヲ主トセサルコト吾儕前ニ既ニ之ヲ見タリ今世界ノ事ヲ論スルニ於テモ亦猶ホ此意ヲ持シテ失ハスト謂フ可シ

プラトン又曰ク汝小子謬リテ以爲ラク我ノ害ヲ受クルコト有ルハ是レ神我ヲ棄テ、守ラサルニ由ルト是レ大ニ然ラス凡ソ斯世ニ在リテハ不善ヲ爲ス者ハ身死スルノ後皆有罪靈魂ノ境界ニ墮落スルコトヲ免レス若シ既ニ墮落スルノ後變シテ善ニ移ル片ハ更ニ轉シテ善良靈魂ノ境界ニ上升スルコトヲ得是故ニ汝當ニ知ル可シ凡ソ斯世ニ生スル者其生スルノ間ト其死シテ何ノ境界ニ在ルトヲ論セス當ニ神ノ考驗スル所ト爲リテ決テ其情ヲ遁ル

ルヿヲ得ルヿ無キヿヲ

又曰ク善ハ善ヲ生シ惡ハ惡ヲ生ス故ニ一タヒ惡ヲ爲スヰハ懲罰ヲ受ケテ自ラ罪障ヲ滅スルニ至ルマテ必ス惡ヲ受ケサル能ハス故ニ汝及ヒ一切衆生皆此理ニ循ハサルヿ能ハス夫レ斯世界ノ中此大命令有ルハ神ノ意ナリ而シテ凡ソ此世ノ諸命令ノ中最モ當ニ愼ミテ之ヲ守ルヿヲ要スル者ハ此大命令ニ踰ユル莫シ然ルヲ汝若クハ一切衆生ノ此大命令ニ背負シテ或ハ罰ヲ蒙ムラサルヰハ此レ神ノ威力汝及ヒ一切衆生ニ如カサルナリ豈是理有ラン哉

又曰ク汝決テ此大命令ニ負テ之カ罰ヲ逭ルヽヿ能ハス汝縱令至微ニシテ能ク黃泉ノ底ニ潛入スルモ汝縱令至大ニシテ能ク蒼穹ノ上ニ挺出スルモ汝必ス神ノ著定スル所ノ罰ヲ逃ルヽヿ能ハス斯地上ニ於テスルカ來世ノ冥府ニ於テスルカ特ニ早晩ノ異有ルニ過キサルノミ

第五　精魂ノ不滅　プラトン其理學ニ於テ精神ノ不滅ナルヿヲ證セントス

欲シテ三箇ノ徵ヲ示セリ以爲ラク精神ハ其眞理ニ係ルヨリシテ言ヘハ智慧ノ本原ナリ其生活ニ係ルヨリシテ言ヘハ運動ノ本原ナリ其善ニ係ルヨリシテ言ヘハ德ノ本原ナリ故ニ智ト生ト善トノ三者以テ精神ノ不滅ナルヿヲ徵スルニ足ル以下請フ之ヲ論セン

第一　精神ハ智慧ノ本原ナルヲ以テ其目的トスル所ノ眞理ニ係リ必ス不滅ナラサル可ラス

吾人ノ軀殼ハ彼ノ虛靈ノ識ヲ得ルニ於テ障害物タリ他無シ智識ハ本ト少モ軀殼ト交涉無キヲ以テナリ凡ソ正善美等ノ意思及ヒ一切物ノ極致ハ果シテ肉體五官ノ力ニ由リテ之ヲ認識スルヿヲ得ル乎然ラサルナリ故ニプラトンノ言ニ曰ク凡ソ吾人ノ考察ノ功ヲ下スヤ一切肉體ノ作用及ヒ外物ノ感觸ヲ外ニシテ精神ニ於テ獨リ自ラ考察スルヿ是最モ眞理ヲ得ルノ良法ニ非ス乎物ノ虛靈ノ本質ヲ識ラント欲セハ直チニ精神ノ虛靈ノ智慧ヲ用ヒテ之ヲ觀察スルニ如クハ莫シ目ヤ耳ヤ一切肉體ノ器具ハ唯我カ精神

ノ工用ヲ攪亂スル有ルノミ少分ノ益有ルコト無シ

又曰ク物ノ形貌采色ハ物ノ粗迹ナリ物ノ本質ハ其意思ニシテ虛靈ノ初ヨリ五官肉身ノ得テ透徹スル所ニ非ラス故ニ若シ眞ニ物ヲ知ルコトヲ求ムルトキハ一切五官肉身ノ紹介ヲ用ヒスシテ直ヲニ智慧ニ由リテ之ヲ視ルニ如カス夫レ然ル後物ノ本質始テ得可キノミ

プラトンノ所謂精神ノ本質ハ卽チ眞智ナリ庶物ノ本質ハ卽チ意思ナリ故ニ眞ノ識ト稱ス可キ者ハ知ル所ノ智慧ト知ラル、所ノ意思ト一體ヲ爲スニ者ナリ蓋シ物ノ意思ハ卽チ極致ニシテ智慧ノ意思モ亦極致ナリ故ニ精神ノ本質ヲ以テ物ノ本質ヲ觀察スルハ正ニ精神ヲ以テ精神ヲ觀察スル者ニシテ精神自ラ其己レヲ觀察スルニ外ナラス是學問ノ極則ナリ

然リト雖モ是ノ如キ學問ノ識ハ斯世ニ在リテ血肉ノ身ヲ被ムル者ノ能ク其奥ヲ窮ムル所ニ非ス苟モ皮底ニ血有ル間ハ吾人ノ智慧決テ神ノ智慧ト一體ヲ爲スコト能ハス是ヲ以テ道ニ深キ者ハ死ニ臨ミテ心ヲ動スコト無シ彼

レ死ヲ視ルコト歸スルカ如クニシテ絶エテ畏怖セサル所以ノ者ハ他無シ其心以爲ヘラク死ハ眞ノ生活ノ始ナリト其之ヲ畏レサルコト亦宜ナラス乎

且ツ夫レ世ノ所謂德行トハ何ソヤ精神ノ自ラ奮フテ一時軀殼ノ束縛ヲ脫スルヲ謂フニ非ス乎知ル可シ精神ト軀殼トハ動モスレハ相容レサルコトヲ」

プラトン又知ル所ノ智慧ト知ラルヽ所ノ極致トノ一體ナルカ爲メニ精神ノ不滅ナルコトヲ證スルニ於テ更ニ一說有リ曰ク吾人ノ軀殼ハ複雜ニシテ純ナラス唯精神ハ純乎一ナル者ナリ物ノ粗迹モ亦複雜ニシテ純ナラス唯極致純乎一ナル者ナリ夫レ純乎一ナル者ニシテ豈崩壞スルノ理有ラン哉」

物ノ複雜スル者ハ其勢必ス崩壞セサルヲ得ス今吾人ノ精神ハ物ノ粗處ニ類スト爲ス乎是ニ於テプラトン曰ク吾人ノ智慧ノ物ノ本質ヲ見ルニ方リテヤ正ニ物ノ精粹ニ不朽ニ且ツ寂靜ナル處ニ就テ留止ス是ニ於テ以爲ラク是我ト同質ヲ爲スト而シテ平時蔽ハレシ所ノ妄想皆散シテ迹ヲ留メス夫レ我カ智慧是ノ如クニシテ能ク

不滅ノ物ト接スルトキハ我カ智慧モ亦不滅ニシテ果シテ物ノ意思即チ極致ト同質タルヿ復タ疑ヲ容レス

吾人ノ精神ハ之ヲ謂テ不滅(インモルテル)ト爲ストキハ尙ホ足ラス當ニ之ヲ謂テ常有(エテルト)ト爲ス可シ夫レ吾人既ニ能ク物ノ極致ヲ視又能ク事物自然ノ至理ヲ視ル夫レ事物ノ理ハ萬古不易ニシテ少モ永劫ト倶ニ經過スルヿ無シ而シテ吾人ノ精神本ト之ト體ヲ同クス是ヲ以テ吾儕生レテ未タ嘗テ學問セサルノ前已ニ能ク若干ノ事理ヲ了スルヿヲ得テ年長スルニ及ヒテ之ヲ或ハ改ムルヿ無シ是ニ由リテ之ヲ觀レハ理ナル者ハ本ト吾人精神ノ中ニ存スト謂フ可シ夫レ理本ト不滅ニシテ而シテ我カ精神能ク之ヲ懷抱スルトキハ其不滅ノ性有ルヿ知ル可キナリ(プラトン其「メンン」ノ書中云フ有リ理果テ常ニ吾人ノ精神中ニ存スルトキハ是レ吾人ノ精神モ亦不滅ナルニ疑無シ)

第二　精神ハ運動ノ本ナルヲ以テ其活潑止マサル處ヲ見ルモ以テ其不滅ナルヿヲ徹ス可シ

プラトン(フェドン)ノ書中シミヤースト、ソクラットト相問答スル所ノ語ヲ載セテ精神ノ事ヲ論究セリ蓋シシミヤース、ソクラットニ謂テ曰ク精神ハ胡弓ノ音調ニ類スルヿ無キヲ得ル乎胡弓一旦毀破ニ就クトキハ音調斯ニ亡フ軀殼ノ精神ニ於ケル此ノ如クナルヿ無キヲ得ル乎果シテ然ルトキハ精神ハ實ハ衆響ノ相合シテ一ヲ爲スニ過キス衆音ノ相聚リ衆數ノ相合シテ一ヲ爲スコト過キストソクラット答ヘテ曰ク曷ソ其レ然ラン夫レ胡弓ノ音調ハ胡弓有リテ後始テ生スル者ナリ若夫レ精神ハ軀體未タ有ラサルノ前ヨリ存スト

又曰ク音調ナル者ハ之ヲ構成スル所ノ衆響ノ中ニ存シテ別ニ自ラ存スル者ナリ

ヿ能ハス若夫レ精神ハ軀殼ニ憑依セスシテ別ニ自ラ存スル者ナリ

又曰ク音調ハ必ス衆響ニ從ヒテ生ス衆響ニ背キテ獨リ自ラ存スルヿ能ハス若夫レ精神ノ軀殼ニ於ケルハ然ラス其手ヲ揚ケ足ヲ歩スルハ正ニ精神

ノ命スル所ナリ獨リ此レノミナラス精神一旦自ラ斷スル時ハ能ク軀殼ト訣絶シテ其請求スル所ヲ拒棄スルニ至ル胡弓ノ音調能ク其絲ノ衆響ト訣絶シテ己レ自ラ肆ニスルヿヲ得ル乎豈此ヲ以テ精神ノ活潑自由ナルニ譬フルヿヲ得ン哉

又曰ク吾カ精神ハ決シテ他物ヨリ發スル所ノ効用ニ非ス決シテ空幻浮虛ノ數理ニ非ス吾カ精神能ク軀殼ヲ動轉スル若シ之ヲ謂テ一數理ト爲ス時ハ是數理ヤ能ク自ラ動轉シ又能ク軀殼ヲシテ形ヲ變セシム顧フニ吾カ精神ハ之ヲ胡弓ノ音調ニ比スル可ラス之ヲ樂人ニ比スル可シ樂人能ク音ヲ調シ又一タヒ斷スル時ハ能ク胡弓ヲ毀破スル所ハ曰ク樂人ハ目之ヲ視ル可シ精神ハ目之ヲ視ル可ラス

プラトン以爲ラク精神ノ常ニ存シテ滅セサルヿハ其効用ノ常ニ止マサルヲ見テ知ル可シ効用トハ何ソヤ運動是ノミ夫レ世界庶物ノ能ク生存スルハ是他無シ世界ノ大精神之ヲ鼓シ之ヲ盪シテ活潑止マサラシムルニ是由ル故ニ曰ク凡ソ有形ノ物ハ皆他力ニ賴リテ運動ノ性ヲ受ケ又之ヲ他物ニ傳フ是ノ如キ者ハ所謂他力復タ之ヲ動カサヽルヲ得ハ即チ死滅ス若シ夫レ能ク自ラ動ク者ハ活潑ノ力常ニ己レニ存スルヲ以テ動ク〻ヲ輟ムルヿ無シ

又以爲ラク世界ノ大精神ハ凡ソ動ヲ他物ニ假ル物ノ由リテ生スル所ニシテ終古滅スルヿ無キ者ナリ今吾人ノ精神能ク自ラ動キ又能ク身ヲ動カス時ハ是レ吾人ノ精神ハ本ト世界ノ大精神中ニ包在シ其後別レ來リ降リテ吾人ノ體中ニ寓シ之カ主ト爲リタルニ疑無シ果シテ是ノ如クナル時ハ吾人ノ精神ハ當ニ世界ノ大精神ト性ヲ同クシテ卽チ不滅ナルヿ亦疑無キヿ非ス乎

是ニ由リテ之ヲ觀レハ吾人ノ精神ハ其虛靈ノ智慧ヨリ言フモ其活潑ノ運動ヨリ言フモ當ニ不滅ノ物ニシテ眞カニ軀殼ト性ヲ異ニス可キナリ

第三　吾人ノ精神ハ德義ノ本原ナルヲ以テ賞罰ノ理ニ就

テ察スルモ以テ其不滅ナルヿヲ徴ス可シ

吾人ノ精神ハ獨リ善ク眞理ヲ識リ能ク運動スルニ非ス又シテ亦能ク德義ヲ發シテ卽チ至善ト大交渉有リ故ニ其善ヲ爲シ若クハ不善ヲ爲スカ爲メニ必ス賞ヲ獲若クハ罰ヲ受ク可シ然ラス又シテ善有リテ賞セラレス不善有リテ罰セラレサルヿハ是天下道無キナリ然ルニ世上人類ノ法衙ハ不完不備ニシテ未タ以テ懺悔ノ法ヲ盡スニ足ラス他無シ所謂罪人ハ血肉ヲ被ムル所ノ一智慧ニシテ所謂法官モ亦血肉ヲ被ムル所ノ一智慧ナルヲ以テ其罪ヲ斷スルヤ動モスレハ之ヲ皮相ニ失シテ深ク衷情ノ隱匿ヲ窮ムルヿ能ハス是ヲ以テ冥府ノ中自ラ法衙有ラサルヿ可ラス此レ吾人ノ精神ノ不滅ナラサル可ラサル所以ナリ

夫レ神ノ裁斷タルヤ純然ノ智慧ヲ以テ純然ノ智慧ヲ審判シテ一切血肉ノ身ノ之ヲ混亂スル有ル無シ是ニ於テ其之ヲ賞シ之ヲ罰スル絶エテ權衡ヲ錯マルヿ無シ然レモ吾人身死シテ精神俱ニ朽滅スルヿハ是レ神ノ裁斷得

テ施ス所無キナリ

然リト雖モ所謂身後ノ賞罰ハ之ヲ施スヿ如何是ニ於テプラトン種々ノ臆說ヲ設ケテ其立意極テ怪奇ニシテ殆ト詞人ノ寄興ニ類スル有リ曰ク吾人身死スルヤハ精神一種大年ト稱スル世ヲ經過シ其世ノ窮ル處ニ至ルヤハ復タ同一ノ次序ニ就クヿヲ得蓋シ所謂大年ノ長サハ常ニ相均クシテ長短有ルヿ無シ是ノ如クニシテ所謂大年循環シテ窮リ無クヲ以テ精神ノ生ヲ爲ス或ハ曰ク斯世ニ居テ惡ヲ爲スヤハ其精神種々ノ肉身ヲ被ムリテ之カ罰ヲ受ケ是ノ如クニシテ罪障消滅スルヤハ復タ初年ノ狀態ニ還ル是ニ知ル精神ハ如何ニ惡ナルモ必ス終ニ純粹ニ復スルヿヲ蓋シ惡ナル者ハ本ト善ニ勝ツヿヲ得ス是自然ノ理ナリ

凡ソプラトンノ此身後ノ裁判ノ說ハ畢竟以爲ラク神ノ勤勉ナル常ニ人類ノ事ヲ監視シテ怠ルヿ無ク善有レハ必ス之ヲ賞シ不善有レハ必ス之ヲ罰シテ遺漏有ルヿ無シ是ノ如クナラサレハ以テ世界全體ヲシテ完粹無疵ナ

ラシムルニ足ラサレハナリ

プラトン以爲テク世界ノ事細大悉ク神ノ正直ノ德ノ被ムル所ニ非サル莫シ是ノ如キ者所謂神ノ至義ニシテ亦至善ナリ夫レ然後下界有形ノ中ニ於テ虛靈ノ意思全ク勝チ制スルコチ得可シ

夫レ有罪ノ靈魂必ス罰チ身後ニ獲是ニ於テ乎惡自ラ善ノ中ニ消滅シ無常自ラ有常ノ中ニ消滅シ粗滓自ラ精粹ノ中ニ消滅シ影象自ラ本質ノ中ニ消滅ス是ニ於テ乎庸俗ノ徒神チ以テ斯世ノ事チ屑トセスシテ惡チシテ或ハ善ニ勝タシムト爲ス者明ニ其所見ノ謬妄ナルチ知リテ神ノ威德斯ニ以テ昭々タルコチ得是レプラトン「レピュブリック」ノ書中ノ意ナリ

第四　プラトンノ理學ノ論評

プラトンノ理學ノ新奇ナル處ハ凡ソ世界ノ大論題チ以テ皆至善ノ一理ニ歸結スト爲スニ在リ是レ前人ノ未タ發セサリシ所ナリ蓋シ神ノ存在スル

ノ一事及ヒ世界ノ存在スルノ事ノ如キ皆所謂大論題ナリ而シテプラトン以爲ラク唯神ノ至善ノ德チ認識スルヿハ以テ之カ惑チ解クニ足ルト

プラトン既ニ神チ以テ完粹ニシテ無疵ナリト爲ス然リ而シテ斯世界ノ事不完不粹ナルヿ此ノ如クナルヿハ神未タ必スシモ完粹ナラサルニ似タリ然レヒプラトンハ以爲ラク然ラス神ノ完粹ナル是正ニ斯世界ノ由リテ生スル所以ナリト

プラトン既ニ世界ノ大體チ以テ完粹無疵ナリト爲ス顧フニ凡ソ完粹無疵ナル物ハ獨リ自ラ滿足シテ力チ他物ニ假ルヿチ須ヒス今世界ノ大體完粹無疵ノ物ニシテ又力チ神ニ假ルヿハ是レ其說前後矛盾スル者ノ如シ然レヒプラトンハ以爲ラク神ノ完粹ナル卽チ世界大體ノ完粹ナル所以ナリト

プラトンノ理學ノ歸趣チ要スルニ蓋シ二個有リ曰ク凡ソ物最モ眞善ナル者ハ亦必ス最モ現在スル蓋シ其眞善ナルヿ卽チ其現在スル所以ナリ曰ク凡ソ物最モ眞善ナル者ハ亦必ス最モ他物ノ爲メニ眞善ナリ故ニ是物ヤ威權

最モ隆ニ生殖最モ盛ニ仁惠最モ博シ其良善ナルヿ卽チ其現在スル所以ナリ」

顧フニプラトンノ此等ノ說タルヿハ寧ロ之ヲ雅逸ニシテ奇警ナル寓言ノ屬ト謂フ可シ故ニ此ヲ以テ世界ノ實際ニ照比スルヿハ其相合ハサル者極テ多シ

プラトンノ所謂神ハ一空華ノ神ニシテ其證徵タル未タ以テ之ヲ明ニスルニ足ラス余ヲ以テ之ヲ觀ルニプラトンノ所謂神ハ未タ之ヲ神ト謂フ可ラスシテ之ヲ仁ノ一德ノ形容ト謂フ可シ

プラトン又吾人人類各個ノ生氣ト各個ノ自由トニ於テ未タ甚通曉スル有ラス蓋シプラトン專ラ吾人ノ智慧ノ識得スル所ノ物ト愛情ノ願欲スル所ノ物トニ就テ其最高層ノ極致ヲ得ント欲シテ反リテ深ク吾人ノ智慧愛情ノ何物タルヲ講求スルヿヲ務メス彼ニ專ラニシテ我ニ疎ニ外ニ詳ニシテ內ニ粗ナリ故ニ其說タル物ノ極致、物ノ意思等ヲ論スルニ於テ高遠幽邃ヲ極メタルモ躬自ラ此等ノ虛靈物ヲ想像スル所ノ智慧ノ力ニ至リテハ覥焉

トシテ聞クヿ無シ此レ其欠失ノ處ナリ

又其愛情ノ說ニ在リテモプラトン唯其愛ス可キ所ノ物ヲ言フニ詳ニシテ愛スル所ノ者ヲ言フニ詳ナラス皆吾人精神活潑自由ノ處ヲ看得セサルニ坐スルノミ

夫レ然リ故ニプラトンノ所謂愛ハ吾人ノ自ラ好ミテ愛スルノ謂ニ非スシテ自然ニ已ムヿヲ得スシテ愛スルノ謂ナリ顧フニ愛ナル者ハ吾人自由ノ德最モ其多キニ居ル故ニ吾人ノ惠テ其愛スル所ニ施スヿハ正ニ吾人ノ自ラ好ミテ之ヲ爲ス所ナリ唯其自ラ好ミテ之ヲ爲ス故ニ其惠タルヤ人ヲ感スルニ足ル若シ已ムヿヲ得サルニ發スルキハ何ノ尊フ可キヿカ之有ラン」

プラトンノ理學タル虛靈說ノ一派ニ屬スル者ニシテ其身外無形ノ道理ヲ論スルヿ蓋シ至レリト謂フ可シ其欠クル處ハ曰ク人性行爲ノ自由ヲ舍テ之ヲ言ハサルヿ是ナリ是ヲ以テ其力ヲ極テ愛情ヲ論スルモ畢竟唯智慧ノ識得スル所ノ美物ヲ摸寫スルニ過キス其力ヲ極ヲ德行ヲ論スルモ畢竟

唯智慧ノ識得スル所ノ德義ヲ摸寫スルニ過キス意欲斷行ノ自由ハ略ヽ聞クヿ無シ

是ヲ以テプラトンノ說タル個々圓成ノ理全ク埋沒シテ廣漠タル大極致獨リ浮游シ各人ノ本體盡ク烏有ニ歸シテ人類ノ全面獨リ塲ヲ占ムヿ蓋シプラトン庶物ニ就テ獨リ其美麗ノ觀ヲ發スル所ノ處トヲ把リテ之ヲ講求シテ我心ノ生氣活潑ニシテ自ラ好ミ自ラ進ミテ能ク物ノ美麗ノ觀ヲ捉搦シ物ノ道理ヲ把住スル所以ノ故ヲ講求スルヿヲ知ラス夫レ美觀有リト雖モ我之ヲ愛スルヿヲ好マサルトキハ之ヲ如何道理ノ粲然タル有リト雖モ我之ヲ享スルヿヲ欲セサルトキハ之ヲ奈何是ニ知ル吾人自由ノ性ハ當ニ萬事ノ本ト爲スヘキヿヲ

プラトンノ理學ノ此欠失ハ其道學其政治ニ於テ並ニ之ヲ見ル何ソヤ德義ノ德義タルハ斷行ノ自由ナル所ノ處ニ在リ我不義ヲ爲スヿヲ得テ而シテ爲サス此レ正ニ貴フ可キ所以ナリ我善ヲ爲スヿヲ得テ而シテ爲サス此レ正ニ惡ム可キ所以ナリ智慧如何ニ明ナルモ善ヲ爲スト不善ヲ爲ストハ唯我カ心ノ自由ニ屬ス是ニ知ル道學ノ旨趣ト爲ス所ハ尤モ心ノ自由ノ一事ニ在ルヿヲ

プラトンノ所謂善トハ何ソヤ是レ一種我カ心外ニ存スル所ノ空幻ノ一意思タルニ過キス心外ノ善ノ意思如何ニ現在スルモ眞ハ則チ眞ナリ美ハ則チ美ナリ苟モ我カ心斷行ノ自由有リテ好ミテ之ヲ實際ニ施スニ非サレハ眞ノ善ト爲ス可ラス眞ノ德行ト爲ス可ラス心外ノ善ノ意思如何ニ善ナルモ我カ智慧若シ唯其牽引スル所ト爲リテ已ムヿヲ得スシテ之ニ順フテ行ヒ出シ初ヨリ自ラ取捨スルヿ能ハサルトキハ我カ善行タル實ハ貴フニ足ルヿ無キナリ

夫レ斷行ノ自由ハ是レ所謂道德ノ責任ノ目的ニシテ亦其由リテ出ル所ナリ何ソヤ若シ人心自由ノ性有リテ善不善並ニ之ヲ爲スヲ得ルニ非サレハ何ノ責カ之レ生セン何ノ責ヲ要スルヿカ之レ有ラン

プラトンノ政治ニ於ケル專ラ政府ノ威權ヲ論シテ各人有スル可キ所ノ權理ニ至リテハ絶エテ聞クコト無シ此レ他無シ亦人心自由ノ性ノ貴フ可キコトヲ識得セサルニ坐スルノミ夫レ人々自ラ守リテ他人ノ擅制スル所トナラス是正ニ其貴フ可キ所ナリ而シテ是理ヤ亦其自由ノ性ヨリ發シ來ル者ナリ今プラトンノ之ヲ看得セス其各人ノ權理ヲ度外ニ置クニ至リシコト亦怪ムニ足ラサルナリ

プラトンノ政治ハ其道學ト同ク頗ル采ル可キ者有リ但シ其欠失ハ道學ニ比シテ更ニ甚シキ者有リ請フ先ツ其政治ノ采ル可キ者ヲ言ハン

プラトンハ以爲ラク邦國モ亦各人ト同ク其當ニ求ム可キ所ノ極則有リ漫然トシテ一時ノ利益ヲ圖ルコトハ邦國ノ目的ニ非スト更ニ其意ヲ推スニハ以爲ラク邦國ノ目的トス可キ所ハ當ニ理ヲ推シテ之ヲ考察ス可シ宜ク心ヲ目前ニ局ス可ラストト乃チ言フ理學ハ政治ノ學ニ於テ必ス欠ク可ラスト善イ哉言ヤ夫レ政治ノ目的ハ邦國ノ中ニ於テ正義ノ道ヲ行フ所以ノ最良手

段ヲ求索スルニ在リ果シテ然ルニハ豈之ヲ異ノ政治家ト稱スルヲ得ンヤ哉是ノ如キ者豈國人眞利益ノ在ル所ヲ知ルコトヲ得ンヤ哉故ニプラトンハ曰ク理學ニ邃ナル者ヲシテ政權ニ典據セシメサルニハ國家ノ禍ヲ爲ス所ノ弊害ヲ除去セント欲スルモ得可ラストシテ人類ノ慶福終ニ得可ラストプラトンノ是言ヲ爲シテヨリ久キヲ經ルモ世人其深ク事理ニ合スルコトヲ覺ルコト無クシテ往々以爲ラク理學士ト政治家トハ自ラ別ナリト今日ニ至ルニ及ヒ世人始テ少クプラトンノ是言ニ曉ル有リ顧フニ政ヲ秉ル者姑息ノ策ヲ用ヒ快ヲ一時ニ取リ利ヲ目前ニ圖リ一切ノ智巧ヲ弄シテ以テ自ラ得タリト爲スコト今ニ於テ幾百年ナルヤ而シテ其眞ニ民ノ福ヲ爲セシ者果シテ幾何カ有ルヤ

近時理學士相競フテ正義ノ道ヲ講シ權理ノ義ヲ求メ以テ眞ノ政治ヲ建立セント欲シテ頗ル言說スル所有リ顧フニ古來姑息ノ政ヲ行フテ少モ益ス

ル所無キトキハ盍ソ今ニ於テ試ニ理學ノ旨義ヲ採リテ之ヲ實際ニ施サヽルヤ夫レ一國民若クハ一族類ノ利益ヲ規圖シテ廣ク人類ノ利益ヲ規圖スルヿヲ知ラス義ヲ外ニシテ利ヲ求メ民ノ權理ヲ度外ニ置テ別ニ安寧慶福ヲ獲ント欲ス是レ古來政治家ノ通病ニ非ス乎

顧フニ近代ニ至リ稍〻理學ノ旨義ニ循フテ更革スル所有リテ既ニ大ニ其効ヲ收ムルヿヲ得タリ此レ豈學士輩論說ノ賜ニ非ス乎夫レ奴隷ノ制ヲ廢シテ人々ヲシテ平等ノ權ヲ得セシメ宗教ノ相異ルカ爲メニ相仇視スルノ弊ヲ矯メ刑法ヲ寛ニシ教育ヲ盛ニシ諸〻私有ノ特權ノ屬ヲ除キ工人及ヒ商賈ヲシテ意ヲ肆ニシテ其業ヲ勉ムルヿヲ得セシメ其他種々善良ノ釐革ヲ行ヒシヿ是レ今代ノ美擧ニ非ス乎而シテ其由リテ來ル所ヲ推ストキハ畢竟第十八紀ノ時ニ於テ理學士輩出シ道理ヲ講求シテ其論說ヲ世ニ播シタルノ致ス所ナリプラトンノ言猶信ナリ

夫レ政治ヲ以テ一種實際ノ業ニシテ唯目前ノ利是レ求メテ一切理論ト交

涉無キ者ト爲スカ如キハ誠ニ悼ム可キノ甚キニ非ス乎是一輩ノ人ハ往々プラトン及ヒ其他碩學ノ言說スル所ヲ以テ皆空華ノ一議論ニシテ決シテ實際ニ施ス可ラスト爲シテ而シテ此等言說ノ徐々ニ法律制度ノ中ニ浸入シテ世ノ大益ヲ爲スヿヲ覺ラス乃チ言フ凡ソ理論ニ於テ眞正ト認ム可キ者モ實際ニ至リテハ必ス然ルヲ得スト嗟呼眞理豈二有ランヤ苟モ理論ニ於テ眞正ナルトキハ奚ソ實際ニ於テモ亦然ラサル有ラン

夫レ古今學士ノ倡說或ハ眞理ニ合スル有リ或ハ合セサル有リ或ハ大ニ合スル有リ或ハ少ク合スル有リ又論說ノ大體頗ル正キモ其小節目或ハ甚詳備ナラサル有リ若シ夫レ眞理ノ完備セル者論說ノ詳明ナル者ニ至リテハ決シテ實際ニ施ス可ラサルノ理有ルヿ無シプラトン早ク是ニ察スル有リテ以爲ラク言論ト實際トノ間ニ發スル所ノ障礙ハ一時ノ患ニシテ破除ス可ラサルノ理無シト

凡ソ言說眞ニ實際ニ施ス可ラサル者ハ皆虛浮ノ理義ニシテ眞ノ理義ニ非

スル凡ソ虛浮ノ理義ハ想像ノ謬迷ヨリ生スル者ニシテ其事タル本ト有ルコト無ク亦有ルコト得可ラス亦必ス有ル可ラサルナリ他無シ天地自然ノ理ニ反スルノ故ナリ若夫レ眞ノ理義ニ至リテハ然ラス其事タル如何ニ高華ニシテ眼前ノ實迹ト合セサルモ世運ノ進歩スルニ及ヒテハ必ス到ルコトヲ得ル者ナリ亦必ス到ルコトヲ求ム可キ者ナリ是ニ知ル虛浮ノ理義ハ自然ノ理ノ反對ニシテ眞ノ理義ハ正ニ自然ノ理ナリ

眞ノ理義ハ今縱令未タ實際ニ施サヽルモ後必ス施スコトヲ得虛浮ノ理義ハ終ニ施スコトヲ得可ラス眞ノ理義ハ道ニ合スルヲ以テ其物タル善美ナリ虛浮ノ理義ハ妄念ニシテ惡ナリ之ヲ例ヘハプラトンノ論說中家族ヲ麾シテ妻子ヲ共有スルノ旨趣及ヒ私ニ財產ヲ有スルコトヲ禁スルノ旨趣ノ如キハ皆妄念ト謂ハサル可ラス若夫レ近世理學士ノ倡フル所ノ敎育ヲ隆ニシテ國人皆學ハサル無ク以テ貧窶ニ困ムコト無カラシムルノ旨趣ノ如キハ之ヲ妄念ト謂フコトヲ得ス何トナレハ此旨趣ハ本ト道理ニ合スルヲ以テ今未タ遽ニ之ヲ實ニスルコト能ハサルモ勉怠ラサルニハ後來必ス其行ハルヽコトヲ見ルヲ得可ケレハナリ

是故ニ敢テ爲ス者現ニ世ニ行ハルヽ事ヲ全棄シテ專ラ虛妄ノ理義ヲ倡說スルニハ固ヨリ不可ナリ又凡ソ現ニ世ニ行ハルヽ事ヲ視テ皆道理ニ合スト爲シテ絕エテ變更スルコトヲ求メサルニハ亦不可ナリ夫レ理論ト實際トノ二者ヲシテ務メテ相合セシムルコトヲ求メテ孜々トシテ懈怠セス是レ正ニ學士政治家ノ並ニ當ニ意ヲ用フ可キ所ナリ余嘗テ一書ヲ著ハシ題シテ日耳曼、英吉利、法朗西ニ於ケル近世ノ權理論ト曰フ讀者請フ參考セヨ

プラトンノ意ニ政治ヲ以テ必ス理義ニ合スルコトヲ求ム可シト爲セシコトハ洵ニ佳ナリ但所謂理義ナル者ヲ解釋スルニ於テプラトンノ所見大ニ繆戾ノ病有リ何ノ謂ソヤ曰ク プラトン道學ト政治トヲ一混シテ別ツ所無ク以テ理義ニ合スト爲セリ是豈繆戾ニ非スヤ乎

プラトン以爲ラク政治ノ目的ハ國人ヲシテ皆德ニ進マシムルコトヲ求ムル

ニ在リト是說ヤ其弊必ス苛察專恣ニ陷ルヲ免レス夫レ政治ノ眞ノ目的ハ唯國人ナシテ義ノ一德ヲ守リテ害ヲ他人ニ加ヘサラシムルニ在ルノミ他無シ害ヲ他人ニ施サヽルヿ是正ニ邦國ヲ維持スル所以ナレハナリプラトン蓋シ政治ノ眞ノ目的ヲ知ルニ及ハサリキ

政府ノ目的ハ本ト國人ナシテ有德ニシテ且ツ慶福ヲ享ケシムルヿヲ求ムルニ在ラス唯國人ナシテ其自由ノ權ヲ保持シ義ヲ守リテ他人ヲ害スルヿ無ク自ラ其意ヲ行フテ束縛セラルヽヿ無カラシムルニ在ルノミ若夫レ身ヲ修メ道ヲ行ヒ賢哲ノ域ニ上リ以テ幸福ヲ享クルヿヲ求ムルハ庶人各自ノ業ニシテ政府ノ與カル所ニ非ス

政治ノ眞ノ目的ハ各人ナシテ皆均ク自由ノ權有リテ他人ヲ侵害スルヿ無カラシムルヿ是ノミ若夫レ自家一己ニ係リ若シクハ他人ト共ニシテ以テ有形若クハ無形ノ利益ヲ求ムルカ如キハ正ニ其自由權ノ在ル所ニシテ官ノ與ノ得テ知ル所ニ非ス官タル者ハ唯當ニ彼ノ暴力ヲ奮フテ他人ヲ凌壓シ若クハ詐ヲ挾ミテ契約ヲ破壞スル者有ルニ方リ力ヲ出シテ以テ之ヲ捕獲スル可キノミ

凡ソ庶人ノ行如何ニ惡ム可キモ現ニ害ヲ他人ニ加ヘサル時ハ官得テ之ヲ罰スルヿ無シ例ヘハ神物ヲ褻瀆シ若クハ貧人ヲ賑救セス若クハ酒食ニ放肆ナルカ如キ極テ道德ニ反スルモ未タ他人ニ害スル有ラサル時ハ官ノ與知スル所ニ非ス官ハ唯不義ニシテ邦國ニ害スル者ニ對シテ自ラ防クカ爲メニ之ヲ懲罰スルノミ不義トハ何ソヤ之ヲ例ヘハ他人ノ自由權ヲ侵害シ他人ノ心情若クハ身體ヲ戕傷シ若クハ其光譽ヲ毀損スルノ類是ノミ

プラトン其政治論ニ於テ痛ク不信心者ヲ懲罰セント欲ス是大謬戾ナリ不信必ハ誠ニ惡ナルニ論無キモ未タ視テ他人ニ害有リト爲ス可ラス故ニ政府タル者未タ之ヲ罰スルヿヲ得ス是正ニ宗敎自由ノ權ノ存スル所以ニシテ此權タル諸權ノ中ニ就テ尤モ當ニ鄭重ニス可キ所ナリ各人有ス可キ權理ノ義ニ係リテハ古昔ノ人未タ之ヲ知ルニ及ハス即チ

クラットノ死ニ處セラレタルカ如キ正ニアテーンヌ人ノ此權理ヲ知ラサルニ坐セシノミプラトン現ニ其師ノ禍ニ罹リシヲ見テ大ニ之ヲ痛メリ然レ𪜈猶ホ未タ覺悟セスシテ其政治論ニ於テ一切宗教ニ係ル罪過有ル者及ヒ論說ヲ爲シテ與人ト反スル者ヲ懲罰セント欲シ又甚キハ無神ノ說ヲ執ル者ヲ收ヘテ之ヲ死ニ抵サント欲セリ何ソ謬レルノ甚キヤ

凡ソプラトンノ此等ノ繆見ハ其邦國ヲ先キニシテ各人ヲ後ニスル所ノ處ニ原本セリ其意以爲ラク邦國ハ全體ナリ各人ハ此體ノ支節タルニ過キス ト夫レ所謂邦國トハ庶人相聚結スルノ成ル所ナリ庶人有リテ然後邦國生スト邦國トハ無形ノ聚合物ナリプラトン動モスレハ無形ノ理ヲ先キニシテ有形ノ實ヲ後ニス卽チ其所謂禽獸人類ノ意思卽チ極致ナル者ヲ想像シテ不滅ノ物ト爲シテ之ヲ異ノ禽獸人類ノ上ニ置クカ如キ是ナリ是ヲ以テ其政術ヲ論スルニ及ヒ亦無形ノ邦國ヲ以テ有形ノ庶人ノ上ニ置キテ以爲ラク庶人ノ本ハ邦國ニ在リト殊ニ知ラス邦國ノ本正ニ庶人ニ在ルコヲ

プラトンノ「レピュブリック」ノ書ノ繆見蓋シ此ノ如シ蓋シプラトンノ喜テ無形ノ理ヲ以テ有形ノ實ノ上ニ置クカ如キハ議論極テ高華ニシテ喜フ可キモ之ヲ學術ノ道理ニ照スヿハ往々合セサルヲ見ル夫レ各人ヲ以テ邦國ノ影象ト爲シ邦國ヲ以テ各人ノ本體ト爲シ到ル處各人ヲ把リテ之ヲ本體ノ犧牲ト爲サント欲スルカ如キハ豈理ナランヤ余別ニ理學諸大家ノ論說ト題スル一書有リ參觀ス可シ

○第六章　アリストット

○緒論

アリストットハ紀元前三百八十四年ヲ以テ希臘スタジールニ生ル父ヲニコマック（Nicomachus）ト曰フマセドコー王ノ侍醫ナリアリストットアテーンヌニ游學シプラトンニ從フテ業ヲ受クルコト二十年後歷山王ノ傅ト爲ル王アリストットニ賜フニ格物學ノ書數十百卷ヲ以テシ又多ク金ヲ賜フテ大ニ書冊ヲ購求セシム是ニ於テアリストット志ヲ肆ニシテ益〻學ヲ修ムルコトヲ得タリ紀元前三百三十四年アリストット復タアテーンヌニ赴キリセーノ大觀ニ於テ一黌舍ヲ興シ徒ヲ聚メテ敎授ス世人アリストットノ門生ヲ號シテ「ペリパテチシヤン」ト曰フ逍遙ノ義ナリ蓋シ門生其業ヲ執ルノ暇常ニリセーニ逍遙散步セシニ因リテ名ツケシナリ之ヲ頃アリテアテーンヌ人アリストットヲ疑フテ以爲ラク陰ニマセドコーノ爲メニアテーンヌニ不利ナルコトヲ求メ又無神ノ說ヲ執ルト是ニ於テアリストットアテーンヌヲ去リテシヤルシーニ退隱スユーベーノ島ナリ紀元前三百二十二年ヲ以テ終レリ世ニ傳フアリストット毒ヲ飮ミテ死セリト或ハ信ナラン

○第一　有ノ性質、本原並ニ形狀

第一　有ノ性質　アリストット以爲ラク庶物原理ノ學ハ正ニ有ノ何物タルコトヲ講求スルニ存スト然ルニプラトンハ有ヲ以テ世界ノ全體ノ中ニ存スト爲セリアリストットニ至リテハ然ラス以爲ラク有ハ各個ノ中ニ存ス全體ノ中ニ存セスト乃チ言フ例ヘハソクラットノソクラットタル所以ハ其他人ト異ナル所ノ處ニ在リ其他人ト同キ所ノ處ニ在ルニ非ス而シテ凡ソ各個ノ各個タル所以ハ其爲スコト有ルノ處ニ在リ更ニ一言センニ凡ソ有ル者ハ皆爲スコト有リ爲スコト有ル者ハ皆有ナリ是ニ於テ有爲ト云フ旨義ヲ以テ理學ノ本根ト爲サヽルヲ可ラス

第二　有ノ本根　アリストット四個ノ旨義ヲ定メテ以テ有ノ本原ト爲スヿヲ曰ク物質ナリ形貌ナリ原因ナリ目的ナリ蓋シ以爲ラク常ニ爲スコト有リテ

絶エテ間斷無キハ獨リ神然リト爲スト若夫レ人類ノ如キハ未タ神ノ完粹無疵ナルガ如キコト能ハス是ニ於テ人類ノ有爲ハ自ラ二個ノ物ヲ包有スルノ實ナリ更ニ之ヲ言ヘハ意念ヲ發スルノ能ト意念ヲ實施スルノ行ト是ナリ是故ニ所謂能ハ功ヲ施ス所ノ物質ト一體ヲ成シ所謂行ハ功ヲ施ス所ノ形貌ト一體ヲ成スヿヲ譬ヘハ大理石ノ偶像ノ如キモ其物質ニ就テ言フトキハ卽チ大理石ナリ其形貌ニ就テ言フトキハ卽チ偶像ナリ而シテ人ノ未タ功ヲ施サヽルノ前大理石中自ラ偶像ヲ爲スコトヲ得ルノ能有リテ存スヿ若夫レ偶像ノ形狀ハ現ニ功ヲ施スノ後ニ非サレハ之ヲ發スルコト無シ故ニ曰ク能ハ物質ト一ヲ爲シ行ハ形貌ト一ヲ爲スト

然ト雖モ能ト行トハ皆外物ニ就テ發スル所ノ原因ナリ是ニ於テ更ニ又二個ノ物有リテ始テ異ノ有爲ノ業ヲ就スコトヲ得曰ク彫鐫師ナリ曰ク彫鐫師ノ名譽ナリ蓋シ彫鐫師作ル所有リテ以テ名聲ヲ得ント欲スヿ是ニ於テ彼ノ大理石ニ就テ一形狀ヲ成シテ斯ニ以テ所謂有爲ノ業ヲ爲スナリ是故ニ所謂行爲ハ本ト其人ノ意欲ヲ以テ原因ト爲シ意欲ハ又目的ヲ以テ原因ト爲ス他無シ凡ソ爲スコト有ル者ハ必ス目的トスル所有レハナリ是ニ知ル物質ト及ヒ其物質ノ生スル所ノ益ト是即チ有ノ本原ナルコトヲ更ニ之ヲ言ヘハ能ト行ト是有ノ本原ナリ

第三　有ノ形狀（アリストットル）以爲ラク物ノ運動ト進歩ト是有ノ形狀ナリ蓋シ所謂運動トハ卽チ變化ノ義ニシテ彼ノ能ヨリシテ行ニ進ミ未濟ヨリシテ既濟ニ進ムノ謂ナリ

凡ソ世界萬物皆運動シテ以テ進歩シ下級ノ形狀ヲ去リテ上級ノ形狀ニ入ルヿヲ例ヘハ鑛物ハ變シテ植物ト爲リ植物ハ變シテ動物ト爲リ動物ハ變シテ人類ト爲リ人類ハ變シテ神ト爲ル是故ニ下級ノ物ノ存スル所以ノ故ハ上級ノ物ニ就テ始テ之ヲ知ル他無シ上級ノ物ハ下級ノ物ノ目的ナレハナリ

更ニ之ヲ言ヘハ不完全ノ行爲ハ完全ノ行爲ニ就テ始テ其目的ヲ知ルヿヲ得然ルニアリストットノ意以爲ラク行爲ノ最モ完全ナル者ハ意念ナリ故ニ有ノ有タル所以ハ意念之カ本根タリ更ニ一層ヲ進メテ言フトキハ意念即チ有ナリ何ソヤ凡ソ物ノ生存スルハ其爲スヿ有ルハ其思フヿ有ルノ處ニ在リ故ニ有ルヿ卽チ生存スルヿハ卽チ思フヿ是ノミ

○第二　神ハ世界ヲ運轉スル者及ヒ世界ノ目的

第一　神ノ存在スル事　アリストット以爲ラク凡ソ物ノ變轉スルハ必ス本ト之ヲ動カス者有リテ然リ故ニ一原因ヨリ上リテ他ノ原因ニ進ミ是ノ如クニシテ層累シテ上ルヿハ必ス神ニ歸シテ後已ム所謂世界ヲ運轉スル者是ナリ而テアリストット以爲ラク神ノ世界ヲ動轉スルヤ己レハ則チ寂然トシテ少モ動クヿ有ルヿ無シ然リト雖モ神ハ如何シテ世界ヲ動轉スル乎アリストット以爲ラク神ハ世界庶物ヲシテ皆己ヲ希慕シテ以テ其最上ノ目的ト爲サシム是ニ於テ乎世界庶物皆其能力ノ不動ヨリ進ミテ有爲ノ動ニ就キ下級ヨリ上ホリテ上級ニ入リ是ノ如クニシテ漸次ニ完粹無疵ノ地ニ進ミテ以テ有ノ有タル所以ノ者ヲ成ス是ニ知ル神ハ萬物ノ原因ニシテ亦其目的ナルヿヲ

第二　神ノ性質　アリストット以爲ラク神ハ其本質ニ就テ之ヲ言フトキハ純乎有爲ニシテ少モ他物ノ動カス所ト爲ルヿ無シ是故ニ神ハ所謂能力ノ不動ヲ有セスシテ常ニ有爲ニシテ少間斷有ルヿ無シ又以爲ラク神ハ又廣大無邊ノ智慧有リ但神ノ思フヿハ唯己ヲ思フテ他物ヲ思フヿ無シ故ニ神ニ在リテハ思フ者ト思ハル、者ト全ク一體ヲ爲シテ別ツ可カラス更ニ之ヲ言ヘハ知ル者ト知ラル、者ト一體ニシテ卽チ物ト我レト一體ナリ故ニ曰ク神ハ思念ノ思念ナリト又以爲ラク神ハ常ニ思ヒ常ニ爲シテ少間斷無キヲ以テ亦常ニ慶福ノ地ニ居テ少間斷有ルヿ無シ何ソヤ思フヿ及ヒ爲スヿ是正ニ樂ムヿナレハ

ナリ

第三　神ト世界庶物トノ交渉　アリストットル以爲ラク神ハ純乎虛靈ノ意念ニシテ常ニ自ラ己レヲ思フヲ無シ何トナレハ神ハ完粹無疵ニシテ世界庶物ハ不完ニシテ不粹ナルヲ以テ若シ神此世界庶物ヲ思念スルトキハ自ラ己レノ完粹ノ德ニ害スルヿ有レハナリ然レハアリストットルノ意世界庶物ノ此粲然ノ次序有ル所以ノ者ハ神實ニ之レカ本原タリ曰ク如何曰ク神ノ德能ク世界庶物ヲ率引シテ己レニ嚮往セシメ斯ニ以テ此粲然ノ次序有ラシム蓋シ神ハ此下界ノ物ニ於テ一モ知ル所無シト雖モ然レハ能ク下界ノ物ヲシテ皆己レヲ愛慕セシム是ニ於テ下界ノ物皆其牽引スル所ト爲リテ變轉浸化シテ以テ漸次ニ進歩スルヿヲ得ルナリ

夫レ神是ノ如クニシテ萬物ヲ動盪スルモ己レハ則チ森然トシテ動クヿ無シ蓋シ神無キトキハ萬物其次序ヲ得ルヿ能ハス獨此ノミナラス神無キトキハ萬物初ヨリ生スルヿ無シ然レハアリストットノ意ニ神ハ自ラ好ミテ萬物ヲ作リタルニ非ス啻ニ自ラ好ミテ之ヲ作リタルニ非サルノミナラス神ハ初メヨリ萬物ヲ知ルヿ無シ故ニ萬物ノ生シタルハ唯神ノ牽引ノ力ニ由リテ生セシ乎アリストットル此一事ニ於テ絶エテ論スル所無シ

○第三　アリストットルノ道學及ヒ政治

第一　自家一身ノ道學　アリストットル以爲ラク凡ソ一目的ヨリ他ノ目的ニ上リ一善ヨリ他ノ善ニ上リ是ノ如クニシテ層累シテ進ムトキハ終ニ無上ノ至善ニ透徹シテ後已ム唯此無上ノ至善ヤ以テ吾人ノ有爲ノ性ヲシテ屬厭セシメテ以テ慶福ヲ生スルヿヲ得

所謂無上ノ至善トハ何ソヤ曰ク是凡ソ吾人ノ行爲ノ最高尙ナル者ニシテ卽チ吾人ノ性ヲシテ自ラ擴充シテ其極ニ到ラシムル者卽チ是ナリ獨此行爲眞ニ人ノ人タル所以ニ適合スト爲ス

又以爲ラク所謂無上ノ至善トハ運動ノ謂ニ非ス又生存ノ謂ニ非ス亦快樂ノ謂ニ非ス何トナレハ運動生存快樂ノ三者ハ我レト他ノ下等ノ動物ト相通シテ有スル所ナルヲ以テ未タ以テ最上ノ行爲トハ爲スニ足ラサレハナリ最上ノ行爲トハ眞智ノ思念スルヿ即チ是ナリ夫レ眞智ノ思念シテ以テ自ラ樂ムヿ是所謂人類ノ最大慶福ナリアリストッ是ニ於テ德ヲ分チテ二トス爲シ一ヲ靜觀ノ德ト曰ヒ一ヲ實行ノ德ト曰フ

第一　靜觀ノ德ハ最上ノ德ニシテ眞智ノ自ラ反觀內照スル者ニシテ所謂無上ノ慶福ヲ享クルヿ正ニ是ナリ而シテ此反觀內照ノ德ハ神ノ常ニ自ラ思念シテ已ムヿ無キヿ是其極則ナリ

第二　實行ノ德ハ靜觀ノ德ニ次ク者ニシテ其旨趣タル精神ノ諸能力ヲ撿制シテ自ラ恣ニスルヿ無ク以テ靜觀ノ德ノ思念スル所ノ善ヲ實行セシムルニ在リ

所謂實行ノ德ハ二個ノ極點ノ間ニ於テ常ニ衷ヲ取ルヿ是ナリ之ヲ例ヘハ勇ノ德ノ如キハ暴ト弱トノ間ニ於テ其衷ヲ取ル者ナリ節儉ノ德ハ濫逸ト苦業トノ間ニ於テ其衷ヲ取ル者ナリ餘ハ類推スヘシ

實行ノ德ハ譬ヘハ猶ホ戰鬪ノ如シ常ニ慾ト抵敵シテ其レヲシテ自ラ逞クスルヿヲ得サラシムル而シテ其目的ト其報賞トハ彼ノ靜觀ノ德ノ慶福ト及ヒ其穩靜トノ中ニ存スル者ナリ

第三　邦國ニ係ル道德　アリストットル以爲ラク邦國ニ係ル最大ノ德ハ正義ト友愛トノ二ナリ友愛ノ德ハ又汎愛ノ德ト曰フ蓋シ天下ノ人ヲ擧ケテ愛セサル所無キノ謂ナリ是ニ於テ此二德ノ論有ルアリ

友愛ノ說ニ曰ク人ヲ愛スルヿハ人ニ愛セラルヽヿニ比スレハ更ニ樂ム可クシテ更ニ尊フ可シ他無シ利ヲ施ス者是卽チ人ヲ愛スル者ニシテ利ヲ享クル者是卽チ人ニ愛セラルヽ者ナレハナリ又曰ク友愛ハ己レト他人トヲ平等視スルニ生ス故ニ其他人ヲ視ルヿ己レト異ナルヿ無カル可キナリ

正義ノ說ニ曰ク正義トハ他人ノ間ニ於テ平等ノ義ヲ保チテ侵サヽルノ謂ナリ而シテ亦二個ノ別有リ一ヲ分配ノ義トス曰ヒ一ヲ交易ノ義ト謂フ」分配ノ義トハ他人ノ行爲ヲ視察シテ其善ノ高下ニ隨フテ利益ヲ頒與シテ失フ」無キヲ謂フ是ナリ

交易ノ義トハ賣買ノ約ヲ爲シ若クハ過擧有リテ之ヲ贖フノ際ニ於テ必ス權衡ヲ愼ミテ彼我得失ノ差無カラシムルヲ謂フ是ナリ

第三　アリストツトノ政治　アリストツト以爲ラク邦國トハ自由權有リ且平等ナル人物ノ聚合ヲ謂フ是ナリ是ニ於テプラトンノ所有權及ヒ家族ヲ廢スルノ說ヲ駁シテ以爲ラク家族ヲ廢スルモ決テ此カ爲メニ衆人ヲシテ更ニ益〻國ヲ愛セシムルヿヲ得ルノ理無シ又共有ノ財產ハ人ノ之ヲ讓持スルヿ決テ私有ノ財產ヲ護持スルノ堅キカ如シナラス

アリストツト奴隸ノ制ニ係リ大僇見ヲ免レス以爲ラク國人ハ當ニ分テ二種ト爲ス可シ一ハ自由權ヲ有スル族類ニシテ一ハ奴隸人ノ族類ナリ是

ニ於テ奴隸人ヲ以テ天ニ命セラルヽ者ト爲スニ至ル

アリストツト又政權ノ說有リ以爲ラク主權ハ公衆ニ屬ス可シト是ニ於テ民主政治ヲ以テ理ニ合スト爲ス又變亂ノ說有リ以爲ラク國ノ變亂有ルハ政ヲ爲ス者民庶平等ノ義ヲ害スルニ是由ルト

○本論

○第一　有ノ性質、本原及ヒ形狀

第一　生ノ性質　プラトン云ヘリ理學ノ目的ハ生ノ何物タルヲ講求スルニ在リトアリストツト亦理學ヲ以テ生ノ學ト爲セリ然ルニ所謂生即チ有トハ果シテ何物ナル乎凡ソ物自ラ存スル者有リ之ヲ例ヘハ我カ精神ノ如シ又他物ニ憑依シテ始テ存スルヿヲ得ル者有リ之ヲ例ヘハ快樂若クハ痛苦等ノ如シ然レハ即チ凡ソ有ノ中ニ於テ自ラ區別スル所有ルヲ要スルヿ無キ乎アリストツト是ニ於テ以爲ラク凡ソ物自ラ存シテ他物ニ憑依セサル者是之ヲ本質ト謂フ此眞ノ有ナリ他物ニ憑依シテ始テ存スル者是之ヲ影象

ト謂フ本質ノ存スル所ノ狀態是ナリ

アリストツト曰ク本質ノ影象卽チ狀態ハ分チテ三種ト爲ス曰ク品位ナリ之チ例ヘハ美及ヒ醜ナリ曰ク數量ナリ之チ例ヘハ大サ及ヒ永サ時チナリ曰ク比較ナリ之チ例ヘハ平等不平等下等上等ナリ

本質及ヒ品位數量比較此四ノ者是卽チ吾人智慧ノ識得スル所ノ旨義ナリ

アリストツト更ニ分チテ十個ト爲スニ至ル然レヒ其歸趣チ要スルヒハ終ニ四個ニ歸シテ後已ム

アリストツト以爲ラク凡ソ複雜ナル物ハ數個ノ質相聚リテ卽チ相交ル者ナリ故ニ眞ノ本質ナル者ハ必ス純一ニシテ分離ス可ラス故ニアリストツト曰ク凡ソ眞ニ有ル者ハ皆一ナリ凡ソ一ナル者ハ皆眞ニ有リ蓋シ此一點ニ係リテハアリストツトノ所見少モプラトント異ナルコト無シ

然ト雖モ所謂眞ノ有チ爲ス所ノ純一ナル者ハ果シテ何物ナル乎是ニ於テアリストツトノ所見大ニプラトント相異ナルチ致ス

プラトンノ意ニ從ヘハ凡眞ノ有チ爲ス者ハ各個ノ物チ統フル所ノ全體ノ無形ノ旨義是ナリ之チ例ヘハ人ノ如キモ眞ノ本質ハ各人ノ中ニ在ルニ非スシテ擧天下ノ人チ統フル所ノ人類ト云フノ意思ノ中ニ在リ其他卿木禽獸皆然ラサルハ莫シアリストツト其說チ駁シテ曰ク異ノ本質ハ各人ノ中ニ在リテ虛靈ノ統名ノ中ニ在ルニ非ス之チ例ヘハソクラツトノソクラツトタル所以ノ者ハ其他人ト同キ所ノ處ニ存セスシテ其他人ト異ナル所ノ處ニ存ス夫レ其他人ノ有セスシテソクラツトノ獨有スル所ノ者是正ニソクラツトノ本質ニシテ得テ分拆ス可ラス凡ソ人ノ本質皆此ノ如シ故ニ各人ノ本質ハ各人ノ中ニ存スルニ非ス

アリストツト又以爲ラク凡ソ各人ノ中ニ於テ其本質チ爲ス所ノ者ハ其有爲ノ性卽チ是ナリ生スルトハ爲スニ有ルノ謂ニシテ爲スニ有ルトハ生スルノ謂ナリ吾人ノ躬ラ己レノ存スルニ由リテ然リ若シ爲スニ無キ片ハ自ラ己レノ存スルニチ知ラント欲スルモ得可ラサ

ルナリ

凡ソ吾人爲スコト有ルトキハ中心自ラ己レノ爲ス所ヲ知ル而シテ己レノ己レタル所以ハ正ニ其爲スコト有ル所ノ處ニ存ス是ニ知ル有爲ナル者ハ正ニ生存即チ有ノ本質ナルコトアリストッ其理學ノ首ニ於テ此意ヲ揭示シテ以テプラトンノ說ヲ駁正セントト欲セリ

第二　有ノ根原　物質、形狀、原因、目的

アリストッ以爲ラク凡ソ下界ノ物ノ有爲タルヤ皆完全無疵ナルコト能ハス何ヲ以テ之ヲ知ル曰ク凡ソ下界ノ物皆變轉セサル莫シ而シテ變轉ナル者ハ其初未タ有ラサル所ノ狀態ヲ得ルノ謂ナリ之ヲ例ヘハ我レノ學問スルカ如キハ是無識ヨリ轉シテ有識ニ入ルナリ我レノ未タ學問セサルニ方リテハ識ル所有ルコト無シ既ニ學問シテ然ル後始メテ識ル所有ルコトヲ得夫レ其識ル所有ルコトハ即チ我レノ一狀態ニシテ其初ヤ我レ未タ此狀態ヲ有セス學問ニ由リ一轉シテ始テ之ヲ有スル凡ソ變轉ノ類皆然リ一不完ノ狀態ヨ

リ進ミテ更ニ稍完全ノ狀態ニ入ル若シ現ニ完全無疵ナルトキハ何ノ變轉カ之レ有ラン故ニ曰ク下界ノ物ノ有爲タルヤ完全無疵ナルコト能ハストアリストッ又以爲ラク凡ソ有ル物ハ皆變轉セサル莫シ而シテ其變轉スルヤ二個ノ根原ヲ具ス變スルコトヲ得ルノ能ト現ニ變スルノ實ト是ナリ故ニ所謂變トハ能ノ不動ヨリ實ノ動ニ移ルノ謂ナリ之ヲ譬ヘハ偶像ノ如シ工人ノ未タ彫鐫セサルノ前ハ塊然タル一大理石ナリ其中唯偶像ノ形狀ヲ獲ルノ能ヲ具スルノミ工人現ニ之ヲ彫鐫スルニ及ヒ然ル後始テ偶像ト爲ルコトヲ得夫レ其能ヨリ進ミテ實ニ移ルコト是所謂變轉ナリ是故ニ凡ソ變轉ハ必ス其赴ク所ノ實ニ由リテ始テ之ヲ解スルコトヲ得之ヲ例ヘハ我レ一理ヲ考察スルニ有ラン之ニ我カ意念種々ノ旨義ヲ經過シ變動シテ已マス最後ニ彼理ニ撞着シテ始テ自ラ休スルコトヲ得故ニ一ノ狀態ヲ出テ、既ニ他ノ狀態ニ入ルトキハ復タ變動スルコト無クシテ正ニ是變動ノ已ムノ候ナリ

アリストット又一例ヲ擧ケテ曰ク我レ一物ヲ獲ント欲スル片ハ歩シテ其物ノ有ル處ニ趨ク所謂變動ナリ而シテ未タ現ニ其物ヲ獲サルヲ以テ自ラ樂ムル所無キカ故ニ猶ホ歩シテ已マス既ニシテ其物ヲ獲ルニ及ヒ吾カ心始テ喜テ休スルヿヲ得是ニ於テ變動已ミテ靜ニ歸ス然レ𪜈此靜ナル者ハ決シテ之ヲ一種無爲ノ物ト謂フヿヲ得ス此レ正ニ有爲ノ極ニシテ初メ獲ンヿヲ欲セシ所ノ物ヲ獲テ我カ心喜悦シテ復タ他ニ求ムルノ念無ク斯ニ以テ動ヲ止メテ靜ニ歸シ以テ自ラ樂ヲ旨フ是卽チ能ヨリ出テ、實ニ入ル者ニシテ眞ノ有爲ト眞ノ生活トハ正ニ是ニ在リ

是故ニ不完ノ生物ハ皆不完ノ有爲ニシテ其中未タ實ニ移ラサル所ノ能極テ多シ若夫レ完粹無疵ノ生物ハ常々有爲ニシテ少間斷有ルヿ無シ更ニ一層ヲ進メテ言フヲ俟ハス其全體皆實ニシテ能有ルヿ無シ

夫レ能力ヨリ出テ、行實ニ移ルノ際ハ尚ホ定形有ルヿ無シ唯一定形ヲ得可キノ因ヲ有スルノミ之ヲ例ヘハアポロン若クハミチルブ神ノ銅像若ク

ハ石像ノ如シ工人ノ未タ彫鐫セサルノ前ニ在リテハ唯像ト爲ルヿヲ得ルノ能力有ルノミニシテ未タ像ノ形有ラス夫レ其銅若クハ石ノ一塊是卽チ所謂物質ニシテアポロン若クハミチルブ神ノ像是卽チ所謂形狀ナリ是ニ知ル物質ト形狀トハ正ニ彼ノ能力ト行實トノ寓スル所ナルヿヲ凡ソ下界不完全物ノ由リテ有ル所ノ根原ハ既ニ之ヲ知ルヿヲ得タリ物質ト形狀ト是ナリ卽チ能力ト行實ト是ナリ然レ𪜈此二ノ者ハ未タ夫ノ變動ノ理ヲ盡スニ足ラスシテ必ス別ニ其物ヲシテ物質ヲ出テ、定形ニ入リ能力ヨリ進ミテ實際ニ就カシムル所ノ者無カル可ラス之ヲ例ヘハ銅若クハ石ノ二塊ノ如キモ自ラ變シテ偶像ト爲ルヿ能ハスシテ必ス之ヲ變スル原因無カル可ラス之ヲ變スル原因トハ何ソヤ曰ク彫鐫師是ノミ而シテ彫鐫師ノ彼ノ銅若クハ石ニ就テ功ヲ施ス所以ノ者ハ亦其目的無カル可ラス何トナレハ目的無クシテ慢然トシテ手ヲ下スノ理ハ萬之レ無ケレハナリ然レハ則チ目的トハ何ソヤ像ヲ就シテ聲譽ヲ得ルノ樂是ナリ

是故ニ物質有スル所ノ能力ト實果ノ外又工人ト工人ノ目的ト有ルコ非サレハ銅若クハ石ノ變動ノ理得テ解ス可ラス夫レ物質ナリ形狀ナリ工人ナリ工人ノ目的ナリ是アリストッノ所謂四原因ニシテ物ノ變動ノ理ヲ解シテ遺憾無キヲ欲スルヤ是四ノ者一ヲ欠クヤハ不可ナリ

プラトンモ亦是四原因ヲ說ケリ但プラトンハ更ニ之ニ加フルニ他ノ一原因ヲ以テシテ以爲ラク工人ノ彫鐫スルヤ知ラス識ラス其心中模範トスル所ノ美ノ典型有リ而シテ所謂典型ハ虛靈ノ思意即チ極致ニシテ現ニ天堂ノ中ニ存セリ工人ノ未タ血肉ヲ蒙ムリ生ヲ下界ニ託セサルノ前天堂ニ在リテ親ク美ノ極致ヲ觀ルコヲ得タリ故ニ下界ニ降ルノ後モ隱然心ニ記スル所有リ因リテ此レヲ以テ典型ト爲シテ彫鐫シテ自ラ知ラサルナリトアリストッハ此說ヲ駁シテ以爲ラクプラトンノ所謂典型ハ其形狀タル全ク物ト離レテ天外ニ在リ是理有ルコト無シ凡ソ形狀ハ唯其物ノ現ニ有スル所ノ形狀ノ外別ニ所謂虛靈ノ形狀ナル者有ルコト無シ

又人類ト云フノ意思ノ如キモアリストッノ意ニ從ヘハ現ニ生存スル所ノ各人ヲ外ニシテ別ニ此意思有ルコト無シ所謂人類ノ意思ハ各人有ルヨリシテ生シ各人ノ智慧之ヲ解スルヨリシテ生スル者ナリ此レ特ニ各人ノ意中ニ存在スルノミ別ニ此物有リテ天堂中ニ存スルニ非ルナリ

アリストット又以爲ラク物ノ變動スル所以ノ四原因ハ更ニ理ヲ推シテ考フルヲ之ヲ合シテ二個ト爲スコトヲ得何ソヤ物ノ形ハ物ノ固有スル所ノ實ナリ而シテ實トハ物ノ能ノ赴ク所ノ完全ノ地ナリ之ヲ例ヘハ智慧ノ完全ノ地ハ卽チ智識ノ能ノ變シテ實ト爲ル所ノ處ナリ情ノ完全ノ地ハ卽チ快樂ノ能ノ變シテ實ト爲ル所ノ處ナリ是ニ知ル凡ソ實ハ物ノ能力ノ嚮往スル所ノ利益ナルコヲ然リ而シテ凡ソ利益ハ皆物ノ目的トスル所ナルヲ以テ所謂實ト目的トハ之ヲ同一視スルコヲ得更ニ之ヲ言ハンニ曰ク凡ソ物ノ變シテ赴ク所ノ形狀ハ正ニ其目的ト一體ヲ爲スト

アリストット更ニ又一層ヲ進メテ曰ク利益ノ一事是正ニ凡ソ運動ノ眞ノ原

因ト爲スヲ得可ラサル乎凡ソ運動ノ類ハ其中本ト自ラ一眞好ノ地ニ達スルヿヲ求ムルノ念有ルニ非ス乎若シ此一念無キトキハ初ヨリ變轉スルノ理無キニ非ス乎看ヨ世界庶物皆運動ノ目的ト方向ト有ラサル莫シ而シテ所謂運動ノ目的トハ卽チ利益ノ謂ニシテ方向トハ卽チ進歩ノ謂ナリ

是故ニ凡ソ物ノ有スル所ノ能力ハ皆進ミテ利益ノ處ニ達スルヿヲ求ムル者ナリ故ニ所謂能力ハ皆其物ノ目的ヲ達スルノ手段ト謂フモ可ナリ蓋シ彼ノ利益自ラ一種ノ牽引力有リテ物ノ能力ニ與フルニ運動ノ性ヲ以テシテ其レヲシテ變シテ實際ト爲ラシムル是ニ由リテ之ヲ觀レハ運動ノ原因ハ正ニ其目的ト一體ニシテ目的ハ又彼ノ形狀ト一體ヲ爲ス者ナリ果シテ此ノ如クナルトキハ物ノ變轉スル所ノ原因ハ畢竟唯二有ルノミ曰ク物卽チ能ト益卽チ實トノ二是ノミ蓋シ所謂實トハ卽チ變動ノ原因ニシテ亦其目的ナリ而シテ又形狀ト一理ヲ爲ス者ナリ

是故ニアリストットノ說ニ從ヘハ凡ソ不完ノ物ハ完全ノ物ニ照ラシテ始テ之ヲ解ス可ク下級ノ物ハ上級ノ物ニ照ラシテ始テ之ヲ解ス可ク未タ成ラサル意念ハ既ニ成ルノ後始テ一旨義ヲ有スルヿヲ得可ク將ニ進暢セントスルノ生ハ既ニ進暢スルノ後始テ其理ヲ明ニスルヿヲ得可シ是ニ由リテ之ヲ言ヘハ凡ソ物ノ中ニ於テ其行實ハ其能力ニ比スルトキハ更ニ尊フ可キ者ナリ他無シ所謂行實トハ既ニ成レル一形態ニシテ能力ハ未タ成ラサル一形態ナルヲ以テナリ行實ハ完全ノ物ニシテ能力ハ不完全ノ物ナルヲ以テナリ

是故ニ凡ソ不完全ノ物凡ソ未タ行實ニ發セサル所ノ能力ヲ含ム者ハ吾人ノ智慧ナシテ滿足セシムルヿ能ハス吾人ノ智慧ハ常ニ進ミテ已マス一形態ヨリ他ノ形態ニ進ミ一原因ヨリ他ノ原因ニ進ミ一目的ヨリ他ノ目的ニ進ミ是ノ如クニシテ窮極有ルヿ無シ是ニ知ル進歩ハ智慧ノ天性ニシテ亦庶物ノ天性ナルヿヲ

第三　有ノ形態　庶物ノ運動及ヒ進歩

アリストット以爲ラク凡ソ庶物皆不完全ノ形態ニ安ンスルヿ能ハスシテ其中常ニ完全ノ地ニ進ムノ願欲有リ故ニ一タヒ一形態ニ進ムヤ更ニ又稍ヿ完全ナル他ノ形態ニ進ムヿヲ求ム卽チ鑛物ハ植物ト爲ルヿヲ願ヒ植物ハ動物ト爲ルヿヲ願ヒ動物ハ人類ト爲ルヿヲ願ヒ人類ハ神ト爲ルヿヲ願フ是ナリ

凡ソ此進歩ノ諸級ハ皆相共ニ聯屬シテ間隔有ルヿ無シ何ノ謂ソヤ曰ク上級ノ物ハ必ス凡ソ下級ノ物ノ有スル所ノ性ヲ合シテ皆之ヲ有シテ而シテ更ニ又其有セサル所ノ性ヲ有ス之ヲ例ヘハ植物ノ如キハ幾分其下級ノ鑛物ニ類スル所有リ何トナレハ凡ソ鑛物有スル所ノ眞性ハ植物皆之ヲ有スレハナリ唯其相異ナル所以ハ更ニ完全ニシテ卽チ他ノ性有ルヲ以テナリ」又動物ハ幾分其下級ノ植物ニ類スル所有リテ而シテ更ニ完全ナリ人類ハ其下級ノ動物ニ類スル所有リテ而シテ又更ニ完全ナリ是ニ知ル人類ハ凡ソ庶物有スル所ノ眞性ハ皆之ヲ有スルヿヲ蓋シ庶物ノ運動ハ人類ニ達シテ始テ成就スル者ナリ

凡ソ此ノ如クニシテ物ノ相類スル所有リテ而シテ相異ナルヿハ玆ニ擧ケシ所ノ聯屬ノ道理ヲ得テ始テ之ヲ解スルヿヲ得可シ唯其聯屬ノ理有リテ之ヲ貫串ス故ニ上下級ノ物各〻相接聯シテ其間少モ相隔ツル所ノ空虛有ルヿ無シ

凡ソ下級ノ物ハ上級ノ物ニ照比シテ然後始テ之ヲ解スルヿヲ得可シ果シテ然ルヤハ不完全ノ行爲ハ亦完全ノ行爲ニ照シテ始テ之ヲ解スルヿヲ得ルナリ曰ク凡ソ行爲ノ最完全ナル者ハ何ソヤアリストットノ意ニ於テハ吾人ノ智慧ノ其目的トスル所ノ道理ヲ考察シテ之ヲ得タル時ノ意念是行爲ノ最完全ナル者ナリ故ニ凡ソ吾人ノ一切外ニ著ハルヽ行爲ハ皆此心中ノ行爲ニ照ラシテ始テ之ヲ解スルヿヲ得乃チアリストットノ意以爲ラク願欲モ亦一ノ意念ノ未タ其目的ト合セサルカ爲メニ之ト合スルヿヲ求ムル者タルニ外ナラス又凡ソ變轉ハ皆願欲ニシテ而シテ庶物皆變轉スルヿハ當ニ

曰フ可シ凡ソ庶物ノ本質ヲ爲ス者ハ正ニ其意念ナリト但所謂意念ハ庶物ニ在リテ未タ甚タ暢發セサルノミ

是ニ由リテ之ヲ言ヘハ有ノ本質タル知ル可キノミ曰ク意念是ナリ是故ニ庶物ノ進歩愈〻高處ニ達スルヤハ愈〻人智ニ近似スルヲ見ル何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク凡ソ物一級ヲ歷ル毎ニ吾人之ヲ視ルニ於テ愈〻明ニ其有ル所以ノ故ヲ解スルヿヲ得テ而シテ亦其物自ラ其有ル所以ノ故ヲ解スルヿヲ得テ少生氣有ルヿ無ク少意念有ルヿ無キカ如シ漸次ニ醒覺シテ發動シ斯ニ以テ今日ノ狀態ヲ爲スニ至レリトアリストッ以爲ラク開闢ノ始ニ在リテハ世界萬物皆眠ムレルカ如クニシ然リト雖モアリストットノ所謂萬物ノ進歩ノ最後ノ目的ハ如何庶物ヲ變轉スル所ノ運動ノ最後ノ目的ハ如何アリストットヘラク此理ヲ解セント欲スルヤハ宜ク庶物ヲ舍イテ直チニ神ノ何物タルヲ講求スル可シト請フ此ヨリアリストットノ神ノ說ヲ叙セン

○第二　世界ノ運動者及ヒ其目的

第一　神ノ現存スルヿ　凡ソ物ノ運動ハ必ス之ヲ動カス者アリテ生スル者ナリ然ルニ一ノ之ヲ動カス者ヨリ更ニ上リテ佗ノ之ヲ動カス者ニ至リ此ノ如クニシテ窮究スルヤハ必ス凡ソ運動ノ眞ノ本原ニ透徹スルニ非サレハ止マス故ニアリストットヘラク一原因ヨリ他ノ原因ニ進ミ是ノ如クニシテ上ルヤハ終ニ止マラサル可ラサル所ノ處ニ到ルヿヲ得蓋シ運動ナル者ハ或ハ初メ無ク亦終リ無キモ未タ知ル可ラス又斯世界ヲ構成スル所ノ庶物モ或ハ初メ無ク終リ無キモ亦未タ知ル可ラス果シテ然ルヤハ是庶物ノ物タル時代ヨリシテ言フヤハ或ハ窮リ無カル可シ然レ𪜈層累シテ上ルヤハ最高處ニ於テ一大原因無カル可ラス無數ノ小原因相聯屬シテ窮已無キカ如キモ必ス之ヲ統フル所ノ眞原因有ルニ非サレハ終ニ理會ス可ラス夫レ其所謂一大原因ノ始メテ庶物ヲ動ス者ハ其物タル必ス寂靜ニシテ不動ナル可シ此不動ノ動物乃チ余カ所謂神ナリ

アリストツトノ言ニ從ヘハ神ハ自ラ動クコトナクシテ能ク庶物ヲシテ動カシムト顧フニ神ノ庶物ヲ動カスコトハ其法果シテ如何又此神ハ果シテ如何ノ狀有ル乎

アリストツト以爲ラク今手ヲ以テ物ヲ擠スルトキハ以テ之ヲ動カス可シ故ニ是モ亦運動ノ類ナリ然レトモ神ノ庶物ヲ動カスコトハ手ノ物ヲ擠シテ之ヲ動カスカ如クナル可ラス何ソヤ手ノ物ヲ擠スヤ物ノ重力有リテ幾分之ニ抗スル有リ故ニ手ト物ト並ニ抗ヲ受クルコトアリ顧フニ神ハ少シモ自ラ動クコトナクシテ而シテ庶物ヲ動カスヲ以テ少分ノ抗拒ヲ受クルコトナカル可キナリ」

神ノ庶物ヲ動盪スルノ法ハ何物ニ於テ喩ヲ取ルヘキハ最モ適切ナルコトヲ得ル乎

アリストツト曰ク此レ美物ノ吾人ノ心ヲ動カスニ喩フ可シ蓋シ我ノ美麗ノ物ヲ觀ルヤ我カ精神即チ願欲ノ情ヲ發シ自然ニ其物ニ嚮往シテ自ラ禁スルコト能ハサラシムト而シテ彼美麗ノ物ハ唯能ク我カ精神ヲ動カシテ己レハ則チ少モ動クコト無シ此レ神ノ庶物ヲ動カスノ法ナリ神寂然トシテ動カスシテ庶物皆其美麗ノ觀ニ感シ相率ヰテ發動スル是ナリ

第二　神ノ狀態　情ノ本原モ亦神ナリ蓋シ凡ソ情ノ最モ適スルハ將ニ得ントスルノ時ニ非スシテ方ニ得ルノ時ナリ故ニ神ノ狀態タル常々方ニ在リテ其中一モ未タ發セル所ノ能力有ルコト無シ活潑有爲ノ極ニシテ一モ蘊ム所有ルコト無シ更ニ之ヲ言ヘハ神ノ狀態並ニ性質タルヤ前ニ所謂行實ノ極ニシテ猶ホ花ノ方ニ爛熳タルカ如キ者ナリ

夫レ神ノ有爲ノ狀タル是天地庶物ノ盡ク傾嚮シテ自ラ禁スルコト能ハサル所ナリ然ル乎

アリストツト以爲ラク神ノ物タル全ク虛靈ノ思念ヲ以テ成ル者ナリ卽チ吾人人類ノ如キモ一切外物ノ誘テ去リ心ニ思惟スル所有リテ方ニ道理ニ諧當シタル時是レ吾人ノ最モ有爲ニシテ完粹ナルノ候ナリ神ノ物タル常ニ此ノ如キノミ蓋シ我カ精神ノ自ラ思念シテ道理ニ諧當スルノ時ハ正ニ我カ虛靈ノ精神ト虛靈ノ道理ト一體ヲ成シテ一切他ノ粗迹ト雜ハルコト無シ故ニアリストツトノ言ニ從ヘハ神

ハ純然ノ智慧純然ノ思念是ノミ乃チ其完粹豐備ノ德ハ畢竟完粹豐備ノ思念ト云フニ外ナラス

神ハ一大智慧ノ常々自ラ靜觀シテ以テ樂ト爲ス者ナリ故ニ若シ神チ以テ思念スル者ト爲スハ謬リナリ神ハ卽チ思念ナリ思念卽チ神ナリ思念チ以テ自ラ思念ス是ナリ故ニアリストット曰ク神ノ思念ハ卽チ思念ノ思念ナリト

アリストット又曰凡ソ純然ノ思念ニ在リテハ思念スル者ト思念セラルヽ者ト全ク一體チ爲シテ分別ス可ラス又曰凡ソ智慧ノ道理チ思念スルヤ實ハ正ニ自ラ思念スルニ外ナラス智慧テ以テ智慧チ思念スル是ノ如キノミ何トナレハ智慧トハ何ソヤ道理チ知ルノ能是ナリ故ニ智慧ノ方ニ道理チ得タル時是レ智慧ノ方ニ實ナル時ナリ夫レ智慧ト道理ト一體ニシテ分別ス可ラサルニ吾人人類ニ在リテモ亦此ノ如シ但神ノ智慧ニ在リテハ此同體ノ度級其最高層ニ升リタル者ナリ故ニ常ニ有爲ニシテ常ニ行實ニシテ少モ將來有ルヿ無シ

神ハ有爲ノ質ト智慧ノ質トノ外又慶福ノ質チ合ス故ニアリストット曰ク神ノ慶福タルヤ常々間斷有ルヿ無シ吾人人類ノ瞬時ニ之チ得テ瞬時ニ之チ失フカ如クナラス何トナレハ神ニ在リテハ爲スヿ有ルヿ正ニ福樂ナリ神ハ常々有爲ナリ故ニ常々福樂ナリ蓋シ樂ナル者ハ吾人人類ニ在リテモ必ス現在ノ物ニシテ有爲ノ性ナリ故ニ凡ソ樂ハ必ス醒覺ノ間ニ在リテ睡眠ノ際ニ在ラス又必ス方ニ感觸シ方ニ思念スルノ候ニ存ス或ハ過去ノ樂チ追憶シ或ハ將來ノ樂チ期望シテ以テ自カラ樂ト爲スヿ有ルモ實ハ想像ノ力ニ因リテ一時假リニ身チ其時ニ置クニ過キサルノミ

神ハ純乎思念ナリ是ノ如キ者ハ其思念スルヤ常ニ世界ノ最善美ナル者チ思念スル者ナリ何トナレハ神常ニ自ラ觀自ラ思フテ而シテ神ハ世界ノ最善美ナル者ナリ故ニ曰ク純乎思念ハ常ニ世界ノ最善美ナル者チ思念スト故ニ是ノ如キ思念ハ快樂ノ極ニシテ慶福ノ至リナリ

又曰ク凡ソ生氣ノ本ハ神ニ在リ何トナレハ智慧ノ有爲ハ天下之ヨリ生々ナルハ莫シ而シテ神ノ智慧ハ常々ニシテ有爲ナリ故ニ天下ノ物神ヨリ生々ナルハ莫シ神常ニ生々ノ有爲ナリ故ニ其生々タル完粹ニシテ不滅ナリ又曰ク吾儕當ニ神ヲ謂テ永劫ノ生者ト爲ス可シ不斷ノ生ハ獨リ神ノ有スル所ナリ更ニ之ヲ言ヘハ是物即チ神ナリ

以上舉クル所ハ皆アリストッ著ハス所ノ「メタフィジック」書中ノ語ナリプラトン前ニ云ヘリ智慧ハ其尊フ可キヿ實ニ言ヲ待タス故ニ苟モ神有リト爲スヿハ神ヲ以テ一大智慧有ル者ト爲サヽル可ラス然レヒプラトン ノ意ニ在リテハ神卽チ智慧ナルニ非ス神ハ更ニ智慧ヨリ尊クシテ智慧ハ特ニ神ノ德ノ一タルニ過キスアリストットニ至リテハ然ラス神卽チ智慧ナリ其言ニ曰ク智慧ハ凡ソ吾人ノ識ル所ノ物ニ就テ最モ奇妙ニシテ神ニ適スル者ナリ但吾人人類ニ在リテハ常々思念スルヿ能ハス神ニ至リテハ然ラス若シ神ニシテ時々睡人ノ夢々トシテ思念スルヿ無キカ如クナラシメ

ハ何ヲ以テ神智ト爲サン故ニ曰ク神ハ純乎思念ナリト

第三　神ト世界トノ交涉　アリストットノ理學タル或ハ最モ深ク其師ノ說ノ中ニ入ルカ如キモ忽チニシテ又離レテ深ク相異ナルヲ致ス以下之ヲ言ハン」

夫レ彼神ハ世界庶物ヲ知ル有ル乎神ノ世界庶物ヲ作ル乎ハ自ラ知リテ之ヲ作リタル乎神ハ完粹無疵ノ物ナリ世界庶物ハ不完不粹ノ物ナリ神果シテ之ヲ知ル有ル乎プラトンハ云ヘリ神固ヨリ之ヲ知ルト但プラトンノ意ニ在リテハ下界庶物ノ外別ニ自ラ此庶物ノ典型タル所ノ虛靈ノ意思ヲ以テ成レル境界有リ而シテ此等ノ意思ハ實ニ完粹ニシテ無疵ナリ故ニ神ニシテ之ヲ知ルモ少モ其完粹ノ德ニ害スル有ル無シ又神ノ完粹無疵ナルハ唯智慧有リ思念有ルカ爲メナラスシテ其德タル更ニ尊フ可キ者有リトアリストットハ然ラス神ヲ以テ純然ノ思念ト爲シテ而シテ神ノ完粹無疵ナルハ正ニ其常々思念シテ已マサル處ニ在リアリストットノ說ニ在リテハ神ノ純然ノ思念如何シテ斯世界ノ物ヲ思念ス

ル乎神ノ完粹無疵ニシテ斯不完不粹ノ下界ヲ思念スル件ハ之カ涜汚ヲ受クルヿ無キ乎神若シ純乎思念ナルキハ斯下等ノ諸物ヲ思念スルヿ於テ幾分尊ヲ降スヿ無キ乎此固ヨリ有ル可ラサルノ理ナリ故ヿアリストツト以爲ラク神ハ少モ斯下界ヲ思念スルヿ無シ又神ハプラトンノ說ノ如ク極致ノ境界ヲ思念シテ以テ斯下界ノ物ノ意思ト交涉有ルニ非スト乃チ云フ凡ソ善美完粹慶福ノ三者ハ皆有爲ノ中ニ存ス是ヲ以テ愛スルヿハ愛セラルヽヿ比シテ更ニ尊ク可シ又曰ク思念スル者ト爲ルハ思念セラルヽ者ト爲ルニ比スレハ更ニ尊シ行ヲ加フル者ハ行ヲ加ヘラルヽ者ニ比スレハ更ニ盛ナリ是故ニ若シ神ヲシテ其爲スヿ有ルカ爲ニ別ニ一物ヲ要セシムルキハ此物如何ニ卑微ナルモ其權更ニ神ヨリ大ナルヲ致サンカ力ヲ受ケシムルカ故ナリ故ニ神ハ唯自ラ思念スルノミ何トナレハ神ニ命シテ己レアリストツト曰ク夫レ神ヲ以テ下界ノ物ノ力ヲ受ケテ之ヲ思念スト爲スヿハ之カ涜汚ヲ受

ハ說ノ得タル者ニ非ス凡ソ物之ヲ見ルヨリ見サルノ愈レルヿ如カサル者アリ神ノ下界ノ物ニ於ケル卽チ是ナリ夫レ神ノ智慧ハ最モ完粹ナル者ナリ故ニ神ノ思念スルハ自ラ其智慧ヲ思念スル如クハ莫シ

又曰ク一切純然ノ智慧ニ非サル者ハ皆不完不粹ニシテ或ハ變轉シ或ハ起滅シ或ハ塊然トシテ知ルヿ無シ若シ神ニシテ其活潑有爲ノ境ヨリ降下シテ此等ノ物ヲ思念スルキハ其勢之カ汚濁ヲ受ケサルヿ能ハス若シ之ニ於テ己レノ尊ヲ損シ己レノ粹ヲ汚カスキハ寧ロ之ヲ視ルヿ無キニ如カス若シ世界庶物果シテ不完不粹ナルキハ神ハ決シテ之ヲ知ルヿヲ要セサルナリ

アリストツトノ說是ノ如シ設令プラトンヲシテ之ヲ聽カシメハ必ス曰ハン神ノ完粹ニシテ如何シテ斯不完不粹ノ下界ヲ見知スルヿヲ論スルヿハ誠ニ困難ナリ然ルニ卿ノ說ハ更ニ困難ナル者有リ卿ノ言ニ曰ク凡ソ物如何ニ卑汚ナルモ皆有爲ノ性有リ若クハ有爲ニ移ルノ能有リ此レ其生スル所

以ナリト然ルニ所謂有爲ノ性ト有爲ニ移ルノ能トハ神ノ賜フ所ニ非スンハ誰カ之ヲ與ヘタル乎卿又曰凡ソ物之ヲ視ルハ視サルノ愈レルニ如カサル者有リト是大ニ然ラス不完不粹ノ物ト雖モ之ヲ視ルハ之ヲ視サルニ愈ルヿ遠シ何トナレハ之ヲ視ルニハ憫恤ノ心ヲ生シ愛シテ之ヲ養フヿヲ得レハナリ

余ヲ以テ之ヲ觀ルニ若シ神ヲシテ眞ニ完粹ニシテ深仁ナラシメ且ツ廣大ノ力有ラシメハ何ヲ以テ斯不完不粹ノ世界ヲ造リテ之ト並存スル乎是レ終ニ理會ス可ラサルナリ之ヲ要スルニプラトン、アリストッ並ニ愛ノ說ニ於テ未タ眞ニ得ル有ラス但プラトンノ說ハ頗ル取ル可キ有リ曰ク若シ神果シテ粹然至純ナルニハ專ラ其智慧ノ一德ニ在ラス又曰ク神ハ深仁ニシテ少モ重嗇スル所無クシテ凡ソ天下ノ物ヲ視テ皆之ニ仁ス ト唯プラトンノ是言ニ從ヘハ神ノ此ノ如ク深仁ニシテ而シテ斯世界何ニ由リテ害惡有ル乎是殆ント解ス可ラス

アリストッハ神ヲ以テ純然ノ智慧ト爲シテ乃チ言フ常ニ自ラ思念シテ佗事有ルヿ無シ故ニ神ノ智慧自然ニ斯世界ニ被及スル有ルモ神ハ初メヨリ斯世界ヲ見知スルヿ無シ果シテ是ノ如クナルトキハ所謂神ハ深ク自ラ靜觀シテ其智慧ノ中藏匿スル者ナリ夫レ是ノ如クニシテ猶ホ活潑有爲ノ性有リト爲スヿ是果シテ理ニ合スト爲ス乎

夫レ神ノ意念ハ世界庶物ノ此粲然ノ次序ト及ヒ其由リテ存スル所ノ本質トニ於テ如何ノ交涉有ル乎顧フニアリストッノ所謂神モ亦威德無キ者ニ非ス然レトモ其威德タルヤ唯庶物ノ自然ニ之ヲ被ムル所ニシテ神ニ在リテハ自ラ其然ルヿヲ知ルヿ無シ是豈說ノ極テ怪僻ナル者ニ非ス乎

夫レ世界庶物自然ニ神ニ嚮往スルカ爲メニ其粲然ノ次序ヲ保ツヿヲ得ルトキハ是所謂神ハ終ニ世界庶物ノ由リテ存スル所ノ本原ナリ神自ラ世界庶物ヲ見知スルヿ無ク又世界庶物ニ感動セラレサルモ世界庶物ハ之ヲ愛シ之ヲ悅ヒテ當ニ其感動スル所ト爲リテ因リテ以テ生存スルヿヲ得

アリストッ以爲ラク進歩ハ世界庶物ノ循フ所ノ法ナリト然レハ則チ此世界中何ニ由リテ害惡有ル乎アリストッ云フ害惡ハ自ラ存スル者ニ非ス亦神ニ由リテ存スルニ非ス神ハ凡ソ世界ノ善美ノ由リテ出ル所ナレハナリ蓋シ凡ソ下界ノ物皆神ニ由リテ其有ノ性ト生ノ力トヲ享ケテ而シテ善美實ニ有ト生トノ中ニ存ス然レ𪜈凡ソ下界ノ物其有ト生トヲ受クルヿ皆相均キニ非ス之ヲ受ルヿ多キ者有リ寡キ者有リ然ル所以ノ者ハ何ソヤ下界ノ物皆粗頑ノ實形ヲ被ムリテ純然虛靈ナルヿ能ハス是ヲ以テ純然善美ナルヿ能ハス

又云フ凡ソ斯粗頑ノ實形ハ其中皆不完不能ノ種子ヲ包有ス且所謂能ト云フ者ハ已ニ自ラ不能ノ機ヲ藏スルヲ免レス故ニ吾人神ヲ謂テ能ク善ヲ爲スト言フ佗ナシ能クスル所有ル者ハ必ス亦能クセサル所有レハナリ卽チ下界ノ生ハ皆能クスル所有リ故ニ亦能クセサル所有リ是ヲ以テ善美ノ間動モスレハ害惡ヲ著ハスヲ免レス是固ヨリ

神ノ與リ知ラサル所ナリ

又云フ斯世界是ノ如ク不完不粹ナリト雖モ然レ𪜈別ニ一世界ヲ作リテ斯世界ヨリ善美ナラサルモ庶物皆粹然ノ美ヲ願欲スルモ得可ラス何ソヤ斯世界タル今現ニ完粹ナラサルモ庶物皆粹然ノ美ヲ願欲シテ之ニ嚮往シテ已マサルヲ以テ害惡漸次ニ減退シテ善美漸次ニ勝ヲ占ムルカ故ナリ

然ト雖モアリストッノ所謂神ハ自ラ威德ヲ發シテ害惡ヲシテ滅セシムルニ非ス神ハ初メヨリ下界ノ事ヲ與知セサレハナリ故ニ神ノ威德ハ神ヨリ發スルニ非スシテ庶物ノ其完粹ノ德ニ感シテ興發スル所ノ處ニ生ス更ニ之ヲ約言セハ庶物ノ性神ニ感シテ自ラ善ニ就キ惡ヲ去ルナリ故ニアリストット曰ク庶物ノ性タル自然ニ善美ニ嚮往スト又曰ク吾人庶物ヲ察スルニ皆分ニ應シテ善ヲ爲スヲ見ル是ニ失フ所ハ之ヲ彼ニ取リ是ニ奪フ所ハ之ヲ彼ニ與ヘ餘リ有ル者ハ以テ足ラサル者ヲ補ヒ是ノ如クニシテ自然ニ相調均シ相償給シテ以テ害惡ヲ救療ス又曰ク粗頑ノ實形ト雖モ吾モ亦其漸

次ニ自ラ細織鼓盪シテ以テ化成スルヲ見ルノ之ヲ要スルニ庶物生々ノ狀一モ無益ノ事ヲ爲スノ無クシテ到ル處次序ヲ生シ美觀ヲ發スルノヲ求メサルヲ莫シ

アリストツトノ此等ノ言ヲ察スルニ其ソクラツト、プラトント同シク亦世界皆善ノ一說ヲ執ルヲ見ル庶物皆至善ニ嚮往スル而シテ所謂至善ハ反リテ庶物ヲ見知スルノ無シ卽チ庶物モ亦至善ヲ以テ眞然及フ可ラスト爲サスシテ專ラ其情ノ驅ル所ト爲リテ然ル者ナリ

アリストツトノ言ニ從ヘハ神庶物ニ仁スルニ意無キノミナラス庶物モ亦自然已ムノヲ得スシテ神ニ嚮往スル者ナリ是猶ホ盲者ノ見ルノ無クシテ妄意ニ進行スルカ如シ庶物ノ化成スルヤ盲者ノ妄意ニ進行スルカ如シト雖モ然レトモ其進歩ノ効果ハ豫メ思考シテ之ヲ求ムルト少モ異ナルノ無シ是ノ如キ者ハ何ソヤアリストツトノ意以爲ラク庶物ノ進歩ハ其智慧ヨリ發スル者ハ自ラ知ラスト雖モ必ス自然ニ道理ニ合スルヲ致

ス又曰ク庶物ノ有ト生トヲ爲ス所以ノ者ハ智慧ナリ故ニ凡ソ庶物ノ善所ハ皆自ラ智慧ノ徵證ヲ呈シテ自ラ善ト美トノ象兆ヲ露ハサヽルヲ莫シ

アリストツトノ說知ル可キノミ曰ク庶物皆相競フテ神ノ美觀ノ牽引スル所ト爲リ知ラス識ラス之ニ嚮往シテ斯ニ以テ其秩然ノ次序ヲ保ツコトヲ得ルナリ是ニ於テ乎更ニ一疑題ノ生スルノ有リ曰ク世界庶物ノ能ク生存シテ滅沒セサルコトハ何ニ由リテ然ル乎庶物生々ノ本ハ獨リ神ノ中ニ在ル乎將タ神ノ中ニ在リ並ニ亦庶物ノ中ニ在ル乎更ニ一問センニアリストツトノ意庶物ノ本質ヲ以テ兩理對立（ギュアリストムス）爲ス乎將タ之ヲ以テ純一無雜ノ物ト爲ス乎

アリストツトハ決シテ庶物ノ本質ヲ以テ兩理ノ對立ニ成ルト爲スニ非ス乃チ其言ニ曰ク世界庶物ハ決シテ下拙ノ作者ノ編述セル院劇ノ段々行々相交涉セザルガ如クナラスシテ自ラ一ニ統フト又曰ク庶物固ヨリ駁雜ノ命

令ヲ受クルコヲ願ハス又曰ク首領多キ件ハ令ヲ出スコト清楚ナラス故ニ首領ハ必ス一人ナルコヲ要スト是等ノ語皆譬喩ニシテ其意明カニ庶物ノ本質ヲ以テ純一ト爲ス者ナリ

アリストツト又曰ク凡ソ庶物ノ本質ヲ以テ二理ニ成ルト爲ス者ハ其勢是二理ノ上ニ於テ更ニ又一理ヲ置カサルヲ得ス然ラスンハ一ニ統フルコヲ得ルコト無シ又曰ク從前學士或ハ友愛ト仇怨トノ二情ヲ以テ庶物ノ本質ト爲ス有リ或ハ智ノ明ト愚ノ闇トヲ以テ本質ト爲ス有リ亦或ハ晝ト夜トヲ以テ本質ト爲ス有リ皆兩理ノ相反スル者ヲ以テ物ノ本ト爲ス者ニシテ若シ其說ノ理ニ合スルコヲ求ムルトキハ必ス更ニ一理ヲ置テ彼ノ兩理ヲ統攝セシメサルヲ得ス云々

アリストツトノ意ニ從ヘハ物ノ能力ト物ノ行實ト是レ物ノ具有スル所ノ性ニ歸底スト是ノ如クナルトキハアリストツトノ意モ亦二理對立ノ說ヲ執ルニ似タリ然レトモ細ニ之ヲ察スルトキハ決シテ然ラス何トナレハ所謂能力ト者有ルニ非ス之ヲ例ヘハ發生ノ性ヲ有スルコトハ即チ草木ノ能力ナリ既ニ發生スルコトハ即チ其行實ナリ是故ニ物ノ眞ノ本質ハ曰ク行實ノ現在是ナリ意念ノ現在是ナリ蓋シ庶物ノ庶物タル所以ノ者ハ其能ク運動變轉スル所ノ處ニ在リ其能ク運動變轉スル所以ノ者ハ其願欲ノ發生スル所ノ處ニ在リ其願欲ハ其精神ヨリシテ發生スト而シテ精神ノ本質ハ意念即チ是ナリ是ニ知ル庶物ノ本質ハ即チ精神是ナリ而シテ精神ハ純一無雜ノ物ナルヲ以テ庶物ノ本質モ亦純一ニシテ無雜ナリ然レトモアリストツトノ所謂庶物ノ相競フテ其能力ヨリ出テ、其行實ニ赴クノ理ハ終ニ解ス可ラス何トナレハ若シ庶物ノ形貌ヲ以テ空幻ノ假相ト爲スト件ハ是庶物ノ中所謂能力有ルノ理無シ若シ是空幻ノ假相ニ非スト曰フトキハ是庶物ノ中自ラ優劣高下ノ別有ル可クシテ其生々ノ力自ラ多少ノ差有ル可シ而シテアリストツトハ絕

エテ此ニ言ヒ及ハズ是其欠失ノ處ナリ

プラトンヤアリストットヤ並ニ神ト庶物ト並存スル所以ノ故ヲ說クニ於テ欠失ノ處有ルヲ免レス夫レ神ハ粹然至純ノ物ナリ世界庶物ハ不完不粹ノ物ナリ而シテ此二者並存シテ共ニ立ツ是固ヨリ執持ス可ラサルノ論ナリ此二學士ノ窮蹙ヲ免レサルヤ固ヨリ宜ナリ其後二學士ノ說ヲ祖述スル者皆務テ此欠失ヲ補査セント欲スレヒ終ニ一人モ能ク其志ヲ達スル者有ルヿ無シ他無シ其大本自ラ謬戻ヲ免レサルカ故ナリ

○第三　アリストットノ道學及ヒ政術

第一各人自ラ守ル道德　アリストットヲ以爲ラク凡ソ人一目的ヨリ更ニ上リテ他ノ目的ニ進ミ一利益ヨリ更ニ上リテ他ノ利益ニ移リ是ノ如クニシテ進テ已マサル件ハ終ニ一箇ノ大利益ノ眞ニ人ノ願欲ヲ饜足シテ以テ其慶福ヲ爲スニ足ル者ニ至リテ然ル後始テ自ラ休スルヿヲ得蓋シアリストットモ亦ソクラット、プラトン並ニ古昔諸學士ト同ク堅ク信シテ以爲ラク人ノ最大

利益ハ必ス其最大善行ト一體ヲ相成スト然ルニ所謂最大利益ナル者ハ果シテ何物ヲ指シテ言フ乎アリストットヲ以爲ラク凡ソ吾人ノ出タス所ノ最高尙ノ行卽チ其最大利益ニシテ亦其最大善行ナリ又言フ是ノ如キ者正ニ眞ニ人タル者ニ適スト雖トモアリストットノ道學是ニ於テ乎我カ近世ノ道學ニ近似スト謂フ可シ近世ノ道學ニ在リテハ人々ノ自ラ好ミテ之ヲ爲シテ他人ノ旨ヲ承ケスシテ後方ニ始テ眞ニ其善惡ヲ判ス可シ

アリストット以爲ラク人類タル所以ノ者ハ其能ク生活スル所ノ處ニ存スルニ非ス何トナレハ草木禽蟲皆能ク生活スルカ故ニ生活スルヿハ人類ノ獨リスル所ニ非サレハナリ又目能ク視耳能ク聽キ口能ク食スルカ如ク一切五官肉體ノ機能モ亦人ノ人タル所以ノ者ニ非ス他無シ禽獸モ亦能ク之有レハナリ唯意念ノ物タル以テ人ノ人タル所以ノ者ト爲ス可シ又以爲ラク意念ハ人類ノ獨有スル所ニシテ而シテ其尊キヿ亦人類ノ上ニ出ツ是故ニ意念ニ專ラナルヿ是人類ノ目的トス可キ所ニシテ其最大慶福正ニ

此ニ在リ此レ所謂最大善行ナリ

是故ニ善行モ亦上級ト下級トノ別有リ其上級ノ者ハ所謂意念ニシテ靜觀深察シテ一切利慾ノ爲メニ侵亂セラレス只管道理ヲ思念スルヲ是ナリ故ニアリストットハ之ヲ名ケテ靜觀ノ德ト曰フ

アリストットハ其著ハス所ノ「エチック、アー、ニコマック」ノ書ニ於テ大ニ靜觀ノ行ヲ贊嘆シ下級ノ行ヲ抑貶シテ其言辭頗ル高亮ヲ極メタリ以爲ラク一切實踐ノ行ハ多クハ利益ヲ以テ目的ト爲ス者ニシテ鄙陋ヲ免レス其言ニ曰ク凡ソ人ノ實踐ノ行ハ直チニ其行ヲ以テ德ト爲スヲヲ得ス必ス別ニ高尙ノ目的有リテ然ル後始テ德ト爲スヲヲ得可シ若夫レ思念ノ爲ニ至リテハ然ラス其思念スルヲ正ニ德行ニシテ別ニ目的トスル所有ルニ非ス又曰ク凡ソ思念ノ德タル其間自ラ至大ノ樂有リ唯其レ樂有リ故ニ益々人ヲシテ思念シテ已マサラシム

アリストットハ又曰ク凡ソ人類ノ能クスル所ノ思念ノ最高尙ニシテ且持久スル者及ヒ一切眞ノ慶福ニ配隅スル所ノ諸件是レ所謂人類ノ最大善行ナリ設令人類ヲシテ死スルヲ無クシテ常々思念シテ間斷無カラシムルヲハ是其慶福タル實ニ完然無缺ト謂フ可シ何トナレハ有期ノ思念ハ未タ以テ完然ノ慶福ヲ爲スニ足ラサレハナリ

又曰ク常々思念シテ間斷無キヲハ卽チ神ノ事ニシテ人類ノ能ク當ル所ニ非ス蓋シ吾人ノ能ク思念スルハ其人類タルニ賴リテ然ルニ非スシテ吾人精神中一種ノ神智有ルニ賴リテ然リ故ニ思念ノ一德ハ其尊キヲ實ニ吾人人類ノ上ニ出ツ

又曰ク思念ノ事タル高妙ニシテ神ニ肖似スル者ナリ故ニ人能ク思念ヲ以テ生ヲ爲スヲヲハ是其行タル神ノ行ニ肖似スト謂フ可シ鄙語ニ曰ク吾人本ト人ナリ故ニ唯當ニ人ニ適スル思念ヲ懷ク可キノミ吾人本ト有常ナリ故ニ唯當ニ有常ニ適スル思念有ル可シト是言大ニ謬レリ吾人誠ニ人ニシテ神ニ非ス有常ニシテ不滅ニ非ス然レハ吾人當ニ務テ靜觀深察シテ以テ形

體ノ繫累ヲ脫シ以テ不滅ノ道ニ透徹スルヿヲ求メテ怠ラサル可シ自棄シテ以テ鄙陋ニ安ンスルヿヲ求ム可ラス

然ト雖モアリストットノ所謂靜觀深念ノ德ヲ行フノ手段ハ何ノ術ニ由リテ之ヲ得ル乎曰ク是レ其所謂下級ノ德卽チ其身ヲ持シ及ヒ國ニ事フルノ際ニ於テ道ニ違フヿ無キヿハ以テ靜觀深念シテ他物ノ擾亂スル所ト爲ラサルヿヲ得可シ

下級ノ諸德行ハ皆實踐ノ事ニシテ或ハ身ヲ勞シ或ハ力ヲ費シテ現ニ施爲スル所有リ蓋シ此等ノ德行ハ皆吾人ノ諸機能ヲ撿制シテ自ラ肆ニスルヿヲ得スシテ以テ夫ノ靜觀深念ノ德ノ用ニ供セシムルニ在リ而シテ其之ヲ撿制スルハ他無シ其レヲシテ過不及ノ患無ク以テ中庸ノ道ヲ守ラシムルニ在リ今夫レ吾人ノ實驗ニ就テ之ヲ觀ルニ過ト不及トハ並ニ大ニ害スル所有リ之ヲ例ヘハ飮食ノ如キ娛樂ノ如キ皆過クルヿハ害有リ而シテ及ハサルモ亦害有リ故ニ有德ノ君子ハ皆務テ中庸ノ道ヲ守リ過不

及ノ患無カラシム

顧フニアリストットノ道學ニ於テ吾人ノ諸機能ヲシテ各〻自ラ肆ニスルヿヲ得スシテ夫ノ中庸ノ道ヲ守ラシムルヿヲ主トスルカ如キハ洵ニ巧慧ト稱スルニ足ル若夫レ數學ノ理ヲ以テ之ヲ道學ニ適用セント欲スルカ如キハ未タ以テ人心ヲ厭服スルニ足ラス設令プラトンノヲシテ此說有ラシメハアリストットト必ス早ク其欠失ノ處ヲ看破シテ之ヲ駁正シタランコト疑無クシテ必ス將ニ曰ハントス此說ヤ甚鄙下ニシテ道德ノ行ニ適セス或ハ稍〻ヤ適用スルヿヲ得ルモ決シテ切實ナルヲ得スト何ソヤ德ト不德トハ唯度級ノ相異ナルニ非スシテ其質本ト相異ナルヲ以テ終ニ之ヲ權度スルヿヲ得可ラサレハナリ之ヲ例ヘハ猛暴ノ行ノ如キハ之ヲ勇ノ過度ト曰フ當ラスシテ之ヲ勇ノ誤用ト曰フ可シ又剛强ノ德ノ如キモ苟モ其目的トスル所果シテ道ニ合スルトキハ縱令過度ニ至ルモ猶ホ其德タルニ害スルヿ無シ又斷行ノ機能ノ如キモ苟モ其目的鄙汚ナルカ若クハ憎惡ス可キトキハ縱令少クヿ之ヲ

用ヒテ敢テ大ニ逞クセサルモ終ニ簟暴ノ行タルヲ免レス故ニ曰ク善惡ノ別ニ於テ數學ノ理ヲ用ヒテ之ヲ權度セント欲スルハアリストツトノ謬リナリ

第二　人ト交ルノ道德　アリストツトノ學識ノ大ニ發越シタルハ其人ト交ルノ道ヲ論スル所ノ處ニ在リ蓋シ所謂人ト交ルノ道二個有リ以テ國ヲ爲シ家ヲ爲スニ足ル曰ク友愛ナリ曰ク正義ナリ

古今學士輩皆言フアリストツトノ道學ノ最モ世人ノ愛慕ヲ惹ク者ハ其友愛ノ一說ニ如クハ莫シト是大ニ然リ此說ニ在リテヤアリストツト大ニプラトンノ說ノ足ラサル所ヲ補フテ人心ヲシテ嘆服セシム其意以爲ラク愛ノ情タル他人ノ爲メニ其利益ヲ願欲スル一念ノ極テ活潑ナルヲ謂フ是ナリ蓋シ我ノ他人ヲ愛スルヤ我カ心ニ於テ其樂ム可キ者有ルヲ覺ユ然ル所以ノ者ハ他ニ非ス愛ノ事タル極テ活潑有爲ニシテ大ニ人ノ本情ニ適スルカ故ナリ

是故ニ凡ソ人ヲ愛スルコハ愛セラルルノ樂ム可シ凡ソ善ヲ施スコハ善ヲ加ヘラルヽニ比スレハ更ニ尊フ可クシテ更ニ樂ム可シ凡ソ善ヲ加ヘラルヽニ比スレハ更ニ尊フ可クシテ更ニ樂ム可シ他無シ人ヲ愛シ及ヒ善ヲ施スコハ活潑有爲ノ事ニシテ愛セラルヽト善ヲ加ヘラルヽトハ活潑有爲ノ事ニ非サレハナリ是故ニ我ノ愛スル所ノ人有ルヤ愈之ヲ愛スル件ハ我カ情ニ於テ愈滿足ヲ感ス慶福ヲ爲ス件ハ我カ心ニ於テ愈快樂ヲ覺エ愈其人ノ是ニ由リ之ヲ觀レハ愛ナル者ハ決シテ徒ニ愛スル所ノ者ノ爲メニ牽引セラレテ偶然之ニ傾嚮シテ自ラ知ラサルニ非スシテ己レ自ラ進ミテ其愛スル所ノ者ノ爲メニ利益ヲ冀望シ慶福ヲ願欲シテ爲ニ活潑飛動ノ情ヲ揮霍スルヲ謂フ是ナリ

然リト雖モ所謂眞ノ愛ハ獨リ愛スル所ノ者ノ爲メニ慶福ヲ冀望スルニ止マラスシテ直ヲニ其レカ爲メニ慶福ヲ規圖スルニ至ル他無シ所謂冀望ハ畢竟我ノ情念ニ過キサルヲ以テ必ス實際ニ規圖シテ然後眞情ヲ表發ス可

ケレハナリ

以上論スル所ハ卽チアリストットノ所謂愛ノ說ナリ前ニハプラトンノ愛ノ理チ說クヤ美ハ則チ美ナリト雖モ然レ𪜈徒ニ愛スル所ノ者ノ爲メニ牽引セラルヽノ狀チ摸寫スルニ止マリテ未タ我カ愛念ノ活潑有爲ノ狀チ叙述スルニ及ハス是其欠失ノ處ナリアリストットノ說ニ至リテ始テ愛チ以テ活潑進取ノ事ト爲シテ以テ此欠失チ補フヿチ得タリ

然リト雖モ玆ニ言フ所ハ畢竟愛スル者ノ情チ論スルニ過キス若シ夫レ愛セラルヽ者ニ至リテハ果シテ如何ノ條件チ具スルヿチ要スル乎更ニ之チ言ハンニ如何ナル者ニシテ後我果シテ之チ愛スル乎曰ク愛スルトハ其愛スル所ノ者ノ爲メニ福慶チ冀望スルノ謂ナルチ以テ其人ノ慶福トスル所トナルヿチ要ス然ラスシテ其人ノ慶福トスル所ト我ノ慶福トスル所ト相異ナル𪜈ハ我之チ愛スルモ初ヨリ其慶福チ規圖ス可キ無シ是故ニ凡ソ愛セラルヽ者ハ必ス愛スル者ト情チ同クシ好チ一ニスルヿチ要ス此レ所謂條件ナリ

是故ニ愛ナル者ハ必ス愛スル者ト愛セラルヽ者ト相似ルヿチ要ス宮ニ相似ルヿチ要スル何トナレハ我ノ是人チ愛スルヤ我チ愛スルト異ナルヿ無シ然ラスンハ未タ眞ノ愛ト稱スルニ足ラス更ニ一層チ進メテ之チ言ハンニ我ノ是人チ愛スルヤ直チニ是人チ以テ一ノ我ト爲ス者ナリ

又凡ソ愛ハ愛スル者ト愛セラルヽ者ト必ス相互ニ情チ通シ好チ表シ相互ニ慶福チ規圖セサル可ラス若シ然ラスシテ我獨リ愛シテ彼レハ則チ我チ愛セサル𪜈ハ愛ノ樂獨リ我ニ在リテ彼ハ則チ初ヨリ此樂有ルヿ無シ是ノ如クナル𪜈ハ是二人ノ間復タ平等ノ義無キニ至ラン是故ニ凡ソ愛セラルル者ノ具ス可キ諸條件ニ就テ其最モ愛スル者ニ必須トスル所ハ唯一有ルノミ曰ク愛セラルヽ者モ亦其愛スル者チ愛スル是ナリ

是故ニ凡ソ人チ愛スル者ハ其人チ以テ一ノ我ト爲ス者ナリ更ニ一層チ進

メテ之ヲ言ハンコト凡ソ人ヲ愛スル者ハ正ニ自ラ愛スル者ナリ何ソヤ其愛スル所ノ者卽チ我ナレハナリ而シテ玆ニ所謂愛ハ尋常云フ所ノ愛ノ如ク其中ニ於テ隱然利己ノ念ヲ含ム者ニ非スシテ極テ淨潔純粹ナル者ナリ夫レ愛トハ己レノ諸情念ノ中ニ就テ其最高尙ニシテ最深微ナル者ヨリ發出スル者ナリ我ノ是人ヲ愛スルヤ正ニ是人ノ身中ニ於テ自ラ我ヲ愛スト是ノ如キ者復タ何ノ汚濁ノ情カ之有ラン哉

愛トハ愛スルノ能力ノ謂ナリ凡ソ情好ノ類ノ由リテ出ツル所ナリ父子ノ愛、夫妻ノ愛、朋友ノ愛、其源タル皆一ナリ故ニ人タル者ハ宜ク他人ニ於テ愛セサル所無カル可ケンヤ是レアリストットノ所謂「フィラントロピー」ニシテ後世ノ所謂四海兄弟ノ義ナリ設令天下ノ人ヲシテ皆相愛スルヿ己レノ如クナラシムルトキハ人類ノ間復タ義ヲ須フルヿ無シ然ラスシテ人類ニ於テ初ヨリ愛情無キトキハ義有リト雖モ復タ奈何トモス可キ無シ

是故ニアリストットハ復タプラトンノ義ヲ以テ第一ノ德ト爲セシカ如クナラス其意以爲ラク義ハ特ニ邦國ヲ經理スルノ一德ニシテ他人ノ利益ヲ鄭重ニシテ敢テ侵害セスト曰フニ過キス卽チ其言ニ曰ク義トハ他人ノ利益ヲ重ンスルノ謂ナリト然レトモアリストットモ亦極テ此德ヲ崇尙セリ故ニ曰ク天下何物カ義ト美トヲ齊クスル者有ル夕ノ月、曉ノ日モ未タ以テ之ニ比スルニ足ラス

アリストットト以爲ラク義ノ道タル人々相交ハルノ際ニ於テ自ラ二種有リ一ハ交易ノ義ナリ一ハ分配ノ義ナリ之ヲ例ヘハ賣買ノ約規ノ如キ之ヲ賣ル者ト之ヲ買フ者相互ニ交易スルナリ是時ニ在リテヤ所謂義ノ道當ニ如何ナルヘキ乎曰ク賣ル所ノ物ト贈フ所ノ價ト必ス相均キヿヲ要ス是卽チ交易ノ義ナリ

凡ソ交易ノ義ニ係リテハ其人ノ善惡智愚及ヒ貴賤ノ別ヲ置クヿヲ得ス唯其交易スル所ノ物ノ價直是レ視テ初ヨリ賣者買者ノ間ニ差別スル所無シアリストット是義ヲ名ケテ「コミュタチーフ」ト曰フ卽チ交易ノ義ナリ

若夫レ分配ノ義ニ至リテハ其道復タ交易ノ義ト同シカラス分配ノ義ト
ハ各人ニ分ツニ利ヲ以テシテ其人ノ功ノ高下ニ隨ソテ等差有ラシムルノ謂
ナリ是ニ於テ其旨趣初ヨリ均齊ニ在ラスシテ上功ノ者ハ必ス上賞ヲ獲、中
功ノ者ハ必ス中賞ヲ獲、下功ノ者ハ必ス下賞ヲ獲、更ニ之ヲ言ハンニ分配ノ
義ニ在リテハ必ス各人ノ間ニ於テ賞ト功ト相當ルコヲ要スル是ナリ
是故ニ交易ノ義ハ純然ノ平等ヲ必須トス分配ノ義ハ復タ純然ノ平等ニ非
スシテ賞ヲシテ功ヲ平等ナラシムル夫レ各人獲ル所ノ利益各〻差等有ルヲ以
テ遽ニ之ヲ視ルニハ甚不平等ナルカ如シト雖モ其實ハ賞ト功ト相當ルヲ
以テ義ニ於テ甚相稱フト爲ス分配ノ義ノ名ノ由リテ出ル所ナリ
アリストッ ノ道學ニ於テ此二種ノ義ノ別ヲ爲セシコハ前人ノ未タ發セサ
ル所ニシテ誠ニ新奇ナリト謂フ可シ獨リ新奇ナルニ非スシテ其關繫至テ
大ナリト爲ス何ヲ以テ之ヲ謂フ曰ク之ヲ例ヘハ政治ニ於ケルカ如キハ初
ヨリ分配ノ義ヲ事トスルコヲ得ス若シ政府ニシテ分配ノ義ヲ事トセント

欲スルニハ其勢各人ノ賢愚ヲ權度セサルヲ得スシテ其弊ヤ或ハ專恣ニ陷
リ或ハ抑壓ニ流ルヽヲ免レス是故ニ政府ノ當ニ務ム可キ所ハ唯法律ノ力
ニ由リテ各人ヲシテ皆彼ノ交易ノ義ヲ守ラシムルニ在リ他無シ交易ノ義
ハ凡ソ契約ノ類ノ必ス循ハサル可ラサル所ナリ
然ルニ爰ニ一事ノ必ス區別セサル者有リ而シテアリストッ ハ曾テ是ニ慮
及セサリキ何ノ謂ソヤ曰ク政府ノ民ニ於ケルヤ其法律初ヨリ交易スル所
ノ物ノ價直ヲ權度スルヿヲ須ヒス物ノ價直ハ約ヲ爲ス者ノ相共ニ定ムル所
ナルヲ以テ苟モ兩人相共ニ許諾スルヿヲ要セ
スシテ唯當ニ兩人ヲシテ各〻其約ヲ履ミテ敢テ或ハ負カサラシム可キノミ」
アリストッ ハ此一事ニ慮及セス蓋シ此事ハ獨リアリストッ ノ之ニ慮及セサ
リシノミナラス古昔理學士皐ク皆之ニ慮及セサリキ他無シ彼レ皆事物
ノ平等ヲ知リテ自由權ノ平等ヲ知ラサレハナリ卽チアリストッ ノ如キモ
只管利害ノ多少ニ係リテ差等ヲ錯ラサルヿヲ務メテ自由權ノ多少ニ至リ

テハ初ヨリ意ヲ留メサルナリ

夫レ眞ノ正義ハ既ニ事物固有ノ價直ノ間ニ存スルニ非ス利害ノ多少ノ中ニ存スルニ非ス又各人ノ才智及ヒ德義ノ高下ノ際ニ存スルニ非スシテ專ラ各人ナシテ皆自由權ヲ守リテ差等無カラシムルニ存ス何トナレハ自由權ノ平均是正ニ法律ノ則ヲ取ル所ナレハナリ

夫レ然リ故ニ我若シ是人ト約スルヿ有ランニ我ノ自由權ヲ用フルト是人ノ自由權ヲ用フルト相等キトハ此約ヤ義ニ合セリト爲ス我若シ是人ト物ヲ易フルヿ有ランニ其物ノ價直如何ニ相異ナルモ苟モ我自ラ好ミテ之ヲ易ヘ是人モ亦自ラ好ミテ之ヲ易フルトキハ此交易ヤ亦義ニ合セリト爲ス他無シ兩人皆其自由權ヲ用ヒテ少モ牽制セラルヽ所無キヲ以テナリ是ノ如キ者ハ近時理學士ノ名ケテ規約ノ義ト云ヒ或ハ名ケテ兩造自由權ノ平等ト名クル所ニシテ眞ノ正義ハ正ニ是ニ在リ余カ著ハス所ノ近世權理論ノ書ニ就キテ參考ス可シ

アリストットノ夫ノ義ニ於テ交易ノ義ト分配ノ義トノ區別ヲ爲セシヿハ我カ近世ノ說ニ於テ稍ヽ相近シト爲ス但其未タ物ト人トニ於テ分別スル所有ラスシテ只管事物ノ輕重利害ノ多少ヲ論スルニ汲々トシテ自由權ノ理ニ慮及セス此レ其未タ近世ノ說ノ精處ニ達セサル所以ナリ

アリストットノ既ニ義ヲ以テ他ノ諸德ト同ク過不及ノ間ニ存スル者ト爲シテ而シテ又以爲ラク卽チ義モ亦宜ク之ヲ守ルヿ太甚シキニ至ル可ラス若シ太甚シキニ至ルトキハ義變シテ不義ト爲ルト是ニ於テ義ノ中ニ於テ又分ケテ二ト爲ス一ハ權宜ノ義ナリ一ハ緊嚴ノ義ナリ請フ更ニ之ヲ詳ニセン緊嚴ノ義トハ堅ク義ヲ執リテ動カサルノ謂ニシテ法律ノ如キハ尤モ當ニ此義ニ循フ可キナリ但法律ノ物タル本ト事ノ大體ニ準シテ定ムル所ニシテ人事ノ變ヲ悉クセルニ非ラサルヲ以テ若シ事ノ發スルニ及ヒ一々必ス既定ノ法律ヲ以テ之ヲ處セント欲スルトキハ或ハ反リテ不正ニ至ルヿ有リ是ニ於テ乎事情ヲ揆リ時宜ヲ權リ以テ之ニ適スルヿヲ求ムル是レ所謂權宜

ノ義ナリ之ヲ譬ヘハ緊嚴ノ義ハ猶ホ鐵尺ノ如キナリ之ヲ曲ケント欲スルモ得可ラス權宜ノ義ハ猶ホレスビヤン用ヒシ所ノ鉛尺ノ如シ石塊ノ凹凸ノ正曲ナル者ニ就テ之ヲ用ヒテ依倚曲折意ノ如クニシテ少モ差異無キカ如シアリストツトノ此區別ヲ爲セシハ誠ニ卓見ト謂フ可シ

第三　アリストツトノ政治　アリストツトノ政論ハ之ヲ古昔學士ノ建立セシ所ノ偉業ノ中ニ列スルニ足ル獨リ古昔ノミナラス卽チ近世ニ在リテモ頗ル采ル可キ者有リ蓋シプラトンノ才ハ高亮ニシテ事物ノ理ヲ湊合シテ之ヲ一ニスルニ長セリ是ニ於テ其意專ラ別ニ一政體ヲ按出スルニ在リアリストツトノ才ハ博大ニシテ事理ヲ分析スルニ長セリ是ヲ以テ其言ヲ立ル常ニ之ヲ實驗ニ徵スルヲ求メテ其意專ラ既定ノ政體ニ就テ其利害ヲ計較スルニ在リ更ニ之ヲ言ハンニプラトンハ政治ノ建築家ニシテアリストツトハ政治ノ博物家ナリ

然リト雖モ是二子ニ於テ必ス區別シテ少モ之ヲ同クセサラント欲スルヤハ

亦大謬ナリ蓋シ古昔學士相通シテ執ル所ノ謬見有リ卽チ是二子モ亦此種ノ謬見ヲ擺脫スルヿ能ハス是ハ則チ相同シ何ノ謂ソヤ曰ク政治ト道德トヲ混視シテ區別スル所無キヿ是ナリプラトン、アリストツト並ニ以爲ラク政治トハ一種實際ノ學術ニシテ其目的ハ人民ヲシテ皆德ニ進ミテ同ク慶福ヲ享ケシムルニ在リト是ニ於テ乎政治ヲ以テ政府ノ任スル所ノ敎育ノ類ト爲サント欲シ是ニ於テ乎庶人ヲ以テ皆全ク政府ニ屬從スル者ト爲サント欲シテ庶人ヲシテ其所有權ヲ使用シ其家眷ヲ統治スルニ於テ自由ナルヿヲ得サラシメント欲ス此レ二子ノ相同キ所ナリ

プラトン、アリストツト又相同キ一事有リ奴隸ノ制ヲ善シトスルヿ是ナリ二人皆人ノ最大慶福ヲ以テ其靜觀深念シテ道理ヲ講求スルノ中ニ在リト爲シテ乃チ言フ德ヲ行フヿハ必ス營作スルヿ無キニ非サレハ不可ナリ苟モ營作スル所有ルトキハ理義ニ通達スルヿヲ得ス是ニ於テ農工商ノ屬ヲ斥ケテ之ヲ國士ノ列ニ入レス皆鄙ミテ奴隸ト爲シテ獨リ衣食ノ事ヲ供セシメ

士人ヲシテ安坐シテ以テ理義ヲ考察セシメント欲スルニ至ル

然リト雖モ茲ニ叙スル所ハ獨リプラトン、アリストットノミ其見ヲ同クスルニ非スシテ凡ソ古昔ノ學士皆然ラサル莫シ蓋シ其遇フ所ノ世ト其習フ所ノ俗トノ然ラシムル所ナリ

若夫レ其各〻自ラ見ル所ニ至リテハプラトン、アリストットノ深ク相異ナル者有リプラトンノ政治ニ於ケルハ威權ノ全ヲ擧ケテ之ヲ政府ニ歸セント欲スアリストットニ至リテハ古昔學士ノ中ニ就テ稍〻人民ノ自由權ニ見ル所有リプラトンハ動モスレハ高遠行ヒ難キノ言ヲ爲シアリストットハ才高シト雖モ頗ル實迹ニ徹シテ說ヲ立テリ此レ其相異ナル所ナリ

アリストットノ邦國ノ義ヲ釋スルヤ曰ク是レ自由ニシテ且平等ナル衆民ノ相合スル者ナリトプラトンハ邦國ヲ以テ一種無形ノ全體ト爲シテ各人ヲシテ皆此全體ノ支節タルニ過キサラシメント欲スル蓋シ以爲ラク凡ソ有形ノ各個ハ皆部ム可クシテ獨リ無形ノ統類尊フ可シト夫レ庶人トハ所謂有形ノ各個ニシテ邦國トハ所謂無形ノ統類ナリ故ニプラトン彼ヲ鄙トシテ此ヲ尊フヲ致セリ

アリストットハ正ニ之ニ反シ一切プラトンノ所謂無形ノ極致及ヒ意思ノ類ハ斥ケテ取ラス以爲ラク邦國ナル者ハ純然ノ一體ニ非スシテ衆各個ノ相聚リテ始テ成ル者ナリアリストットノ見是ニ於テ大ニプラトンニ勝レリ是ヲ以テアリストットハ大ニプラトンノ財產家族ヲ共有スルノ說ヲ駁擊シテ以爲ラク衆家族ヲ廢滅シテ邦國ノ一大家族ヲ建立セント欲スルカ如キハ大謬ナリ父子夫婦ノ眞情ヲ滅ホシテ而シテ之ニ易フルニ他ノ情念ヲ揑造セント欲スルモ終ニ得可キニ非ス國ノ衆兒ヲ以テ共有ノ物ト爲スモ誰カ己レノ生マサル所ヲ見テ己レノ生ム所ニ齊クスルヿ有ラン眞ノ愛情ハ家人各〻自ラ私スルノ際ニ生ス愛情ノ共有ノ中ニ消スルハ譬ヘハ猶ホ蜜飴ノ一二滴ノ海中ニ入リテ其甘味ヲ失フカ如シ云々

財產私有ノ權ニ係リテモ亦同シ以爲ラク凡ソ共有ノ財產ハ人々意ヲ用フ

ルヿ甚至ラスシテ其心竊ニ謂フ他人自ラ之ニ任スル者有ラン我必ス力ヲ致サヽルモ可ナリト然ラスシテ我若シ大ニ力ヲ致ストキハ心竊ニ悔テ謂フ我ノ勤ムルヿ是ノ如クニシテ他人ハ則チ絶エテ意ヲ用ヒス何ソ我ノ愚ナルヤト是ノ如クナルトキハ共有ノ財産ニ係リテハ人々ノ相怨誹爭鬪スルヿ私有ノ財産ニ於ケルニ比スレハ更ニ甚キ者有ラン

アリストット又言フ共有ノ制ヲ設ケテ以テ邦國ノ純一ナルヿヲ求ムルハ是猶ホ度曲ヲ一ニシテ以テ音樂ノ調ヲ諧スルヿヲ求ムルカ如シ必ス得可ラスト是言之ヲ得タリ

アリストット又言フプラトンノ政術ニ從ヘハ庶人ヲ擧ケテ皆邦國ノ犧牲ト爲シテ少モ自ラ肆ニスルヿヲ得サラシム是ノ如クナルトキハ庶人ノ慶福タル果シテ何ノ處ニ存スル乎所謂庶人ノ慶福ハ果シテ何物ナル乎プラトン以爲ラク苟モ邦國ニシテ慶福ノ樂ヲ享クルトキハ庶人ノ慶福ハ必スシモ問フ所ニ非スト夫レ邦國ハ庶人相合シテ成ル所ナリ然ルニ庶人ノ慶福ヲ舍

テヽ別ニ所謂邦國ノ慶福ナル者ヲ求ムルトキハ此慶福タルヤ果シテ何物ヲ指ス乎若シ有形ノ各人痛苦ノ地ニ墮ルトキハ無形ノ邦國果シテ何ノ處ニ於テ慶福ヲ享クル乎アリストットノ此論難誠ニ當レリ

プラトン及ヒ其他學士往々謬テ邦國ト家屬トヲ混視シテ一ト爲セリアリストット之ヲ駁シテ曰ク邦國ノ本ハ家屬ニ出テリ是固ヨリ疑ヲ容レス然レトモ此二ノ者ハ深ク相異ニシテ終ニ得テ混ス可ラス何ソヤ家屬ハ尊卑相統屬シ不平等ヲ以テ立ツ者ナリ父令シ子從ヒ夫唱ヘ婦隨フ是ナリ一ハ自由ニシテ一ハ不自由ナリ若夫レ邦國ハ然ラス是自由ニシテ且ツ平等ノ權ヲ有スル衆人ノ相會シテ以テ立ツ者ナリ卽チ官吏ノ其命令ヲ發スル有ルモ平等ノ人ヲ以テ平等ノ人ニ莅ム者ニシテ尊ヲ以テ卑ニ臨ム者ニ非ス且ツ官吏ノ其職ヲ行フヤ年歲ノ限有リテ之ヲ不朽ニ傳フルヿヲ得ス此レニ由リテ言ヘハ各人或ハ令シ或ハ從ヒ或ハ君ノ位ニ居リ或ハ臣ノ職ニ服シ循環シテ一ニ定マルヿ無シ是ニ知ル政府ナル者ハ民ノ委任ニ由リテ事ヲ行

フ者ニシテ父ノ子ニ令シ夫ノ妻ニ命スルカ如キ者ニ非サルヿヲ

アリストット又以爲ラク政府ト家屬トヲ混視スルトキハ其弊ヤ必ス抑壓言フニ勝フ可ラサルノ患ニ陷リテ後已マンプラトンノ政論ニ於ケル父ト師ト君ト全ク區別スルヿ無シ顧フニ君ヲ以テ父ト師トニ同クセント欲スルハ畢竟皮表ノ相似タルヲ見テ言ヲ立ツルニ過キス事ノ實迹眞ニ相似タルニ非サルナリ

然レハ則チアリストットノ意ニ在リテハ政府ヲ構架スル所ノ眞ノ基址ハ果シテ何物ナル乎曰ク政府ノ眞ノ基址ヲ知ラント欲セハ先ツ國士ノ何物タルヿヲ解釋セサル可ラスアリストット曰ク國士トハ國人ノ中ニ就テ其政權ニ參預スル者ヲ謂フ夫レ國士皆政權ニ預ル有リ故ニ其一方ヨリ言フトキハ令ヲ出タシ他ノ一方ヨリ言フトキハ令ヲ奉ス更ニ之ヲ言ヘハ其奉スル所ノ令ハ卽チ其出タス所ノ令ナルヲ以テ要自ラ令シテ自ラ從フニ外ナラス是ノ如キ者正ニ政府ノ由リテ立ツ所以ナリ

又以爲ラク凡ソ邦國中自ラ一種ノ職有リテ其權力限ル所有リ亦年歲ノ定有リテ本ト衆國士ニ屬ス可ラスシテ特ニ若干人ノ最モ此職ニ服スルニ適スル者ニ屬ス可シ又一種ノ職ノ其權ノ及フ所極テ廣博ニシテ本ト衆國士ニ屬ス可キ者有リ此二ノ職ハ曰ク審判ノ職ナリ曰ク議事ノ職ナリ審判ノ職ハ若干人ノ法律ニ深キ者之ヲ行フ議事ノ職ハ凡ソ國士タル者皆之ニ與カラサル莫シ顧フニアリストットノ此區別ヲ爲セシハ其見誠ニ卓ナリト謂フ可シ獨奈何センアリストット未タ政治ノ眞ノ基本ト爲ス可キ所ノ權理ノ義ニ達セス是ヲ以テ茲ニ擧クル所ノ區別ノ外人タル者ノ固有ノ權ニ於テ少モ見ル所有ラス夫レ所謂邦國ノ特別ノ職トハ一切廣ク公衆ニ關係有ル職ノ謂ニ非ス一切公衆ノ生レナカラニシテ有スル所ノ權ヲ行フヿハ之ヲ邦國普通ノ職ト謂フアリストット未タ此義ヲ看得セサリキ

アリストット初ヨリ性法ノ何物タルヲ知ラス是ニ於テ邦國ノ中ニ於テ更ニ二箇ノ職有リト曰フニ至ル卽チ一ハ智識ヲ使用スルノ職ニシテ一ハ體力

チ使用スルノ職ナリ以爲ラク智識ノ職ニ服スル者ハ政權ニ參與シ且ツ自由權チ有スルコチ得體力ノ職ニ服スル者ハ卽チ奴隸ニシテ自由權有ルコト無シ

夫レ奴隸ノ制ノ如キハ大謬戾ノ事タルコト固ヨリ疑チ容レス然ルニ是ノ如クニシテ此謬迷ノ事チ以テ一種ノ制度ト爲セシコハ固ヨリ亦謬迷ナルニ論ナシト雖モ亦意外ノ効チ奏スルコチ得タリ何ノ謂ソヤ曰ク此ノ如クニシテ奴隸ノ設チ論シテ一種ノ制度ト爲セシヨリ其天理ニ違フコト益ゝ明瞭ニシテ漸次ニ衆心ニ暴白スルニ至リテ遂ニ此制チシテ地ニ墜チシムルチ致セリ此レ所謂意外ノ効ナリ夫レ道理チ率强シテ之チ非理ノ中ニ入レンソト欲スルトキハ此道理ノ力早晩此非理チ剋滅スルニ至ルコハ自然ノ勢ナリ此レ猶ホ敵チ誘フテ城ニ入レ之チ降サントス欲シテ反リテ其敗降スル所ト爲ルカ如シ

是故ニアリストットノ奴隸ノ論ハ道ニ違フト雖モ然レトモ要スルニ自然ニ道ニ進ムノ一步ト爲ルノ効チ奏セリ初ヤアリストットノ以爲ラク奴隸ノ制ハ本ト謬迷ノ見ヨリ生セリ奴隸ト主人ト交ゝ約チ爲シテ生セシニ非ス亦戰勝チ恃テ敗者チ虜ニシテ然ル後生セシニ非ス然ルニ此制一タヒ生シテヨリ之チ廢セント欲スルモ得可ラス他無シ之チ廢スルトキハ國士タル者躬ラ農工商ノ賤役ニ服セサルチ得スシテ復タ政權チ行フノ暇無キニ至レハナリト是ニ於テ乎奴隸ノ制ニ係リテ道理チ求メテ以テ之チ正シトセント欲セリアリストットカチ竭シテ奴隸ノ制ノ道理ニ合スルコチ證セント欲シ世事自然ノ理ノ中ニ於テ之カ證チ求メリ然レトモ此制ノ非理タルコト本ト自ラ昭明較著ナルチ以テ愈ゝ之チ正シトセントス欲シテ愈ゝ人チシテ之チ不正トセシムルニ至レリ

アリストットノ言ニ曰ク人タル者斯世ニ處スルニ於テ自ラ需用スル所有リ而シテ其需用スル所ノ者チ獲ンソト欲スルトキハ器具無カル可ラスシテ所謂器具ノ中生氣無キ者ト生氣有ルト者トアリ生氣有リテ皆欠ク可ラス生氣無キ器具ハ

尋常有ル所ノ器具ニシテ生氣有ル器具トハ即チ奴隷ナリト其言ノ謬戻ナルコト豈甚明白ナラスヤ

又曰ク若シ彼ノ生氣無キ器具ヲシテ能ク吾人ノ命令ニ從ヒ若ク ハ吾人ノ意ヲ察シテ獨リ自ラ運轉シテ用ヲ爲スコト猶ホ詞人傳フル所ノ「ウュルカーン」ノ塑像ノ如クナラシメ牽挺ハ獨リ自ラ縮張シ梭ハ獨リ自ラ往來シテ以テ織布ノ用ヲ爲スキハ吾人復タ工人ニ用無クシテ奴隷ノ制斯ニ廢セン苟モ然ラスンハ此制終ニ廢ス可ラス云々

嗚呼アリストットノ此言ヤ知ラス識ラス豫メ後世智識ノ進闡シテ奴隷ノ制ヲシテ終ニ廢滅ニ至ラシム可キ原因ヲ看破セシト謂フ可シ所謂原因トハ何ソヤ器械ノ精巧ニ趣キシコト是ナリ今日ニ至リテハ彼ノ牽挺現ニ自ラ縮張シ梭自ラ往來シ布絹ヲ織ルニ於テ復タ古昔ノ大ニ人力ヲ費ヤスカ如クナラス顧フニ智識ノ進歩一日更ニ高層ニ上ルキハ彼ノ工人ノ屬全ク其力ヲ用フルコト無クシテ一切ノ事盡ク之ヲ器械ニ托シ優裕閑暇有リテ以テ其智識ヲ磨礪スルコトヲ得ルニ至ラン

然ト雖モ器械如何ニ精巧ニ赴クモ人タル者ノ權理未タ明ナラスシテ他人ヲ以テ器具ト爲スコノ理ニ合セサルコトヲ知ラサルキハ奴隷ノ制終ニ得テ廢ス可ラス此レアリストットノ曾テ慮及セサリシ所ナリ

夫レ人タル者皆自由ノ權有ラサル莫シ而シテ此權ハ人々ニ在リテ全ク平等ニシテ高下廣狹ノ別有ルコト無シアリストット初ヨリ是理ニ得ル有ラス是ニ於テ乎主人ト奴隷トノ別ヲ爲ス所以ノ故ヲ尋求シテ以爲ラク此レ賢愚ノ別ノ然ラシムル所ナリ主人タルコトヲ得奴隷ハ唯愚ナリ故ニ奴隷タルヲ免レスト即チ其言ニ曰ク國士ハ學術有リ故ニ天固ヨリ其レヲシテ政ニ與カラシム奴隷ハ昏愚ニシテ能ク爲スコト無シ故ニ天固ヨリ其レヲシテ勞役ニ服シテ唯國士ノ命是順ハシム是自然ノ常道ナリト嗚呼何ソ見ルコノ謬レルヤ夫レ奴隷人ノ昏愚ニシテ且ツ鄙汚ナル所以ノ者天固ヨリ其レヲシテ然ラシムルニ非ス唯其一タヒ汚辱ノ地ニ墜チシヨ

リ氣習一タヒ成リテ復タ變ス可ラス然レハ則チ天ノ其レチシテ昏愚ナラシムルニ非スシテ其制度實ニ其レチシテ鄙陋ナラシムルナリ人或ハ言フ奴隷モ亦頗ル學藝ニ富ム者有リ然レヒ其心術ニ至リテハ皆鄙陋ヲ免レス是レ其奴隷ノ境ニ安ンスル所以ナリト殊ニ知ラス其此境ニ安ンスルハ氣習實ニ然ラシメテ其本性ノ罪ニ非サルナチ

アリストッ トモ亦以爲ラク奴隷人ト眞家ノ士トチ分ツ所以ノ者ハ必スシモ常ニ確徹有ルニ非スト即チ其言ニ曰ク眞家ノ士ノ中或ハ心術極テ鄙汚ニシテ唯自由人ノ名ノミヲ持スル者有リ又奴隷人ノ中或ハ氣宇頗ル高朗ニシテ實ニ自由人ト爲ルニ勝ルル者有リ未タ一概ニ論ス可ラスト又自ラ疑問チ爲シテ曰ク奴隷人モ亦德義ニ循フニ勝フ可キ乎若シ奴隷人ニシテ德義ニ循フニ勝フ可キハ主人ト奴隷トノ間果シテ何ノ別有ル乎ト因テ又自ラ答ヘテ曰ク若シ奴隷人終ニ德義ニ循フニ勝フ可ラストヨリ理ニ非サルナリ何トナレハ奴隷人モ亦人ナルチ以テナリト

此議論ヤ誠ニ道理ニ合セリ然レヒアリストッ トハ終ニ此理チ執持スルヿ能ハスシテ更ニ種々經巧ノ說チ爲シ牽强傅會シテ以テ奴隷ノ制ノ理ニ合スルヿチ證セント欲シテ乃チ曰ク奴隷人モ亦德義有リ然レヒ其德義ハ眞ノ德義ニ非スシテ之チ自由人ノ德義ニ齊クス可ラス云々又曰ク奴隷人ノ能ク德義有ルハ自由人ノ德義實ニ然ラシムル云々ト豈窘蹙ノ極强メテ之カ辭チ爲スニ非ス乎

然リト雖モ近世學術ノ旣ニ進闡セルヿ此ノ如クニシテ且ツ基督敎チ崇奉スル邦國ニ在リテ猶且ツ奴隷ノ制ノ存スル有ルヒハ未タ獨リアリストッ トチ咎ムルヿチ得サルナリ

アリストッ ト旣ニ人類チ分チテ自由人ト奴隷人トノ二種族ト爲シ因リテ以爲ラク自由人獨リ私蓄ノ財有ルヿチ得奴隷人ハ有スル所有ルヿチ得スト是ニ由リテ之チ觀レハ所有權ノ一事是正ニ國士ノ國士タル所以ナリ然リト雖モアリストッ トハ未タ眞ニ所有權ノ何物タルチ理會スルヿ能ハス

彼レ其レ未タ人權ノ理ニ達セス故ニ亦所有權ノ理ニ達セサリシヿ固ヨリ宜ナリ

アリストツト未タ所有權ノ眞義ニ達セスト雖モ其此權ヨリ生スル所ノ効益ヲ論スルニ至リテハ實ニ人ヲシテ嘆服セシムルニ足ル是故ニ古昔學士ノ中ニ就テ富國策ノ原因ヲ論シテ最モ明白ナルヲ得タルハ蓋シアリストツトヲ以テ第一ト爲サヽルヲ得ス但シ其錢ヲ貸シテ息ヲ收ムルヿヲ非トセシカ如キハ亦謬見タルヲ免レス其意以爲ラク金錢ノ力獨リ又金錢ヲ生スルヿハ道理ニ非スト殊ニ知ラス我人ニ貸スニ金ヲ以テシテ其人實ニ自ラ資益スル所有ルトキハ是我ノ貸セシ金現ニ功有リシナリ苟モ人ニ功有ルトキハ其報ヲ受クルヤ固ヨリ當然ノ事ナリ

アリストツトノ國士ノ權及ヒ參政ノ權ニ係ル議論ハ既ニ之ヲ明ニスルヿヲ得タリ若夫レ議院ニ係ル主權ニ於テハアリストツト果シテ何ノ說有リシ乎請フ更ニ之ヲ論セン

アリストツト未タ天受ノ權理ノ義ニ達セサルヲ以テ其主權ヲ論スルニ於テモ未タ人心ヲ厭カシムルニ足ラサル者アリ向キニアリストツトヲシテ人々天受ノ權理ノ何物タルヲ知ラシメハ必ス曰ン主權ハ本ト各人ノ有スル所ナリ而シテ公衆一タヒ相合シテ事ヲ議スルトキハ所謂主權ハ公衆全員ノ中ニ在リ若シ又議論一ニ歸セサルトキハ衆員ノ多數ノ中ニ在リトト是固ヨリ確然不易ノ理ナリ而シテアリストツトノ未タ此ニ慮及セサリシハ其人々固有ノ權理ニ達セサリシカ爲メナリ

然ト雖モアリストツトノ議事ノ權ヲ論スルヲ見ル是尤モ其識ノ卓偉ナルヲ徵スルニ足ル卽チ其言ニ曰ク主權ハ國士全員ノ中ニ在リ蓋シ多數ノ議決ハ主權ノ存スル所ニシテ其人々ニ就テ言フトキハ多クハ平庸ノ人物ニシテ深ク敬重スルニ足ラスト雖モ然レトモ其議決ハ一二賢人ノ所見ニ比スルトキハ更ニ尊フ可キ者有リ是猶ホ衆人相會シ各〻錢ヲ醵シテ宴ヲ張ルトキハ一主人ノ招キニ應シテ宴ニ陪スルニ比

シテ其食饍更ニ口ニ美ナルヲ覺ユルカ如シ

人或ハアリストッヲ難シテ云ヘリ凡ソ事ヲ斷スルハ賢人ノ事ナリ庸衆人ノ事ニ非ストアリストッ答ヘテ曰ク否試ニ思ヘ賢人ノ聲譽ヲ得ルヿハ誰レニ由リテ然ル乎庸衆人ノ其名ヲ游揚スルニ由ルニ非ス乎且ツ例ヘハ建築家ノ如キハ家屋ノ便不便ヲ判斷スルニ於テ固ヨリ通達スルニ論無シ然レトモ現ニ其家屋ニ居住スル者其便不便ヲ判斷スルヿ更ニ適切ナリ厨人ハ饍羞ヲ設クルニ於テ固ヨリ巧ナリ然レトモ眞ニ味ノ美不美ヲ判スルヿハ衆賓客ノ任スル所ナリアリストッ又曰ク公衆ノ議ハ唯其公衆タルカ爲メニシテ大抵常ニ公平ナリト爲ス若夫レ各人ノ所見ハ動モスレハ錯謬ニ陷ルヲ免レス之ヲ譬ヘハ氷ノ如シ蓄フルニ小器ヲ以テスルトキハ速ニ腐敗シ易シ若夫レ盛ルニ大桶ヲ以テスルトキハ久キヲ經ルモ輒ク壞腐スルヿ無シ此ノ如キ者ハ何ソヤ他無シ寡キト多キトノ別ナリ

凡ソ此等アリストッノ論スル所ノ事ハ唯實際ノ處ヨリ之ヲ考フルトキハ誠ニ當レリ若夫レ理論ヨリ言フトキハ未タ眞ノ議事ノ理ニ達セシト爲サス且多數ノ說必スシモ常ニ善良ナルヲ保ツ可ラス顧フニアリストッモ亦プラトン及ヒ一切古昔學士ト同ク其意以爲ラク多數ノ說ニ貴フ所ノ者ハ他無シ其智見一二人ノ所見ニ勝サル有リトト此說ヤ本ト主權ノ眞義ヲ知ラサルニ因リテ生セリ主權ノ多數ニ屬ス可キハ其所見ノ明ナルカ爲メナラスシテ道理本ト然ラサルヲ得サルカ爲メナリ請フ更ニ之ヲ詳論セン

プラトンヤアリストッヤ其深意以爲ラク政權ハ本ト賢人君子ノ握ニ在ル可シ然レトモ賢人君子常ニ得可ラサルヲ以テ是ヲ以テ公衆ニ附スルニ主權ヲ以テスルヿハ庶ハクハ利害ヲ錯マルニ無キヿヲ得ント此レ謬ナリ主權ノ多數ニ屬ス可キ所以ノ者ハ他無シ人々皆自由ニシテ皆主權ニ與ルノ權有リ故ニ人々ヲシテ皆議事ニ與ラシムル多數ノ說ノ事ヲ錯ラサルト否ラサルトハ初ヨリ問フ所ニ非サルナリ

議院ノ主權ハ公衆ノ全員ノ中ニ存スト雖モ全員必ス常ニ盡ク所見ヲ同シ

スルヿ能ハサルヲ以テ是ヲ以テ多數ノ議ニ從フテ決ヲ取ル然ル所以ノ者ハ他無シ多數ノ議ハ少數ノ議ニ比スレハ稍〻全員ニ近キヲ以テナリ各人固有ノ權實ニ鄭重ニス可シ故ニ全員ノ議尊フ可シ全員ノ議實ニ鄭重ニス可シ故ニ多數ノ議尊フ可キナリ是ニ知ル多數ノ議ニ附スルニ主權ヲ以テスル者ハ其全員ノ議ニ近キカ爲メナリ而シテ全員ノ議ヲ尊フ者ハ衆各人ノ權ヲ尊フカ爲メナリ

アリストッ|ストットノ政論ハ畢竟實際ノ處ニ局促シテ未タ理論ニ得ル有ラス然ト雖モアリストッ|ストットモ亦專擅王制及ヒ貴族政治ノ惡弊ヲ論スルニ於テハ其所見極テ卓ナリ蓋シ自ラ疑問ヲ爲シテ曰ク主權ヲ以テ法律ノ力ニ歸スルト一人ノ掌握ニ歸スルト孰レカ是ナル乎ト因テ又自ラ答ヘテ曰ク法律ハ大體ヲ料リテ定ムル所ナルヲ以テ實際ニ就テ言フトキハ事迹ノ中或ハ法律ニ入ラサル者有リ然レトモ之ヲ要スルニ其廣博ニシテ且事ノ大體ニ係ルヿハ一タヒ定マルトキハ事情ニ循フテ之ヲ枉ケント欲スルモ得可ラス是正ニ人々ノ憑ミテ以テ危キヿ無キ所以ナリ若シ夫レ一人ノ意見ノ如キハ動モスレハ其喜怒ノ慾ノ驅ル所ト爲リテ躬自ラ其常ニ正ニ得ルヿヲ必セス況ンヤ能ク衆人ヲシテ憑賴セシメンヤ乎

是故ニ若シ一事ノ發シ來ルヿ有リテ其情狀未タ既定ノ律ニ入ル可ラサルトキハ一人ノ專斷ニ託シテ之ヲ決ス可ラス必ス法吏ニ託シテ之ヲ斷ス可シ何トナレハ法吏ハ正ニ法律ノ指命スル所ナルヲ以テ宜ク視テ生ケル法律ト爲ス可ケレハナリ

又曰ク邦國ハ本ト自由ニシテ且ツ平等ナル衆庶ノ相合シテ成ル所ナリ而シテ法律ニ託スルニ主權ヲ以テスルトキハ是正ニ衆人ヲシテ皆自由ニシテ皆權ヲ有スルヿ等カラシムルナリ若シ夫レ主權ヲ擧ケテ一人ノ握ニ歸スルトキハ他ノ衆庶ハ皆奴隷タルヲ免レス又曰ク法律ニ託スルニ主權ヲ以テスルヿハ實ハ此權ヲ以テ之ヲ道理ニ託スルニ外ナラス貴フ可キ所以ナリ若夫レ帝王ノ主權ハ道理ノ主權ニ非スシテ人ノ主權ナリ獨リ人ノ主權ナルノミナラス動モスレハ之ヲ犬豚ベーノ主權ト謂ハサルヲ得サルニ至ル又曰ク主權ヲ擧ケテ帝王ノ握ニ歸スルモ其人一世ニ限リテ子孫ニ傳ヘサルトキハ猶ホ少ク吾儕ノ心ヲ慰スル有リ然レ𪜈世上往々然ラスシテ大抵世々相襲テ祚ヲ踐ミ以テ常ト爲ス夫レ主權ヲ擧ケテ之ヲ一人ニ託シ猶ホ之ヲ子孫ニ傳フルヿヲ得セシム是レ實ニ不正ヲ重ヌルアンジュストチース ト謂フ可シ看スヤ帝王ノ子タル者古今賢哲ト稱ス可キ者幾人有リシヤ而シテ之ニ傳フルニ主權ノ重キヲ以テス天下豈此ヨリ殆キヿ有ラン哉

アリストットノ此等ノ論誠ニ緊嚴ニシテ虧隙ノ指ス可キ無シ既ニシテ又曰ク卽チ帝王ト雖モ我カ德實ニ衆人ノ上ニ出ルトキハ之ニ託スルニ主權ヲ以テスルモ固ヨリ不可無キナリ又其族類眞ニ他ノ種族ニ勝ルトキハ之ヲ子孫ニ傳フルモ亦不可ナル無シト顧フニ當時アリストットト身歷山王ノ傅タリ故ニ是言ヲ爲シテ以テ其君ヲ回護セント欲セシヿ疑無シ然レ𪜈アリストットチシテ眞ニ人々ノ權理ノ有ル所ヲ知ラシメハ必ス是前後矛盾ノ言ヲ爲シテ以テ一時ヲ粉飾スルニ至ラス夫レ一二世俗ノ豪傑ト稱スル者ニ託スルニ主權ヲ以テセント欲シ若クハ世家ノ說ヲ主張シ甲ノ族若クハ乙ノ族ヲシテ此權ヲ世襲セシメント欲スルカ如キハ以テ迥カニ他ノ族ニ勝ルト爲シテ誠ニ危殆ノ至ニシテ近世ニ至ルモ猶ホ或ハ此惡例ノ行ハルヽヲ見ルト雖モ首ニ此說ヲ爲セシヿハアリストット實ニ其責ヲ辭スルヲ得サルナリ然リト雖モアリストットノ深意ハ蓋シ民主政治ノ寬厚ナル者ヲ崇フニ在リ以爲ラク獨リ此政體ニ在リテヤ財產才能自由權ノ三者相互ニ調劑シテ弊

害無キヲ得ルト

アリストッ 又以爲ラク一國ノ中異常ノ厚貲家ト異常ノ貧困家ト有リテ兩
壘相對スルヤハ其勢富者ハ主人ト爲リテ權ヲ專
ニシ貧者ハ奴隷ト爲リテ屈辱ニ安ンスルニ至ル故ニ國人貧富ノ差太甚シ
カラサルコトヲ要ストアリストッ ノ此言ヤ豫メ近世歐洲諸國中等財產家ノ
政權ニ與カリテ力有ルコトヲ知リテ發セシ者ノ如シ誠ニ卓見ト謂フ可シ

アリストッ 曰ク凡ソ人甚貧ナルヤハ人ノ上ニ立ツコトヲ求ムルモ得可ラス
甚富ムヤハ驕矜ノ心發シテ法律ノ權ニ順フコトヲ屑トセスシテ唯他人ヲ凌
壓スルコトヲ是嗜ミテ其弊終ニ專恣到ラサル所無キニ至ル是ノ如クナルヤ
ハ國中唯主人ト奴隷ト有ルノミニシテ一人モ眞ノ自由人無キヲ致サン是
ノ如クナルヤハ貧者ハ妬媢ノ念ヲ發シ富者ハ輕蔑ノ心ヲ生ス夫レ妬媢ノ
念ト輕蔑ノ心トハ國家ノ安榮ニ於テ必須トスル所ノ友愛ノ情ト正ニ相反
スル者ナリ云々ト善イ哉言ヤ顧フニ近世歐洲諸國中等ノ產ノ如キハ富者

ト貧者トノ中間ニ居テ常ニ兩家ノ弊ヲ調劑スル者ナリ富者或ハ驕矜シテ
專恣ナラントスル乎彼ノ中產ノ徒輒チ貧困ノ徒ト協力シテ以テ富者ヲ制
ス貧者或ハ激怒シテ其暴威ヲ奮ヒ反リテ富者ヲ凌虐セントスル乎中產ノ
徒輒チ富者ニ左袒シテ以テ貧者ヲ彈壓ス此ノ如キ者ハ我カ近世自由國ノ
形勢ナリ古昔希臘ニ在リテ禍亂屢〻起リシハ他ニ非ス中產ノ民有ルコト無ク
シテ貧者富者常ニ壘ヲ對シテ相攻擊セシヲ以テナリ

アリストッ ノ中產ノ民ヲ崇フコト其見誠ニ深シト謂フ可シ但惜ムラクハ一
事ヲ忘却セシコトヲ何ノ謂ソヤ曰ク中產ノ民ハ正ニアリストッ ノ斥クル所
ノ農工ノ徒中ヨリ生スル所ナリアリストッ 其果ヲ得ンヿ欲シテ其因ヲ忘
レクリト謂フ可シ但所有權ノ漸次ニ亢張シ貲產ノ漸次ニ相均齊スルヲ以
テ自由平等ノ二權ニ於テ欠ク可ラストアリストッ 爲セシコトハ實ニ始テ之
ヲ見タリ厚貲家威權ヲ張リ貧民其擅制スル所ト爲ルヿハ古今ト無ク必ス
禍亂ノ本ナリ

アリストッ トモ亦プラトント同ク敎育ヲ以テ國ニ欠ク可ラスト爲セリ其意以爲ラク政府宜ク民ヲ敎育スルノ任ニ膺ル可シ政府ノ安榮ハ風俗ノ善美乃チ然ラシムヽ而シテ風俗ノ善美ハ敎育乃チ然ラシムト亦看得テ眞ナリト謂フ可シ但政府ヲシテ敎育ノ任ニ膺ラシメント欲スルノ一事ハ未タ理ニ合スト爲サス若シ政府盡ク其民ニ命スルニ學問ニ勤ムルヲヲ以テシテ又衆庶ヲシテ金ヲ出スヿ無クシテ學フヿヲ得セシムルノ責有リト曰フ時ハ誠ニ佳ナリアリストッ トハ乃チ然ラスシテ敎育ノ任ヲ擧ケテ之ヲ政府ノ權ニ歸セント欲セリ是他無シアリストッ トハ政府ト庶人ト交ヽ有スル所ノ權理ヲ於テ未タ達セサリシカ爲メナリ

政府ハ固ヨリ庶人ニ命スルニ必ス皆若干ノ學識ヲ獲ルヿヲ以テスルノ權有リ若夫レ庶人ヲシテ私設ノ贊舍ニ學ハスシテ必ス官設ノ贊舍ニ學ハシムルカ如キハ是權有ルヿ無シ父母タル者苟モ其兒子ヲシテ若干ノ學識ヲ獲セシムルヿハ孰レノ地ニ於テスルモ皆可ナリ政府ノ得テ知ル所ニ非サルナリ

以上論スル所ニ由リテ之ヲ考フルヿハ政府ノ永ク安榮ナルヿヲ得ルノ道ハ敎育ニ由リテ以テ風俗ヲ敦厚ニスルノ一事ニ在リ若夫レ國家ノ禍亂ニ係リテハアリストッ トノ果シテ何事ヲ以テ之カ原因ト爲ス乎請フ更ニ之ヲ論セン

國ノ禍亂ノ由リテ起ル所以ヲ論スルニ係リテハアリストッ トノ說プラトント美ヲ競フニ足ル或ハ亦プラトンニ駕シテ上ル有リ蓋シ以爲ラク凡ソ邦國ノ制必ス平等ナル可キ者有リ亦必ス不平等ナル可キ者有リ之ヲ公正ノ平等ト公正ノ不平等ト謂フ是二事ハ邦國ノ由リテ立ツ所ノ基址ナリ何ヲカ公正ノ平等ト謂フ曰ク國士タル者皆自由ノ權アリ故ニ皆政ニ參ス何ヲカ公正ノ不平等ト謂フ曰ク國士ノ中自ラ賢愚能不能ノ別有リ故ニ賢者能者榮顯ノ地ニ立ヲテ人ノ崇敬スル所ト爲リテ迥カニ愚者不能者ト科ヲ異ニスト是二事ハ邦國ノ基址ナリ是故ニ若シ其平等ニス可キ者不平等ニ其不

平等ニスヘキ者平等ナルヒハ禍亂終ニ避ク可ラス

凡ソ邦國ノ禍亂ハ其形極テ種々ナリト雖モ深ク之ヲ察スルヒハ必ス彼ノ公正ノ平等ヲシテ不公正ノ不平等ニ勝タシメント欲スルニ由ルカ若クハ公正ノ不平等ヲシテ不公正ノ不平等ニ勝タシメント欲スルニ由リテ起ル者ナリ下ノ賢者上ノ不賢者ヲ斥ケント欲ス此レ所謂公正ノ不平等ヲシテ不公正ノ不平等ニ勝タシメント欲スル者ナリ人民ノ中政ニ參スルヲ得サル者有リ相聚リテ叛ヲ謀ル是所謂公正ノ平等ヲシテ不公正ノ不平等ニ勝タシメント欲スル者ナリ

アリストッ|トノ此區別タル深微ハ則チ深微ナリ然レ𪜈未タ事ノ蘊奥ニ徹セシト爲サス所謂公正ノ平等トハ自由權ノ平等ヲ謂フ是ナリ夫レ自由權ノ平等是正ニ邦國ヲ經理スルノ大義ナリ故ニ國ノ禍亂ハ必ス其中義ノ不義ニ勝タント欲シ自由ノ不自由ニ勝タント欲スルニ因ル有ルヲ見ル若夫レ所謂不平等ハ獨リ財產ノ貧富智識ノ高下材德ノ優劣ニ於テ之ヲ見ルノミ

凡百契約ノ類及ヒ國士固有ノ權ヲ行フノ際ニ至リテハ初ヨリ貧富智愚能不能ノ別有ルノ理無シ是故ニ苟モ人々他人ノ己レノ權ヲ鄭重ニセサルヲ見ルカ若クハ己レノ權他人ノ權ニ相當ラサルヲ見ルヒハ國未タ亂レサルモ既ニ禍變ノ機ノ潛ニ伏匿スルヲ見ル

夫レ然リ故ニ國祚ノ長久ニシテ民ノ安靜ナルヲ求メント欲セハ唯義ノ一事有ルノミ禍亂ノ本ヲ扳カント欲セハ宜ク各人固有ノ權ヲシテ鞏固ニシテ侵擾セラルヽノ患無ラシムヘシ可シ

アリストッ|是理ニ於テ早ク已ニ窺測スル所有ルヲヲ得タリ獨リ其之ヲ敘論スルコト未タ甚詳明ナラサルノミ又其稱シテ以テ禍亂ヲ預防スルノ藥劑ト爲ス所ノ者ノ如キモ緊要ハ則チ緊要ナルモ未タ第二著ニ落ツルヲ免レスアリストッ|所謂禍亂ノ藥劑トハ何ソヤ曰ク法律ノ力ヲシテ鞏固ナラシムルヲ是ナリ夫レ法律ノ力ヲシテ鞏固ニスルヲ固ヨリ重要ナリト雖モ未タ正義ノ道ヲ崇フノ緊急ナルニ如カスアリストッ|曰ク苟モ法律ヲ犯ス者有ル

キハ其如何ニ微ナルモ之ヲ寛假シテ懲サヽルヲ可ラス然ラスンハ不平等ノ病知ラス識ラス侵入シテ終ニ醫療ス可ラサルニ至ラン是猶ホ少額ノ支費相重ナルキハ以テ厚富ノ財ヲ糜盡スルニ至ルカ如シ

アリストッ又曰ク不平等ノ患ヲ防カント欲セハ有司ノ職權ヲ限制セサル可ラスシテ服職ノ年歳ヲ定ムルニ尤緊要ナリトス又曰ク凡ソ有司皆服職ノ年歳ヲ定ムルニヲ要スルノミナラス亦過惡有ルキハ必ス其責ニ任スルニヲ要ス又曰ク法律ノ力極メテ重クシテ當ニ君主ノ威有ルヘシ而シテ有司苟モ財ヲ用フルニ有ルキハ必ス其所以ヲ疏シテ衆ニ示シ敢テ或ハ肆ニスルニ無カル可シ又曰ク有司ノ權ハ務テ之ヲ限リテ太重ニ至ラサラシム可シ又曰ク政權ノ及フ所廣博ニ過クルキハ國祚必ス久長ナルヲ得ス

アリストッ政論蓋シ此ノ如シ其中議ス可キ者有リト雖モ之ヲ要スルニ古昔豪傑ノ士ノ精ヲ竭シ力ヲ畢シテ建立セシ所ノ偉業ノ一タルコトハ固ヨリ言ヲ待タス且プラトンノ政術ニ比スルキハ大ニ進闢セシ所有ルヲ見ル何ソヤプラトンハ專ラ邦國ノ全體ヲ見テ各人ノ權ニ及ハスアリストットハ各個ノ權ニ於テ頗ル重ンスル所アリ

アリストッノ欠失ハ道學ニ在リテモ政術ニ在リテモ並ニ知識ヲ重ンスルニ過多ナルニ在リ彼レ以爲ラク法律ハ道理ト一體ヲ爲スニ非スシテ各人ノ意欲ト一體ヲ爲スヲヲアリストット蓋シ未タ人々ノ有ス可キ權ト負フ可キ責トニ於テ未タ達スル有ラスアリストットノ庶物原理ノ學ニ於ケルヤ自ラ以爲ラク神ノ現在スルヲヲ證シテ餘蘊無シト是大謬ナリアリストットノ所謂神ハ一種靜觀深省ノ一意念タルニ過キス卽チ其道學政術ニ於ケルモ常ニ此意ヲ持シテ專ラ意念卽チ智識ヲ崇フヲヲ是務ム殊ニ知ラス人ノ人タル所以ノ者ハ其智慧ノ光明ニ在ラスシテ其意欲ノ自由ナルニ在リ唯其レ意欲ノ自由有リ故ニ其尊フ可キヲ極テ至リテ他人如何ニ富豪ナルモ如何ニ尊貴ナルモ得テ我ヲ器具視セサルナリ

○第七章　ピロンノ學派○エピキュールノ學派○ゼノンノ學派○アルセシラースノ學派○羅甸ノ理學

○緒論

○第一　ピロン

アリストツト沒シテヨリ希臘學士輩復タ臆說ヲ爲シテ以テ高尙ノ理ヲ求ムルコトヲ好マスピロン是ニ於テ萬事皆疑フ可キノ說（セプチシスム）ヲ倡ヘ其意以爲ラク眞ノ君子ト稱ス可キ者ハ萬事ニ係リ敢テ判斷ヲ下タサス曖昧摸稜ニシテ以テ自ラ其智ヲ養フ可シト

○第二　エピキュール

第一　格物學　エピキュール以爲ラク凡ソ人ノ智識ハ皆五官ノ力ニ賴リテ生ス而シテ凡ソ物我カ五官ニ觸レサル者ハ皆空華ニシテ實ニ非ス所謂虛靈ノ物ハ初ヨリ眞ニ之有ルニ非ス又以爲ラク凡ソ有形ノ物ハ皆至微ノ分子ヨリ成レル者ニシテ太虛ノ間ニ在リテ常ニ變滅シテ定マルコ

無シ然レ𪜈所謂分子皆各々自ラ動轉スルノ力有リテ或ハ他ノ分子ト相合シ或ハ相離レ以テ生滅ヲ爲ス卽チ我カ精神ノ如キモ亦至微ノ細分子ノ相聚レル者ニシテ其痛苦ヲ避ケテ快樂ニ就クコトハ亦細分子ノ爲ス所ナリ

エピキュール又以爲ラク凡ソ斯世ノ事ハ盡ク皆一定避ク可ラサルノ理ニ循フニ非ス卽チ物體ノ運動シ及ヒ我カ精神ノ自ラ好ミテ去就スルカ如キハ皆一時偶爾ノ事ニシテ夫ノ一定ノ理ト交涉有ルコト無シ

第二　道學　エピキュール以爲ラク吾人ノ當ニ求ム可キ最大ノ目的ハ快樂是ナリ但快樂ノ中一時ニ得テ一時ニ失フ者有リ亦一タヒ之ヲ得テ之ヲ久キニ延フ可キ者有リ君子タル者ハ當ニ一時ノ快樂ヲ舍テヽ持久ノ快樂ヲ求ム可シ故ニ道德ノ學トハ慶福ヲ求ムルノ術ヲ謂フ是ノミ

○第三　ゼノン

第一　格物學　凡ソ物ノ本質ハ力ナリ力トハ能ク縮張シ能ク作輟スル

ノ能ヲ謂フ是ナリ卽チ吾人ノ能ク五官ニ由リテ外物ヲ感覺スルハ他無シ我ノ力ヲ以テ物ノ力ヲ權リテ爾ルニ外ナラス又曰ク力ハ凡ソ物ノ本質ナリト雖モ亦自ラ二箇ノ別有リ一ハ有爲ニシテ進取スルノ力ナリ一ハ無爲ニシテ靜ニ之ヲ受クルノ力ナリ卽チ動力ト靜力ト是ナリ故ニ凡ソ無生ノ有形物ハ皆特ニ靜力有ルノミ吾人ノ智慧ノ如キハ正ニ動力有ル者ナリ

然リト雖モ此二ノ力ハ判然別物ヲ爲スニ非ス卽チ我カ智慧ノ進ミテ事物ヲ考察スルカ如キハ直チニ事物ノ中ニ就テ動ク者ナリ外ニ就テ動ク ニ非ス蓋シ智慧ナル者ハ正ニ道理ニシテ凡ソ事物ノ中皆之有ラサル莫シ事物ノ外別ニ所謂道理ナル者有ルニ非ス

又曰ク道理ハ正ニ天地庶物ノ由リテ生滅スル所ナリ何トナレハ凡ソ物ノ生シ及ヒ滅スルハ皆一定ノ道理ニ循フテ爾ル者ニシテ決テ一時突如ノ事ニ非サレハナリ是ニ知ル神トハ別物ニ非ス卽チ天地庶物ノ全體ノ

中ニ在リテ活潑運動スル所ノ一大道理是ナリ

是ニ由リテ之ヲ言ヘハゼノン家ノ理學モ亦神物同體ノ說ニ據ル者ナリ」

第二　道學　ゼノン以爲ラク人心自ラ活潑自由ノ性有リ故ニ吾人苟モ一タヒ心ニ斷スルトキハ自ラ克チ自ラ制シ亦能ク身外ノ妨碍ト交鬪スルコトヲ得又以爲ラク事物ノ中宜ク分テ二種ト爲ス可シ一ハ我カ心內ノ事コシテ善ヲ爲シ惡ヲ爲スカ如キ皆我カ心ノ得テ取舍スル所ナリ一ハ心外ノ事コシテ我カ心ノ得テ取舍スル所ニ非ス卽チ財貨ノ富ナリ身體ノ健ナリ卽チ道德上ノ善ノ如キハ我カ心內ノ事ニシテ財貨ノ富若クハ身體ノ健ノ如キハ一モ道德上ノ善ト交涉有ルコト無シ

又以爲ラク唯我カ意欲ノ動以テ善ト稱シ以テ惡ト稱ス可シ若夫レ心外ノ事物ハ或ハ樂ム可キ有リ或ハ樂ム可ラサル有リ或ハ眞ナル有リ然レ𪜈初ヨリ善惡ト交涉有ルコト無シ唯意欲ノ善實ニ貴フ可キノミ

ゼノン派ノ學士人心ノ自由ナルヲ以テ善惡ノ本ト爲スカ如キハ洵ニ卓見トモ謂フ可シ但其所謂自由ナル者ヲ解釋スルニ於テ未タ蘊奥ヲ窮ムルヿ能ハスシテ以爲ラク自由ハ亦避ク可ラサルノ一理ニシテ人心ノ之ヲ了解シ及ヒ承受スル所ナリト本論ニ詳ナリ

ゼノン家ノ學士又義ヲ尊フヿ極テ至レリ因リテ四海友愛ノ仁ニ及ヲ以爲ヘラク自由ノ性卽チ道理ニ循フヿヲ求ムルヿハ人ノ本情ナルヲ以テ唯此情能ク吾人ヲシテ一切人類及ヒ一切懷生ノ物ト親交セシム蓋シ世界ヲ擧ケテ一大家族ト爲ス者ナリ

又曰ク己レノ性ニ率フテ身ヲ處スルヿハ正ニ天地庶物ノ性ニ率フテ身ヲ處スル者ナリ己レノ道理ニ率フテ物ヲ待ツヿハ正ニ天地一體ノ道理ニ率フテ物ヲ待ツ者ナリ自由ヲ以テ生存スルトハ正ニ衆人ノ爲メニ其自由ヲ圖ルヲ謂フ是レナリ

又曰ク法律トハ義ノ寓スル所ヲ言フ故ニ亦我カ心ノ道理ノ記載セル者

タルノミゼノン家ノ學士中往々古昔ニ在リテ著名ノ法律家ヲ出タセリ」

又曰ク人生ノ最大利益ハ卽チ德義ナリ德義ナル者ハ唯之ヲ行フノミニシテ其中自ラ無量ノ快樂有リ此レ其最上ノ利益タル所以ナリ又曰ク賢哲ノ人獨リ實ニ自由ノ德有リト爲ス其尊フ可キヿ帝王ノミナラス或ハ尊ヲ群神ニ比ス可ク其德益〻進ミテ已マサルニハ更ニ群神ニ超過スルニ至ル蓋シ賢哲ノ人ハ漸次ニ物欲ヲ擺脫シ淨躰々ニシテ一切ノ事我カ心ヲ動スニ足ル莫ク卽チ性命ト雖モ之ヲ視ルヿ土芥ノ如クニシテ或ハ自ラ好ミテ終ヲ取ルニ至ル

ゼノン家ノ理學極テ高尙ナル處有リ亦頗ル其人タルノ德ヲ尊重スルヿ實ニ嘉稱スルニ足ル又人ノ意欲ノ斷行ヲ重ンスルカ如キモ洵ニ以テ美ト爲ス可シ但惜ム其愛情ノ理ニ於テ曾テ論及セス夫レ愛ノ理タル人々ヲシテ能ク外ニ發越セシムルノ力有リゼノン家ノ言ヲ爲ス者纔ニ少ク仁ヲ論スル有リシモ未タ深ク愛ノ理ヲ窮ムルニ及ハス此

レ其欠失ノ處ナリ

○第四　アルセジラース派ノ學

アルセジラース、カルチアードノ二人皆疑ヲ懷クコトヲ以テ其學ノ旨趣ト爲ス此學派ヲ名ケテ新「アカデミー」ト謂フ

アルセジラース以爲ラク天下ノ事一モ全ク信ヲ置ク可キ無シ彼レ此レヨリ信ス可キハ則チ之有リ蓋シ吾人ノ知ルコトヲ得ル所ハ皆物ノ假相タルニ過キス

○第五　羅甸ノ理學

リュクレース、ハエピキュールノ說ヲ祖述セリシセロンハプラトンノ道學ヲ祖述シテ又アルセジラースノ半疑ノ說ニ採ル有リセチークハゼノン派ノ說ニ原本ス之レヲ要スルニ羅甸ノ理學士ハ一モ意ヲ創シテ發明スル所無シ

○本論

希臘ノ理學アリストットニ至リテ盛大ヲ極メアリストット沒シテヨリ理學漸ク衰ヘ學士輩往々彼ノ庶物原理ノ學ニ係リテ高遠ノ理ヲ講求スルコトヲ廢シ專ラ道學ニ傾嚮シテ以テ自ラ足レリトセリ顧フニアリストット沒スルノ後理學洵ニ衰頽ニ就キシコト論無シト雖モ之ヲ察スルトキハ亦頗ル進闡セシ處有リ蓋シ庶物原理ノ學タル高尙ハ則チ高尙ナリト雖モ世界ノ大理ヲ論スルコトヲ主トシテ極テ吾人ニ適切ナル道德ノ理ハ必スシモ之ヲ言ハスアリストット沒スルノ後學士輩更ニ道德ノ事ヲ倡道シ身外ノ理ヲ舍テ我カ心ノ何物タルヲ考究スルニ至レリ此豈亦進闡ノ一步ニ非ス乎

○第一　ピロンノ學派

ピロンハ本トメガールノ學士ニ從フテ業ヲ受ケリメガールノ學士皆以爲ラク凡ソ事物皆一方ヨリ視ルトキハ甲ノ態有ルモ更ニ他ノ一方ヨリ視ルトキハ又乙ノ狀有リ故ニ終ニ窮詰ス可ラストピロン此說ノ涵養スル所ト爲リ是ニ於テ萬事ニ係リ疑團ヲ懷キ天下ノ最明白ナル道理ト雖モ亦之ヲ論定

スルヿ無シ其例言ニ曰ク既ニ此レヲ非ス亦彼レヲ非スト
ピロン以爲ラク賢哲ノ士ハ絕エテ判斷ヲ下タサヌシテ天下ノ事ヲ舉ケテ
皆之ヲ隱昧摸稜ノ中ニ置ク者ナリ
又以爲ラク凡ソ人ノ斯世ニ處シテ身ヲ苦メ心ヲ疲ラス所以ノ者ハ他ニ非
ス夫ノ利益ト損害トヲ計較シテ唯利ニ就キ害ニ遠サカルヿヲ是レ求メテ
汲々トシテ已ムヿ能ハサルニ由ル賢者ハ則チ然ラス利ト害トニ於テ淡然
トシテ心ヲ用フル所無ク憂患疾病貧困ノ屬凡ソ庸人ノ避ケント欲スルノ
境一モ心ヲ動カスヿ能ハス彼レ蓋シ皆視テ以テ之ヲ齊クスルナリ
又曰ク天下ノ事唯德義貴尙ス可キニ似タリ故ニ賢者ハ身ヲ修メテ以テ命
ニ安ンジ寂然トシテ動カス以テ生ヲ送ル者ナリ

○第二　エピキュール派ノ學

エピキュールハ蓋シアテーンヌニ生レタリ其父ハ作文ノ法ヲ講論スルヲ以
テ業ト爲セリ母ハ女巫ノ職ニ服セリ家極テ貧ナリシト云フ　エピキュール自

ラ稱ス年十三四ノ時ヨリ早ク已ニ理學ヲ研究セシト又言フ我レ理學ニ於
テ曾テ師ニ從フテ業ヲ受ケス始終獨力ヲ以テ之ヲ講セリト然レヒ從前理
學士ノ諸書ハ　エピキュール皆之ヲ誦習セシヿ疑無シ而シテ其特ニ力ヲ得タ
ルハデモクリットノ書ニ在リ　エピキュール少時ヨリ時事ニ鞅掌シ東奔西走寧
處スルヿ無ク齡三十六ニシテ始テ居ヲアテーンヌニ定メ精舍ヲ開キ理學
ヲ倡道シ以テ其身ヲ終ヘリ　エピキュールノ精舍ハ一大林園ノ中ニ在リ門人
來リ寓スル者極テ多シ相傳フ　エピキュールノ其門人ヲ待ツヤ極テ親密ニシ
テ皆視テ以テ朋友ト爲セリ故ニ門人モ亦　エピキュールニ親ミテ絕エテ畏憚
スルヿ無カリキ　セテークノ言ニ曰ク　エピキュールハ蓋シ豪傑ノ姿質ヲ以テ
婦孺ノ容態ヲ裝セシ者ナリ晩ニ極テ慘酷ノ病ニ罹リ終ニ死セリ然レヒ　エ
ピキュール死ニ抵ルマテ泰然トシテ動カス辭色舒緩ニシテ之ニ安ンスルヿ
殆ンド慶福ノ中ニ在ルカ如シ自ラ稱ス我レノ斯疾ニ罹ル是中亦自ラ樂地
有リト

エピキュール以爲ラク凡ソ吾人ノ斯世ノ事ニ於テ識ルヿ有ルヲ得ル所以ノ者ハ五官ノ感觸有ルヲ以テナリト乃チ曰ク凡ソ人ト云フノ意思若クハ獸ト云フノ意思若クハ他ノ意思ノ如ク一切衆同類ヲ統合スルノ意思ハ皆我五官ノ屬、同類物ヲ感覺スルニ因リテ生スル者ナリ然ラスンハ一切統名ノ意思ハ實ニ其物有ルニ非ス吾心何ニ由リテ之ヲ想像スルヿヲ得ンヤト

エピキュール首ニ此ノ如クニシテ五官ノ力ヲ主張シ次ニ又デモクリットノ實質ノ說ヲ祖述スルニ至レリ以爲ラク凡ソ物皆細分子ノ相聚リテ成ル所ナリ夫レ其細分子ノ相合スル斯ニ以テ種々ノ現象ヲ發スト然レドエピキュールノ細分子ノ說ハ大ニデモクリットニ異ナル有リ蓋シデモクリットハ細分子ノ離合ヲ以テ一定避ク可ラサルノ理ニ循フト爲スエピキュールハ以爲ラク細分子ノ離合ハ偶爾トシテ發シ突如トシテ來リ一定ノ理有ルヿ無シト

エピキュール其細分子ノ離合ノ說ヲ得ンヤト欲シテ首ニ之ヲ細分子ノ實形ノ中ニ求ムレドモ得ス是ニ於テ已ムヿヲ得スシテ言ヲ爲シテ曰ク蓋シ細分子

ノ中自ラ一種虛靈ノ力ノ包在スル有リ此力能ク細分子ヲシテ或ハ離レ或ハ合シテ以テ物ノ生滅ヲ爲サシム夫レ細分子既ニ自ラ離合スルノ力有リ是ヲ以テ器械上一定ノ理未タ肆ニ細分子ヲ離合スルヿ能ハス又以爲ラク細分子自ラ一種ノ力有リテ能ク其運動ノ常度ヲ變スルヿヲ得但此變タルヤ極テ微ニシテ時ノ經過ヲ以テ言フモ地ノ距離ヲ以テ終ニ其度ヲ測ル可ラス然レドモ之ヲ要スルニ細分子ノ能ク自ラ運動シ又能ク自ラ變化スルヿハ畢竟之ヲ一定ノ理ニ循フト謂フヿヲ得ス

又以爲ラク精神ナル者ハ實物ニ比スレハ其分子更ニ微ナリ而シテ亦能ク自ラ運動スルノ力有リ是レ所謂自由ノ性ナリ故ニ賢哲ノ士一タヒ身外擾雜ノ事ヲ避ケ獨リ自ラ養フヲ以テ樂ト爲サント欲スルトキハ意ニ隨フテ彼ノ妄想ヲ擺脫シテ寂然不動ノ境ニ入ルヿヲ得但エピキュールノ所謂自由ノ性ハ純然取捨ノ自由ニ非ス然レドモ夫ノゼノン家ノ學士ノ旨趣一定ノ論萬事皆一旨趣ノ我カ心ヲ引クニ由リテ生スル我カ心實ニ自ラ肆ニスルニ非ス此レ旨趣一定ノ說

ナリ及ヒ神物同體ノ義ニ原本セル宗教ノ諸論ニ於テ其避ク可ラサル命運ノ說ナル駁シテ極テ斬新ナリシコトハエピキュール家ノ學士ノ偉功ト謂ハサル可ラス エピキュール言ヘリ彼轟夫ノ群神ノ各々暴威ヲ挾サミテ以テ吾人人類ヲ虐スルノ說ノ虛妄ナルヲ論スルモ果シテ何ノ益有ラン彼レ其レ群神ニ易フルニ所謂司命ナル者ヲ以テシテ而シテ此司命果シテ避ク可ラサル命運ヲ掌トルトキハ其畏ル可キコト更ニ群神ノ暴威ヨリモ甚シ彼レ其レ司命ヲ以テ群神ニ易フルモ人類ニ於テ何ノ益カ有ラン哉ト論シ得テ奇ナリト謂フ可シ

後世リュクレース又エピキュールノ說ヲ祖述シテ言ヘリ吾人唯意欲ノ斷行ス可キ有リ以テ所謂避ク可ラサル理ニ循ハサルコトヲ得ト エピキュール派ノ徒皆心ノ自由ヲ願欲セシコト此ノ如シ獨リ惜ム終ニ眞ノ自由ノ理ヲ得ルコト能ハスシテ其末ヤ自由ノ理ト偶爾突如ノ爲メトヲ混シテ之ヲ一ニスルニ至レリ

夫レ從前學士大抵以爲ラク世界一種虛靈ノ主宰有リテ以テ吾人人類ヲ統轄スト而シテ宗教家ハ又以爲ラク所謂世界虛靈ノ主宰ハ卽チ神ニシテ天ノ高キニ居テ常ニ人類ノ爲ス所ヲ監察シ惡有レハ之ヲ罰シテ赦スコト無シト又彼ノ旨趣一定ノ說ヲ爲ス者ニ至リテハ以爲ラク天下至微ノ事ト雖モ皆司命ノ預知スル所ニシテ人類ノ得テ肆ニスル所ニ非スト或ハ以爲ラク事々物々盡ク一定ノ原因有リテ避ク可ラストエピキュールニ至リテ初テ一切此等ノ說ヲ推倒シテ遺ス所無ク是ニ於テ人類チシテ斯世ノ中ニ居テ以テ眞ノ慶福ヲ求メシメント欲スト而テエピキュールノ意吾人ノ能ク外物ト接シ能ク識ル所有ルハ皆五官肉體ノ力ニ由リテ然ルヲ以テ所謂慶福ハ畢竟肉體ノ快樂ニ外ナラサルナリ

然リト雖モエピキュールノ所謂慶福ハ一時目前ノ快樂ヲ謂フニ非ス夫レ一時目前ノ快樂ハ最ニプラトン力ヲ極テ其頼ムニ足ラサルヲ論セリ而シテエピキュールモ亦プラトントン其意ヲ同クス蓋シエピキュールハ以爲ラク人類

ノ異ノ慶福ハ心ノ寂然不動ナルコ在リ此レ其快樂タル一時ノ物ニ非スシテ之ヲ久キニ延フ可シ

又以爲ラク細分子能ク自ラ動イテ以テ變化ス卽チ吾人ノ意欲モ亦能ク自ラ斷行シテ以テ司命ノ嚴令ニ循ハサルコヲ得所謂自由ノ性ナリエピキュールハ腹中ノ快樂卽チ食飮ノ快樂ノ說有リ此レ蓋シ人身窮理ニ關係スル所ノ他ノ高尙ナル快樂ノ本ナリ又友愛ノ情ヲ以テ一種ノ習慣ニ起ル者ト爲スノ說有リ又邦國ノ事ニ係リテハ人民契約ノ說有リ人類益〻進歩シテ已マサルノ說有リ凡ソ此等諸說ハ皆後世實利ノ說及ヒ物理ノ學ヲ主張スル理學ノ說ノ淵源ト謂フ可シ

エピキュール沒スルニ及ヒ其徒之ヲ崇敬スルコ殆ンド神ト異ナルコト無シ皆以爲ラク宗教家妖妄ノ說ヲ爲シ天堂地獄ノ論ヲ立テ、以テ人類ヲ恐嚇セシモ我カ先師出ルニ及ヒ一切此等妖妄ノ說ヲ掃蕩シ一切人類ヲシテ畏懼ノ念ヲ弭ムルコヲ得セシメタリ其賜タル豈大ナラスヤ乎

エピキュールノ生日ニ遇フ每ニ衆相會シ享薦シテ以テ祭リ又玉環若クハ徽章ノ屬ニ就テエピキュールノ像ヲ刻シ以テ之ヲ尊崇スト云フ

後世リュクレースモ亦エピキュールノ群神ノ說ヲ打破シテ世俗ノ拘忌ヲ滅セシヲ以テ之ヲ尊ヒテ神ニ比スルニ至レリ

○第三　ゼノン派ノ學

ゼノン家ノ學ハ名テ「ストイシスム」ト曰フゼノンハシチヨームニ生レタリシープル島中ノ一小邑ナリ名ヲ得タリゼノン父ハ賈人ナリ一日アテーンヌニ商シソクラッド家ノ理學ノ書數卷ヲ購ヒ之ヲ齎ラシテ歸ルゼノン始テ其書ヲ讀ミ慨然トシテ理學ニ志有リ之ヲ頃ク アリテ海ニ航シ颶ニ遇ヒ盡ク產ヲ喪ヒ尋テアテーンヌニ趨キ屢〻「シニック」派ノ黌舍ニ游ヒ業ヲ習フ「シニック」派ノ學士皆淫縱ニシテ禮度無シゼノン之レト游處スルヿヲ羞ヂ遂ニ絕テ與ニ通セス更ニ傳ヘテ他ノ黌舍ニ寓シ轉處スルヿ二十年定居有ルヿ無シ晩ニアテーンヌノ一廊廡ニ就テ精舍ヲ與シ躬

ラ徒ニ授ク是ヨリ前希臘有名ノ詞客常ニ此ニ會セリ是ニ至リ罷テ復タ會セス故ニゼノン之ニ居ルコトヲ得タリ其徒遂ニ自ラ號シテ「ストイシスム」ト曰フト云フ

世ニ傳フゼノン年老イテ疲癃ナルニ及ヒ其平生倡道セシ所ノ義ニ循ヒ自殺シテ以テ終ヲ取リシト云フゼノン身ヲ苦メ業ヲ勤メ養生ノ具近クル所無シ世人此ヲ以テ俚諺ト爲スニ至レリ相傳フゼノン死スルノ後アテーン人爲メニ碑ヲ建テ稱シテ曰ク是人ヤ畢生ノ爲ス所一モ其倡道セシ所ノ說ニ負カスト

「ストイック」派ノ說ニ從ヘハ凡ソ物ノ存スルヿヲ得ルハ其力有リテ能ク活潑有爲ナルニ由リテ然リ故ニ力ハ物ノ本質ナリ以爲ラクアリストットノ所謂純然ノ有爲ハ寂靜不動ノ物ナリプラトンノ所謂極致ハ虛高ニシテ用無シ是レ皆物ノ實形ヲ外ニシテ言フ者ニシテ未タ信憑スルニ足ラス物ノ本有ノ性ハ蓋シ其能ク活潑有爲ニシテ現ニ運動變化スル所ノ處ニ在リ庶物ト

云ヒ人類ト云ヒ皆力有リ以テ自ラ存スルヿヲ得

又以爲ラク力無キヿハ形有ルヿ無シ軀殼無キヿハ精神有ルヿ無シ精神無キヿハ軀殼有ルヿ無シ力ハ卽チ精神ナリ形ト力ト相共ニ一體ヲ爲シテ初ヨリ分離ス可ラス今分チテ形ト云ヒ力ト云フヿハ特ニ言論ノ間ノ事ノミ實ニ各々別ニ存スルニ非サルナリ

是故ニゼノン家ノ說ニ從ヘハプラトン、アリストットン並ニ謬戾タルヲ免レス何ソヤ彼レ皆物ノ本原卽チ虛靈ノ精神ヲ以テ物ト判然別有リト爲シテ物ノ本原ノ爲メニ更ニ一種ノ境界ヲ與サント欲ス豈理ナラン哉夫レ天地ノ間自ラ一種ノ至理有リテ凡ソ運動ノ類皆此理ニ由ラサルハ莫シ而シテ所謂至理ハ卽チ精神ナリ是固ヨリ然リ但此至理ト其統フル所ノ形質トヲ分チテ二物ト爲スヿハ謬戾タルヲ免レス

又以爲ラク從前學士唯エラクリットノ形力ノ二者ニ通徹セントノ爲ス故ニ其意常ニ精神ヲ以テ形質ノ中ニ潛在スト爲シテ乃チ言フ形體ハ精神ノ色彩ノ

外ニ著ハルヽ者ナリ精神ハ形體ノ本質ノ内ニ潛ム者ナリト是言之ヲ得タリ

ゼノン又曰ク物體ノ中有スル所ノ至理ハ即チ物體ナシテ漸次ニ自ラ發揮セシムル所ノ力ナリ之ヲ譬ヘハ一粒ノ種子ノ如キモ其中自ラ力ノ潛在スル有リ故ニ一タヒ地ニ入ルヤハ甲拆シ萌芽シ漸次ニ遂長シ葉ヲ抽キ花ヲ開キ殖シテ又無數ノ種子ト爲ル是レ即チ最初一粒中包有スル所ノ力即チ至理ノ然ラシムル所ナリ

ゼノンノ所謂神ハ畢竟世界ノ大精靈ニ外ナラス此精靈ヤ世界ノ全體中ニ在リテ其レヲシテ活潑化成セシメ又其各部ヲシテ避ク可ラサルノ理ニ循フテ相紐結シテ崩壞ニ至ラサラシム蓋シ世界自ラ一大原因有リ而シテ日常一瑣事ト雖モ亦皆原因有ラサル莫シ凡ソ此無數ノ原因相牽キ相聯リテ決シテ避ク可ラス之ヲ統括スル者即チ所謂世界ノ大原因ナリ此レ所謂運命ナリ

然リト雖モゼノンノ所謂運命ハ決シテ尋常云フ所ノ運命ノ嚴酷懼ル可キカ如キニ非ス之ヲ要スルニゼノンノ所謂運命ハ即チ神ノ功德ナリ即チ世界庶物中潛居スル所ノ至理ハ即チゼノンノ所謂神ナリ蓋シ世界庶所謂世界庶物中潛居スル所ノ至理ノ效果ナリゼノンノ是外ニ於テ別ニ威德ヲ具スル神物有スル所ノ活潑化成ノ力是ナリ有ルノ說ヲ取ラス

ゼノン又以爲ラク大世界ノ中又小世界ノ在ル有リ人類ノ謂ナリ人類ノ中モ亦兩質有リ合シテ一體ヲ爲スニハ形ナリ一ハ力ナリ形ハ即チ軀殼ナリ力ハ即チ精神ナリ形ハ即チ情慾ノ出ル所ナリ力ハ即チ有爲ノ寓スル所ナリ然レモ此二物固ヨリ得テ分ツ可ラス

人能ク智慧有リ而シテ智慧能ク意欲ヲ出タス意欲ハ能ク情慾ト爭フテ之ニ克ツ夫レ意欲ノ情慾ト鬪爭スルヲ是レ所謂德行ナリ

プラトンノ道學ト云ヒアリストツトノ道學ト云ヒ皆二箇ノ謬見ヲ免レス蓋

シ此二箇ノ謬見ハ相共ニ牽聯シテ離レサル者ナリ其第一ノ謬見ハ曰ク此二人皆政府ヲ尊フヿ甚クシテ各人ヲ後ニシ各人ノ心身中自由ノ大義有ルヿヲ知ラス其第二ノ謬見ハ曰ク此二人ノ友愛ノ情ヲ論スルヤ終ニ同邦人ノ間ニ出テスシテ未タ廣ク人類ノ全體ニ及フヿ能ハス是ヲ以テ其說二個ノ弊ヲ生セリ曰ク各人ノ道德ヲ論スルニ於テ其說未タ至ラサル所有リ曰ク人類ノ全ニ係ル道德ヲ講スルニ於テ其言未タ達セサル所有リ夫レ此二弊ヲ考ヘテ以テ自ラ擴張セシムルヿ此レ固ヨリ道學進闡ノ一步ナリ而シテ

ゼノン家ノ學士將ニ此任ニ當ラントス

ゼノン家ノ學士首ニ各人心身ノ中ニ於テ自由ノ理ヲ見得シテ以爲ラク是レ能ク人ヲシテ禍福利害及ヒ他人ノ侵害ニ遭フテ泰然トシテ動カサラシム所謂自由ノ理トハ何ソヤ曰ク人々自ラ其意欲ヲ奮ヒ邪慾ノ念ト鬪フテ之ニ克ヲ以テ志ヲ外物ニ拙カレサラシム故ニ自由ノ理トハ德ヲ行フノ自由ニシテ自ラ克ツノ自由ヲ謂フ是ナリ

又以爲ラク凡ソ事物我ニ屬スル者有リ我ニ屬セサル者有リト此區別ヤ其見識極テ深遠ニシテ後來エピクテートノ道學ハ全ク此區別ヲ以テ其基址ト爲ス蓋シエピクテートハゼノン家ノ道學ヲ集テ之ヲ大成セシ者ナリ茲ニ其言ヲ擧ケン

エピクテート曰ク事物ノ我ニ屬スル者ハ曰ク我カ思念ナリ我カ運動ナリ我カ願欲ナリ我カ意嚮ナリ我カ憎疾ナリ一切凡ソ我カ心ニ於テ我レノ爲ス所ハ皆我ニ屬スル者ナリ我ニ屬セサル者ハ曰ク軀體ナリ財產ナリ聲譽ナリ官爵ナリ一切我ノ自ラ作サヽル所ハ皆我ニ屬セサル者ナリ我ニ屬スル者ハ本ト自ラ自由ニシテ一切ノ物之ヲ抑住スルヿヲ得ス亦之ヲ防遏スルヿヲ得ス若夫レ我ニ屬セサル者ニ至リテハ其力ク極テ輕微ニシテ種々ノ障礙有リ且ツ我レ强テ之ヲ求ムルトキハ我ヲシテ之カ奴隸タラシム且此等ノ物ハ本ト我ニ於テ輕重有ルヿ無シ我笑ツ之ヲ求ムルニ汲々タラン哉」

エピクテートノ又曰ク汝若シ誤リテ自由ナラサル者ヲ認メテ自由ナリト爲シ他人ニ屬スル者ヲ視テ己レニ屬スト爲ストキハ汝必ス種々ノ障碍ニ遇ハンコトヲ是ニ於テ汝必ス悲恨シ心神擾亂シ終ニ群神ヲ怨ミ衆人ヲ嫉ムニ至ラン君子ク者豈是ノ如クナル可ケンヤ哉若シ然ラスシテ汝能ク特ニ汝ニ屬スル者ヲ取リテ之ヲ把玩シ一切他人ニ屬スル者ハ皆過キテ問ハサルトキハ汝ノ心神自ラ舒暢シテ中ニ疚シキコト無カラン且汝誠ニ汝ノ自由ニスルコトヲ得サル所ヲ爲サヽランコトヲ欲セハ誰カ汝ヲ强テ之ヲ爲サシムル者有ラン汝誠ニ汝ノ自由ニスルコトヲ得ル所ヲ爲ストキハ誰カ汝ヲ碍ケテ爲スコトヲ得サラシムル者有ラン

又曰ク譬ヘハ疾病ノ如キ是レ苟モ汝ノ行ノ放縱ナラサルヨリハ汝ノ自ラ取ル所ニ非スシテ汝ノ軀體ヨリシテ自然ニ發スル所ナリ汝之ヲ憂フルモ何ノ益有ラン一切災阨ノ類皆疾病ト同シ或ハ汝ノ軀體若ク其餘ノ者ヲ傷クルコト有ルモ汝ノ意欲ハ初ヨリ之ヲ傷クルコト能ハス

エピクテートノ人ノ意欲ヲ崇敬スルコト此ノ如シ其意此レヲ以テ萬物ニ抵リテ摧破スルコト無ラシメント欲ス其所見誠ニ卓ナリト謂フ可シ

ゼノン家ノ學士ノ人ノ意欲ノ自由ヲ尊フコト是ノ如シ是ニ於テ其道德ノ善ヲ視ルコトモ亦大ニ從前學士ト異ナル有ルヲ致セリ此レ自然ノ効果ナリ所謂道德ノ善ノ說ハ後世學士之ヲ非議スル有リト雖モ之ヲ要スルニ從前ノ道學ニ比スルトキハ大ニ進闡セシ者有リ請フ詳ニ之ヲ論セン

從前學士大抵皆道德ノ善ヲ以テ吾人智慧ノ識得スル所ノ物ノ中ニ在リトナセリ或ハ曰ク物ノ極致ノ中ニ在リト或ハ曰ク世界虛靈ノ理ノ中ニ在リトナセリ皆我心外ニ存スル者ノ如シゼノン家ノ學士ニ至リ始テ引イテ之ヲ己レニ收メ物ヲ去リテ我ニ歸レリ以爲ラク道德ノ善ハ獨リ我カ意欲ノ自由ナル處ニ存スト此レ其言ヲ立ツルコト豈甚簡約ナルニ非ス乎

エピクテート曰ク善ト惡トハ獨リ人々ノ意欲ノ中ニ在リト是言ヤ眞ノ道德ノ理ノ基本ト謂フ可シ夫レ一切我カ意欲ト交涉無キ者ニ附スルニ善ノ

名ヲ以テシテ絶エテ意欲ヲ問ハサルカ如キハ是レ善ト樂トヲ混シテ一ト爲スナリ善ト利トヲ混スルナリ善ト眞トヲ混スルナリ善ト美トヲ混スルナリ夫レ一切樂ム可キ者利トス可キ者及ヒ事ノ眞ナル者物ノ美ナル者ハ誠ニ身外ニ存ス夫ノ善ノ如キハ意欲ノ外果シテ安クニ存セン哉

是故ニゼノン家ノ學士ニ從ヘハ德義ヲ除非シテ別ニ所謂善ナル者有ルヿ無ク不德ヲ除非シテ別ニ所謂惡ナル者有ルヿ無シエピクテートハ曰ク善惡ノ本質ハ各人自ラ擇取スル所ノ意欲ノ方向ニ存ス又曰ク善果シテ安クニ在ル乎意欲ノ擇取スル所ノ處ニ在リ惡果シテ安クニ在ル乎亦意欲ノ擇取スル所ノ處ニ在リ既ニ善ニ非ス亦惡ニ非サル者ハ果シテ何クニ在ル邪我意欲ノ少モ交涉セサル所ノ處ニ在リ

然リト雖モゼノン派ノ學士モ亦謬無シト爲サス蓋シ其謬タルヤ善惡ノ說ニ在ラズシテ其自由ノ說ニ在リ其善惡ノ本ヲ以テ自由ノ中ニ在リト爲セシハ誠ニ間然ス可キ無シ但其自由ノ本質ヲ論スルニ於テ未タ到ラサル有リテ其弊ヤ所謂自由ヲ以テ避ク可ラサルノ理ト爲スニ至ル此レ其欠失ノ處ナリ

ゼノン派ノ學士ノ所謂自由ハ果シテ何ノ狀有ル乎是レ果シテ我意欲ノ眞ニ獨立不倚ニシテ自ラ好ミテ甲ノ斷ヲ爲シ或ハ乙ノ斷ヲ爲スヲ謂フ乎誠ニ是ノ如クナルヿハ亦議ス可キ無シ然ルニゼノン家ノ學士ハ未タ然ルヿ能ハサルナリ其說以爲ラク世界自ラ一定避ク可ラサルノ理有リ所謂司命ナリ是理ヤ凡ソ天下ノ事皆之ニ循ハサル莫クシテ凡ソ人タル者之ヲ避クルヿヲ得ルヿ無シ果シテ然ルヿハ君子タル者當ニ如何ンカ身ヲ處ス可キ乎曰ク此世界避ク可ラサルノ理ト一體ヲ爲シテ之ニ安ンスルヿ是レナリ蓋シ人未タ此大理ノ避ク可ラサル有ルヿヲ知ラスシテ遽ニ之ニ遭遇シテ患難ノ境ニ陷ルヿハ其痛苦ニ堪ヘスシテ紛紜轉倒シテ以テ之ヲ追ルヽヿヲ求ム是レ所謂奴隸ノ心術ナリ賢者ハ則チ然ラス彼レ豫メ此ノ大理有ルヿヲ知ルヿヲ以テ身ヲ以テ之ニ安ンシテ動クヿ無シ彼レ其意欲直チニ此

ノ大理ノ意欲ト一ヲ爲シテ其赴ク所ハ我モ亦之ニ赴キ其去ル所ハ我モ亦之ヲ去ル此ノ如クナルトキハ復タ奴隷ノ心術ニ非スシテ直チニ神ノ徒ト爲ルニ非ス乎是ニ由リテ之ヲ觀レハゼノン家學士ノ所謂意欲ノ自由ハ特ニ彼ノ避ク可ラサルノ理有ルヲ知リテ身ヲ以テ之ニ從フト曰フニ過キス更ニ一言セバ己レノ自由ナラサルヲ知リテ務テ之ニ安ンスル是ノミ

ゼノン家ノ學士ノ此論タルヤ自然ノ道理ト意欲ノ自由トヲシテ兩立シテ悖ラサラシムルニ於テハ洵ニ巧ナリト謂フ可シ獨リ奈何セン自然ノ道理ヲ以テ之ヲ意欲ノ自由ニ屬セスシテ意欲ノ自由ヲ以テ之ヲ自然ノ道理ニ屬セリ夫レ所謂意欲ノ自由トハ豈惇々然トシテ常ニ彼ノ自然ノ道理ニ順フヿヲ是爲サン哉或ハ好ミテ之ニ順ヒ或ハ奮フテ順ハス以テ之ヲ變改スルヿヲ求ム此ノ如クナラスンハ豈眞ニ稱シテ自由ト爲スニ足ラン哉

然リト雖モゼノン派ノ學士ハ其人類各個獨立ノ性ヲ擴張セシヿハ大ニ從前ノ學士ニ踰ユルヿ有リ是ニ於テ人々ノ權ヲシテ其邦國ノ法律ニ托セス

シテ自己ノ自由ト德義トニ托セシム故ニ此一著ヨリシテ言フトキハプラトンアリストットニ比スルトキハ各個獨尊ノ義ニ於テ更ニ深ク透徹シ道德ノ博大ナルノ理ニ於テ更ニ廣ク通曉セシト謂フ可シ之ヲ要スルニ從前學士ノ說ニ在リテハ彼ノ善惡ノ義茫乎トシテ未ダ定處有ラサリシモゼノン家ノ學士ニ至リテ此義始テ固定シテ且廣博ナルヿヲ得タリ

ゼノン家ノ學士以爲ラク己レノ性ニ率フテ身ヲ處スルヿ是正ニ己レノ良智ニ率フテ身ヲ處シ亦タ己レノ意欲ニ率フテ身ヲ處スルニ外ナラス何トナレハ意欲苟モ邪慾ノ蒙蔽ヲ受ケサルトキハ常ニ彼ノ良智ト一體ヲ爲セバナリ又以爲ラク道理誠ニ我カ心中ニ存スト雖モ是獨リ我ノ有ニ非スシテ他人モ亦タ之ヲ有ス而シテ他人ノ道理トスル所ト我ノ道理トスル所ト異ナルヿ無シ是ニ知ル人々各々其身ヲ別ニスルモ其心中有スル所ノ道理ハ皆同一體ニシテ分ツ可ラサルヿヲ

又以爲ラク凡ソ道理ニ適スル行爲ハ獨リ己レニ適スルニ非スシテ博ク人

類ニ適スル之ヲ人々獨リ自ラ利スルノ行爲ニ比スルトキハ其博大ナルヿ何如ソヤ苟モ我ノ行爲天下ノ道理ニ適スルトキハ擧天下ノ人ノ利益ニ於テ一モ合セサル所有ルヿ無シ

夫レ四海兄弟ノ義ハプラトン嘗テ微ク之ヲ窺伺スルヿヲ得タリゼノン家ノ學士ニ至リテ大ニ之ヲ發揮スルヿヲ得タリ彼レ其レ道理ヲ以テ純一ナリト爲ス是ニ於テ擧天下ノ人皆之有ラサル莫ク擧天下ノ道理皆同シカラサル莫シ是ニ於テ人我ノ間ニ於テ復タ別ヲ置クノ理無シ苟モ人ナレハ則チ皆道理ヲ有スル苟モ道理有レハ則チ皆人ナリ此レ其四海友愛ノ義ノ由リテ出ル所ナリ

夫レ人々利益相同ク道理トスル所相同キトキハ一切皮表ノ別ヲ爲ス所ノ者ハ初ヨリ問フヿヲ須ヒス擧天下ノ人皆我カ同胞ナリ是ニ於テ族類ノ相異ナル邦國ノ相殊ナル高下尊卑ノ相隔ルカ如キ皆平等ノ理ノ中ニ消融シテ復タ言フ可キ無シ天下人類ノ蕃庶ナルモ同一道理ニ對シテ相合シテ一體

ヲ爲スヿヲ得

且ヤ人々相共ニ爲メニ利益ヲ思フノ情有リテ以テ彼ノ正義ノ心ヲ贊助シ是ニ於テ全社會ノ人ヲ合シテ同一眷族ト爲スニ至ル卽チ後來シゼロンノ盡天下ノ人ノ愛ノ說ヲ倡稱セシハ蓋シゼノン家ノ理學ニ由リテ之ヲ得タリ

夫レ是ノ如クニシテ所謂利益ノ語漸次ニ其意義ノ廣博ヲ極ムルニ至ル蓋シ初メヤ人々唯一身若クハ一家ノ利益ヲ以テ利益ト爲シ次テ一國ノ利益ヲ以テ利益ト爲シ是ニ至リテ擧天下ノ利益ヲ以テ利益ト爲ス以爲ラク世界ノ全部是レ卽チ人類ノ一大共和國レピュブリック、ユナリトシゼロンノ言ニコウェルセールヨク余ハ世界ノ國士ナリ是ノ如クニシテ四海ヲ以テ一邦ト爲シ人類ヲ以テ兄弟ト爲スヿハ凡ソゼノンノ理學ヲ祖述スル者皆然ラサル莫シ

獨リ人類ヲ以テ一家族ト爲スノミニ非ス凡ソ懷生ノ者ハ皆引テ之ヲ家族ノ中ニ入レ視テ以テ同一體ノ衆支節ト爲サヽル莫シ他無シ夫ノ至理ハ獨

リ人類ノ中ニ存スルニ非スシテ世界庶物皆之ヲ含メバナリ是ニ於テ乎ゼノン派ノ學士更ニ又一格言ヲ爲シテ曰ク汝當ニ世界ノ大理ニ率フテ以テ汝ガ身ヲ處シ汝ノ生ハ當ニ世界血氣有ル者ト之ヲ同クス可シ

後來羅馬帝マルクオーレルモ亦タゼノン家ノ學ヲ修メリ其言ニ曰ク汝ノ愛スル所ハ余モ亦之ヲ愛ス汝ノ欲スル所ハ余モ亦之ヲ欲ス若シ余ニ於テ汝ノ取ラント欲スル所有ルトキハ汝亟ニ之ヲ取レ汝苟モ自ラ之ヲ便トスルトキハ余モ亦自ラ之ヲ便トス物皆汝ヨリ出デザル無ク汝ニ存セサル莫シ亦汝ニ還ヘラサル莫シ余聞ク院劇ノ一優人技ヲ演シテ嘆シテ言ヘリ嗚呼セコロップノ都邑我實ニ汝ヲ愛スル哉ト余ハ將ニ曰ハントス嗚呼「ジュピテール」即チ造化ノ都邑即チ世界全國ノ謂我實ニ汝ヲ愛スル哉ト夫レ賢哲ノ士果シテ進ミ主宰ノ名ヲ以テ是ニ到ルトキハ眞ニ自由ノ人ト稱ス可シ他無シ萬物ヲ鼓盪スル所ノ世界避ク可ラサルノ大理ト一體ヲ爲スヲ以テナリ

ゼノン家ノ學士又此世界人類ヲ陶鑄スル所ノ至大ノ理ニ原本シテ以テ其

法律ノ學ヲ構架セリ蓋シ人々天受ノ權ノ義ヲ發見セシコトハゼノン家ノ學士ヲ以テ首ト爲ス然ル所以ノ者ハ他無シ彼レ其レ邦國及ヒ宗教ニ於テ曾テ意ヲ嬰ルコト無クシテ博ク人類ノ由リテ樹立スル所ノ權ヲ求メテ以爲ラク此權ハ人ノ能ク其自由ノ性ニ循フテ道德ノ理ニ率フ所ノ處ニ存スト

シセロン素ヨリゼノンノ理學ヲ崇奉スト雖モ其著ハス所ノ法律論ニ曰ク法律ノ學ハ官吏ノ布令ノ中ヨリ來ルニ非ス又「ヅーズ、ターブル」羅馬初年ノ法律ノ名ノ中ヨリ生スルニ非スシテ正ニ理學ノ本根ヨリ發スト然ルニ理學ノ義ヲ推シテ考フルトキハ凡ソ人類ノ間唯一箇ノ道理有ルノミナルトキハ是レ此道理即チ正ニ法律ナルノミ

夫レ此法律タルソクラットノ所謂無字ノ法律ニシテ吾人ト俱ニ生レ吾人ノ心中ニ存シ既ニ受クル所無ク又學ブ所無クアテーンヌニ於テスルモ亦是ナリ羅馬ニ於テスルモ亦是ナリ而シテゼノン家ノ學士ハ此無字ノ法律ニ原本シテ以テ有字ノ法律ヲ定ムルニヲ求メリ

夫レ所謂正義ハ卽チ世界萬物循フ所ノ至理ニシテ是固ヨリ制作者ニ先チテ生シ又其尊フ可キヿ制作者ノ比ニ非ス蓋シ制作者ハ此大義ヲ揭ケテ之ヲ書ニ筆スル者ナリ抑〻自ラ此大義ヲ造ル者ニ非サルナリ何ソヤ正理ノ本ハ制度ノ中ニ存スルニ非ス亦法律ノ中ニ在ルニ非ス若シ庶民一時ノ思考若クハ帝王若クハ宰相一時ノ願欲ニ因リ斯ニ以テ法律ヲ制シテ而シテ正不正ノ本實ニ此法律ノ中ニ存スト爲スヿヲ得ンヤ凡ソ法律ヲ制スル者ハ其帝王一人ノ意ニ出ルト宰相大臣若干人ノ意ニ出ルトヲ問ハス苟モ不正ナル者ハ終ニ不正ナルヲ免レス其法律ノ名有ルカ爲メニ之ヲ正トスルヿヲ得ルノ理無シ

ゼノン派ノ學士務テ世俗ノ法律ヲシテ性法ニ近似セシムルヿヲ求メリ後來羅馬ノ法學ハ蓋シゼノン家ノ學士ノ倡道セシ所ニ採リシ者多キニ居ル

卽チ羅馬帝制ノ時法學ニ於テ尤モ名ヲ著ハセシ者ガイユース、ポール、パピニアン、ユルピヤン、モデスチュースノ如キハゼノン派ノ理學士設クル所ノ黌舍ニ居テ業ヲ受ケシト云フ是レ衆人相交ルノ際ニ於テ自然ニ道理ニ循フテ發シ來ル所ノ法ヲ謂フトガイユースハ曰ク國家ノ利害ハ終ニ性法ノ定ムル所ヲ壞ルヿヲ得ストユルピヤンハ曰ク契約ナル者ハ兩家各〻相爲メニ利益ヲ思ヒ以テ之ヲ輔クル有ルヿヲ圖ルニ由リテ生スル者ナリ何トナレハ衆相合シテ邦國ヲ爲ス者ハ本ト相愛スルノ情ニ由リテ爾ルカ故ナリ

又此輩ノ意各人ノ聲價ト其品位トヲ鄭重ニセント欲シ兒暴ノ力及ヒ法律ノ力ノ之ヲ侵轢スルヿ有ルヿヲ慮リテ輒チ曰ク父罪有ルモ子苟モ罪無キ者ハ父ト俱ニ之ヲ罰スルヿヲ得ス又曰ク寧ロ罪人ヲシテ罰ニ逭レシムルモ濫リニ無辜ノ人ヲ罰スルヿヲ得ス

夫レ是ノ如クニシテ性法ヲ崇重シ人權ヲ擴張セシヨリ其効果ノ及フ所一

切政治ト家族トニ論無ク凡ソ苛虐ノ使令ト屈辱ノ奉從トノ類ハ皆跡ヲ斂メシメントス欲スルニ至ル即チ羅馬法典ニ曰ク奴隷ノ制ハ天地自然ノ理ニ背反スル有リト是レ法學家ノ語ナリ當時法學士ノ輩往々以爲ラク奴隷ノ制ハ實際ニ於テ未タ廢スルヲ得可ラスト然レモ猶ホ此制ノ理ニ合セサルヲ論セシヿ此ノ如シ亦以テゼノン家ノ學士ノ世ニ功有リシヲ見ル可シ

ゼノン早ク已ニ言ヘリ曰ク凡ソ奴隷ハ或ハ戰敗シテ虜ト爲リシ者若クハ自ラ露イテ口ヲ餬セント欲スル者其主人ト約ヲ爲シテ始メテ是ニ出タリ然レモ之ヲ要スルニ此制ハ終ニ道理ニ合スト爲スヲ得スト是言ギオジェーンヌ之ヲ傳ヘリ

セネーク嘗テ嘆シテ言ヘリ汝何ソ奴隷人ト曰フヿヲ得ン汝盍ソ單ニ人ト曰ハサルヤ奴隷人トハ我レ其何ノ謂ナルヲ知ラス我レ唯同胞有ルヲ知ルノミ又曰ク其奴隷人ト謂フヨリハ寧ロ奴隷ノ友ト謂フノ當レルニ如カス

トセネークノ意蓋シ以爲ラク人々其情慾ノ奴隷タルハ卽チ一ナリ故ニ擧天下ノ人皆我ト同ク共ニ情慾ニ隷スルヲ以テ皆同ク奴隷境中ノ友ナリ

セネーク又曰ク汝ノ稱シテ奴隷人ト爲スル所ノ者モ汝ト始祖ヲ同クス族類素ヨリ相異ナルニ非ス且ヤ其戴ク所ノ天其踐ム所ノ地其吸噓スル所ノ空氣ハ汝モ亦俱ニ之ヲ戴キ之ヲ踐ミ之ヲ吸噓ス汝何ソ自ラ異ニスルヲ得ン哉奴隷人モ亦生滅有リ汝モ亦生滅有リ汝何ソ獨リ自ラ尊シトスルヿヲ得ン哉

又エピクテートノ如キハアリストッテアリストッヲ攻擊シテ極テ其寡竆ニ中ツルヿヲ得タリ曰ク天ノ命シテ以テ奴隷人ト爲ス所ノ者ハ蓋シ亦有リ世ノ道理ニ於テ少モ通スル所無キ者是レノミ然ルニ是ノ如キ者ハ唯禽獸然リト爲ス苟モ人タル者ハ其最不肖者ト雖モ未タ此ノ如クニ至ラス故ニ以テ奴隷ト爲スヲ得サルナリ

又曰ク驢騾ノ如キハ是レ固ヨリ天ノ命シテ人類ニ隷シテ爲メニ重載ニ任

スル者ナリ然ル所以ノ者ハ他無シ彼レ事物ノ理ニ於テ曾テ知曉セスシテ自ラ其意ニ由リテ斷行スルヿ能ハサレハナリ設シ驢騾ナシテ亦理ニ通スル有リテ能ク自ラ斷行セシメハ其人類ニ抗敵シテ肯テ重載ニ服セサラン乎ヿ疑ヒ無シ而シテ彼モ亦此ノ如キノ權有ルヲ得ルナリ嗚呼吾儕何ソ遽ニ我カ同類ヲ以テ之ヲ驢騾ニ齊クスルヲ得ン哉

エピクテート又曰ク吾人固ヨリ他人ニ從フテ我カ心ノ自ラ我カ爲メニ願ハサル所ヲ要求スルヿヲ得ス然ルニ吾人誰レカ奴隸ト爲ルヿヲ願フ者ソ然レハ則チ他人ヲ以テ己レノ奴隸ト爲スヿヲ得サルヤ亦明ナリエピクテートハ本ト奴隸人ニシテ擢テ、帝者ノ師傅ト爲レリ故ニ奴隸ノ制ノ非ナルヲ論スルニ於テ其言極テ剴切ナリ

ゼノン家ノ學士ノ人々ノ權理ヲ論スル直チニ人々ノ天ニ獲ル所ニ由リテ此大理ヲ發明シテ以爲ラク人ノ人タル所以ノ者本ト自ラ貴重ノ極ニシテ他人ノ得テ侵スヘキ所ニ非スト乃チ其言ニ云ヘリ人固ヨリ貴重ナリ之ヲ侵スヿヲ得スト

ゼノン家ノ學士ノ言ニ從ヘハ各人並ニ邦國ノ當ニ目的トスヘキ所ハ最大ノ利益是ナリ然ルニ所謂最大ノ利益トハ何ヲ指シテ言フ乎曰ク德義是ナリ夫レ德義ハ他ニ目的トスル所無クシテ正ニ自ラ目的トスル者ナリプラトンノ言ニ由レハ德義ハ更ニ他ノ大利益ニ達スルノ具ナリト然レ𪜈所謂他ノ大利益ハプラトン曾テ其何物タルヲ詳說セスゼノンハ則チ然ラス以爲ラク德義ハ己レニ足リテ外ニ待ツヿヲ無シ是正ニ人ノ目的ナリ人ノ手段ニ非スト又以爲ラク世界ノ大精神ノ運動スルヤ正ニ其運動ヲ以テ目的ト爲スル別ニ目的有ルニ非ス卽チ人ノ精神モ亦此レト同シ其善ヲ行フヤ唯善ヲ行フカ爲メニシテ爾リ其邪慾ト鬪フカ爲メニシテ爾リ別ニ目的トスル所有ルニ非ス若シ別ニ目的トスル所有ルトキハ是レ賞譽ヲ徼ムルカ爲ナリ豈ニ眞ニ德義ト爲スヿヲ得ンヤ

又以爲ラク德義トハ活潑有爲ニシテ道理ニ合スル精神ノ自ラ奮揚スルヲ

謂フ是ナリ既ニ是ノ如クニシテ自ラ奮揚スルトキハ是其心自ラ喜悅スルヿヲ得此外復タ何ノ目的トスル所有ラン哉

夫レ最大慶福ヲ以テ之ヲ最大善行ノ外ニ置カント欲スルハ是慶福ヲ以テ身外ヨリ來ルト爲ス者ナリ若シ慶福果シテ身外ヨリ來ルトキハ是偶然儻來ノ物ノミ何ノ貴フ可キヿカ之有ラン

ゼノン又言フ人ノ最大慶福ハ其善行有ルノ後自ラ視テ高華ナルヿヲ覺エテ斯ニ以テ自ラ樂ム是ノ如キノミト

夫レ德義卽チ人ノ目的ニシテ外ニ待ツ所無キトキハ賢哲ノ士苟モ德義ヲ行フテ自ラ滿足スルトキハ是其獨立不倚ノ狀如何ソヤ彼レ其意充然トシテ欠クル所無ク外人ニ求ムル所無シ是ノ如キ者眞ノ自由人ト稱ス可ク眞ノ富貴人ト稱ス可シ更ニ之ヲ言ヘハ眞ニ萬物ヲ左右シテ之カ王タリト謂フモ不可無キナリ彼レ其レ挺然トシテ頭ヲ庸衆人ノ上ニ昂ケ左眄右顧シ中ニ疚シカラス猶ホ「エルキュル」神ノ高ク群神ノ表ニ出ルカ如シ然ル所以ノ者ハ

何ソヤ彼レ其心夫ノ世界ノ至理ト一體ヲ相爲セバナリ

人能ク德ニ進ミテ是ノ如キニ至ルトキハ其精神完然豐備ニシテ更ニ之ヲ尊クセント欲スルモ得可ラス之ヲ貶セント欲スルモ亦得可ラス凡ソ其出タス所ノ德行ハ皆同一ノ全體ニシテ一モ間然ス可キ者有ルヿ無シ此レゼノン家ノ學士ノ所謂神人ナリ

啻ニ此レノミナラス吾人人類ニシテ能ク最大ノ德ニ至ルトキハ是其功タル神ニ比スレハ更ニ大ナリト爲ス何ヲ以テ之ヲ謂フ曰ク人能ク完粹ノ域ニ達スルトキハ是レ其獨力ノ効實ニ然ルナリ蓋シ賢哲ノ士ノ神ニ稟クル所ノ者ハ其能ク賢哲ノ地ニ達ス可キノ資是ナリ若シ夫レ其此資力ヲ實用シテ以テ現ニ賢哲ノ地ニ到ルヿハ神ノ然ラシムル所ニ非スシテ己レノ勉强卽チ然ルナリ夫レ幾多ノ艱苦ヲ嘗メ身ヲ苦メ心ヲ疲シ以テ德義ヲ磨礪スルヿ此レ實ニ貴尙ス可キニ非ス乎故ニセネーク言ヘリ賢者ノ神ニ稟クル所ハ其性命ニ過キス若夫レ德ニ進ミ善ニ移ルヿハ其自ラ勉ムル所ナリ然レ

ハ則チ其自ラ勉ムル所ヲ以テ其神ニ稟ル所ニ比スレハ其尊ヲ可キヿ更ニ大ナラス乎又曰ク徒ニ生ヲ送ルヿハ人々之ヲ能クス己レニ克ヲ道ニ入ルヿハ獨リ賢者然リト爲ス人或ハ云フ初テ賢哲ノ行ヲ垂レタル者ハ群神ニ非ス乎何ソ吾子ノ獨リ賢者ヲ貴フヿノ甚キヤ曰ク群神洵ニ善行ヲ垂レ人ニ示スニ勉行スルヿハ皆賢聖ノ域ニ到ル可キノ證ヲ以テス是固ヨリ然リ然レトモ神ノ威力未タ人々ヲシテ現ニ賢哲ノ域ニ到ラシムル能ハス故ニ賢哲ノ士ノ能ク德ニ進ミシハ其獨力乃チ爾ルナリ然ラスシテ夫ノ群神若シ特ニ賢哲ノ士ヲ寵異シテ其レヲシテ獨リ大德ノ人ト爲ルヿヲ得セシムルヿハ是神ノ賜ニシテ賢哲ノ士ノ力ニ非ス果シテ此ノ如クナルヿハ何ノ功カ之有ラン

又曰ク德義ノ貴フ可キ者ハ其偶然ノ事ニ非ス又他ヨリ受ケタルニ非スシテ獨リ自ラ勉メテ之ヲ致スニ在リ斯ニ於テ其賈直實ニ與ニ比ス可キ無シ賢哲ノ士ノ德義ニ於ケル正ニ此ノ如キノミ夫レ神ノ齊聖聰明ナルハ自ラ勉メテ之ヲ致セルニ非ス彼レ其身ニ於テ本ト聰明ノ德ヲ躬ラセリ故ニ其粹然至純ナルハ功勞ニ於テ略ホ交涉有ルヿ無シ若シ夫レ賢哲ノ士ハ然ラス其能ク聰明ノ人ト爲リシハ自ラ進ミテ自ラ取リシナリ故ニ道學ノ旨主ヨリシテ言フトキハ神ノ齊聖ナルハ本自ラ然ル可クシテ一モ貴フ可キナキモ賢哲ノ士ノ功勞ハ實ニ貴尙ス可キナリ

セチーク又其說ヲ反覆シテ曰ク賢哲ノ士ノ神ニ超過スル所以ノ者一有リ曰ク神ノ聰明齊聖ナルハ其資質本自ラ然リ賢哲ノ士ハ我ヨリ之ヲ求メテ得ル者ナリ神ハ初ヨリ勉ムル所無シ賢哲ノ士ハ功ヲ積ミ勞ヲ累ネテ方ニ始テ之ヲ致ス此レ豈人々ノ則トル可キ所ニ非ス乎

セノン家ノ學士ノ賢哲ノ士ヲ尊フヿ此ノ如クニシテ直チニ之ヲ神視スルニ至ルモ之ヲ要スルニ賢者モ亦人ナルヿヲ以テ終ニ夫ノ人類ノ避ク可ラサル所ノ痛苦憂患ノ類ニ免ルヽヿ能ハス且ツ彼レ其身ニ於テハ則チ聰明齊聖ナルモ他人皆然ルヿ能ハサルヲ以テ其身ヲ處シ國ニ事フルノ際或ハ他

人ノ爲メニ害ヲ蒙ムルニ無キニ能ハス果シテ然ルトキハ彼ノ賢者ハ當ニ何如カ之ヲ措置ス可キ乎ゼノン家ノ學士モ亦未タ敢テ輒ヲ賢者ハ兒人モ之ヲ害スルニ能ハストト曰ハス乃チ言フ賢者モ亦人ナリ或ハ厄運ノ苦ム所トナリ或ハ橫逆人ノ害スル所ト爲ルニ無キニ能ハス是ニ於テ其德ヲ全クシ其最大利益ヲ獲ルノ道唯一有リ疾痛慘怛ノ患、富貴功名ノ樂及ヒ一切身外ノ境遇ヲ舉ケテ全ク之ヲ度外ニ置キ一モ心ヲ動カサヽルニ是ナリ何ソヤ命ニ安ンジテ憂ヘサル此レ豈ニ自ラ護持スルノ最良法ニ非ス乎

又以爲ラク凡ソ樂ヲ樂トシ哀ヲ哀トシ之ヲ好ミ之ヲ惡ミ及ヒ一切心ヲ動カシ念ヲ擾ルノ類ハ皆我カ心ノ事物ニ感シテ動搖スルノ致ス所ナリ人能ク賢聖ノ域ニ入ルトキハ此等境遇ノ感動スル所ト爲ラス夫レ物ノ動カス所ト爲ルハ是レ我レ物ノ力ヲ受ケテ抗拒スルニ能ハサルナリ賢者ハ活潑有爲ニシテ物ノ侵亂ヲ受ケス一旦逆境ニ遭遇スルモ是非利害得テ我ヲ感動セス我カ心常ニ舒緩ニシテ初ヨリ交涉無キ者ノ如シ

是故ニ君子ハ其心ニ於テ務テ感情ノ類ヲ斷滅シテ以テ自ラ珍護スルニヲ求ム可シ即チ情念ノ中或ハ尤モ德義ニ助有ルカ如キ者ト雖モ亦必ス之ヲ翦除スルニヲ要ス然ラスンハ我カ心ノ靈臺終ニ完固ナルニヲ得サラン之ヲ例ヘハ惻隱ノ心ノ如キハ其仁ニ近キヲ以テ頗ル貴フ可キカ如シ然レトモ我レ一タヒ是心ノ爲メニ感セラルヽトキハ他人ノ受ケシ所ノ痛苦若クハ驚駭ヲ引テ以テ己レノ痛苦驚駭ト爲シ我カ精神爲メニ動テ定マラス其勢窕モ己レヨリ貴キ者ニ向フテ首ヲ俯シ以テ哀ヲ乞フカ如キニ至ラン夫レ此ノ如クナルトキハ平生護持スル所ノ清淨活潑ノ德モ終ニ外境ノ汚濁ヲ受ケ情累ノ縛ヲ蒙ムルヲ免レス是レ德ヲ養フ者ノ尤モ當ニ愼戒ス可キ所ナリ」

又曰ク苟モ人ノ痛苦慘怛ノ境ニ在ルヲ見ルトキハ進ミテ之ヲ阨ニ脫スルヲ求ム可キハ固ヨリ言ヲ待タス然ル所以ノ者ハ他無シ人ヲ救フヲ一ノ善行ナルヲ以テナリ但此ヲ以テ其人ノ痛苦慘怛ヲ引テ己レノ物ト爲シ次ニ己レ自ラ怒リテ其人ヲシテ此苦境ニ到テシメタル者ヲ惡ミ以テ己レカ

心ヲ動スカ如キハ甚非ナリ何ソヤ惡ニ勝ツニハ當ニ理ヲ以テス可シ當ニ憤怒ヲ以テス可ラサルナリ且ツヤ天下ノ至逆境ト雖モ皆本ト自ラ來ラサルヲ得スシテ來レル者ナリ決シテ一時偶然ノ事ニ非サルナリ然レハ則チ我ノ自ラ之ニ遇フト他人ノ之ニ遇フト我皆當ニ虛心平氣以テ之ヲ視ル可キナリ

是ニ由リテ之ヲ觀レハゼノン家ノ學士ノ最大慶福タル知ル可キノミ曰ク天下避ク可ラサルノ理ニ就テ身ヲ安ンシ心ヲ靜ニシ一切此理ニ逆フ所ハ之ヲ爲サス己レノ意欲ヲ卷テコンサンレー之ヲ密ニ藏メ以テ自ラ護持スルニ是ナリ是亦其所謂自由ノ德ナリ

然リト雖モゼノン派ノ學士モ亦外來ノ逆苦ヲ避ケテ自ラ免ルヽニ於テ最後ノ一手段有リ何ノ謂ソヤ曰ク自ラ好ミテ終ヲ取ルナリ但此輩ノ所謂自殺ハ尋常ノ自殺ト大ニ異ナリ此レ固ヨリ愁苦ニ堪ヘスシテ已ムコヲ得サルニ出ル所ノ卑怯ノ策ニ非ス亦一時迷亂ノ計ニ非ス是レ正ニ其自由ノ權

ノ自ラ動テ以テ天ニ抗敵シテ其全ク之ニ隸從セサルコヲ證スルカ爲メナリ其意蓋シ謂フ我ノ活セント欲スル乎將ク死セント欲スル乎此レ獨リ我ノ自ラ恣ニスルコヲ得ル所ナリ天固ヨリ得テ之ヲ左右セサルナリト

エピキュールヤゼノンヤ皆亂世ニ生レ風俗日ニ頹敗シテ復タ救フ可ラス兩人皆時運ノ此ノ如クニシテ橫逆ノ事朝夕ニ相踵クヲ見テ疑フテ以爲ラク人ノ最大慶福ハ果シテ安クニ在ル乎ト因リテ精ヲ竭クシ力ヲ畢クシ以テ之ヲ求メ得ンコト欲シテ皆以爲ラク所謂安身立命ノ地ハ物欲ノ蒙蔽ヲ擺脫シテ我心ヲシテ隨處ニ主ト爲ラシムルニ在リト但エピキュールハ自ラ心ヲ放ツテ時命ト推移シ一切計較安排ヲ加ヘス又心ヲ勞シ氣ヲ作スコヲ爲サス以爲ラク能ク柔ナルヲハ能ク折レス務テ擾々ノ境ヲ避ケテ恬靜以テ自ラ守ルヲハ慶福モ亦其中ニ在リト蓋シエピキュールハ柔ヲ守リ退歩シ無爲ヲ以テ慶福ト爲ス者ナリゼノンハ則チ然ラス其剛强豪鋭ノ氣外來ノ逆境ト抗敵シテ之ト力ヲ角セントシ欲ス以爲ラク時命我ヲ虐スルモ凶人我ヲ苦

ムルモ我何ノ懼ルヽコトカ之有ラント是ニ於テ乎氣ヲ皷シ勇ヲ勵マシ自ラ其意欲ヲ奮振シ憂苦生死ノ岸頭ニ立チテ泰然トシテ動カス死ヲ視ルヿ歸スルカ如ク以テ迴ニ己レヲ虐苦スル者ノ表ニ出テント欲ス是蓋シ剛ヲ以テ勝ツ者ナリ

獨此レノミナラスゼノン一タヒ夫ノ世界庶物ノ大理ナル者ヲ發見セシヨリ所謂自由權ヲ取リテ之ヲ大理ノ中ニ置キ直チニ世界ノ大理ト一體ヲ爲スヿヲ求ム是其心ヲ設クル豈甚尚フ可ラス乎

エピキュールノ徒ゼノンノ徒並ニ以爲ラク人ノ人タル所以ハ其自由權ニ存スト但彼レ皆所謂自由權ヲ己レノ意欲ノ中ニ求メスシテ之ヲ天地庶物循フ所ノ理ノ中ニ求メテ以爲ラク自由ナル者ハ外來ノ現象ノ中ニ寓スル而シテ所謂現象ハ或ハ俄頃ニシテ來リ或ハ前後相聯接シテ初ヨリ相離ル可ラス而シテ我カ心之ト推移シテ以テ自ラ安ンシ逃避スルヿヲ求メスト願フニ此ノ如ク論スルトキハ所謂自由ハ果シテ何ノ狀ヲ爲ス乎我カ意欲自ラ知

リテ且ツ時ニ隨フテ之ヲ斷行スト爲ス乎果シテ此ノ如クナルトキハ是人タル者常ニ偶爾突如ノ際ニ於テ事ヲ處シテ定態有ルヿ無シ將タ然ラスシテ意欲自ラ知リテ夫ノ避ク可ラサルノ至理ニ順ヒテ之ヲ處スルト爲ス乎果シテ然ルトキハ是正ニ因果ノ理中ニ墮落スルナリ之ヲ要スルニゼノン家ノ學士ノ所謂自由ハ我カ心ノ外物ト事有ルノ際ニ存スル者ニシテ我カ心ヲ以テ肆ニ之ヲ斷スル者ニ非サルナリ夫レ時ニ隨テ物ト推移スルト避ク可ラサルノ理ニ順フトハ皆已ムヿヲ得サルニ出ル者ニシテ己レ擇ミテ之ヲ取ルニ非ス苟モ己レ擇ミテ之ヲ取ルニ非サルトキハ未タ眞ノ道德ノ自由ト爲ス可ラサルナリ

○第四　アルセシラースノ學派○疑學

プラトンノ衰キニ精舍ヲ興シ徒ヲ聚メテ敎授シ名ケテ「アカデミー」學舍ト曰ヒ極テ盛大ヲ致セリアルセシラース又「アカデミー」學舍ニ就テ講筵ヲ開キ業ヲ授ク故ニ世人其學派ヲ號シテ新「アカデミー」派ト稱スト云フ其說蓋シ

エピキュール及ヒ特ニゼノンノ學派ノ種々言ヲ立テ、自ラ以テ道ニ謬ラストヽ爲セシヲ見テ之ヲ駁シテ以爲ラク天下ノ事皆疑フ可シ二子ノ自ラ定メテ理ト爲セシハ太早計ナリト故ニ此派ノ學ハ名ケテ懷疑派ト稱ス而シテアルセジラース實ニ之レカ領袖タリ

ソクラットハ言ヘリ我唯タ我ノ知ルノミトアルセジラースハ更ニ進ムヿ一層ニシテ乃チ言ヘリ我ノ果シテ知ル有ル乎知ルヿ無キ乎我レ肯テ之ヲ知ラサルナリト其意以爲ラク五官ノ傳フル所ト云ヒ眞智ノ思フ所ト云ヒ曾未タ果シテ事物ノ眞情ヲ得タルト否トヲ知ル可ラス是故ニ君子ハ其事ヲ論スルヤ當ニ敢テ之ヲ判斷セサル可シ又其事ヲ處スルヤ當ニ姑ク其或ハ可ナルカ如キ者ニ從フテ之ヲ施ス可シ之ヲ要スルニ確乎不易ノ一語ハ理論ヨリ言フモ實際ヨリ言フモ眞ノ意義有ルヿ無シ是ヲ以テ世人此學派ヲ號シテ亦或然派（プロバビリスム）ト稱ス

カルヲアード繼テ起リアルセジラースノ說ヲ祖述シテ更ニ之ヲ一層

ノ甚シキニ至ラシメリカルネアードロ辯有リ喜テ詭邪派ノ學士ニ倣ヒ常ニ相反スル旨趣ヲ把リテ更〻之ヲ主張シ各々皆理ニ合スルヿヲ示メシ以テ理ノ必ス可ラサルヿヲ證セリ嘗テ羅馬ニ游ヒ塲ヲ設ケテ辭ヲ演スルヿ兩度ニシテ始ハ正義ノ貴フ可キヿヲ主張シ次ハ又不正ノ惡ム可ラサルヿヲ主張シテ曾テ以テ恥ト爲サヽリシト云フ

カルネアードノ學ハ名ケテ「セプチシスム、アンピリスム」ト曰フ事ノ實迹ニ就イテ疑ヲ懷クノ說ノ謂ナリ蓋シアルセジラースハ特ニ高尙ノ理義ヲ論スルノ際ニ於テ疑ヲ置テ目前事迹ノ明瞭ナル者ニ至リテハ未タ必スシモ之ヲ疑フニ至ラスカルネアードニ至リテハ目前ノ事迹ヲ舉ケテ一モ疑ヲ置カサル莫シ其學派ノ名稱ノ由リテ生セシ所以ナリ

カルネアードノ說ヲ奉スル者多クハ醫人及ヒ格物家ニシテ以爲ラク獨リ著明ノ現象ノミ稽ヘ以テ之ヲ知ルヿヲ得可シ事ノ本質ハ初ヨリ之ヲ窺フヿヲ得可ラスト其最モ著稱セラルヽ者ハ曰クエネジデーム曰クアグリッパー

曰クセキスチュースナリ蓋シ皆紀元一百年ヨリ二百年ノ間ニ在リテ其說ヲ
倡道セリ
此輩皆以爲ラク此現象有リト雖モ未タ推究シテ以テ之カ本原ヲ求ムルヿ
ヲ得可ラス何ソヤ凡ソ本原ト云フ者ハ物ノ質ヲ謂フ現象ト云フ者ハ物質
ノ兆朕ヲ謂フ眞ニ兆朕ノ何物タルヲ知ラント欲セハ先ツ物質ヲ知ルヿヲ
要ス物質未タ知ル可ラサルトキハ兆朕モ亦未タ知ル可ラス是故ニ我儕現象
ニ就テ說ヲ爲スモ未タ果シテ當レルト否サルトヲ知ル可ラス況ンヤ之レ
カ本原ニ於テヲヤ
以爲ラク吾人ノ學ハ特ニ一現象ヲ推シテ他ノ現象ニ及ヒ是ノ如クニシテ
連聯シテ以テ之ヲ講求スルニ過キス而シテ本原未タ明ナラサル間ハ所謂
現象ノ畢竟幻影タルヲ免レス故ニ吾人ノ自ラ誇リテ一家ノ說ト爲ス所ハ
終ニ是レ衆幻影ノ並立シ或ハ續出スルヿヲ認ムルニ過キス
セキスチュースモ亦醫人ナリ此意ヲ推シテ之ヲ書ニ筆セリ其文頗ル詳備ニ

シテ論柄トスル所極テ繆巧ニシテ且糾纏ナリ然レモ亦其間頗ル事ノ深微
ニ透徹セシ所有リ

○第五　羅甸ノ理學○リュクレース○シセロン○セネーク

羅馬ノ理學ハ希臘人ノ說ヲ祖述スルニ止マリテ別ニ意ヲ創シテ倡道セシ
所有ルヿ無シリュクレースノ作ル所ノ「デナチュラー、レロームム」ノ篇ノ如キ其旨
趣全ク エピキュールノ理學ニ採取セシ者ナリ但韵礎極テ經緻ニシテ音調慷
慨悲壯ノ槩有リ
リュクレースノ詩意エピキュールノ說ヲ祖述スト雖モ其間人文ノ進歩ノ運ニ
就テ論スル所ト及ヒ諸懷生ノ物ノ相剋爭シテ以テ生ヲ爲スノ理ヲ論スル
所トニ至リテハエピキュールノ外ニ於テ別ニ意見ヲ發セシ者有リ此レ正ニ
近世所謂自然淘汰ノ意ナリ之ヲ要スルニリュクレースノ詩意極テ近時物理
家ノ論スル所ニ類スル有ルヲ見ル
シセロンハ庶物原理ノ學ニ係リテハ往々アルセシラースノ懷疑說ノ旨趣

ヲ採撫シ道學ニ係リテハゼノン家ノ言ヲ爲シ之ヲ調劑スルニプラトン、アリストッ二家ノ說ヲ以テス

シセロンノ道學ノ歸趣ヲ要スルニ專ラ國ニ竭シ譽ヲ發スルヿヲ以テ本旨ト爲ス之ヲ愛國家ノ道學ト謂フ可シ未タ之ヲ理學家ノ道學ト謂フ可ラサルナリ

シセロン極テ法律ノ學ニ遠ナリ理學ノ旨趣ヲ取リテ始テ之ヲ法律ニ當用セシヿハ古昔學士蓋シ若干人ニ過キスシテシセロン亦其中ニ在リ卽チ其定テ法律ノ原則ト爲セシ所ノ語極テ多シ其中言フ有リ法律ノ禁令スル所ト德義ノ禁令スル所トハ全ク相同キヿヲ要ス

又シセロンノ政術ニ於ケル亦希臘人ヲ以テ依據ト爲ス其尤モ喜テ主張スル所ハアリストッ及ヒポリーブニシテシセロン此兩人ノ旨趣ニ就テ更ニ潤飾ヲ加ヘ益〻足ラサル所ヲ補ヘリ蓋シ諸種ノ政體ノ中ニ就テシセロンノ最モ理ニ合スト爲ス所ハ民主政治ノ善ク權衡ヲ調スル者是ナリシセロン

之ヲ名ケテ折衷ノ制（グウェルヌマント）ニミキストト曰フ蓋シ各種ノ制ノ長ヲ取リテ成ルノ謂ナリ

シセロン以爲ラク折衷ノ政體ニ在リテハ王制ノ主義ト貴族政體及ヒ單純民主政體トノ旨義相共ニ調合シテ各部ノ力能ク相均齊シテ卽チ後世所謂勢力均調ノ効ヲ獲ル者ナリ

シセロン以爲ラク其所謂折衷ノ政體ハ當時羅馬ノ政正ニ爾リト爲ス卽チ統制官及ヒ上下二院相共ニ鈐制シテ以テ威暴ノ弊害無キヲ得セシム顧フニシセロンノ此說タル徒ニ目前ノ事迹ニ就テ論ヲ立テ卑近ノ處ニ局促シテ未タ高尙ノ理論ニ達セスト謂フ可シ

セネークハゼノン家ノ言ヲ治メ書ヲ著ハシテ其旨趣ヲ倡道ス今之ヲ閱スルニ言フ所往々纖巧過密ナルモ文辭ハ極テ雄辯ナリ又其奴隸ノ制及ヒ當時盛ニ行ハレシ所ノ競馬ノ戲ニ係リテ論述セシ所ノ如キハ文義爛然最モ觀ル可シ又ゼノン家ノ倡ヘシ所ノ友愛ノ義及ヒ諸德行ニ係リテ論敘セシ所

モ亦世人ノ嘖々激賞スル所ナリ

セネーク其ラシリュースニ與フル所ノ書牘ニ於テ道學ノ理ヲ論セリ書中叙スル所ノ眞智ノ説ノ如キ往々深奥ヲ極メリ之ヲ要スルニセネークノ己レヲ處スルヤ極テ嚴峻ニシテ攻苦食啖多クハ人ノ堪フル能ハサル所ナリ然レモ其規模頗ル宏博ニシテ他ノ己レト説ヲ異ニスル者ト雖モ細ニ其深意ノ在ル所ヲ察シ其取ル可キハ之ヲ採リ絶エテ漫然之ヲ抗拒セス即チエピキュールノ快樂ヲ以テ道德ノ本旨ト爲スカ如キモセネーク往々亦其言ヲ引イテ之ヲ載セリ

セネークノ學タル前人ヲ踏襲スルニ止マリ發明スル所ナク又其論タル往々辯博ヲ衒燿セント欲スルノ態有ルヲ免レス之ヲ要スルニセネークノ説タル一家ノ説ノ片段ト謂フ可シ未タ完全ノ一説ト謂フ可ラサルナリ

○第八章　アレキザンドリーノ學派

○緒論

○第一　プロタンノ説

フィロン猶太派ノ黌舍ヲアレキザンドリーニ興セリ其倡道スル所ノ説蓋シ希臘「チオープラトニスム」新コプラトンノ説ヲ推擴セシ説ノ義及ヒ基督宗ノ理學ノ濫觴ナリ

アレキザンドリーノ學派ハ神ノ事ヲ論スルニ於テ分テ兩部ト爲ス其一部ハ有ヲ主張シ其一部ハ無ヲ主張ス其有ヲ主張スル部分ニ在リテハ凡ソ神ノ功德及ヒ作業ニ就テ其眞ニ神ニ屬シテ理ニ合ス可キ者ヲ取リテ實ニ之有ルヲ論ス其無ヲ主張スル部分ニ在リテハ凡ソ從前學士ノ神ニ屬スル者ニ就テ其眞ニ神ニ屬ス可ラサル者ヲ取リ實ニ之有ルヲ無キヲ論ス此レ所謂有無ノ兩部ナリ

アレキザンドリーノ學派以爲ラク神ハ純乎一ニシテ純乎善ナリ凡ソ以

テ物ノ相待ツノ狀及ヒ物ノ相離ルノ態物ノ相異ナルノ況チ爲ス者ハ神皆之有ルノ理無シ是故ニ神ハ第一アリストツトノ所謂智慧ノ上ニ位スト何トナレハ凡ソ智慧ト云フ者ハ必ス知ル者ト知ラル、者トノ二有ルヿチ要ス然ルニ神ハ純一對敵無キ者ナリ故ニ曰ク智慧ノ上ニ位スト蓋シ神ハ能ク自ラ其己レチ知ル者ナリ然レハ神ノ之チ知ルヤ妙不可思議ニシテ吾儕人類ノ間ニ於テ常ニ云フ所ノ知不知トハ迥然相異ナリ第二ニ神ハ又有ノ上ニ位ス何トナレハ凡ソ有ト云フ者ハ所謂本質ノ謂ニシテ自ラ言說ス可キ者有リ亦限畫セラルヽ所有リ然ルニ神ハ廣大無邊ニシテ限極有ルヿ無シ故ニ曰ク迥カニ有ノ上ニ位スト

然リト雖モ此チ以テ神チ號シテ虛無空寂ノ物ト爲スハ大謬ナリ夫レ有ハ神ヨリ有ナル莫シ此レ固ヨリ活潑圓成シテ被ムラサル所無キ者ナリ」

○第二　神ノ造作ノ事○三神體ノ說

神純乎一ナリト雖モ然レ𪜈自ラ其一チ守リテ生殖スル所無キニ非ス蓋シ神ハ完粹豐備ノ極ニシテ而シテ生殖ハ正ニ其豐備ノ德ノ由リテ寓スル所ナリ神曷ソ生殖セザラン

然リト雖モ神ノ生殖スルノ道如何天地庶物ノ神ヨリ發出セシハ其狀如何曰ク神ノ庶物チ產殖セシハ求ムル所アリテ然ルニ非ス願フ所有リテ然ルニ非ス蓋シ神ノ庶物チ產殖セシヿハ其本質自ラ然ラシメリ神ノ本質ハ純乎仁ナリ故ニ其物チ造ルヤ唯物チ仁スルカ爲ニシテ然リ神ハ粹然至純ノ物ナリ是故ニ物ノ最モ完粹ニシテ神德ニ近似セシ者先ツ神ノ產出スル所ト爲レリ他無シ神ハ最モ惡シキ者チ造ルノ前先ツ最モ貞ナル者チ造レルカ故ナリ

是故ニ最モ首ニ神ノ懷ヨリ出タル者ハ亦最モ神ノ妙靈ナル德ニ近似スル所ナリ神曷ソ生レタリ次キニ不滅ノ智慧又自ラ一個極テ妙靈ニシテ己レニ近似スル者チ生メリ所謂不滅ノ精神是レナリ

是故ニアレキザンドリー學派ノ所謂三神體ハ曰ク神ノ仁善ナリ曰ク智慧ナリ曰ク精神ナリ而シテ此三者ノ威德自ラ高下ノ別有リ

○第三　神ノ庶物ヲ造ル事及ヒ庶物ノ神ニ還ル事○復故

神ノ廣大ノ智又凡ソ世界庶物ヲ鼓蕩スル所ノ種々ノ精神ヲ產殖セリ是レ高級ノ生ヨリ迭次ニ降リテ下級ノ生ニ及フナリ是ヲ以テ凡ソ世界ノ生物皆迭ニ昇リ互ニ降リ相牽聯シテ其間空缺有ルヿ無シ蓋シ凡ソ生ス可キ者ハ神皆之ヲ生シテ遺ス所無シ

庶物ノ精神一タヒ生スルヤハ皆轗ヲ其之ヲ生セシ所ノ本原ニ嚮往シテ其故ニ復ルヿヲ求ム是レ所謂復故ノ業ナリ凡ソ一物モ皆此大理ニ循フシテ以テ復故ヲ求メサル莫シ

吾人ノ精神ノ復故スルヤ其實踐ノ德行ト其靜觀ノ德行トノ二種ニ由リ益〻精粹ニ趨キ斯ニ以テ其本ニ還ルナリ

吾人精神ノ靜觀スルヤ先ッ物ノ異理ヲ以テ目的ト爲シ次ニ物ノ美觀ヲ以テ目的ト爲ス所謂眞、美ノ二諦ナリ

美ノ本質ハ如何曰ク是レ虛靈ノ理ノ發シテ目ニ視ル可キ者ナリ此レ物ノ形體ヲ鼓蕩スル精神ノ狀貌ナリプロクタン是ニ於テ尤モ感嘆ス可キ論說有リ本論ニ詳ナリ

靜觀深念ノ業進ミテ已マス以テ窮處ニ到ルヿハ必ス變シテ八面玲瓏ノ境界コンタンプラシヨン、ツ、レキスタースニ透徹ス是之ヲ善ヲ愛スルコトノ至レル者ト謂フ此レ蓋シ吾人ノ精神ノ凝結シテ盡ク從前ノ渣滓ヲ去リ直チニ神ノ善美ノ域ニ進入シテ自ラ知ラサル者ナリ此レ蓋シ吾人下界ノ精神一時恍然トシテ天街ノ精神ノ中ニ冲融シ曹々芒々ノ間頓ニ自ラ其本原ニ透徹スル者ナリ此一大事モ亦本論ニ具ス之ヲ要スルニアレキザンドリー學派ハ理學ト曰フト雖モ大ニ宗旨ニ近似スル有リ

○第四　プロタンノ門弟及ヒアテーンヌノ學派

プロタンノ高弟弟子ハ曰クポルフィール曰クジャンブリックナリ其後アテー

ンヌ派ト稱スル理學モ亦プロクシン（プロクリュース）ノ後繼ニシテプロクリュース之カ領袖タリ

プロクリュース神ノ功德ヲ論スルニ於テ極テ奇闢ノ說有リ本論ニ詳ナリ其大旨以爲ラク神ノ智ハ其豫メ知リテ爽ハサル所ノ處ニ在ラス蓋シ神ノ智ハ迥カニ豫知（プレヴィシヨン）ノ上ニ在リ亦迥カニ其前ニ在リ又以爲ラク神ノ廣大無邊ニシテ純乎一ナル眞然智ノ上ニ在リ亦豫知ノ上ニ在リテ卽チ吾人ノ自由ニ施爲スル所ハ皆神ノ威德ノ中ニ在リ然レモ亦此ヲ以テ吾人ノ自由ヲ指シテ空幻ト爲スヲ得ス吾人實ニ自由ニシテ意ニ隨フテ施爲スルヲ得ルト雖モ然レモ凡ソ吾人ノ爲ス所ハ皆神ノ廣大ノ威德中ニ在リテ其範圍ヲ出ルヲ能ハス故ニ神ハ初ヨリ豫メ之ヲ知ルヲヲ須ヒサルナリ

○本論　プロタンノ說

アレキザンドリーノ猶太派ノ理學ハフィロン之カ領袖タリフィロン猶太人

ニシテ基督降生ノ前三十年ヲ以テ生レタリ其說ノ高遠深微ナルカ爲メニ世人之ヲ號シテ猶太ノプラトント稱スト云フ

フィロンノ說タル基督宗經典（ピーブル）ノ言フ所及ヒ亞細亞ノ理學ノ說ト希臘ノ諸說トヲ取リテ集テ之ヲ大成セシ者ノ如シフィロンハ蓋シプロタンノ及ヒ基督宗諸大德ノ先導者ニシテ三神一體ノ說ト庶物迸出（エマナシヨン）ノ說ト庶物皆神ヨリ迸出シタルト云ノ說ナリフィロン夙ニ之ヲ倡道セリ以爲ラク神ノ中自ラ又三神有リ曰ク父ペールナリ曰ク紹介ノ語ウエルブ、メナリ曰ク聖智ナリ而シテ所謂神ノ聖智ハ萬物ノ中ニ潛入シテ而シテ絲毫モ滅スルヲ無シ以爲ラク聖智ハ凡ソ神ノ本體ノ智ヨリ迸出シ來ル所ノ諸種ノ智ヲ統攝スル者ナリ神智ハ之ヲ譬ヘハ火光ノ如シ相傳ヘテ幾何ノ多キニ至ルモ自ラ減スルヲ有ルヲ無シ

フィロンノ說此ノ如シ故ニ世人之ヲ號シテ基督宗ノ諸大德ノ鼻祖ト稱スルモ誠ニ誣ニ非サルナリ

アレキザンドリーノ希臘派ノ理學モ亦強半フィロンノ說ニ淵源スト爲スト而シテプロタンノ實ニ此派ノ首師タリプロタンハアンモニアース、サッカースノ徒弟ナリ

プロタンハ基督降生ノ後二百有五年エジプトノリコポリーニ生レタリアレキザンドリーニ游ビアンモニアース、サッカースニ從フテ學ヒ尋テ羅馬ニ趨キ徒チ聚メ敎授スルコト二十五年相傳フプロタンノ羅馬ニ在ルヤ黌舍ノ名益〻顯ハレシュリヤン帝屢〻后ト俱ニ親臨セシト云フ

プロタン年五十ニシテ始テ意チ決テ書チ著ハシ紀元二百七年チ以テ沒セリ其書凡ソ五十四編弟子ポルフィル彙シテ九編ト爲セリ近時我カブーイエー氏之チ法郎西言ニ飜譯セリ

プロタンモ亦プラトント同ク神ノ德チ論スルニ於テ分テ兩部ト爲シ其一部ハ有チ主張シ相合シテ其神說ノ全體チ爲セリ其有チ論スル部ニ在リテハ凡ソ神德ノ有ス可キ者チ擧ケテ之チ載ス曰ク智ナリ曰ク福ナリ曰ク正ナリ猶ホ此類多シ

其無チ論スル部ニ在リテハ凡ソ人類及ヒ他ノ懷生ノ者ノ具有スル所ノ德チ數ヘテ神皆之有ルコト無シト爲ス其意以爲ラク凡ソ此レ皆神ノ完粹ノ德ニ稱ハスト

アレキザンドリー派ノ學士ハ皆以爲ラク神ノ德チ論スルニ於テ其無チ論スル部最モ高尙ニシテ尤モ神ノ德ニ適切ナルコチ得何ソヤ神ハ原因ナリ庶物ハ結果ナリ神ノ庶物ニ於ケルハ其高下尊卑復然相異ナリ故ニ凡ソ庶物ノ德ニ就テ神皆是ノ如キ有ルコト無シト云フ時ハ此高下尊卑ノ別チ表發スルニ於テ最モ較著ナルコチ得可ケレハナリ

プロタン以爲ラク凡ソ吾人ノ智慧ノ領略スルコチ得ル者ハ未タ以テ稱シテ神ノ德ト爲スニ足ラス其姑ク之チ言フ者ハ假リニ之チ形容スルニ過キサルノミ卽チ其言ニ曰ク「ラン」一ノ義卽チハ萬物皆之チ懷抱セザル莫シ而シテ一モ萬物ト類スル所無シ又曰ク汝若シ恍惚ノ際洞然トシテ第一ノ本原

卽チ神ノ謂ヲ見ルヿヲ得ルトキハ或ハ此ノ如シ彼ノ如シト曰フテ之ヲ形容スルヿヲ求ムルヿ勿レ一タヒ之ヲ口ニスルトキハ輙チ第二義ニ落チン夫レ下界庶物ニ係リテハ汝固ヨリ常ニ曰ク此ナリ曰ク彼ナリ曰ク此ノ如キナリ曰ク彼ノ如キナリト然ルニ神ハ夐然庶物ト類ヲ異ニス汝豈庶物ニ就テ用フル所ノ語ヲ用テ之ヲ形容スルヿヲ得ン哉

プロタン既ニ是言ヲ爲シ次テ「ビヤン、アン」一ノ至善ノ義ニシテ亦神ノ謂ヲ以テ迥カニ智ノ上ニ在リト爲ス其旨意前後極テ整齊ナリト謂フ可シ人或ハ曰クプロタン所謂神ハ思念無ク智識無ク生活無キ一死塊ノ空寂タル者ノミト是レ未タ善クプロタンノ書ヲ讀ミシト爲ス可ラスプロタンノ深意以爲ラク神ハ智ニ非ス何トナレハ神ハ更ニ智ヨリ尊キヲ以テナリトプロタンノ意初ヨリ神、智無シト謂フニ非サルナリ

プロタン曰ク思念ナル者ハ神ニ於テ果シテ何ノ用ヲ爲ス乎夫レ思念ハ凡ソ考察ノ力ニ賴リテ纔ニ己レノ何物タルヿヲ知ル者ニシテ始テ之ヲ須フ

之ヲ譬ヘハ目ノ如キハ光輝ヲ視ルヿヲ主トスル者ナリ若シ目卽チ光輝ナルトキハ復タ何ソ視ルヿヲ須ヒン哉夫レ反觀內照シテ以テ己レヲ視ルヿハ人ニ在リテハ誠ニ緊要ナリ若シ夫レ神ハ廣大無邊ニシテ上下四方皆己レナラサル莫シ此ノ如キ者復タ何ソ反觀內照スルヿヲ須ヒン哉

又曰クソクラット云ヘリ汝當ニ自ラ知ル可シト蓋シ反觀內照ノ謂ナリ顧フニ是語ヤ之ヲ神ニ用フ可ラス神ハ初ヨリ自ラ知ルヿヲ要セサルナリ又曰ク然リト雖モ神誠ニ自ラ知ルヿヲ要セサルカ爲メニ絕エテ自ラ知ルヿ無シト以爲フトキハ大謬戾ヲ致サン凡ソ知ラスト云フ者ハ必ス兩個相對立シテ後之ヲ見ル甲ノ者乙ノ者ヲ知ラス乙ノ者甲ノ者ヲ知ラサルノ謂ナリ若夫レ神ハ純乎一ニシテ對敵無キ者ナリ既ニ知ル所有ルヿヲ須ヒス亦知ラサル所有ルノ理無シ又常々己レノ外一物無キヲ以テ自ラ知ルヿヲ須ヒス之ヲ要スルニ吾人人類ノ所見ハ終ニ之ヲ神ニ當用ス可ラス

夫レ神自ラ知ルト曰フカ如キハ誠ニ神ノ威德ト相稱ハサル者有リ然レトモ

若シ單ニ神實ニ自ラ知ルノ無シト曰フトキハ其謬戻タル更ニ甚キ者有ラン
何ソヤ神ハ無始無終ノ最上智（シュプラー、アンテレクション）ナリ故ニプロタン
又曰ク神ハ自ラ其己レヲ覺ルト蓋シ覺ルトハ知ルニ比スレハ更ニ迅疾ニ
シテ更ニ微妙ナル有リ

プロタン又自ラ疑問ヲ設ケテ曰ク夫レ神自ラ覺ルトキハ所謂覺ト己レトノ
間少モ距離有ルノ無シ獨リ距離無キノミナラス覺ト己レト初ヨリ別物
ニ非ス果シテ然ルトキハ神ノ覺ハ其狀果シテ如何ソヤ曰ク願クハ余カ用フ
ル所ノ語ニ就テ之ヲ深思スル有ラン乎ヲ願クハ辭ヲ用テ意ヲ害スルノ勿
ラン乎ヲ凡ソ神ノ威德ニ係リテ言論スル者ハ措辭ノ間如何ニ思考スルモ
終ニ神ニ適セサル語ヲ爲サヽルノ能ハス他無シ凡ソ吾人ノ用フル所ノ語
ハ皆吾人相共ニ用フル所ニシテ初ヨリ神ノ爲メニ設クルニ非サレハナリ
故ニ每語ノ中勢ヒ言外ノ意ヲ寓セサルノヲ得ス

プロタンノ神說タルヤ獨リ神ヲ尊ヒテ之ヲ智慧ノ上ニ置キシノミナラス
亦之ヲ有ノ上ニ置ケリ但此一事ニ係リテモ前ノ智慧ノ論ト同ク世人動モ
スレハプロタンノ深意ニ通スルノ能ハス蓋シプロタンノ意以爲ラク神實
ニ有ノ上ニ在ルモ此ヲ以テ神果シテ虛無寂滅ノ物ナリト爲スニハ大謬ナ
リ蓋シプロタンノ意、有トハ質ノ義ニシテ限畫スル所有リ即チ無ト對スル
ノ語ナリ神ハ廣大無邊ニシテ限畫無シ故ニ有ノ語未タ以テ之ヲ形容スル
ニ足ラサルナリ

プロタン曰ク昔人モ亦曰ヘリ神ハ有ノ上ニ在リト然レトモ其意晦昧ニシテ
歎後ノ語（エニグマチック）ニ類スルヲ免レス余カ所謂神ハ有ノ上ニ在リトハ他無シ
凡ソ萬有ハ皆神ノ生スル所ナリ故ニ神ハ有ノ上ニ在リト曰フノ意ナリ又
神ノ事ヲ論スルニ於テ彼レ實ニ在リ（イルエー）ト曰フトキハ誠ニ神ニ稱ハストヲ爲
ス云々

プロタン以爲ラク神ハ天下之ヨリ儼在スル者莫シ其言ニ曰ク神固ヨリ儼
在スル凡ソ世界庶物ノ有ルヤ神ニ賴リテ有ルノヲ得ル者ナリ神奚ソ有ル

無キノ理有ラン哉但所謂有ルノ語未タ神ニ稱ハサルノミ
又曰ク神ハ萬物ノ本原ナリ凡ソ物皆神ニ本ツカサル莫シ故ニ神ハ言詮ヲ
以テ之ヲ求ム可ラス若シ神有リト曰ヒ神存スト曰ヒ若クハ神活スト曰フ
ヤハ皆神ト稱ハス他無シ有、存、活等ノ語ハ皆下界ノ語ナレハナリ云々
又アリストットノ所謂能力、行實ノ二者ノ如キモ神皆夐然其上ニ在リ蓋シ神
ハ所謂行實ノ中ニ於テ其能力ヲ懷抱スルヲ以テ其所謂行實ハ畢竟有爲ニ
シテ威德有ル能力ニ外ナラサルナリ顧フニプロタンノ說ノ新奇ナルハ此
等ノ處ニ在リ夫レ能ト云ヒ實ト云ヒアリストットト分テ二物ト爲セリ今プロ
タン之ヲ合シテ一ト爲ス此レ其論ノ尤モ高尙ニシテ極處ニ達セシ所以ナ
リ
夫レ所謂能力トハプラトン、アリストットト並ニ亦此ヲ以テ下界有形ノ庶物ヲ
稱シテ而シテ其旨意極テ詭秘ニシテ極テ曖昧ナリキ今プロタンハ純然有
爲現在ノ處ニ於テ所謂能力ヲ置キ之ヲ以テ神ヲ形容ス是ニ於テ乎所謂能

力ノ語一變シテ威力若クハ威德ノ義ヲ成シテ後世復タ之ヲ改ムルヿヲ得
サルヲ致セリ
是故ニプロタンヲ曰ク神ハ萬物ノ威德ナリトハ神ノ威德實ニ萬物ヲ生殖ス
ルノ謂ナリ古人所謂能力ノ謂ニ非サルナリ凡ソ能力ト云フ者ハ必ス稟ク
ル所有リ余カ所謂威德ハ正ニ之ト反シテ活潑有爲純然我ヨリ之ヲ施シテ
少モ障碍ヲ見サルノ謂ナリ

○第二　神ノ生產ノ義○三神體

プロタン神ニ係リテ論スル所有ルヿヲ於テ務テ生產ノ語（ジエネラシヨン）ヲ避ケテ用
ヒス以爲ラク神ノ廣大ノ威德ヲ汚損スル有リト蓋シ以爲ラク神ノ物ヲ作
リシヤ須フル所有リテ然ルニ非ス他無シ神固ヨリ己レニ足リテ外ニ待ツ
ヿ無ケレハナリ神又情欲ニ由リテ造リタルニ非ス又愛情ニ由リテ造リタ
ルニ非ス其言ニ曰ク「ラン」一ノ義卽ハ願欲スル所有ルヿ無シ若シ願欲スル
所有ルトキハ完粹豐備ナルヿ能ハス何トナレハ凡ソ願欲ト云フ者ハ己レノ

未タ有セサル所ヲ願欲スルノ謂ナレハナリ

神ノ物ヲ造ルヤ願欲ニ因ラサルヘカラス果シテ偶然トシテ之ヲ造レル乎プロタン曰ク世界庶物其道理ノ次序ニ合スルヿ此ノ如シ燦然タリ然ルヲ之ヲ一時偶爾ノ爲ニシテ絶エテ旨趣無シト爲スカ如キハ豈ニ理ナラン哉

然レハ則チ神ノ物ヲ造ルヤ避ク可ラサルノ理有ルニ因リテ然リト爲ス乎プロタン曰ク神ハ自由ニシテ避ク可ラサルノミ循フヿ無シ神ノ爲ニ正ニ無字ノ法律ニシテ卽チ正ニ避ク可ラサルノ理ナリ

然レハ卽チ神ノ物ヲ造ルヤ自ラ好ミテ之ヲ造リテ卽チ所謂自由ニ出タリト爲ス乎曰ク然リ但所謂自由ノ語猶ホ頗ル解釋ヲ須フルヿヲ要ス若シ所謂自由ヲ以テ一種廣大無邊ノ威德有リテ且ツ萬物ノ本原タル者ノ獨立不倚ノ業ト爲スキハ誠ニ可ナリ神ノ自由ノ如キ正ニ是ナリ若シ所謂自由ヲ以テ二ノ相反スル者ノ中ニ就テ思考選擇シテ自ラ決スルノ爲ト爲スキハ不可ナリ是ノ如キ者ハ人類ノ有スル所ノ自由ナリ神ノ自由豈是ノ如クナ

ル可ケン哉凡ソ思考選擇スル者ハ必スシモ常ニ理ニ合スルニ非スシテ或ハ時ニ錯マルヿ有リ嗚呼神ニシテ錯マルヿ有リト謂フテ可ナラン哉

プロタン曰ク故ニ曰ク汝果シテ神ノ惡ヲ爲スヿ能ハサルヲ見テ神ヲ以テ善ヲ爲スノ自由無シト爲ス乎夫レ神ニ在リテハ所謂威力トハ決シテ善惡若クハ美醜等ノ如キ反對ノ兩事ヲ爲スヿヲ得ルノ權ヲ謂フニ非ス是ノ如キ者ハ畢竟理ニ悖ルノ事ナリ神ノ有スル所ノ威力トハ永久不斷ノ物ニシテ其性タルヤ正ニ常ニ眞善ノ事ヲ爲シテ須臾モ錯誤無キニ在リ何トナレハ或ハ善ヲ爲シ或ハ惡ヲ爲シ或ハ美ヲ爲シ或ハ醜ヲ爲スヿハ吾人人類ノ如ク必ス常ニ善美ヲ爲スヿ能ハサルヲ者ノ事ナリ神豈是ノ如クナラン哉

然リト雖モ神ノ自由ノ斷行ハ決テ意ヲ經スシテ卒爾トシテ發スル者ニ非ス是レ蓋シ常々善ヲ爲シテ須臾モ爽フヿ無キ者ナリ何トナレハ善卽チ神ノ意欲ニシテ意欲卽チ善ナリ故ニ凡ソ神ノ爲ス所ハ皆善ナレハナリ

夫レ然リ故ニ凡ソ神ノ爲ハ自由ニシテ亦避ク可カラサルノ理ナリ更ニ之

ナ言ヘハ所謂神ノ自由ト云ヒ神ノ避ク可カサルノ理ト云ヒ皆吾人人類中用フル所ノ言語ノ能ク詳悉スル所ニ非ス

プロタンノ又曰ク神ノ意欲固ヨリ常ニ善ヲ爲スニ定マリテ爽フコト無シ所謂一ニ定マルナリ然レ𪜈神ノ所謂一ニ定マルコトハ決シテ夫ノ避ク可ラサル理ニ循フニ非ス他無シ夫ノ避ク可ラサルノ理ハ神有リテ後生セシ者ニシテ神ノ意欲即チ所謂避ク可ラサルノ理ナレハナリ

是故ニプロタンノ意以爲ラク神ノ物ヲ造ルヤ無上無比ノ獨立不倚ノ力ニ因リテ之ヲ作レリ無上無比ノ獨立不倚ノ力是正ニ神ノ本質ナレハナリ夫レ然リ故ニ凡ソ産殖ノ事ハ下界ノ物ニ在リテモ極テ奇妙不可思議ノ秘諦ナリ蓋シ生殖ノ一機ハ其本原正ニ神ノ本質ノ中ニ在リ其奇妙不可思議ナルコト亦宜ナラネ乎

プロタンノ又以爲ラク神ノ生殖ノ爲ハ尤モ奇妙ニシテ思議ス可ラス然レ𪜈理學士タル者ハ當ニ務メテ之ヲ推考シテ之ヲ言說スルコトヲ求ム可シ但吾

人人類中用フル所ノ語ハ直チニ此事ヲ說破スルニ足ラサルヲ以テ唯宜ク想像ヲ以テ之ヲ窺フ可キノミ

夫レ神固ヨリ物ヲ產スルコトヲ要セシニ非ス然レ𪜈徒ニ獨立不倚ノ力ヲ養ヒ深藏晦韜シテ以テ自ラ其獨ヲ守ルコトモ亦神ノ須要トスル所ニ非ス是ニ知ル神本ト物ヲ造ル當ラサルノ理無シ物ヲ造ル當キノ理ハ神本ト之有リ此即チ所謂善ナリ善ニ勝サル所ノ避ク可ラサルノ理ニ非サルナリ更ニ之ヲ言ヘハ神ハ至善ナリ故ニ其世界庶物ヲ造ルヤ正ニ善ヲ作セシナリ

プロタンノ「エネアード」ノ書中ニ曰ク凡ソ生物能ク其豐備ノ候ニ達スル作ハ皆其獨ヲ守ルコト能ハスシテ必ス生殖スル所有リ是ノ如キ者ハ獨リ事物ノ理ヲ選擇スルコトヲ知ル者即チ吾人人類ノミ然ルニ非スシテ夫ノ思考ノ能ヲ有セサル者昆蟲草木ト雖モ皆然ラサル莫シ獨リ昆蟲草木ノミナラス即チ生氣無キ者ト雖モ猶ホ自ラ然ル者有リ夫ノ火ヲ看ス乎物ニ就テ其熱ヲ傳フルコトハ正ニ自ラ發越シテ以テ生殖スルコトヲ求ムルニ

非ス乎夫ノ霜雪ヲ看ス乎物ニ就テ其冷ヲ傳フルヿハ亦正ニ自ラ生殖ス
ルヿヲ求ムルニ非ス乎
凡ソ人類禽獸草木及ヒ水火ノ屬ノ各々皆自ラ發越シテ以テ生殖スルヿヲ
願フ者ハ他無シ彼レ皆知ラス識ラス造化主宰ノ爲ニ傚ヒ以テ夫ノ善ヲ
傳ヘ以テ夫ノ不滅ノ性ヲ求ムル者ナリ夫レ下界庶物ニシテ皆能ク自ラ
生殖スルヿハ夫ノ完粹豐備ノ極ニシテ且ツ至善ノ德ヲ具スル神タル者
何ソ永ク孤獨ヲ守リ以テ自ラ喜フノ理有ラン哉若シ然ルヿハ是レ神其
德ヲ重嗇シ悋テ肯テ分タサルナリ是レ神威力無クシテ已ムヿヲ得ス其
無爲寂滅ニ安ンスルナリ是レ豈理ナラン哉
是ニ由リ之ヲ觀レハプロタンモ亦タプラトント同ク造物ノ業ヲ以テ神ノ
慈善ノ德ニ歸スル者ナリ但プロタンノ所謂善ハ即チ神ナルヲ以テプラト
ンノ云フ所ニ比スレハ更ニ深切ナリ蓋シプラトンハ善ヲ以テ神ノ一德ト
爲スプロタンハ然ラズシテ正ニ善ヲ以テ神ト爲シテ所謂神ノ完粹豐備ナ

ルヲ正ニ其至善ノ德ノ充物セル者ニシテ徒ニ之ヲ愛シ之ヲ惠スト謂フノ
ミニ非サルナリ
然リト雖モプロタンモ亦或ハ時ニ夫ノ惠若クハ愛ノ說ニ近似スルヿ有リ
蓋シプロクンノ夫ノ神ノ爲ニ係リテ甚タ愛ノ語ヲ用フルヿヲ喜ハサル所
以ノ者ハ他無シ以爲ラク凡ソ愛ト云フ者ハ慕望スル所有リ然ルニ神ハ己
レニ足リテ外ニ待ツヿ無シト是レ其愛ノ語ヲ用フルヿヲ諱ム所以ナリ請フ玆ニプラトン、プロタン二人ノ論ノ相合スル所
ト相異ナル所トヲ擧ケテ之ヲ比照セン
プラトン曰ク神固ヨリ害スル所有ルヿヲ欲セス曰ク神固ヨリ衆物ノ爲メ
ニ利ヲ圖ルヿヲ喜フト此說ヤプロタンモ亦之ヲ執ル此レ其相同キ處ナリ」
プラトンハ則チ以爲ラク神ノ物ヲ造ルヤ之ヲ惠スル有ルヿヲ欲シテ然リトプロ
タンハ則チ以爲ラク神ノ物ヲ造ルヤ其至善ノ德ノ外ニ發越スルニ由リテ
然リ豫メ仁スル所有ラントト欲シテ然ルニ非ス是レ其相異ナル處ナリ顧フ

コプロタン未タ神ノ完粋ノ德ト其愛惠ノ情トヲ合シテ之カ說ヲ爲スコト能ハス故ニ遂ニ云々ノ言ニ止マルノミ

是故ニプロタンノ說ニ從ヘハ神ノ世界庶物ヲ造作セシコトハ實ニ眞ニ之ヲ造作セシト謂フ可ラスシテ正ニ世界庶物自然ニ神ヨリ迸出セシト謂フ可キナリ蓋シ東方諸國庶物迸出ノ說（エマナシヨン）ト相類スル有リ基督宗倡フル所ノ神ノ如キハ眞ニ所謂愛情ト自由トニ因リテ世界庶物ヲ造作セシ者ナリプロタンノ所謂神ハ其本然ノ性ニ由リテ自然ニ之ヲ造作セシ者ニシテ而シテ神ノ性タルヤ旣ニ迴ニ自由ノ上ニ在リ亦迴ニ夫ノ避ク可ラサルノ理ノ上ニ在リ更ニ之ヲ言ヘハ神ハ唯其レ在リ故ニ斯ニ之ヲ造クレリ

然リト雖モ世人或ハプラトン、プロタンノ說ノ相異ナル處ヲ張大ニシテ終ニ是ニ人ヲ以テ全ク相反スト爲スコト至ルハ亦其實ヲ得ルニ非ス蓋シプロタンノ深意ヲ察スルニ以爲ラク神ノ物ヲ造クルヤ本ト自ラ無上無比ノ至理有リテ斯ニ之ヲ作レリ而シテ所謂無上無比ノ至理ハ自由愛情及ヒ夫ノ避ク可ラサルノ理トノ三ノ者ヲ以テ成ル者ナリ故ニ若シ此三ノ者ノ一ヲ取リテ其餘ヲ舍ルカ若クハ其二ヲ取リテ其餘ヲ舍ルトキハ未タ以テ至理ト爲スニ足ラス更ニ之ヲ言ヘハプロタンノ意ニ在リテハ無上無比ノ至理卽チ神ナリ

然レハ則チ神ノ庶物ヲ造作スルヤ其狀如何曰ク神其廣大ノ威德ノ中ニ於テ凡ソ成就スルコトヲ得可キ善ヲ擧ケテ皆之ヲ懷抱セサルヿ莫シ是ニ於テ其物ヲ造ルヤ物ノ高下尊卑ニ隨フテ善ヲ施スコト亦自ラ差等有リ是レプロタン造物ノ說ノ大本ナリ

然レハ則チ神ノ物ヲ造クルヤ先ツ下級ノ物ヨリ始メ漸次ニ上リテ高級ノ物ニ至リタル乎將タ先ツ高級ノ物ヨリ始メテ漸次ニ降リテ下級ノ物ニ至リタル乎若シ下級ノ物ヨリ始ムト爲スキハ是レ者ニ有形ノ物ヲ造リ次ニ精神ヲ造リ次ニ智慧ヲ造リシナリ夫レ智慧ト云ヒ愛情ト

云ヒ是レ皆世界庶物ヲシテ漸次ニ化成シテ已ムヿ無ク庶物ト人類トヲシテ漸次ニ進ミテ神ノ完粹ノ域ニ近ツカシムル所以ノ具ナリ

夫レ是ノ如クシテ有形ノ粗迹ヨリ漸次ニ進ミテ無形ノ神ニ歸入スルヿハ「プロタン」モ亦此說有リ但神ノ造物ノ次序ヲ論スルニ於テハ「プロタン」以爲ラク神實ニ高級ノ物ヨリ始メテ漸次ニ降リテ下級ノ物ニ至レリト更ニ其故ヲ論セン

夫レ神ノ最モ首ニ其活潑聰慧ノ智ヲ奮フテ以テ造作セシ所ノ者ニシテ而シテ其物頑冥不靈ノ有形物タルヿ豈理ナラン哉「プロタン」以爲ラク神ノ最モ首ニ生殖セシ所ノ者ハ凡ソ庶物ノ中ニ就テ最モ完粹無疵ニシテ神ニ肖似スル者ナリ此レ理ニ於テ得タリト爲スニ似タリ卽チ其言ニ曰ク善卽チ神ノ義蓋シ其完粹豐備ノ腹中ヨリシテ一個ノ物ヲ產出シテ而シテ此物ヤ其神ト異ナルヿ極テ些少ニシテ而シテ實ハ神ト別ナルニ非ス其名ヲ「フィース」兒子ノ義ト云フ然ルニ此善ト此「フィース」トノ下又自ラ一物有リテ其完粹豐備ノ度

級直チニ此善ト此「フィース」トニ亞ク者有ル可シ且ツヤ此物一旦生スルモ此善ト此「フィース」トノ威德ニ於テ少モ減スル所有ルヿ無カル可シ果シテ是ノ如クナルトキハ此物宜ク上ノ二ノ物ニ次テ生ス可キナリ是レ卽チ精神若クハ智慧ト稱スル所ノ者ナリ

夫レ精神ノ物タル其兒卽チ「フィース」ト別物ナリト雖モ然レトモ其相異ナルヿ實ニ些少ニシテ殆ント分別ス可ラス蓋シ亦靈慧ナリト謂フ可シ而シテ此物又世界庶物ヲ產出セリ夫レ如クニシテ凡ソ神ノ其善ヲ頒與ス可キ者迭次ニ生出シテ遺漏有ルヿ無シ此レ卽チ「プロタン」造物ノ說ナリ

然レハ則チ是ノ如クニシテ世界ノ事果シテ終レリト爲ス乎曰ク然ラス蓋シ神ノ物ヲ造ルニ於テ其最モ後ニ居ル者ハ其完粹ノ善ヲ享クルヿ最モ寡キ者ナリ顧フニ此物ヤ宜ク常ニ是ノ如クナル可ラスシテ宜ク漸次ニ進暢宣發シテ直チニ其上ニ位スル者ノ中ニ進入シ是ノ如クニシテ已マス以テ終ニ粹然至純ノ域ニ透徹ス可キナリ此レ所謂庶物進闡ノ說ナリ

夫レ然リ故ニ凡ソ下界ノ物ノ中ニ就テ其最下級ニ居ル者ト雖モ已ニ生スルトキハ輙チ其之ヲ生セシ者ニ嚮往シテ之ト齊シカランヿヲ求メ更ニ又之ト一體ヲ爲スヿヲ求ム是ノ如クニシテ漸次ニ益〻完粹ニ赴キ層累シテ上リ其末ヤ無上無比ノ神ノ中ニ復歸シテ後已ム而シテ是ノ如キ者ハ獨最下級ノ物ノミニ非ス凡ソ物皆然ラサル莫シ卽チ神ノ最モ首ニ生セシ所ノ「フィース」ノ如キモ已テニ生ルヽトキハ便チ直チニ其父ノ腹中ニ歸入スルヿヲ求メテ寸時モ已ムヿ無シ

「フィース」既ニ夫ノ智慧ヲ生スルトキハ此智慧ヤ亦輙チ進ミテ其之ヲ生セシ所ノ「フィース」ノ腹中ニ歸入スルヿヲ求ム是ノ如クニシテ凡ソ物一ニハ以テ生出シ一ニハ以テ歸入シ一ニハ以テ下降シ一ニハ以テ上昇シテ片時モ停滯有ルヿ無シ是ニ知ル凡ソ物、神ヨリ出ルト曰フト雖モ實ニ出ルニ非ス他無シ諸級ノ物已テニ出ルトキハ輙チ其始ニ復ヘルヿヲ求メテ迭次ニ上昇スレハナリ

夫レ是ノ如シ故ニ凡ソ神ノ造出スル所ノ物各〻其級ノ高下ニ循フテ凡ソ善ノ以テ享受ス可キ者ハ皆之ヲ享受シテ欠クル所無シ是ニ知ル善ハ卽チ世界庶物ノ由リテ立ツ所ナルヿヲ若夫レ惡ハ特ニ幻影ノ游離スル者タルニ過キスシテ一タヒ善ノ光輝ニ遇フトキハ消散シテ復タ迹ヲ留ムルヿ無シ

以上論スル所ニ由リテ之ヲ推ストキハ世界庶物ノ狀態ニ係リプロタンノ說知ル可キノミ蓋シ世界自ラ二箇ノ境域有リ一ハ無形精靈ノ物ノ境域ニシテ一ハ諸有形ノ物ト人類トノ境域ナリ無形精靈ノ物ハ已ニ其生產ノ業ヲ成シテ而シテ有形ノ物ハ常々其復故ノ業ヲ務メテ未タ已マス蓋シ一ハ下降シ一ハ上昇シ一ハ生產シ一ハ復故シテ以テ世界ノ運動ヲ化成スル是レナリ

神ノ物ヲ造ルヨリシテ三體神ノ事起ル卽チ神ノ最モ首ニ產スル所ハ夫ノ智慧ナリ是ニ於テプロタン一譬ヲ設ケテ曰ク吾儕一タヒ頭ヲ仰テ天ヲ望ミ衆星ノ爛燦タルヲ觀ルトキハ必ス其之ヲ作リシ者ノ果シテ何ノ狀ナルカ

ナ想像セサル無シ卽チ吾儕夫ノ虛靈ノ智慧ノ境界ナ思考シテ其靈妙ナルコ感スルヰハ亦必ス之ナ生セシ所ノ大父卽チ神ナ想像シテ嘆シテ言フ凡ソ此靈妙不可思議ノ智慧ハ果シテ誰ノ造乎ト又言フ夫レ此「フィース」ヤ其靈妙ナルヿ此ノ如ク其至リテ其完粹豐備充盛活潑ナルヿ皆神ノ賜フ所ナリ顧フニ此物ハ果シテ安ク𠮟生レタル乎又其生スルヤ何ノ狀ナ爲セシ乎

夫レ此智慧ナ生產セシ所ノ至極ノ本原ハ本ト智慧ニ非ス是レ固ヨリ智慧ニ超過スル者ナリ何トナレハ智慧ハ畢竟此本原ノ兒子（フィース）ナレハナリ

プロクン又曰ク智慧ハ直チニ其大父ノ傍ニ侍ス何トナレハ彼レ從フテ其靈慧ノ識ト其充物盈盛ノ力トナ稟受シテ以テ自ラ養フヿナ要セハナリ

又曰ク智慧ハ直チニ神ニ亞ク者ナリ若夫レ神ハ物ノ大本ニシテ一切別ニ須要トスル所有ルヿ無ク卽チ靈慧ノ識ト雖モ亦以テ之ナ要スルヿ無シ

世人往々言フプロクンノ所謂父ハ全クプラトンノ所謂世界ノ父ト相同シト今此段ナ玩味スルヰハ此言終ニ謬ルヿナ免レス蓋シプロクンノ意以爲ラク「ラン」一ノ義卽チ神ナリハ父ナリ神語ウエルブ卽チ智慧ハ子（フィース）ナリト是レ基督敎言フ所ト相同シプラトン云フ所ノ父ト同シカラス

智慧又次キニ精神ナ生產スト蓋シ精神ハ智慧ノ言辭ウエルブニシテ亦行實アクトナリ是猶ホ智慧ノ夫ノ神ニ於テ亦其言辭ニシテ且ツ行實ナルカ如シ皆使役ナ爲スノ謂ナリ

是ニ擧クル所ハ卽チアレキザンドリー派ノ理學ニ係ル三神一體ノ說ナリ而シテ三ノ者其位級相齊シカラサルハ他無シ其生出ノ時期自ラ前後ノ別有ルナ以テナリ夫レ是三ノ者位級相齊シカラサルモ其不滅ノ性ニ至リテハ則チ相同シ顧フニ三ノ者ノ中ニ就テ第一ノ者ハ卽チプラトンノ所謂神ナリ第二ノ者ハアリストットノ所謂神ナリ卽チ智慧第三ノ者ハセノン家學士ノ所謂神ナリ

夫レ此三ノ者相異ナリト曰フト雖モ實ハ一體ナ相成シテ分離ス可ラス

智慧ハ其父トスル所ノ善ヲ愛慕シ精神ハ其父トスル所ノ智慧ヲ愛慕スル而シテプロタンノ意以爲ラク是レ三神ト曰フト雖モ實ハ一神ナリ更ニ精細ニ之ヲ言フトキハ善卽チ神ナリ若夫レ智慧ト精神トハ畢竟神ノ德タルニ外ナラス

夫レ智慧ナリ精神ナリ神ノ有スル所ノ威力ノ直チニ外ニ著ハルヽ者ニシテ其著ハルヽヤ自由ニシテ且ツ避ク可ラサルノ理ニ循フ是レ其奇妙不可思議ナル所以ナリ

プロタンノ曰ク汝試ニ中央ノ一物ヲ思ヘ是レ卽チ神ナリ夫レ是中央ノ物ノ周圍自ラ赫燿タル一圓球ノ在ル有リ而シテ是圓球ノ周圍又自ラ赫燿タル一圓球ノ在ル有リ是正ニ三神一體ノ說ナリ顧フニ此說ヤ正ニニセ‖ノ兆象（サンボール）譯者曰ク有形ノ物ヲ用ヒテ無形ノ理ト意ヲ同クスプロタン又曰ク中央ノ一物ハ卽チ至善卽チ神ナリ第一ノ球ハ智慧ナリ第二ノ球ハ精神ナリ夫レ第一ノ球ハ之チ中央ノ物ヨリ分拆ス可ラス第二ノ球ハ之

チ第一ノ球ヨリ分拆ス可ラス故ニ曰ク相異ナリト雖モ而モ一體ヲ相爲シテ分離ス可ラスト

夫レ此三神ノ中自ラ永久不滅ノ性エテルコテー廣大無邊ノ性インマンシテー溥博ノ性ユニウェルサリテー及ヒ無限ノ性アンフィニーヲ具有ス云々顧フニ此無限ノ語ハプラトン常ニ專ラ之ヲ有形ノ物ニ用ヒシノミプロタンハ亦之ヲ神ニ用ヒ以テ神ノ威力ノ限量ス可カラサルヲ示メセリ

プロタンヨリ前無限ノ語アンフィニーヲ有限ノ語デフィニーニ對シテ其說猶ホ其能ト實トヲ合シテ一ト爲セルカ如シ是ヨリ以來世人皆神ノ威德ヲ贊スルニ於テモ亦無限ノ語ヲ用フルニ至レリ

夫レ是ノ如クナリト雖モ智慧ト精神トノ二者ハ終ニ夫ノ本原ナル善ニ比シテ卑シト爲スヲ免レス何トナレハ善能ク是二者ニ與フルニ不滅ノ性無限ノ性ヲ以テスルモ之ニ與フルニ純乎單一ノ性ト至精至粹ノ性ト

チ以テスルヿ能ハサレハナリ夫レ此二性ハ曾ニ神ノ德ノミニ非スシテ卽チ正ニ神ナリ

○第三　神ノ世界庶物ヲ造ル事及ヒ庶物ノ神ニ復歸スル事

夫レ精神ヨリシテ庶物ニ移ルヿ是之ヲ無限ノ物ヨリシテ有限ノ物ニ移ルト謂フ蓋シ下降ノ義ナリ

プロタン夫ノ智慧及ヒ精神ノ生產ト世界庶物ノ生產トノ間ニ於テ務テ別チ置クヿヲ求メテ以爲ラク「ラン」一ノ義卽チ神ノ謂ハ光輝ノ本原ナリ故ニ智慧ト精神トハ兩箇ノ圓光ニシテ之ヲ光輝ノ本原ヨリ分離セント欲スルモ得可ラス若夫レ世界庶物ハ本ト黯黑ノ一球ニシテ凡ソ其有スル所ノ光輝ハ皆精神ノ反射ニ因リテ之ヲ獲ル者ナリ又以爲ラク凡ソ物皆神ニ復ラサル莫シ然レハ智慧及ヒ精神ノ神ニ歸入スルヤ寂然トシテ動搖有ルヿ無シ若シ夫レ有形庶物ノ生產シ及ヒ復故スルヤ並ニ常ニ動盪シテ寂靜ナルヿ能ハス且ツ前ノ者ノ神ニ歸入スルヤ永劫ト宇宙ノ外ニ行ハル後ノ者ノ神ニ歸入

スルヤ永劫ト宇宙ノ中ニ行ハル他無シ本ト不滅ノ性無キヲ以テナリ

精神ノ生出スルヤ凡ソ靈慧ニシテ不滅ノ性有ル者ノ生出ハ斯ニ於テ畢ハレリ而シテ精神ノ中自ラ有形ノ庶物ノ理ヲ包在スル有リ是ニ於テ精神又遂ニ之ヲ生產スルヲ致セリ

凡ソ此ノ如キ者プロタンノ造物ノ說ナリ

神ノ威德ノ說ト及ヒ世界皆善ノ說オプチトコ（ミスム）ト意ヲ同ウス然レハプロタン是ニ於テ一種其創意ニ係ル所見有リ蓋シ人或ハプロタンニ問フテ曰ク世界庶物皆善ナルキハ何ニ由リテ此世界種々ノ災害阨難有ル乎何ニ由リテ此世界種々ノ惡有ル乎プロタン答テ曰ク試ニ一ノ不完不粹ノ物ヲ把リテ之ヲ觀ヨ吾儕必ス其是ノ如キヲ悼悔シテ已マス是時ニ方リテヤ當ニ此物ノ未タ生セサルノ前果シテ如何ナリシヤ此物漸次化成スルノ後果シテ如何ナルヲ想像ス可シ夫レ其未タ形ヲ蒙ムラサルノ前ニ在リテヤ其虛靈精粹ニシテ少涴汚無カリシヿ知ル可キナ

リ其既ニ化成スルノ後ニ及ヒテハ其醸熟豐備ニシテ少渣滓無キヿ亦知ル可キナリ想フテ是ニ至ルヰハ大ニ我カ心ヲ慰スルニ足ラン

夫レ物ノ初テ生スルヤ如何ニ不完不備ナルモ必ス更ニ完粹ニシテ更ニ豐備ナル者ヨリ生ス而シテ其之ヲ生スル者ハ既已ニ其種族中爲ス可キ所ノ進歩ヲ爲シ得タル者ナリ物ノ既ニ醸熟スルヤ輒チ方ニ其初ニ還リテ以テ不完不備ノ域ヨリ更ニ完備ノ域ニ進ムヿヲ求ムル者ナリ且ツ夫レ所謂復故ノ業ハ愈〻進ミテ愈〻已マス終ニ夫ノ庶物ノ大本原ニ歸入スルニ至ルヲ以テ其物如何ニ卑下ナルモ必ス竟ニ無上完備ノ地ニ透徹スルヿヲ得可シ

是ニ由リテ之ヲ觀レハ凡ソ物如何ニ卑汚ナルモ其前ヲ顧ミ及ヒ其後ヲ望ムヰハ必ス精粹ノ極致ノ在ルヲ見ル故ニ其不完不備ナルヲ嘆息スルハ畢竟其現時瞬間ノ狀態ヲ嘆息スルニ外ナラサルナリ

是ニ由リ之ヲ觀レハプロタンノ庶物ヲ以テ皆善良ナリト爲ス所以ノ者知ル可キノミ彼レ其庶物ノ迭次相生殖スルノ間ニ於テ凡ソ其種族中有スル

ヿヲ得可キ所ノ完備ノ度ハ皆之ヲ得タリト爲ス卽チ一小蟲ノ如キ其狀態如何ニ醜惡ナルモ現時其有スルヿヲ得可キ完備ノ度ハ亦之ヲ得タル者ナリ又其既ニ生スルノ後ニ及ヒテ各々皆其本ニ歸リテ卽チ最上完備ノ地ニ進ムヿヲ求ム故ニ曰ク世界庶物皆善ナリト

夫レ世界庶物其過去其現時其將來並ニ常ニ其當下得可キ所ノ完備ノ度ハ必ス之ヲ得卽チ目前或ハ少害惡ノ存スル有ルモ夫ノ世界庶物浸化醸熟ノ理ニ因リ漸次ニ退縮シテ終ニ跡ヲ斂ムルニ至ランプロタンノ世界皆善ノ說オプチミスム蓋シ是ノ如シ

然リト雖モ世界庶物ノ復故ノ塗ニ上リテ以テ本原ニ歸入スルヿ其狀如何プロクン曰ク彼ノ至善卽チ神ノ光輝ハ凡ソ庶物ノ中皆浸入シテ居ヲ占メサルヿ無シ是ニ於テ庶物中包在スル所ノ光輝自ラ珍愛シ自ラ護持シ而シテ又他物中包在スル所ノ光輝ヲ愛シテ之ト一體ヲ爲サント欲ス他無シ凡ソ光輝ノ類ハ皆彼ノ至善ノ一片段ナルヲ以テ此光輝ノ彼ノ光輝ヲ愛スルハ畢

竟一ノ己レヲ以テ他ノ己レヲ愛スルナリ其之ヲ愛慕スルヿ亦宜ナラスヤ」

其レ此ノ如クニシテ甲物有スル所ノ光輝ハ乙物ノ光輝ヲ愛シ丙ヤ丁ヤ皆然ラサル莫シ是ノ如クニシテ迭ニ昇リ互ニ進ミ終ニ以テ大本原ニ歸入スルナリ是ニ知ル庶物ノ最卑下ナル者進ミテ其上級ノ者ト合シ上級ノ者又其上級ノ者ト合シ次ヲ追フテ進ミ以テ復故ノ業ヲ爲スモ實ハ彼ノ至善自ラ進ミテ以テ此業ヲ爲スニ外ナラサルヿヲ何ヲ以テ之ヲ謂フヿヲ曰ク彼ノ庶物ノ能ク迭次ニ浸化スルハ他無シ其中自ラ光輝ノ在ル有リテ能ク他ノ善ノ光輝ヲ愛スルカ故ナリ而シテ所謂光輝ハ皆至善ノ片段ナルヲ以テ是レ至善正ニ一物ヨリ進ミテ他物ニ入ルノミ故ニ曰ク庶物復古ノ業ハ神ノ至善正ニ自ラ之ヲ成スト

プロクソ曰ク凡ソ吾人心身中ノ一處極テ神ニ肖似スル者有リ而シ吾人正ニ此處ニ賴リ以テ神ト一ヲ相爲スヿヲ求メテ自ラ知ラサルナリ之ヲ譬ヘハ黃金ノ繩ヲ以テ吾人ノ身ヲ繫テ之ヲ神ニ懸ルカ如シ故ニ吾人一タヒ首

ヲ回ラシテ神ヲ顯望スルヿハ隱然トシテ一大援助ヲ獲ルカ如キヿヲ覺ユルハ此レカ爲メナリ

夫レ庶物復故ノ大理ハ智識ト愛慕トノ二者ノ進ミテ已マサルヿヲ觀テ見ルヿヲ可シ而シテ此二者益〻進ミテ其極ニ到ルヿハ一變シテ八面玲瓏（エキスターズ）大歡喜ノ境ト爲リテ而テ智識愛慕共ニ合シテ一ト爲ル是故ニ吾人ノ身ヲ處シ道ニ進ムヤ始ハ務テ實踐ノ行ヲ勉メ次ニハ靜察深念ノ工夫ヲ運シ終リニ乃チ恍然大悟ノ神境ニ入ル是レ所謂復故ノ業ノ進歩ナリ

然リト雖モ所謂靜觀深念ハ何物ヲ以テ目的ト爲ス乎前ニハプラトン、アリストツト並ニ曰ク靜觀深念ノ工夫ハ智ノ目的トスル所ノ美トノ二諦ヲ以テ目的ト爲スト若夫レプロクソノ美ノ說ニ至リテハ古今學士ノ議論ノ最モ深奥ナル者ノ一ナリ請フ更ニ之ヲ詳ニセン

凡ソ美ト云フ者ハ物體ヲ包轄スル所ノ形態ノ謂ナリ物體ヲシテ美ノ體ノ

純一ナルニ倣ハシムルノ謂ナリ凡ソ美トハ精神ノ發シテ軀殼ニ著ハルヽ者ナリ智慧ノ發シテ精神ニ著ハルヽ者ナリ

凡ソ此レ皆「エネアード」中ノ語ナリ

凡ソ光輝ノ屬ハ何故ニ美ナル乎曰ク是レ諸物體中ニ就テ最モ活潑瀏灕ニシテ無形ノ精靈ニ近キヲ以テナリ是レ精神ノ軀殼ニ於ケルカ如シ蓋シ美物一旦吾カ耳目五官ニ觸ルヽ有ルキハ吾人ノ心必ス感發シテ之ト一體ヲ爲スコヲ思フテ竊カニ自ラ其物ノ實ニ我ト質ヲ同クスルコヲ想フ然ル所以ノ者ハ何ソヤ夫レ吾人ノ乎取リテ以テ己レカ有ト爲スヿヲ精神本ト迥カニ有形諸物ノ上ニ位スルヲ以テ苟モ外物ノ表ニ於テ我ト質ヲ同クスルカ或ハ我カ質ニ肖似スル者有ルヲ見ルキハ我カ心恍然トシテ奮起シ爲メニ自ラ反省シ自ラ內觀シ是ニ於テ外物ノ中ニ於テ忽然其己レト相遇フカ如キヲ覺ユ之ヲ例ヘハ吾人耳ニ音樂節奏ノ美ヲ聆クキハ我精神恍然トシテ自ラ其中有スル所ノ節奏ヲ感受スルヿヲ覺ユ是ノ如クニシテ外物ノ中ニ於テ美貌ニ接スルキハ我カ心自ラ其我レヲ牽引スル有ルヲ覺ユ蓋シ凡ソ美貌ナル者ハ頑鈍不靈ノ物ヲ裁成シ其レヲシテ觀ル可ラシムルノ謂ナリ是ニ於テ之ヲ觀ル者其精神忽チ發越シ其想像ノ力ニ賴リテ其物有スル所ノ諸種ノ部分ヲ安排シテ之ヲ己レカ心中具スル所ノ分離ス可ラサル本來ノ形貌ニ計較シ其眞ニ相合スル有ルヲ知ルヤ然後之ト親和融洽シテ一體ヲ相爲サント欲ス是ニ知ル凡ソ物ノ美ヲ愛スルハ其我カ精神中有スル所ノ美ノ典型ト合スル有ルヲ愛スルニ外ナラス

夫レ形貌ハ美ノ寓スル所ナリ而シテ軀體ノ美ハ其精神ニ因リテ其形ヲ獲ル者ナリ精神ノ美ハ又其智慧ニ因リテ其形ヲ獲ル者ナリ蓋シ智慧ナル者

ハ精神ノ形貌ニシテ正ニ美ノ體ナリ故ニ智慧ヨリ以往ハ復タ美有ルヿ無クシテ唯美ノ本原卽チ善有ルノミ

凡ソ美觀ノ我カ智慧チ感スルヤ之チ牽引シテ更ニ其上ニ昇ラシムルヿチ求ムプロタン乃チ曰ク吾人ノ一美觀ニ遇フヤ隱然敬服ノ念チ發シ愉悅ノ情チ興シ願欲愛慕ノ心油然トシテ起リ人チシテ恍然自ラ省セサラシムルニ至ル卽チ凡ソ無形虛靈ノ美我カ精神チ感動スルヿモ亦當ニ是ノ如クナルヿ可クシテ現ニ往々此ノ如キチアリト亦「エチアード」書中ノ語ナリ

夫レ美觀ノ我カ精神チ感動シテ而シテ之レカ愛慕ノ情チ惹起スルヿハ其獨力ニ賴リテ然ルヿ乎將タ別ニ美觀ノ力チ爲スヿ所ノ者有リテ存スル乎吾人ノ一美觀ニ遇フヤ更ニ其美ノ輝光ノ奥ニ於テ此輝光チ發スル所ノ寵ノ者有ルヿチ見ルヿ無キヿ乎夫レ善ハ又美ノ本原ニシテ凡ソ美ノ觀ル可キハ他無シ其光彩チ善ニ假ルニ由リテ爾リ我カ精神ノ一美觀ニ遭フヤ旣ニ感嘆スル後徐々ニ其美ノ由リテ出ル所ノ善ニ透徹スルヿ無キ乎夫レ美ハ形ノ中

ニ存スル更ニ之チ言ヘハ美ハ卽チ形ナリ然レモ我カ智慧ノ明一タヒ美ノ形貌チ認視スルノ後更ニ進ムヿ一步シテ必ス美ニ超過スル所ノ本體ニ達スルヿチ求ムル是ノ如キ者ハ何ソヤ蓋シ我カ精神苟モ一形貌ノ美ニ遇フトキハ必ス其上ニ於テ更ニ相勝サル形貌ノ美ノ在ルヿチ覺知スル更ニ之チ言ヘハ有限ノ物ノ上更ニ無限ノ物ノ在ルヿチ覺知スレハナリ

夫レ智慧ノ目的トスル所ハ美ナリ而シテ愛情ノ目的トスル所ハ善ナリ美ハ我特ニ之チ觀望スルヿチ欲スルニ過キス若夫レ善ハ我レ直チニ進ミテ之ト一體チ相爲スヿチ願フ情ノ益一切ナル所以ナリ

プロタン曰ク凡ソ吾人最上ノ願欲ノ物卽チ至善ノ謂ハ唯其一モ形體無ク一モ狀貌無キチ以テ是チ以テ我ノ之チ願欲スルヿ甚シクシテ我レノ之チ愛慕スルヿ甚シキナリ

又曰ク是物ノ我ノ愛慕ノ念チ攪起スルヤ初ヨリ度級有ルヿ無ク限畫有ルヿ無シ其物タル本ト度級ト限畫ト無ケレハナリ是物本ト廣大ニシテ窮極

有ルヿ無シ而シテ其美タルヤ凡ソ天下ノ美一モ以テ之ニ倘フル莫シ云々」

又曰ク至善ハ凡ソ觀美有ル物皆之ニ由リテ生セサル莫シ蓋シ美ノ美タル所以ハ至善卽チ然ラシム云々

是ヨリ前プラトンノ早ク已ニ以爲ラク眞ノ美ハ純粹淨潔ニシテ雜ハルヿ無シ既ニ血肉ヲ被ムルヿ無ク亦吾人下界ノ色彩有ルヿ無シト然レドモプラトンノ所謂眞美ハ唯吾人耳目ノ官ニ觸ル可キ實形無キニ止マレリ若夫レプロタンノ所謂眞美ハ獨リ尋常實物ノ形貌無キノミナラス亦吾人智慧ノ想像スル所ノ虛靈ノ形貌ヲ舉ケテ皆之無シ卽チプラトンノ所謂物ノ本質及ヒ物ノ極致ノ如キハ所謂虛靈ノ形貌ニシテプロタンノ眞美ハ是物ニ非スシテ卽チ至善卽チ神ノ義ナリ

プロタン曰ク吾人ノ精神隱然常ニ至美ノ觀ヲ搜索シテ以テ自ラ安ンスルヿ能ハス而シテ此不安ノ情ヲ厭服ス可キ者ハ獨リ「ランフィニー」無限ノ義ニシテ卽チ亦神ノ義有ルノミ而シテ是物ヤ初ヨリ形貌有ルヿ無シ蓋シ其形貌無キハ其

之有ルヿ能ハサルカ爲メニ非スシテ正ニ其衆美ノ本ニシテ衆形ノ極ナルカ爲メナリ蓋シ凡ソ智慧ノ認得スル所ノ虛靈ノ美觀ハ皆此「ランフィニー」ノ賦與スル所ナリ

プロタン又曰ク智慧ノ認視スル所ノ美觀モ若シ彼ノ至善之ヲ照燭セサルトキハ未タ吾人ヲシテ之ヲ愛慕セシムルヿ能ハス蓋シ至善ノ光輝彼ノ美觀ニ與フルニ其色彩ヲ以テス是ニ於テ乎其愛慕セラルヽ者益〻粹美ニシテ其之ヲ愛慕スル者益〻熱中シテ已ムヿ能ハス是レ至善乃チ然ラシムルナリ

又曰ク吾人精神未タ至善ノ威德ヲ感覺セサルノ前ハ彼ノ智慧ノ認得スル所ノ美觀ニ遭フモ決テ恍惚トシテ自ラ其身ヲ忘ルヽニ至ラス何トナレハ則チ美觀苟モ未タ善ノ色彩ヲ受ケサル間ハ枯寂空澹ニシテ生氣無ケレハナリ若シ然ラスシテ美觀一タヒ至善和煦ヅー（ス）ノ生氣ヲ受クルヤハ意趣活潑トシテ剛健ヲ成シ飛舞翱翔シテ其効用タル啻ニ吾人ノ智慧ヲ感動スル

ノミナラス直チニ我カ愛慕ノ念ヲ挑發シテ我カ精神ヲシテ更ニ進ミテ至善ト一體ヲ相爲スヿヲ求メシム然ル所以ノ者ハ他無シ智慧ノ物タル苟モ其既ニ獲ル所ノ物ノ上ニ於テ更ニ一物ノ之ニ超過スル有ルヲ見ルトキハ更ニ進ミテ以テ之ニ就クヿヲ思フカ故ナリ

我カ精神既ニ美諦ニ因リテ善諦ヲ覺悟スルトキハ愛慕ノ情油然トシテ興發シ復タ得テ留ムルヿ無ク直チニ智慧ノ境界ヲ踰エテ至善ノ域ニ進入シテ後已マント欲ス蓋シ至善ハ萬物ノ最高層ニシテ此ヲ過クルトキハ復タ一物有ルヿ無シ

プロタン又曰ク我カ精神ノ單ニ其智慧ノ認視スル所ノ美觀ヲ望瞻スルヤ心固ヨリ其觀ノ莊嚴ニシテ且ツ清楚ナルヿヲ悦ブ是ハ則チ論勿キノミ但未タ直チニ之ヲ取リテ己レカ有ト爲スヿヲ願フニ至ラス之ヲ譬ヘハ女子ノ顔面或ハ頗ル端麗ナルモ未タ嘗テ人ヲ惱殺スルニ至ラサル者有ルカ如シ是レ他無シ枯淡寒酸ニシテ活潑ノ艶采無キカ故ナリ蓋シ眞ノ美觀ハ狀貌端嚴ナル處ノ中自ラ隱然艶婉ノ生氣有ル者即チ是ナリ獨リ其端莊整齊ナル處ノミ美ト爲スニ非ス夫レ其隱然艶婉ノ氣此正ニ人ノ愛慕ノ念ヲ挑發スル所以ナリ而シテ善ノ力ニ非スシテ未タ是ニ至ルヿ能ハス

又曰ク凡ソ生人ノ面ハ自ラ艶美ノ色彩有リ若夫レ死屍ノ如キハ其眉目如何ニ端麗ニシテ且ツ血肉ノ色未タ變易スルニ至ラサルモ其愛慕ス可キヿ終ニ生人ニ及フヿ能ハス是ノ如キ者ハ何ソ乎今夫レ影像ノ相排列スル有ラン其中意趣生氣ノ活潑ナル者ハ其眉目軀幹ノ整齊ナルヿ遠ク他ノ像ニ遜ル有ルモ猶ホ觀ル者ヲシテ他ノ像ヨリ美ナルヲ覺エシム此ノ如キ者ハ何ノ故乎生獸ハ畫獸ニ比スルトキハ骨格ノ整齊ナルヿ反リテ遜ル有リ然レトモ觀ル者最モ生獸ヲ美トシテ之ヲ悦フ是ノ如キ者ハ何ノ故ソヤ是レ他無シ生ケル形貌ハ吾人ニ在リテ更ニ嗜欲ス可キ者有レハナリ他無シ其中精魂ノ寓スル有レハナリ他無シ其最モ善ビヤンニ適スレハナリ他無シ吾人

ノ精神至善ノ光輝ヲ被ムレバナリ吾人ノ精神至善ノ光輝ヲ被ムリテ更ニ發動シ更ニ輕捷ヲ成セハナリ吾人ノ精神自ラ發動シ自ラ輕捷ヲ成スノ後想像ノ力ニ賴リテ其觀ル所ノ者ニ附スルニ發動飛揚ノ氣ヲ以テスレバナリ

大凡ソ不全ノ物ハ吾人ノ心ヲ厭服スルヿ能ハス然ルニ吾人ノ善ニ於ルヤ纔ニ些少ノ部分ヲ有スルノミヲ以テ吾人ノ心常ニ自ラ安ンセスシテ必ス善ノ全體ヲ獲テ後已マント欲スヿ是ヲ以テ藝術ノ美觀ニ遭フニ及ヒテ其美ヨリ直ヲニ其本原ノ善ニ進ミ以テ之ヲ有セントヿ欲スヿ此レ善ノ理ノ秘諦ニシテ吾人自ラ知ラス識ラス是ノ如キヲ致スナリ

夫レ藝術ノ作物ヲ望觀シテ其美ヲ怡ブカ如キハ本ト極テ安靜ノ事ニシテ一モ我カ心ヲ擾ル可キ者有ルヿ無シ獨リ如何セン我カ精神固ヨリ是ニ安ンスルヿ能ハスシテ常ニ夫ノ至善ノ地ニ透徹スルヿヲ求ムヿ是ヲ以テ美觀ニ遭フニ及ヒテハ美ヨリ進ミテ更ニ善ニ入ルヿヲ思ヒ無限無上ノ物ヲ慕

望スルノ念遂ニ吾人ヲ牽引シテ外物ノ上ニ出テシム獨外物ノ上ニ出テシムルノミナラス亦智慧虛靈ノ境ノ上ニ出テシムルヲ致スナリ

又曰ク吾人ノ眞ノ鄉國ハ彼ノ善ノ無上ノ純粹ト無比ノ充牣トノ樂地是ナリ吾儕遽ニ此汚醜ノ穢土ヲ離レテ彼ノ樂鄉ニ趨カン哉然リト雖モ此穢土ヲ離ルヽノ道如何ト此レハ是レユリッスノ語ナリユリッス、シルセーノ妖術ニ誑カサレテ目ニ妓艷ノ態ヲ觀血肉ノ美ヲ視ルモ而モ且ツ其蠱惑スル所ト爲ルヿ無ク必ス其土ヲ去ラントト欲シテ是言ヲ爲セリ卽チ吾儕モ亦云フ如何シテ此穢土ヲ離レンヤト

夫レ吾儕ノ眞ノ鄉國ハ吾儕昔シ嘗テ之ヲ離レテ今ニ至レリ之ヲ奈何セハ再ヒ鄉國ニ還ルヿヲ得ン吾儕ノ脚ハ弱行ニシテ我儕ヲ導テ鄉國ニ到ルヿノミ之ヲ奈何セハ則チ可ナラン是ニ於テプロタン自ラ答ヘテ曰ク是レ必ス至難キニ非サルナリ汝信ニ汝ノ鄉國ニ歸ラントト欲セハ唯當ニ汝カ

肉身ノ眼イユー、ヅ、コール ヲ閉チテ精神ノ眼イユー、ヅ、ラーム ヲ啓ク可キノミ是ノ如クスルトキハ夫ノ無上無比ノ至善ノ美觀正ニ汝ノ頭上ニ燦然タル有ラン

夫レ至善固ヨリ常ニ我儕ノ精神ニ儼臨セリ故ニプロタン曰ク至善我ヲ距ルヿ遠カラス但至善ノ物タル獨リ夫ノ「ラン」一ノ義卽チ神ナリノ「ラン」ノ中ニ在リテ吸噓スルノミ

夫レ至善ハ吾人ノ精神ノ底奥ニ在リテ常ニ之カ主宰タリ或人問テ曰ク夫レ至善迥カニ吾人ノ智慧ニ超越スト然ルヲ吾人ノ智慧如何シテ之ヲ認視スルヿヲ得ルヤ

プロタン答テ曰ク吾儕身心中自ラ極テ夫ノ至善ニ肖似スル者有リ吾儕此物ニ賴リ以テ之ヲ認視スルヿヲ得蓋シ所謂吾儕身心中夫ノ至善ニ肖似スル者ハ實ハ獨リ之ニ肖似スルノミナラス是正ニ至善ノ一片ニシテ凡ソ之ニ肖似スル者ハ彼レ皆之ニ儼臨セサル莫シ

又曰ク若シ此ニ一大音響有リテ殷々トシテ天地ノ間ニ盈ツルトキハ汝何ノ地ニ在ルモ苟モ耳ヲ傾ケテ聽クヿヲ欲スルトキハ必ス聞クヿヲ有ラン但之ヲ

聽クヿ自ラ一方有リテ若シ他ノ方ニ從フトキハ不可ナルノミ卽チ夫ノ神明モ亦猶ホ此ノ如クナリ吾人ノ智識固ヨリ之ヲ廣大無邊ニシテ光被セサル所無キヲ以テ苟モ其方ヲ得ルトキハ亦必ス之ヲ知ルヿヲ得サルノ理無シ

吾人ノ神明ニ於ケルヤ直チニ之ヲ知ルヿヲ得可ラサルモ其赫々ノ功德ノ一二ニ至リテハ豈之ヲ知ル可ラサル有ラン哉卽チ大乘根器ノ人精神凝結シテ其極ニ至リ舊揚ノ甚シキ候ニ在リテハ自ラ信シテ己レノ意念中隱然遠ク尋常人類ノ上ニ出ル者有リト以爲フカ如キハ正ニ是ナリ此レ所謂八面玲瓏ノ境界ナリ是故ニ凡ソ此ノ八面玲瓏ノ境界ニ透徹セント欲スル者ハ必ス其私智曲才ヲ擺脫シテ一意ニ夫ノ至善ニ傾嚮スルヿヲ要ス若夫レ言辭辨論ノ類ハ至善ヲ認視スルニ於テ少分ノ功有ルヿ莫シ

プロタン又曰ク吾人若シ夫ノ至善ヲ認視セント欲セハ決シテ言句ノ末ヲ以テ之ヲ求ムルヿヲ得ス唯當ニ心ヲ澄シ慮ヲ靜ニシテ以テ其光彩ノ煥然

トシテ來リテ我ヲ映射スルヿヲ待ツ當キナリ何トナレハ心ヲ澄シ慮ヲ靜
コシテ豫メ之カ地ヲ爲スコト非サレハ縱令光彩煥發スル有ルモ我レ得テ之
ヲ見サレハナリ蓋シ我カ精神ノ夫ノ至善ニ於ケルヤ猶ホ海岸ニ立チテ大
陽ノ水上ニ昇ルヲ視ルカ如シ眸ヲ凝ラシ望觀シテ倦ムヿ無キニハ輝光ノ
目ヲ眩シテ來リ照ス有ルヿ必ス疑ヒ無シ
吾人ノ智慧ハ本ト極テ微弱ナリ故ニ勉メテ倦ムヿ無キコト非サレハ終ニ夫
ノ至善ノ神ヲ認視ス可ラス(プロタン)曰ク一旦神來ノ候ニ至ルニハ精神狹
憤シテ冲騰シ智慧ノ爲メニ攪亂セラレテ猶ホ波濤ノ俄ニ洶湧スルカ如シ
是ニ於テ我カ精神嗒然トシテ自ラ澄澈シ斯ニ以テ神ト接スルヿヲ得云々」
又曰ク然リト雖モ吾カ精神ノ夫ノ神光ト接スルヤ全ク我ノ智慧ヲ外ニシ
テ別ニ之ト接スルニ非ス之ヲ譬ヘハ智慧ハ猶ホ目ノ如キナリ至善ハ猶ホ
光輝ノ如キナリ而シテ我カ智慧ノ是光輝ヲ視ルヤ此ヲ以テ我カ身心ヨリ
來ル者ト爲スニ非スシテ必ス以爲ラク是光ヤ此レ正ニ我カ心中ヨリ發シ

來リ豁然我カ身ヲ蒙被シ此八面玲瓏ノ境ヲ現出シテ我ヲシテ諸ノ暗窟ヲ
照スヿヲ得セシメト
又曰ク吾人ノ是ノ如クニシテ神ト相接スルノ狀ヲ摸寫セントス欲スルニハ
視ルウイシヨンノ語ハ甚妥當ナラス當ニ易フルニ覺アンチュイシヨンノ語ヲ以テス可
シ蓋シ精神冲騰シ智慧擾亂シ之ヲ久シクシテ氣降リ心安ク斯ニ於テ洞然
トシテ覺悟スル有リ是時ニ方リテヤ復タ己レヲナル者有ルヿ無ク放心舍命
シテ直チニ其愛慕セシ所ノ至善ト一體ヲ爲シテ後已マントス欲スト雖ニ之ヲ
視ルノミニ非サルナリ
夫レ愛ノ事タル其愛スル所ノ者ヲ視察スルニ止マラスシテ直チニ之ト一
體ヲ爲サントス欲スト若シ否ラサルニハ未タ謂テ眞ノ愛ト爲ス可ラサルナリ
蓋シ我カ精神ノ夫ノ美ニ於ケルヤ特ニ之ヲ望觀シテ以テ自ラ足レリトス爲
スニ過キス故ニ此時ニ有リテハ彼ノ視ウイシヨンノ語洵ニ當レリ若夫レ善ニ
至リテハ吾カ精神豁然其光被スル所ト爲ル是ニ於テ乎我ノ意獨リ之ヲ視

ルコト止マラスシテ直チニ之ト一體ヲ爲サントス欲ス我モ亦一躍シテ直チニ善ト爲ラントス欲ス是之ヲ眞ノ愛ト謂フ

是ノ如キ者即チプロタン所謂八面玲瓏大歡喜ノ境ナリ人一タヒ是境ニ徹スルトキハ所謂意識ハ復タ用フル所無シ蓋シ意識是ニ於テ消滅スルニ非ス即チ意識ノ充牣滿盈ノ極プレニチュード復タ自ラ意識チ事トスル所無キナリ夫レ是時ヤ我レ宵ニ之チ思フノミニ非ス正ニ之チ愛スルナリ宵ニ之チ愛スルノミニ非ス正ニ之チ玩フナリ若シ必ス之チ思ヒ之チ愛スト曰ハントス欲セハ此等ノ語チ用フルニ必スシモ不可ナル無シ但所謂思ハ尋常云フ所ノ思ニ非ス所謂愛ハ尋常云フ所ノ愛ニ非ス思ノ中自ラ愛ノ意有リ愛ノ中自ラ思ノ意有リ二ノ者一チ去ルトキハ則チ不可ナリ蓋シ思ノ極ニシテ亦愛ノ極ナリ

プロタン亦曰ク我カ精神ノ神ニ接スルヤ我カ意識宣發シテ餘力チ遺サヽルコト猶ホ花ノ爛熳タルカ如シ更ニ之チ言ハンニ我精神ノ意識ノ自ラ考ヘスシテ俄然トシテ發スル者即チ意識ノ最モ靈妙ナル者ニシテ唯此一作用以テ神チ認視スルニチ得ルト亦洞然覺悟スルノ謂ナリ

又曰ク吾人ノ智慧蓋シ二箇ノ能有リ其一ハ即チ思念ノ由リテ出ル所ニシテ特ニ其自ラ有スル所ノ者チ知ルニ於テ力有ルノミ其一ハ覺悟ノ力アンチュイシヨン ニ賴リテ以テ迥カニ己レノ上ニ在ル者即チ至善ノ義チ認視スル即チ吾人ノ神ニ於ケルヤ正ニ智慧ノ此第二ノ能ニ賴ル者ナリ

又曰ク智慧ノ第一ノ能チ用フルニハ尋常下界ノ道理チ考察スルノ時ニ於テス蓋シ是時ヤ我カ精神猶ホ物ノ黒白事ノ善惡是非チ分ツニチ得若夫レ覺悟ノ能ニ依賴スルノ時ニ在リテハ我カ精神夫ノ愛念ノ爲メニ擾亂セラレテ復タ尋常ノ道理チ分別スルニ能ハス恍々惚々ノ際ニ在リテ此一能ニ賴リ始テ洞然開悟スルニチ得ルノミ

又曰ク我カ精神ノ夫ノ愛念ノ爲メニ恍惚ノ鄕ニ入ルヤ之チ譬ヘハ天賓ノ瓊液チ飲ミ昏醉シテ復タ人事チ省スルニ能ハサルカ如シ是ニ於テ平時用

フル所ノ智慧ハ復タ須フル所無ク一身ヲ擧ケテ嚮揚開發シテ自ラ措ク能ハス此レ正ニ慶福ノ極ニシテ歡天喜地ノ候ナリ何ソ區々ノ意識ニ在ラン哉

又曰ク吾人一タヒ此歡天喜地ノ候ニ達スルトキハ當ニ放身舍命（サアパンドチー）シテ以テ其無上ノ慶福ヲ游浴ス可シ當ニ區々ノ小智ヲ守リテ以テ自ラ賢ト ス可ラス

又曰ク我カ精神ノ【此大歡喜ノ境ニ入ルヤ是正ニ神ノ我ニ臨ムノ候ナリ更ニ之ヲ言ヘハ我ノ始テ神ノ我ニ臨ムヿヲ悟ルノ候ナリ蓋シ神ハ常々ニシテ我ニ儼臨スル者ナリ然レトモ我レ常ニ外物ノ爲メニ擾亂セラレテ曾テ之ヲ視ルヿ無シ其信心凝結シテ外物ノ束縛蒙蔽ヲ脫スルニ及ヒテ始テ之ヲ視ルヿヲ得ルナリ故ニ神ノ我ニ臨ムヿハ常ニ同クシテ我ノ眼孔常ニ同シカラサルノミ

又曰ク我カ精神ノ夫ノ神ト接スルヤ我カ一身頓ニ清淨美麗ヲ成シテ復タ

平昔ノ我ニ非ス但是ニ至ルノ道ハ獨リ此秘密ノ一大事ニ透徹セシ者之ヲ知ルノミ

又曰ク是時ニ在リテヤ我カ精神俄然トシテ夫ノ神ノ儼然トシテ臨ミテ我カ心中ニ在ルヲ見ル我ト神ト復タ隔閡スル所有ルヿ無ク直チニ相共ニ一體ヲ爲スヿヲ覺ユ是時ニ在リテハ神ト我カ精神トヲ分テ二ト爲サント欲スルモ得可カラス蓋シ我カ精神ノ夫ノ神ヲ愛慕スルノ極、歡喜踊躍シテ自ラ其己レヲ忘ルヽヿ此ノ如キ者有リ

又曰ク我カ精神ノ夫ノ神ヲ愛慕シテ之ト一體ヲ爲スヿハ凡ソ愛情ノ最モ完然ナル者ナリ世上愛スル所有ル者其愛慕ノ極ニ至ルトキハ愛スル者ト愛セラルヽ者ト其心意相共ニ同一體ノ中ニ下界ニ在リテ迥カニ天寰ノ眞愛ニ傚傚スル者ナリ

又曰ク吾人一タヒ此大歡喜ノ境ニ入ルヤ我カ精神復タ血肉有ルヿヲ覺エス獨リ此レノミナラス一切ノ事感スル所無ク一切ノ物覩ル所無ク自ラ其

人類ナルコトヲ知ラス亦何物タルコトヲ知ラス怪ムコト無キナリ彼レ其無上ノ慶福ナル旨ヲニ專ラニシテ其他ヲ知ラサルナリ蓋シ凡ソ身外ノ事物ヲ思念スルコトハ精神ノ自ラ其尊ヲ降スニ外ナラス此最高尚ノ地ニ進ムニ及テハ豈復タ塵土ノ念有ラン哉

精神既ニ神ヲ想像シテ之ヲ愛慕スルコト久クシテ一旦之ニ逢着スルニ及テハ一蹴シ進ミテ之ニ即ク是時ニ在リテヤ我カ精神復タ其己レヲ反省スルニ暇有ラスシテ唯神ノ美是レ望ミテ以テ自ラ歡喜スルノミ是時ニ在リテヤ精神ノ樂タル如何ソヤ凡ソ人未タ嘗テ此境ヲ經サル者ハ與ニ之ヲ語ルニ足ラス唯下界ニ在リ愛スル所ノ者有リ一旦之ト相逢フテ相共ニ綢繆纏綿ノ情ヲ語リテ胸中復タ湮鬱スル所無キ者稍ヽ此大歡喜ノ境ニ喩フルニ足ルノミ

然リト雖モ此等下界肉身ノ愛ノ如キハ本ト一時ノ樂ニシテ且妄念ノ空幻ニ出ルニ過キス吾人ノ眞愛ハ初ヨリ是ニ在ラス吾人ノ眞ニ愛スル所ハ此血肉ノ身ニ存セス固ヨリ此ヲ以テ彼ヲ喩フルコトヲ得サルナリ

プロタン又曰ク吾人ノ眞ニ愛スル所ハ夫ノ至善ヲ除非シテ他一物モ之ニ易フ可キ無シ吾人ノ眞ニ同一體ヲ爲スコトヲ得ル者ハ唯夫ノ至善有ルノミ他無シ一切他ノ物ハ皆我ト身ヲ異ニシテ其物ト我トノ間本ト皮肉ノ隔障有リテ存ス若夫レ至善ハ我カ精神直ヲニ之ト接シテ初ヨリ血肉ノ妨碍ヲ受クルコト無シ其愛ノ眞ナルコト亦宜ナラスヤ

嗚呼一切下界糞土ノ事ヲ拋擲シ下界汚穢ノ樂ヲ捐棄シ血肉ノ障閡ヲ倒破シテ直ヲニ神ト徒ヲ爲ス是ノ如キ者ハ天堂尊者ノ生正ニ然リト爲ス卽チ人類ノ身ヲ下界ニ托スルト雖モ苟モ工夫純一ニシテ心念凝結スルトキハ亦此境界ニ至ルコトヲ得夫レ然ル後眞ノ慶福始テ味フ可キナリ

吾人ノ精神實ニ不完不備ニシテ此下界有形ノ物ノ累スル所ト爲ルコト實ニ言フニ堪ヘサル者有リ是ヲ以テ堅忍不拔ノ信心有ルニ非サレハ往々神ニ傾嚮スルノ業ヲ以テ寂滅ノ地ニ至ルト爲シ恠怯シテ敢テ之ヲ爲サス哀

レム可キ哉

プロタン曰ク夫レ神ハ形無キ者ナリ故ニ亦一定ノ兆象ノ捉摑ス可キ無シ是ヲ以テ凡庸ノ徒ハ或ハ自ラ振ツテ一タヒ至善ノ地ニ嚮往スルモ前路ニ於テ一モ把住ス可キ無ク芒々トシテ畔岸ノ緣ル可キ無キヲ見テ以爲ラク是レ虛無ニ進ムノ道ナリト是ニ於テ心神擾亂シ恠悸シテ定志有ルコト無ク遽ニ首ヲ回ラシ歩ヲ改メ墮落シテ初服ニ還リ再ヒ下界有形ノ物ト應酬シテ始テ自ラ安ンスルコトヲ得テ以爲ラク是眞ニ我儕脚ヲ立ルノ地ナリト夫レ然リ故ニ常ニ彼ノ八面玲瓏歡天喜地ノ境界ニ立チ其淨身ヲ護持シテ喪失セサルコトハ下界ニ在ル者ノ終ニ得可キ所ニ非ス唯其レ穢土ノ業純熟シテ一旦其血肉ノ束縛ヲ脫離シタル者獨リ以テ之ニ當ルニ足ルノミ

又曰ク精神一タヒ穢土ノ業ヲ離レテ血肉ト別ルヽ時ハ自由自在ニシテ復タ塁累ノ障フル所ト爲ラス是ニ於テ乎游離飛揚シテ天寰ノ奥ニ進入シ物ノ本質卽チ神ニ復歸シテ墮落スルノ患有ルコト無シ是レ所謂復古ノ大業ニシテ夫ノ生殖ノ業ト正ニ表裡相反スル者ナリ

以上敘スル所ニ由レハプロタンノ理學ノ幽遠深奥ニシテ且ツ極メテ宗旨ノ習氣ヲ夾帶スルコト知ル可キナリ是ヲ以テ基督宗ノ諸著德プロタンヲ祖述シテ其說ヲ採摭セシコト頗ル多シ

プロタンノ理學ノ缺失ノ處ハ曰ク其說過高ニシテ浮華ノ理ニ馳騖シ人生ノ實迹ヲ踈外シテ唯高遠ノ論是レ務メ無量若クハ無邊若クハ完粹等種々把住ス可ラサル旨義ニ就テ敢テ推測ヲ下シ肆ニ臆斷ヲ加ヘテ略ホ憚ル所無クシテ其意宛モ事ノ眞情ニ合セシ者ノ如シ蓋シプロタンモ亦プラトント同ク天姿高朗ニシテ高遠ノ言ヲ好ミ所謂至善ノ旨義ノ已レノ嗜好ニ合スル有ルヲ喜ヒ其狀ノ美ニシテ其迹ノ善ナルヲ想像シテ遂ニ其現ニ在ル有ルコトヲ主張シテ初ヨリ之カ證ヲ擧クルコト無シ是レ其謬戾ノ處ナリ夫レプロタンノ神ヲ摸寫シ及ヒ三神ノ事ヲ敘述スルヤ宛然嘗テ其身ヲ天堂ニ置キ目ニ親ク之ヲ覩タルカ如シ何ソ其談ノ容易ナルヤ余ヲ以テ之ヲ覩ル

ニプロタンノ理學ハ未タ之ヲ眞ノ理學ト謂フ可カラスシテ未タ之ヲ學術ニ基キ道理ニ本ケタル推測ト謂フ可ラスシテ之ヲ神人感合說（ミスチシスチ）ト爲ス者ノ一ノ妄想ト謂フ可キノミ東方神學ノ詩ノ一寄與ト謂フ可キノミ獨此レノミナラス人ノ本性ニ係リプロタン未タ其意欲ノ自由及ヒ獨立不倚ノ尊ニ得ル有ラス夫レ人ニ貴フ所ノ者ハ此二者ヲ具フルヲ以テナリプロタン唯其是ニ得ル有ラス是ヲ以テ眞ノ自由ヨリ生スル所ノ愛情ノ極致ニ至リテモ其說終ニ晦昧ノ病ヲ免レス又此極致ノ明ナラサルカ爲メニ眞ノ仁慈ノ旨義ノ如キモ亦隨フテ了々ナラサルヲ致セリ

○第五　プロタンノ後繼者○アテーンヌノ理學○プロクリュス

第一　ポルフィールハプロタンニ繼テ興レリ其說專ラプロタンヲ祖述シテ略ホ發明スル所無シシヤンブリック出テ、其說ヲ倡道スルニ及ヒプラトン家ノ旨趣全ク跡ヲ斂ムルニ至レリ始メアレキザンドリー派ノ學士ハ基督宗ノ理學ニ抗敵シテ之ヲ駁スルニプラトンノ理學ヲ以テセリ其後又基督

敎ノ宗旨ニ抗敵シテ之ヲ駁スルニ「テユルジー」ヲ以テセント欲ス「テユルジー」トハ群神ヲ驅使シテ己レノ用ヲ爲サシムルノ術ナリ是ニ於テ乎理學ノ諸說一變シテ種々妖妄怪僻ノ談ト爲ル其說ノ最モ不經ナル者ハ曰ク神ハ純乎一ニシテ亦複雜ナリト其他率ヲ此類ナリ

プロタンノ神ヲ以テ純一ト爲スヤ未タ必スシモ虛無空寂ノ物ト爲スニ至ラス其繼テ興ル者ニ至リテハ其旨趣大ニ變壞シ遂ニ神ヲ以テ一種空洞虛無ノ物ト爲スニ至レリ又夫ノ所謂ル八面玲瓏ノ境界ノ如キモプロタンニ在リテハ特ニ我カ智慧ノ凝結シテ其最高層ニ騰リ嗒然トシテ其因リテ出デシ所ノ本原ト一體ヲ爲スノ謂タルニ過キサルナリキ故ニ其實ハ斯世ニ居テ善ク淨身ヲ護持セシ者死シテ血肉ノ束縛ヲ脫シテ始メテ眞ニ此ニ至ルニヲ得ルト云フ爾、之ヲ要スルニ下界目前ノ實事ニ非スシテ死後天堂ノ想像ト云フ爾、其後ニ及ヒテハ學士輩此境界ヲ以テ現ニ之ヲ斯世ニ得可シト爲スヲ是ニ於テ乎妖妄變詐ノ說興リ終ニ一種洞然トシテ感覺スルニ無ク

若クハ狂病者ノ無ヲ認メテ有ト爲スカ如キ者ヲ以テ神來ノ候ト爲スニ至レリ

第二 アテーンヌノ學派興リテ復クアレキザンドリーノ諸說ヲ採襲シ隨フテ頗ル發明スル所有リ斯ニ以テ其短ヲ補フコアルコヲ得タリ プロクリュースハアテーンヌ派ノ領袖タリ其說亦プロクンヲ祖述シテ以爲ラク至善ハ純乎一ニシテ迥カニ智及ヒ有ノ上ニ位スト而シテ亦此意ヲ以テ之ヲ神ノ功德ニ當用セリプロクリュースハ是ニ於テ乎一種頗ル奇闢ノ說有リ謂フ神ノ功德プロウィダニスハ獨リ斯世ヲ護持シテ崩壞セシムル所ノ神智ノ中ニ存スルニ非スシテ其源ハ實ニ至善ノ純乎一ナル所ノ處ニアリ其言ニ曰ク彼「ラン」即チ一ノ義ハ神ノ義ハ無上無比ノ通力ニ賴リ其一數中包有スル所ノ森羅萬象ニ於テ一モ洞見セサル所無シ蓋シ凡ソ下界ニ在リテ分離スル所ノ庶物モ神ノ純一ノ懷抱中ニ在リテハ渾然一體ヲ相爲シテ分離ス可ラス其下界ニ在リテ複雜ナル者モ神ノ懷抱中ニ在リテハ粹然單一ナラサル莫シ又

其不定ニシテ且不限ナル者モ神ノ懷抱中ニ在リテハ確然易フ可ラスシテ截然擾ル可ラス蓋シ神ハ下界萬物ヲ舉ケテ之ヲ洞知セサル無ク又其現在未來ニ在リテ凡ソ變易ス可キ者皆豫メ之ヲ洞察セサル莫シ

又謂フ吾人ノ其自由ヲ以テ爲ス所ノ事如何ニ變動スルカ如キモ神ハ豫メ其必ス是ノ如ク若クハ彼ノ如クナル可キヲ豫知セサル莫シ然リ而シテ絕エテ吾人ノ自由ニ害スルコ有ルコ無シ是正ニ神ノ功德ノ妙處ナリ

プロクリュースノ說ノ歸趣ヲ要スルニ凡ソ世界萬物ノ變皆神ノ廣大無邊ノ一懷抱中ニ在リテ神ノ豫定スル所ト爲ラサル莫シ是正ニ所謂神ノ廣大ノ威德ニシテ纖ニ事有ルノ時之ヲ見知スルカ如キノ比ニ非ルナリ

○第九章　基督宗ノ理學

○緒論

○第一　基督宗ノ理學士ノ庶物原理ノ說

第一　神ハ至善ナリ此說蓋シプラトン、アリストット二家ノ旨趣ヲ擴摭シ之ヲ加フルニ他ノ希臘ノ理學ノ諸說及ヒ東方諸國ノ旨趣ヲ以テシテ極テ其說ノ高遠ナルヲ致セリ卽チ經典ブルヒフイロンプロタン及ヒプラトン等ノ理學相雜ハリテ之カ基址ヲ爲ス者ナリ

前ニプラトンヲ以爲ラク至善ハ迥カニ物ノ本質ノ上ニ在リ亦智慧ノ上ニ在リテ卽チ基督宗ノ理學ニ在リテ稱シテ不可思議ノ父ベールアンコンプレアンシーブルト爲ス者ハ異名シテ同物ナリ蓋シ神ノ謂ナリシユスタン、テルチユリヤン、クレマン、オリジヨーンヌ、グレブアール、フタナー、ズデニー、ラレオパシツト及ヒサーン、トーギユスタンノ諸家並ニ證徵ヲ取ルニ足ル本論ニ詳ナリ

第二　神ハ最上無比ノ智慧ナリ此說ニ係リテモプラトンノ諸說特ニ其物ノ極致ノ說往々採取スル所ト爲レリ卽チ以爲ラク神ノ最上智ハ名ケテ「ウエルブ」ト曰フ神語ノ義ナリ是物ヤ廣大無邊ニシテ光被セサル所無クシテ凡ソ庶物ノ極致卽チ意思ハ皆其懷抱スル所ナリ

神ノ最上智ハ所謂神兒ナリ常ニ其父ヨリ發出シ以テ宇宙ヲ照燭ス然レモ父ト子トノ間少モ尊卑ノ別有ルヿ無シ

第三　神ハ最上無比ノ精神ナリ前ニプラトンヲ以爲ラク神ノ精神ハ其無上ノ至理ト世界庶物トノ間ニ立チテ之カ中位ヲ占メタリト基督宗ノ理學ニ在リテハ所謂神ノ精神チ以テ至理及ヒ純一ユニテー相等シト爲ス以爲ラク神ハ自ラ其己レヲ愛スル蓋シ愛及ヒ仁卽チ神ナリ神又世界庶物ヲ愛スル而シテ其之ヲ造ルヤ其自由ト其愛情トニ由リテ然リ已ムヿヲ得サルニ由リテ然ルニアラルサルナリ

基督宗ノ理學起ルニ及ヒ造物ノ說ニ係リ大ニ變改スル所有リ蓋シ前ニ

ハ造物ノ業ヲ以テ自然ニ避ク可ラサルノ理ニ因ルト爲セシニ基督宗ノ理學ニ至リ神ノ自ラ好ミテ其自由ヲ以テ造作セシト爲セリ

○第二　基督宗ノ理學士ノ道學

第一　仁慈ノ說ニ以爲ラク仁トハ神ヲ愛シ及ヒ神ヲ愛スルカ爲メニシテ幷セテ盡天下ノ人ヲ愛スルノ謂ナリ蓋シ仁ハ道學ノ最上本原ナリ又以爲ラク仁ハ最上無比ノ利益ナリ

第二　自由ノ說ニ以爲ラク仁ハ本ト自由ノ物ナリト但自由ノ說ト神ノ恩赦グラース）ノ說トハ本ト相容レサル者有リ是ニ於テ基督宗ノ理學士終ニ自由ノ說ヲ委棄スルニ至レリ本論ニ詳ナリ

第三　邦國ノ說ニ以爲ラク國ハ威權ヲ以テ本ト爲スニ非スト又宗敎ニ係ル自由ノ論奴隸ノ制ノ論及ヒ所有權ノ論有リ皆本論ニ詳ナリ

○本論

プラトン及ヒアリストットノ理學ノ大旨ハ基督宗ノ理學ニ於テ再ヒ之ヲ見ル其他希臘學士ノ諸說並ニ東方諸國ノ理學モ亦往々其採摭スル所ト爲リテ益〻其旨趣ノ高遠深奥ナルヲ致セリ卽チ經典及ヒフイロン、プロタン、プラトン等ノ諸說ノ如キハ皆基督宗ノ理學ノ基址タリ

プラトンノ說ハ基督宗ニ於テ極テ力有リ然ル所以ノ者ハ或ハ直チニ之ニ與カル所有リ亦或ハフイロン、プロタン二人ノ說ニ由リテ之ニ與カル所有リ之ヲ要スルニ基督宗ハプラトンニ採摭スル所甚多シ卽チ基督宗ノ諸善德モ亦自ラ其然ルヲチ明言セリ

サーンジュスタン曰ク凡ソ古今理學家ノ說ニ於テ其旨趣ノ理ニ合スル者ハ吾儕固ヨリ之ヲ採取ス然ル所以ノ者ハ他無シ凡ソ人苟モ智有ル者ハ皆神語（ロゴス）卽チ神ノ智慧ノ敎フル所ナレハナリ吾儕豈其言ヲ取ラサルヲチ得ンヤ又曰ク凡ソ古今人ノ能ク智慧有ル所以ノ者ハ夫ノ神語ノ種子自ラ其精神中ニ潛入セル有ルカ故ナリ是ヲ以テ古ヨリ豪傑ノ士間見層出シテ以テ種々

ノ道理ヲ倡道セシハ正ニ夫ノ神語ノ憑依セルニ由リテ然ルナリ

又曰ク古今理學士若クハ制作者ノ能ク眞理ヲ倡說シ若クハ眞好ノ制度ヲ創立シテ以テ邦國ニ益スルコトヲ得タル所以ノ者ハ他無シ彼レ其天姿衆ニ出ル有リ斯ヲ以テ知ラス識ラス夫ノ靈慧ナル神語ノ指示スル所ニ從フテ以テ其志ヲ伸フルコトヲ得タルノミ之ヲ例ヘハソクラッ「クリスト」ノ言フ所ニ合スル「基督」ノ義ノ何ノ狀タルヲ前知セリ是レ他無シ夫ノ神ノ智慧ハ到ル處光被セサル無ケレハナリ

又曰クプラトンノ諸說ノ如キ其旨趣未タ盡クソクラッ「クリスト」ノ言フ所ニ合スル能ハスト雖モ然レニモ亦全ク相反スルニ至ラスシテ頗ル合スル者有リ此モ亦知ラス識ラス往々夫ノ神語ノ指示スル所ニ從ヒタルコト疑無シ

又曰ク古今賢哲ノ士能ク言ヲ立テ、夫ノ神語ノ意ニ從ヒ以テ眞理ヲ發見セシ者ハ縱令世俗庸衆ノ徒之ヲ指シテ無神ノ說ヲ守リシト曰フモ吾ハ之ヲ基督宗會中ノ人ト曰ハンノミ卽チ希臘ニ在リテハソクラットヤ及ヒ夷蠻

パルパニ在リテハアブラハムヤアナニヤースヤアザリヤースヤミザエルヤエリーヤ其他賢哲ノ士ノ如キ皆此類ナリ吾儕奚ソ其倡ヘシ所ノ旨趣ニ於テ擇取スルコト無キコトヲ得ンや哉

基督宗ノ諸著德相共ニ古昔ノ理學ノ諸說ニ就テ眞好ノ旨趣ノ散見セル者ヲ糟撫シ徐々ニ之ヲ混融シテ以テ一說ヲ大成スルコトヲ得タリ

第一　神ハ最上無比ノ至善ナリ　プラトンノ說ノ最高層ノ巓ト稱ス可キ處ハ曰ク至善ハ純乎一ニシテ對敵有ルコト無ク迥カニ智慧ノ上ニ位シ亦本有ノ質ノ上ニ位スト卽チ基督宗ノ理學ニ在リテモ其最高尙ナル處ニ至リテハ亦プラトント異ナルコト無シ以爲ラク神ハ其本有ノ質ノ廣大無邊ナル處ニ就テ之ヲ考フルヤハ不可思議ニシテ亦言說ス可ラスト

サーンジユストト曰ク神ハ世界ノ最上乘ノ本原ナリ之ヲ名稱セント欲スルモ得可ラス或ハ之ヲ神ト云ヒ或ハ父ト云ヒ造化主宰ト云ヒ最上君主ト云フモ皆特ニ神ノ功德及ヒ慈善ヲ指スニ過キス若夫レ其本有ノ質ノ

如キハ蕩々乎トシテ名ツク可ラス

テルチユリヤンモ亦曰ク神ノ本體ハ終ニ吾人人類ノ得テ知ル可キニ非ス彼レ唯神語ウェルブニ由リテ以テ我儕ニ嚴臨スルノミ之チ譬ヘハ大陽ノ如シ吾人之チ視ルヿハ目眩シテ復見ルヿ能ハス唯其燦然ノ光ニ由リテ之チ知ルノミ是レ蓋シプラトン著ハス所ノ「レピユブリック」ノ書中最モ著稱セラレタル譬喩ナリ

サーンクレマン、ダレキザンドリーモ亦曰ク神ハ指示ス可キニ非ス終ニ此チ以テ學術ノ目的ト爲スヿチ得ス云々又曰ク神チ認視セント欲スルハ猶ホ深淵ノ底チ臨ムカ如シ窈冥ニシテ見ル可キ無シ蓋シ之チ認得スル ノ道唯一有ルノミ何ソヤ下界ノ物ニ就テ想像ノ力ニ賴リ其無形ノ性ト及ヒ特ニ其有形ノ諸質トチ除去シ然ル後其存スル所ノ者チ考フルヿハ少ク得ルヿ有ランノミ又曰ク是ノ如クニシテ下界ノ物ノ有スル所ノ諸性チ除去シテ之チ考フルヿハ未タ神ノ體ノ彼レノ如ク若クハ此レノ如ク

ナルヿチ知ル可ラサルモ亦其彼レノ如クナラス亦此レノ如クナラサルヿチ知ラン是モ進歩ノ一著ナリ

又曰ク凡ソ諸種ノ名稱ノ中ニ就テ「ラン」即チ一ノ語最モ神ニ適切ナリト爲ス然レトモ亦唯神ノ純乎一ナルチ示スニ過キサルノミ其本有ノ質ハ未タ之チ示スヿチ得サルナリ

又曰ク凡ソ吾人ノ神ニ用フル名稱ハ皆神ノ下界庶物ト交渉スル所ノ處ニ就テ之チ設ケシ者ナリ卽チ慈善ノ語ノ如キ正ニ是レノミ

オリジエーンヌ亦サーン、クレマント同ク神チ以テ純乎一ニシテ對敵有ルヿ無ク終ニ嚮遷ス可ラス亦理會ス可ラス一切ノ智慧ニ超過シ一切ノ生活、眞理、識慮ニ踰越シ並ニ物ノ本有ノ質ニ勝サルト爲ス

オリジエーンヌ曰ク神ハ純乎一ニシテ卽チ至善ナリ蓋シ善ハ下界ノ生類ニ在リテハ特ニ其一德タルニ過キス若夫レ神ニ在リテハ然ラス神ハ正ニ善チ以テ性チ爲ス者ナリ故ニ神ノ善ハ一切下界ノ生類ノ所謂善ノ

比ニ非ス又曰ク善ト本有ノ質トハ同體ニシテ分離ス可ラス是レ猶ホ惡ノ虛無ト同體ニシテ分離ス可ラサルカ如シ

又曰ク下界ノ生類ハ其本有ノ質ヲ稟受スルヿ其善ノ性ヲ稟受スルト其量必ス相當ル卽チ上級ノ物ハ此二者ヲ受クルヿ皆多ク下級ノ者ハ此二者ヲ受クルヿ皆寡シ云々ト顧フニ此等ノ說ハ正ニプラトンノ理學ノ基址トスル所ナリ

サーンソトーマス曰ク夫レ神ハ凡ソ本有ノ類ノ上ニ出テ凡ソ人類ノ智識ノ考フル所ノ上ニ出ツ此レ蓋シ一種極テ高遠ニシテ極テ虛靈ナル善美ナリ又曰ク神ハ仁ナリ更ニ之ヲ言ヘハ神ハ仁ノ本原ナリ

サーンソ、グレゴアール、ヅ、ナジヤンズ嘗テ嘆シテ曰ク嗚呼神乎汝ハ萬物ノ歸底スル所ナリ汝固ヨリ純乎一ナリ天下ノ物皆是レ汝ニ非サル莫シ一モ是レ汝ナル莫シト又サーンソトーギユスタンノ如キハ夙ニプラトンノ說ニ浸淫シ且ツ自ラ稱シテプラトン家ノ學士ト號セリ其意以爲ラク神ハ純乎一ニシテ亦至善ナリ但吾人精神中具フル所ノ一種物理ヲ分析シ及ヒ之ヲ總合スル能力有ルニ因リ或ハ神ヲ謂テ甲ト爲シ或ハ乙ト爲シ又或ハ甲乙ヲ合シテ之ヲ稱スルモ其實ハ終ニ幾ニ一端ヲ擧クルニ過キサルノミ因リテ言フ神乎吾レ或ハ汝ノ諸德ヲ分別シ或ハ之ヲ總合スルモ之ヲ要スルニ吾レノ汝ヲ愛スルハ其純乎一ニシテ對敵有ルヿ無キカ爲メナリ云々

是故ニ世界自ラ純一ノ一物有リ是レ萬物有スル所ノ純一ノ性ノ本原ニシテ理論ノ極處ノ目的ナリ蓋シ分析ト云ヒ總合ト云ヒ皆理論ノ手段ニシテ其方法相反スルモ實ハ純一ノ性ヲ考索スルカ爲メタルニ外ナラス故ニ「ラソ」卽チ一ノ義ト云ヒ至善ト云フモ畢竟同實異名ニシテ皆神ヲ指シテ言フノミ

是故ニサーンソ・トーギユスタン曰ク汝若シ至善ノ何物タルヲ知ラント欲セハ先ツ凡ソ下界ノ所謂善ノ類ヲ指數シ然ル後想像ノ力ニ賴リテ一々之ヲ拋棄セヨ是ノ如クスルトキハ彼ノ至善自然ニ汝カ想像中ニ留マル有ラン是

ニ於テ汝將ニ曰ハントス嗚呼神ハ純乎善ニシテ一モ他ヨリ稟受スル所有ルヿ無シ是レ固ヨリ凡ソ善ノ類ノ本原ナリト

サーン、トーギユスタン又曰ク吾儕動モスレハ言フ甲ノ物ハ更ニ乙ノ物ヨリ善シ或ハ言フ乙ノ物ハ更ニ甲ノ物ヨリ善シト顧フニ吾儕ノ能ク判斷チ下スヿ此ノ如クナル所以ノ者ハ何ニ由リテ然ル乎蓋シ吾人精神中自ラ夫ノ至善ノ旨義チ包有スルチ以テ事物ニ對スル每ニ輒チ此旨義チ以テ之チ照燭シ若シ之ト合スルトキハ斷シテ善ト爲シ合セサルトキハ斷シテ不善ト爲ス然ラサレハ吾儕初ヨリ之チ判スルノ道無キナリ是ニ知ル至善ノ旨義ハ凡ソ善不善チ斷スルノ權衡ナルヿチ

又曰ク汝若シ神チ愛セント欲セハ直チニ其至善ノ德チ愛セヨ甲ノ善若クハ乙ノ善ノ爲メニ之チ愛スルトキハ汝終ニ本原ニ透徹スルヿチ得可ラス

又曰ク汝當ニ汝ノ精神ノ爲メニ至善チ認得スルヿチ務ム可シ吾儕一タヒ認得スルニ於テ身チ委ネテ之チ愛シテ終身變セサル者ハ其レ唯至善乎其

他ノ善ノ類ハ纔ニ智ニ由リテ之チ知ルニ過キサルノミ未タ之チ愛シテ說ルヽニ至ラス云々又曰ク至善ハ我儕チ去ルヿ遠カラス我儕正ニ至善ノ中ニ呼息シ至善ノ中ニ動轉シ至善ノ中ニ存在ス天下一物モ至善ノ外ニ出ルヿチ得ル無シ

デニー、ラレオパジツトノ書チ閱スルトキハ其プラトンノ及ヒプロタンノ理學ニ原本セシヿ他書ニ比スレハ更ニ較著ナル有リ凡ソプロタンノ議論ノ尤モ奇崛ナル者ハデニー皆之チ採摭セサル莫ク亦往々其意チ擴張シテ更ニ甚シキニ至レリデニーノ言ニ曰ク神ハ宵ニ不可思議ニシテ不可言說ナルノミナラス亦無上不可思議ニシテ無上不可言說ナリ

又曰神ハ獨リ粹然至純ナルノミナラス無上粹然至純ナリ神ハ宵ニ神ナルノミナラス「アルシチユー」神ニ勝サルル神ノ義ナリ

デニー又曰ク神ハ威權ニ非ス生活ニ非ス光明ニ非ス本質ニ非ス亦所謂純一ニ非ス所謂至善ニ非ス所謂神明ニ非ス蓋シ凡ソ此等ノ語ハ皆吾人

人類ノ智識ノ想像スル所ヲルニ過キサルヲ以テ未タ眞ニ神ノ義ニ適ト爲スニ足ラス余ハ將ニ曰ハントス神ハ本有ニ非サル本有ナリ了解スル可ラサル智慧ナリ言說ス可ラサル言說（パロール）ナリ又將ニ曰ハントス神ハ無上本有ノ不定物ナリ道理ニ由リテ推ス可ラス思念ニ由リテ得可ラス言詮ニ由リテ形容ス可ラス是ヲ以テ神學ノ大家ト稱スル者ハ神ニ係リテ諸々有ノ語ヲ用フルヲ常トス

デニー又曰ク吾儕神ニ係リ常ニ非若クハ無ノ語ヲ用フルト雖モ此ヲ以テ神實ニ吾儕云フ所ノ諸德有ルヿ無シト爲スヿハ大謬ナリ唯其レ神ハ廣大無邊ニシテ言辭ノ能ク形容スル所ニ非ス故ニ吾儕彼ノ仁若クハ善若クハ本有若クハ智慧等ノ語ヲ用フルヨリハ寧ロ非仁、非善、非本有、非智慧等ノ語ヲ用フ以爲ラク是ノ如クスルヿハ神ト人類トノ間ニ於テ更ニ大ニ別ヲ置クヿヲ得ルト

又曰ク吾儕神ヲ謂テ非本有ト爲スハ他無シ彼レ無上ノ本有ニシテ言說

ス可ラサルカ故ナリ非生活ト爲スハ他無シ彼レ無上ノ生活ニシテ言說ス可ラサルカ故ナリ非智慧ト爲スハ他無シ無上ノ智慧ニシテ言說ス可ラサルカ故ナリ

又曰ク夫レ大理石中自ラ一像ヲ爲ス可キ理ヲ包有スヿヲ以テ彫刻家タル者ハ唯刀ヲ用ヒテ其中像ニ非サル者ヲ削リ去リテ盡ルヿハ像自然ニ成就スルモ亦猶ホ此ノ如シ唯當ニ諸々神ニ適セサル諸德性諸威力ヲ除去スルヿハ神ノ形容自然ニ燦然煥發センノミ」

顯フコプロタン及ヒプロクリユースノ如キ皆神ノ說ヲ爲スニ於テ兩部ヲ置キ一ハ以テ有ヲ論シ一ハ以テ無ヲ論シテ以テ常ト爲セリ基督宗ノ理學モ亦此二人ノ旨趣ニ從ヒシナリ

是ニ由リテ之ヲ觀レハ基督宗ノ理學モ亦神ノ說ニ於テ諸々神ニ適セサル功德ヲ除非シテ其神ニ適スル者ヲシテ自然ニ言語ノ外ニ隱躍セシムルヿヲ以テ方法ト爲シ以テプラトンノ爲ニ倣ヒシコト明ナリ是ニ於テ以爲ラ

ク神ハ智慧ノ上ニ出テ亦本有ノ上ニ出ット因リテ「ペール」父ノ義卽若ク
ハ言說ス可ラス若クハ思議ス可ラサル本原等ノ名稱ヲ立テ、以テ神ノ功
德ヲ著ハスヿヲ求メリ

第二　神ハ無上ノ道理ナリプラトンノ論法ハ獨リ非有ノ說ヲ爲シ以テ神
ノ義ヲ言外ニ著ハスヿヲ務メシノミナラス亦有ノ說ヲ爲シテ直ヲニ神ノ
功德ヲ著ハスヿヲ求メリ其非有ノ說ニ在リテハ曰ク神ハ粹然至純ニシテ
吾人ノ得テ窺測ス可キ所ニ非スト其有ノ說ニ在リテハ曰ク神ハ粹然至純
ニシテ亦庶物ヲシテ其大威德ノ賜ニ霑ハシムト因リテ以爲ラク神ハ衆理
ノ本原ニシテ凡ソ吾人ノ事理ヲ了解スルヿヲ得ルハ他無シ吾人ノ精神亦
神ノ賜ニ霑フ有ルカ故ナリ

プラトンノ此說ニ在リテハ世界ノ大理レーゾン、ユニウエルセールヲ以テ極致ト爲ス世
界ノ大理トハ卽チ所謂「ウエルブ」神語ノ義ナリ卽チ基督宗ノ理學モ亦其有
ノ部ニ於テ此レト相類スル說ヲ爲シテ以爲ラク神モ亦吾人ノ智慧ニ儼臨

シテ之ヲ認識スルヿヲ得セシムトプラトン物ノ極致卽チ意思ノ說ヲ爲セシヿハ前ニ已ニ之ヲ論セリ而シテ
シカレマン、ダレキサンドリーノ如キハ明ニプラトンノ此ノ說ヲ襲用セリ其
意以爲ラク世界ノ大理ノ物タル凡ソ萬物ノ旨義ノ典型ナリ凡ソ眞理ノ類
ノ極致ナリ凡ソ能力ノ類ノ本原ナリ又以爲ラク父卽チ神ハ純乎一ナル者
ナリ子神智ハ複雜ノ中ニ於テ純一ノ性ヲ有スル者ナリ父ハ純乎一ナルヲ
以テ言辭ノ指示ス可キ所ニ非ス子ハ複雜ナルヲ以テ一々之ヲ指示スルヿ
ヲ得可シ

オリジエーンヌモ亦此說有リ曰ク神ノ懷抱中自ラ一箇ノ世界有リテ其
諸種ノ物相雜ハリ且ツ其美麗ナルヿ大ニ斯下界ニ勝サル有リ所謂世界
ノ大道理ナリ夫レ是道理ヤ一切有形ノ粗迹ヲ蒙ムルヿ無ク虛々靈々不
可思議ニシテ固ヨリ有形庶物ノ由リテ生存スル所ナリ
又曰ク一切其他意念ノ類ノ典型ハ卽チ所謂神語（ウエルブ）神ノ智慧ナリ夫レ是神語ノ義

ハ神ノ中ニ存ス蓋シ神常々斯下界ノ廣漠タルヲ靜觀シ斯ニ以テ其聖語ヲ出シテ夫ノ無上ノ道理ヲ施行ス其靈妙測ル可ラサルヿ直チニ亦之ヲ神ト謂フモ不可無キナリ

サーン、トーギユスタンモ亦其著ハス所ノ懺悔錄（コンフェシヨン）ニ言フ有リ曰ク余始テサーンシャンノ經典ヲ讀ミシニ解スル有ルヿ能ハス後チプラトンノ著書ヲ涉獵スルニ及ヒ方ニサーンジャンノ旨趣ヲ領略スルヿヲ得タリ蓋シプラトンノ書ヲ閱スルニ其中往々無上ノ眞理ヲ叙述セル有リ以爲ラク神語ハ神ノ懷抱中ニ存スト又以爲ラク物ノ生氣有ルハ神語ニ是レ因ルト以爲ラク神語ハ正ニ人類ノ聰明ヲ成ス所以ナリト以爲ラク人類ノ精神能ク神語ノ光明ナルヿヲ證ス然レモ人類ノ精神實ニ光明ナルニ非スト以爲ラク所謂神語ハ凡ソ斯世界ニ生ルヽ人類ノ精神ヲ照燭スル所ノ光明ノ出ル所ナリト以爲ラク神語ノ光明ハ世界庶物ノ中ニ存スト以爲ラク世界庶物ハ正ニ神語ノ造ル所ナリ而シテ世界庶物ハ神語

ノ何物タルヲ知ルヿ能ハスト凡ソ此等ノ道理ハプラトンノ書中必スシモ是ノ如ク明言セシニ非スト雖モ之ヲ要スルニ其旨趣ハ正ニ茲ニ云フ所ト同クシテ亦多ク徵ヲ舉ケテ之ヲ證セリ云々

夫レ極致ノ說ト基督宗神語ノ說ト相同シキヿ茲ニ云フ所ノ如シ蓋シ以爲ラク物ノ極致ノ說微リセハ神語ノ說未タ解スルヿヲ得可ラスト

サーン、トーギユスタン又曰ク プラトン所謂物ノ極致ハ正ニ庶物ノ確乎タル虛靈ノ道理ナリ凡ソ目ニ視ル可ク且ツ變轉スル有形ノ物ハ皆此道理ノ釀成スル所ナリ又曰ク神ノ物ヲ造ルヤ一モ自ラ知ラスシテ之ヲ作リシ者有ルヿ無シ夫レ神ノ萬物ヲ造ルニ於テ一々自ラ知リテ之ヲ作リシヿハ其先ツ虛靈ノ道理ヲ造リシヿ疑ヲ容レス云々

基督宗ノ理學ニ在リテハ彼ノ神智ト至善トノ二者ノ相交涉スル所果シテ如何以下請フ之ヲ論セン

基督宗ノ理學モ亦プロタン家ノ學士ト同ク以爲ラク彼ノ神ノ至善ノ其神

智ナ運セシハ自然ノ勢ニ由リテ然リ初ヨリ有リテ然ルニ非スト是ニ知ル基督宗ノ理學士ニ在リテハ世界庶物ノ發生セシハ神智ノ外ニ迸發セシニ外ナラスシテ未タ眞ノ造物ノ業ト爲スヲ得サルナリ是ニ於テ乎火及ヒ光明智識ノ類ヲ取リテ喩ト爲セリ顧フニ此喩ハフィロン嘗テ之ヲ創シ然後サーンジュスタン、テルチュリヤン、オリジエーンス、タンヤンサーンヤレール相繼テ之ヲ襲ヒ以テ其說ヲ明カニセリ其後僧徒ニセーニ相會シ敎諦ヲ議スルニ及ヒ更ニプロタン云々ノ語譯者云フ此處希臘語有リ譯者解ヲ以テ定メテ典則ト爲シ其後更ニ又敎諦ヲ議定スル有リテ遂ニ此典則ヲ取リテ之ヲ宗旨ノ象徵ノ中ニ列セリ

然リト雖モ基督宗ノ理學士モ亦プロタン家ノ說ト相合セサル所有リ神智ト至一卽チ神トノ尊卑ヲ論スルノ處卽チ是ナリ以下之ヲ論セン

プロタン家ノ學士以爲ラク神智ハ至善ヨリ出ッ故ニ至善尊クシテ神智卑シト蓋シ體用ノ別ナリ基督宗ノ理學士ハ正ニ之ト反シテ以爲ラク神智ハ卽チ神ノ意念ノ寓スル所ナリ故ニ其質固ヨリ至善ト一體ヲ爲ス尊卑ノ別有ル可ラス又以爲ラク神智ハ卽チ神語ニシテ不滅ニ且動カス可ラス是固ヨリ神ノ全體ノ寓スル所ナリト又以爲ラク父卽チ神ノ子卽チ神智及ヒ神語ノ義ヲ生ムヤ自然ノ理ニ由リテ然リ父ヲ以テ尊シトシ子ヲ以テ卑シトヲ得ス若シ父實ニ尊クシテ子實ニ卑シテ不粹不純ノ物ヲ生スルナリ他無シ子ノ父ニ於ケル其尊キヿ少ク相及ハサルヿハ是レ自ラ不粹ノ處有ルヲ免レスシテ自ラ不純ノ處有ルヲ免レサレハナリ

又以爲ラク子若シ父ヨリ卑ナリト爲スヿハ其相隔ルヿ如何ニ些少ナルモ終ニ以テ同體ト爲ス可ラスシテ其弊ヤ必ス世界有形ノ物ヲ以テ直チニ神智ノ寓スル所ト爲スニ至リテ卽チ古昔所謂神物同體ノ說ニ流入スルニ至ラント夫レ基督宗ノ學士トプロタン家ノ學士ト既ニ神父神子ノ說ニ係リテ相合セサル所有リ是ニ於テ乎三神一體說ノ第三義卽チ神智ノ義ニ係リ

テモ相合セサルヲ致ス是レ固ヨリ自然ノ序ナリ

第三　神ハ無上無比ノ意思ナリ○基督宗ノ學士以爲ラク神ノ意思ハ獨リ世界庶物ノ精神ナルノミナラス世界庶物ノ能ク活潑生々ノ氣ヲ行フ所ナリ是ニ知ル神ノ意思トハ正ニ愛ノ理ニ外ナラサルヲ他無シ庶物ノ能ク生殖スルハ是理ノ然ラシムル所ナレハナリ

前ニプラトンノ說ヲ祖述セシ者ノ愛ノ理ヲ說クニ於テ未タ甚瞭然タルヲ能ハス蓋シ彼輩愛ト願トノ二者ヲ混同シテ一理ト爲セリ夫レ願ハ愛ノ粗迹ニシテ其精處ニ非ス然ルヲ彼輩ハ愛ヲ以テ願ニ同シト爲ス是ニ於テ乎神ノ德ヲ以テ更ニ愛ノ上ニ置カント欲シ喋々議論シテ已マス殊ニ知ラス愛ハ神德ノ最モ貴フ可キ者ニシテ正ニ其意思ト一ヲ爲スヲヤ

プロタンノ云ヘリ神自ラ其己レヲ愛スト又云フ神ノ自ラ無ヲ出テ、有ニ入リタルハ其自ラ愛スルヲ以テナリト是言ヤ誠ニ間然ス可キ無シ但未タ明ニ神ノ其庶物ヲ愛スルカ爲メニシテ之ヲ造ルト曰ハス是レ猶ホ憾ム可シト爲スヲ免レスプロタン又云フ神ハ其自ラ有スル所ノ善ヲ重嗇セス又云フ神ハ妬媚スル所無シト是言ヤ誠ニ善シ但未タ神ノ有ス可ラサル所ノ惡德ヲ舉クルニ過キサルノミ何ソヤ夫レ神ノ天地庶物ヲ造ルヤ其事タル極テ高妙ニシテ思議ス可ラス今プロタン是事ヲ想像スルニ於テ獨リ神ノ吝ム所無ク妬ム所無キヲ言ヒ以テ自ラ足レリト爲ス夫レ吝ム所無ク妬ム所無キノ二事ハ未タ造物ノ業ヲ論スルニ足ラス何ソ更ニ進ミテ神ハ善ヲ好ミ善ヲ施スヲヲ好ム故ニ造物ノ業有リト曰ハサル乎是レ基督宗ノ理學家ノプロタンニ滿タサル所以ナリ

假令我レ一人世界ノ中ニ立チ兩手ニ花草ノ種子ヲ盈握センニ我カ心如何ニ妬ム所無ク如何ニ吝ム所無キモ必ス未タ遽ニ手ヲ放チテ種子ヲ地ニ下スニ至ラス何ソヤ妬ムヲ無ク吝ムヲ無キハ畢竟無爲ノ德ニシテ有爲ノ德ニ非サレハナリ是ヲ以テ若シ必ス種子ヲ地ニ播シテ其レヲシテ萌々然ト

シテ芽生セシメント欲スル片ハ我カ心ニ於テ此等花草ヲ愛スルノ情アリテ後方ニ是ニ至ル此レハ是レ基督宗ノ理學家ノ深意ナリ其意以爲ラク神ヲ以テ惡ヲ好マスト爲スノミニテハ未タ足ラス宜ク更ニ神ヲ以テ善ヲ好ムト爲ス可シ然ラスンハ未タ造物有爲ノ業ヲ論スルニ足ラスト顧フニプロタン家ノ學士モ亦茲ニ云フ所ノ理ヲ省セサリシニ非ス然リ而シテ是ニ論及セサリシ所以ノ者ハ以爲ラク是ノ如クニシテ下界人類ノ智ヲ以テ妄意ニ神ノ意ヲ窺測スルハ神威ヲ褻瀆シテ其尊ヲ損スルノ恐有リト是ニ於テ故ラニ默ヲ守リテ敢テ明言セサリキ

プロタン家ノ學士以爲ラク下界人類ノ智ヲ以テ神ノ威德ヲ窺測セント欲スル片ハ神ノ有ス可キ所ノ德ヲ指數スルヨリハ寧ロ神ノ有ス可ラサル所ノ性ヲ指數シテ之ヲ除斥スルニ如カス是ノ如クスル片ハ神ノ神タル所以ノ者自然ニ言辭ノ外ニ隱躍セント是其所謂除斥ノ法ナリ夫レプロタン家ノ學士ノ神ヲ論スルニ於ケル之ヲ言語ノ中ニ求メスシテ之ヲ言語ノ外ニ

求メント欲シテ而シテ此カ爲メニ基督宗理學士ノ指摘シテ譏議スル所トナリシヿ此ノ如シ蓋シ基督宗理學士ニ在リテハ以爲ラクプロタン家ノ所謂神ハ無爲空寂ニシテ有爲仁愛ノ生氣無シト基督宗ノ理學士又神ノ意思ヲ論スルニ於テ極メテ丁寧ヲ致シテ而テ神體ノ何物タルヲ說クニ於テ益〻詳備ナルヿヲ得タリ是レ其別ニ機軸ヲ出セシ所ノ處ナリ

且ツヤプロタン家ノ學士ト基督宗ノ理學士ト大ニ見ヲ異ニスル有リ蓋シプロタン家ノ學士ニ在リテハ以爲ラク凡ソ世界庶物皆自然ニ神體ヨリ迸出セリ卽チ諸々無形虛靈ノ理義ニ論ナク一切有形ノ物ト雖モ皆然ラサルヿ莫シト所謂庶物迸出ノ說（エマナシヨン）ナリ基督宗ノ理學ニ在リテハ以爲ラク神ノ三體ハ永久閉結セル一光圓環（セルクル）ナルヲ以テ迸出ノ說ハ獨リ神父ノ神子ニ於ケルト神子ノ神智ニ於ケルノ際ニ係リテ之ヲ爲ス可キノミ若夫レ有形庶物ノ生出ニ至リテハ復タ自然迸出ノ說ヲ用フ可ラスシテ宜ク異ノ造物クレマシヨン

ノ說ヲ用フ可キナリト基督宗ノ理學士是ノ言ヲ爲スコト及ヒ造物ノ說始メテ晝然トシテ條理有ルヿヲ得爾來理學士往々其言ニ賴リテ以テ造化ノ秘ヲ窺測シテ之ヲ其論項中ニ入ルヽニ至レリ

是ヨリ前猶太人モ亦神ノ造物ノ業ヲ論シテ以爲ラク神固ヨリ其自由ノ德ニ由リテ之ヲ造レリ少モ外ニ待ツヿ有リシニ非スト印度人希臘人ハ以爲ラク神ハ愛情ニ由リテ其造物ノ業ヲ成セリト但其所謂愛ハ一種願欲ノ類ヲ含ムニ似タル有リ蓋シ以爲ラク神ノ未タ庶物ヲ造ラサルヤ冲漠無朕ニシテ寂然深ク其空洞ノ中ニ韜處シ或ハ呼息シ或ハ呼息スルヿ無ク獨リ自ラ生活スルノミ既ニシテ一旦其純一ノ中ニ大聲シテ曰ク我レ是ノ如クニシテ其獨リヲ守ルヨリハ寧ロ化シテ身ノ千億ト作ルニ如カン哉ト是ニ於テ其放身デブーノ能ニ由リ以テ天地庶物ヲ產出セリ云々是レ既ニ前ニ之ヲ論セリ

若夫レ基督宗ノ理學士ニ至リテハ均ク愛情ヲ以テ造物ノ本ト爲スト雖モ然レモ其所謂愛ハ少モ自ラ嗜欲スル所有リテ發スルニ非スシテ純然自己ノ斷ヨリ發シタル者ナリ是レ其迥カニ下界人類ノ生產ノ事ト異ナル所以ニシテ神ノ造物ノ業ヲ論スルニ於テ大ニ適當スル者有ルニ似タリ

神ノ造物ノ業ヲ論スルニ於テ試ニ其仁愛ノ情ヲ除非シテ之ヲ考ヘヨ是ノ如クスルトキハ獨リ能力ト智慧ト有ルニ留マランノミ然ルニ若シ神ノ世界庶物ヲ造ルヤ仁愛ノ情有ルニ非スシテ獨リ其廣大ノ能力ト廣大ノ智慧トニ由リテ之ヲ造作スト曰フトキハ是レ造物ノ業タル一種偶爾トシテ發シ突如トシテ來レル者ノ如クニシテ一段活潑自由ノ氣象ヲ欠クヿ有ルヲ免レス果シテ是ノ如クナルトキハ所謂神ハ一能力ノ自然ニ發暢スル者タルニ過キサルノミ一智慧ノ自然ニ進長スル者タルニ過キサルノミ造物ノ大業豈當サニ是ノ如クナル可ケンヤ哉

若シ然ラスシテ神ノ造物ノ業ヲ以テ純然ノ仁粹然ノ愛ニ出タリト爲ストキハ復タ是ニ舉クル所ノ弊有ルヿ無シ何トナレハ仁ノ事タル純然己レヨリ

發スル者ニシテ少モ外ヨリ要セラルヽニ非サレハナリ蓋シ凡ソ愛情ヨリ發シテ人ニ施スニ惠ヲ以テスルニ於テ其人ノ深ク恩ニ感スルハ他無シ我レ初ヨリ已ムヲ得サルニ非スシテ純ラ之ヲ愛スルニ由リテ然レハナリ大陽ノ物ヲ煦スルヤ彼レ初ヨリ我ヲ愛スルニ由リテ然ルニ非サルナリ是ヲ以テ吾人日ニ大陽ノ賜ヲ受クルモ少モ恩ニ感スルノ意有ルヿ無シ設令天地世界ヲシテ自然ニ已ムヿヲ得スシテ神體ヨリ迸出セシヿ一ニ煖氣ノ大陽ヨリ發スルカ如クナラシメハ吾人安ソ復タ神ノ恩ヲ德トスルヿヲ須ヒン唯其レ神ノ純然ノ愛粹然ノ仁有リテ物ヲ造レリ是ヲ以テ敬ヲ奉スル者モ亦深ク神ヲ愛シテ之ヲ虔敬スルヿ是ノ如ク其至レルナリ是レ基督宗理學士ノ神ノ仁愛ノ說有ル所以ナリ

基督宗ノ理學士モ亦神ノ仁愛ノ情ニ於テ一種避ク可ラサルノ理有リト爲スノ迹有リ然レ𪜈其所謂避ク可ラサルノ理ハ外ヨリ發スル者ニ非ス是ヲ以テ偶爾トシテ發シ突如トシテ來ルニ非ス蓋シ基督宗學士ノ所謂避ク可

ラサルノ理ハ純然心中ヨリ發スル者ニシテ將ニ謂ハントス彼ノ神其心中深仁ノ念有リ自然ニ發越シテ自ラ避クルヿ能ハス是ニ以テ一旦天地ヲ打出セリト夫レ是ノ如シ故ニ避ク可ラサルノ理ト云フト雖𪜈實ハ神ノ自由ノ德ニ於テ害スル所有ルヿ無ク庶物感恩ノ念ニ於テ妨クル所有ルヿ無シ」夫レ基督宗學士ノ造物ノ業ヲ論道シテ以テ從前庶物迸出ノ理ヲ駁正セシヿ是ノ如シ是ヨリ前希臘古昔ノ神學家及ヒ詞人ノ屬モ亦愛ノ一理ヲ以テ神ト爲シテ以爲ラク是レ群神ノ中ニ就テ其威德最廣大ナルモノナリト又プラトン、アリストットノ如キモ愛ノ理ヲ以テ世界庶物ノ本有ノ性ト爲セリ但古昔希臘人ニ在リテハ未タ便ヲ愛ノ理ヲ以テ神ノ本體ト爲スニ及ハスシテ大率皆一種確然避ク可ラサルノ理ヲ以テ完粹精備ノ極致ト爲シテ以爲ラク神ノ本體自ラ然リト是ヲ以テ其造物ノ業ヲ論スルヤ往々庶物迸出ノ說ニ流入スルヿヲ免レサリキ

猶太ノ理學士出ルニ及ヒ神ノ造物ノ業ヲ論スルヿ大ニ從前ノ旨趣ト相異

コシテ專ラ神ニ歸スルニ無上無比ノ自由ノ德ヲ以テセリ蓋シ其仁愛ノ理ヲ說キ以テ神ノ廣大ノ業ヲ論道スルコトハ東方諸國ノ大德卽チゾロアストル、コンフュシュース「孔夫子」ノ謂「ブター」佛ノ謂ノ說ク所ト相類スル有リト雖モ然レドモ其自由ヲ論スルニ至リテハ全ク別ニ杼軸ヲ出セシト謂フ可シ

基督宗ノ學士ノ所謂神ノ自由ノ德ハ一種廣大不可思議ニシテ少モ外ニ俟ツ所無ク少モ中ニ取捨スル所無シ從前ノ宗旨ノ諸說及ヒ理學ノ諸見皆夫ノ避ク可ラサルノ大理ト純然ノ自由トノ上ニ於テ一種無上無比ノ完粹精備ト云フノ一義ヲ置キ以テ所謂大理ト所謂自由トノ二者ヲ調和セント欲セリ然ル所以ノ者ハ何ソヤ夫レ避ク可ラサルノ理ト自由トハ本ト相容レサルノ性有リ故ヲ以テ從前學士皆夫ノ避ク可ラサルノ理ヲ以テ一種必念ヨリ出ル者ニシテ外ヨリ來ル者ニ非スト爲シ夫ノ自由ヲ以テ一種專恣ノ行ト相涉ラスト爲シ此ヲ以テ是相容レサル二者ヲ調和スルヰハ以テ其說ヲ成就スルヿヲ得可シ是レ從前學士ノ苦心ノ處ナリキ基督宗ノ理學與ル

コト及ヒ夫ノ愛ノ一理ヲ以テ神說ノ第一義ト爲シ是ニ於テ從前曖昧ノ病ヲ免レサル者モ一變シテ大ニ光輝ヲ發シ從前泊索ノ失ヲ免カレサル者モ一變シテ大ニ活潑生々ノ氣象有ルヲ致セリ是レ基督宗理學士ノ發明ノ處ナリ

○第二　基督宗學士ノ道學

基督宗ノ學士既ニ自由活潑ノ愛ヲ以テ神德ノ第一義ト爲セシヨリ其人類ノ諸德ヲ論スルニ於テモ亦自由活潑ノ愛ヲ以テ第一義ト爲ス是レ固ヨリ自然ノ効果ナリ蓋シ善ノ極致ハ仁ニ存ス即チ人類ニ在リテモ亦然リ故ニ仁ノ行ハ正ニ道學向上ノ一義ニシテ凡ソ其餘ノ德行ハ皆之ニ繼テ起ル者ナリ

夫レ東方諸國ノ道學ノ如キハ大抵皆靜觀深察ヲ以テ狀態ト爲シテ其性質タル多クハ宗旨ノ敎ニ肖似シテ殆ト政治ト相蒙ムラサル者ノ如シ是ヲ以テ東方諸國ノ道學ハ皆亦仁若クハ愛ヲ以テ向上ノ德ト爲シテ以爲ラク是

レ無上威力ノ由リテ生スル所ナリ蓋シ柔ヲ守リ屈ニ安ンスルノ意ナリ我カ歐羅巴人ノ風俗ハ正ニ之ト反シ到ル處果敢進取ヲ以テ主ト爲シテ絶エテ柔ヲ守リ屈ニ安ンスルヿ無シ是ニ於テ意欲ノ果斷ナルト氣象ノ剛強ニシテ自由ナルトヲ以テ德行ノ極致ト爲シ以テ風ヲ爲ス蓋シ東方ノ民ハ天命ヲ順受シ苦境ニ安處スルヿヲ尙ヒ我西方ノ民ハ豪傷自ラ喜ヒ命運ト鬪爭シ以テ樂境ニ進入スルヿヲ尙フ是レ其相異ナル所以ナリ基督宗ノ道學與ルニ及ヒ更ニ寬柔愛仁ノ行ヲ以テ道德ノ極致ト爲スニ至リテハ大ニ我西方ノ道學ヲ一變セリ然レヒ基督宗理學ノ所謂愛ハ復タ東方諸國ノ學士ノ謂フ所ノ柔懦ナルカ如クナラスシテ其間極テ活潑進取ノ氣象有リ盡天下ノ人ヲ惹イテ之ヲ一愛ノ理ノ下ニ致シテ遺ス所無キニ至ラサレハ已マス是レ其邦家ヲ經營スルニ於テ大ニ裨益有ル所以ナリ基督宗ノ道學ノ所謂仁ハ其中二箇ノ愛情ヲ包有シテ是二者相待チテ相離レス卽チ一ハ神ヲ愛スルノ情ニシテ蓋シ其神ヲ愛スルハ當ニ無上無比ニシテ一切他物ヲ愛スルノ情ニ超過ス可キナリ一ハ他人ヲ愛スルカ爲メニシテ然ル者ナリ所謂神ニ對スル仁トノ二者ナリ

サーンポール　其絶特ノ雄辯ヲ振フテ以テ仁ノ一義ヲ論シテ曰ク設令我ヲシテ能ク一切人類ノ語言ヲ使用シ又能ク天ノ諸尊者ノ辭說ヲ摸擬セシムルモ若シ仁ノ德無キハ是モ亦鐘鏞ノ善ク響ク者ノミ鼓鼙ノ善ク鳴ル者ノミ終ニ以テ人ト爲ス可ラス設令我ヲシテ能ク一切秘密ノ妙諦ヲ解シ一切ノ學藝ニ通曉シ我カ信仰ノ一心ヲシテ能ク山ヲ倒シ谷ヲ移スノ力有ラシムルモ若シ仁ノ德無キハ是モ亦知ル所無キ者ト爲サンノミ

サーンポール　又曰ク我レ縱令貧人ヲ賙濟スルカ爲メニ財ヲ傾ケテ之ヲ捐ツルモ眞ノ仁心無キハ何ノ功德ヲ生スル□無シ我レ縱令人ヲ救フカ爲メニ身ヲ挺シテ火中ニ入ルモ眞ノ仁心無キハ何ノ功德ヲ生スル□無シ」又曰ク仁ナル者ハ人ノ忍フ□能ハサル所ヲ忍フノ謂ナリ人ニ施スニ惠ヲ

以テスル者ナリ仁者ハ人ヲ妬娼セス物ヲ待ツニ麁暴ノ病無シ仁者ハ汰虐以テ人ヲ凌カス又曰ク仁者ハ堪ヘサル所無ク信セサル所無ク望ヲ置カサル所無シ云々

是ニ由リ之ヲ觀レハ仁ノ德タル一種自ラ斷シ自ラ進ミテ他人ヲ愛惠スルノ謂ナリ若シ仁心無キ片ハ一切事業即チ智慧ヨリ發スル諸偉功モ忘術ニ於テ初ヨリ美トス可キ無シ凡ソ人類ノ行ノ第一ト稱ス可キ者ニシテ之レ無キ片ハ一切事業皆其價ヲ喪フ是正ニ仁德ノ貴フ可キ所以ナリ

仁モ亦古來種々ノ解有リ而シテ茲ニ舉クル所ノ者ハ基督宗道學ノ第一義ト爲ス所ナリ是ニ於テ乎又仁ニ係ル一事項ノ由リテ生スル有リ曰ク我レノ人ヲ待ツヤ固ヨリ當サニ必ス之ヲ愛敬ス可キナリ然レ𪜈其之ヲ愛スルト否ラサルトハ畢竟吾人ノ自ラ斷スル如何ニ在リテ決シテ外ヨリ制セラレテ已ムヲ得サルニ由ルニ非サルナリ

是ニ由リテ之ヲ考フルニ基督宗ノ理學ノ所謂愛ハ大ニ從前ノ云フ所ト異

サル者有リ蓋シ古昔ニ在リテハ凡ソ愛スル所有ル者ハ皆其情念ノ驅ル所ト爲リ自ラ禁スルヿ能ハス已ムヿヲ得スシテ斯ニ以テ之ヲ愛シテ絶エテ自ラ心ニ斷スルヿ無シ若夫レ基督宗理學士ノ云フ所ニ至リテハ然ラス我カ心如何ニ之ヲ慕望スルモ現ニ之ヲ愛スルト否サルトハ我ノ自ラ斷スルヿ如何ニ在リ一言之ヲ括スル片ハ已ムヿヲ得可ラサルノ愛ト自由ノ愛トノ別ナリ

古昔ノ愛ハ情ヲ以テ本ト爲ス故ニ已マント欲シテ能ハス流蕩シテ止マラサルナリ基督宗ノ愛ハ意欲ノ斷ヲ以テ本ト爲ス者ナリ意欲ノ斷ヲ以テ本ト爲ス故ニ操縱ノ權常ニ己レニ在リ顧フニ凡ソ惠ト云フ者ハ我レ自ラ進ミテ是人ニ惠ムヿ能ハスシテ自然ニ是人ニ惠スル片ハ眞ノ惠ニ非サルナリ是人ノ牽引スル所ト爲リテ然ルニ過キサルノミ

然リト雖モ愛ノ中ニ就テ自由ノ義ヲ求メ得テ明瞭ナリシヿハ基督宗理學

ノ方ヨ興レルノ時ニ非スシテ數百年ノ後ヨ在リ然ル所以ノ者ハ他無シ當初ヨ在リテハ僧門ノ徒一種極テ自由ト相反スル旨義ヲ把リテ之ヲ理學ノ中ヨ列シテ而テ此旨義ノ力遂ヨ彼ノ自由ノ義ト相抵シテ相容レサルヲ致セシヲ以テナリ請フ之ヲ論セン

當初基督宗ノ理學士人類ヲ以テ自ラ斷シテ心外ノ制ヲ受クルヿ無キヲ得ルノ力有リト爲シテ乃チ以爲ラク吾人自由ノ性有リ是正ヨ吾人ノ獨立不倚ヲ尊ヲ爲ス所以ナリ夫レ吾人善ヲ愛スルヿヲ得テ而シテ或ハ之ヲ愛セス惡ヲ爲スヿヲ得テ而シテ之ヲ爲サス夫レ是ノ如クヨシテ後善人惡人ノ稱方ヨ當ヲ得ルナリ若シ然ラスシテ自ラ已ムヿ能ハスシテ善ヲ爲シ若クハ惡ヲ爲スキハ何ノ善トス可キヿカ之有ラン何ノ惡トス可キヿカ之有ラン是レ所謂自由ノ說ナリ然ルヨ又別ヨ一說ヲ爲シテ以爲ラク吾人人類一タヒ下界ヨ墮落シテヨリ性質一變シテ惡ヲ成シテ復タ前世淨身ノ比ヨ非ス是ヲ以テ吾人ノ情常ヨ惡ヨ嚮往シテ自ラ禁スルヿ能ハス其或ハ能ク

勉テ善ヲ爲ス者有ルハ唯神ノ寵靈（ガラース）ヨ由リテ纔ヨ然ルノミ能ク自ラ其心ヨ斷シテ獨力ヲ以テ然ルヨ非サルナリト是レ所謂寵靈ノ說ヨシテ前ニ舉クル所ノ自由ヨ反スル一旨義トハ卽チ是ナリ

夫レ吾人果シテ自由ノ性有リテ能ク自ラ斷シテ善ヲ爲スヿヲ得ルトキハ神ノ寵靈ヨ賴ルヿハ初ヨリ須フル所ヨ非ス若シ果シテ吾人ノ性眞ヨ惡ヨシテ必ス寵靈ヨ賴ルヿヲ須フルトキハ是レ吾人決シテ自由ノ性有ルヿ無キヿヲ之ヲ如何セハ則チ此二ノ旨義果シテ相合スルヿヲ得ル乎

夫レ是問題ヤ半ハ理學ヨ涉リ半ハ敎法ヨ涉ル者ニシテ基督宗ヲ奉スル學士輩相聚訟論難シテ決セサルヿ久シ是問題ヲ解シ得テ稍ヤ妥當ナルヨ及ヒテ後チ夫ノ愛ノ自由ノ說方ヨ始テ明瞭ナルヿヲ得タリ請フ先ツ所謂神ノ寵靈ノ義ヲ論シテ之ヲ明ヨセン

夫レ神ノ寵靈ノ義ハ其本タル緊ク敎法ヨ關スルヨ論無シト雖モ其中亦頗ル理學ヨ涉ル者有リ蓋シ所謂神ノ寵靈トハ神ノ是人ヨ與フルヨ善ヲ爲ス

ヿヲ得ルノ性ヲ與フルノ謂ニシテ而テ神ノ此性ヲ是人ニ與フルヤ純然神ノ意ニ出ル者ニシテ初ヨリ是人ノ請禱シテ之ヲ獲ル所ニ非ス神固ヨリ其自由ニ由リテ此性ヲ是人ニ與フ而テ是人一タヒ此性ヲ享ケテ生ルヽヤ亦其自由ニ由リテ以テ善ヲ爲スヿヲ得テ卽チ其自由ニ由リテ以テ神ヲ愛スルヿヲ得ルナリ神ノ寵靈ノ義蓋シ此ノ如シ

是ニ由リテ考フレハ所謂神ノ寵靈ノ旨義ト人必自由ノ旨義トヲシテ並行シテ悖ラサラシムルノ道蓋シ一有リ曰ク一ニハ以テ神ノ人類ヲ愛スルト人類ノ神ヲ愛スルト果シテ是ノ如クナルヤハ吾人ノ神ヲ愛スル所ノ自由トヲ區別スル是ナリ

シテ卽チ善ヲ爲ス所以ノ者ハ他ニ非ス神初メ我ヲ愛シテ我ニ與フルニ善ヲ爲スノ自由ヲ以テセシヲ以テ亦神ヲ愛シテ以テ之ニ報スル有ルヿヲ思フ是ニ知ル吾人ノ善ヲ爲スヿハ神ノ寵靈ノ恩ニ答フル所以ナルヿヲ

夫レ然リ是ヲ以テ吾人ノ神ヲ愛スルト否ラサルトハ固ヨリ我ノ自由ナリ決シテ已ムヿヲ得可ラスシテ然ルニ非サルナリ

茲ニ擧クル所ハ基督宗ノ理學士輩ニ在リテ其愛ノ自由ノ說ト神ノ寵靈ノ說トヲ調和スルカ爲メ倡道セシ論ニシテ其他是類頗ル多シト雖モ其最モ理學ノ旨趣ニ戻ラスト爲ス可キハ之ニ踰ユル莫シ

既ニシテ又一問題ノ極テ艱難ナル者出來リテ前ノ問題ヲシテ更ニ益〻紛錯ナラシムルヿヲ致セリ夫レ神ノ通力ト人ノ自由トハ本ト相容レサル者ニシテ基督宗ヲ奉スル學士ニ在リテ極テ艱難トスル所ナリ然ルニ更ニ又天命ノ說（デスチナシヨン）興リテ以爲ラク吾人人類ノ中或ハ天ニ命セラレテ常ニ憂苦ノ地ニ立チテ免ルヽヿヲ得サル者有リ亦或ハ常ニ安樂ノ境ニ居テ憂苦ニ遇フヿ無キ者有リト夫レ此天命ノ說タルヤ此ヲ解スルニ吾人自由ノ性ヨリ生スル所ノ賞罰ノ說ヲ以テスルモ未タ全ク人心ヲ厭服スルニ足ラス是ニ於テ乎又選抜（エレクシヨン）ノ說興リ以テ所謂天命ノ說ヲ解釋スルヿヲ求メリ

以下之ヲ論セン

所謂選抜ノ說トハ曰ク神豫メ是人ヲ選抜シ其レヲシテ必ス墮落ノ患無ラシムト即チサーントーギュスタンノ說ニ以爲ラク神ノ特ニ選抜スル所有リテ之ヲ寵異スルヿハ決シテ吾人人類ニ在リテ其然ル所以ヲ窮究スルヿヲ得可ラス他無シ是レ神ノ純然其自由ヲ以テ爲ス所ナレハナリ又以爲ラク神ノ人ヲ濟度スルヤ一切衆生ヲ擧ケテ皆之ヲ濟度スルニ非スシテ特ニ其濟度セント欲スル所ノ者ヲ選ヒテ之ヲ濟度スルノミ

夫レ所謂選抜ノ事ハ神ニ在リテ永世不滅ノ事ニシテ未タ人類ヲ造ラサルノ前ヨリ早ク已ニ是意思有リテ人類ノ中濟度ヲ被ムル者若干有リテ餘ハ一モ之ニ與カルヿヲ得ス是レ蓋シ開闢ニ先チテ發シテ永劫不斷ノ業ナリ」

顧フニ此選抜ノ說タルヤ一ハ以テ人心自由ノ說ヲシテ全ク消滅ニ歸セシメ一ハ以テ神ノ自由ノ愛ヲシテ啻ニ一時寵靈ノ事ノミニ非スシテ卽チ放肆恣睢ノ事ト爲ラシムルヲ致ス何ソヤ神豫メ若干人ヲ限リテ其レヲシテ獨

リ善ヲ爲シテ以テ後福ヲ得セシメ餘ハ皆惡ヲ爲シテ以テ墮落ノ苦ヲ受ケシムルトキハ是レ神ノ行タル放肆ニシテ恣睢ナルニ非ス乎

是ノ如クニシテ我カ中古ノ理學ニ在リテ神ノ寵靈及ヒ人心自由ノ理ノ問題益〻艱難ニシテ論決ス可ラサルヲ致セリ夫レ所謂神ノ寵靈ナル者眞ニ之有リト爲ストキハ吾人ノ精神ノ自由ハ果シテ空幻ノ一妄像ニシテ初ヨリ眞ノ才性ニ非サル乎是ノ如クナルトキハ吾人ノ生ヲ爲スヤ終ニ彼ノ避ク可ラサル天命ノ使フ所タルニ過キサルナリ將タ然ラスシテ神ハ自ラ其自由ノ德アリ吾人モ亦自ラ其自由ノ德有アリテ兩ナカラ相妨クルヿ無キ乎是ノ如クナルトキハ神ハ其自由ノ德ニ由リテ人類ヲ愛シ人類モ亦其自由ノ德ニ由リテ神ヲ愛シテ斯ニ以テ神ニ事フルノ道ヲ全クスルヿヲ得可シ是二ノ旨趣常ニ壘ヲ對シテ勝敗ヲ決スルヿ能ハサリキ

基督宗ノ理學士一タヒ仁愛ノ理ヲ以テ神ト人類トノ交渉ヲ論定セシヨリ人生最上ノ利益ニ係リ大ニ從前ノ說ヲ一變スルヲ致セリカントノ論スル

所ニ從ヘハ古昔ノ理學士ハ皆ナ以爲ラク人生最上ノ利益ハ必ス德義ト慶福トノ二者ヲ以テ成ルト其意蓋シ德義ヲ以テ因ト爲シ慶福ヲ以テ果ト爲シテ此二者緊ク相應シテ時ヲ移スコト無シ卽チゼノン家ノ學士ノ如キハ以爲ラク吾人苟モ德義ヲ行フ時ハ必自ラ滿足シテ斯ニ以テ慶福ヲ享ケト雖ニ德義ヲ以テ因ト爲シ慶福ヲ以テ果ト爲スノミナラス直チニ此二者ヲ以テ同一體ト爲スニ至レリ又エピキュール家ノ學士ハ以爲ラク吾人苟モ福利ヲ獲ル時ハ是正ニ德義ニ循フナリ其旨趣ゼノン家ノ學士ト正ニ相反スト雖モ其德義ト慶福トヲ以テ同一體ト爲スコハ則チ一ナリ基督宗ノ學士ニ至リテハ復タ德義ト慶福ノ二者ヲ混同スルコト無クシテ其間頗ル相隔タル處有リト請フ之ヲ言ハン

基督宗ノ理學ニ從ヘハ德義トハ神ヲ愛スルノ謂ニシテ慶福トハ神ト一體ヲ相爲スノ謂ナリ故ニ眞ノ慶福ハ下界ニ在リテハ之ヲ得可ラス必ス死後天堂ニ登リテ後方ニ之ヲ得蓋シ斯世ニ在リテ能ク神ヲ愛スルトキハ既ニ幾

分神ト一體ヲ相爲スコヲ得ルト雖モ然レトモ是レ未タ眞ノ慶福ト稱ス可ラス他ニ非ス愛情ナル者ハ至テ廣大ニシテ必ス其愛スル所ノ者ヲ領有シテ己レノ物ト爲シ進ミテ全ク之ト一體ヲ爲スニ非サレハ已マサレハナリ

夫レ然リ是故ニ基督宗ノ理學ニ從ヘハ德義ヲ行フコハ畢竟眞ノ慶福ニ赴クノ第一步ニ過キス若夫レ眞ノ慶福ヲ全有シテ乃チ最上ノ利益ヲ獲ルコハ神ト同一體ヲ爲シテ卽チ己レノ愛スル所ヲ全有スルノ候ニ在リ是正ニ人タル者ノ天ニ命セラルヽ所ノ旨趣ニシテ死後天堂ニ登ルニ及ヒテ方ニ始テ獲可キ者ナリ

斯世ニ在リテモ賢人君子益〻其信心ヲ凝ラシ其德行ヲ修メ進ミテ已マス以テ安行ノ地ニ達スルハ亦最上ノ利益ヲ享受シテ卽チ齊聖ノ大德ト爲ルコヲ得是ノ如キ者ハ之ヲ斯世ニ居テ天堂ノ樂ヲ享クル者ト謂フ

夫レ基督宗ノ理學タルヤ必ス天堂ニ登ルノ時ヲ以テ最上利益ヲ獲ル候ト爲スヲ以テ其勢全ク斯世ノ生ヲ鄙トシテ事ヲ事トセサルニ至ル獨リ此レ

ノミナラス其弊ヤ凡ソ政治及ヒ利用厚生ノ道ニ係ル諸制度ヲ舉ケテ皆之ヲ意ニ嬰ケサルニ至ル他無シ其鄉國トスル所ハ斯世ニ存セスシテ來世ニ存スレハナリ

夫レ基督宗ノ理學ノ此種ノ說ハ稍ヽ神人感合ノ說ニ類似スト謂フ可シ顧フニ此說ヲ信奉スル者特ニ其旨趣ヲ己レノ一身ニ實踐スルニ止マリテ或ハ貨財ヲ賤シミ官爵ヲ鄙トシ若クハ性命ヲ輕ンスルモ未タ必スシモ深害トスルニ過キサレハナリ若夫レ他人ト交接スルノ際ニ於テ是旨趣ヲ實踐シテ法律政治ヲ輕忽ニスルニ至リテハ其害必ス言フニ勝フ可ラサル者有リ

夫レ法律政治ノ目的タルヤ邦國ノ構造ヲ整頓シ民人ノ權理ヲ調和シ務テ斯世ニ在リテ人々ヲシテ福祉ヲ享ケシムルニ在リ然ルヲ一切此等ノ事ヲ鄙トシテ之ヲ意ニ經サルニ至ルヤ縱令來世ニ於テ最上ノ利益ヲ獲ルモ生前ヲ如何セン是ハ則チ基督宗理學ノ弊ナリ

第二譯者按スルニ此前題目ノ外別ニ第一ノ語ヲ揭出セシヲ見ス今直チニ原文ニ從フテ之ヲ記ス

仁愛ノ理ヲ以テ其說ノ基址ト爲スト雖モ亦仁ノ一德ヲ以テ人々相與ニスルノ際ニ於テ最モ重要ニシテ且最モ廣博ナリト爲ス以下請フ之ヲ論セン

凡ソ他人ヲ愛スト云フ者ハ先ツ其レヲシテ自ラ修メテ益〻賢哲ノ地ニ達スルヲ得セシムルニ在リ是ヲ道學上ノ利益ト謂フ次キニ人ノ痛苦ノ地ニ在ルヲ見ル作ハ當ニ務テ之ヲ救助ス可シ蓋シ基督宗ノ理學ニ在リテハ憂苦ヲ鄭重ニスルノ極尊ヒテ一種神物ト爲スニ至ル以爲ラク憐愍ト宥恕トハ仁ノ二ノ形態ナリト經典ニ曰ク憂悲シテ泣ク者ハ多幸ナリト謂フ可シ云々又曰ク正理ノ爲メニ苛虐ヲ被ムル者ハ多幸ナリト謂フ可シ云々又曰ク凡ソ首ヲ屈シテ衡軛ニ苦ム者ハ皆來リテ我ノ濟度ヲ受ケヨ我レ其レ汝ヲシテ能ク氣象活潑ニシテ萎薾ニ至ラサラシメン云々又曰ク醫ノ術ヲ施スハ健全ノ人ニ於テスルニ非スシテ疾病ノ人ニ於テス余ノ斯世ニ降生セ

シモ亦猶ホ醫師ノ病者ニ於ケルカ如シ正義ノ人ハ余ノ之ヲ濟度スルヲ須ヒス余ハ將ニ罪障有ル者ヲ導キテ其レヲシテ自ラ懺悔シテ以テ難ニ免レシメント欲ス云々

經典又曰ク余汝等ニ告クルニ實ヲ以テス汝其レ之ヲ信セヨ凡ソ罪障ヲ負フ者及ヒ婦人猥汚ノ罪有ル者ハ余將ニ之ヲ濟度シテ他人ニ先チテ天ノ王國卽チ天堂ノ義ニ入ルヲ得セシメン汝等余ヲ以テ嚴峻ニシテ憚ル可シト爲スヿ勿レ余ハ温柔ニシテ謹遜ナルヲヲ喜フ汝等其レ之ヲ安ンセヨ又曰ク余ノ汝等ニ繫クル所ノ衡軛ハ極テ柔ニシテ汝等ノ負ハシムル所ノ任載ハ極テ輕シ汝等畏ルヽヿ勿レ又曰ク若シ一人有リ斯ノ孤弱ナル衆生ノ中飲ヲ請フヿ有ランニ之ニ與フルニ一觴ノ酒ヲ以テセスシテ僅ニ一杯ノ冷水ヲ以テスル件ハ吾レ必ス其人ノ賞ヲ望ム可ラサルヿヲ知ル若シ一人有リ己レヲ處スルヿ方正ニシテ曾テ罪障ヲ負フヿ無キモ若シ斯中ノ一婦孺ニ投スルニ石ヲ以テスル件ハ吾レ必ス其人ノ天ノ王國ニ登ルヿヲ得サルヿヲ知ル若シ必ス天ノ王國ニ登ルヿヲ得ント欲セハ速ニ行ヲ改メ心ヲ洗ヒ嬰孩ノ無念ニシテ無意ナルカ如キヲ學フニ如カス云々

又曰ク汝ノ右手ハ當ニ汝ノ左手ノ爲ス所ヲ忘レテ之ヲ記セサルヿヲ務ム可シ又曰ク嗚呼天神願クハ此輩ノ罪ヲ宥セヨ此輩自ラ其爲セシ所ノ道ニ違フヿ有ルヿヲ覺ラス天神願クハ以テ咎ト爲スヿ勿レ云々

然リト雖モ基督宗ノ道學タルヤ其衆人ニ敎誨スルニ於テ決テ小成ニ安ンスルヿヲ以テスルニ非スシテ必ス自ラ勉メテ已マス以テ神聖ノ域ニ達スルヿヲ以テスルヿ前ノゼノン家ノ學士ノ嚴厲ナルト少モ異ナルヿ無シ卽チ經典ニ曰ク汝等自ラ克修シテ汝カ天父ノ精粹齊聖ナルニ倣ヒセヨ云々蓋シ凡ソ吾人ニ命ス可キ者ハ財ヲ棄テ身ヲ捐テ及ヒ一切己レヲ顧ミサルニ至ルト雖モ皆ナ之ヲ命シテ少モ寬假スルヿ無シ

凡ソ此等修行ノ極致ハ衆生ヲシテ皆之ニ達スルヿヲ務メシム官爵極テ高キ者威權極テ隆ナル者最卑賤ナル者最幺微ナル者一モ列ニ與カラシメサ

ル莫シ然ル所以ノ者ハ何ソヤ蓋シ基督宗ノ理學タル愛ヲ以テ本ト爲ス而シテ凡ソ愛ナル者ハ中道ニ止マリテ自ラ安ンスル者ニ非ス必ス極處ニ到リテ後已マント欲スルヲ以テ吾人苟モ他人ヲ愛スルトキハ當ニ務テ之ト一體ヲ爲スヿヲ求ム可ケレハナリ

夫レ基督宗ノ道學ノ人々ニ命スルニ深ク他人ヲ愛スルヿヲ以テシテ其極ニ至ルヿ是ノ如シ然レ𪜈是レ實ハ獨リ人々相愛セシムルカ爲メナラスシテ實ハ以テ神ヲ愛セシムルカ爲メナリ何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク基督宗ノ道學ニ在リテハ凡ソ人類ハ皆神ヲ以テ父ト爲ス者ナリ故ニ人々相愛スルハ正ニ其同ク父トスル所ノ神ヲ愛スルニ外ナラサルナリ是ニ知ル基督宗ニ在リテハ天下人々皆兄弟ナルヿヲ故ニ經典ニ曰ク汝等皆一身幹ノ支節タルニ過キス手ト云ヒ足ト云ヒ相分ルヽカ如シト雖モ實ハ一身ノ統フル所タルニ過キス痛痒相恤ヘサルヿヲ得ン哉

經典又曰ク異宗ノ人ト無ク猶太人ト無ク陰勢ノ皮ヲ斫リ去ル者ト否ラサル者ト夷蠻人ト都人トシット人ト良家子ト奴隷人ト實ハ皆一ジエシュー、クリスノ支節タルニ外ナラス云々

凡ソ此一切平等ノ旨趣ハ畢竟吾人人類ヲシテ皆盡ク神ヲ愛スルヿヲ求メ且ツ神ノ愛スル所ト爲ルヿヲ求メシムルニ在リ故ニ所謂平等ハ宗教上ノ平等ト謂ツ可キナリ

是故ニ人若シ基督宗道學ノ所謂平等ノ義ト吾儕所謂政治ノ平等ノ義トヲ合シテ之ヲ同クスルトキハ大謬ナリ所謂政治ノ平等ハ人々有スル所ノ權理ヲシテ相均シカラシムル者ナリ基督宗ノ平等ハ人々負フ所ノ責任ヲシテ相均シカラシムル者ナリ相去ルヿ極テ遠シ是故ニ古來基督宗ノ所謂平等ノ義ハ凡ソ此宗旨ヲ奉スル國ニ在リテ極テ不公平ナル政治ノ本ニ儼存セシヿ往々其例ヲ見クリキ夫レ政治極テ不平等ニシテ人民ノ痛苦ヲ爲スニ方リ基督宗中一種其宗旨上ノ平等ノ義有ルヲ以テ人々此ニ由リテ少ク自ラ心ヲ慰スルヿヲ得タリ

又基督宗理學士云フ所ノ自由權ノ義モ亦其所謂平等ノ義ト同クシテ吾儕云フ所ノ自由權ノ義ト大ニ相異ナリ請フ基督宗所謂自由權ノ何物タルヲ論セン

夫レ愛ノ理ノ貴フ可キハ其自由ナルニ由ル我レ吾カ自由權ニ賴リ以テ益〻自ラ克愛スル故ニ其愛タルヤ貴フ可キナリ又吾人各〻其自由權ニ賴リ以テ益〻自ラ克修シテ其極ニ至ルヲ求メ及ヒ他人ヲシテ其自由權ニ賴リ以テ自ラ克修セシムルヲ求ムル是ニ知ル心ノ自由ハ神ニ事フルノ際ニ於テ並ニ自ラ修メ人ヲ治ムルノ際ニ於テ共ニ缺ク可ラサルヲ夫レ然リ故ニ自由ナル者ハ凡ソ利益ノ中ニ就テ最モ貴重ニシテ且ツ最モ侵ス可ラサル者ナリ之ヲ要スルニ基督宗所謂自由ハ畢竟心ノ自由ニ外ナラサルヲヲ基督宗初年ノ理學士ノ自由ノ理ヲ倡說スルヲ大抵皆茲ニ擧クル所ノ意ニ外ナラス更ニ之ヲ言ハンニ曰ク人心ノ自由ハ人々ノ氣宇ヲシテ益〻高朗ナラシムル是レ其貴フ可シト爲ス所以ナリ但是ニ於テ一疑義有リ何ソヤ余ヲ

以テ之ヲ考フルニ基督宗ノ理學士ハ能ク原因ヲ揭出シテ而シテ未タ此原因ノ生スル所ノ効果ヲ盡スヲヲ能ハサリキ何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク彼輩ノ意ニ從ヘハ仁ハ諸德ノ首ニシテ衆善ノ長ナリ而シテ此德ハ本ト吾人ノ心ノ自由ヨリ出ル者ナリ果シテ然ルトキハ苟モ仁ヲ强ムル者ハ凡ソ其己レヲ處シ物ヲ待ツノ際獨リ己レノ自由ヲ守ルノミナラス亦當ニ他人ヲシテ其自由ヲ守ルヲヲ得セシム可シ果シテ是ノ若クナルトキハ人々ノ權理ナル者自ラ其間ニ出テン是レ近時吾儕ノ所謂人權ナリ然ルニ基督宗ノ理學ハ是ニ論及セスシテ唯人心ノ自由ヲ論スルニ止マレリ此レ未タ愛ノ理ノ効果ヲ盡サヽルニ非ス乎

夫レ所謂權理トハ吾人ノ當ニ得可キ所ヲ得ルヲヲ要求スルノ權是ナリ是レ固ヨリ仁愛ノ理ト對立スル者ナリ然ルニ基督宗ノ學士ハ唯仁ニ係ル諸德是レ命シテ曾テ權理ニ論及セス專ラ堪忍、遜順及ヒ放身、舍命等一切己レヲ屈シ自ラ守ルノ行ヲ命シテ絶エテ自ラ振扱シ自ラ奮揚シテ以テ己レノ當

コ得可キ所ナ要求スルコチ許サス是コ知ル彼輩ノ所謂自由ハ宗旨家ノ自由コシテ卽チ心ノ自由ナリ吾儕所謂人權及ヒ政治ノ自由ト大ニ逕庭有ルコチ更ニ之チ言ハンコ曰ク基督宗ノ道學ハ義ノ一德チ揩楽シテ全ク之チ仁ノ中ニ消融セシメリ、此レ其缺失ノ處ナリ

夫レ是ノ如クニシテ人々固有ノ權チ磨滅シ盡スコト更ニ又一原因ノ在ル有リ何ソヤ性惡ノ說是ナリ蓋シ人心ノ自由ハ彼ノ愛ノ理ニ由リテ出ル所ナリ是ニ於テ基督宗ノ學士輩極テ心ノ自由チ尊尙スト雖モ然レトモ一ニハ吾人ノ始祖ノ神ニ違ヒシカ爲メニ下界ニ墮落シ罪障相傳ヘテ以テ吾人ニ至リシチ以テ遂ニ人性チ以テ惡ニ傾嚮スト爲シ是ニ於テ亦大ニ危疑チ必ノ自由ニ挾ムチ免レス然ル所以ノ者ハ他無シ此輩未タ自由チ以テ直チニ人類ノ目的ト爲スト能ハスシテ纔ニ此チ一手段ト爲スニ過キサレハナリ彼レ其レ自由チ以テ事チ處スルノ手段ト爲スヿ於テ以爲ラク人性惡ナリ故ニ若シ其自由チ縱ニスルトキハ或ハ濫用シテ惡チ爲サント此レ其自由權

チ裁節セントシ欲スルチ致ス所以ナリ

獨リ此レノミナラス此輩又人類ノ中ノ若干チ以テ天ノ寵靈ニ賴リテ善チ爲ス者ト爲シ其餘ハ皆永劫罪障チ免レスト爲ス是ニ於テ彼ノ自由及ヒ權理ノ屬チ以テ皆死後來世ノ事ニシテ斯世ニ用無シト爲スニ至リ一切其言語著ク其行爲或ハ人ノ行道チ妨クルコト有ルチ疑フ者ハ皆其自由權チ裁制シテ敢テ自ラ肆ニセシメス

是故ニ基督宗ノ道學ニ在リテハ其自由チ視ルコト自ラ二樣有リ其仁愛ノ理ニ於テ缺ク可ラサルヨリシテ言フトキハ自由チ以テ極テ危殆ニシテ逼クセシム可ラストト爲ス其善チ爲シ並ニ惡チ爲スニ便ナルヨリシテ言フトキハ自由チ以テ人ノ自由ノ類ノ他人ノ自由ニ害セサル者ト雖モ亦之チ危疑シ必ス各人宗旨ノ利益チ以テ之チ鈐制セントス欲スルヿ是レ皆其人類ノ始祖ノ墮落ニ由リテ說チ爲ス者ナリ

夫レ吾人ノ權理卽チ自由權ハ極テ貴重ニシテ侵ス可ラサル者ナリ而シテ基督宗ノ理學ハ此權チ防遏シテ遏クスルコチ得サラシメリ其仁愛ノ理ヨリシテ言フ時ハ大ニ此權チ贊助スル者ノ如シト雖モ一切其他此理ニ附着スル所ノ旨義逐次ニ出來リテ遂ニ之カ發暢チ妨クルコチ致セリ此レ誠ニ惜ム可キナリ

夫レ義ニ係ル格言ノ大ニ東方諸國ニ行ハルヽ者有リ曰ク我レ人ノ我ニ施スコチ欲セサル所ハ我モ亦之チ人ニ施スコチ勿レト若シ此語中ニ就テ其不ノ字ト勿ノ字トチ去ルト時ハ更ニ仁ニ係ル一格言チ得可シ曰ク我レ人ノ我ニ施スコチ欲スル時ハ我モ亦之チ人ニ施ス可シト是ノ如クスルト時ハ現ニ仁ノ一格言チ得ルニ非ス乎然リ而シテ此格言タルヤ猶ホ或ハ人チ謬ルコト有ルチ免レス何チ以テ之チ謂フ曰ク此語ヤ人々一己ノ意欲チ以テ其他人チ處スルノ基址ト爲ス此レ其弊ノ由リテ生スル所ナリ之チ例ヘハ我レ縱令自ラ好ミテ我カ一權理チ捐棄スルモ此レチ以テ從フテ他人チシテ其權

理チ捐棄セシムルコチ得ス我レ縱令容易ニ自ラ我カ思想ノ權及ヒ我カ言論ノ權我カ著書ノ權チ棄テ、之チ意ニ委ケサルモ此レチ以テ從フテ他人チシテ其此等ノ權チ捐棄セシムルコチ得ス然レハ則チ我カ意欲チ以テ他人チ處スルノ基址ト爲スト時ハ或ハ其道ニ違フニ至テン

是ニ由リテ之チ觀レハ彼ノ義ニ係ル行ニ論無ク卽チ仁ニ係ル行ト雖モ宜ク自己正義ノ意欲チ以テ之カ繩尺ト爲ス可シ未タ一切自己ノ意欲チ以テ之カ繩尺ト爲シテ差別無キチ得可ラス是ニ於テ乎一大問題ノ生スル有リ曰ク何チカ正義ノ意欲ト謂フヤ我ノ我カ自由チ以テ人ト接スルノ際果シテ何物チ以テ我カ自由ノ限畫ト爲ス可キヤ更ニ之チ言ハンニ曰ク我ノ權理ハ如何他人ノ權理ハ如何此レ正ニ理學士タル者ノ當ニ論究ス可キ所ナリ而シテ基督宗ノ學士ハ曾テ是ニ論及セサリキ

此ニ由リテ之チ觀レハ基督宗ノ理學タル愛チ以テ諸德ノ首ト爲シテ吾人責任ノ由リテ出ル所チ論シ極テ高尙ノ地ニ達セシモ權理ノ義ニ至リテハ

未ク曖昧ナル免レサル所有リ夫レ權理ノ物タル正ニ義ノ係ル所ナリ而シテ之ヲ輕忽ニセシハ何ソヤ基督宗ノ道學ニ於テ各人固有ノ權理ヲ磨滅セシ所以ノ者ハ數個ノ因有リ蓋シ此宗旨ノ始テ興ルニ方リテヤ正當防禦ノ權、奉教自由ノ權、政治ノ自由ノ權及ヒ所有ノ權等ニ於テ或ハ大ニ之ヲ猜忌スル有ルヲ免レサリキ是レ其各人固有ノ權ニ於テ其意ヲ注メサルヲ致セシ所以ナリ

經典ノ戒ニ以爲ラク人若シ我カ左頬ヲ拂フ時ハ當ニ右頬ヲ捧シテ之ヲ委スヘシ人若シ我カ外套ヲ褫フ時ハ當ニ盡シ我カ衣ヲ釋テ之ヲ與フヘシ又以爲ラク我レ當ニ務テ善ヲ爲スヘシ人若シ我ニ加フルニ惡ヲ以テスル時ハ當ニ務テ之ヲ含忍スヘシ若シ苛虐ニ遭フ時ハ夷然トシテ喜悅シテ當ニ我ヲ虐スル者ヲ愛憐スヘシ云々顧フニ此等ノ訓戒ハ洵ニ高妙ノ極ニシテ其仁ヲ論スルニ至レリ盡セリ以テ尚フルニ莫キナリ設令強者弱者並ニ皆此訓戒ヲ守リテ敢テ違ハサル時ハ天下一人侵辱ノ害ヲ蒙ムル者無キヲ以テ

初ヨリ我カ權理ヲ要求スルヲ須フルヲ無シ獨奈何セン天下兇惡ノ多キ未タ實ニ是ノ如クナルヲ能ハサルヲヲ若シ人有リ現ニ我ヲ攻擊スル時ハ縱令我カ心ニ於テ略ホ憤怒ノ念ヲ動スヲ無ク却テ其人ノ心術ノ兇惡ナルヲ憐ムニ至ルモ我レ一時手腕ノ力ヲ奮ヒ以テ自ラ防護スルヲヲ求メサル可ケン哉彼レ信ニ兇惡ナリ誠ニ憐ム可シト曰ヲテ自ラ其擊ツコ任スカ如キハ天下豈是理有ラン哉然ルニ基督宗ノ學士ハ往々以爲ラク是時ニ在リテモ我レ當ニ務テ含忍シテ之カ擊ヲ受ケテ絕エテ自ラ防カサル可シト願フニ此論ヤ一時慈悲ノ行ニ由リテ言フ時ハ洵ニ貴フ可キカ如シト雖モ含忍ノ弊大ニ兇惡ノ徒ヲ縱ニシテ益、其暴ヲ逞クセシムルニ至ル是正ニ我カ中古ノ時兇暴ノ行ヲ禁遏スルヲヲ務メスシテ人ヲシテ之ヲ忍フヲヲ務メシタルカ故ナリ

且ツヤ我ノ自ラ兇暴ノ苦虐ニ遭フニ方リ我敵ヲ憫恤シ含忍シテ之ヲ甘受

シテ而テ其害獨我ニ止マルヤハ洵ニ貴フ可クシテ且殆ンド神ノ行ニ肖似スト曰フモ可ナリ然レドモ若シ是ノ如クセシカ爲メニ兇暴ノ行ヲシテ後世ニ延フルコヲ得セシメテ以テ後代ノ人ノ患ヲ爲スヤハ如何是時ニ在リテヤ我レ縱令能ク含忍シテ之ヲ甘ンスルモ此レカ爲メニ他人ノ患ヲ爲スヤハ我レ實ニ不正ノ罪有リト爲スヲヲ得サルナリ

夫レ然リ是ヲ以テ兇暴ノ行ニ遭ヒ自ラ奮フテ以テ所謂正當防護ノ權ヲ行フコハ蓋シ斯世ニ在リテ缺ク可ラサルノ事タリ基督宗ノ學士ハ是ニ察スル有ラス是ヲ以テ苟モ威力ヲ以テ我ニ臨ム者ハ其所爲如何ニ橫逆ナルモ皆之ヲ甘受シテ敢テ抗拒スルコ無ラシム若夫レ其橫逆或ハ我カ信奉スル所ノ宗旨ニ及フヤハ然ラス是時ニ在リテハ基督宗ノ敎、現ニ我ニ命シテ自ラ防カシム卽チ其訓ニ曰ク神ニ敵スルヨリハ寧ロ人ニ敵スルニ如カスト」是ニ由リテ之ヲ觀レハ各人固有ノ諸權ノ中基督宗ノ鄭重ニスル所唯一有ルノミ奉敎ノ自由是ノミ但此自由ト雖モ必スシモ實力ヲ以テ之ヲ擁衛スル有ルニ非スシテ或ハ侵サルヽモ爲メニ報復スルノ道有ルコ無シ故ニ我レ若シ我カ信奉スル所ノ宗旨ノ爲メニ苛虐ヲ被ムルコ有ルヤハ我レ唯身ヲ潔クシテ以テ死スル有ルノミ

基督宗ノ始テ興ルヤ其僧侶獨リ奉敎ノ自由ヲ以テ之ヲ己レノ宗旨ニ歸シノミナラス亦偏ク之ヲ他ノ宗旨ニ歸シテ以爲ラク凡ソ人々其信スル所ノ宗旨ニ於テ自由ニ之ヲ奉スルコヲ得ト蓋シ此時ニ方リ基督敎未タ甚タ世ニ播セス基址未タ甚タ固ラス故ニ奉敎ノ自由ヲ鄭重ニシテ以テ自ラ守ルノ術ト爲セリ云々セシ所以ナリ故ニアテナゴラース曰ク我ノ奉敎ノ自由ヲ願欲スルハ畢竟人々相通シテ有スル所ノ一權理ヲ得ンヿ欲スルノミト亦以テ其意ノ在ル所ヲ知ル可シ

ラクタンス曰ク宗敎ハ蓋シ自由ノ家鄕ナリ人ノ心服ヲ須要トスル者宗敎

ニ踰ユル莫シ故ニ誰人ヲ論スルヿ無ク強テ其崇敬セサル所ノ神ヲ拜セシメントス欲スルカ如キハ余ノ聞ク所ニ非ス何ソヤ是ノ如クスルキハ其人固ヨリ陽ニ之ヲ信スルヲ爲スモ其心ハ終ニ得テ服ス可ラサレハナリテルナュリヤンモ亦曰ク看スヤ異宗ノ人果シテ奉敬ノ自由ヲ滅シテ我ヲシテ我カ信スル所ノ神ヲ奉スルヿヲ得サラシメ我ヲシテ我カ信セサル所ノ神ヲ奉セシメントス欲スル乎是レ決シテ得可キニ非サルナリ強テ人ヲ要シテ尊貴ノ位ニ在ラシメントス欲スルモ誰カ之ヲ喜フ者有ラン哉吾レ必ス天下一人此ノ如キ者有ルヿ無キヲ知ルナリ云々又曰ク自由ノ人ヲ要シテ強テ我カ奉スル所ノ神ニ供薦セシムルカ如キハ豈不正ノ甚シキニ非ス乎云々夫レ基督宗ノ徒是ノ如ク自由ヲ鄭重ニシテ之ヲ倡道セシヿハ誠ニ美トス可キナリ夫レ神ヲ愛敬シ並ニ他人ヲ愛敬シテ以テ神ニ事フルカ如キハ當ニ自由ヲ以テ之カ本ト爲ス可キナリ然レハ則チ奉敬ノ自由ハ神ニ事フルニ於テ缺ク可ラサルノ義ナリ

然リト雖モ基督宗寖ク世ニ播シ基址一定シテ復タ動カス可ラサルニ及ヒ僧徒復タ奉敬ノ自由ニ賴リテ自ラ守ルヿヲ須ヒス是ニ於テ其說一變シテ更ニ奉敬ノ自由ヲ駁擊スルニ至レリ卽チサーンストーギュスタンノ言ニ曰ク始メ吾以爲ラク人ヲ要シテ強テ耶蘇ノ法衣下ニ入ルヽヿヲ求ムルハ不可ナリ當ニ言論ヲ用ヒテ其心ヲ服スルヿヲ求ム可シ手腕ノ力ヲ用フルヿハ甚當ヲ得スト其後兵力ニ賴リテ某小都ノ民ヲ脅迫シテ其レヲシテ宗旨ヲ改メシムルヿヲ得ルヲ見ルニ及ヒサーンストーギュスタン卽チサーンストーギュスタン頓ニ說ヲ變シテ以爲ラク脅迫モ亦頗ル益有リト

サーンストーギュスタン既ニ圖ヲ改メ異宗ヲ攻擊スルヿヲ以テ說ヲ爲シ其論柄トスル所極テ苛虐ニシテ少モ寬假スル所無シ其後中古ノ時基督宗ノ僧徒往々サーンストーギュスタンノ言ヲ引テ以テ辭柄ト爲セリ其言ニ曰ク汝苟モ人ニ逢ハヽ必ス強テ之ヲ我儕ノ法衣下ニ歸入セシメヨ之カ爲メニ威力ヲ用フルモ可ナリト

サーントーギュスタン又曰クシエジュー即チ耶蘇云ハス乎凡ソ我ニ歸依スル者ハ皆天父ノ牽引スル所ト爲ルニ因リテ然リト顧フニシエジューノ是言ヤ正ニ天父温柔慈悲ノ神通力ノ藹然人類ニ被ムリテ自然ニ之ヲ牽テ我ニ歸依セシムルヲ言フ然ルヲサーントーギュスタンハ所謂牽クノ語ニ附スルニ心服ノ意ヲ以テセスシテ壓服ノ意ヲ以テシテ乃チ暴威ニ頼リ强テ衆徒ヲ引テ之ヲ我カ宗旨中ニ入ルヽニ至レリ

サーントーギュスタン又曰ク即チ天父ノ其子即チ耶蘇ニ於ケルモ亦威ヲ用ヒテ假貸スル所無ク遂ニ基督ヲ强テ下界ニ降下シ吾儕衆生ニ代ハリテ磔殺ノ慘ニ遇ハシムルニ至レリ此レ豈千古ノ模範ニ非ス乎

又奴隷ノ制ニ係リテ基督宗ノ道學家人々固有ノ權理ニ於テ初ヨリ論說スル所無ク專ラ宗敎ニ係ル旨趣ト邦國ニ係ル旨趣トヲ口ニ藉イテ以テ此制度ヲ論シテ乃チ以爲ラク宗敎ノ旨趣ヨリシテ言フトキハ凡ソ人類皆平等ナラサル莫シ皆天父ノ赤子ナレハナリ主人ト奴隷ト天父皆一視シテ之ヲ仁ス

但邦國ノ便利ヨリシテ言フトキハ主人奴隷ノ制固ヨリ義ニ害スルヿ無シト即チ言フ奴隷必ス其主ニ順從セサル可ラスト

人々私ニ財產ヲ有スルノ權ニ係リテモ其說大抵相同クシテ其此權ヲ論スルヤ專ラ宗敎邦國ノ二者ニ因リテ言ヲ立テヽ絕テ人々固有ノ權ニ論及スルコト無シサーンタンブロアーズ曰ク土地ハ富者ト無ク貧者ト無ク共ニ之ヲ有ス可キ者ナリ然ルヲ富者ノ輩ハ何ソ獨リ之カ利ヲ擅ニスルヤ又曰ク地ノ物ヲ殖スルヤ衆庶ヲシテ共ニ之ヲ用ヒテ以テ生ヲ爲サシムルカ爲メナリ是ニ知ル私ニ物ヲ有スルヿハ是レ攘奪ノ權ニシテ眞ノ權ニ非サルヿヲ

富者貧者ノ別ハ基督宗初年ノ道學士ニ在リテハ主人奴隷ノ別ト異ナルヿ無カリキ即チラクタンスノ言ニ曰ク神ノ之ヲ視ルトキハ主人有ルヿ無ク奴隷有ルヿ無シ夫レ人類皆同ク天父ノ赤子ニシテ皆自由ナリ神ノ之ヲ視ルトキハ義無キ者之ヲ貧者ト謂ヒ德無キ者之ヲ奴隷ト謂フ云々

サーントーギュスタン曰ク人々各々私蓄スル所有ルハ何ノ權ニ由リテ然ル邪夫レ貧者ナリ富者ナリ神皆土塊ヲ摶テ之ヲ作レリ何ノ別カ之有ラン又曰ク人皆言フ是邑ハ我ニ屬ス、言フ是家ハ我ニ屬ス是奴隷ハ我ニ屬スト是ノ如キ者ハ獨リ下界ノ有ル所ニシテ帝王ノ制スル所ナリ何トナレハ天固ヨリ世ノ帝タリ王タル者ニ命シ其レヲシテ人類ノ公法ヲ制定セシムルカ故ナリ假シ一日帝王ノ權無ラシメハ誰カ復タ是邑是家是奴隷ハ我ニ屬スト曰フヲ得ン哉

凡ソ此ニ擧ル所ノ論及ヒ其他基督宗諸耆德ノ言ニ據レハ私有ノ權ハ人々固有ノ權ニ非ス獨リ人々固有ノ權ニ非サルノミナラス終ニ帝王ノ權タルニ過キサルノミ

以上論スル所ニ由リテ考フレハ基督宗ノ道學タル其宗敎ノ旨ヨリシテ言フヲキハ世ノ制度ニ於テ或ハ頗ル非議スル所有ルモ其意必スシモ之ヲ矯正スルヲヲ須ヒス他無シ彼レ初ヨリ意ヲ下界ニ注メスシテ專ラ彼ノサーントーギュスタン所謂天都ニ登ルヲヲ以テ旨趣ト爲セシヲ以テナリ

夫レ斯世ニ在リテ直チニ天寰精美ノ境界ヲ成就スルヲハ固ヨリ望ム可キニ非ス然レトモ漸次ニ改正スル所有リ以テ務テ理義ヲシテ斯世ニ行ハシムルヲヲ求ムルカ如キハ人類ノ當ニ之ヲ勉ム可キ所ニ非ス乎而シテ基督宗ノ學士ハ曾テ是ニ慮及セサリキ是レ誠ニ惜ム可キナリ

○第三編　中古ノ理學○學藝ノ中興（ルネーサンス）

○第一章　中古ノ理學

○緒論

中古ノ理學ノ大旨ヲ要スルニ曰ク當時ノ諸學派ハ大抵皆僧門ニ屬セシヲ以テ理學ト教法ト相混シテ以テ常ト爲セリ但其相混スルヿ甚シキ者ト甚シカラサル者ト有ルノミ

理學既ニ宗教ニ原本スルヨリ其論スル所皆教義ニ由リテ之ヲ定メテ殆ト議論ノ自由ヲ磨滅スルニ至レリ若シ夫レ旨趣ヲ叙述スルノ方法ニ至リテハ各〻其好ム所ニ從ヒ頗ル自由ニシテ拘束セラルヽ所無シ所謂叙述ノ法蓋シ二有リ一ハ推理ノ法（ヂヤンクチック）ニシテ一ハ感驗ノ法（ミスチック）ナリ本論ニ詳ナリ

中古學士ノ徒古昔ノ書籍ノ中ニ就テ多クハ論理學（ロジック）ニ係ル者ヲ把リテ之ヲ講求セリアリストットノ「オルガノーム」ノ書最モ其意ヲ致ス所ナリ

中古學士相競フテ此種ノ書ヲ誦シ或ハ意ヲ創シテ之レカ箋注ヲ加ヘ其後ヤ三句法（シロヂスム）一篇ノ議論並ニ一段若クハ一章ノ議論ヲ大別シテ起、承、結ノ三ノ者トシ以テ立論ノ得失ヲ論定スルノ法ヲ濫用シ萬事ニ係リ喜テ區別ヲ立テ一區別ニ就テ又區別ヲ立テ其弊ヤ議論ヲ以テ一種機械ノ屬ト爲スニ至レリ

是時ニ當リ神人感合ノ說モ亦寖ク盛ナルヲ致セリ蓋シ宗教ノ秘諦ヲ以テ學術ノ根據ト爲シ及ヒ深念靜坐ヲ以テ工夫ノ方ト爲セシヨリ神人感合ノ說ノ盛大ニ赴キシハ固ヨリ自然ノ勢ナリ

中古ノ理學モ亦分テ三期ト爲ス其第一期ニ在リテハ宗教ノ諸說及ヒ神人感合ノ說ヲ先キニシテ理學固有ノ推理法ヲ後ニス第二期ニ在リテハ此二ノ者混融シテ復タ軒輊スル所無シ第三期ニ至リテハ此二者相離レ壘ヲ對シテ相攻擊スルニ至レリ

○第一　中古理學ノ第一期

中古理學ノ第一期ニ在リテハプロタン家及ヒ基督宗ノ神人感合ノ旨趣之カ主旨タリ卽チ意蘭人スコット、エリジェーンヌノ如キハプラトン及ヒプロタンノ諸說ヲ再興セシニ蓋シ半ニ過キタリ

第一　空名ノ說（ノミナリスム）實存ノ說（スコット、エリジェーンヌノ古昔理學士ノ諸說ヲ祖述セシヨリ夫ノプラトン、アリストットノ二人ノ異同ヲ爲セシ所ノ物ノ極致ノ說復タ起リ或ハプラトンノ說ニ左袒スル有リ或ハアリストットニ左袒スル有リプラトンノ說ニ左袒スル者ハ以爲ラク人、獸、草、木等ノ統名ノ意思ハ所謂物ノ極致ニシテ有形ノ各物ノ上ニ位シテ現ニ存在スト所謂實存ノ說ナリアリストットニ左袒スル者ハ以爲ラク此等統名ノ意思ハ畢竟一名稱タルニ過キスシテ有形ノ各物ヲ外ニシテ別ニ存スルノ理無シト所謂空名ノ說ナリ

是ノ如クニシテ意思ノ本原ト各物ノ本原トニ係ル問題ハ中古ノ時ニ在リテ常ニ學士ノ尤モ意ヲ致スル所ナリキ而シテ初年ノ間ニ在リテハプラトンノ極致ノ說最モ勢力ヲ占メテ卽チ實存ノ說最モ盛大ナルヲ致シテ

サーン、タンセルムス之カ領袖タリ

サーン、タンセルムハ獨リプラトンノ推理法ヲ祖述セシノミナラス神ノ儼存スルヿヲ證スルニ於テ意ヲ創シテ一種ノ說ヲ倡ヘ號シテ有學ノ則アルギュアン、オントロジック ト爲セリ其意以爲ラク世界現ニ粹然至純ノ物卽チ神ノ者有ルヿ無シト思フカ如キハ前後矛盾ノ見ト謂フ可シ何ソヤ夫レ生存ナル者モ亦粹美ノ一種ナルヲ以テ若シ神無シト爲スキハ是レ粹美ノ物ニシテ粹美ニ非サルナリ豈ニ前後矛盾ノ見ニ非ス乎

實存ノ說ヲ執ル者ハ以爲ラクプラトン所謂物ノ極致卽チ人、獸、草、木、等ノ如キ統名ハ現ニ存在シテ其粹美ナルヿ迥カニ有形ノ各物ニ勝ルト是ニ於テ又空名ノ說ヲ爲ス者相對シテ敵ヲ爲シ其說蓋シアリストットノプラトンヲ駁セシ所ノ旨趣ヲ祖述シテ更ニ之ヲ推擴シ凡ソ統名ノ意思ヲ以テ空幻ニシテ初メヨリ有ルヿ無シト爲シテ乃チ言フ此等ノ意思ハ畢竟吾人定ムル所ノ一名稱タルニ過キスト而シテロスラン之カ領袖タリ

其後ギヨーム、ド、シャンポー又起リ實存ノ說ヲ執リ亦之ヲ推擴シテ其到ル所ヲ極メ以テロスランノ說ヲ攻擊セリ旣ニシテ此兩說ノ外更ニ又其裏ヲ折スル者起リ名ケテ思定ノ說コンセプチュアリシム ト曰フアベラルド之カ領袖タリ其說以爲ラク凡ソ統名ノ意思ハ吾人精神ノ思考シテ定ムル所ノ者ナリ故ニ是物實ニ有形各物ノ本質ナリト曰フ可キハ不可ナリ又實ニ是物無シト曰フモ亦不可ナリト顧フニアベラルドノ是說ヤ正ニアリストットノ本意ナリ

アベラルドノ言ヲ立ルヤ極メテ獨立不羈ニシテ顧諱スル所無ク遂ニ僧門ノ譴責スル所ト爲レリ

第二 中古理學ノ初期ニ係ル神人感合ノ說 サーン、ベルナルド神人感合ノ說ヲ倡道シテ以爲ラク天下ノ一大事ヲ覺悟セント欲シテ之ヲ精神凝結ノ際神明髣髴トシテ臨降スルノ間ニ求メスシテ徒ニ私智ヲ弄シ妄リニ理義ヲ推究シテ之ヲ得ント欲スルハ僭驕ノ甚キナリトサーン、ウィク

トルノ學派ノ如キモ亦祖ト此レト同シリシャール及ヒユーグ之カ領袖タリ」

神人感合ノ說ヲ爲ス者其後ニ及ヒ亦頗ル自ラ臆臆中ヨリ取リテ言ヲ立テヽ以テ從前專ラ古人ノ說ニ依傍シテ自ラ意ヲ創スルノ無キ者ヲ駁正セリ其後議論ノ自由益〻熾ニシテ言人々殊ナルニ及ヒ僧徒ノ鑿憤怨シ號シテ邪說ト爲シ其徒ヲ斥ケテ之ヲ教門ノ外ニ出タシ其著書ヲ取リテ之ヲ燒毀セシ者極メテ多シ一千二百九十年アリストットノ諸書モ亦僧門ノ禁スル所ト爲レリ其後ニ及ヒ凡ソ人事ニ係ル學術ニ係リテハ復タアリストットヲ以テ鼻祖ト爲シテ之ヲ崇敬スルヲ致セリ

○第二　中古理學ノ第二期

是ヨリ先キ亞剌比人喜テ希臘ノ諸書ヲ取リテ其國語ニ翻譯シ及ヒ箋注ヲ附シテ之カ義ヲ解セリアリストットノ學士ニ就テ亞剌比人ノ最モ著聞セシ者ハ醫師アウィセンヌ及ヒアウェロエーノ二人ニ踰ユル莫シ亞剌比ノ理學ノ說ノ我カ歐羅巴ニ傳ハリシハ西班牙ヨリ來レル猶太人ニ因リテ爾リ即チ此等猶太人中亦理學士ノ頗ル著聞セシ者有リメーモニード之カ巨擘タリ其後アリストットノ著書ノ最モ世ニ顯ハル、者「フィジック」「メタフィジック」「モラール」等ノ書盛ニ世ニ傳播シ是ニ於テ新異ノ說相繼テ興リ大ニ學士ノ志氣ヲ鼓舞スルヲ致セリ

第一　アルベルトハ「ドミニカーン」一宗派ノ僧ナリ其學術ノ淹博ナルニ因リテ世人之ヲ尊ヒテ大アルベルト稱セリ相傳フアルベルト能ク咒文ヲ誦シテ妖魔ヲ使役セシトサーン、トーマスハアルベルトニ從フテ業ヲ受ケリ世人號シテ理學ノ耆宿ト稱セリサーン、トーマスハアリストットノ旨趣ト基督宗ノ旨趣トヲ調和シテ之ヲ一ニスルヲ務メテ以爲ラク凡ソ吾人人類ノ所爲ハ善惡俱ニ皆神ノ命スル所ナリ然レ圧吾人ハ自ラ其然ルヲ知ラスシテ然ルヲ以テ畢竟事毎ニ皆其自由ニ因リテ之ヲ爲スト是レサーン、トーマスノ人心斷行ノ說ナリ

サーン、トーマス又人類各個獨立ノ說有リ但其說タル形體ヲ先キニシテ意念ヲ後ニセシヲ以テ人々各個獨立ノ性有リト云フト雖モ實ハ此性ニ於テ大ニ害スル所有リ亦其自由ノ說ニ於ケルカ如シ

サーン、トーマスノ神ヲ論スルヤ神ノ諸德ノ中ニ就テ最モ其智慧ヲ倘ヒテ之ヲ其意欲ノ上ニ置ク其意蓋シ世界避ク可ラサルノ理ヲ以テ神ノ意欲ノ寓スル所ト爲ス者ノ如シ亦神ノ自由ノ德ヲ取ラサルノ明證ナリ

サーン、トーマスノ說ニ從ヘハ神ハ自由ノ意欲ノ粹然ナル者ニ非スシテ有形世界ノ豐備ナル者ナリ又道學及ヒ法律ニ係リテハ以爲ラク人々私ニ財ヲ蓄フルヿハ固有ノ權ニ非スト雖モ亦必スシモ固有ノ權ニ負クニ非ス又奴隸ノ制ヲ以テ理ニ合スト爲シ言論ノ權ヲ以テ理ニ戻ルト爲セリ

第二「ドミニカーン」派ノ僧侶ハ專制ノ權ヲ奬贊スルヿヲ務メテ「フランシスカーン」宗教ノ一派ノ僧侶ト抗敵セリ「フランシスカーン」派ノ僧侶ハ

頗ル自由ノ義ヲ主張シ又其中專ラ無形精神ノ狀態ヲ研究スル一派ト有形庶物ノ性質ヲ研究スル一派ト有リ精神ヲ研究スル派ハボナヴンチュールノ之カ巨擘ニシテ神人感合ノ說ヲ執レリ庶物ヲ研究スル派ハ卽チ近時諸學術家ノ先引ニシテロジェー、バコン、レイモンド、リュールノ之カ巨擘タリ

前人ノ未タ發セサリシ所ヲ發セシヿ頗ル多シ

サーン、トーマスノ敵手ノ最モ著顯ナル者ハドン、スコットトス「フランシスカーン」派ノ理學ニ通曉シテ其奧ヲ究メタリ以爲ラク人ノ人タル所以ノ者ハ其自由活發ニシテ依倚スル所無キニ在リト是ニ於テ乎其神ヲ論スルト人類ヲ論スルト並ニ常ニ意欲ノ斷行ヲ以テ之ヲ智慧ノ上ニ置ケリ本論ニ詳ナリ

○第三　中古理學ノ第三期

第十四紀ノ時ニ方リ學士輩相競フテ自ラ意ヲ創シテ說ヲ爲シテ前人ニ

依傍スルコトヲ屑トセス

然レドモ是時ヨリ以來中古ノ理學寖ク衰頽ニ就ケリ而シテ其衰頽ヲ促カセシコトハ神人感合ノ旨趣ト推理ノ旨趣ト差別有ルコト無シ

當時推理ノ旨趣ヲ倡フル者ノ中ニ就テ最モ著聞セル者ハジャン、ドッカーム(フランシスカーン)派ノ僧ナリ

ニ踰ユル莫シスコット人ニシテ「ジャン、ドッカーム」復タ從前實存ノ說ト空名ノ說トノ訟爭ヲ煽發シテ頗ル名ヲ顯ハセリ「ジャン、ドッカーム」ハ空名ノ說ヲ執リアリストッテヲ祖述シテプラトンノ旨趣ヲ排斥セリ

「ジャン、ドッカーム」沒スルノ後推理ノ法日々ニ弊エ唯纖巧繆戾ノ言ヲ爲シテ快ヲ目前ニ取ルニ過キス是ニ於テ學士輩大ニ論理ノ學ニ厭倦シ志ヲ變シテ神人感合ノ說ヲ奉シ道理ヲ言詮ノ外ニ求ムル者極メテ衆シ意答利ニ在リテハペトラルク日耳曼ニ在リテハエッカール及ヒトーレル法朗西ニ在リテハジェルソン最モ其翹々タル者ナリ

若シ夫レ神人感合ノ說ノ最モ世ニ傳播セシ者ハ「イミタシヨン、ド、ジエシユー、クリスト」ノ一書然リト爲ス是書誰氏ノ著ナルヲ知ラス

○本論

中古ノ時ニ在リテハ僧徒世ヲ遁レテ俗ト交ハラサル者最モ學ニ邃ニシテ且ツ常ニ靜閑ニシテ事理ヲ研究スルコトヲ得タリ其居ル所號シテ菴室(クーワン)ト曰フ此種ノ僧徒古昔ノ典籍ヲ傳寫セシコトハ極メテ夥シク又相競フテ學校ヲ興シテ盛大ナルコト往々在世ノ僧ノ學校ト相若ケリ

此等菴室ノ始メテ興リシコトハ大不列顚ヲ以テ首ト爲ス卽チベード、アルキュアンノ二人ノ如キモ業ヲ大不列顚ノ菴僧ニ受ケテ大ニ名ヲ著ハセリベードハ世人號シテ尊敬スヘキ人ト稱セリアルキュアンハシャル、マコー帝ノ寵待スル所ト爲リ常ニ其謀議ヲ參贊シ宮中博士會院ノ長タリ又スコット、エリジエーンヌモ亦大不列顚ノ菴僧ニシテ中古理學士ノ巨擘ナリ

中古理學ノ諸說種々相異ナリト雖モ之ヲ要スルニ皆宗教ト理學ト相混ス

ル者ニシテ但其中太甚ナルト否ラサルトト有ルノミ

中古理學其初年ニ在リテハ宗教之カ主ト爲リテ理學ハ僅ニ之ニ隷タル
ノミ其後ニ至リ此二者全ク相混シテ復タ賓主高下ノ別有ルヿ無シ末年
ニ至リ理學遂ニ獨立シテ宗教ト全ク相離ルヽヿ致セリ

中古ノ理學ハ宗教ノ旨趣相混スルヨリシテ往々一種特異ノ性
ヿ呈スル有ルヿ免レス蓋シ宗教ノ旨趣理學ノ本原ヿ爲シテ而シテ宗教ノ
旨趣ハ前人ノ定ムル所ニシテ後人ノ猥リニ之ヿ改ムルヿ容サヽルヿ以テ
其弊ヤ當時ノ理學ヿシテ大ニ自由ノ性ニ乏シカラシメリ夫レ自由ニ意ヿ
創シテ言ヿ立ツルヿハ理學ニ在リテハ尤モ須要トスル所ナリ而シテ今此
ノ如シ故ヿ以テ中古ノ理學ハ大率前人ヿ蹈襲スルニ過キスシテ別ニ自ラ
機軸ヿ出セシ者幾ンド希ナリ

中古ノ理學タル苟モ其旨趣ヿ宗教ニ取ラサル者ハ必ス之ヿ希臘ノ學士ニ
取ル而シテ特ニアリストットノ旨趣ヿ採摭スル者最モ多シ之ヿ要スルニ甲

ノ倡ヘシ所ヿ祖述シテ之ヿ乙ニ敵セシ
ニ抗セシメ是ノ如クニシテ甲仆レ乙起リ乙又隨フテ斃レ轉輾シテ遂ニ近
代ノ理學ニ至リ始メテ人々自ラ說ヿ爲シテ復タ前人ヿ蹈襲スルヿ無クシ
テ眞ノ理學ノ體裁ヿ成就スルヿヿ得タリ

當時理學ノ旨趣ハ既ニ宗教ノ說ノ命スル所ナルヿ以テ獨リ之ヿ倡說シ及
ヒ實施スルノ方法ニ係リ學士輩其自由ヿ用フルヿヿ得ルノミ故ニ中古學
士ノ極メテ意ヿ致セシヿハ旨趣ニ在ラスシテ旨趣ヿ倡說スルノ方法ニ在
リ是レ其大勢ナリ

是時ニ當リ學士ノ意嚮自ラ二種有リ是ニ於テ其學派ノ旨趣ヿ倡道スルニ
於テ亦自ラ二種ノ方法有リテ壘ヿ對シテ相嚮ヘリ

古昔學士ノ著書ノ中ニ就テ中古理學ノ初期ニ於テ誦讀ヿ經シ者ハ唯アリ
ストットノ「オルガノーム」ノ數節ト及ヒ刑ヒボエーチ、イシドール、カシオドールノ
諸書ニ過キスアリストットノ「オルガノーム」ハポルフィール始メテ之ヿ傳ヘシ

ト云フ

理學ヲ講求スルノ方法ノ中ニ就テ推理ノ一法最モ首ニ世ニ行ハレリ蓋シ學士ノ中意ヲ旨趣ノ當否ニ注メスシテ心ヲ議論ノ次序ニ留メシ者往々推理ノ一法ヲ喜ヒテ以爲ラク宗敎ノ旨趣ヲ推演シ及ヒ之ヲ解釋スルニ於テ是法最モ便利ナリト是レ卽チ中古理學ノ初期ニ於テ論理ノ學ノ盛ニ世ニ行ハレシ所以ナリ

是時ニ方リテヤ學士ノ務ムル所專ラ理ヲ推シ義ヲ考ヘ言句ヲ整頓シテ之カ歸趣ヲ結束スルニ在リ一議論ヲ揭ケ從フテ之カ指ヲ求メ又之ニ繼クニ一議論ヲ以テシ從フテ又之カ指ヲ求メ是ノ如クニシテ循環已ムヿ無クシテ眞ノ道理ハ曾テ之ヲ捉搦スルヿ能ハス是ニ於テ乎所謂三句法シロジノスム者起ル三句法トハ議論ノ法ニシテ首ニ一理ヲ揭ケ次ニ之ヲ反覆論說シ終ニ其理ノ彼ノ如ク若クハ此ノ如クナルヿヲ論結スルノ謂ニシテ卽チ起、承、結ノ三句ヲ相連ヌルノ義ナリ

夫レ三句法ノ議論ハ既ニ著明ナル所ノ一理ヲ解釋スルニ於テ極メテ便利ナルモ未タ發セサル所ヲ發スルニ於テハ此法未タ足ラス必ス實地經驗ノ法ト理ヲ推シテ層累スルノ法ト無カル可ラス而シテ中古理學士ハ此二法ニ於テ絕エテ慮及セサリキ

三句法ヲ過用スルノ弊繆巧僞揑ニ陷ルヲ致セリ夫レ事物ニ就テ喜テ區別ヲ立テ一區別ニ就テ又小區別ヲ立テ是ノ如クニシテ論理ノ法ヲ以テ一種口舌ヲ弄スルノ機械ト爲シ意念ヲシテ理ニ合セシムルヿヲ求メスシテ唯意念ヲ整頓スルノ體裁是レ求メリ之ヲ要スルニ中古ノ理學ハ議論ノ一學ト謂フ可キノミ

中古學士議論ニ流蕩セシト雖モ然レ𪜈亦其功無シト爲サス蓋シ此輩議論ノ方法ヲ研究シテ之ヲ世ニ示セシヨリ後世學士議論ノ術ニ長シテ之ヲ口ニ擧クルモ之ヲ書ニ筆スルモ復タ前後相矛盾スルヿ無キヿヲ得タリ夫レ中古學士無用ノ地ニ於テ議論ノ術ヲ研究シテヨリ後人此ニ由リテ之ヲ有

用ノ地ニ用フルヲ得タリ是ハ則チ中古學士ノ賜ナリ

中古學士ハ其議論ノ法ヲ用ヒテ以テ既ニ定マル所ノ旨趣ノ効果ヲ惹キ出スヲヲ求メリ後世ニ至ルニ及ヒ學士輩漸次ニ體裁ノ外ヨリ旨趣ノ内ニ進ミ以テ未タ得サル所ノ道理ヲ獲ルヲヲ求ムルニ至レリ

推理ノ一法盛ニ行ハルヽニ方リ彼ノ神人感合ノ說モ亦寖ク盛ニシテ屹然疊ヲ對スルニ至レリ夫レ僧侶世ヲ遁レテ專ラ靜坐深念ヲ事トスル者宗教ノ秘諦ニ憑依シテ以テ神明及ヒ精神ノ理ニ得ル有ルヲヲ求メ其極ヤ其神ヲ凝ラシ氣ヲ斂メ一意ニ思念シ精神恍惚ノ際妙理ヲ洞然豁然ノ間ニ求メ以テ神人感合ノ說ニ傾嚮スルヲ蓋シ亦自然ノ勢ナリ況ンヤ是ノ如クニシテ妙理ヲ言詮ノ外ニ求ムルヲハ古昔プロタン家ノ學士ノ遺法ニシテ而シテ基督宗初年ノ諸耆德及ヒスコット、エリジェーンヌノ徒是法ヲ當世ニ傳ヘリ然レハ則チ神人感合ノ說ノ盛ニ中古ニ行ハレシヲヲ亦宜ナラス乎且ツヤ議論ノ風一タヒ行ハルヽノ後學士輩其實地ニ得ル所無クシテ唯矯

揑繆巧ノ辨是レ務メ然後自ラ厭倦ノ心ヲ生スルハ免レサルノ情ナリ是時ニ在リテヤ神人感合ノ說ノ興リテ一切議論ヲ斥ケ言句ヲ絀ケ以テ眞理ヲ一旦豁然ノ間ニ求メントス欲スルニ至リシヲ蓋シ怪ムニ足ラサルナリ

中古理學ノ初年ニ在リテハ神人感合ノ說ト推理ノ說ト疊ヲ對シテ並行セリ之ヲ頃アリテ此二ノ者全ク相合シテ一ト爲ル是レ中古理學ノ最モ盛ナル時ナリ其後復タ離レテ讎敵ヲ相爲シテヨリ中古理學益〻衰頽ニ赴キテ復タ振フ可ラス後世之カ評ヲ爲シテ曰ク感合ノ法ト推理ノ法トハ中古理學ノ精神ト形體トナリ故ニ其相離レシハ其死滅ノ候ナリト是言蓋シ當レリ」

推理ノ一法有リテ感合ノ法無キニ及ヒ中古理學唯事物ニ就テ瑣屑ノ區別ヲ立テ轉倒紛紜シテ遂ニ爛滅ニ歸セリ又神人感合ノ說ヲ爲ス者モ其議論ヲ斥クルヲ太甚シキニ至ルニ及ヒ天下事理ノ最明白ナル者モ亦之ヲ取ラス唯精神ヲ凝結シテ以テ神智ノ光輝ノ煥發シ來タルヲヲ是レ求メ一切世諦ノ實迹ヲ問フヲ無キニ至レリ

推理ノ法ト云ヒ感合ノ法ト云ヒ皆人心ノ自由ヲ以テ本ト爲ス者ナリ蓋シ推理ノ法ハ人心ノ自由ヲ議論ノ間ニ當用シ感合ノ法ハ人心ノ自由ヲ靜察ノ間ニ當用スル所是ノ如ク其異ナルモ人心ノ自由ニ原本スルコハ則チ一ナリ是ヲ以テ二者皆漸次ニ宗旨ノ束縛ヲ擺脫スルコト赴ケリ此ニ由リテ言ヘハ中古理學ハ宗旨ニ依傍セシト雖モ深ク本ヲ察スルトキハ亦頗ル自由ノ種子ノ潛伏セル有リテ遂ニ後世理學ノ獨立不倚ノ勢ヲ馴致セシト曰フモ可ナリ

○第一　中古理學ノ初期

第一　中古理學ノ初期ニ在リテハプラトン家ノ說ト及ヒ特ニプロタン家ノ說ト最モ其勢力ヲ逞クセリ此レ其大體ナリ

佛蘭煦王（シャルル、ル、シヨーウ）意蘭人（スコット、エリジェーンヌ）ヲ延テ宮中ノ博士院ニ入ラシム其後邪說ヲ唱フルヲ以テ之ヲ訴フル者有リ晩ニ英吉利王アルフレット、ル、ガラン）ノ召ニ應シオクスフォルド（ノ蠻舍ニ入レリスコット、エリジェーンヌ博學ニシテ當時推シテ第一ト爲ス希臘語ニ邃ニシテ又亞剌比語ヲ能クシデニー、ラレオパジットノ書ヲ譯シテ之ヲ世ニ行ヒ此ニ由リプロタン家ノ理學ヲシテ大ニ諸學校ニ傳播セシメリ

スコット、エリジェーンヌハデニー及ヒプロタン家ノ理學士ノ說ヲ祖述シテ以爲ラク神ハ一有ニシテ天地庶物モ亦一有ナリ但神ハ純一ニシテ對敵無ク亦混然トシテ分離ス可ラス且ツ定態有ルヿ無シ若シ夫レ庶物ハ限量有リテ且ツ分離スルヿヲ得可シ又以爲ラク天地萬物ハ神ノ純一ノ德ノ中ヨリ分レ來レリ故ニ必ス皆終ニ神ノ純一ノ德中ニ歸入ス卽チ一切天ノ尊者ノ罪障有ル者及ヒ人類ノ罪障有ル者並ニ凡ソ懷生ノ者皆還原セサル莫シ若シ夫レ死後ノ譴責ノ如キハ唯其生時ノ惡業ヲ消滅スルカ爲メタルニ過キスシテ初メヨリ其還原ノ道ニ妨クルヿ無シトスコットノ此等ノ說並ニデニー、ラレオパジット及ヒサーントーギュスタンノ說ノ世ニ播スルニ及ヒ遂ニプラトン派ノ旨趣ヲシテ中古理學ノ中ニ進入セシム

ルヲ致セリ

其後ニ至リ前ニプラトン、アリストッ|トノ説ノ異ヲ爲セシ所ノ一問題即チ物ノ極致ノ説再ヒ起リ學士輩各〻説ヲ爲シテ決セス初メポルフィール、アリストッ|トノ「オルガノーム」ノ書ノ序ヲ作リ因リテ疑問ヲ著ケテ曰ク凡ソ人、獸、草、木等ノ如ク物ノ區種ヲ別ツ所ノ統名ハ實ニ物ノ外ニ於テ別ニ生存スル乎將タ此等ノ統名ハ純然ノ名稱ニ過キスシテ特ニ其物有ルカ爲メニシテ存スル乎ト顧フニ前ノ説ハ即チプラトン|ノ旨趣ニシテ例ヘハ人ト云フ意思ノ如キハ甲某乙某等一切人類ヲ統フル所ノ極致ニシテ實ニ別ニ現存スト後ノ説ハ即チアリスト|トノ旨趣ニシテ以爲ラク天下唯物ノ實ニ存スル有ルノミ彼ノ區種ノ統名即チプラトン|所謂極致ナル者ハ一名稱ニシテ物ヲ離レテ別ニ存スルニ非スト此二説ヤ其旨趣正ニ相反スル者ニシテ中古ノ時學士輩相聚訟シテ決セサル|久シク以テ理學ノ沿革ヲ爲セリ

中古理學ノ初期ニ在リテハ學士輩プラトンノ説ニ左袒スル者尤モ衆シ是ニ於テ彼ノ人、獸、草、木等ノ如キ統轄ノ意思ヲ稱シテ「ユニウェルソー」廣博ノ意思ノ義ト號シテ以爲ラク此種ノ意思ハ實ニ物ノ極致ナリ之ヲ例ヘハ「ユマニテー」人類ノ義ノ意思ノ如キハ其完粹ナル|遠ク尋常甲某乙某等ノ上ニ出テ其物タル各個中ニ存シ永久ニシテ不滅ナリト是説ヲ主張スル者ハ是ノ如クニシテ統名ノ意思ヲ以テ現ニ存スト爲スヲ以テ世人名ケテ「レアリス」現存ノ説ノ義ナリト稱シ之ニ反スル者ハ名ケテ「ノミナリスト」空名ノ説ヲ執ル人ト稱ス他無シ統名ノ意思ヲ以テ空假ノ名稱ト爲スヲ以テナリ

現存ノ説ヲ擴張シテ極メテ周到ナリシ者ハサーンタンセルム|ト爲ス世人之ヲ號シテ第二オーギュスタン|ト稱セリ蓋シサーンタンセルム好テサーン|トーギュスタンノ旨趣ヲ祖述シ此ニ因リ以テプラトンノ極致ノ説ニ通スルヲ得タルカ故ナリ

サーンタンセルムハ第十一紀ニ於テオーストニ生レタリノルマンギー|郡ベックノ一寺ノ住持ト爲リ晩ニカンタルベリー|ノ大敎正ト爲レリ

サーンタンセルム ノ言ニ曰ク神ノ最上聖智（エスプリー、シュプレーム）一タビ言ヲ放ツ片ハ凡ソ世界有ル所ノ者皆其光被スル所ト爲ラサル莫シ蓋シ萬彙ノ未タ生セサルノ前並ニ既ニ生スルノ後ヨリ其變化シ及ヒ死滅スル後ト雖モ皆神ノ最上智ノ中ニ在リテ存ス但其神ノ最上智ノ中ニ存スルヤ物ニシテ存スルニ非ス卽チ神ニシテ存スルナリ何ソヤ夫レ萬彙ハ神ノ彼ノ移易ス可ラサル至理ニ賴リテ作レル所ニシテ亦此理ニ賴リテ變滅セサルヿ能ハス故ニ曰ク物ニシテ存スルニ非スト夫レ萬彙一タヒ神ノ最上智ノ中ニ歸入スルヿハ再ヒ其當初完粹ノ質ニ還ルヿヲ得故ニ曰ク神ニシテ存スルナリト

サーンタンセルム又以爲ラク一切物ノ諸性ハ其物實ニ之ヲ具有スルニ非スシテ必ス別ニ存スル所有リ之ヲ例ヘハ爰ニ正義ノ人有ランニ所謂正義ハ卽チ性ナリ然レ𪜈是人ノ能ク正義ノ性有ルハ他無シ世界ノ間自ラ所謂正義ナル者ノ存スル有ルヲ以テ是人從フテ之カ幾分ヲ稟受シテ

斯ニ以テ正義人ト爲ルヿヲ得タリ是ニ知ル神ハ萬有ノ祖ニシテ獨立不倚ナルヲ以テ凡ソ人物ノ有スル所ノ性ハ神ノ中ニ存スルヿヲ其他長、廣、厚等ノ諸性ノ如キモ皆然リ物自ラ此等ノ性有ルニ非スシテ此等ノ性ハ皆實ハ神ノ中ニ存スト

サーンタンセルム是ノ如クニシテ有形ノ諸物ヨリ無形ノ性ニ及ヒ層累シテ上リ以テ神ノ最上純一ノ智ニ達ス是レ正ニ前ニプラトンノ由リテ論理有リ以テ神ノ諸德ヲ證セリ其法蓋シ首ニ神ノ何物タルヲ論シ然ル後チ神ノ必ス若干ノ德ヲ有セサル可ラサル所以ノ故ヲ論シ終リニ亦神ノ純一ノ智ニ通徹ス

凡ソ玆ニ擧クル所ハサーンタンセルム著ハス所ノ「モノロギヨーム」ノ書中ノ說ナリサーンタンセルム又「プロスロギヨーム」ト題セル一書有リ亦理ヲ推シ義ヲ求メ以テ神ノ現ニ世ニ存スルヿヲ證セリ蓋シサーンタン

セルム深ク神ノ現存スルヿヲ證スルヿヲ願欲シ片時モ措クヿ能ハス祭典ノ時稠人廣衆ノ前ニ在リテ儀式ヲ行フノ際ト雖モ中心猶ホ此一念ヲ守リテ失打セサルニ至リシトテ云フ

「プロスロギヨーム」ノ書中神ノ現存セルヿヲ證スル諸論ノ中一種極メテ世ニ著聞スル者有リ名ケテ「プレーウ、オントロジック」ト曰フ有ニ由リテ神ヲ證スルノ義ナリ蓋シサーンタンセルム本トプラトンノ說ヲ祖述シテ以爲ラク神ハ最上無比ノ純一ノ本有ニシテ凡ソ物皆其中ニ包括セラレテ以テ同一體ヲ爲ス卽チ有ト云ヒ智ト云ヒ神ノ中ニ在リテハ渾融シテ一ヲ爲スト是ニ於テ凡ソ意念ノ有ト實形ノ有トヲ舉ケテ皆之ヲ神ニ歸シテ分離ス可ラサル者ト爲スニ至ル

サーンタンセルム因テ以爲ラク神トハ衆意念ノ本原ニシテ凡ソ吾人ノ想像スル所ト皆神ノ中ニ在リテ一ヲ爲シテ分別ス可ラス然ルヲ神ノ以テ特ニ吾人ノ想像スル所ニシテ現ニ存スルニ非ス

ト爲スカ如キハ前後相容レサルノ見ナリ是正ニ最上完粹ノ物ヲ以テ不完不粹ノ物ト爲スナリト余ヲ以テ之ヲ觀レハ人將ニ曰ハントス今若シ世界庶物ヲ以テ完粹精美ノ物ト爲スヘカハ謬ト爲サヽルヲ得ス何トナレハ凡ソ現ニ在ル所ノ有ノ類ハ皆益〻浸化醸熟シテ已マサルヲ以テ明ニ其未タ完粹ナラサルヲ證ス可ケレハナリ且ツヤ所謂吾人ノ想像ト有形ノ實迹トノ一體ヲ相爲ス所ノ衆物ノ本原モ亦或ハ未タ完粹ナラサルモ亦未タ知ル可ラサルナリ之ヲ要スルニ神ノ現ニ世ニ存スルヿヲ證セント欲スルカ爲メニ徒ニ空妙ノ言語ヲ構架スルモ未タ人心ヲ厭服スルニ足ラス

サーンタンセルムノ論ノ如キ卽チ是ノミ

サーンタンセルム曰ク神ヲ以テ有ルヿ無シト爲スカ如キハ意義無キノ論ナリ凡ソ人如何ニ無智ナルモ若シ之ニ告ルニ世界所謂神ナル者有リテ廣大無邊ニシテ物ノ比ス可キ無キノ意ヲ以テスルトキハ彼レ必ス解シテ以爲ラク然リト爲ス所ハ皆吾人ノ智慧ノ中ニ

存スル者ナリ然ルニ神ノ旨義ノ如キハ初メヨリ吾人ノ智慧ノ中ニ存スル可キ者ニ非サルヲ以テ吾人ノ智慧苟モ之有リト爲スキハ其必ス現ニ世ニ存スルヲ知ル可キナリ

ゴーニロンハマルムーヲエーノ庵主ナリ「無智人ノ說」ト題セル小冊子ヲ著ハシテ以テサーンタンセルムノ論ヲ駁撃シテ以爲ラク思ト有トハ判然兩物ニシテ混ス可ラス是ヲ以テ世界現ニ有ラサル者モ吾人固ヨリ之ヲ思フヲ得例ヘハ稗史稱スル所ノ海中ノ仙島ノ如キ吾人思念中固ヨリ之有リ然レモ此ヲ以テ現ニ之レ有リト曰フテ可ナラン乎トゴーニロンノ言極メテ當レリ其後デカルト、スピノザー、レイプニッツノ徒將ニ復タサーンタンセルムノ此說ヲ倡ヘントス又カントノ如キハ則チ言フ神ヲ以テ有ルヲ無シト爲スモ議論ノ間必スシモ前後矛盾ノ病ヲ生スルヲ見スト

玆ニ擧クル所ニ由レハサーンタンセルムハ專ラ有ト思トヲ以テ同一ト爲シテ以テ神ノ現ニ存スルヲ證セント欲スト而シテゴーニロンハ現ニ思念中ニ存スル所ノ物卽チ神トヲ區別シテ以テサーンタンセルムノ說ヲ駁撃シテ豫メ後世カントノ先引ヲ爲セシト謂フ可シ

中古學士ノ所謂現存ノ說ハ畢竟諸無形高妙ノ意思ヲ以テ現ニ世ニ存スト爲スヲ以テ後世ノ理學ノ語ヲ用ヒテ之ヲ言フニハ却テ虛靈說ト謂フ可キナリ而シテ空名ノ說ハ稍實質說ニ似タリト謂フ可シ

サーンタンセルムノ理學ハ其歸趣ヲ要スルニ專ラ物ノ極致卽チ意思ヲ以テ現ニ世ニ存スト爲シ又思念ト本有トヲ以テ同一物ニシテ分離ス可ラスト爲シ議論百出スルモ皆此意ニ出テサルヲ莫ク前後相蒙ムラサルノ弊ヲ見ス

夫レサーンタンセルムノ如クニシテプラトンノ旨趣ヲ主張シテ以テ其家學ヲ唱フルニ方リ一學士又アリストットノ說ニ於テ其プラトンヲ駁セシ處ヲ採摭シ更ニ其旨趣ヲ張大ニシ以テサーンタンセルムノ說ヲ攻撃セリ

其人ハ誰ト爲ス曰ク（コンピエーンス）ノ僧ロスラン是ナリ紀元一千九十年ニ方リロスラン其家學ヲ唱ヘテ以爲ラク有形各物獨リ眞ニ之有リ彼ノ人獸、草、木等一切區種ヲ統フル旨義ハ唯有形各物ニ就テ其相類スル者若干ヲ取リテ之カ名稱ヲ定ムルニ過キス眞ニ此等廣博ノ實物有ルニ非ス此レ實ハ未タ眞ノ意思ト爲ス可ラス何ヲ以テ之ヲ言フ曰ク試ニ甲某乙某ヲ思念スルニ無ク某ノ獸某ノ禽ヲ思念スルニ無クシテ純ラ人ヲ思念セヨ試ニ某ノ獸某ノ禽ヲ思念セヨ是レ決シテ爲ス可ラサルノ事ナリ吾人若シ漠然人類ヲ思念スルトキハ吾人此ヲ以テ能ク盡ク世界ノ人ヲ思念スルニ非スシテ特ニ一言語一名稱ヲ思念スルニ過ギズ是ニ由リテ之ヲ言ヘハ凡ソ統名ノ意思ハ唯名稱ト云フニ過キス唯口語ト云フニ過キス各物ノ外豈復タ實ニ是ノ如キ者有ラン哉

中古空名ノ說ヲ倡フル者ノ中ニ就テロスラン（ロスラン）ノ說蓋シ尤モ果敢ナル者ナリ

ロスラン既ニ理學ニ係リテ是說ヲ爲シ因リテ亦宗教ノ學ニ就テ之ヲ推用シテ以爲ラク神ノ現ニ世ニ存スルハ徒ニ其三體有ルヲ以テナリ若シ夫レ基督宗云フ所ノ三體ヲ統合スル一精靈ニ至リテハ特ニ一名稱タルニ過キス蓋シ三體ハ卽チ神ニ係ル本有ノ各物ナリ神ノ名稱ハ空華ノ一言語ノミト

ソアソンノ教會輿ルニ及ヒ衆僧ロスラン（ロスラン）ノ說ヲ以テ邪說ニシテ世ヲ惑ハスト爲シ遂ニ一切空名ノ說ヲ斥ケテ之ヲ教會ノ外ニ斥クルニ至レリ若シ夫レ現存ノ說ハ自ラ事物ノ單一ナルヲ贊稱スル有ルヲ以テ遂ニ定メテ基督宗理學ノ正說ト爲セリ他無シ其尊ヲ尊トシ卑ヲ卑トシ本ヲ揚ケ末ヲ抑ヘ全體ヲ先ニシ各個ヲ後ニスルヲ以テナリ

ロスラン（ロスラン）ヲ攻擊セシ者ノ中ニ就テ其最モ劇烈ナルハギヨーム、ド、シャンポー（ギヨーム、ド、シャンポー）ニ踰ユル莫シギヨーム（ギヨーム）ノ現存ノ說ヲ爲スヤ擴張シテ其太甚シキニ至リサーンタンゾセルム（サンタンゾセルム）ノ旨趣ニ比スレハ迴カニ其前ニ居リ其極ヤ殆ンド神物同

體ノ說ト境ヲ接スルニ至レリ

ギヨームノ說ニ以爲ラク凡ソ各個ノ有形物ハ空相ニシテ實ニ之有ルニ非ス此レ特ニ一名稱ノミ唯各個ヲ統フル區種ノ旨義異ニ本有ノ性ヲ具ス是ヲ以テ世界人口此ノ如ク夥シキモ甲某乙某等ノ如キハ人類ノ影象タルニ過ギズシテ世界實ハ唯一人有ルノミ而シテ是人ヤ博大ニシテ且ツ悠久ナリ甲某乙某等ノ獨リ一個ノ身ニ止マリテ且ツ死滅スルカ如クナラス又以爲ラク今甲某乙某等ノ各人ヲ視ルニ其皮表洵ニ相異ナルカ如シト雖モ其中必ス相通シテ必ス具フ所ノ性有リ是レ卽チ凡ソ人類ヲ統フル所ノ本有ノ質ナリ是レ卽チ人ノ實相ナリ又以爲ラク統名ノ旨義ハ各物ノ未タ生セサルノ前ヨリ生シテ各物ノ已ニ滅スルノ後ニ存スト」

夫レロスランハアリストット家空名ノ說ヲ唱ヘシ者ノ最モ甚キ者ニシテギヨーム、ド、シヤンポーハプラトン家現存ノ說ヲ唱ヘシ者ノ最モ甚キ者ナリ此兩人ノ極メテ相反スル者ノ間更ニ一學士ノ起ル有リ稍ヽ兩家ノ說ヲ折衷シテ以テ一家ノ說ヲ成セリアベラールガ蓋シ是ノミ

アベラールハ紀元一千七十九年ヲ以テ生レテ一千百四十二年ヲ以テ沒セリウィクトル、クーザン其中古理學輯略ト題セル書ニ於テアベラールノ事ヲ傳ヘテ尤モ詳ナリ其言ニ曰クアベラールハナントノ近傍ニ生レ國學ニ入リテ學ビ業已ニ就リ更ニ遍ク諸郡ノ學校ヲ經テ益ヽ學ヲ勉メ後巴里ニ赴キ當時名ヲ顯ハセシ者アベラール皆師トセサル莫シ而シテ其之ヲ師トスルヤ直ヲ其上ニ出テ、或ハ之ヲ折服シ或ハ之ト議論シテ勍敵ヲ爲シ當時論理ノ一道ニ於テ一モアベラールノ右ニ出ツル者無シ

其後アベラール其理學ノ說ノ外更ニ宗教ノ說ヲ倡ヘテ大ニ名ヲ顯ハシ凡ソ法朗西遠隅ノ學者ヨリ他ノ歐羅巴ノ諸國ノ學者ニ至ル迄來リテ講筵ニ陪スル者極メテ多ク巴里逆旅ノ館舍爲メニ盡ク塡咽スルニ至リシト云フ此事アベラールモ亦自ラ之ヲ傳ヘリアベラール轉シテ他ニ移ル每ニ衆嗷々然トシテ之ニ從フヿ恰モアベラールノ之ヲ携フル者ノ如シ一

荒寂ノ邑落ヲ求メテ之ニ住スルモ久シキヲ經スシテ人衆來リ聚リ校舍塡咽シテ時日ヲ移サス其時人ノ欽慕スル所ト爲リシヿ此ノ如シ

アベラールノ說ヲ攻擊セシ者モ亦頗ル之有リサーンベルナールノ如キ其一ナリアルノールド、ブレッシャーハアベラールノ高足弟子ノ一ニシテ亦其親友ノ一ナリ

アベラールノ傳記ノ尤モ奇ナルヲ爲ス所以ノ者一ニシテ足ラス蓋シ斯人天姿人ニ絕シ才藝衆ニ出テヽ通曉セサル所莫ク既ニロスラン、ギヨーム、ノ二大家ヲ壓倒シテ世人ヲシテ號シテ第十二紀ノボシュエート稱セシムルニ至リ又容儀端麗ニシテ音律ヲ善クシ詩ニ妙ニシテ屢〻世俗ノ語ヲ用ヒテ歌謠ヲ製シ學徒諸生及ヒ貴紳ノ婦女皆聽テ之ヲ樂ミシト云フアベラールノ儼然一大寺ノ主ニシテ學校ノ師長タリ而シテ一婦人ノ極メ

キテ愛戀スル所ト爲レリ奇ト謂ハサル可ケンヤ而シテ斯婦人頗ル文辭有リ容貌モ亦衆ニ超エシ者ノ如シサーンベルナールノ木强ニシテ之ヲ悅ヒシヲ見テ知ル可シ夫レアベラールノ既ニ理學ニ遂ニシテ又僧門ニ在リテ一種稗史中ノ人物ト等キ名ヲ顯ハシ當時禮文部陋人俗ニ居テ風流才子ノ譽ヲ馳セ一家ノ說ヲ主張シテ屈撓スル所無ク幾ンド身ヲ以テ之ニ殉スルニ至ル嗚呼是レ眞ニ曠世ノ奇人ト謂フ可シ云々

アベラールノ說ニ以爲ラク凡ソ統名ノ旨義ハ各物ノ先ニ存スルニ非ス亦各物ノ後ニ存スルニ非スシテ卽チ各物ノ中ニ存ス故ニ若シ一タヒ各物ヲ外ニシテ言フヲハ空幻ニシテ實ニ合スルヿ無シ然レハ亦未タ直チニ之ヲ一言語ト謂フ可ラス此レ蓋シ吾人精神中一種ノ意念ニシテ世界一種ノ有ナリト是ニ於テ斯說ヲ名ケテ意念ノ說（ロンセプチュアリスム）ト曰フ

アベラールノ理學ハ大ニアリストットノ說ニ同シ蓋シアベラール本トアリストットノ「オルガノーム」ノ書ノ數節ヲ得テ之ヲ讀ミ以テ其說ノ歸趣ヲ察知

セリ故ニ未タ「メタフィジック」ノ書ヲ看ルヿヲ得スト雖モ頗ルアリストットノ旨趣ヲ祖述スルヿヲ得タリ

アベラールノ三神一體ノ說ニ係ル所見ハ僧門ノ斥クル所ト爲レリ其所見以爲ラク神ノ三體ハ實ハ其三德タルニ過ギス曰ク力ナリ曰ク智ナリ曰ク斷ナリ故ニ是三ノ者モ神ノ全體ヲ外ニシテ言フトキハ空幻ニシテ實無シ若シ之ヲ合スルトキハ即チ以テ完粹豐備ノ一神體ヲ爲ストロスランノ說ノ如キハ三體ヲ以テ各〻皆一個ノ神ナリト爲シテ此レカ爲メニ僧會ノ譴責ヲ獲タリ今アベラールハ正ニロスランノ反對ニ出テヽ而シテ僧門ノ譴責ヲ獲シヿハ相同シ

然リト雖モアベラールノ僧門ノ譴責ヲ獲シヿハ其論說ノ旨趣ノ爲メニシテ然ルヨリモ其說ヲ倡フルノ方法ノ爲メニシテ然ルヿ多キニ居ル何ヲ以テ然ルヤ曰クアベラール議論ヲ喜ヒ凡ソ宗旨ノ秘諦ト雖モ皆理ヲ推シ義ヲ考ヘ以テ之ヲ講求スルヿヲ務メテ顧忌スル所無シ此レ其僧門ノ嫉惡ヲ

惹キシ所以ナリ

アベラール又自由ヲ尙ヒ大ニ世ノ僧侶ノ異敎ノ徒ヲ攻擊シテ之ヲ寬假セサルヿヲ非トセリ當時僧侶往々世俗理學士ノ基督宗ニ歸依セサル者ヲ擯斥シテ死後天堂ノ樂ヲ享クルヿヲ得セシメサラント欲スアベラール甚タ其意ヲ非トシテ曰ク夫レ世俗理學士基督宗ニ歸依セサル者ニシテ其言行實ニ善美ニシテ經典ノ敎ト暗合シ或ハ少ク基督宗ノ戒律ニ合セサル有ルモ要スルニ賢人君子タルニ害セス是ノ如キ者モ亦頗ル衆シ今是ノ如キ好人物ヲ驅リテ盡ク地獄ニ墮チシメント欲ス豈ニ基督ノ眞意ナラン哉云々」

アベラールノ學派能ク議論ノ際人心ノ自由ヲ護持シテ之ヲ喪ハサルヿ是ノ如シ是ニ於テ後來ノ者ヲシテ遂ニ能ク理學ヲ講求スルノ際全ク宗敎ノ束縛ヲ脫シテ自在ニ言說スルヿヲ得セシメタルハアベラールノ功蓋シ偉ナリト謂フ可シ

第二　中古理學士ノ彼ノ神人感合ノ說ヲ執ル者モ亦知ラス識ラス人心ヲ

シテ自由ノ途ニ進マシムルヲ致セリ夫レ神人感合ノ說ノ如キハ推理家トハ正ニ相反スル者ナリ而シテ其人心ノ自由ヲ贊助スルニ至リテ獨リ之ト同シカリシハ蓋シ亦理ノ在ル所自ラ然ラサルヲ得サル者有リシ歟

サーンベルナルド固ヨリアベラールヲ攻擊シ遂ニ僧門ヲシテ其所見ヲ斥ケシメ以テ宗教ノ正旨ヲ維持セントシ欲セリ然レ𪜈サーンベルナルドモ亦當時羅馬敎王ノ專ラ宗旨ノ權ヲ統ヘテ獨リ之ヲ掌握セントシ欲スルヲ見テ意甚タ滿タスサーンベルナルド辯ニシテ口有リ嘗テ之ヲ譏刺シテ曰ク今世僧人何ソ經典載スル所ノ天主ノ神敕ヲ聞カサルヤ神敕ニ云フ帝王固ヨリ其封內ノ政權ヲ擧ケテ掻ニ在リ若シ僧門ノ徒妄リニ之ニ傚傚スル有ルトキハ甚タ不可ナリト是ニ由テ考フレハ威權ヲ一手ニ歸スルヿハ天主ノ深ク其徒弟ヲ戒メシ所以ナリ今ヤ僧人何ソ亦自ラ之ヲ戒メサルヤ

サーンベルナルド又曰ク天主ノ吾儕ニ命スル所以ノ者之ヲ如何曰ク經典ニ之有リ云フ汝等ノ中ニ就テ勢力最廣大ナル者ハ吾レ甚タ其汝等ノ間ニ居テ奴隸人ト等キヿヲ望ムト此言豈ニ僧侶家ノ模範ニ非ス乎

サーンベルナルドノ理學タル言句ヲ綴ケ妙契ヲ尙ヒ以テ神人感合ノ說ニ傾嚮セリ蓋シアベラールノ專ラ理義ヲ講シ心ヲ師トシテ宗旨ノ密諦ニ順從セサルヲ見テ以爲ラク是レ邪逕ニ墮ツルノ危道ナリト此レ其務メテ道ヲ言詮ノ外ニ求メシ所以ナリ

「サーンウィクトル」派ノ學士モ亦妙諧ノ奇緣ヲ以テ本旨ト爲シテ痛ク議論ノ弊ヲ攻擊セリコーグ、リシャールノ二人此派ノ領袖タリ兩人皆サーンウィクトル寺ノ僧官ナリ世人ノ其派ヲ號シテ「サーンウィクトル」ト稱セシ所ハ此レカ爲メナリ

リシャール專ラ愛ノ理ヲ講求シテ以テ神ノ何物タルヲ證徵セリ其意以爲ラク神ハ卽チ一愛ノ理ナリ然ルニ凡ソ愛ト云フ者ハ必ス其愛スル所ノ者ヲ

求ム今神ハ永世不朽ノ愛ノ理ナルヤハ亦必ス其永世不朽ノ愛スル所ノ者無カル可ラス所謂神子卽チ是ノミリシャール是ノ如クニシテ愛ヲ以テ神ノ本體ト爲シ因リテ說ヲ爲シ基督宗ノ理學ヲシテ其最高層ノ地ニ達セシメリ然レ𪜈リシャールモ亦吾人ノ修學ニ於テ初メヨリ等級無シト爲スニ非ス蓋シ吾人ノ學ヲ修ムルヤ當ニ神ヲ愛スルヲ以テ主ト爲ス可シ而シテ其之ヲ愛スルヤ靜察瞑觀ノ工夫ヲ用ヒ漸次ニ進ミ次ヲ亂ラス等ヲ躐エス遂ニ直チニ神ノ一愛ノ理ト一體ヲ爲スニ至リテ後已ム此正ニ學問ノ極致ニシテ大ニ智見煥發歡天喜地ノ候ニ遭遇スルヲ卽チ是ナリ

リシャール沒スルノ後「サーンヴィクトル」派ノ學士猶ホ其典型ヲ守リ推理家ノ議論ヲ崇尙スルノ弊ヲ惡ミ其專ラ糾纏繆巧ノ辯ヲ衒燿シテ大ニ宗規ヲ傷敗スルヲ患ヘ攻擊シテ餘力ヲ遺サス𪜈ピエールルロンバール一書ヲ著ハシ其中ニ於テ凡ソ當時僧侶間ニ發起セシ所ノ疑題ノ類ヲ擧ケテ漏サス名ケテ「サンタンス」ト曰フ裁斷ノ義ナリ今其書ヲ閱スルニ議論最モ重要ナル者有リ亦瑣屑ニシテ絲毫モ關繫無キ者有リ所見極メテ深奧ニシテ微妙ニ透徹スル者有リ亦淺膚ニシテ童孺ノ見ニ等シキ者有リ亦以テ當時ノ學者ノ風習ヲ推スニ足ル

ピエールノ「サンタンス」ノ書中疑題ヲ揭ケテ曰ク神若シ人類ヲ作リテ自由ナラシムルト爲スト𪜈ハ其豫知ノ大智慧ハ果シテ何ノ用有ル乎曰ク人類庶物未タ作ラサルノ前神ハ果シテ何ノ處ニ在リシ乎曰ク天ノ惡魔如何シテ人身ノ中ニ入ルヲ得タル乎曰ク始祖アダムノ始メテ下界ニ降生セシ時身ノ丈幾何ナリシ乎曰ク神既ニ能ク丈夫ノ身ニ憑依シテ生ヲ斯世ニ托スト爲スト𪜈ハ亦生ヲ婦人ノ身ニ托スルヲ得ル乎曰ク蛻鼠若シ神前ノ麵包ヲ食スル𪜈ハ能ク天主ノ身ヲ食スト爲スヲ一ニ人類ト異ナラサル乎云々

當時推理ノ說ヲ爲ス者神人感合ノ說ヲ爲ス者並ニ其理學ニ於テ人心ノ自

由ニ進ミ中古ノ神學ヲシテ寖ク綱ヲ解カシムルヲ致ス是ニ於テ僧會ノ議動モスレハ此輩ヲ目シテ邪說世ヲ惑ハス者ト爲シ其著書ヲ奪フテ之ヲ焚毀セシニ極メテ多ク餘威ノ及フ所アリストツトノ書ヲ舉ケテ之ヲ禁斥スルニ至レリ蓋シ當時學士始メテアリストツトノ書ヲ講求シ又アベラールノ末年ノ學士益ゝ議論ヲ主張シテ忌憚スル所無キヨリ正敎ヲ維持セント欲スル者以爲ラク是レアリストツトノ業然ラシムト是レ其之ヲ禁斥セシ所以ナリ

アリストツトノ書一タヒ僧門ノ禁斥ヲ獲ルノ後學士輩猶ホ之ヲ誦習シテ已マス之ヲ頃アリテアリストツトノ書未タ必スシモ宗旨ニ背戻スルニ至ラサルヲ覺リ中古ノ時ニ於テアリストツトノ書大ニ世ノ尊崇ヲ獲タリ是ヨリ前初期ノ時ニ在リプラトンノ說頗ル世ノ祖述スル所ト爲リシモ第二期ノ時ニ及ヒアリストツトノ說代リテ力ヲ及ホスニ至レリ是レ此兩期ノ理學ノ大較ナリ

中古理學士ノプラトンノ說ヲ祖述スルニ方リテヤ學士輩相競フテ踴躍摸擬ヲ事トシテ唯前人ノ說ニ依傍シテ絲毫モ自ラ意見ヲ發スルヿ無カリキ其後ニ及ヒ僧門ノ徒モ亦弊ノ由リテ來タル所ヲ覺リ以爲ラク是レ一理學ノ渾然大成シテ且ツ據ル所ノ方法堅確ナル者ヲ得テ之ヲ鼓舞スルニ非サレハ不可ナリト而シテアリストツトノ理學ヲ以テ尤モ病ニ適スト爲シ引テ之ヲ納レ凡ソ敬外ノ人事ニ係リテハ一ニアリストツトノ方法ヲ以テ模範ト爲スニ至レリ

是時ニ當リ僧門ノ徒アリストツトヲ崇敬スルヿ寖ク甚シク之ヲ號シテ人事ニ係ル基督ノ先鞭者ト爲シ配享シテ神ト爲サント欲スルニ至レリ

夫レアリストツトハ中古學士ノ視テ古今最モ自由ニシテ依倚スル所無キ者ノ一ト爲セリ而シテ之ヲ崇敬スルヿ玆ニ舉クル所ノ如シ是ニ於テ其倡說セシ所ノ旨趣ニ因リ言說ノ際知ラス識ラス人心ノ自由ヲ進メ前人ニ依傍セスシテ自ラ意ヲ創スルノ習ヲ取レリ

アリストットノ理學ノ世ニ行ハルヽヤ其益蓋シ二有リ曰ク道理ヲ推究シ事物ヲ分析スルヿヲ習フナリ曰ク事物ノ實迹ニ就テ之ヲ證驗スルヿニ習フナリ是ニノ習蓋シ甚タ理學ノ門ニ功有リキ

中古理學ノ第二期

第一　中古ノ時ニ在リテ我カ歐洲人ヲシテアリストットノ書中最モ著聞セシ者若干卷ヲ誦スルヿヲ得セシメタルハ亞剌比人ノ賜ナリ是時ニ於テ歐洲人唯「オルガノーム」ノ一書ヲ蓄ヘシノミ相傳フ或人コンスタンチノープルヨリ此書ヲシャルルマニー帝ニ贈献セリト是ヨリ先キ亞剌比人始メテ希臘ノ諸書ヲ誦習シテ或ハ之ヲ繙譯シ或ハ之レカ解ヲ爲セリ而シテ亞剌比ノ學士輩アリストットノ理學ヲ崇奉セシ者ノ中ニ就テ最モ著稱セラレシ者ハ醫師アウィセンヌ及ヒアウェロエースト爲スアウィセンヌハ第十一紀ノ代ニ在リアウェロエースハ第十三紀ノ代ニ在リ之ヲ頃アリテ猶太人西班牙ヨリ來レル者亞剌比人ノ書ヲ齎ラシテ之ヲ歐

洲諸國ニ傳ヘテ而シテ猶太人中亦頗ル理學士ノ著名ナル者ヲ出セリメーモニーデ尤モ其最ナル者ニシテ蓋シ第十三紀ノ代ニ在リ是ノ如クニシテ我カ歐洲人アリストットノ書ニ於テ始メテ其格物ノ書庶物原理ノ書及ヒ道德政治ノ諸書ヲ誦習スルヿヲ得是ニ於テ學士輩相競フテ起リ爭フテ新說ヲ創シテ大ニ理學ノ運ヲ推闡シテ人智ヲ進暢スルヲ致セリ

アリストットノ理學タルヤ一方ニ偏スルヿ無ク既ニ人ヲシテ庶物ノ實迹ニ徵證スルニ習ハシメ亦人ヲシテ意ヲ創シテ自ラ思念セシムルヿ即チ「ドミニカーン」派ノ僧アルベルド、ルガランノ如キハ正ニ此二ノ意嚮ヲ合シテ之有リキ

アルベルト極メテ理化ノ二科ニ通達セシニ因リ當時相傳ヘテ能ク妖魔ヲ使役シ天地ノ秘機ヲ發洩スト爲セリ然レトモ久シカラスシテ「ドミニカーン」派ノ學校ニ在リテハ凡ソ庶物原理ノ學ト論理ノ學トニ係リ人皆アルベル

トヲ推シテ首トス爲ニ至レリ

アルベルトニ亞テ此派ノ學校ニ於テ最モ著聞セシハサーン、トーマス、ダカンノ如ク者莫シ當時號シテ學校ノ尊者ト稱セシト云フ

サーン、トーマス、ダカンハ一千二百二十五年ヲ以テ生レテ一千二百七十四年ヲ以テ沒セリ家世々アキローノ豪姓ナリナープルヲ距ルヿ近シトーマス少ヨリ意ヲ宗教ニ注キ父ノ言ニ從ハスシテ「ドミコカーン」派ノ僧ニ從フテ披度シ後意答利ヲ去リ巴里ニ赴カント欲シ兄弟ノ爲メニ捕ヘラレアキローニ送ラレ家ニ四ハルヽヿ二年復タ逃レテコローニニ到リアルベルトニ從フテ徒弟ト爲レリ

サーン、トーマスノ著書ハ中古ニ在リテ議論尤モ深奥ニシテ宏博ナリト爲ス其旨趣專ラ世俗ノ理學ト宗教家ノ理學トヲ合シテ一ト爲スニ在リ是ニ於テ基督宗ノ旨趣トアリストットノ旨趣ト並ヒ行ハレテ悖ラサルヿヲ得タリ夫レ是二ノ者相異ルヿ頗ル甚シ而シテ能ク之ヲ合シテ一ト爲シ、ハト

ーマスノ腕力蓋シ巨ナリト謂フ可シ

サーントーマスノ著書ハ名ケテ「ソンム」ト曰フ理學ノ一說ヲ構成シテ萬世易フ可ラサルノ業ト爲シ凡ソ學士ノ揭出ス可キ問題ニ就テ像メ一々之カ答ヲ爲シテ爭フ可ラサラシメ宗旨家ノ固執シテ動カス可ラサル所ト理學士ノ守リテ千古ノ確說ト爲ス所トヲ取リ混融シテ一理ト爲ス是ノ如キ者蓋シトーマスノ志ナリ但細ニ之ヲ察スルトキハ其中庶物原理ノ學ニ係ル諸旨義ハ皆前人ニ依傍シテ略ヽ自ラ發明スル所無シ之ヲ要スルニ「ソンム」ノ一書タル其稱贊ス可キハ蓋シ論理ノ學ニ由リ巧ニ諸種ノ旨義ヲ安排シテ能ク前後整齊ナラシメタルノ一事ニ在ルノミ

サーントーマスノ理學ノ歸趣ヲ要スルニ人智ノ何物タルト道理ノ何狀タルトヲ講求スルニ專ラニシテ自由ノ德ト愛ノ理トニ於テハ蓋シ未タ疎濶ナルヲ免レス故ニ之ヲ身外ノ道理ニ係ル理學ト稱ス可シ未タ之ヲ人心ノ自由ニ係ル理學ト稱ス可ラス

物ノ意思即チ極致ノ一項ニ係リテハトーマスノ旨趣タルプラトンノ説トアリストッノ説トナシテ相合セシムルニ在リ是正ニサーントーギュスタンノ試ミシ所ナリ其意以爲ラクプラトン所謂物ノ意思即チ人、獣、草、木等一切物ノ區種ニ係ル意義ハ神ノ最上智ノ中ニ現存シテ永久滅スルコト無ク以テ有形ノ各物ナシテ生死消長シテ而シテ盡ルニ至ラサラシムト人心ノ自由ノ一項ニ係リテハサーントーマスノ意專ラ吾人ノ自由ト世界避ク可ラサルノ理トナ合シテ並行セシムルニ在リ是レ其所謂天然豫定ノ說ナリ然レドトーマスノ彼ノ世界避ク可ラサルノ理ナ論スルナ見ルキハ吾人ノ自由ハ終ニ空幻ニ歸シテ後已マンノミ請フ之ナ詳ニセン

トーマス以爲ラク神固ヨリ凡ソ吾人ノ行爲ナ豫知シテ細大遺スコト無ク其意必ス彼ノ如ク若クハ此ノ如クナラシメント欲ス是レ所謂世界避ク可ラサルノ理ナリ然レドモ吾人ノ果シテ行フ所有ルヤ神モ亦必ス其吾人ノ意ニ出ルコナ欲ス是レ所謂吾人ノ自由ナリ更ニ之ナ言ヘハ神固ヨリ吾レナシテ自ラ吾意ニ斷シテ其事ナ爲サシムル即チ自由ノ存スル所ナリ然レドモ既ニ神ノ使フ所ナリ故ニ亦避ク可ラサルノ理ノ存スル所ナリ

是ノ如キ者ハサーントーマスノ天然ノ豫定ノ說ナリ而シテ以爲ラク能ク神ノ意欲ト人ノ自由トナ合シテ並行セシムルニ足ルト然レドモ此ノ如クナルキハ所謂吾人ノ意欲ハ終ニ神ノ意欲ト謂ハサルナ得ス之ナ要スルニ天命ト自由トハ本ト兩立ス可ラスシテ百事天命ニ出ルト爲スキハ是レ自由無キナリ百事自由ニ出ツルト爲スキハ是レ天命無キナリ然ルナ兩ナカラ之ナ存セント欲スル其偏重ノ病ナ免レサルヤ固ヨリ宜ナリ

サーントーマス人類ノ意欲ノ說ニ於テ甚ク意ナ注メス是ナ以テ各人獨立不倚ノ大義ニ至リテハ初メヨリ通曉スル所無シ夫レ所謂現存ノ說ト所謂空名ノ說トノ間必ス左ノ一問題ノ蹇スル有ルナ免レス曰ク有形庶物ナシテ各々別ニ生ナ爲シテ合シテ一ト爲ラサラシムル所以ノ者ハ其原因果シテ安ク ニ在ル乎ト斯問ニ答ヘテ明瞭ナラサルキハ

是ニ說未タ孰レカ長セルヲ知ル可ラス何ソヤ所謂物ノ極致ナル者眞ニ神ノ最上智ノ中ニ現存スルモ有形庶生ノ各々別ニ生ヲ爲スヤモ亦爭フ可ラサルノ實迹ナリ故ニ必ス其然ル所以ノ理ヲ譚セサル可ラス是ヲ以テサーメトーマス及ヒドンスコットノ二學士ノ時ニ及ヒ各人獨立不倚ノ理ニ係ル問題實ニ學士ノ一大事ト爲ルニ至レリサーンストーマスノ說ニ以爲ラク凡ソ有生ノ物其實形ヲ外ニシテ之ヲ考フルトキハ獨リ精神有ルノミニシテ復タ各個ノ分別ス可キ無シ卽チ思念ノ如キモ其一切有形ノ迹ニ關スル所ヲ除テ之ヲ求ムルトキハ復タ此物ノ思念若クハ彼物ノ思念ニ非スシテ凡ソ思念皆一ニ歸セサル莫シ然レハ則チ各人各物ノ別チ爲ス所以ノ者ハ何ソヤ曰ク實形卽チ軀殼是ノミ唯其レ軀殼有リ故ニ一定ノ形有リテ乃チ彼ノ宇宙ノ中ニ散布シ永劫ノ間チ經過シテ其各〻別ニ生チ爲スチ致ス云々

サーンストーマスノ神ノ現ニ世ニ存スルヲチ證スルヤ其說蓋シプラトンノ

リストット二人ノ旨趣ヲ採摭シテ以テ之ヲ構成セリ神ノ本有ノ質ニ至リテハ其意亦彼ノ世界避ク可ラサルノ大理チ本トシテ之ヲ論ス是故ニ若シサーンストーマスニ問フテ曰ハンニ神ハ果シテ其本然ヨリシテ活潑自由ノ意欲ニシテ其最上ノ智慧ト其命令トハ正ニ其意欲ノ發シテ外ニ出ツル者ニ過キスト爲ス乎將タ然ラスシテ神ハ其本然ヨリシテ最上ノ智慧ニシテ其意欲ハ常ニ其智慧ヨリ發シ自然ニ世界避ク可ラサルノ理ト爲ルト爲ス乎顧フニ是第二ノ說ハ正ニサーンストーマスノ意ナリ

是故ニサーンストーマスノ所謂神ハ卽チプラトンノ所謂神ト異ナルヿ無シプラトン以爲ラク神ハ己レニ於テ旣ニ定マル所ノ大理チ藏シ旣ニ成ル所ノ至善ヲ抱キ旣ニ備具スル所ノ完粹ノ德チ懷キ己レノ身ニ於テ彼ノ事物自然避ク可ラサルノ衆理チ觀察シ其レチシテ永久斯世界ノ中ニ行ハレテ斷ユルヿ無ラシムサーンストーマス正ニ此說チ祖述セリ故ニ其所謂神ハ之チ一種自然ニ大成セシ所ノ一大物ト謂フ可シ未タ之チ一種自ラ大成スル

所ノ一大意欲ト謂フ可ラス

道學及ヒ法律學ニ係リテモサーントーマス亦其純然道理ノ說ヲ主張シテ吾人意欲ノ自由ニ至リテハ蓋シ貌焉ナリ其旨趣正ニプラトン家ノ學士及ヒゼノン家ノ學士ト相同シ其政法ヲ論スルヤ曰ク是レ世界至理ノ命令ニシテ邦國ノ務メニ任スル者ノ公共ノ利益ヲ察シテ著定告布スル所ナリト其權理ヲ論スルヤ曰ク是レ一物ト他物トノ均齊ナリト而シテ所謂均齊ハ其旨趣平等ノ義ヲ實ニスルニ在リ他無シ平等ノ義ハ正ニ正理ノ存スル所ナレハナリ

アリストッ一タヒ法律ノ說ヲ爲セシヨリ羅馬法律家ノゼノン家ノ說ニ從ヒシ者益ゝ之ヲ精覈セリサーントーマスノ法律ノ說大抵之ト同シ人々私有ノ權ニ係リテハサーントーマスモ亦基督宗ノ初年ノ耆德ト其旨意ヲ同クス乃チ以爲ラク此權ハ自然ノ至理ノ生スル所ニ非ス然レトモ亦此至理ニ反スルニ非ス是レ蓋シ人智ノ創作スル所ナリト

若シ夫レ奴隸ノ制ニ至リテハ以爲ラク是制タル本ト主人ト奴隸ト相共ニ分ツ所ノ利益ニ起因スルヲ以テ自然ノ至理ニ合スル者ナリ議論ノ自由及ヒ言語ノ自由ハ苟モ宗旨ニ係ルヲ是權有ルヿ無シ卽チ其言ニ曰ク世ノ詐僞ヲ行ヒ及ヒ其他諸ゝ惡ヲ爲ス者ハ王公宰相得テ之ヲ誅罰スル而ルヲ況ンヤ邪說ヲ爲シ世ヲ惑ハス者ニシテ豈ニ之ヲ宗敎ノ會外ニ斥ケ若クハ之ヲ誅殺スルヿ無キノ理有ラン哉

又曰ク凡ソ邪宗ニ迷溺スル者ハ僧門宜ク其罪ヲ寬宥シ務メテ其惑ヲ解テ我ニ歸依セシムルヿヲ求ム可シ故ニ初犯及ヒ再犯ノ如キハ之ヲ誅罰スルヿ無シ若シ夫レ三犯四犯ニ至リテハ復タ得テ化ス可ラサルヲ以テ吾儕之ヲ斥ケテ宗敎ノ化外ニ放出シ世俗ノ刑官ニ屬托シ戮死シテ以テ斯世ヲ去ラシム然ラスンハ或ハ他ノ衆生ヲ惑ハシテ天堂ニ升登スルヿヲ得サラシムルニ至ラン

又曰クサーンジエローム曰ハス乎肉ノ腐潰セル者ハ斷チ去リテ後始メテ身

命ヲ護スルヲ得若シ家畜ノ中或ハ一モ病ニ染ム者有ルトキハ斥ケテ他ノ畜産ノ群中ニ入レス然ラスンハ其臭穢ノ氣散蔓シテ他ノ畜産ニ傳染シ甚シキハ或ハ禍ヲ全家ノ人ニ及ホサンコトヲ且ツアリユースノ猶ホアレキザンドリーニ在ルヤ其勢力纔カニ火ノ一爆ノ如キニ過キサルノミ然レ𪜈其早ク之ヲ撲滅セサリシカ爲メニ焚燎シテ禍ヲ天下ニ延ヘリ云々

大凡宗教ニ原本スル理學家ノ說ハ大抵皆此ノ如シ而シテ古來世俗ノ官吏ヲシテ宗教ニ係ル苛虐ノ責ニ任セシメント欲セシカ如キハ蓋シ謬レリト謂フ可シ

サーンストーマスノ政論ハ多クアリストットノ旨趣ヲ祖述セシヲ以テ其大本ハ稍〻自由權ヲ贊助スルニ在リ主權ニ屬スル所ノ職ノ最モ重要ナル者ハ法律ヲ著定スルノ一事是ナリ而シテ法律ヲ著定スルヿハ全國人若クハ全國人ニ代ル所ノ議員之ニ任ス是ノ如キ者ハサーンストーマスノ意ナリ

サーンストーマス以爲ラク政治ノ正ヲ得タル者ハ必ス全國人ヲシテ幾分政

權ニ關スル有ラシム若シ官ニ在ル者令ヲ施スヿ不正ナルトキハ臣民タル者固ヨリ力ヲ出シテ抵拒スルヿヲ得

サーンストーマス曰ク專制政治ノ道ニ得サル所以ノ者ハ他無シ其公共ノ利益ヲ主トセスシテ專ラ政ヲ秉ル者ノ利益ヲ主トスルカ故ナリ是ヲ以テ一旦衆民激怒シ相共ニ之ヲ擊碎スルニ至ルモ政ヲ秉ル者看テ犯人ト爲スヿヲ得スシテ反リテ政ヲ秉ル者ヲ看テ犯人ト爲ス可シ云々

然リト雖モサーンストーマスノ說ニ在リテハ衆庶ニ聽ルシテ其君主ノ命ニ從ハサルヿヲ得セシムルヿハ要スルニ之ヲ僧門ノ權ニ委セサル可ラス何ソヤ是ノ若キ君主ハ畢竟宗旨ノ戒ニ反スト爲スヲ以テ之ヲ懲罰スルヿハ固ヨリ僧門ノ任スル所ナレハナリ人或ハ曰クジュリヤン、ラポスター帝ノ如キハ苛虐ヲ極メシモ僧門ノ徒敢テ之カ位ヲ褫ハサリキ是レ其故何ソヤサーンストーマス答ヘテ曰ク是時ニ當リテヤ宗旨ノ威權未タ甚タ強盛ナラス是レ其柱ケテジュリヤン帝ヲ宥シテ其位ニ在ルヿヲ得セシメタル所以ナリ

基督宗ノ一教ヲシテ萬事ニ係リ勢力ヲ逞クスルヲ得セシメ以テ僧侶ノ權ヲ固ウセント欲スルヿ是レサーントーマスノ理學ノ最モ意ヲ留ムル所ナリ其言論タルヤ結構極メテ整齊ニシテ宗旨ニ係ル紀律ヲ擧ケテ之ヲ理學家ノ事業ノ中ニ入ルヽニ至リテ而シテ論理ノ際前後相容レサル所有ルヲ見ス是レ其苦心ノ存スル所ナリ若シ是一事ヲ以テ言フトキハ中古學士一人モ與比ス可キ者無シ

サーントーマス一タヒ其理學ノ旨趣ヲ倡ヘテヨリ「ドミニカーン」派ノ僧徒堅守シテ失ハス苟モ尊貴ノ威權ニ關スルヿ有ルトキハ各人ノ權理ニ害スルニ至ルモ進ミテ之ヲ論シテ已マス意ヲ創シテ一說ヲ主張シ以テ古來ノ舊規ヲ破壞セント欲スル者有ル毎ニ必ス起テ之ヲ抗拒セシヿ猶ホ後世「ジェジュイット」派ノ僧ノ爲ノ如シ

第二　中古ノ時又「フランシスカーン」ト號スル一派ノ僧會興レリ其旨趣全ク「ドミニカーン」派ト異ニシテ常ニ之ト抗爭シテ已マサリキ蓋シ當時諸派ノ僧會競ヒ起リ其紀律其論說ヨリ並ニ其傾嚮スル所ヨリ其尊テ以テ耆德ト爲ス所ノ者ニ至ルマテ一モ相似タルヿ無シ是ニ於テ各派ノ僧皆其屬スル所ノ會ヲ視ルヿ鄕國ノ如ク相與ニ壘ヲ對シテ爭論シ以テ眠食ニ易ヘリ「フランシスカーン」派モ亦其一ナリ

「フランシスカーン」派ノ僧中理學ニ係リ人心ノ現象ヲ講求シテ頗ル周到ナリシ者及ヒ庶物ノ道理ヲ試驗シテ頗ル確實ナリシ者往々之有リ之ヲ要スルニ「ドミニカーン」派ノ僧ニ比スルトキハ獨立不倚ノ氣象ヲ護持シ以テ各個ノ權ヲ守ル者頗ル衆シ

ジャン、ドフィダンザーハ「フランシスカーン」派ノ僧ニシテ世ニ所謂サーンボナワンチュールナリ一千二百二十一年ヲ以テ生レ一千二百七十四年ヲ以テ終レリ其旨趣專ラ靜觀深察ノ功ヲ以テ神ヲ凝ラシ氣ヲ澄シ妙理ヲ言論ノ外ニ求ムルヿ在リ著ハス所ノ一書名ケテ神境紀行ト曰フ以テ吾人ノ神ヲ愛スルノ情ノ等級ヲ敘セリ其信心ノ堅固ニシテ感激ノ熾盛ナルカ爲メニ世

人號シテ「ドクテール、セラフィク」ト曰フト云フ

是時ニ當リ又「サーンフランシアー」派ノ僧會有リ亦諸有形物ノ現象ヲ觀察シテ以テ後世諸學科ノ先引ヲ爲セシ者極メテ衆シ是ヨリ先キ亞剌比人技術ニ於テ頗ル發明スル所有リテ大抵皆傳ヘテ我カ歐洲諸國ニ至リ大ニ人心ヲ感動シ相競フテ之ニ倣ヘリ是ニ於テ「フランシスカーン」派ノ僧ロジェー、バコンナル者起ルロジェー、バコンハ一千二百十四年ヲ以テ生レ一千二百九十二年ヲ以テ終ハル英國オキスフォルドノ學校ノ師タリ著ハス所ノ「ガランウーヴル」ノ一書ハ當時技術ニ係ル著述ノ最モ宏博ナル者ナリ

ロジェー、バコン口ヲ極メテ推理ノ說ヲ爲シ高妙ノ言ヲ立ル者ノ世ニ益無キヲ論シテ以爲ラク庶物ノ道理ヲ研究シ之ヲ實驗ニ徵シ之ヲ算數ニ證シ以テ技術ノ荊棘ヲ闢クニ實ニ當世ノ急務タリト是ヲ以テロジェー、バコンノ業大ニ技術ニ補益有リ特ニ視學ニ於テ發明スル所有リ後三百年ニシテ之ト族ヲ同クスル者シャンスリエー、バコン起リ大ニ理學ニ功有リト雖モ其所見

ノ中ロジェー、バコンニ及ハサル者頗ル多シ

ロジェー、バコン其技術ニ長セシカ爲メニ世人號シテ「メルウェイユー」ト曰フ奇怪ノ義ナリ其後僧會ノ嫌疑ニ觸レ獄ニ繫カル、コト十二年ノ久キヲ經テ纔カニ赦ヲ得タリ

レイモンド、リュールモ亦「フランシスカーン」派ノ僧ナリ一千二百三十四年ヲ以テマジョリック嶋ノパルマーニ生レ一千三百十五年ヲ以テ沒セリ少時放淫ニシテ撿束スル所無ク後チ志ヲ改メテ發憤シ大ニ學ヲ勉ム是レ蓋シ中古理學士ノ最モ恢奇ニシテ進取ノ志ニ富ミシ者ノ一ナリ

レイモンド、リュール意ヲ銳シテ異宗ヲ奉フル者ヲ敎化シ之ヲ基督宗ノ中ニ入レント欲シ亞非利加ニ游フコト前後三タヒニシテ遂ニ害ニ遭ヘリ

レイモンド、リュール又力ヲ極メテ亞剌比ノ技術ヲ傳ヘテ之ヲ世ニ播スコトヲ務メ物理ノ講求ニ係リテ一種普ク循フ可キ方法ヲ造ルコトヲ求メリ因リテ是法ヲ名ケテ「ガランタール」ト曰フ至大ノ術ノ義ナリ其法蓋シ人心諸種ノ

思念及ヒ庶物ノ諸區並ニ諸種ニ就テ一々類別ヲ加ヘ記述シテ遺缺ナク一箇ノ輪環ノ一中央ノ周邊ヲ圍ム者ヲ以テ象ト爲シ以テ諸種ノ主題（譯者曰クシエメー）題目トハ一句ノ主ト爲ル者ヲ謂フ例ヘハ天ハ高シ地ハ卑シト曰フト屬格（譯者曰クアトリビュー）カ如キハ天ノ字地ノ字並ニ題目ナリ此二句ノ主ト爲ル者ナリ屬格トハ一句中ノ主題ニ屬スル語ノ謂ナリ例ヘハ天ハ高シ地ハ卑シト曰フカ如キハ高ノ字卑ノ字並ニ屬格ナリ此二句ノ主ト爲ル者ニ附屬スルノ義ナリヲ把リ主題前ニ在リ屬格後ニ在リ是ノ如クニシテ數句ヲ連ヲテ斯ニ以テ一編ノ議論敘事ヲ成ス是ナリ而シテ所謂一編ノ本旨ハ起承結ノ三句法ヲ以テ成ル是レ蓋シ思念ヲ發舒スルノ機械ト謂フヘシ

レイモンド、リュールノ徒弟中庶物ノ妙理ニ迷溺セシ者多シ此輩往々石ヲ鍊リ金ト爲スノ法ヲ求メ又諸金ヲ變化スルヿヲ求メ是ニ於テ直ヲニ有形庶物ニ就テ實驗スルヿヲ試ミ復タアリストットノ業ヲ講スルヿ無キニ至レリ」

「フランシスカーン」ノ僧中サーンストーマスノ說ヲ攻擊シテ最モ著稱セラレシ者ハ英人ドンスコットト爲ス庶物原理ノ學ニ遂ニシテ議論ノ術ニ巧ナリ一千二百七十四年ヲ以テ生レ一千三百八年ヲ以テ沒セリオキスフォルドニ

在リテ講師タリ後巴里ニ游テ亦講師ノ職ニ在リ書十二卷ヲ著ハシ其後三十四年ニシテ死ス書卷極メテ大ニシテ字數極メテ夥シ大著述ト謂フ可シ」

ドンスコットハ格物學及ヒ視學星學ヲ研究セリ然レモ其最モ長セシハ庶物原理ノ學ニ踰ユル莫シサーンストーマスノ理學ハ智慧ノ用ヲ講スルヿヲ主トセリドンスコットハ更ニ意欲ノ用ヲ講求ス是レ其相勝サリシヿ一著ナル所以ナリ

ドンスコットノ最モ意ヲ留メシハ人類各個ノ獨立不倚ナル所以ノ故ヲ求ムルニ在リ其見卓ナリト謂フ可シ其說以爲ラク凡ソ各人ヲシテ他人ニ別ツ所有ラシムル所以ハ決シテトーマス家ノ學士ノ云フ所ノ如ク獨リ其血肉ヲ被ムリテ相隔關スル有ルカ爲メナラスシテ特ニ其行爲ノ活潑自由ナルカ爲メナリ若シ人類ノ各々相別ツ所以ハ是レ人類ノ尊ヲ降シテ之ヲ他ノ冥頑ノ物ニ列スルナリ又以爲ヘラク各人ノ各人タル所以ハ其行爲ノ自由ナル處ニ存スト而シテ行爲ノ各人ノ

意欲ヨリ生ス故ニ行爲ノ自由ハ卽チ意欲ノ自由ナリ世或ハ理義ニ循フチ以テ人ノ本分ト爲ス者有リ理有ルニ似タリト雖モ實ハ非ナリ何ソヤ理義ナル者ハ萬古不易ニシテ一定ノ形態有リテ肆ニ移動ス可ラス然ルヲ人タル者必ス理義ノ牽引スル所ト爲ルヲ得サルニ出ツルナリ豈ニ然ラン哉吾人唯意欲ノ自由有リ故ニ理義ニ循フト否ラサルト常ニ吾人ノ自ラ斷スルニ在ルノミ是レ正ニ各人ノ各人タル所以ナリ

ドンスコットノ言此ノ如シ果シテ是言ノ眞ナル乎夫ノ神ハ何ノ狀ナル乎ドーマス家ノ說ニ從ヘハ神ハ常ニ其無上ノ智慧ノ見ル所ニ從フテ施爲スル者ナリ果シテ是ノ如クナルヲハ是レ神ハ其智慧ノ奴隸ナルノミ神ハ其避ク可ラサル事理ノ臣僕ナルノミ可ナラン乎凡ソ智慧ノ見ル所ハ必ス自ラ異ニセント欲スルモ得可ラス然ルヲ神ノ意欲常ニ其智慧ノ所見ニ從フヲハ是レ神モ亦屬從スル所有ルナリ苟モ屬從スル所有ルヲハ是レ神モ亦初メヨリ廣大無邊ナルニ非サルナリドンスコットノ所謂神ハ是ノ如キ者ニ非ザルナリ

ドンスコット以爲ラク神ノ意欲ノ施令スル所ハ卽チ彼ノ避ク可ラサルノ理ト爲ルナリ避ク可ラサルノ理能ク神ノ意欲ヲ動カスニ非サルナリ凡ソ理ト云フ者ハ神ノ意欲ノ作爲スル所ナリ神ノ意欲ノ未タ發セサルニ方リテハ所謂理ナル者有ルヿ無シ然ルヲ神ノ意欲チ以テ彼ノ至理ニ從フト爲スカ如キハ是レ主客ヲ轉倒スルナリ

又以爲ラク神ノ善ヲ欲スルヤ既ニ善ナル者有リテ神ノ智慧ノ之ヲ視テ然ル後之ヲ欲スルニ非ス神ノ智慧自ラ好ミテ視ル所有リ神ノ意欲自ラ斷シテ爲ス所有リテ所謂善ナル者斯ニ生ス更ニ之ヲ言ハンニ善能ク神チシテ己レヲ欲セシムルニ非ス神ノ欲スル所即チ善ナリ

又以爲ラク神ノ天地庶物ヲ造ルヤ亦其無上ノ自由ノ德ニ由リテ然ルナリ神ノ智慧豫メ知リ神ノ意欲豫メ自ラ斷シテ天地庶物斯ニ以テ造出セリ然

レハ則チ所謂至理ナル者ハ果シテ之無キ乎曰ク曷ソ其レ然ラン神ノ智慧ノ見ル所ト神ノ意欲ノ斷行スル所ト卽チ所謂至理ナリ是ノ如キノミ

凡ソ茲ニ擧クル所ニ由リテ之ヲ論スルトキハドンスコットノ理學タル意ヲ創シテ自ラ杼軸ヲ出タス所有リトーマス家ノ學士ノ倡道セシ所ニ比スルトキハ大ニ相勝サル所有リト謂フ可シ然リト雖モ缺失ノ處モ亦之有リドンスコットノ神ヲ論スルヤ神ノ意欲ヲ以テ一個縱肆恣睢ノ物ト爲シテ初メヨリ德義ニ涉ルヿ無シ夫レ眞ノ自由ハ必ス德義ニ合スル者ナリ德義無キノ自由ハ豈ニ眞ノ自由ナラン哉

スコット家ノ學士トトーマス家ノ學士ト相抗爭シテ決セス以テ中古ノ末年ヲ竟ヘリ之ヲ要スルニトーマス家ノ學士ハ唯前人ヲ祖述シテ自ラ發明スル所無シスコット家ノ學士ニ至リテハ頗ル能ク自ラ見ル所有リテ必スシモ古人ニ依傍セス又其各人ノ自由ヲ論スルヿ更ニ深奧ニシテ更ニ精微ナリ是レ其相勝サル所ナリ但惜ム未タ醇乎醇ナルニ至ラサルノミ

中古理學ノ第二期ハ是二人ノ者ヲ以テ殿ト爲ス

中古理學ノ第三期

第十四紀ノ頃ニ至リ理學士輩寖ク前人ヲ蹋襲セス宗教ニ隷屬セスシテ自ラ言ヲ立ツルニ至レリ然レ𪜈其弊ヤ縱恣誕慢ニシテ自ラ律スルヿヲ爲サス中古理學是ニ至リテ始メテ衰頽ニ赴ケリ

中古理學ノ衰頽ニ就キシ所以ノ者ハ推理ノ方法ニ循フ者神人感合ノ方法ニ循フ者並ニ其責ヲ辭スルヿヲ得ス

中古理學ノ第三期ニ在リテ推理ノ方法ニ於テ最モ超群ト稱セシハジャンドッカーム其人ナリ亦「フランシスカーン」派ノ僧ナリ

ジャンドッカームハ英國ノ人ニシテ法朗西王フィリップ、ル、ベルノ時巴里ニ游ヒ理學ヲ敎授セリ羅馬敎王ボニファース第八世法朗西王ト協ハスシテ相爭フニ及ビジャンドッカーム書ヲ著ハシテ大ニ法朗西王ヲ輔ケシト云フ日耳曼帝ルイー、ド、バウィエールノ僧門ト事有ルニ方リジャンドッカーム又書ヲ

上リテ曰ク陛下願ハクハ劒ニ倚リテ以テ貧道ヲ輔ケヨ貧道ハ請フ筆ヲ奮フテ以テ陛下ヲ輔クル有ルコトヲ得ント其後罪ヲ僧門ニ獲テ逃レテ日耳曼帝ノ許ニ至リ一千三百四十五年ヲ以テミューニックニ死セリ世人ジャンドッカーム(Jean d'Occam)ヲ號シテドクトル、アンソンシビリー(Doctor Invincibilis)ト稱セリ蓋シ可ラサル學士ノ義ナリ

ジャンドッカームノ庶物原理ノ學ニ於ケル復タ現存ノ說ト空名ノ說トノ議難ヲ興シテ大ニ名ヲ發セリ是ニ於テ歐洲諸國ノ學校到ル處此兩說壘ヲ對シテ相爭フコト殆ト異ノ戰場ト異ナラサルヲ致セリジャンドッカームハ空名ノ說ヲ執リテ以爲ラク凡ソ人、獸、草、木等一切物ノ區種ヲ統フル旨義ハ特ニ吾人ノ智慧ノ假設スル所ニシテ眞ニ斯虛靈ノ物有リテ存スルニ非スト卽チ其言ニ曰ク虛靈不可思議ノ物ハ獨リ吾人精神ト神ト有ルノミ復タ何ソ故ラニ斯物ヲ揑造シテ以テ自ラ苦ムコトヲ須ヒン哉

ジャンドッカーム沒スルノ後諸學校ノ議論日々ニ繊巧矯僞ニ赴キ空妙ノ理ヲ

談シテ一モ實迹ト讎ハサルニ至リテ中古ノ理學益〻解體セリ

爾來理學士輩益〻議論ヲ厭ヒ言詮ヲ忌ミ是ニ於テ相將サテ神人感合ノ方法ニ就テ以テ奇緣ヲ求ムル者甚タ衆シ卽チペトラルクノ如キ晩年書ヲ著ハシ專ラ正念工夫ノ理學ノ益有ルヲ論シテプロタン家ノ旨趣ヲ再興セリ是時ニ方リ一學舍ノラン河上ニ興ルヤ亦正念靜觀ヲ以テ旨趣ト爲セリ但其說極メテ恢奇ニシテ大ニ日耳曼人果敢邁往ノ氣象ヲ徵スルニ足ル其意以爲ラク眞理ニ諧當セント欲スル者ハ先ツ神ヲ凝ラシ心ヲ澄シ正念怠ラス一氣ニ進ミテ直チニ無上本有譯者曰ク卽チ神ノ義ノ中ニ入ル可シ是ノ如クニシテ然ル後下界ヲ俯瞰スルトキハ神ノ光彩四散迸出シテ斯ニ以テ天地庶物ノ消長起滅スル現象ノ吾カ脚跟下ニ燦然タルヲ見ル可シ又以爲ラク人生無上ノ至樂ハ血肉ノ束縛ヲ擺脫シテ直チニ神ト一體ヲ爲スヲ是ノミ斯說ヲ倡道セシ者ハ曰ク「エッカール曰クトーレル曰クリュイスブロック等ナリ」當時法朗西ノ神人感合ノ說ハ日耳曼ニ比スレハ更ニ謹嚴ニシテ人心ノ作

用ヲ研究スルヿ更ニ周到ナリ(ジェルソン)之カ領袖ナリ(ジェルソン)ハ一千三百六十三年ヲ以テレイムニ生レ(ピエール、ダイリー)ニ從フテ業ヲ受ケリ後ピエールニ繼テ大學校ノ書記タリ後竄謫セラレテリヨンニ到ル或ハ傳フ身ラ好ミテリヨンニ游ヘリト是ニ於テ校舍ナリヨンニ與シ童孺ヲ聚メテ敎授シ一千四百二十九年ヲ以テ終レリピエールハ空名ノ說ヲ執リ議論ヲ爲スヿ極メテ激烈ナリシト云フ

(ジェルソン)ノ神人感合ノ說タルヤ反觀內省シテ以テ心ノ作用ヲ察シ又之ヲ外物ニ驗シテ以テ其徵ヲ見ル故ニ其著ハス所ノ神人感合論ト題スル書ニ曰ク神人感合ノ學タル決シテ空妙ノ談ニ非ス吾人ノ心ノ動ニ從フテ一々ニ提撕シ一々ニ觀察シ以テ自ラ性ヲ見ル是ノ如キ者豈空妙ト爲スヲ得ンヤ

(ジェルソン)ノ神人感合ノ說タル學術ト交涉有ルヿ斯ノ如シ是ヲ以テ當時理學士言論ヲ厭フ者猶(ジェルソン)ノ說ヲ以テ智識ノ功ニ浸淫スト爲シテ甚タ之ヲ悅ハス是ニ於テ更ニ又一種ノ感合說起ル而シテ其最モ著稱セラレシ者ハ「イミタシヨン、ド、ジェジュークリス」ノ一書ニ如クハ莫シ相傳フ遁世僧トマス、ケンピーノ作ナリト然レ𪜈其詳ナルヿハ終ニ得テ考フ可ラス

「イミタシヨン」ノ書タル神德ヲ崇奉スルノ念ト及ヒ愛慕ノ情トニ專ラニシテ略ヾ學術ニ取ル無シ是ニ於テ平中古理學士相率井テ之ニ嚮往シテ以テ自ラ消融スルヲ致セリ「イミタシヨン」ノ書ニ曰ク神ヲ愛スルノ樂ヲ感スルヿハ斯樂ヲ敘述シテ言ヲ立ツルニ比スレハ相勝ルヿ遠シ又曰ク人皆識ルヿ有ルヿヲ願ハサル莫シ殊ニ知ラス神ヲ畏ルヽヿ無キヿハ如何ニ識ルヿ有ルモ何ソ益セン

然リト雖モ神ヲ畏ルヽヿハ猶ホ眞理ニ進ムノ第一步タルニ過キサルノミ神ヲ愛スルヿ是レ最後ノ工夫ナリ愛ノ一事此レ「イミタシヨン」ノ一書ノ極致ナリ

「イミタシヨン」ノ書タル其靜觀深念ノ方法ヨリシテ言フヿハ洵ニ周密ナルニ

論無シト雖モ然レ𪜈吾人世ニ處スルノ實際ト及ヒ特ニ國ヲ經シ家ヲ治ムルノ間ニ至リテハ絕エテ補益有ルヿ無シ是レ蓋シ遁世僧ノ道學ナリ若シ夫レ世俗ノ人ニ至リテハ其己レヲ處シ物ヲ待ツ自ラ法度有リ豈唯臯柔自ラ守ルヲ以テ足レリト爲ス可ケンヤ哉

「イミタシヨン」ノ書ニ又曰ク汝東奔西馳シテ以テ自ラ益スルヿヲ求ムルモ一主長ニ恭事シテ其令スル所ニ從フニ非サレハ終ニ汝カ安身ノ地ヲ得可ラス

又曰ク夫レ人自ラ守ラスシテ身ヲ以テ從フ所有ルヿ是レ尤モ其盛大ナルヲ見ルト是言ヤ人々固有ノ權ヲ一掃シ去ルト謂フ可ク人々相對立シテ交ルノ義ヲ一掃シ去ルト謂フ可ク世ニ處シ身ヲ保ツノ道ヲ一掃シ去ルト謂フ可シ

凡ソ此等ノ言ハ徒ニ人ヲシテ窮愁ニ安ンシ怠惰ニ流レテ唯神ニ近接スルヿ是レ求メテ其他ヲ知ラサラシムルニ足ルノミ苟シ夫レ邦家ノ患難ノ如

キハ恬トシテ意ヲ經ルヿ無シ此レ尤モ中古時代ノ風俗ヲ徵スルニ足ル「イミタシヨン」ノ書ノ出ルヤ人爭フテ之ヲ誦讀シ歐洲諸國到ル處之ヲ飜譯セサル莫シ以爲ラク是書一部ヲ誦シテ之カ教ニ從フトキハ直チニ救主ト手ヲ携リテ天堂ニ翱翔スルヿヲ得可シ他ノ經論ハ一切高閣ニ束テ可ナリトシ是ニ於テ羅馬教王是書ノ教法ニ害有ルヲ慮リテ之ヲ誦スルヿヲ得ルヿ勿ラシム然レ𪜈人ノ論是書ヲ贊稱スルヿ益〻甚シク教王モ亦已ムヿヲ得スシテ遂ニ禁ヲ除ケリ

以上論スル所ニ由レハ中古理學ノ物タル其初メ基ヲ神人感合ノ說ニ起シ既ニシテ推理ノ方法盛ニ行ハレ其衰頽スルニ及ヒテヤ復タ神人感合ノ說ニ歸入セシヿ猶ホ循環ノ一處ヨリ出テ、復タ之ニ歸ルカ如シ之ヲ要スルノ力ヲ極メテ之ヲ求メシ所ナリ

アリストツト、サーントーギュスタント是レ中古學士ノ祖述憲章スル所ニシテ

意ヲ創シテ自ラ機軸ヲ出シヽ者ハ寥々聞ク可シ無シ顧フニサーントーギュスタンモ亦自ラ發明セシ所有ルコ非スシテ其旨趣大抵プラトンノ書中ヨリ之ヲ得タリ然レハ則チ中古ノ理學ハプラトン、アリストットノ二派ノ交關ト曰フコ過キサルノミ

然リト雖モ中古ノ理學モ亦進闢ノ處無シト爲サス何ノ謂ソヤ曰ク人心ノ意欲ト其愛情トニ於テ稍ヽ見ル所有リシヿ是ノミ但惜ム神ノ寵異ノ說中古理學ノ根基タリシヲ以テ所謂神ノ意欲ノ如キモ亦視テ縱恣肆睢ノ一行爲ト爲スコ過キス卽チ吾人人類ニ在リテモ所謂意欲ノ自由ヲ以テ一種放肆ノ行爲ト爲シテ絕エテ之ヲ德義ニ繫ルヿヲ知ラス然ラサレハ則チ神ノ豫知ノ威德若ク可ラサルノ理ヲ談シ以テ人心ノ自由ヲ抹摋シ去ル是ノ如キノミ

曾ニ此ノミナラス卽チ愛ノ如キモ中古學士ノ說ニ從ヘハ畢竟神ヲ愛スルノ一情ニシテ正念澄心ノ工夫タルコ外ナラス活潑敢往シテ他人ヲ惠恤スルカ如キハ藐焉聞ンヿ無キノミ之ヲ稱シテ通世僧ノ信心ト曰ヘハ可ナリ之ヲ稱シテ士子仁人身ヲ處シ人ヲ待ツノ道ト曰フヿハ則チ不可ナリ

夫レ人ノ人タル所以ノ者ハ其身心ノ中自ラ貴フ可キ者有リテ初メヨリ外コ待ツ無キカ故ナリ所謂身心ノ中自ラ貴フ可キ者トハ何ソヤ意欲ノ自由是レノミ唯其レ意欲ノ自由有リ是ヲ以テ權理ナル者生シテ我レ苟モ他人ノ權理ニ害スルヿ無キヿハ凡ソ我ノ爲サント欲スル所ハ皆之ヲ爲シテ忌顧スル所無シ是理ヤ中古學士ノ未タ之ヲ慮ルニ及ハサリシ所ナリ

○第二章　中興ノ時ノ理學

○緒論

中興ノ時理學ノ運ヲ一變セシ所以ノ者蓋シ四有リ古昔ノ書典ニ通セシコト一ナリ宗教ノ改革ニナリ學士ノ疑團ヲ懷キシコト三ナリ技術ノ發明四ナリ

○第一　古昔ノ典籍ヲ研究セシヨリ生シタル諸學派

土耳古ノ寇ノコンスタンチノープルヲ陷イレシニ方リ希臘國ノ薦紳學士多ク載籍ヲ抱テ難ヲ意答利ニ避ケリ是ニ於テ乎意答利國學術大ニ興リ一變シテ一大希臘國ト爲ルニ至リ人々相競フテ直チニ原書ニ就テ希臘ノ古書ヲ攻ムルコトヲ得タリ是ヨリ先キ學士輩或ハ希臘ノ古書ヲ誦習スルモ一二斷編ニ過キス是ニ至リテ人々始メテ目ヲ全集ニ渉スルヲ得此レ其得ル所大ニ從前ニ勝サリシ所以ナリ

當時理學士專ラ古昔ノ典籍ヲ採摭シテ以テ言ヲ立テ、一モ自ラ意ヲ發セシコトヲ無ク或ハ甲ノ說ヲ祖述スル者有リ或ハ乙ノ說ヲ祖述スル者有リ相與ニ爭論シテ決セス其後ヤ古人ノ說皆廢シテ地ニ墜チ學士輩復タ自ラ所見ヲ發スルニ至レリ

プラトン家ノ說ヒタゴール家ノ說並ニ復タ大ニ起レリ日耳曼ニ在リテハ僧官ニコラース、ド、キュースス之ヲ倡ヘリニコラースス天體ノ說ニ通曉シテ暗ニ後世コペルニックノ先引ヲ爲セシハ偉ナリト謂フ可シ意答利ニ在リテハマルシル、フィサン、ピック、ド、ラ、ミランドル及ヒ醫師パラセルスス算學士カルダンノ徒大ニ希臘二家ノ說ヲ倡ヘリ法朗西ニ在リテハラミュース專ラプラトンヲ祖述シテアリストッテヲ攻擊シテ自ラ幟ヲ立テ又パヅーノ學校ニ在リテハポンポナース專ラアリストッテヲ祖述シテ死後精神ノ獨立ヲ得ルノ說ヲ駁シセザルピコー、ワニニーノ徒モ亦之ヲ駁セリワニニーハツールーズノ法衙ノ裁斷ニ由リ極メテ慘酷ノ刑ニ處セラレタリ

○第二　宗教ノ改革ノ効果

基督宗新教ノ起ルヤ隱然議論ノ自由ニ於テ頗ル益有リリュッテル、カルワン、テオドール、ド、ベーズノ徒皆新教家ニシテ其舊教ノ人ヲ待ツコト少モ寛假スルコト無シ然リ而シテ其徒ノ業反リテ議論ノ自由ニ益有リシハ亦奇ト謂フ可シ

ユーベルランゲーハ書ヲ著ハシテ邦國ノ本ノ契約ニ在ルコトヲ論ジ以テオツプ、ルーツソーノ先導ヲ爲セリ

日耳曼ニ在リテハ新教ノ說大ニ神人感合ノ說ニ補フコト有リ而シテツヤコブ、ボエーメノ奇怪ノ所見後世日耳曼ノ理學ノ先引ヲ爲セリ

○第三　懷疑ノ說ヲ唱フルノ徒○議論ノ自由ヲ唱フルノ徒○兩家和合說ヲ唱フルノ徒

法朗西ニ在リテハラブレー、モンテーンヌノ徒皆懷疑ノ說ヲ唱ヘ萬事ニ於テ敢テ斷ヲ下スコト無シラブレーノ議論ハ極メテ正理ニ合セル者ト雖稽笑ス可キ者ト相半セリ意答利ニ在リテハ懷疑ノ說ノ餘弊學士輩復タ

德義ノ何物タルヲ知ラス或ハ武斷ヲ以テ政ヲ爲サントス欲スル者有ルニ至ル即チマキヤウェルモ亦此時ニ於テ起レリ法朗西國ノ學士議論ノ自由ヲ倡フル者大ニ意答利ノ政術家ニ滿タサル有リ書ヲ著ハシ政ヲ論ジ正理ヲ以テ政ノ本ト爲シテ意答利ノ學士ヲ攻擊セリ

ミシエール、ド、ローピタル書ヲ著ハシ名ケテ戰鬪平和ノ旨趣ト曰フ其旨趣人ヲシテ宗教ノ自由ノ一切他ノ自由ノ根原タルコトヲ知ラシムルニ在リ

法學士ボダン、ダンジェールハ書若干卷ヲ著ハシ政術ヲ論ジテ其意見頗ル深奥ナル者有リ本論ニ詳ナリ

○第四　技術ノ方法及ヒ發明

中古ノ時技術ヲ研究スルノ風絶エテ有ルコト無クシテ方法ノ如キモ隨フテ廢焉タリキ中興ノ時ニ至リ諸家技術ヲ研究スル者前人ニ依附セスシテ意ヲ創シ思ヲ運シ以テ發明スル所有リ是ニ於テ獨リ技術ノ一變セシノミナラス其研究ノ方法モ亦面目ヲ改ムルコトヲ得タリ其人ハ曰クレオ

ナール、ド、ワンシー、タルタグリヤー、ウイエート、コペルニック、ガリレー、ケプレル等ナリ

凡ソ此等ノ學士技術ニ於テ新ニ發明スル所有リシヨリ庶物ニ係ル理學及ヒ尋常理學並ニ大ニ振起シテ復タ舊時ノ比ニ非ス以テ近代ノ文運ヲ催發セリ

○本論

第一　我カ歐洲諸國ニ在リテ學藝中興ノ運ヲ催起セシ所以ノ者其因蓋シ四有リ曰ク古昔ノ典籍ノ傳播ナリ曰ク懷疑ノ說ノ流行ナリ曰ク宗教ノ改革ナリ曰ク技術ノ發明ナリ

土耳古ノ寇ノコンスタンチノープルヲ攻陷セシニ方リ希臘ノ縉紳學士古昔ノ典籍ヲ抱テ地ヲ意答利ニ避ケシ者甚タ衆シ是ニ於テ意答利國ノ文運暴ニ勃興シ一變シテ一大希臘國ヲ成スニ至レリ此レヨリ前學士輩古昔ノ典籍ヲ誦習スルモ二三斷編ノ翻譯ヲ經タル者ニ過ギザリキ是ニ至リ人々

直チニ原本ニ就テ研究シ且ツ目ヲ全書ニ渉スルヲ得テ始メテ往古希臘ノ文藝ノ煥然タルヲ知リ茫然トシテ醇醪ニ醉ヘルカ如ク次テ相競フテ諸大家ノ業ヲ講求シテ或ハプラトンヲ贊スル者有リ或ハアリストッテヲ譽ムル者有リピタゴールヤエピキュールヤゼノンヤ各々其好ム所ニ從フテ之ヲ學ベリ曩キニ中古學士モ亦喜テ古昔ノ學士ヲ祖述シテ以テ言ヲ立テリ然レドモ其古人ノ業ヲ鑽研スルヿ未タ甚タ精ナラズ中興ノ時ニ至リ學士輩更ニ考覈ノ功ヲ加ヘ或ハ甲ノ說ヲ祖述シテ乙ノ說ヲ攻擊シ或ハ丙ノ說ヲ祖述シテ丁ノ說ヲ攻擊シ一起キ一仆レ紛紜顚倒シテ其末ヤ理學ノ業ニ於テ復タ古人ヲ沿襲セスシテ人々自ラ意見ヲ發スルニ至レリ

獨リ此レノミナラス基督宗新敎ノ起ルヤ其徒第十五紀ノ學士ノ彼ノ經典及ヒ猶太、希臘、羅甸ノ諸書ニ係ル著述ヲ誦習シテ大ニ得ル所有リ是ニ於テ「ウユルカツト」ノ書ヲ攻擊スルニ其原本ヲ以テシ羅馬ノ經典ヲ攻擊スルニ其ノ經典ヲ以テシ歷代敎王ノ宗旨ヲ攻擊スルニ基督宗初年ノ群耆德ノ宗

旨ヲ以テシテ顧憚スル所無ク其後ヤ人々寖々衷情ノ信奉ヲ以テ宗旨ノ本領ト爲シテ復タ諸種秘諦ノ言句ニ拘泥セサルニ至ル

夫レ古昔ノ典籍ヲ誦習シ古人ノ諸說ヲ精覈シテ自ラ意見ヲ發スルヿヲ習ヒ宗教ノ改革ヲ成就シテ以テ歷代ノ鄙見ヲ破壞セシカ如キ皆中興ノ時理學ノ改革ヲ催起セシ所以ナリ

又學士輩獨リ猶太、希臘等ノ典籍ニ就テ誦習ノ功ヲ加ヘシノミナラス其中往々直チニ造化ノ書籍ニ就テ鑽研スル者モ亦甚タ多シ造化ノ書籍トハ何ソヤ天地萬物是ナリ是ニ於テ技術ニ係ル諸種ノ發明日ヲ逐テ新ニシテ學士輩技科ニ垂涎シテ之ヲ講求スル者極メテ衆ク以爲ラク是レ以テ當世ノ顯榮ト後世ノ功益トヲ爲スニ足ルト

是時ニ當リキリストーフ、コロンブ新世界ヲ發見シテ人々始メテ古來稱シテ大塊ト爲ス所ノ外更ニ人類ノ別境界有ルヲ知レリ尋テ活字印刷ノ業起リ日ニ萬紙ヲ公行シ遠陬僻邑ノ人ト雖モ皆古來賢人豪傑ノ苦思シテ成就

セシ所ノ業ヲ誦習シテ自ラ其智見ヲ進暢スルヿヲ得其他格物及ヒ推歩ノ學ニ係ル種々ノ發見有リテ學士輩始メテ古來ノ陋見ヲ破リアリストットノ妄想セシ所ノ玻璃ノ天街ノ一說ノ實迹ニ合セサルヲ覺リ世界ノ中央ノ初メヨリ一處ニ在ラスシテ到處中央ナラサル無キヲ知レリ之ヲ要スルニ技科ノ進闡セシヨリ人々ノ眼界隨フテ益〻濶大ナルヲ致シ思念ノ力復タ限畫セラルヽ無キヲ得ルニ至レリ

凡ソ此等ノ諸原因ニ賴リ理學中興ノ業起リテ諸種ノ學派相競フテ發シ諸般ノ意見相爭フテ出テ渾錯紛擾シテ斯ニ以テ近代ノ新世界ヲ釀出スルヲ致セリ

ココラース、ド、キユーズハ日耳曼ノ高僧ニシテ一千四百十年ヲ以テ生レ一千四百六十四年ヲ以テ沒セリ其星躔ノ學ニ於ケル遙カニコペルニックノ先引ヲ爲シ其理學ニ於ケルプラトンノ說トピタゴールノ數理ノ說トヲ混融シテ以テ一家ノ言ヲ立テリ以爲ラク神ノ物タル其全體終ニ得テ知ル可

ラズ但算數ノ象徴ニ由リテ之ヲ窺測ス可キノミト是ニ於テピタゴールノ所謂「ヂユー、ユニテー」神ノ一數ノ義ノ説ヲ以テ爭フ可ラサル至理ト爲セリ

ニコラースノ天地庶物ニ於ケル其所見アリストットニ同シ以爲ラク庶物皆知ラス識ラス自ラ化成シテ以テ不完不粹ノ地ヲ出テヽ更ニ完粹ノ域ニ入ルヿヲ求ムト其言ニ曰ク凡ソ物皆其中ニ於テ隱然凡ソ其任ニ勝フ可キ所ノ豐備ノ地ニ透徹スルノ願ヲ懷カサル莫シ是ニ於テ乎各〻其自ラ適スル所ノ器具有リテ之ヲ使用シ以テ其目的ヲ達スルヿヲ求ム是ノ如キ者ハ正ニ造化主宰ノ心ニシテ天地庶物皆其愛慕スル所ノ造化主宰ノ懷抱中ニ歸入スルヿヲ求ムト謂フ可シニコラース又以爲ラク凡ソ議論明瞭ニシテ一點ノ疑ヲ容レサルトキハ其眞理ニ適スルヿ知ル可シ所謂明瞭ノ條規レーグル、ド、レウィダンス是ナリ其言ニ曰ク凡ソ學士輩事物ノ理ヲ求メ得ルトキハ其心晰然トシテ復タ半點ノ疑ヲ着ケス是レ畢竟其愛スル所ノ神ノ懷抱中ニ入リテ身心ヲ安ンスルニ外ナラズ是ニ知ル人苟モ心ノ自由ヲ

護持シ陋見ノ束縛スル所ト爲ラスシテ誠心以テ發見スル所有ルヿヲ思フテ一旦豁然トシテ中ニ疑ハサルニ至ルトキハ是レ其事理ニ諧當センヿ必セリ何トナレハ凡ソ事苟モ明晰ニシテ疑ヲ置ク可ラサルトキハ我カ良智復タ故サラニ障碍ヲ揑造シテ以テ之ヲ阻ムヿヲ須ヒサレバナリ

又曰ク吾人苟モ發明スル所有ラント欲シテ一事ヲ推測シテ未タ心ニ安ンセサルトキハ試ミニ既ニ眞理ニ諧當スル所ノ事ト比較スルニ如クハ莫シ是ノ如クスルトキハ我カ新タニ得ル所ノ事ノ明瞭ノ度級果シテ幾何ナルヿヲ知ルヿヲ得テ嗣後ノ講求ニ於テ大ニ助クル所有リ云々

意答利ニ在リテハメヂシーノ一族皆プラトンノ旨趣ヲ崇奉シテ以爲ラク此レ以テ基督宗ノ旨ニ羽翼タルニ足ルトマルシール、フイサン、プラトンノ著書ヲ飜譯シ並ニ之カ箋注ヲ附シテ大ニ其説ノ理ニ合スルコトヲ稱贊セリ

コスム、ド、メヂシーハ一千四百六十年ヲ以テ一學校ヲ興シテ專ラプラトン

ノ理學ヲ教授シピック、ド、ラ、ミランドルハプラトンノ説トモイーズ及ヒカッパールノ説トヲ混融シテ以テ一家ノ説ヲ成セリピック、ド、ラ、ミランドルノ所爲蓋シ我カ法朗西ノパスカルニ似ル有リシト謂フ可シ

ピック、ド、ラ、ミランドル年十九ニシテ其學業既ニ老成人ノ如ク羅馬ニ在リテ有名ノ學士ヲ延請シ與ニ議論シテ其得ル所ヲ試ミントス欲シ公然言ヲ揚ケテ曰ク余今既ニ理學ニ係ル問題九百數ニ於テ答辨ヲ試ルノ准備ヲ成就セリト其學ノ宏博ナルヿ想フ可シ

醫師パラセルスス及ヒ算術家カルダンハプロクン家ノ神人感合ノ説ニ於テ更ニ一種巫祝ノ説ヲ合スルヿヲ求ム而シテ其旨意極メテ怪僻ニシテ以爲ラク世界庶物ノ物タル諸種神力ノ團聚ニシテ其間尊有リ卑有リ貴有リ賤有リ故ニ苟モ其力ノ尊貴ナル者ヲ得テ之ヲ有スルヿハ以テ自在ニ其卑賤ナル者ヲ役使シヲ我カ用ニ供セシム可シト又カルダンノ算數ニ係ル發見ノ極メテ異理ニ合スル者及カッパールノ妖妄ノ説ノ如キモ亦是時ニ在リ

ピエール、ラ、ラメーハ一名ラミユースト曰フ巴里ノ大學校ニ在リテ首ニアリストットノ説ヲ攻撃セリラミユース一千五百十五年ヲ以テピカルヂーニ生ル家極メテ貧ニシテ資斧ヲ齎ラスヿ能ハス徒歩シテ巴里ニ到リナワールノ蠹舍ニ入リ自ラ一諸生ノ僕ト爲リ晝間其驅使ニ供シ夜ハ則チ大陰ノ光ニ就テ誦習シテ怠ラサリキ蓋シラミユースヿ是時年未タ成童ナラサリシト云フ

ラミユース業既ニ進ミアリストットノ著書ヲ研究スルヿ三年餘ニシテ自ラ嘆シテ以爲ラク一モ得ル所無シト是ニ於テアリストットヲ舍キ更ニプラトンノ書ヲ鑽研シテ其論理ノ活潑自在ニシテ大ニ思念ヲ發舒スルニ便ナルヿヲ知リ因リテ一論ヲ發シ口ヲ極メテアリストットノ説ノ繆妄ニシテ取ルニ足ラサルヿヲ辨駁セリ國王怒ヲ發シ命シテ其書ヲ奪フテ之ヲ焚毀セシム聞ク者皆此令ヲ讃稱セサル莫カリシト云フラミユース尋テコレージ、ド、フランスノ學校ノ名ノ教師ト爲リ或時ハ大ニ人ノ讃稱スル所ト爲リ或時ハ攻撃ス

ル所ト爲ルシヤルパンチエーハアリストットニ心醉シテラミユースヲ嫉ム
ヿ甚シ「サーンバルテレミー」ノ祭日ノ夜ニ於テ諸生ニ命シテラミユースヲ
刺シテ之ヲ殺サシム曰ク此レ陰ニ新敎ヲ奉シ且プラトンノ妖妄ノ說ヲ倡
フト

是時ニ當リ學士輩多クハアリストットニ左袒シテプラトンノ說ヲ攻擊シテ
餘力ヲ遺サス而シテ亦アリストットノ說ヲ以テアリストットヲ攻擊スル者有
リ然ル所以ノ者ハ何ソヤ始メ中古ノ學士往々アリストットノ旨趣ヲ主張セ
シモ實ハ深ク其意ノ在ル所ヲ窮ムル能ハスシテ妄リニ自ラ推測シテ傅
會ノ言ヲ爲シ因リテ以テ之ヲ基督宗ノ旨趣ニ合セシメリ中興ノ時ニ至リ
學士輩始メテ深ク アリストット ノ業ヲ講スルヿヲ得是ニ於テ曩キニ傅會セ
シ所ノアリストットノ言ヲ攻擊スルニ後ノ發明セシ所ノアリストットノ眞意
ヲ以テスルニ至レリ

中興ノ時新ニアリストットノ說ヲ解釋スル者ノ中亦自ラ兩派ノ別ヲ生セリ

一ハアウェロエースノ言ニ從ヒアリストットヲ以テ神物同體ノ說ヲ倡ヘシト
爲シ一ハアレキザンドル、ダンプロゲースノ言ニ從ヒアリストットヲ以テ神
物同體ノ旨趣ニ非スシテ別ニ自ラ一神有ルノ說ヲ倡ヘシト爲セリ但此二
派並ニ皆アリストットヲ以テ人心ノ死後獨立スルノ說ヲ非トシ並ニ神ノ靈
驗ノ說ヲ非トセシト爲シテ以爲ラク是レ尤モ基督宗ノ旨ニ合スト
意答利（パヅー）ノ學校ハポンポナースヲ以テ首長ト爲シテ亦以爲ラク曩キ
ニ僧門アリストットヲ尊ヒ宗旨ニ適合スト爲セシハ非ナリアリストットノ眞
ノ旨趣ハ大ニ基督宗ノ旨趣ト反スル者有リトポンポナース書ヲ著ハシテ
人心不滅ノ一項ヲ論シテ曰クアリストットハ初メヨリ人心ヲ以テ死後獨存
スト爲セシニ非スシテアリストットノ說誠ニ正理ニ合シテ特ニ道德ノ旨
義ニ於テ極メテ益有リ何ソヤ吾人死後獨存スルヿヲ得サルトキハ是レ全ク
朽滅スルト以テ異ナルヿ無シ然リ而シテ且ツ斯世ニ在リテ務メテ善ヲ爲
シ惡ヲ避クルトキハ是レ求ムル所無クシテ眞ニ德ヲ好ムト謂フ可クシテ道

德ノ貴フ可キハ正ニ是ニ在リ庸俗ノ徒死後地獄ニ墮落スルヿヲ畏レテ敢テ惡ヲ爲サヽルカ如キハ是レ其智蒙昧ニシテ眞ノ道德ノ旨義ニ達セサルカ爲メナリ士君子タル者豈ニ宜ク此ノ如クナル可ケン哉

ポンポナース又曰ク眞ノ德行ナル者ハ其中自ラ褒賞ノ存スル有リ一切外ヨリ來ル褒賞ノ類ハ初メヨリ求ムル所ニ非ス云々

ゼザルビニーハ博物學ニ於テ極メテ邃ナリ其アリストットヲ解釋スルヿモ亦アウェロエースニ同クシテ以爲ラク神ハ萬物ノ本コーズニ非スシテ卽チ其質シュブスタンスナリト蓋シ神ノ天地庶物ヲ造作セシニ非スシテ天地庶物ハ卽チ神ノ體ナリノ義ナリ卽チ神物同體ノ說ナリ

ナーブルノ人ワニコーモ亦ゼザルビニートト說ヲ同クシテ以爲ラク天地庶物皆自ラ運動變化ノ力ヲ有シテ終古殄滅スルヿ無シ別ニ自ラ神ナル者有リテ然ルニ非スト又以爲ラク神ト庶物ト同一ナリ庶物ノ精神卽チ神ナリト一千六百十九年人ワニコーヲ訴ヘテ無神說ヲ倡フルト爲ス者有リ送リ

テ法衙ニ至ルワニコー己レヲ罪狀スル者ニ答ヘテ曰ク余ガ手ニ拈スル所ノ一草葉モ以テ神ノ現ニ世ニ存スルヿヲ徵スルニ足ルト言得テ簡切ナリト謂フ可シ然レ𪜈法吏ハ以テ然リト爲サスワールーズノ法衙ハワニコーヲ以テ神ヲ褻瀆スルノ罪並ニ無神ノ說ヲ倡フノ罪ト邪說世ヲ惑ハスノ罪有リト爲シテ遂ニ死ニ抵セリグラモンドノ史ニ據レハ刑吏ワニコーニ命シテ舌ヲ出サシムワニコー從ハス吏鐵鉗ヲ以テワニコーノ口ニ就テ强ヒテ抉出シテ其舌ヲ翦ル叫號ノ聲實ニ觀ル者ヲシテ震慄セシメタリ然ル後體ヲ燒燼シ灰ヲ風ニ揚ケテ飛散セシメシト云フ

第二　理學域中ノ事ニ係リ古人ノ成說日々ニ其力ヲ失ヒシヿ前ニ述ヘシ所ノ如シ而シテ宗敎ノ旨趣ニ係リテモ亦改革ノ事起リ所謂新敎ナル者發出シテ亦稍〻言論ノ自由及ヒ異宗ヲ待ツニ寬恕ヲ以テスルノ旨義ニ傾嚮スルヲ致セリ然リト雖モ新敎ノ徒モ亦其初年ニ在リテハ他宗ノ徒ヲ敵視シテ之ヲ寬假セサリシヿ舊敎ノ徒ト少モ異ナルヿ無カリキ故ニ其言論ノ自

由ニ功有リシハ其徒ノ自ラ知リテ爲セシ所ニ非スシテ事勢自然ニ是ニ至リシニ過キサルノミ

新敎ノ祖リユッテルノ如キハ人心ノ眞智及ヒ其自由ノ說ヲ攻擊シテ理ニ合セスト爲シテ以爲ラク吾人人類實ニ心ノ自由有ルニ非ス故ニ其能ク善ヲ爲シ惡ヲ避クルハ畢竟神ノ寵靈ノ然ラシムル所ナリトメランクトンハ力ヲ極メテ新敎ノ說ト當時ノ學術技藝及ヒ古昔ノ諸說トヲシテ並行シテ悖ラサラシムルコトヲ求メリ

メランクトン是ノ如クニシテ折衷ノ說ヲ倡ヘ新敎ノ徒中ニ在リテ最モ仁溫ト稱スト雖モ其書ヲ著ハスニ及ヒ猶ホ異宗ノ徒ヲ責罰スルヲ以テ理ニ合スト爲シテ略ホ顧ミル所無シカルワン正ニセルウエーノ異宗ナルヲ以テ之ヲ罰スル而シテオドールベーズハ書ヲ著ハシテカルワンノ所置ヲ稱シテ之ヲ善シト爲セリ

是故ニ宗敎ノ旨趣ニ係リ各〻自ラ其見ル所ヲ以テ自由ニ之ヲ論道スルコハ

新敎ノ主トスル所ニ非サリキ但此敎ノ發起セシハ本ト舊敎ノ旨趣ニ就テ自由ニ之ヲ考察議論セシニ賴リテ然ルコヲ得タルヲ以テ世人始メテ宗敎ニ係ル自由ノ何物タルコヲ知レリ若シ夫レ新敎ノ徒ハ其初メ自ラ宗敎ノ自由ニ賴リテ發起スルヲ得タルモ其後其敎ノ勝利ヲ占ムルニ及ヒテハ復タ他宗ヲ寬待スルコ無カリキ之ヲ要スルニ言論ノ自由ハ新敎ノ徒ニ在リテ終始其目的ト爲スル所ニ非ス

然リト雖モ新敎ノ中自ラ政治ト宗敎トニ係ル自由ノ種子ノ潛伏スル有リ是ヲ以テ其始メヤ專制ノ政ヲ輔贊セシモ其後ニ及ヒ自ラ援助スルカ爲メニシテ民主自由ノ政治ヲ輔贊スルニ至レリ即チユーベル、ランゲーノ如キハ書ヲ著ハシテ曰ク政府トハ神ト國王ト國民トノ契約ナリ是故ニ若シ國王其約ニ違フコヲ得ルトユーベル、ランゲー幾何ノ理ヲ推演シテ此契約ノ大義ヨリ生スル所ノ效果ヲ論敘セリ即チ後世オップ及ヒルーソーノ政論ノ如キハユーベル、ランゲーノ此旨趣ヲ擴充セシ

ニ外ナラズ

民ノ權ヲ以テ國王ノ上ニ置キ各人眞心ノ力ヲ以テ宗旨ノ權ノ上ニ置クニ是二者ハ第十六紀ノ時ニ在リテ極メテ奇闢ノ旨義ニシテ新敎ノ興リシハ卽チ此旨義ノ致セシ所ナリ

新敎ノ起ルヤ理學及ヒ神學ニ係ル改革隨フテ便チ世ニ行ハレタルニ非ス然レ𪜈當時アリストットノ說ヲ攻擊スルノ習ハ新敎ノ徒輿カリテ力有リ又其徒中理學士ノ意ヲ創シテ自ラ發見スル所有リシ者頗ル之レ有リ特ニ神人感合ノ說ヲ爲ス者尤モ衆シ而シテシヤコーブ、ボエームハ其最モ著聞セシ者ナリシヤコーブ、ボエームハ家貧ニシテ幼時ヨリ沓ヲ製スルノ業ニ習ヒ文辭ノ一道ニ於テハ少モ通曉スル所無カリキ然レ𪜈略ー經典ニ通シ又サッキスノ敎僧神人感合ノ說ヲ爲ス者ウェイゲルノ著書ヲ誦習シ因リテ自ラ念ヘラク凡ソ吾人目ニ視ル所ノ物其中必ス一大深奧ノ理ノ潛伏スル有ラント是ニ於テ所謂一大深奧ノ理ニ通徹スルヲ以テ志ト爲シ居常觀察シテ措

カス之ヲ久クシテ連リニ三箇ノ奇緣ニ遇着スルヲヲ得タリ其言ニ曰ク神我ニ告クルニ庶物詭秘ノ至理ノ中央ヲ以テセリ蓋シ庶物ノ本質ハ常ニ兩理對立ノ成ル所ナリ卽チ溫柔ナリ猛暴ナリ愉快ナリ痛苦ナリ善ナリ惡ナリ凡ソ懷生ノ物皆此兩理ヲ包有セサル莫シ若シ愉快ノ狀無ク痛苦ノ狀無ク暖ナラズ亦溫ナラズ善ナラズ惡ナラズ芒々無情ナルトキハ是レ卽チ死滅ノミ

ボエーム又以爲ラク神ハ父ナリ力ナリ思念ハ神ノ子ナリ若シ神ノ力有ルノミニシテ子ノ思念無キトキハ是レ目的無キノ一意欲ノミ周邊無キノ中央ノミ光彩無キノ大陽ノミ是ニ知ル神子ハ神父ノ體ニシテ所謂神父ハ世界庶物ト同體ニシテ分離ス可ラスト又以爲ラク精神ハ萬物ヲ舉ケテ神ト同一ナラシムル者ナリ

以上擧クル所ハボエームノ所謂奇緣ニ由リテ神ノ敎告セシ所ナリ後世日耳曼ノ高妙ノ理ハ蓋シ此ニ本ケリ

第三　懷疑ノ說ヲ執ル者及ヒ議論ノ自由ヲ倡フル者諸種ノ說ノ相容レサルヲ混融セント欲スル者皆後世思想ノ自由ノ一事ニ於テ大ニ補益スルヲ得タリラブレー(ハ)懷疑家ナリ其論スル所往々至理ニ適合スル者ト滑稽鄙俗ノ言ト相雜ハレリモンテーン(ヌ)モ亦懷疑家ナリ常ニ曰ク我レ識ルヿ有ラン哉識ルヿ無キナリ其徒弟シャルロン(ニ)至リ益〻懷疑ノ旨趣ヲ擴充シテ以テ一家ノ說ヲ成セリ

意答利ニ在リテハ懷疑ノ理學ノ行ハレシカ爲メニ德義ノ道敗壞シ延イテ害ヲ政ニ及ホシ壓制ヲ以テ政ノ旨趣ト爲スニ至レリ初メ中古ノ時道德全ク宗旨ノ中ニ包容セラレテ別ニ一幟ヲ建ツルヿ能ハス故ニ人々苟モ宗旨ヲ尊奉スル件ハ一擧ニ以テ道德ヲ尊奉スルヿヲ得タリ文藝中興ノ時ニ至リ宗教寖ク衰頽スルニ及ヒ道德モ亦隨フテ根基ヲ失フニ至レリ獨リ此ノミナラス卽チ政治ノ如キモ曩キニハ宗教ノ旨ニ隷屬セシカ是ニ至リ別ニ自ラ樹立スルニ及ヒ獨リ宗教ノ旨ヲ顧ミサルノミナラズ幷セテ道德ノ義

ヲ憚ラサルニ至ル而シテ此狀態ハマキヤウェル(ノ)書ニ於テ最モ明ニ之ヲ見ル

マキヤウェル(ノ)政ヲ論スルヤ立言極メテ自由ニシテ宗教道德一切忌憚スル所無ク專ラ詭譎抑壓ヲ以テ政術ノ本旨ト爲サント欲スト著ハス所「ブランス」ノ一書卽チ是レノミ

マキヤウェル「ブランス」ノ一書其旨意洵ニ忌惡ス可キニ論無シト雖モ然レトモ是人ヤ史學ニ遂ク善ク古今政治ノ得失ヲ辨明シ事實ニ就テ觀察シテ空妙ノ談ヲ爲サス中古理學ノ習氣ヲ一掃シテ之ヲ留メス其旨趣トスル所少モ宗教ノ旨ニ沿襲スルヿ無ク全ク自家思想ノ自由ニ資リテ之ヲ述ブ凡ソ是ノ如キ者皆マキヤウェル(ノ)長處ニシテ我カ近代ノ政論ノ如キモ亦大ニマキヤウェル(ノ)賚リテ以テ根基ト爲ス所有リ蓋シマキヤウェル(ノ)事ヲ論スル專ラ實迹ニ徵シテ理論ヲ事トセス其觀察ノ功ヲ下スヤ深奥ニシテ遺ス所無ク果敢ニシテ顧忌スル所無シ但其德義ニ於テ少モ顧ミル所無キ是其短ト ス

ル所ナリ

若シマキヤウェルチシテ世ノ事迹ヲ觀察スルヿ更ニ詳密ニ自然ノ至理ヲ講求スルヿ更ニ周到ナラシメハ必ス曰ハン政ノ物タル洵ニ宗教ニ關係有ルヿ無シ亦宗教家ノ道德ニ關係有ルヿ無シ若シ夫レ人生自然ノ道德ト人々固有ノ權理トニ至リテハ尤モ當ニ愼重シテ之ニ或ハ違ハサル可シトマキヤウェル未タ是ニ慮及セス惜ム可キナリ

マキヤウェルノ外又フラー、パオロー、ガブリエル、ノーデー有リ其政ヲ論スル亦專ラ實際ノ處ヨリ見ヲ起シ德義權理ノ二者ニ於テ甚タ思ヲ經ス亦マキヤウェルノ類ナリ

是時ニ當リ我カ法朗西ノ學士中亦宗教ニ拘束セラルヽヿ無シ以テ言ヲ立ツル者甚タ衆シ然レ𪜈其政術ヲ論スルニ至リテハ其旨趣意答利ノ學士ト正ニ相反シテ世ノ實迹ニ拘牽セラレスシテ專ラ一定ノ旨義ヲ以テ根基ト爲シ其人々固有ノ權理ヲ鄭重ニスルヿ極メテ至リテ早ク已ニ自由平等ノ大義ニ通スルヿヲ得タリ

ボエシーハモンテーンヌト友タリ既ニ新敎ヲ奉セス亦舊敎ヲ尊ハス專ラ理義ヲ推覈シテ以テ人々固有ノ諸權理ヲ恢復スルヿヲ是レ求メリ著ハス所ノ一書名ツケテ好意ノ奴隷ト曰ヒ或ハ名ツケテ「コントル、アン」ト曰フ其中ニ云フ有リ曰ク人若シ天地自然ノ理ニ於テ能ク明ニ見得スルノ義ル所有リト爲スハ玆ニ一ノ最モ明白ニシテ疑フ可ラサル一事有リ何ノ謂ソヤ曰ク所謂自然ノ理ハ神ノ宰相ニシテ人類ノ首領ナリ夫レ自然ノ理吾人人類ヲシテ皆容貌ヲ同クセシメリ念フニ蓋シ其吾人人類ヲ陶鑄スルヤ盡ク範型ヲ同クセシヿ疑無シ然ル所以ノ者ハ他無シ吾人人類ヲシテ相共ニ視テ以テ朋友ト爲サシムルカ爲メナリ（中略）夫レ所謂自然ノ理ハ我儕人類ノ慈母ナリ而シテ此母ヤ吾儕人類ヲ生ミテ之ヲ大塊ノ上ニ居キ相共ニ之ニ家セシメ吾儕人類ニ賚フニ此極メテ貴重ス可キ無盡ノ至寶即チ言語ヲ以テシテ以テ相共ニ益〻親愛セシム（中略）夫レ吾儕人

類皆朋友ナリ皆兄弟ナルヒハ我儕人類ノ皆自由ナル可キヿ初メヨリ疑ヲ
容レス彼ノ自然ノ至理ニシテ吾儕人類ヲ苦ムルニ奴隷ノ辱ヲ以テスルカ
如キハ決シテ理ニ非サルナリ果シテ然ルヒハ彼レ豈ニ吾儕人類ヲシテ皆
朋友タリ皆兄弟タラシメテ以テ之ヲ同一ノ地上ニ居カン哉

ボユシー既ニ是ノ如クニシテ人類ノ本ト自由ニシテ且ツ平等ナルヿヲ極
論シ因リテ又曰ク吾儕人類ノ壓制ノ苦ニ墮ル所以ノ者ハ我儕固ヨリ之ヲ
欲スルナリ何ソヤ彼レ其我儕ヲ苦虐スル者ハ唯一人ニ非ス乆人ヲ以テ
一人ニ對スル我レ何ソ彼レヲ畏レン哉

又曰ク吾儕苟モ一日自由ナラントヿヲ欲セハ唯自ラ斷スル有ランノミ夫レ
自由ノ貴ヿ可キヿ此ノ如クニシテ而シテ之ヲ恢復スルカ爲メニ唯一箇ノ
斷ヲ以テ足ルヒハ天下諸國ノ民何ソ速ニ自由ノ樂土ヲ開闢スルヿヲ求メ
サル乎又一法朗西人有リ人ト爲リ極メテ剛毅ニシテ而シテ衆心ノ異同ヲ
合シテ相共ニ協和セシムルヿヲ以テ志ト爲セリ其人ハ

シェール、オーピタル

理イ四十六

ト爲ス一千五百七十年書ヲ著ハシ名ケテ戰鬪及ヒ平和ノ目的ト曰ヒ其中
ニ云フ有リ宗教ノ自由ハ凡ソ自由ノ類ニ就テ其最モ貴重ス可キ者ナリ是
レ獨リ精神ノ自由ナルノミナラス精神中最モ貴重ス可キ作用ニ係ル自由
ナリ何ントナレハ是レ信心ノ自由ニシテ吾儕ノ神ニ事フル所以正ニ是ニ
在レハナリ

オーピタル又曰ク人々ヲシテ各々其好ム所ノ宗旨ヲ崇奉シテ他人ノ害ヲ
蒙ムルヿ無ク安靜以テ信心ヲ致スヿヲ得セシムルヿ是レ固ヨリ人世必要
ノ一事ナリ他無シ人ノ信心ハ本ト劒ヲ用テ之ヲ擺破ス可キニ非ス火ヲ用
テ之ヲ燒燼ス可キニ非スシテ唯理ヲ以テ之ヲ服スル有ルノミ
是ノ如クニシテ歐洲諸國ニ在リ及ヒ特ニ我カ法朗西ニ在リテ人々固有ノ
權ノ旨義寖ク萌芽ヲ發スルニ至レリ夫レ政治一タヒ宗旨ノ繩束ヲ脫スル
ヤハ宜ク必ス人々固有ノ權ノ旨義ヲ以テ之カ本ト爲ス可キナリ

ボダン、アンシェーハ一千五百五十年ヲ以テ生レ一千五百九十六年ヲ以テ死

セリボダン法律ノ學ニ遼ニシ書ヲ著ハシ名ケテ民主政論ト曰フ亦人々固有ノ權ヲ以テ政治ノ本ト爲サント欲ス民主政論ハ蓋シマキヤウェルノ書ノ後當時ノ著書中ノ最大ナル者ナリボダン口ヲ極メテ古昔理學士ノ短處ヲ攻擊シテ以爲ラク彼輩往々中正ノ政府ヲ建設スルカ爲メニ諸種ノ政體ヲ折衷シテ之ヲ大成セントス欲セリ是レ大謬ナリ蓋シ其宜ク折衷ス可キハ旨義ニ在リ體裁ニ在ラス夫レ立君政治ハ統一ヲ以テ旨義ト爲ス者ナリ民主政治ハ自由ヲ以テ旨義ト爲ス者ナリ豪族政治ハ權衡ヲ以テ旨義ト爲ス者ナリ故ニ宜ク此等ノ旨義ヲ混融シテ以テ一ト爲ス可キナリ

ボダンノ此論タル奇闢ニシテ且ツ深奥ナリト謂ツ可シ獨リ惜ムラクハ彼レ其諸種ノ政體ノ中ヨリ諸種ノ旨義ヲ抉出スルニ於テ未タ蘊底ニ透達セサル所有リ何ソヤ眞ノ統一ト眞ノ自由ト眞ノ權衡トハ獨リ民主政治ノ中ニ存シテ其他ノ政治ノ中ニ存ス可キニ非サレハナリ

ボダンノ政術ノ本歸ヲ要スルニ蓋シ一種民主ノ制ト立君ノ制トヲ混合シテ以テ之ヲ大成セント欲スルニ過キス之ヲ要スルニ政治ニ於テ法律ノ旨義ヲ當用スルヿヲ求メタルハボダンノ功偉ナリト謂フ可シ後來モンテスキユーノ論ノ如キハ蓋シボダンノ旨趣ヲ擴充セシ者ナリ

以上擧ケル所ニ由リテ之ヲ觀レハ理學ニ於テ政術ヲ論シ實際力制ノ習ニ易フルニ一定ノ旨義ニ原本スル政治ヲ以テスルヿヲ唱道セシヿハ我カ法朗西實ニ魁首タルヿ蓋シ見ル可シ

第四　中古理學ニ於テ缺失ト爲セシ所ノ者蓋シ二有リ宗旨ニ浸淫シテ未タ眞ノ學術ノ體裁ヲ成サヽリシヿ一ナリ議論研究ノ眞ノ方法ニ於テ未タ通達セサリシヿ二ナリ蓋シ當時學士輩猶ホ往々世ノ事迹ヲ解釋スルニ尋常普通ノ道理ヲ以テセズシテ非常ノ行爲ヲ以テシテ曾テ此行爲ノ何物タルヲ究メス又其言ヲ立テ事ヲ論スルヤ多クハ言語ノ末ニ流レテ事理ノ如何ヲ問フヿ無シ故ニレイブニットノ之ヲ譏リテ曰ク彼輩豈ニ言語ヲ以テ事實ト爲セシ邪デカルトモ亦曰クレイモンド、リュールノ徒ハ一事モ識ル所無ク

シテ萬事ニ就テ議論セリ而シテ自ラ夸リテ至大ノ術ヲ得タルト稱セシハ豈ニ理ニ違ハス乎云々

中興ノ時ニ至リテハ學士輩相競フテ理義ヲ推究シテ以テ自ラ發明スル所有ルコトヲ思フ是ニ於テ乎以爲ラク事ノ理ヲ得ント欲スルトキハ徒ニ言語ヲ安排スルノミニシテハ未タ足ラス必ス之ヲ實迹ニ徵シテ後可ナリトレオナール、ド、ワンシーハ獨リ藝事ニ巧ナリシノミナラズ博學ニシテ通セサル所無ク尤モ技科ヲ嗜ミ亦人ヲ誘引シテ天地庶物ノ事ヲ講究スルコトヲ務メシメリ其言ニ曰ク造化ノ秘ヲ發スルハ獨リ實驗ノ一方有ルノミ故ニ苟モ物理ヲ究明セントト欲スル者ハ當ニ實驗ノ方ニ據ルヘシト而シテ所謂實驗ノ方ハ必ス之ヲ疊用シ之ヲ改メテ右ヨリシ又之ヲ改メテ右ヨリシ是ノ如クニシテ縱橫反覆シテ必ス一定ノ理ヲ得テ後已ム可キナリ夫レ然ル後技術ノ道以テ益〻進闡スルコトヲ得ントレオナール、ド、ワンシー獨リ實驗ノ方ヲ倡道セシノミナラズ亦自ラ之ヲ試用セリ是ヲ以テ其視學機械學等一切物理ノ學ニ於ケル頗ル發明スル所有ルコトヲ得タリロンバルヂーノ鑿渠ノ事業及ヒ其要害ノ諸所ニ於テ城砦保障ノ功ヲ施セシコトハレオナール、ド、ワンシーノ任ニシテ之ヲ爲セシ所ナリシ亦以テ其才ノ通セサル所無キヲ知ルヘシ

一千五百四十五年タルタグリヤー始メテ「エクアション、キュビック」數學ノ語ヲ譯者數學ニ於テ絕エテ之ヲ習ハス故ニ直ニ原語ヲ書シテ以テノ方ヲ發見シ因リテ大方博雅ノ是正ヲ乞フ此類頗ル多シ後皆此ニ倣ヘ之ヲカルダンニ傳フカルダン又之ヲ推演シテ大ニ世ニ益スルコトヲ得タリ又ウィエートハ代數學ノ「カードル」ヲ擴張シテ之ヲ大ニセリ代數學ハ凡ソ數及ヒ度ニ係ル技術ノ根本ナリカルダン又代數學ノ眞ノ記法ヲ發見シ並ニ微ク代數學ト幾何學トノ交涉スル所ノ理ヲ窺フコトヲ得タリ

一千五百四十三年コペルニック著ハス所ノ天體論ノ一書始メテ世ニ行ハレ人々始メテ天體ノ眞ノ構造ヲ知ルコトヲ得タリコペルニックハ蓋シフィロラエース、ピタゴール、アリスタルド、サモースス等ノ說ヲ推演シテ以テ其一家ノ學

ヲ成就セリ

ガリレーハ技術ヲ研究スルニ於テ其方法極メテ謹嚴ニシテ早ク已ニ我ガ近世學術家ノ先引ヲ爲セリ其方法タル先ツ之ヲ觀察シ次ニ其輕重ヲ知ル可キ者ハ之ヲ權衡ニ揆リ其計數ス可キ者ハ之ヲ數學ニ正シ其形狀ヲ摸寫ス可キ者ハ之ヲ畫圖ニ象リ必ス實理ニ透徹シテ後已ム一モ空妙ノ臆測ヲ用フルヿ無ク唯明瞭較著ナルヿ是レ求ム蓋シ其人ト爲リ尤モ實用ヲ尙フカ故ナリ

ガリレー首トシテ格物ノ學ニ於テ數學ノ理ヲ當用シ物ノ地ニ向フテ墜ツル所ノ緩急ノ度ヲ發見シ及ヒ時辰儀ノ墜子ノ動搖ヲ測度シ望遠鏡ニ就テ第二ノ發見ヲ爲シ天體ニ係リテハ「ジュピテル」星ノ周圍ニ列スル衆星ヲ發見シ大陽球中ノ黑點ヲ觀察シ大陰中ノ山嶽及ヒ「ウェニユース」星ノ光輝ヲ視察シ天河ヲ望ミテ其衆星ノ簇聚ニ成ルヿヲ斷セリ

ガリレー凡ソ其發見セシ所ヲ集メ彙シテ一書ト爲シ名ケテ衆星ノ使者ト曰フ

是時ニ當リ又從前人ノ未ク觀サル所ノ星辰ヲ發見セシ者頗ル衆シ卽チ一千五百七十七年ニ於テ一ノ無名星始メテ「カシヨペー」星ノ中ニ現シ一千六百年ニ於テ一無名星又「シグヌ」星ノ胸部ニ現シ一千六百四年ニ於テ一無名星又「セルペンテール」星ノ脚部ニ現セリ此無名星ハ極メテ大ニシテ人眼ニ見セシヿ數年間ニシテ後消シテ復タ見エザリシト云フ

昔ハアリストット天象ヲ以テ萬古不易ノ物ト爲シテ以テ一家ノ言ヲ爲セリ然ルニ後世ニ至リ無名ノ星續々出テ來リテ以テ變化ヲ示セシハ殆ント此等無名ノ星ノ故ナラニ現シ來リテアリストットノ謬妄ヲ暴白セシ者ノ如シ

ガリレー書ヲ著ハシコペルニックノ說ヲ世ニ傳播シ且ツ更ニ之ヲ考覈シテ益〻精處ニ到ラシメリ凡ソ此等天體ノ說ハ獨リアリストットノ旨趣ヲ顚覆セシノミナラス經典ノ語ニ於テモ頗ル抵觸スル所有リ經典ノ語ニ從ヘハ地

球ハ世界ノ中央ニシテ大陽實ニ地球ノ周圍ヲ躔行スト今コペルニック諸氏ノ窮究スル所ニ據レハ此等ノ言皆理ニ非ス經典ノ語ニ從ヘハ人類正ニ世界ノ中央ニ居テ凡ソ星辰日月ノ類ハ皆人類ノ爲ニシテ設クル所ナリト此等ノ言モ亦其合セサルヲ見ルヘシ

夫レコペルニック、ガリレーノ發見經典ニ抵忤スルヿ此ノ如シ是ニ於テ一千六百十六年羅馬ノ法衙始メテコペルニックノ說ヲ禁斥シテ以爲ラク是レ經典ノ旨ニ反シ且ツ道理ニ戻ルト其後ガリレーモ亦法衙ノ譴責ヲ獲テ獄ニ繫カレ獨リ形體ニ於テ苦ヲ受ケシノミナラス亦心神ヲ傷マシムルヿ極メテ甚シク禁錮ヲ以テ身ヲ終ヘリ

ケプレルモ亦一千六百九年ヲ以テ其新天體論ト題スル書ヲ著ハシ諸游星ノ運動ニ係ル三種ノ法則ヲ發見セリ是レ後來牽引力ノ發見ノ濫觴ト謂フ可シ

ケプレルハ獨リ實迹ニ就テ觀察セシノミナラス亦臆測ノ一事ヲ以テ講求

終